日本漢文史籍叢刊

第五輯

地理

二

上海交通大學出版社
SHANGHAI JIAO TONG UNIVERSITY PRESS

第二册目錄（總第122册）

桂華園 著

皇國郡名志

明治四年（一八七一）東京府萬笈閣刊本

據明治四年（一八七一）
東京府萬笈閣刊本影印

自序

一日義兄岡田村張陽の東鄙翁の携
全図を携て其理を明解し給ふ誠に予の如きも
大部なるは味ひ兼ぬ事なりしに於て
大略を記し小冊となし皇國郡名志と題して来たり
学ぶ者の便となさんとす信友某に謀り
萬笈閣のぬしに是を梓に上せ
同好の君子等の覧んことを希ふの乳

明治四年未のとし仲春

桂花園藤原某誌

凡例

一此書國郡全圖ノ要ヲ摘抄シ郡名ノ音訓ハ片假名ヲ副ス

一國名ノ上層ニ其國石高ノ大約并近時州郡ノ分割ヲ載ス

一下ノ細書ハ藩縣ノ地名并宿驛其他有名ノ地ヲ畧記ス

一郡名下地名ノ標符□ハ藩地城地○ハ縣〈ハ陣屋廿ハ元関所ノアリシ地●ハ宿驛印シナキハ有名ノ村落△ハ神社佛宇名所舊蹟山川等ナリ

一三都ニカル所ハ小名多キ故合印ヲ省テ巨細ニ記ス

一各國ノ末ニ古今郡數ノ差別且郡ノ別名ヲ記ス

一各郡ノ末ニ其郡ノ大小方位ノ大旨ヲ記ス

一新ニ藩地トナリシ所并藩名ノ改稱ハ之ヲ其郡ノ上ニ記ス

一北海道ノ郡名ハ之ヲ附錄ニ出ス

一上層ノ白紙ハ補注ヲ加フル便ニ備フ

皇國郡名志

東京桂華園主人編輯

山城國　八郡

京二条御城本願寺愛宕郡有壬生島原ハ葛野郡也愛宕山ハ葛野郡宇治ハ久世郡久世ハ乙訓郡

乙訓（オトクニ）　久我　岩倉　久世　向日町　神足　山崎　淀川ニ添テ摂丹界郡

葛野（カトノ）　洛西ハ九条東寺島原壬生金閣嵯峨清滝高雄　愛宕山梅津桂原　国中ノ郡也

愛宕（オタギ）　洛中ヨリ東ハ粟田口白川西ハ二条御城北ハ野本願寺南ハ七条限　北ハ叡山迄　江丹界郡

紀伊（キイ）　伏見　淀　竹田　上鳥羽　国中ノ郡也

宇治（ウジ）　日ノ岡　御陵　上醍醐　大塚　追分　江界郡

久世（クセ）　宇治　長沼　国中ノ郡也

綴喜（ツヽキ）　玉水　八幡　橋本　河界ノ郡

相樂（サガラク）　木津　大河原　北カサキ　伊賀大和界

大和國　十五郡

新庄改櫛羅

添上（ソフノカミ）　奈良　小泉　柳生　古市　野田　川上町　櫟本　大柳生　ツヒトキ　城界郡

添下（ソフノシモ）　郡山　尼ケ辻　小泉　城界郡

平群（ヘクリ）　竜田　會嶺　法隆寺　信貴山　生駒山　河界郡

廣瀬（ヒロセ）　著尾　葉井　国中小郡

葛上（カツラキノカミ）　五条　金剛山　河界郡

葛下（カツラキノシモ）　タカロ　竹内　達摩寺　河界郡

吉野宇陀ト市ノ間ニ中宮与十市ト忍一村城上郡属ス

忍海（オシノミ）　葛上下ノ間ニ有テ至テ小郡ニテ駅町無　河界

宇智（ウチ）　五条　宇野　待乳茶屋　紀河界郡

吉野（ヨシノ）　吉野　上市　下市　六田　檜垣本　洞川　天川　壷内　湯本　勢紀界大和半国一郡

宇陀（ウダ）　灰原　山辺　赤垣　田口　桃股　伊賀伊勢界郡

城上（シキノカミ）　初瀬　芝村　ギヲン寺　三輪　柳本　国中郡

城下（シキノシモ）　二階堂　国中郡

大和　河内　三

高市（タケチ）　高取　土佐町　八木　国中郡

山邊（ヤマノベ）　大野　丹波市　三本松　伊賀界

十市（トイチ）　櫻井　田原本　多武峯　国中郡

河内國　舊十四郡　今十六郡

錦部（ニシゴリ）　錦部　言市　天野　正成首冢　紀泉界郡

石川（イシカハ）　上太子　荒田新町　千早正成墓　和界郡

古市（フルチ）　古市　誉田八幡　国中小郡

安宿（ヤスカベ）　玉手山　国分川　飛鳥　駅町無レ　和界小郡

大縣（オホカタ）　駅無レ　亀瀬嶺　和界小郡

高安（タカヤス）　駅無レ　天照山　高座　十三嶺　恩ノ淵　和界小郡

河内（カワチ）　峠　鷲尾山　玉串川　和界小郡

讃良（サラ）　駅町無レ　飯盛山　和界小郡

河内　和泉　四

淀川ノ筏島ハ摂ノ島上郡ニ属ス

茨田（マムタ）　牧方　佐田　守口　新町　泥町　淀川攝ノ郡也

交野（カタノ）　楠葉　王仁墓　国見山　金川　和城界郡

若江（ワカエ）　八尾　国中小郡

澁川（シブカハ）　駅町無シ　長谷川　攝界小郡

志紀（シキ）　駅町無シ　道明寺　国中小郡

丹南（タヂヒノミナミ）　丹南　狹山　岩室　藤井寺　国中ヨリ泉ル

丹北　大和川　攝界小郡

八上（ヤカミ）　福町　攝泉界小郡

今増八上郡為丹北ヲ分チテ南北

和泉國　舊三郡　今四郡

大鳥（オフトリ）　堺　大鳥　石津上下　湊　モツ　泉式部行基出生地　攝河界

和泉（イツミ）　伯太　横山　大津　信田森　牛ダキ山　河紀界ニ海貫

日根（ヒネ） 山口 山中 信達 市場 貝掛 青池 蟻通社 紀界西海向郡

泉南（イツミミナミ） 岸和田 貝塚 麻湯 牛滝川 紀界ヨリ海貫

今增泉南郡

攝津國

十二郡

住吉（スミヨシ） 住吉 同社 安立町 平野 大念仏 河泉界郡

能勢（ノセ） 地黄 吉野 妙見宮 丹界郡

東成（ヒカシナリ） 大坂御城ヨリ上町玉造天王寺茶臼山 河界淀川ニ添

西成 大坂船場島ノ内 長柄 曽根崎 江口 大坂西海ニ向

島上（シマノカミ） 高槻 芥川 磯島 丹城界ヨリ淀川ニ至

島下 吹田 茨田 郡山 国見 清坂 勝尾寺 丹界郡

豊島（テシマ） 瀬川 池田 清明塚 麻田 国中郡

河邊（カハノヘ） 尼崎 神嵜 伊丹 崑湯 小濱 銀山 国サキ 柏原 大井 丹界ヨリ海ニ貫

武庫（ムコ） 西宮 中村 蛭子社 海ニ付郡

兎原（ツハラ） 生田 ミカゲ 布引滝 右弁

八部（ヤタヘ） 兵庫 田井畑 小川 廣野 熊梅 生田社 一ノ谷 二ノ谷 スマ寺 アツモリ塔 播界海付

有馬（アリマ） 岩谷 大川セ 新町 湯本町 温泉 舟坂 三田 生瀬 母子 丹播界

舊有百濟郡今省之

伊賀國

四郡

阿拜（アベ） 阿保 伊セ地 七見峠 長田川 和界ヨリ勢界貫

山田 山田 平田町 平松 勢界郡

伊賀（イカ） 上野 濃入町 丸柱 佐那具 中柘 島ケ原 三本松 城江界

名張（ナハリ） 名張 名ハリ川 黒田川 勢和界

伊勢國

十三郡

桑名（クハナ） 桑名 長島 別島地 多度社 尾ニ向八江付

伊勢

貪辨　駅町無シ　江濃界

朝明　富田　ヤキ蛤　アサケ川　江界ヨリ海ニ貫

三重　四日市　追分　[江弘野]　三重川　江界ヨリ海ニ貫

河曲　[神戸]　神戸ノ辺小郡

鈴鹿　石薬師　庄野　関　[亀山]　坂下　国中ヨリ江伊賀界

奄藝　上野　白子　一身田　久保田　梅原　国中ヨリ海ニ出

安濃　[津]　前田　捺木　長野　伊賀界ヨリ海貫

壹志　矢野　雲津　月本　六間　下杉　八太　大ノキ　[久居]　同北々々　和伊賀界ヨリ海貫

多氣　明星　相可　大淀　阿保　三瀬　浙ヽ々　椅立山　和界ヨリ海ニ貫

飯高　松阪　大石　滝野　仁柿　宮前　波瀬　和州院　二条　一志郡向脇一方ニ　和界ヨリ海ニ貫

度會　宇治　内宮　山田　外宮　小畑　池辺　田丸　狛野　アソ　真弓　長島　度會　紀界ヨリ海　出志ニ六ヶ

飯野　七見　櫛田　ツル　松坂ト明星ノ間小郡

志摩

志摩國

二郡

答志　[鳥羽]　塩屋　合坂　本郷　磯辺　同社　勢界ヨリ東北ノ海向

英虞　駅無シ　南此皆郡

尾張

尾張國

八郡

中島　起　萩原　稲葉　一ノ宮　中野未処美濃ニカヽル　濃界木曽川添

葉栗　北方　濃界木曽川小郡

丹羽　[犬山]　楽田　善師ノ　入鹿池　国中ヨリ木曽川

春日部　清須　小牧　勝川　堅下　内津　清須ヨリ濃三ノ界

愛智　[名古屋]　宮　熱田社　山崎　鳴海　三界ヨリ海貫

知多　亀崎　半田　大野　横須賀　三界

海東　津島　佐屋　神守　万場　西海向郡

海西　勢ノ長島ニ並テ小島也駅無シ　大川中島一郡也

今海部分爲東西、寶飯山田郡今省之、又春日部ヲ今作春日井ニ

參河國

八郡

碧海（アヲミ） 刈屋 池鯉鮒 中島 矢矧川 尾張堺川矢作川ノ間

賀茂（カモ） 挙母 衣里 明智 上作條 足助 白川 市野 松平 尾張及

額田（ヌカタ） 岡崎 藤川 奥殿 [illegible] 國小郡

幡豆（ハツ） 西尾 菱池 吉良庄 南[illegible]郡

寶飯（ホイ） 上東 大木 [illegible] 赤坂 豊川 形原 蒲形 國中ヲ入ル所

設樂（シタラ） 新城 [illegible] 下利 [illegible]郡

八名（ヤナ） 大野 [illegible] 高[illegible] 飯宇川 遠[illegible]

渥美（アツミ） 吉田 田原 二川 南[illegible]郡

遠江國

十四郡

濱名（ハマナ） 荒井 卅 白須賀 本坂 三ヶ日 三[illegible]郡

敷知（フチ） 濱松 [illegible]坂 遠[illegible] 味方原 南[illegible]

豊田（トヨタ） 川合 [illegible] 二股 [illegible] 國中[illegible]

引佐（イナサ） [illegible] 三[illegible]

麁玉（アラタマ） [illegible] 國中小郡

長上（ナカカミ） 小郡天龍川下西添処

長下（ナカシモ） [illegible] 掛塚 [illegible]

磐田（イハタ） 見付 中泉 [illegible] 國中小郡

山香（ヤマカ） [illegible] 國中小郡

周智（スチ） [illegible] 森 [illegible]

山名（ヤマナ） [illegible] [illegible]小郡

佐野（サヤ） 掛川 日坂 小夜中山 國中

城飼（キカフ） [illegible]

府中改［駿府］

蓁原（ハンハラ）　相良　金谷　高クマ　シトロ　上長尾　大町
駿信界大井川ニ添テ海ニ至

駿河國　七郡

志太（シタ）　泉　粟山　御室
遠信甲界大井川上

益頭（マシツ）　島田　藤枝
大井川下海ニ至

有度（ウト）　［田中］　岡部　丸子　宇津ノ山　アベ川
府中ノ藤枝間小郡

安倍（アヘ）　久能　［府中］　一條　清水　芦久保
国中

十二

廬原（イホハラ）　岩川　清原　由川　沖津　江尻　松野　獅子原
甲界海ニ貫

富士（フシ）　吉原　北山　スヘテ不二山廻ヲ村カス少
甲界海ニ貫

駿東（スンーウ）　州　［沼津］　カウ山　須走　松山　浮嶋原
豆相甲ノ界

舊駿河今作駿東ト

伊豆國　舊三郡　今四郡

田方（タカタ）　韮山　北条　八蛭ケ嶋　[illegible]
国中

那賀（ナカ）　松崎　ユナ
西海入江ノ口

加茂（カモ）　伊豆山　熱海　網代　伊東　外浦　下田　[illegible]石　笹原　山中
相番ニ東南海向

君澤（クンタク）　三島　守久頭　上肥　江梨　三津
此郡海辺ヨリ東海道ヲ貫ヌキ今貫ニ博駿ノ界ニ[illegible]

今君澤郡加

甲斐國　四郡

山梨（ヤマナシ）　府中　国府　石和　勝沼　[illegible]　[illegible]川　一日市場　大日山　吉光寺　生沢川
武信界

十三

八代（ヤツシロ）　岩間　黒沢　市川　上向山　古関　市場　藤代　黒駒　笛吹川
[illegible]

巨麻（コマ）　万沢　南部　下山　[illegible]石　[illegible]　[illegible]　大[illegible]　釜原　教来石　釜無川　身延山
駿信界

都留（ツル）　藤[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　大月　[illegible]　[illegible]　上吉[illegible]　山中湖　[illegible]

相模國　舊八郡　今九郡

足柄上（アシカラカミ）　酒匂川　関本　矢倉沢ナ　足柄　道了権現
駿甲界ヨリ[illegible]

足柄下　［小田原］　湯本　箱根ナ　土肥　根府川ナ
豆駿界[illegible]

曽我　小[illegible]郡
中村　[illegible]

餘綾（ヨロキ） 川原 大磯 香津 一ノ宮　海辺ニ付小郡

大住（オホスミ） 馬入 駿河町 平塚 厚木 伊セ原 坪内 萩原　御馬 大山　国中ヨリ海ニ出

愛甲（アイコウ） エチ 三増 荒井 久保沢 ハン原 スカヤ 萩谷　金田 荻中　武界

高座（タカクラ） ニシノ坂 戸塚 藤沢 小和田 茅ヶサキ　早川 国分　武界ヨリ海ニ貫

鎌倉（カマクラ） 雪下 寉ヶ岡 江ノ島　武界ヨリ南海ニ貫街道ヨリ東南ガ也

御浦（ミウラ） 和田 野島 衣笠 浦河 長屋 林　南海山崎一田ニ三浦郡

相模武蔵　一三

津久（ツク） 川野 与瀬 小倉 青原　鳳板　武界北方ノ郡

今加津久郡

武藏國

舊二十一郡
今二十二郡

金沢改 六浦

久良（クラキ） 金沢　街道ヨリ東南ノ方　相界南出崎

都筑（ツツキ） 程ヶ谷ヨリ西ノ方ワツカ也　相界小郡

多磨（タマ） 中野 高井戸 石原 府中 八王子 玉川　駒木埜 小仏廿 日野　相界大郡

郡界西[illegible]有江戸近在[illegible]ノ界有其荒増ヲ是ニ記 赤羽根川ヲ荏原郡豊島郡ノ界トス[illegible]豊島ヘ入白銀目黒荏原郡也青山宮益町豊島ノ用水ヲ[illegible]千上目黒荏原ニ偏都ヘ渋谷[illegible]大方八豊島也上中下渋谷荏原ノ限ト云高井戸八多摩郡也柏木鳴子町ハ豊島ニテ中野村八多摩ニ偏ル金高尾大里横川男衾[illegible]

橘樹（タチハナ） 神戸 神奈川 川崎 小杉 溝口　国中玉川ノ下南ノ方

荏原（エハラ） 六郷 大森 品川 北沢 二子渡 目黒 池上　江戸赤羽根川ヨリ南方ヨリ西ノ方廻ル海ニ向郡

豊島（トシマ） 江戸東角田川迄代々木幡ヶ谷鳴子町南迄増上寺北板橋練馬　荒川ヨリ南ノ方　国中郡

足立（アタチ） 千住 草加 越谷 粕部 杉戸 幸手 栗橋廿　騎西 蕨 浦和 上尾 大宮 桶川 鴻巣 葛飾新座ノ間

新座（ニイクラ） 白子 膝折 大和田 曽根　野火留　国中小郡

入間（イルマ） 藤久保 大井 川越　武蔵野 入間川　国中

武蔵　十四

国中[illegible]二[illegible]村 [illegible] 瀬諸国 多[illegible]可知

高麗（コマ） 高八ヶ大イロ イカ 此二ヶ村限　国中小郡

比企（ヒキ） 関山 ホマ 二ヶ村限　国中小郡

横見（ヨコミ） 松山 前島 吹上 エキトクカ ハシワ　日吉見山　国中小郡

埼玉（サイタマ） 忍 行田 アタイ [illegible]　新江廿 御関所内限　上毛界

大里（オホサト） 熊谷 麻濱 大倉 上田 スカヤ　国中

男衾（ヲブスマ） 畠山 鉢形 二ヶ村限　国中極小郡

幡羅　長井　一村限　北ハ界極小郡

榛澤　深谷　岡部　上毛界倉ヶ野街

那珂　十ヘ田　飯塚　廣木　ヨリ共　同中小郡藤田街

兒玉　平井　一村限山ト　上界

賀美　八幡　本庄　上界倉ヶ野街

秩父　三峯山　チサン　カケヒリ　小河内　水尾　藤倉　甲信上界入郡山地也

葛飾　中川ナリ　江戸深川本所　新宿　二合半　金町ニ有　松戸ナリ　市川ナリ　利根川角田川ヲ司有郡ナリ

今加葛飾郡

勝山改加知山

北條

安房國　四郡

平群　勝山　保田　本沢　岡本　本名　リウサキ　岩井　大房　上サ界内海ニ向

安房　北条　館山　洲崎　川名　藤原　綾濱　真倉　滝セ　白ハマ　那お　神余　西ノ出崎郡

朝夷　平館　乙浦　白子　松田　丸山　ヒ三五　白渚　海發　磯村　セト　ゴウト　南出崎郡

花房　菊間　鶴舞　柴山　櫻井

長狭　東条　小湊　内浦　天津　濱萩　清澄　北小　平塚　小松原　上サ界東海向

上總國　舊十一郡　今九郡

市原　八幡　五井　姉ヶ崎　今富　生森　小知　岡井　鶴牧　下サ村田川ヲ郡界ニ入江向

武射　上氣　一村限山地也　下サ界小郡

埴生　長南　清水寺　塩井　茂村　国中郡

望陀　久留里　木更津　吾妻　ナラハ　黒玉　釜生　四方木　房界入江向

小久保　大多喜

周淮　飯野　鹿山　百首　カナヘ　富津　房界天羽郡ヲ内海ニ向

天羽　金谷　入郡山　佐貫　コイト　房界八郡

夷灊　小田喜　松野　小野　久留里　市阪　滑川　大沢　沖津　勝浦　中原　内野　岩崎　長世　山田　新田　万喜ノ池　岩井　下サ界国四分ノ郡

長柄　高師　茂原　一ノ宮　玉前社　白鳥　東海ニ向

山邊　横芝　東金　流山　野田　小西　宮作　成東　下サ界

舊有海上畔𦿶二郡今減之

下總國 十一郡

千葉（チバ） 野田 小弓 馬加 檢見川 浜川 [和良野] 濱野 千葉 山家 大和田 池田 [生実] 小中界

印旛（インバ） [佐倉] 太原 大竹 臼井 日理 船穂 岩留 言美 八代 村神 国中ヨリ上中界

匝瑳（サフサ） 八日市場 飯高 八多古 椿 小村 内山 大寺 犬立浦 東海ニ向

相馬（サウマ） 相馬 島手 大井 小山 瓦代 長ノキ ツクハ 布佐 安彦 白井 荒木 常界

結城（ユウキ） [結城] 諸川 カゞヘ 仁連 山川 武井 飯沼 常野ノ界

猿島（サルシマ） 諸川 中田 磯部 佐川埜 野木 塔田 高根 堺 宮 上毛下毛界

海上（ウナカミ） 小見川 銚子 佐川 野尻 飯沼 大倉 塚本田 横根 犬坊﨑 常界坂東太郎ニ臨ミ東海ニ向

香取（カトリ） 香取 同社 鲁川 津宮 佐原 滑川 神﨑 大和田 高野 [多古] [高岡] [小見川] 常界

埴生（ハニフ） 酒々井 成田 木下風 大森 寺台 分島 八日市 門間 常界

豊田（トヨタ） 岡田 マウヤ 飯猪 赤法花 常界小郡

葛飾（カツシカ） [関宿] 吉川 松戸 市川 行徳 舟橋 法典 八幡 釜谷 [古河] 利根川ハ武ノ界ト

[志筑] 府中改 [石岡]

[谷田部]

常陸國 十一郡

新治（ニヒハリ） ヨルヤ [土浦] 国中小郡

真壁（マカベ） [下館] [下妻] マカヘ 久下田 羽黒 下毛界

筑波（ツクハ） 田下 荒川 藤代 大曽根 下妻 筑波 ツクハ山 キヌ川 サクラ川 下ナ界

河内（カフチ） アナキ 竜ヶ﨑 [牛久] 若森 下十界

信太（シダ） 江戸﨑 イナ石 女男川 下廿界

茨城（ムハラキ） [水戸] [宍戸] 寸出 夏目 磯濱 長岡 勝倉 岩舟 [笠間] ヌカ田 小幡 下毛界 東ニ向

行方（ナメカタ） [麻生] 国中ヨリ東海ニ

鹿島（カシマ） 谷田部 息栖 鹿島 同社 坂東太郎ヲ一ノ界

那珂（ナカ） 北條 長倉 下毛界ノ郡

久慈（クジ） 大田 大橋 月折山 男体山 奥ト下毛ト及テ東海ニ

仁寺改 栗太

多珂（タカ）　介川　アタコ　足洗　平潟　小ヌマ　新町　大北川　松岡　奥界ヨリ東海ニ貫

近江國

十二郡

滋賀（シカ）　膳所　大津　追分　山中　坂本　途中　衣川　堅田〔以下判読困難〕　湖西城界

栗本（クリモト）　川〔判読困難〕　湖南城界

野洲（ヤス）　水部　御殿　守山　三上　三上山　湖東

蒲生（カモフ）　田津畑　日野　目カケ　武佐　八幡　鏡　勢界ヨリ東湖ニ貫

山中改 吉見

近江　十九

神崎（カンサキ）　伊庭　ヱチ川　勢界ヨリ細長湖ニ貫

愛智（エチ）　駅町無之　神崎ニ並共小郡

犬上（イヌカミ）　彦根　高宮　勢界ヨリ東湖ニ貫

坂田（サカタ）　長濱　宮川　春照　小谷　伊吹山　鳥井本　番場　柏原　醒ケ井　長川〔判読困難〕

浅井（アサイ）　本郡駅町無之湖ノ隔テ越前ニ際ス　野口　梅津　濃界ヨリ湖ニ貫

伊香（イカコ）　余吾湖　金井原　中河内　塔本　柳ケセ　木下　越前界

野村

高島（タカシマ）　朽木　小入谷　大溝　河原市　今津　森西　追分　湖西丹若界

甲賀（コウカ）　石部　大野　水口　野川　仁正寺　土山　山中　信楽　伊賀伊セノ界

美濃國

舊十八郡　今二十一郡

多藝（タキ）　高田　舟付　養老滝　勢江方ニ當テ国中ニ有

石津（イシツ）　高須　川戸　勢江ニ付テ多藝ニ並郡

不破（フハ）　赤坂　垂井　関ケ原　今須　寝物語　江界

近江美濃　二十

安八（アハチ）　大垣　佐渡　墨股　今尾　国中

池田（イケタ）　岡村　横山　江界

大野（オホノ）　揖尾　谷汲　杉原　越前界

本巣（モトス）　越波　上本　シエシ　河戸　越前界

席田（ムシロタ）　駅町無之五六ケ村限　国中小郡

厚見（アツミ）　加納　左波　岐阜　国中小郡

各務 駅町無レ 是迄木曽川付小郡

山縣 [illegible] 越ノ前[illegible]小郡

武藝 門原 関 洞 [illegible] 武前界

郡上 鷲見 前谷 二日町 三日市 八幡 漆 [illegible] 水京 錦辺 飛越前界

賀茂 勝山 太田 白川 田中

可兒 池田 ミタク 金山 伏見 上田 [illegible]

土岐 釜戸 大クテ 高山 細クテ 尾界

恵奈 岩村 苗木 上野 カヒヒ 竹折 大井 中津川 落合 串原 阿妻 飛信三ノ界

方縣 駅町無レ 田中小郡

海西 秋江 [illegible]木曽川海小郡

蕉栗 [illegible]松 竹ヶ鼻 [illegible]木曽川ニ添

中島 駒塚 大浦 [illegible]

今加海西蕉栗中島ノ三郡ヲ

飛驒國 舊三郡 今四郡

大野 高山 [illegible] 小坂町 上山田 今町 三河[illegible] 落合 [illegible] 越中美信四国ノ界止

荒城 下呂 [illegible] 越中界

益田 下原町 [illegible] 美信界

大原 [illegible] 白川 美加越前山四国ノ掛

今加大原郡

信濃國 十郡

伊那 飯田 伊那 宮田 片桐 市田 八重河内 新野 伏地 平田 落合 高遠 七ナイ三ナ 一ノ瀬 什 羽場 土石 [illegible] 甲駿遠三国ノ界

諏訪 高島 上諏訪 下六 [illegible]村 甲界

筑摩 松本 丸馬 塩尻 洗馬 上条 福島 [illegible] 妻籠 [illegible]柳 クリヤ原 ソマ原 宮越 二[illegible]川 西野 知村

上松　スワク　野尻　ドトノ
木曾川　ハミタケ川　ミタケ山　　国中ヨリ美濃ノ堺ニ至

安曇（アツミ）　サシ沢　池田　大町　飯盛　横川　キタベ　新田
保高　　飛驒越中後ノ界

更級（サラシナ）　イトリ山　追分　丹波島
中野　　国中

埴科（ハニシナ）　松代　屋代　坂城
ムシクラ山　　国中

水内（ミノチ）　飯山　トクラ　ムレ井　柏原　野尻
〔　〕戸隠山　　越後界

高井（タカイ）　〔　〕田中　シクモツ　　上毛越後界

信濃　野　廿三

小縣（チヒサカタ）　上田　田中　下稲田　中条　　国中郎

佐久（サク）　小諸　塩ガタ　岩村田　軽井沢　追分　八幡
望月　千隈川原　　上武甲界

上野國

十四郡

碓氷（ウスイ）　安中　松井田　戸倉　モロタ　〔　〕
碓氷　横川廿　烏川　　信界

片岡（カタヲカ）　駅町ナシ　　国中

甘楽（カムラ）　白井　磯沢　下仁田　宮崎　七日市　小幡
妙義山　　信界

多胡（タゴ）　小幡　　国中小郡

緑野（ミドノ）　駅町無シ　　武界ニシテ川ニ添小郡

那波（ナハ）　厩橋　伊香保　上目　芝什　　国中

群馬（クルマ）　高崎　板鼻　倉ヶ野　岩鼻　　国中利根川ノ横キル

吾妻（アカツマ）　〔　〕　〔　〕川原　〔　〕　塚原
〔　〕川　　信越後界

利根（トネ）　沼田　〔　〕　利根川〔　〕
高科川　　越後下毛ノ界

野　廿四

勢多（セタ）　黒川　　下毛界

佐位（サイ）　伊勢崎　　国中小郡

新田（ニイタ）　木崎　太田　前田村　　下毛界

山田（ヤマタ）　桐生　　下毛界小郡

邑楽（オハラキ）　館林　矢木　坂倉　　武界ニシテ小川ニ添小郡

下野國

九郡

足利（アシカヽ） [足利][佐野] 上毛ノ界

梁田（ヤナタ） 川崎 梁田 上界足利ニ並小郡

安蘇（アソ） 栃木 合戦場 野上 足尾 上毛界

都賀（トカ） [壬生] 三ノ木 鹿沼 文挟 国中

寒川（サムカ） 飯田 小山 新田 石橋 稲田 飯塚 下サ上毛界

那須（ナス） [烏山] 福原 [黒羽] 那須原 芦野 鍋掛 佐久山 [大田原] 殺生石 常奥界

下野 陸奥 廿五

河内（カフチ） 鉢石 大沢 大原 藤原 [宇都宮] 日光 日光山 上毛奥界

鹽屋（シホノヤ） 徳二良 今市 氏家 [喜連川] 国中ヨリ奥界

芳賀（ハカ） 益子 石宮 真岡 茂木 前田 専修寺 常下サ界

陸奥國 舊三十五郡 今五十一郡

白川（シラカハ） 白川 矢ツキ 塙 [棚倉] 常下毛界

黒川（クロカハ） 新町 国中小郡

磐瀬（イハセ） 小屋 長沼 根田 堀之 クノ石 黒川 下毛界

宮城（ミヤキ） [仙台] 松島 能根 石巻 高木 玉川 末ノ松山 塩竈社 壺碑 東海ニ向郡

會津（アイツ） 五十里 横川 田島 串谷 大内川 土湯 古川 関山 若松 赤井 御代 上毛下毛ノ界郡

耶麻（ヤマ） 檜原 猪苗代湖 堀井 羽界會津川限

安積（アサカ） 日和田 アサカ沼 国中

安達（アダチ） [二本松] 箔石町 アタチカ原 国中

陸奥 廿六

柴田（シハタ） 金カセ 柴田 舟廻 野尻 羽界

刈田（カツタ） 白石 森川 宮折 羽界

遠田（トホタ） 志太郡ト入込 界不詳 国中小郡

名取（ナトリ） 刈川崎 岩沼 中田 武隈松 名トリ川 東海ニ向郡

信夫（シノフ） 福島 瀬上 八丁目 李平 関 羽界

菊多（キクタ） [泉] ナメ川 東海小郡

阿曽沼ノ續ニ津川湯口其外十三ヶ村越後蒲原郡ノ内也

標葉（シハ）　熊川　東海ニ向小郡
阿曽沼（アソヌマ）　野沢　野尻　ヤナタ　越後蒲原界
行方（ナメカタ）　高野宿　原町　東海郡
磐井（イハイ）　一ノ関　山海　田代　正法寺　羽界
和賀（ワカ）　橘村　鬼柳　越中畑　和加川　羽界
稗継（ヒヘツキ）　馬場　花巻　豊沢川　国中

陸奥　廿七

亘理（ワタリ）　荒濱　阿武隈川下　東海郡
玉造（タマツクリ）　駅町與七二ヶ村限　国中
賀美（カミ）　駅町無之　国中
志太（シタ）　三本松　国中右三郡共小ㇾ
栗原（クリハラ）　原前　亀上　新庄　月立　沢辺　一ノ関　二ノ関　羽界
江刺（エサシ）　江刺　国中

膽澤（イサハ）　前沢　金崎　下凪江　伊沢川　膽沢　羽界
登米（トヨメ）　新谷　根原　登米　国中小郡
壮鹿（ヲシカ）　東海金花山ニ續ク　山崎ニ至ル小郡
鹿角（カトノ）　花輪　松山　羽界
閉上（ヘイカミ）　改下　軽井沢　八ツ七川　羽界
津輕（ツカル）　深浦　黒石　城関　津軽　岩崎　良岡　小浜　小泊　大川　新城　堤田　二ツ小　小白　北浜　松前　行所

陸奥　廿八

宇多（ウタ）　中村　駒峯　東海郡
伊具（イク）　小森　角田　舟岡　国中
本吉（モトヨシ）　十三濱　津谷　柳津　東海郡
石川（イシカハ）　竹貫　浅川　国中
大沼（オホヌマ）　野尻　大倉　眼沢　越後界
斯波（シハ）　郡山　国中一郡

宇山改[磐城]

陸奥　廿九

磐前（イハサキ）　湯本　[湯谷]　ワタト　東海郡
磐城（イハキ）　[平]　小名　久濱　東海
伊達（ダテ）　新館　松沢　梁川　国中
閉伊（ヘイ）　遠野　宮田　十布ノスカ瀬　東海
桃生（モノフ）　湊　東ノ出崎小郡
氣仙（ケセ）　竹駒　廣蒸　東海
楢葉（ナラハ）　木戸　上河内　東海
田村（タムラ）　[三春]　守山　蓬田　国中
磐手（イハテ）　岩鼠　大南部　八六　温泉　鶯宿梅　羽界
二戸（ニノヘ）　ブ戸　金田市　国中
三戸（サンノヘ）　浅水　五戸　六ノ戸　[八ノ戸]　北海ニ寄
九戸（クノヘ）　久慈　三崎　[斗南]　北海ニ寄

北郡（キタコホリ）　傳法寺　[七戸]　野辺地　小仏　田名部　大尾崎　九サク泊　佐井　外南部　北海松前ニ向

舊有糠麻　長岡　新田　小田ノ四郡今省之而加楢葉
田村　磐手　二戸　三戸　九戸　北郡ノ七郡ノ
又河内　大名門　郡載　金原　星河　高野　稲我ノ
七郡　界　未考
延喜式有三十五郡無大沼郡和名鈔ニ為三十六郡ト

出羽國

舊十一郡
今十二郡

出羽国ヲ分割シテ羽前羽後ノ二国ト為[illegible]

出羽　三十一

最上（モガミ）　[illegible]　[illegible]　[illegible]　清水　相貝　[illegible]　[illegible]
村山（ムラヤマ）　長瀞　上ノ山　[illegible]　[大石田]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　海盤　小口　奥界
置賜（オイタマ）　[illegible]　[illegible]　[illegible]　赤湯　小岩沢　蔵王　小坂　[illegible]　[illegible]　[illegible]　越後界
雄勝（ヲカチ）　院内　湯沢　小野小町古跡　奥界
平鹿（ヒラカ）　横手　国中ノ小郡
山本（ヤマモト）　角館　生保内　金沢　六郷　大田　刈和野　田沢　上檜内　奥界
飽海（アクミ）　亀カサキ　田麦畑　志津　九関　清川　山寺　[松山]　坂田　小砂川　吹浦　湯殿山　羽黒　鳥海山　西海ニ向

飽海[illegible]
[illegible]

[illegible]改[illegible]

[illegible]

豊島 トヨシマ　吸　国中山ニ小郡

田河 タカハ　尾国　鼠峠　梅端ノ小郡

秋田 アイタ　[illegible]　大久保　森岡　篠原　[illegible]　小長　川上場　[illegible]　今泉　男鹿島　西海出崎郡

檜原 ヒハラ　[illegible]　八森　岩部　[illegible]

由利 ユリ　[illegible]

今増檜原由利ノ二郡　舊有出羽郡今省之

豊島一名田河是郎

若狭國　三郡

遠敷 オニフ　[小濱]　中村　[illegible]　日笠　熊川　井　[illegible]　江丹ノ界

大飯 イイ　本郷　青戸　高濱　笠原　川上　丹波丹後界

三方 ミカタ　佐垣　[illegible]田　氣山　三方　越前界

越前國　舊六郡　今十郡

敦賀 ツルガ　敦賀　山中　[illegible]　[illegible]　湯川　[illegible]原　常宮浦　江若界

敦賀改[illegible]

丹生 ニフ　府中　上鯖江　宿浦　今宿　西海ニ向郡

今立 イマタテ　ヌルミ　[鯖江]　江美界山郡

足羽 アスハ　[福井]　浅水　舟橋　西海ニ向

大野 オホノ　[大野]　勝山　市原　野原　加美飛ノ界

坂井 サカイ　松葉　南[illegible]ヨリ流ル　今ハ鬼女川下　西北海ニ向小郡

南條 ナンデウ　府波　脇本　湯尾　今庄　二屋　河野　板取　江界ヨリ海ニ出

今北 イマキタ　アサフ　美界小郡山ハカリ

吉田 ヨシダ　松岡　竹田　丸山　永平寺　加界

坂北 サカキタ　[丸岡]　長崎　三国　金津　細呂木　吉崎　加界北海ニ向

今加南條今北吉田坂北四郡　舊有黒田池上柵田三郡今省之界不考

加賀國　四郡

江沼 エヌマ　[大聖寺]　立花　イリ橋　作見　山中　大内　下瀬　越前界ヨリ海ニ至

能美（ノミ）　小松　安宅　湊　月津　寺井　海辺ヨリ山ニ掛ル郡

加賀（カヽ）　一乗寺　竹橋　津幡　森下　能越中界

石川　金沢　泉寺町　野々市　松任　柏野　水島　木滑　剣　新谷　湯下　折　尾富根山　白山　越中界ヨリ海ニ貫

能登國　四郡

羽咋（ハクヒ）　味守　河尻　今浜　一宮　福浦　阿武浦　加界ヨリ西海ニ向

能登（ノト）　七尾　柳浦　大野木　佐波　東海向郡

鳳至（フヽシ）　道下　鳳至　輪島　河井　小田屋　時国　宇出津　由井　東海ヨリ西北ノ海ニ貫

珠洲（スヽ）　飯田町　正院町　三崎　東北ノ海ヘ出崎郡

能登郡　一ニ曰鹿島郡ト

越中國　四郡

礪波（トナミ）　西赤尾　城端　小股　今石動　一ノ岡　庄　福光　佳井　加界

射水（イミヅ）　三ノ戸田　小杉　下村　大渡　氷見　高岡　股村　能界

[illegible]

婦負　高尾　飛界山小郡

新川　[illegible]川　[illegible]　四カケ　[illegible]川　西水橋　[illegible]　[illegible]　伏拝　タヲサイ坂　富山　[illegible]原　[illegible]　滑川　魚津　三日市　[illegible]山　舟見　泊　堺町　立山　同社　越後界

越後國　舊七郡　今八郡

頸城（クビキ）　高田　鬼谷　能生　名立　有馬川　長浜　今町　[illegible]　[illegible]　松崎　関田　関山　山洞　市振　遠海　関川　信越中界

古志（コシ）　妙見　ソナヤ　長岡　見付　長沢　大白川　国中郡

奥州阿賀沼郡ニ入込　會津川下ヘ津川　湯口共外十三ヶ村有

三島（ミシマ）　山田　弘智法印古セキ　与板　非海小郡

魚沼（ノヲノ）　浅見　三股　湯沢　塩沢　赤沢　五日市　堀内　上奥界

蒲原（カンハラ）　黒水　村松　栖目木　芝山　荒屋　カチ　中条　新発田　五十マキ　フレヤ　黒川　三日市　奥界

沼垂（ヌタリ）　弥彦　赤塚　新浮　沼タリ　松崎　篠口浜　桃崎　北海端通細長郡

石船（イハフチ）　黒川　ヒラ　村上　瀬波　武動　大沢　大股　羽界

苅羽（カリハ）　鯨波　柏崎　椎谷　石地　出雲崎　妙法寺　国中西海ニ向

今加茂羽郡

佐渡國　三郡

羽茂（ハモチ）　小木　金山　赤岩　赤泊　城山　高崎　佐渡　東海辺ヨリ細長南ノ山崎

雑太（サハタ）　羽田　樹川　石花　二見　沢崎　（カタヘ）町　西南郡

加茂（カモ）　文相　小田　鷲崎　吉井　金北山　大野　順徳院陵　水津　湊　夷　北海向郡

丹波國　六郡

亀山改　亀岡

桑田（クハタ）　本目　鳥羽　亀山　穴太　板橋　城摂界丹若（モカル）

船井（フナイ）　園部　須知　檜山　水石　下関　国中郡

多紀（タキ）　篠山　市原　古市　福住　杉井　摂界

氷上（ヒカミ）　笛田　小高　追入　柏原　遠坂　国中ヨリ但播界　至

天田（アマタ）　福知山　生野　国中

何鹿（イカルカ）　綾部　物野辺　梅迫　山家　丹後界

田辺改[舞鶴]

丹後國　五郡

加佐（カサ）　由良　川尻　中山　市場　松尾　[田辺]　[illegible]

與謝（ヨサ）　仏谷　加悦　岩屋　引木　[illegible]岬　水江浦島　[illegible][宮津]　[illegible]　但馬ヨリ東北海濱

丹波（タンバ）　御坂　[峰山]　[illegible]　国中

竹野（タカノ）　夕日　[illegible]　西北海辺小郡

熊野（クマノ）　[illegible]

丹後什四　三十六

丹後郷[illegible]

但馬國　八郡

朝来（アサコ）　[illegible]　播界

養父（ヤフ）　[illegible]　国中ヨリ播界ニ至

出石（イヅシ）　岩井ヘ山下　[出石]　太谷　久畑　大河内　出谷　藤森　丹波丹後界

氣多（ケタ）　三原　松岡　国中

[村岡]

城崎（キノサキ）　ヘ豊岡　森津　ヘ湯島　温泉　氣比　丹後界

美含（ミクミ）　余部　矢田　矢坂　北海郡

二方（フタカタ）　湯村　諸寄　同界西北海辺

七美（シツミ）　大久保ヘ　福岡ヘ　村岡ヘ　百姓町　和田

因幡國　舊七郡　今八郡

法美（ホフミ）　サンウ谷　百谷　山根　上地　但界

但馬因幡　三十七

八上（ヤカミ）　河上ヘ　舟岡ヘ　徳谷町　袋原　荻野　水谷　国中ヨリ作伯界ニ至

智頭（チヅ）　野帰　鷹野　作界

邑美（オウミ）　[鳥取]　安国　吉川　国中ヨリ北海ニ向

高草（タカクサ）　吉岡　尾崎　田里　加留　国中ヨリ北海ニ向

氣多（ケタ）　田原　[illegible]　青座ヘ　青屋町　[鹿野]　伯界

八東（ヤトウ）　福井　安井　徳丸　若桜　吉川　計来　落折　但播界

岩井 湯町 細川 浦住　但馬海ニ向

舊有臣農郡今省之而加八東岩井二郡

伯耆國　六郡

河村 穴鴨 [illegible] 本泉 長瀬 吉原 [illegible]　作因界東海ニ向

久米 湯関 倉吉町 吉川　作界東海ニ貫

八橋 今西 八橋野 赤塚 夕子 八橋町　作界東海ニ貫

汗入 本宮 日原 逢坂 淀江　作界北海ニ貫

會見 米子 二部 [illegible] 舟上 外江　雲界出北海出崎

日野 生山町 多里 黒坂 溝口 根雨 坂屋原 番掛 三平 木谷　作備中後雲ノ四国ニ接ス

出雲國　十郡

意宇 三日市 湯町 [illegible]川　湖水ニ入江属ス

能義 廣瀬 母里 八幡　伯界

島根 松江 雲津 三保関　東北ノ出崎

秋鹿 塩津 佐田　北海ニ湖ニ貫 [illegible]

楯縫 平田 十六島　石ニ面郡

出雲 [illegible] 京城 [illegible] 宇龍 日御崎社　西北海ニ出ル

神門 奥田儀 [illegible] 山口 今市　石界ノ郡

飯石 [illegible] 掛合 [illegible]　備後界

仁多 堅田 横川上 長谷原　備後界

大原 諏訪　国中小郡

石見國　六郡

安濃 川合 吉永 [illegible]　雲界

邇摩 福田 萩町 仁万 宅野 [illegible]

那賀 濱田 今市 三隅 周布 小濱 長浜 長濱 江田町　乗越日山ニ貫

邑知（オホチ） 市木 日貫 中野 久喜 大林 百石 藝界

鹿足（カノアシ） 津和野 日原 直坂 根道 柳瀬 門長藝三國界

美濃（ミノ） 眞砥 益田 高津山 津田 藝界 西北ノ兵貫

隠岐國 四郡

知夫（チブリ） 知夫 中ノ島 別府 所々 郡ノ小島也

海部（アマ） 北方 後島 別府 古 同社 一郡ノ小島也

周吉（スキ） 湊 府中 津井 東南北出巣

穏地（ヲチ） 都万 西北

播磨國 管十二郡

明石（アカシ） 明石 大久保 大倉谷 攝及淡路島ニ向

賀古（カコ） 高畑 野口 土畑 南海小郡

三木（ミナキ） 北荻原 攝界

赤穂（アカホ） ［赤穂］ 東有年 西ウ子 備前界

佐用（サヨ） ［三日月］ 佐用 平フ 作界小郡

多可（タカ） 野村 捻社 丹但界

揖西（イホノニシ） ［龍野］ 室津 片島 正条 千本 赤穂ニ並郡

揖東 新宮 ［林田］ 石倉 山田 揖西ニ並

餝西（シカマノニシ） 手野 書写山 揖東神西ノ間ニ細長シ

餝東 餝万津 ［姫路］ 御着 南海ニ向

神西（カンサキ） 真弓 但界

神東 ［福本］ 粟加 国中

賀西（カモニシ） 法花山 八ツ宮 但界

賀東 ［小野］ 坂本 ［三草］ 丹界

印南（イナミ） 稲泊 志方 加古川 高砂社 曽根社 石宝殿 南海郡

御調（ミツキ）　尾道　三原　藝界南海向

世羅（セラ）　甲山　藝界

三谿（ミタニ）　吉舎　国中

三次（ミヨシ）　三次　藝石雲三国界

安藝國　八郡

山縣（ヤマカタ）　大塚　有田　石界

備後　安藝　四十六

佐西（サイ）　小方　玖波　宮内　草津　宮島　防界南海向

佐東（サトウ）　宮島　南海郡

安北（アキタ）　可部　上深川　国中

安南　海田市　廣島ニ並

高田（タカタ）　吉田　石備後界

賀茂（カモ）　西条　音頭島也　南海

吉野（ヨシノ）　安拔　因播界

今ノ米　勝田　各分南北ヲナシ加吉野郡

備前國　舊八郡　今九郡

和氣（ワケ）　畠田町　伊部　新町　片上　八木山　三石　作播界

磐梨（イハナシ）　畠田　国中

邑久（オホク）　牛窓　神崎　正浦　山田　笠加新町　南海郡

備前　四十三

赤坂（アカサカ）　白石　ナイ町　作界

上道（ツミチ）　駅町無之　国中郡

上東（カミツ）　西大寺　藤井　上道ニ

御野（ミノ）　岡山　大島井　国中

津高（ツタカ）　金川　建部　備中界細長ク通ル郡

児島（コシマ）　下津井　藤戸　常山　此郡備前地ヲ離レ備中ニ續　岡山ヨリ汐向島也

今増 上東郡

備中國 舊九郡 今十郡

- 都宇（ツウ） 、子島 備前児島郡ニ隣ス郡
- 窪屋（クボヤ） 倉敷 、浦 河辺 南海向
- 加夜（カヤ） 宮内 [二]足守 、大井 備前界
- 下道（シモツミチ） 高山 、川本 、大井 、山田町 国中

備中 四十四

- 浅口（アサクチ） 黒崎 窪屋ニ並南海向
- 小田（ヲダ） 笠岡 、笠岡町 国中
- 後月（シツキ） 七日市 高屋 備後界
- 哲多（テタ） 成羽 青木 、大佐山 備後伯界
- 英賀（アカ） 長尾 、弓弦 、刑部 作界
- 上房（カミツフサ） 松山 平川 国中

松山改 高梁

今加 上房郡

備後國 十四郡

- 安那（ヤスナ） 駅町無之 備中界
- 深津（フカツ） 福山 神辺 備中界東南海向
- 神石（カメシ） 駅町無之 国中郡
- 奴可（ヌカ） 東條 伯界

備後 四十五

- 沼隈（ヌノクマ） 鞆津 、鞆町 南海郡
- 品治（ホンチ） 駅町無之 国中
- 葦田（アシタ） 駅町無之 国中
- 甲奴（カウヌ） 駅町無之 国中
- 三上（ミカミ） 、庄原 国中
- 恵蘇（エソ） 駅町無之 雲界

御調　尾道・三原　藝界南海ニ向

世羅　甲山　藝界

三谿　吉舎　國中

三次　三次　藝石雲三国界

安藝國

八郡

山縣　大塚・有田　石界

佐西　小方・玖波・宮内・草津・宮島　防界南海向

佐東　廣島　南海郡

安北　可部・上原　國中

安南　海田市　廣島ニ並

高田　吉田　石備後界

賀茂　西条・音頭島也　南海

沙田　忠海・又本郷　備後界

周防國

六郡

大島　大島　一郡ノ島也

熊毛　室津・室積　南海郡

玖珂　廣七・高森・玖珂本郷・下瀬・岩国・錦見橋　東海向

都濃　徳山・夜市・富田・下松・花岡・峠市・今市・奥ノ町　國中

佐波　宮市・富海・仁保　國中

吉敷　山口・小郡・小股・宮市・大海　長界

長門國

舊六郡　今八郡

厚西　吉田本郷・厚狭　南海ニ向

厚東　舟木・山中・船木・宇部　防及南海

豊西　川棚　西海ニ向

長府政 豊浦

豊東（トヨヒガシ） 下ノ関 長府 清末 外（卯）月 西山中 南海ニ向

大津（オホツ） 狭山 正明市 中村 西北海ニ向

美禰（ミネ） 大嶺 長登町 国中ヨリ防界ニ至

阿武（アム） 萩 三見 大井 木与 総江 須佐 江崎 下田方 明水 生雲 佐波 阿武松原 石防界北海ニ向

豊田（トヨタ） 西市 鳴戸 西海ニ向

今厚狭豊浦各分東西ヲ 舊有見島郡今省之ヲ加豊田郡

紀伊國

七郡

伊都（イト） 廣口 大畑 大野 橋本 充 二草院 拆谷 花坂 高野山 和河界

那賀（ナカ） 志賀 大津 高野辻 粉川寺 根来山 泉界

名草（ナクサ） 和歌山 八軒屋 岩手 泉界

海部（アマ） 加田 粟島社 和哥浦 紀ノ川 有田郡ヲ越テ六七郷在家此郡ニ属 西北海ニ向

在田（アリタ） カモ谷 ヒヽリ山 和界ヨリ細長ク海ニ貫

世粟島ハ名草郡ト云傳有氏海部郡ニアリ 尚土地人ニ尋テ宜可考

日高（ヒタカ） 印南 小松原 日高川 道成寺 在田ニ並

牟婁（ムロ） 田辺 近正 栽心門 長宮 泉式部 白川 湯ノ塔 請川 小口 富山 阿瀧 ミロツ 里浦 有田浦 塩見崎 宇ラカ ツクイ 那智山 ミワサキ 三熊野社 有馬 新鹿 三鬼 ツワレ 馬瀬 新宮 カウ村 伊和界ヨリ東南西ノ海ヘ貫紀ノ国七分郡也

淡路國

二郡

津名（ツナ） 須本 由良 竹口 クヽ原 岩屋 上ノ田 都志 接播向

三原（ミハラ） 三原 松本 福良 穴川 鳴戸 阿波ノ向

阿波國

舊九郡 今十一郡

阿波（アハ） 駅町 讃界小郡

美馬（ミマ） 駅町無シ 土界ヨリ讃界ニ貫

三好（ミヨシ） 大西町 佐野 豫讃ノ界

麻殖（オエ） 多野 麻殖東西 国中ヨリ土界ニ至

名東（ナヒカシ） 徳島 ソツモト 東海郡

名西　国中

勝浦　勝浦　小松島　東北海ニ向

那賀　島ノ〔ノ〕へ　富岡町　椿泊　東海ニ向

板東　木津へ　吹田　大坂　岡崎　大小鳴戸　淡路ニ向

板西　駅町無シ　讃界

海部　陳喰　宍本へ下モ町　中村　土佐ヨリ南海ニ至

今増　海部郡而　板野ヲ分東西ニ

讃岐國　舊十一郡　今十二郡

大内　坂本　引田　窪羽　阿波東海ニ向

寒川　人窪　志度　阿界ヨリ北海ニ貫

三木　駅町無シ　五剣山　八栗山　阿界ヨリ北海貫

山田　武例　攔ノ浦　八島　次信墓　向ニ小豆島アリ　国中ヨリ北海ニ至

香東　高松　矢原　阿界北海ニ至

香西　香西　国中ヨリ海ニ至小郡

那珂　丸亀　金毘羅　多度津　白方　上村　阿界ヨリ西海ニ至

阿野　ハウ埼　崇徳院陵　阿界ヨリ備海ニ向

三野　下麻　本山　弥谷　阿界ヨリ西海ニ向

多度　屏風浦　多度津　小郡

刈田　ミノ浦　阿豫界

鵜足　駅町無シ　那珂郡ト並国中ヲ横キリ

今分香川東西ニ

伊豫國　十四郡

宇摩　長洲　ヨキ　土阿讃界ヨリ東海向

新居　西条　大山祇社　三島　大町　土界ヨリ東海ニ向

周敷（スフ） [小松] 右同

桑村（クハムラ） 駅町無之 小郡

越智（ヲチ） [今治] 新田長助墓 国中ヨリ東海向

野間（ノマ） 宮崎ハナ 五六ヶ村限リ 今治並小郡

風早（カサハヤ） 北条 小郡

和氣（ワケ） 三津 小郡

温泉 [松山] 道後湯 小郡

久米（クメ） 駅町無之 国中小郡

浮穴（ウキアナ） 隈町 上東小郡

伊豫 小川 イヨノ冨士山小ヲ也 出北海向小郡

喜多（キタ） [大洲] 長濱 [新谷] 田子 宇和浮穴間有郡

宇和（ウワ） [宇和島] [吉田] 吉田 城下町 上東出南海向

土佐國 七郡

安藝（アキ） 田野 竹セシキ 安田川 奈川 北悲 東寺 山寺 阿界

香美（カミ） 宅田 別府 胸部川 阿界

長岡（ナカヲカ） タチサキ 本山 豫界

土佐 [高知] 寺川 豫界

吾川（アカハ） 池川 国中ヲ抜キ小郡

高岡（タカヲカ） 焼山 花山帝陵 与カヤ 与津 窪川 ヲハラ 右ニ同

幡多（ハタ） 下山 宿毛 中村 伊田 南出崎

筑前國 十五郡

怡土（イト） 吉井 深江 肥界小郡

志摩（シマ） 今宿 怡土並出崎

早良（サハラ） 比ノ松原 [福岡] 志ノ二而

那珂（ナカ）　博多　箱崎　八幡社　　早良福岡ニ並

席田（ムシロタ）　青柳　外二ケ村　　国中小郡

糟屋（カスヤ）　駅町無し　香椎宮　　箱崎ニ並出崎

宗像（ムナカタ）　赤間　吉ミ川　鐘岬　　北ハ出崎

鞍手（クラテ）　初瀬　此一村限　　小郡

嘉麻（カマ）　大隈　　豊前界小郡

穂波（ホナミ）　此郡山ノ内ニテ新二ケ村　　国中

上座（カミツアサクラ）　駅町無し　二ケ村限　　豊前後筑後三国界ニテ小郡

下座　駅町無し　　筑後界秋月ニ並

御笠（ミカサ）　宰府　天神社　　肥前筑後界

遠賀（ヲカ）　木屋瀬　黒崎　　豊前小倉界

夜須（ヤス）　[illegible]　野町　　筑後界

筑後國　十郡

御原（ミハラ）　松崎　　肥前筑前界

生葉（イクハ）　熊山　高井岳　山ハカリ在郷無し　　筑前豊後界

竹野（タケノ）　福ワク　一ケ村山ハカリ　　筑前界

山本（ヤマモト）　浦村　チヤ　山ハカリ　　筑前界

御井（ミイ）　田主丸　吉井　十ケ村山斗　善通寺　　筑前界

三潴（ミムマ）　酒見　久留米　散久　　筑後川ヲ境テ肥前界

上妻（カムツマ）　村米　山ハカリ　　国中

下妻　内屋　矢部川　　肥後界

山門（ヤマト）　江浦　柳川　　西南海向

三毛（ミケ）　駅町無し　　肥後界西南海ニ向

豊前國　八郡

小倉以下豊前

田河（タガハ）　猪膝　一岳山権現　山がヽり　筑前界

企救（キク）　川原市　ゆかり　[小倉]　内裏　門司　筑前界長門内海向

京都（ミヤコ）　刈田　山　さゝき天神　企救ニ並郡

仲津（ナカツ）　山がヽり二ヶ村　彦山ヨリ出川郡中ヲ二流　国中細ク長シ

築城（ツイキ）　山がヽり　在郷無し　国中

上毛（カミツケ）　松江一村限　高瀬川　下毛ニツヽク郡

下毛（シモツケ）　[中津]　大郡也　山がヽり二ヶ村アリ　豊後界ヨリ海ニ貫

宇佐（ウサ）　森沢　宇佐　八幡社　豊後界

豊後國　八郡

日高（ヒタカ）　梅野　豆町　隈町　日田　肥後筑前後豊前四国掛然ル小郡也

球珠（クス）　[森]　豊前界ヨリ肥後界ヘ貫小郡

直入（ナヲイリ）　白丹町　久住　竹田　岡　田代　岩戸川　肥後界

大野（オホノ）　[岡]　駅町無し　舟岡川　国中小郡

海部（アマベ）　[佐伯]　板関　[臼杵]　トマ一岬　西浦　蒲戸　長目　左志生　日界ヨリ南海至

大分（オホイタ）　[府内]　今市　ノウ原　ツルサキ　国中入江際

速見（ハヤミ）　[日出]　[杵築]　豊前界ヨリ入江貫

國崎（クニサキ）　ムサシ　松尾　竹田　豊前界ヨリ南北ノ海ニ出ハル

肥前國　十一郡

基肄（キイ）　二ヶ村　筑界小郡

養父（ヤフ）　中原　外二ヶ村　筑界小郡

三根（ミネ）　二ヶ村　国中小郡

神崎（カンサキ）　[蓮池]　外二ヶ村　筑後川ニ添テ小郡

佐嘉（サカ）　[佐賀]　東海ニ向

小城（ヲキ）　牛津　[小城]　以上六郡一処ニ有各小郡也　佐賀ニ並

杵島（キシマ）　園木　塚崎　東入江ヨリ北ノ入江ニ貫

松浦（マツラ）　［唐津］　大川原ヘ　名ゴヤ　志佐ヘ　田平　［平戸］　九ヶ泊
五島　［福江］　トミエ

平戸ハ一島也　五島ハ東島西島奈留島瓢島福江也
唐津地ハ筑界ヨリ北海ヘ出張田平ノ北ハ唐津ノ入江ヲ離ヲ平戸ニ向

藤津（フチツ）　［鹿島］　東海

彼杵（ソノキ）　嬉野　［大村］　長井　大浦　野母
長崎　西海ニ向テ南ヘ張出ス

高來（タカキ）　［島原］ヘ　諫早　鳧　水月　早サキ
陸続テ一方口ノ如ノ島　東ニ張出ス

肥後國

舊十四郡
今十六郡

玉名（タマナ）　南関　筑後界海ニ向

山鹿（ヤマカ）　山鹿　筑後界

菊池（クヽチ）　駅町無レ　豊筑界

阿蘇（アソ）　板川　大里　豆原
阿ソノ宮　日豊後界

合志（アハシ）　内牧ニ　国中

［高瀬］

山本（ヤマモト）　駅町無ニ四ヶ村　国中

飽田（アイタ）　［熊本］　海付小郡

詫麻（タクマ）　駅町無ニ五ヶ村　国中

益城（マシキ）　駅町無ニ　緑川　国中

宇土（ウト）　［宇土］　飽田ニ並

八代（ヤツシロ）　［八代］　以上十一郡各小郡也　宇土ニ並

天草（アマクサ）　魚貫　志岐　廣瀬
上岐上下　一郡島也

葦北（アシキタ）　佐敷　水股　薩界天草ニ向

球磨（クマ）　［人吉］　白水　日界

米良（メラ）　山ハカリ六ヶ村　日向ノ入込郡也

五家（コケ）　山ハカリ三ヶ村　日界

今加米良五家二郡

日向國 五郡

臼杵(ウスキ) [延岡] 土々呂 細島 三江野 岩ノ山(?) 川内 七山　豊後肥後ニ接ス(?)

兒湯(コユ) [高鍋] 富田(?) 美々津(?)　肥後ニ海ニ貫

那珂(ナカ) [飫肥] 油津 宮浦 本郷 [佐土原]　東海ヨリ南海ニ廻

宮崎(ミヤサキ) 北方 宮崎 住吉(?)神社　國中

諸縣(モロカタ) 本庄 加治木(?) 野尻 花堂 西ノ(?)久保　他(?)國ニ至ル(?)

大隅國 八郡

菱刈(ヒシカリ) 三ヶ村(?)限　日薩界

桑原(クハハラ) 宮内 鹿兒島ノ社　日ト薩トノ間

噌唹(ソヲ) 國府　日界

大隅 垂水 大波(?) 竹浦 大泊　南出崎

姶羅(アイラ) 梶木 服(?)本　薩界

肝屬(キモツキ) 内浦 柏原　東出崎

馭謨(ゴム) 宮浦　一郡屋久島ト云

熊毛(クマケ) 赤尾木　一郡種子島ト云

薩摩國 十三郡

高城(タカキ) 高城 京泊 八ツノ町 西眉(?)　西海ニ向

薩摩 市來 串木(?) 向田 水引 川内川 羽島岬　隅界ヨリ西海ニ貫

甑島(コシキシマ) 上甑島 外二島　一郡三島也

日置(ヒオキ) 伊集院　西海

伊作(イサク) 大口 一伊作ト云　日肥隅界

阿多(アタ) 阿多　極小郡河辺ニ添

河邊(カハヘ) 大浦 片浦 坊津　南西出崎

頴娃(エノ) 大川 海門岳　南海

揖宿（イフスキ）　宮ハマ　東海

給黎（キヒレ）　駅町無シ　東海

谿山（タニヤマ）　二ケ村限山　鹿児島ニ並

出水（イツミ）　米津　出水　高尾野　長島　阿久根　肥後界天草ニ向

鹿児島（カコシマ）　[鹿児島]　入来　向島　隅界東海ニ向

壹岐國　二郡

壹岐　[勝木]　呼子松原　北ノ方

石田（イシタ）　芦辺　八ヨシサキ　湯浦　郷浦　坪浦　タキ　南方

對馬國　二郡

上縣（カミツアガタ）　豊浦　鴬浦　鰐浦　佐須奈　大津　鳥　北ノ方

下縣　[府中]　佐須　大浦　ヒタリ　九鬼崎　南ノ方

府中改［厳原］

皇國郡名志　畢

皇國郡名志附録

東京　桂華園主人　補輯

明治二己年八月蝦夷ヲ割割シテ十二國ト為ス北海道ト改稱ス

渡島(ヲシマ)國　七郡

亀田(カメダ)　箱舘港　シヽ　汐クビ　シリキシナイ　恵山　サフ川　有川　陸奥北郡ニ向フ

茅部(カヤベ)　サハラ　ウスシリ　オカタ内　モリ　ノタヲイ　カヤヘ　駒岳　東海岸

上磯(カミイソ)　サッカリ　ナコナイ　トウベツ　ヤキノイ　モヘシ　北郡ニ向フ

福島(フクシマ)　白神　シリ内岳　ヨシヲカ　陸奥津軽郡ニ向

津輕(ツガル)　松前港　サツマヘ　エラマチ　キヨベ　アラヤ　小島　同

檜山(ヒヤマ)　舘藩　江刺港　上ノ國　オトベ　オモナイ　トップ　大島　西海岸

爾志(ニシ)　クマ石　ヒトト内　トマリ川　同

後志(シリベシ)國　十七郡

後志界

久遠(クドウ)　太田山　同

奥尻(オクシリ)　アヲ内　寉カケ　離島

太櫓(フトロ)　大夕　フトロ　西海岸

瀬棚(セタナ)　トシベツ　同

島牧(シママキ)　シライト　モッタ　同

壽都(スッツ)　寿都港　ヲタノシケ　同

歌弃(ウタスツ)　同

磯屋(イソヤ)　シリベツ　西海岸

岩内(イハナイ)　シリフカ　岩尾岳　同

古宇(フルウ)　ウスベツ　サ子内　同

積丹(シヤコタン)　ライキシ　西北海岸

美國(ビクニ)　チヤシナイ　北海岸

古平(フルヒラ)　ヘロカルシ　同

余市（ヨイチ）　サヽ小ヤ　同

忍路（ヲシコロ）　同

高島（タカシマ）　手宮港　同

小樽（ヲタル）　カツ内　ゼニバコ　シユマ岳　同石狩界

石狩國（イシカリ）九郡

石狩（イシカリ）　モツプイ　イシカリ川　西海岸

札縨（サツポロ）　ハツシヤフ　ツイシカリ　後志膽振界

夕張（ユウハリ）　モユウハリ　シユウハリ　膽振界

樺戸（カバト）　ホハカ　シヘツ　フガチ山　空知ニ隣

空知（ソラチ）　ソウレ　アシ別　国中

雨龍（ウリウ）　シユマサン内　カモイコツレ　天塩界

上川（カミカハ）　サンケソマ内　アイベツ　石カリ岳　十勝北見天塩界

厚田　ヲシヨロコツ　西海岸

濱益　コキヒル　ホツクンベツ　同天塩界

天鹽國（テシホ）六郡

増毛（マシケ）　カムイエト　ホロ泊り　シヨカンベツ　ヘツカリ　同石狩界

留萌（ルヽモヘ）　セタベツ　ウレヤ　ヲヘラシベツ　同

苫前（トマヽイ）　ホロ別　ハホロ　天売島　柳尻島　同

天塩（テシホ）　ワツカシヤク内　フウレベツ　サルベツ　同北見界

中川（ナカガハ）　シユホロ　アスシ内　国中北見界

上川（カミカハ）　ナヨロ　ケチフト　テシホ岳　同北見石狩界

北見國（キタミ）八郡

宗谷（ソウヤ）　ハツカイ　ソウヤ　トマリナイ　シヤースイ　北海岸天塩界

利尻（リシリ）　ウエンベシ　コトンドマリ　離島

禮文（レブンシリ）　ヤンハヨマナイ　キナウシ　チセホヤニトマリ　同

枝幸（エサシ）　ホロベツ　チカフトムシ　北海岸

紋別（モンベツ）　モンベツ　ユウベツ　同

常呂（トコロ）　ミヽロ　同

網走（アバシリ）　アバシリ　同

斜里（シヤリ）　ミヤリ　ユウナイ　イワヲ岳　チヤノ岳　東北海岸根室界

膽振國（イブリ）　八郡

山越（ヤムクシ）　クンヌイ　ヲシヤマンベ　ユウラプ　東海岸渡島界

虻田（アブタ）　ヌワキベツ　ミツカリ　フレ内　同

有珠（ウス）　サルベツ　イマリマリプ　同

室蘭（モロラン）　エトモ　チマイベツ　同

幌別（ホロベツ）　メフレベツ　ワスベツ　同

白老（シラオイ）　ヘツベツ　クルマイ　タルマイ岳　同

勇拂（ユウフツ）　アツマ　山川　同日高界

千歳（チトセ）　チトセ川　国中石狩界

日高國（ヒダカ）　七郡

沙流（サル）　モンベツ　サルフツ　南海岸膽振界

新冠（ニイカツプ）　レボク　シンヌフ　アツベツ　同

静内（シヅナイ）　シビチヤリ　フシ　モンベツ　ミヤマツケ岳　同

三石（ミツイシ）　ケリマフ　同

浦河（ウラカハ）　ムコベツ　ホロベツ　同

様似（シヤマニ）　シヤヽシベツ　ウトコベツ　ウヌシコヘ　同

幌泉（ホロイヅミ）　幌泉港　ニカンベツ　ヲタベツ　サルヽ　アフラコマ　エリモ岬　トウフチ岳　ソウヤ　同十勝界

十勝國（トカチ）　七郡

廣尾（ヒロヲ）　ヒホロ　ラツコ　ヒタヽヌンケ　ラツコ岳　東海岸日高界

當縁（トウブイ）　ヘルフ子　モヘベツ　同

上川（カミガハ）　トカチ岳　国中石狩北見界

中川（ナカガハ）　トレベツ　ウラホロ　同

河東（カトウ）　同　釧路北見界

河西（カセイ）　ルウナシ　カモイ岳　同　石狩日高界

十勝（トカチ）　ウラホロ　トカチ川　東海岸釧路界

釧路國七郡

白糠（シラヌカ）　レヤクベツ　チユク別　ワツテ　シヨロヘ　同　十勝界

足寄（アシヨロ）　リツシ別　国中十勝界

釧路（クシヨロ）　ヲタノシケ　カワラコイ　東海岸

阿寒（アカン）　アキベツ　ヲホロ　国中

網尻（アバシリ）　タツコフ　チマケフ　オアカン岳　同　北見界

川上（カハカミ）　タツチヤロ　マシウ岳　ニシヘツ岳　同

厚岸（アツケシ）　センハウジ　アトエカ　ホロト　アシリコタン　ヲツナヽ　大コク島　ケイノ島　東海岸根室界

根室國五郡

花咲（ハナサキ）　ノツヽヤフ　クンサラモナイ　フラルモイ　モユリ島　シユヨ丹島　同　釧路界

根室（子モロ）　子モロ　ハナサキ　ホニナイ　ムカマフ　トウレヤム　同

野付（ノツケ）　シユンベツ　ヘツカイ　同

標津（シベツ）　チウルイ　イシヤニ　チヤシユツ　ホニヲイ　同

芽梨（メナシ）　シレトコ　チニシベツ　サキユイ　クンチ別　ルシヤ　東北海岸北見界

千島國五郡

國後（クナシリ）　トマリ　チフ泊リ　チフカルフツ　ヤモヽ別　セヽキ別　アトイヤ　チヤシユツ　ナヤヽ岳　離島

擇捉（エトロフ）　シベツ　ナイホ　ラシ子別　ヘロタコイ　ルエヤロ　アレサ岳　四郡一島

振別(フレベツ)　マウレベツ　トリカマエ　ナイホ　ワツカレヤクチイ　ヲンネコタン　ヘフカレベツ　同

紗那(シャナ)　シリモイ　シヤナ　ナヨマイ　トウコヘ　トコツチヤ　ヘトフチ　ホーコヘ　サレウレ　チリツフ岳　同

蘂取(シベトロ)　マクヨマイ　レベトロ　ヒンネベツ　ヲンネ別　トカリウシ　エトヨウニ　モヨロベツ　モヨロ岳　同

樺太國(カラフト)　郡名未定

樺太國ハ唐太(カラフト)ト云フ文化六巳年ヨリ北蝦夷ト号ス明治二巳年八月ヨリ今ノ名ニ改ム

發行

書林

京都寺町通[illegible]馬場　堺屋仁兵衛
大坂心斎橋通南久宝寺町　伊丹屋善兵衛
仝　備後町　近江屋平助
仝　安土町　河内屋忠七
尾張名古屋本町三丁目　菱屋藤兵衛
仝　一丁目　菱屋平兵衛
東京日本橋通一丁目　須原屋茂兵衛
仝　二丁目　山城屋佐兵衛
仝　仝　須原屋新兵衛
仝　芝神明前　岡田屋嘉七
仝　仝　和泉屋市兵衛
仝　横山町三丁目　和泉屋金右衛門
仝　浅草茅町二丁目　須原屋伊八
仝　本石町二丁目角　[illegible]屋[illegible]兵衛

橘隆盛 撰

日本州名紀原

寛政十年（一七九八）江戸玉巖堂刊本

據寛政十年（一七九八）

江戸玉巖堂刊本影印

大日本國

乾道橘隆盛撰

刕名紀原

玉巖堂

千里必究　不許翻刻

州名紀原序

大やまとの昔ハ志賀高穴穂の帝の御宇
にして國郡のさかひを定め給ひ乃ち
はるかの後をへて太寳は飛鳥の帝の
御世にあたりて畿七の道をわかちたまひ
實に六十あまり六の國嶋々に
おほやけ事のよしあし文字の
それぞれの名を[illegible]

此くるゆへに國々の字のうちには或は
諸越の名によりてその我か國の
志たしける字のまゝはなはた見合の
ふみを攷ふへき論も多く字乃
なるは有りといへとも書ける
ものありけり諸羅の帝の御とのに
國名はみな二字を用ゐて好き字に
かきかへよと加えて三の字の國をも二字にまなし

まひまろ国をわかちてかくしるせる故中古よりよ
ひつきたる中ふたもの字を用ひあて今の字に
なしたる名のよみかた用ゐる物おほし　大和
近江　遠江　上野　下野のたぐひこれなり
おほかたは地名の風土記との字によれる
もの歟　出雲　肥後などの国の風土記のこれる
のみ残りたりて撰ぶにうしなひぬ
ものの名をおほかた一つにしるしぬわけ

いはゆる中に又しききその名をあつめ
そを正しおほむねをなつけて別名紀
序とも云　時に寛政九の年秋の夜中の夜
とりて毎のあまりの筆をとりて　行あそびの翁
たちかるの書かかりしよ

日本州名紀原

乾道橘隆盛撰

五畿内

日本紀曰孝德天皇二年春正月詔曰凡畿内者東自名墾横川以来南自紀伊國兄山以来西自赤石櫛淵以来北自近江狹々浪合坂以来為畿内云々後代以五國曰畿也田令義解曰畿猶疆也言王畿之内也東陽許氏云王者所居者地方千里謂之王畿亦作圻大明一統志作日本五圻七道四十二代文武天皇御宇分五畿七道

○山城上八郡舊事紀作山代或山背古事紀作山代五十代桓武天皇延暦十三年改山背為山城日本後紀曰延暦十三年十一月詔曰山河襟帶自然作城宜改山背國為山城國云々一説有生駒山背故云山背山背山陰謂也國名風土記曰山代物種蒔養所為代云々二十七代継體天皇五年被遷都當國筒城是當國帝都始也其後被遷所々至桓武天皇御宇都當國長岡後被遷平安城東海諸國記異朝之書曰山城州分為國都有山如城峻嶮自北而南東西囲抱云々

○大和大十五郡舊事紀作大倭古事紀作倭後漢書作邪麻堆職原句解曰大和名神代事起乎上代八大神窟峙糠戸神取天香山荒金作日矛鏡依奉慰御怒鮮鑿其金山跡國故名山跡神怒奉和故改大和拾芥抄曰天平勝寶年改大倭為大和續日本紀曰天平九年改大倭國為大養德國同十八年復改為大和國

○河内大十四郡舊事紀作凡河内古事紀作凡川内拾芥抄曰神護景雲三年十月以西京河内國為河内職同四年改職又為國此國有淀河内故曰河内國也

○和泉下三郡舊事紀曰和泉國造元河内國靈龜

元年割置茅野監則改為國元珍努官云々類聚國史曰元正天皇靈龜二年四月甲子割河内國大鳥日根和泉三郡始置和泉監延喜年付用之置和泉國云々國名風土記曰此國出泉故以為郡名後以郡名為國名云々皇朝世法録異朝之書作和景

○攝津上十三郡舊事紀曰攝津國造攘准法令謂攝津職初為京師桓武天皇御宇改職為國云々和名抄同之延暦十三年三月九日停攝津職為國司此國元名浪速國舊事紀曰神武天皇戊午年春二月丁酉朔丁未皇師即遂東舳艫相接方到難波之碕會有奔潮太急因以名浪速國亦曰浪花今謂難

波訛也或書曰字彙云攝静謐也漢書曰攝然天下安津湊津也言此國難波堀江天下着船津也帝都安泰之地也故曰攝津大和本記曰天孫與天探女乘天磐船徊翔而降停船于難波浦故名其地曰高津而國名攝津萬葉集角麻呂歌

久堅之天之探女之石船乃泊師高津者淺爾家畱香裳

予曰攝津不讀攝字而曰津國古實也圖書編異明之書作津州

東海道　就東方海邊行道也

伊賀下四郡舊事紀曰伊賀國造志賀髙穴穗朝成務御世武伊賀津別命定賜國造云々依名伊賀國乎同書曰難波朝孝德御世隷伊勢國飛鳥朝天武御世割置如故云々倭姫世記曰天武天皇庚辰歳七月割伊勢國四郡立彼國云々伊賀國風土記曰吾娥津姫命金鈴液知守國謂吾娥郡其後天武天皇御宇以吾娥郡分爲國之名按吾娥與伊賀音通後以郡名爲國名也魏志作爲吾

一伊勢大十三郡名伊勢故職原句解曰按國名出神代則其始尤遠依國津神伊勢津彦住處此國謂伊勢乎上古有此例往々云々諸書以此說爲能

一志摩下二郡舊事紀作島津魏志作斯馬風土記

抄曰志摩者和名也以伊勢島之意也放地出海中島也後爲國名云々日本釋名同之

一尾張上八郡舊事紀作尾治宋書脫尾字爲張尾張風土記曰神武天皇東征之時海部佩室臣奉射天皇天種子命以三角石弓及玉大羽々矢射秋佩室臣討殺海部氏姓因此号此國謂於波里乃國謂尾張者音訛也一說曰當國熱田明神自八岐大蛇尾割出劍也此劍留此國故曰尾張國云々

一參河上八郡舊事紀作三川風土記抄曰當國有三川一曰男川二曰豊川三曰矢作川是也故号三河國云々

一遠江上十三郡舊事紀作遠淡海風土記曰遠江始書遠淡海此國有大江自帝都遙遠故名遠江後世湖水決海水泝今号今切攝土記曰昔有此國湖水名猪鼻湖乎延喜式神名帳有猪鼻湖神社予按雖改遠江字元用遠淡海訓也

一駿河上七郡舊事紀作珠流河風土記抄曰昔書洲流河此國有葛級河等駿河故名日本釋名駿河駿川之畧語也此國有大井川阿部川富士川等駿川依号云々

一伊豆下三郡舊事紀曰孝德天皇御宇隷駿河國天武天皇御宇分置如故風土記抄曰伊豆者和名

也東相摸西駿河出其中間之國也故伊豆則出之
儀也又同書此國有温泉故名伊豆者泉下畧也又
日本釋名曰此國有駿河相摸中出海中國也故号
云々魏志作伊都
○甲斐上四郡續日本紀作歌斐兩朝平壤録異朝之書
作甲斐凡東國者上古未有國名自日本武尊東征
始分東國名也或書曰當國山峰間夾國也故以山
峽義号甲斐國云々
○相摸上八郡舊事紀作相武古事紀同之風土記
曰足輕明神昔狩人也或時離寵妻有悲傷故常見
亡妻之鏡思之相摸如見其亡妻故曰相摸職原大

全太和本記袖中抄日本釋名等趣大體如此本歌
曰阿志賀羅能佐賀美爾由加無多麻加賀美波古
禰乃屋萬仁阿氣之安志多爾兩朝平壤録作相摩
○武蔵大二十一郡舊事紀作無邪志古事紀作旡
邪志風土記抄曰武蔵國秩夫嵩者其勢如勇者怒
立日本武尊美此山奉為東征祈禱以兵具納埋岩
蔵故曰武蔵也以武具指置之儀訓牟佐志也云々
○安房中四郡舊事紀作阿波職原大全曰養老二
年五月割上總國四郡置之天平十三年十二月復
舊其後又置古語拾遺曰天富命所率来阿波齋部
所居則名總國安房郡元四國阿波齋部所居故名

安房郡其後元正天皇養老二年五月割上總國平
郡朝夷安房長狭四郡置安房國以郡名為國名也
○上總大十一郡　下總下十一郡古語拾遺曰天
富命更求沃壤分阿波齋部率往東土播殖麻穀好
麻所生故謂之總國云々上古麻曰總國分上下以
境界廣也兩朝平壤録上總作上捴
○常陸大十一郡古事紀作常道風土記曰此國邊
常滿潮民家多有煩故語曰此國干立成陸百姓安
故曰飛多智也又日本釋名曰此國自帝都從東方
端陸地也故曰常陸比多加知之畧語也云々一説
曰此國潮常滿故曰常陸國比多知者涵之儀也

東山道　就東方山中行道也
○近江大十四郡舊事紀作淡海古事紀作近淡海
宋書作通江皇朝世法録又同之風土記抄曰近江
始書淡海自帝都近有大江故改近江藤原不比等
封近江國十二郡故曰淡海公異稱傳今按曰以有
遠淡海國号近淡海國後改近江不鹽海味淡故名
淡海國予按以淡海訓用近江字也近帝都為湖水
也
○美濃上十八郡古事紀作三野舊事紀作三野前
國三野後國元為二州後為一州乎職原大全曰此
國有大野三故曰三野後改美濃日本釋名曰有各

務野青野闢原等三廣野云々
〇飛驒下三郡舊事紀作斐陀皇朝世法録脫飛字為彈風土記抄曰飛驒元美濃國內也然建近江大津宮時自當國良材多出也駄負木行大津如飛故号飛駄後改駄為驒云々
〇信濃上十郡古事紀作科野舊事紀同之所載舊事紀百三十五國中無當國名而有諏訪國拾芥抄曰天平三年三月以諏訪國弁信濃國云々風土記曰當國多出絹木皮代麻用故為名云々
〇上野大十四郡　下野上九郡舊事紀作上毛野下毛野古事紀作上菟毛下菟毛舊事紀曰難波高津朝（仁德）御世分元毛野國為上下風土記抄曰上毛野

下毛野者兩國中間有二野曰佐野笠懸野其野中有一河号渡瀨以此渡瀨為兩國境河西曰上毛野河東曰下毛野予按分毛野國為上下上毛野下毛野也除毛字謂上野下野也毛者有田曰毛也元明帝詔曰國郡名用好字可限二字云々依之以上毛野下毛野為上野下野乎皇朝世法録上野作濃野
〇陸奧大古三十五郡今五十四郡舊事紀作道奧或記曰始書六奧言近江美濃信濃上野下野陸奧六國奧也故曰六奧云々予按今陸奧訓陸奧者六奧謂乎上古陸奧出羽為一國圖書編作陸奧兩朝

平壤録同之
〇出羽上十一郡舊事紀曰諾羅朝（元明）御世和銅五年割陸奧越後二國始置此國也云々出羽以郡名為國名也續日本記曰和銅五年九月始置出羽國同十月割陸奧國最上置賜二郡隸出羽國焉云々置出羽國時大政官議奏曰建國辟疆武功所貴設官撫民文教所崇其北道蝦狄憑阻險實縱狂心屢驚邊境自官軍雷擊凶賊霧消狄部晏然皇民無擾誠望便乘時機遂置一國式樹司宰永鎮百姓奏可之於是始置出羽國云々昔在原實方朝臣謫至陸奧國尋阿古屋松云古老曰此松詠此國者蓋未割國之前也阿古屋今屬出羽國矣實方頻感情而猶

添風致也古歌曰
陸奧農阿古屋能松仁木隱天出陪幾月濃出屋羅奴哉
風土記曰允恭天皇御宇此國以鷲羽為貢故号出羽云々
北陸道　就北方陸路行道也
〇若狹中三郡風土記抄曰昔此國有男女為夫婦共長壽也人不知其年數容貌弱如少年後為神今一宮神是也故曰若狹也云々撮土記曰若狹國若狹彥若狹姫在國也故名若狹國云々圖書（兩朝之書）圖書

編兩朝平壤録武備志(異朝之書)共作若佐
〇越前大六郡　越中上四郡　越後上七郡舊事
紀作高志古事紀同之宋書越前作狹越前職原大
全曰越國今越前越中越後加賀能登也豊葦原本
記曰越角鹿坂以内都号越國云々按以越角鹿坂
義号越國乎措越前中後謂三越路也元者越國分
前中後以境界廣也
〇加賀上四郡舊事紀作賀我同書曰嵯峨朝御世
弘仁十四年割越前國分為加賀國云々日本後記
曰弘仁十四年三月丙辰割越前國加賀江沼二郡
為加賀國云々一説天平二十年分越前國三郡為

加賀國按以郡名為國名也風土記曰日本武尊征
諸國時越荒血山下北陸道于時尊兄大碓皇子尊
勢微而為夷恐被圍率數千兵逢江沼國於是加軍
勢而賀無異故改江沼為加賀國云々
〇能登中四郡舊事紀作能等和名抄曰養老二年
割越中國四郡置此國云々續日本紀曰養老二年
割越前羽咋能登鳳至珠洲四郡置能登國云々是
又以郡名為國名也風土記曰此國西越前東越中
間張出國也而北國往来船此國為泊故曰能門海
中鹽合名也後為能登云々
〇佐渡中三郡古事紀作佐度拾芥抄曰佐渡國天

平十五年二月日并越後國天平勝宝四年十一月
復置為國云々和名抄曰國府在雜太郡一説曰佐
渡佐波太轉語以雜太為郡置府云々是又以郡名
為國名也雜太者澤田也

山陰道　就山北西北行道也

〇丹波上六郡古事紀作旦波蒼霞草(異朝之書)作丹渡
兩朝平壤録同之丹波風土記曰丹波國浮田明神
者大山咋神也往古丹波國皆湖也其水赤故曰丹
波大山咋神鋤其湖水涸遂成國云々丹波以郡名
為國名也
〇丹後中五郡舊事紀曰諾羅朝(元明)御世和銅六年

割丹波國置丹後國云々續日本紀曰和銅六年四
月乙未割丹波國五郡始置丹後國云々國名丹波
後意也宋書作丹彼
〇但馬上八郡舊事紀作但遲麻古事紀作多遲摩
宋書作但馬皇朝世法録同之國名風土記曰應神
天皇御宇自高麗所獻馬被放當國牧依曰多馬國
後為但馬云々
〇因幡上七郡舊事紀作稲葉古事紀作稲羽八幡
本記諸神記曰因幡國武内宿禰持幡下當國治凶
徒故以因幡義曰因幡國云々
〇伯耆上六郡舊事紀作伯岐古事紀作伯伎風土

記抄曰八岐之蛇欲呑手摩乳足摩乳女稲田姫故適入山中于時母遅来姫曰母来故号母来國後改為伯耆云々

〇出雲上十郡日本紀曰盖大蛇之所居常有雲氣故曰出雲國出雲風土記曰所以号出雲者素戔雄尊依八雲立出雲神詠曰出雲國也云々

〇石見中六郡風土記曰此國有高角山及岩碕山皆嶮石之國也故名石見國云々

〇隠岐下四郡舊事紀作意岐古事紀作隠伎宋書同之視聴合記曰當國在伯耆出雲石見等之沖故曰隠岐國隠岐和名也日本釋名曰出雲伯耆有沖島也神代纂䟽曰隠岐奥謂也此國有北海西北如有人家奥云々

山陽道　就山南西行道也

〇播磨大十二郡舊事紀作針間魏志作巴利國圖書編作播摩兩朝平壌録同之國名風土記曰神功皇后三韓征伐之時霖雨降則待晴間出船故名國云々一説曰或過此國時有老翁磨斧問曰為何乎答曰為針其後亦過其所遂見為針故名針間國後為播磨云々

〇美作上七郡舊事紀曰美作國造諸羅元明朝和銅六年割備前國置美作國云々續日本紀曰和銅六

年四月乙未割備前國六郡始置美作國云々風土記曰天武天皇與大友皇子戰而敗矣逃於備前國之山中有老夫婦獻之醴酒天皇賞而稱美甘酒故為國名云々宋書作美竹

〇備前上八郡　備中上九郡　備後上十四郡舊事紀作吉備古事紀同之職原句解曰昔号吉備國後以境界廣分三國仍有今前中後名云古事紀孝霊天皇紀曰大吉備津日子命與若日子建吉備津日子命二神相副而於針間氷河之前居忌瓮而針間為道口以言向和吉備國也此二神在故号國云

〇安藝上八郡舊事紀作阿岐古事紀同之風土記抄曰神功皇后征伐三韓時経此國有一老翁設供御而獻之皇后飽之故名安藝國撮土記曰三代實録有安藝津彦神在此國故名安藝國云々

〇周防上六郡古事紀作周芳日本紀同之風土記曰昔此國海風飄波揚砂而為蟻山故名洲防國洲周故改為周防國云々

〇長門中五郡舊事紀作穴門此海邊為渦故名穴門也予按今為長門者元明天皇詔曰國郡名以有可用好字改長字乎

南海道　就南方海邊行道也

〇紀伊上七郡古事紀作木國魏志作鬼奴國宋書

作伊紀皇朝世法録兩朝平壤録同之圖書編作紀袛風土記曰昔秦徐福求仙藥来此國郷人為奇異人故曰紀伊又来此國故曰紀之國皆用和名曰紀伊也云々予曰紀伊二字不讀伊而謂紀古實也

○淡路下二郡舊事紀作淡道古事紀同之倉霞草作炎路兩朝平壤録同之神代巻曰於是陰陽始遘合為夫婦及至産時先以淡路洲為胞意所不快故名之曰淡路洲云々舊事紀曰先産生淡路洲為胞意所不快故曰淡道洲即謂吾恥也云々

○阿波上九郡舊事紀作粟國古事紀作淡國宋書作河波日本紀曰二神先以淡路洲淡洲為胞云々淡洲者阿波也初生謂淡也

○讃岐上十一郡日本紀作讃吉宋書作讃者皇朝世法録同之風土記曰天照大神更御初衣國也因為國名早脱謂乎

○伊豫上十四郡舊事紀伊余又作伊與日本紀作伊與真野時縄云國名起國魂神号伊與津彦伊與津姫也

○土佐中七郡舊事紀作都佐古事紀作土左職原大全曰土佐者以郡名為國名風土記曰素盞烏尊御産國也此神御心甚利諸神奉美曰御心利勝因以為國名云々

西海道　就西方海邊行道也

○筑前上十五郡　筑後上十郡舊事紀筑志又作竺志續日本紀作竺志北史作竹斯渡會延佳曰今俗指九州曰筑紫元筑前筑後也風土記抄曰允恭天皇御宇自異國貢紫草著筑紫筑着之意也故曰筑紫一説九州形依如木兎蹲踞曰木兎嶋々字下略曰筑紫也拾芥抄曰寶亀二年十二月日停筑前國隷太宰府延暦十六年九月日廢筑前入太宰府太同三年五月日又置之云々元筑紫國以境界廣為前後二州也

○肥前上十一郡　肥後大十四郡舊事紀作火國宋書肥後作火兒日本紀曰景行天皇十八年五月壬辰朔従葦北發船到火國於是日沒也夜冥不知著岸遥視火光天皇詔挾抄者曰直指火處因指火往之即得著岸天皇問其火光處曰何謂邑哉國人對曰是八代縣豊村亦尋其火誰人火也然不得主兹知非人火故名其國曰火國云々謂不知火筑紫自是始元火國改火為肥以境界廣為前後二州也

○豊前上八郡　豊後上八郡舊事紀作豊國古事紀同之職原句解曰按此國在豊日別神鎮座故名豊國風土記取民家豊饒義元豊國以境界廣為前後一州也

○日向中五郡日本紀曰景行天皇十七年春三月幸子湯縣於丹裳小野望東謂左右曰是國也直向日出方故号其國曰日向國舊事紀古事紀共曰此地者向韓國真来通笠沙之御前而朝日之直刺國夕日之日照國也云々宋書作日尚向

○大隅中八郡和名抄曰和銅六年割日向國四郡置大隅國天長元年停多禰島隷大隅國風土記曰當國有三隅島岬故号大隅云々續日本紀曰元明天皇朝割日向國肝坏贈於大隅姶羅四郡始置大隅國云々以郡名為國名也

○薩摩中十二郡日本釋名曰薩摩陘間也字書曰

陘連山中絶也山多而有山間國也萬葉集有陘妙觀人續日本紀作薩妙觀音訓通故以陘間為薩摩乎薩摩以郡名為國名也續日本紀曰諸蕃異域風俗不同若無譯語難通事按古者入諸蕃而作譯語以宣詔者則為其長乎故譯長並訓日佐又續日本紀曰唱更國今薩摩國也唱更亦與譯同意也

二嶋

○壹岐下二郡舊事紀作伊吉古事紀作伊伎北史作一支閩書作伊岐皇朝世法録同之或曰日本行離之嶋也故曰由岐日本釋名曰雪也浪高而潮白如雪云々按伊與由音通今謂壹岐者轉語也

○對馬下二郡舊事紀作津嶋古事紀同之隋書作都斯麻或曰對馬嶋津今洲成急速謂也云々

○延喜式民部省式曰陸奥國出羽國佐渡國隠岐國壹岐嶋對馬嶋以上四國二島為邊要云々

○往古者壹岐對馬多褹嶋三嶋也和名抄曰淳和天皇御宇天長元年停多褹嶋隷大隅國也云々三代實録同之蒼霞草日本考日本古倭奴國在東海中地分五畿七道三島云々日本紀曰天武天皇六年遣多禰嶋使人等貢多禰嶋圖其國去京五千餘里居筑紫南海中切髪草裳粳稻常豊一殖兩収土毛支子莞子及種々海物等多云々亦本朝文粹第

四曰大政官謹奏停多褹嶋隷大隅國事都良香右參議太宰大貳從四位下小野朝臣峰守等解稱謹按按内大政官去二月十一日符稱件島南居海中人兵乏弱在於國家良非扞城夫島司一年給物唯稲三万六千餘束其島貢調鹿皮一百餘領更無別物可謂有名無實多損少益右大臣宣奉勅宜勘利害言上者南溟淼々無國無敵有損無益如符旨須停島隷大隅國計其課口不足一郷量其土地有餘一郡然滿今馭謨益救合於熊毛四郡為二於事得便者聖帝登極事期濟世明王布政理貴適時臣等竊量昔漢元帝納賈損之言罷珠崖郡前史以為美

詼後世稱其英利雖建國量疆非無分野而邱民赦
急猶棄州郡況溟海之外胃損如此加以往還之吏
漂亡者多運送之民蕩沒不少守無益之地損有用
之物求之政典深迂物議伏望依件停隷以省邉弊
伏聽　天裁謹以申聞謹奏天長元九月三日云々予
按見此諌奏多禰島此時隷大隅國分明也舊事紀
國造本紀有多褹司歸化可知最久圖書編日本考
地分五畿七道三島又有附庸國百餘拘邪韓最大
其國小者百里大不過五百里戸少者千多止一二萬
皆倭種也云々両朝平攘録日本五畿七道六十六州
三島共統五百八十九郡宋史亦記五畿七道三島

（）惜乎諸國風土記民部省圖帳不傳今世出雲豊
後両國風土記而已僅存清三位賢忠卿曰風土記
者元明天皇御宇所作者今絶無之風土記抄自卜
部家所出也雖多俾俚語上古諸國多用和名故此
抄説其當理者可用之云々
（）舊事紀國造本紀曰天孫神武治平天下既而初郡
橿原即天皇位勅褒其功能寄賜國造捻任國造百
四十四國云々予按神武天皇御宇者指一郡為國
各有國造本文雖書百四十四國有百三十五國後
世為六十八箇國成務天皇御宇建内宿禰為大臣
定賜大國小國之國造亦定賜國々之堺及大縣小
縣之縣主也
（）人皇十三代成務天皇御宇諸國立國造但自神
武天皇御宇云國造三十六代皇極天皇御宇改國
造曰國司四十二代文武天皇御宇改國司曰國守
職原抄曰凡國司之撰和漢重之此云亨鮮之職
又云分憂之官
亨鮮職老子經曰治大國若烹小鮮註烹小鮮者
攬之則砕治國者攬之則亂
分憂官孟子曰憂民之憂民亦憂其憂言國守與
民同憂也故曰分憂
漢宣帝稱曰與我共治者唯良二千石乎云々誠是

當一方之重寄察百姓之寒苦非庸才之所可企望
故昔時固設格制以勘治否合格者蒙賞違格者被
黜是所以擇良吏也
大國守有權官相當從五位上　介有權官相當正
六位下　大掾有權官相當正七位下　少掾有
權官相當從七位上　大目相當從八位上　少
目相當從八位下
官位令各無權官職負令史生有三人
上國守有權官相當從五位下　介有權官相當從
六位上　掾有權官相當從七位上　目相當從
八位下

官位令無權官後代置權職貞令史生有三人
中國守相當正六位下　介　官位令無介
掾相當正八位下　目相當大初位下
職員令史生有三人官位令無介弘仁格有介後
代皆置介貞觀七年格能登丹後石見長門土佐
日向等置介
下國守相當從六位下　掾相當從八位下
目相當少初位下　官位令少初位上
職貞令史生有三人官位令無掾後代置掾
○元明天皇和銅五年始置諸國史生延喜式曰凡
諸國史生者大國五人上國四人中國三人下國二
人云々
○國朝稱太守者限常陸上野上總三國也以親王
任之故也仍件國以介可訓加美
○諸國司謂之外官然而文官之列也天平寶字二
年勅諸國司以四箇年為任限
○戸令曰凡郡以二十里以下十六里以上為大郡
十二里以上為上郡八里以上為中郡四里以上為
下郡二里以上為小郡云々
○郡司毎一郡有大領少領主政主帳郡曰之郡司
也上古曰之縣主但下郡無主政小郡領無大少無
主政選叙令曰大領外從八位上少領外從八位下

叙之云々
○唐名　守　刺史　太守　牧　介　長史　別
駕　掾　司馬　目　主簿　郡司　縣令
○職原抄曰陸奥國者上古以来為邊要為其國境
廣元明天皇和銅五年九月分置出羽國元正天皇
養老二年置按察使令監察兩國事聖武天皇二年
陸奥國内又置鎮守府々國相並行國事云々
陸奥出羽按察使府　按察使相當從四位下唐名
都護　記事唐名都護録事　傔仗四人
兩國大國也故國司之外置當官制賊徒且令掌
兩國政務也
鎮守府　將軍相當從五位上唐名鎮東將軍
副將軍二人唐名副鎮　軍監相當正七位下唐
名兵曹參軍事　軍曹相當從八位上唐名上鎮
録事　傔仗二人唐名上鎮史
出羽國　秋田城介為出羽介者兼之
昔陸奥國多起賊徒國廣不能制之故置秋田城
任兵士令守非常上古陸奥出羽為一國其境界
廣大而不從王化者有之故國司之外為防守置
官如此亦陸奥國上古三十五郡也大郡而難治
故今分為五十四郡是又利防賊徒
○聖武天皇御宇天平十五年十二月始置筑紫鎮

西府,
筑前國　太宰府　帥有權官相當從三位唐名都督　大貳相當從四位下唐名都督別駕　少貳有權官相當從五位下唐名都督長史　大監相當正六位下唐名都督司馬　少監相當從六位上唐名同大監　大典相當正七位上唐名都督錄事　少典相當正八位上唐名同大典,
昔筑前國置太宰府是筑紫邊要而兵事戚徙多或異朝境界而藩扞地也故置府以防非常令管領九國二島政也
○指東國曰吾嬬者景行天皇紀曰自甲斐北轉歷

武藏上野西逮于碓日坂時日本武尊每有顧弟橘媛之情故登碓日嶺東南望之三歎曰吾嬬者耶故因号山東諸國曰吾嬬國也云々
○本邦東極海島稱蝦夷者杜佑之通典東夷部曰蝦夷海東小國也隨倭國使人入朝云々日本書記曰所稱蝦夷者非一陸奧與越蝦夷齶田停代二郡蝦夷渡嶋蝦夷柵養飽田蝦夷津輕郡蝦夷膽振鉏蝦夷問菟蝦夷也亦曰伊吉連博德書曰天子問曰此等蝦夷國在何方使人謹答曰國在東北天子問曰此等蝦夷國幾種使人謹答曰有三種遠者名都加留次者麁蝦夷近者名熟蝦夷云々或書曰聖武天皇九年鎮守將軍大野東人啓,奧羽二州嶮路百八十里云々予按往古以都加留為蝦夷遠者今松前地數百里屬國朝日本開地東北如此今以日本國何可謂小國乎
○括地志曰和國武皇后改号日本國在百濟南海際依島居云々唐則天皇后長安三年日本遣其大臣朝臣真人來貢方物因言其國近日所出故号曰日本國云々釋日本紀延喜講記曰日本者自唐所号也隋文帝開皇中入唐使小野妹子將改倭号為日本然依隋皇暗物理遂不許至唐武德中始号日本云々中原師遠勘文引經籍後傳記曰小治田朝推古

遣小野臣因高於隋購求書籍兼聘隋天子其書曰日出處天子致書日沒處天子煬帝覽之不悅猶怪其意氣高遠遣裴世清等十三人送因高觀國風云
○推古天皇十四年遣小野妹子於隋當隋大業二年也其書曰日出處天子致書日沒處天子同十五年小野妹子歸朝自隋裴世清等從來此時煬帝書翰書皇帝問倭王聖德太子退天子号惡書倭王其返翰書東天皇白西皇帝云々予按往古意氣高如此然足利義滿公受明朝封爵稱臣用曆古今未聞國朝恥辱莫大焉明神宗帝以豐臣秀吉公封日本國王秀吉公曰余既王日本胡用西夏封爵為退之

者實雪我邦之恥也
○異稱傳今按曰日本者似指日向國倭國者實指大和國也舊唐書世法録者日本與倭國別立條或為別種太平御覽同之大明一統志曰日本乃小國也為倭所并云々新舊唐書又同之神武天皇初者都日向國宮崎後平倭國都橿原故曰日本併倭國之地也予按惣異朝書記日本者小國也者指日向國謂九州一島也北史曰新羅百濟共日本為大國記入貢由琉球雖小國昔者中山々南山北為三國有三王今并雖為一國比日本甚小國也何今以日本六十餘州為小國乎

○予按以倭和字共訓屋満登者神武天皇治平天下都山跡國橿原即天皇位故以山跡為日本惣号以異朝帝都國如為四百餘州惣号後改山跡為倭又改為和倭和字共無屋満登訓此國元以山跡義名屋満登依為此國帝都和加大為大和為日本惣号也異朝國号如稱大今帝都雖有山城國以古号普稱之曰大和也異朝亦以漢代長久于今稱之曰和漢乎
○君子國号出山海經為國朝名者本朝文粹三善清行説起乎雖似自誇文武天皇御宇正四位下粟田真人為遣唐使唐書曰此歳日本國遣其大臣朝臣真人貢方物日本者倭國之別名也朝臣真人者猶中國地官尚書也頗讀經史容止温雅朝廷異之拜司膳員外郎云々國朝此事書續日本紀曰正四位下粟田真人自唐至初至唐時有人来問曰何處使人荅曰日本國使我使反問曰此是何州界荅曰是大周楚州監縣界也更問先是大唐今稱大周國号緣何改稱荅曰永淳二年天皇大帝崩皇太后登位稱号聖神皇帝國号大周問荅畧了唐人謂我使曰丞聞海東有大倭國謂之君子國人民豐樂禮義敦行今看使人儀容大浄豈不信乎語畢而去云々
予按異朝指日本稱君子國無所疑

○閩書曰日本古倭國也在東海中又曰國君居山城以王為姓以尊為号云々後漢書東夷傳倭傳通於漢者三十許國皆稱王世々傳統其大倭王居耶馬臺國云々此通於漢者謂三十許國者不審也
○戸令曰凡戸以五十戸為里毎里置長一人掌撿校戸口課殖農桑禁察非違催駈賦役凡京毎坊置長一人四坊置令一人掌撿校戸口督察姧非催駈賦徭

日本州名紀原終

昔　皇朝盛也文儒奉詔撰
國史及律令格式又有風土
紀一如李唐之政保平以還
文教壞亂而風土紀類失其
所殘缺僅存二三策甚可惜
焉橋叟鈔撮國史及諸書所
載地迹之語著州名紀原使
好事者知其名所自出也一
日袖之眎余々覧之非惟知地
之古稱也即操觚家擇雅稱
而用之亦有益也叟名隆盛

字德卿清雅有志善長國
風兼通兵事仕爲步兵伍
長吾嘗同僚而今請題一
辭此書亦以舊知故也
戊午仲夏高麗山樵天爵撰

三都書物問屋

京都寺町通松原下ル町　勝村治右衛門
大坂心斎橋通北久太郎町　河内屋喜兵衛
同　安堂寺町　秋田屋太右衛門
同　博労町　河内屋茂兵衛
同　南久宝寺町　伊丹屋善兵衛
尾州名古屋本町七丁目　永楽屋東四郎
江戸日本橋通一丁目　須原屋茂兵衛
同　浅草茅町二丁目　須原屋伊八
同　日本橋通二丁目　山城屋佐兵衛
同　芝神明前　岡田屋嘉七
同　横山町三町目　和泉屋金右衛門板

西野古海 編

大日本地名箋

明治八年（一八七五）東京府刻本

據明治八年（一八七五）
東京府刻本影印

西野古海纂輯

日本地名箋　全

東京　三書堂藏

叙

九條道遥公乃日本書紀纂疏に皇
朝の詞に本訓末訓の別あるを云
り譬へバ乙訓を婦人の輿中より
落の地なれども墮國は漢字を
充たり是ハ字を主として所謂末訓
なり後今の字に改まり是ハ詞を
主として所謂本訓なり皇朝の典籍
をよむにはその先られ兩端を辯まへる
を要務とせり然るに世の校兒輩
之を聞は必ず傲然として嗤咲せ
む殊に知らは言辭の學ハ唯典籍

のみならず日用文章を始め世間千萬の事一も之に係らざるはなき哉且学問の道西洋にてハ普通より専門に入ると聞り其普通の方法を先本國よりすると是定理當尓然るべきのみ而して我少年ハ身いまだ曽て至らざるの海外地名を熟知して反て輦下の郡邑ハ何の称あるを知らざる人多きを如何せん西野君此に慨するありと久し則今此書を編述して辭書の嵩矢となし追次に諸部を纂輯せ

むとなり願ハ輕忽の少年此書を披閲し少しく悟る所あらバ稍々と卑近より高遠に進歩せば賛化万分の一たるも亦期すべき所なり

明治八年三月　櫻春雄誌

東園書

乙訓（オトクニ）

大日本地名箋

西野古海編輯

畿内　五畿内也

山城　旧名山背○八郡

乙訓　葛野（カヅノ）　愛宕（オタギ）　紀伊（キイ）

宇治　久世　綴喜　相楽（サガラカ　サカラク）

天王山　小塩山　善峯

大江山　丹波路ノ　山崎　長岡

葛野（カドノ）

鞆岡　西岩倉　大原野　社　官中社

粟生　光明寺　向日町　久我

松尾山　社　官大社　嵐山　愛宕山　社

亀山　亀尾山トモ　小倉山　高尾山　高雄トモ　清滝社

栂尾山　大内山　繖山

梅津　社　官中社　嵯峨　天竜寺　釈迦堂　太秦　広隆寺

御室　仁和寺　梅ヶ畑　西院　春日社

常盤　社　平野　社　官大社　金閣寺

愛宕（オタギ）

船岡山　加茂山　社　官大社　貴船　社　官中社　川上ニ出テ鴨川ニ入

鞍馬山　僧正ヶ谷　大悲山　比叡山　近江ニ跨ル　延暦寺

横川峯　如意岳　粟田山　将軍塚

瓜生山　華頂山　歌中山

鳥部山　阿弥陀ヶ峯　京都　平安　洛陽　西京トモ

[illegible]橋　三条　四条

五条　六条七条八条九条　洛中　洛外

羅城　朱雀　ミスシヤカトモ　東寺　西寺

島原　壬生　北野　天満宮　官中社

紫野　大徳寺　今宮　御霊　上中下

八瀬　大原　白川　石ヲ出ス

吉田　社　官中社　尾山　蓮台野

相国寺　南禅　以上禅宗　泉涌　八宗兼学

知恩院　百万遍　黒谷　以上浄土

清水　双林　本能

東西本願　俗ニ六条トイフ　銀閣　建仁

東福寺　六波羅 觀音　今熊野 觀音
草堂 同　六角堂 同　大佛
八坂 旧名祇園 官中社　豊国社 別格社　白峯社
稲荷山 三ノ峯 官大社　深草山　桃山 伏見山 城山
矢科嶺　伏見 御香宮　藤森 社
竹田 安楽壽院　三栖　鳥羽
横大路　六地蔵　淀
大亀谷　墨染　中書嶋

皇國地名箋 上　山城　三

鏡山 山科山トモ　牛尾山 音羽山ト 近江ニ跨ル　醍醐山 笠取山又日野
木幡山　朝日山　宇治山
喜撰ケ岳　山科 十七村　日岡 嶺
大鳳寺 寺ニ非ス　黄檗山 万福寺 禅　恵心院 真言
興聖ゝ 禅　五ケ庄　樋川 源牛尾山ニ発シ山科川ト為リ宇治川ニ入
音羽川 山科川ヲモ 樋川ノ上流
栗隈山 栗籠山トモ　小笹峯　宇治 平等院
槇島　巨椋池 小倉大池 紀伊郡ニ亘ル　寺田

久世 鷺坂　長池　小倉 寺田以下奈良道
鷲峯山 相楽郡ニ跨ル　飯尾山 同　猿丸嶺 近江ニ跨ル
神南備山　男山 雄徳山又鳩峯 八幡町 官大社　洞ケ嶺 河内ニ跨ル
田原　玉水 井手 奈良道　咋山
長山　普賢寺 寺ニ非ス
甲大山　笠置山　布當山
狛山　光明山　鹿背山 鹿脊山トモ
相楽山　和束　木津 奈良道

皇國地名箋 上　山城　四

瓶原　綺田　祝園
井平尾　加茂

○

賀茂川 愛宕郡ニ出テ紀伊郡ニ入リ桂川ニ合シ宇治川ニ入ル　大井川 桂川 丹波ヨリ来リ葛野郡ニ入リ紀伊郡ヲ貫キ宇治川ニ合
木津川 伊賀ヨリ来リ名張ニ出テ相楽郡ニ入リ淀川ニ合　宇治川 近江湖水ノ下流ニシテ紀伊郡ヲ経テ淀川トナル
白川 愛宕郡山中村ニ出テ賀茂川ニ入ル　鞍馬川 大悲山ニ出テ貴船川ニ合シ賀茂川ニ入ル
貴船川 貴船村ニ出テ鞍馬川ニ合ス　百井川 大悲山ニ発シ近江ヲ経テ川ニ入ル
高雄川 清滝川トモ 小野ニ発シ大井川ニ入ル　布當川 和束川トモ 相楽郡湯舟ニ発シ木津川ニ入ル

玉川 有王谷ニ発シ木津川ニ入ル
菓子 西陣織物 染物 光紅 白粉 陶器
漆器 及物 金銀箔 茶 縫箔 打糸 針
珠數 翁 團 筆 雛人形 弓矢類 藍
茶湯道具 竹笋 松茸 大蕪菁 壬生菜
牛房 胡蘿蔔 葡萄 桃 梅 香魚 鰤
淀川鯉 鯰 鶩 燒土 砥石 燧石

大和 十五郡

添上　添下　平群 ヘイクリ　山辺 ヤマベ
宇陀　式上 シキジヤウ　式下 シキゲ　十市 トイチ
廣瀬　葛上 カツジヤウ　葛下 カツゲ　高市 タカイチ
忍海　宇智　吉野
佐保山　若草山　手向山 八幡宮
三笠山 春日山トモ 社 宮大社　水屋峯　南都 奈良、平城トモ
櫟本　帯解　月瀬 梅ノ名所
柳生　和邇　猿沢池

東大寺 大佛　元興寺　法華寺
興福寺　二月堂 観音　南円堂 同
秋篠山　赤膚山　小泉
郡山　菅原伏見　尼辻
哥姫越　西大寺　招提
矢田 地蔵　宝莱山
生駒山 将駒山トモ 河内堺也　暗嶺　十三嶺
志貴山 毘沙門　亀瀬嶺 タツタ以上皆河内堺也　小倉峯

松尾山　立田 龍田トモ　法隆寺
巻向山　弓槻ケ岳　宍師山
桃尾瀧　石上 布留社 古大　丹波市
二本松　尾山 梅ノ名所　長引 同上
室生山 社　伊那佐山　竜門岳 瀧
雲雀山 中将姫ノ旧跡　明山　宇陀 町
萩原 初瀬ノ道　井足 社
三輪山 御諸山トモ 社 宮大社　初瀬山 泊瀬ニ作ル 長谷寺 観音堂　鍋倉山

シキゲ
柳本　金谷　忍坂
吉隠　大和社 官大社
二階堂　大安寺　天香久山

トフチ
多武峯 談山ト云 鎌足廟　倉梯山　田原本
外山　桜井

ヒロセ
河合 廣瀬社 官大　著尾　百済

カツジヤウ
葛城山 金剛山 河内ニ跨ル　高天山寺　室

オシミ
笛吹　柳原

カツゲ
二上岳　嵃峯 河内ニ跨ル　竹内嶺 以上共ニ河内ニ跨ル
新庄　片岡　當麻寺

ウチ
真土山　五条

タカチ
細川山　飛鳥山 三室山ト　鷹取山
豊浦　安倍 文殊　岡寺 遊岡寺
八木　今井　雲梯 森
竹田　橘寺　壺坂寺 観音

ヨシノ
金峯山 大峯又上ケ岳トモ　御船山　象山
小村岳　水分山　弥山
小笹峯　釈迦岳　笠捨山
國見岳 伊勢ニ跨ル　高見山 同　行叡岳 観音山トモ
甲ヶ岳　屏風岩　上市 下市
吉野　大臺原 紀伊伊勢ニ跨ル　天川
十津川　賀名生　國栖
鷲鹿　蜻蛉瀧　宮瀧

初瀬川 山部郡ニ出テ國中ヲ貫キ衆水ヲ納テ大和川トナリ河内ニ入ル　飛鳥川 高市郡ニ出テ廣瀬川ナリ大和川ニ入ル
葛城川 葛上郡ニ出テ大和川ニ入ル　立田川 伊駒山ヨリ発ス同上
吉野川 大臺原ニ出テ末ハ紀州ニ入リ紀伊川トナル　佐保川 春日山ニ出テ大和川ニ入ル
菟田川 小倉山ニ出テ伊賀ニ入名張川ト合ス　山粉川 曽爾ニ出テ菟田川ニ合シ名張ニ入ル
紙　漉紙　墨　晒布　索麺　奈良人形
葛粉　團扇　白朮　漆　煙艸　杉丸太
御所柿　當歸　芍藥　川芎　薯蕷

干瓢　香奥　髭　猟猴

河内 十六郡

錦部　石川　古市　安宿

大縣　高安　河内　讃良

茨田　交野　若江　渋川

志紀　丹南　丹北　八上

天野山 社寺　蔵王嶺　九重嶺

紀見嶺　扇山　岩湧山

二十山　観心寺

金剛山 大和ニ跨ル　篠峯　木不見山

平石嶺　竹内越 大和ニ跨ル　千早

赤坂 上下　龍泉　上太子

富田林　浄瑠璃寺

二上岳 大和ニ跨ル　飛鳥山　古市

壺井　誉田 八幡宮

杦栖山　玉手山　国分

亀瀬嶺 大和ニ跨ル　米山　高井田

高安山　花間山　十三嶺 大和ニ跨ル

暗嶺 大和ニ跨ル　草香峯　鷲取山

四条　枚岡社 官大社　日下

嶽峯 大和ニ跨ル　清瀧嶺　飯盛山

野崎　秦　部

枚方 南海道 駅　佐田 天満宮　守口 南海道ノ駅

太間 旧絶間ニ作ル　大利　徳庵

岩舟嶺　嬰児山　交野山 原

国見山　荒坂嶺　洞ヶ嶺 山城ニ跨ル

妙見山　摘葉 南海道　渚

私部　星田 妙見

若江　八尾 地蔵　弓削

稲田 桃ノ名所　川俣

西弓削　国府　道明寺

狭山 池ハ天野川小出川ノ水ヲ瀦ス　丹南　葛井寺 観音

○

大和川 大和初瀬川ノ下流同中、是ヨリ摂州湾ニ注ク　石川 紀伊賀田川小見川ニ水下リ西条川トニ当川ヲ大和川ニ会

千早川 千早山ニ出テ石川ニ会ル　泉川 篠峯ヨリ出テ石川ニ会ル

穂谷川 尊延寺谷ヨリ出テ淀川ニ入ル　天ノ川 哮峯ヨリ出テ淀川ニ会ル

船橋川 尊延寺谷ヨリ出テ淀川ニ会ル　寝屋川 大和川ノ支流ニテ余水ヲ納テ大坂ニ至リ淀川ニ入ル

小山田川 葛城峠ニ出テ狭山池ヨリ大和川ニ会　天野川 天野山ニ出テ狭山池ト共ニ大和川ニ入ル

竜間川 清滝峠ニ出テ淀川ニ入ル

酒　綿　木綿　下糯　平野餅　白炭　茶

煙草　守口大根　干瓢　赤小豆　松茸

鮑　金剛砂

皇国地名箋上　河内　十一

和泉 四郡

大鳥　和泉　泉南　日根

鉢伏山　妙見山　堺

高石濱　石津　妙国寺 蘇鉄

槇尾山 観音　横山 白泥ヲ出ス　七僧嶺

牛瀧山　国分　伯太

信太杜 千枝楠　大津川 七曽牛滝ニ発シ西流シテ海ニ入ル

葛城嶺　上之瀧　久米田池

岸和田　貝塚 以上三共和泉ノ駅　津田川 葛城嶺ニ発シ西流シテ海ニ入ル

牛瀧川 牛滝山ニ出テ大津川ニ入ル

犬鳴山　雨森山　井関嶺

箱作嶺　孝子畑嶺　舟留山

琵琶崖　近木川 葛城峠ニ出ツ　三手川

尾屋川　岡田川　男里川 三手以下紀州界ニ発シ泉ノ海ニ入ル

皇国地名箋上　和泉　十二

深日川 同上　竜王岬　小島岬

谷川港　佐野松原　蟻通宮

酒　油　搾油　撰糸　織物　綿　麻布　庖丁類

鉄炮　漆器　湊紙　線香　白粉　朱　茶

煙草　瓦焼　塩　日根野小豆　蕃薯　松茸　鯔

飯章魚　海鰻　蛤　蜆　鰕　蟹　和泉石

摂津 十二郡

住吉　東成　西成　島上

嶋下　豊島 島下豊島之間　川辺　武庫
有馬　兎原　八部 矢田部　能勢
浅香山　住吉 浦 社官社　天下茶屋
浅沢小野　大和川 大和国内ノ川 下流ナリ
茶臼山　真田山　大坂 浪華難波 西成郡ニ跨レ
安部野　猪飼野　鴫野
高津　玉造　深江
小橋　野田　生玉社 官大社

皇國地名箋　上　摂津　十三

櫻宮　荒陵　天王寺 其名所
平野川 杭全ヨリ来リ淀川ニ入ル　八軒屋
木津　難波 同新地　今宮
島内　堀江　船場
東横堀　西横堀　長堀
道頓　[illegible]座　立売
鰹座　土佐　天満橋
天神　高麗 伏橋　今[illegible]

日本　[illegible]　四
松島 名所　[illegible]社　川崎
長柄　江口　傳法島
[illegible]　稗　九条
安治川 淀川　尻無川 淀川ノ支流
[illegible]山　神峯山　阿武山
高槻　芥川　富田
[illegible]井　古曽部　鵜殿

皇國地名箋　上　摂　十四

島飼　広瀬 水無瀬　関戸院 山城界
水無瀬川 山城ヨリ出テ[illegible]
島本　十里山　郡山
茨木　三島　阿威 川源丹波ノ界ニ発シ淀川ニ入ル
吹田　総持寺 観音　勝尾寺 同上
箕面瀧　瀬川　麻田
池田 川 [illegible]　[illegible]垣山　杓子嶺
妙見山

地黄　切畑　尼崎
金川山　銀山
神崎川　猪名野　伊丹　酒
昆陽　多田　民田　銅ヲ出ス
大物浦　荒府池
武庫山　摂ヶ岳　六甲山
甲山　西宮　鳴尾
津戸川

皇國地名箋　上　摂津　十五

摩耶山　砂山　御影山　石ノ名所
廣田　生田　敏濱
打出川　芦屋川　同上　住吉川　同上
大和川　石屋川
再度山　丹生山　福原山
會下山　鷲取山　鉄拐峯
鵯越　一ノ谷　二谷　三谷　神戸　五ケ村惣名
兵庫　須磨浦　和田崎

經ヶ島　夢野　花隈　古城址アリ
生田川　布引瀧　湊川　楠公社　川ノ源丹生谷
苅藻川　妙法寺川　源鉄拐峯
切地山　氷柱嶺　青原山
千犬寺山　日出坂　塩原山
平松嶺　三草山　有馬山　温泉
生瀬川　同上　三田　唐櫃
駒丸嶺　湯本

皇國地名箋　上　摂津　十六

酒　綿　木綿　種油　紙　池田植木
御影石　豊島石　千歳酢　袋真田
有馬筆　菅笠　蓮雪昆布　金魚
諸獣黒焼　吹田狗背　天王寺蕪　鵜殿芦
大根　胡蘿蔔　松茸　松露　西瓜　冬瓜
鯔魚　ハゼ　鮫　飯蛸魚　蛤　蜆　鯉　介

東海道　十五国
伊賀　四郡

阿拜　名張　伊賀　山田
阿保山　七見嶺　元取岳 伊勢ニ跨ル
長田川　大内川 小流ナリ
黒田嶺　櫻嶺 伊勢ニ跨　三国岳
長瀬川　赤目十八瀧 名張川ノ上流　名張 川ハ五十八瀧ノ下流ニテ赤目ハ黒田川ニ合ス
上野　佐那具　島ノ原
丸柱 陶器ヲ出ス　玉瀧　比曾河内
焼尾越 近江道　柘植 川ハ加太山ニ発ス下ハ服部川ニ合ス　服部川 長野峠ヨリ発シ柘植川ニ合シ木津川ニ入ル

長野嶺 伊賀ニ跨ル　鬼瘤 同　天駒山 伊勢ニ跨ル
喰代　山田　平松川 長野峠ニ出テ服部川ニ入ル
陶器　白樫　王翁　冬瓜　砥石　燧石
石灰　蘇沙　芍藥　佛頂薯

伊勢　十三郡

桑名　員辨　朝明　三重
河曲　鈴鹿　奄藝　安濃
壹志　飯高　飯野　多氣

渡會
多度山 同　長島　桑名 東海道ノ駅 焼蛤時雨蛤名所
小島　富島
三国岳　藤原岳　熊坂岳 共ニ美濃ニ跨ル
治田山　野尻越　笠田池
釈迦岳 丹生川山　福王山　町屋川 員部郡藤原岳ニ発ス
朝明川 釈迦岳ニ発ス　大田川 木曽川ノ支流
國見岳　御三所山　冠岳 共ニ近江ニ跨ル

鳥井戸山　水無瀬山　鎌ガ岳
四日市 三重縣廳アリ 東海道ノ駅　菰野 茶ノ名所　阿倉川村
湯山 温泉　三重川 冠岳ニ発ス　崎野川 鈴鹿郡入道岳ニ発ス
高岡川 鈴鹿及ビ入道岳ニ発ス　日永 饅頭ノ名所
神戸　鼓ヶ浦
入道岳　鈴鹿山 川ハ高岡川ノ上流　三神山 三ツノ大山ノ内
妙見山　仙岳　鶏足山
羽黒山　筆捨山　加太山

石藥師　庄野　亀山
關 地蔵 伊勢参宮ノ追分アリ　坂下 石藥師以下東海道ノ駅
摘原　窪田　一身田
豊久野 武林松　白子　上野
長野嶺 伊賀ニ跨ル　天駒岳 同上　津
阿漕浦　椋本　前田
経峯　部田川 加太山ヨリ発ス　塔世川 天駒岳ニ発ス
岩田川 橋

皇國地名箋 上　伊勢　十九

米峯　尼岳　矢頭山
登坂山　櫃坂嶺　三国岳 勢伊大三州ニ跨ル
花取岳 伊賀ニ跨ル　塩見嶺　大洞山
際ノ越　櫻嶺　牛谷嶺
阿坂山　二王嶺　振田池
風早池　久居　雲津 川ノ源ハ三岳及ヒ大洞山ヨリ発ス之ヲ以テ南勢北勢ノ界トス
月本　星合 湊　大村
垣内　小杉　上多氣

石名原　大濱　辛洲嵜 社 俗ニオカラス
一志浦　米津浦
鳥嘴山　迷々塚　高見山 大和ニ跨ル
國見岳 同　戦取坂　局山
白精岳　細野嶺　堀坂山
御取越　白紙越　三子越 以上三所大和ニ出ル
松坂 川ノ源ハ次ヨリ出ス　二条 飯高一志両郡ニ亘ル　滝野 川
波瀬 以下大和吉野郡ニ出ル　宮前　大石

皇國地名箋 上　伊勢　二十

七見　櫛田川　射和
橋立山　大臺原 勢紀大和三国ニ跨ル　棠倉山
地池山　千代峯　白倉山
狼越　神谷縄抜越　春日嶺
駒嶺　祓川　大淀 浦濱
相可 田丸道　齋宮　明星
大杉 此ノ木ヨリ田丸ヘ　五桂池
神路山　間山　高倉山

鈹岳　朝熊岳　書申山
山伏嶺　堂坂越　音無山
磯部嶺　神坂嶺　荷坂嶺
若坂越　内宮　外宮
宇治　山田　小俣
田丸　大湊 港　小林
川嵜 港　神社港　二見 立石嵜
池浦 湊湯ナリ　慥柄　五十鈴川

宮川
綿　木綿　絨子　生絲　菜種　油　塩
陶器　小紋形　茶　漆　紙　苧麻
塗物　白粉　軽粉　合羽　煙艸入　索麪
紅花　椎茸　干瓢　串柿　鮑　熨斗鮑
煎海鼠　鯔子鼠　姫海苔　蝦　蛤

志摩

英虞　答志

日和山　和合山　青峯
山伏嶺　安樂島　鳥羽
的屋　小濱　國嵜
菅島　桃取　神島
伊雜宮　池田川　麻生浦
渡鹿野島
石鏡　大王嵜 同岩　麥嵜
立神　御座嵜　天童山

間嵜島　樫子山
鮑　熨斗鮑　真珠　天門冬　和布
鹿角菜　心太艸　海雲　天然碁石

尾張 八郡

愛智　春日井　丹羽　葉栗
中島　海西　海東　知多
音聞山　名古屋　宮
鳴海　笠寺　山嵜川

皇國地名纂　上　尾張　十三

天白川　松風里　夜寒里
呼續濱　一色川　有待（紅葉ノ名所）
小坂山　二ツ杉山　桶狭間（今川義元ノ碑アリ）
内海（源ノ義朝ノ死所）　金王山
横須賀　長田岩
大野　常滑（土器ヲ出ス）　師嵜
半田　風呂嵜　幡頭岬
日間島　衣浦　亀嵜
堺川

小牧山　東谷山　岩塚
清洲　枇杷島　内津
宮重（大根ノ名所）　坂下
二宮山　継鹿尾山　八双山（妙見）
黒平山　入鹿池　樂田
長湫　犬山
起　萩原　稲葉（大垣道）
津島（須賀社）　佐屋（川ハ木曽川支流）　萱津

皇國地名纂　下　三河　十四

万場　木折　日光川
蟹江川（木曽川ノ支流）
筏川（同）　雀森
米　溜　味噌　醋　醤油　干饂飩　綿
結城桟留　八丈縞　有松絞　渋扇　元結
挽細工　貝杓子　竹箸　陶器　七宝焼
大根（宮重）　蜜柑　松茸　藍　鯔味噌　蜂蜜
海鼡　鮠　鰻　蛤

参河　八郡

碧海　賀茂　額田　幡豆
宝飯（ホイ飯ト作ル）　設樂　八名　渥美

池鯉鮒（社アリ　東海道）　大濱　矢作（川源信濃ニ発ス）
西端　刈屋　花園
吉濱　中島　高濱
八橋　童原
猿投山（社）　小嶺　衣（挙母ト云）

松平 足助 川ハ原設楽郡ノ界ニ発シ矢矧川ニ入ル

岡崎 奥殿 藤川 東海道ノ駅

大平川 設楽郡ノ界ニ発シ矢矧川ニ入ル

畐尾 吉良 平坂

佐久島 宮崎 菱池

本野原 本宮山 砥鹿社 宮地山

赤坂 東海道ノ駅 御油 同上 蒲形

形原 大島 前芝

御馬 竹島 豊川 稲荷社

法蔵寺 豊川 稲荷社 小坂井 菟足社

煙巌山 鳳来寺 神田 長篠

新城 下利 坂塲 新城以下設田道

鳶巣山 六野山 嵩瀬 嵩山トモ

石巻山 大野 以下本坂越 大平

畐原山 豊橋 東海道駅 川ニ吉田 一川

火打坂 汐見坂 伊良胡岬

畑村 吉田村 窟觀音

豊川 川ハ設楽郡ノ界ニ発シ寶飯渥美ノ界ヲ経テ海ニ入ル

酒 味噌 醤油 紙 生絲 絞縮 綿

木綿 蚕繭 陶器 漆 煙艸 蕃薯

串柿 干姜 白炭 海鼠 海鼠腸 佐久島

干鰯 荒布 塩 飯貝 砥石 碁石

硝子粉 若布

遠江 十二郡

濱名 敷智 豊田 引佐

麁玉 長上 磐田 周知

山名 佐野 城東 榛原 榛原ニ作リ

汐見坂 高師山 引佐山

宇津山 白須賀 東海道ノ駅 橋本

荒井 関 東海道駅 濱名湖 猪鼻湖トモ

舞坂 東海道ノ駅 濱松 同上 大州山

味方原 蓮池 馬込川

御鷹山　地主山　井伊谷 宗良親王社
氣加
大知嶺　白岳山　千鉢嶺
白倉山　平沢山　光明山
本宮山　鹿島川 天龍川ノ上名　四十八瀬川
白山　白羽岬　掛塚港
大天竜川 水源ハ信州スハノ湖　小天竜川 大天龍ノ支流
中泉　池田

見附 東海道ノ駅　河合川 上ノ岡山辺ヨリ発シ二瀬ニ合ク
袋井 同　秋葉山　青崩嶺 信ノ二跨レ
不動山　犬居 川 秋葉山ノ北ヨリ発シ山中ヲ経テ天竜川ニ入ル
江儀岳 同上　片吹山
森町 秋葉道駅　高根山　平山
火打山　風不入山
八高山　大悲山　粟ヶ嶽 小笠ト云
佐野中山　掛川 東海道ノ駅　日坂 同上

二瀬川 源ヲ坂ヨリ発シ河合川ニ合ス　高天神山　横須賀
小笠山
加々良山 信ノ二跨ル　鳳来山　朝日岳
黒法師岳　春日山　大日山
地蔵嶺　金谷嶺 東海道ノ駅　初倉山
相良 燈明臺　白羽礒　御前岬 御廐岬トモ
沖御前岩　菊川 川ハ菊潤ニ発シ南ニ流レ同包ニ至テ海ニ注ク　川崎港
大井川 源甲信ニ発シ南流シ駿遠ノ界ヨリ東海道ヲ横リ海ニ注ク

葛布　木綿　繰綿　紫染　塗物
琉球表　納豆　蕨餅　葛粉　飴　椎茸
[illegible]糖　松茸　茜根　茶　紫艸　干姜
[illegible]　蜜柑　海苔　和布　鰹節　鮑魚　鮨
鰻　蛤　焼物石　葡萄石　石脳油

駿河　七郡
志太　益津　有度　安倍
庵原　富士　駿東

諏訪岳　御室山　七峯
千社山　高根山　風張山
相賀山　千葉山　谷星山
島田 東海道ノ駅　瀬戸川 源ハ千葉山ニ発シ東海道ヲ横リ海ニ入
田中　藤枝 東海道ノ駅　焼津港
草薙山 社　久能山　三穂松原 一保ニモ
清水港　今泉　安倍川
竜爪山　池城山 甲斐ニ跨ル　薩埵嶺 或ハ岩淵山

皇國地名箋上　駿河　廿九

江尻 東海道ノ駅　沖津 川 東海道ノ駅　清見潟
御座石　親不知子不知 薩埵嶺ニ在リ
由井 東海道ノ駅　蒲原 同上　岩淵
寺尾　八木間
大谷嶺　小沢山　渡[illegible]山
内屋嶺　倭文機山 式内 社　静岡 旧名府中 駿府 東海道ノ駅
丸子 鞠子ニモ 東海道ノ駅　手越
富士山 高千五百丈　岩山　鎗ケ岳

安母山　大子ヶ岳 甲斐ニ跨ル
富士川 甲州ヨリ東海道ヲ経テ海ニ入ル　鵜飼川 富士根ヨリ出テ海ニ入ル
白糸滝　長者池　富士沼
吉原 東海道ノ駅　大宮
岩本山　五神山　相沢山
二国山　東山　山伏岳
三国山 駿相甲ノ界　畑尾山 富士岳ノ東ニアリ　角取山 同上
大洞山 甲斐ニ跨ル　篭坂嶺　小富士

皇國地名箋上　駿河　三十

宝永山 富士岳ノ中腹ニアリ　大沢山　和田山
今里山　笹山　四倉山
我入道山　原 東海道ノ駅　沼津 港 同上
景島湖　江ノ浦港　黄瀬川 甲斐ノ国ヨリ発シ狩野川ニ入ル
狩野川 伊豆ノ国ニ発シ沼津ヲ経テ海ニ入ル
煙艸　野駒　竹細工　塗物　醋　烟艸入
紙子　太布　茶　蜜柑　松露　蕎麦
蕨　興津鯛　鰻　香魚　白洲干　鮑

葡萄石　富士石　藍　鮫　松茸

甲斐　四郡

巨摩　八代　山梨　都留　郡内トモ

八ヶ岳　信州ニ跨ル　駒ヶ岳　同上　地蔵岳　同上

鳳凰山　白根岳　信州ニ跨ル　濃鳥山　駿河ニ跨ル

笭箸岳　七面山　同上　身延山

金ヶ岳　苗敷山　韮崎　甲州道ノ駅

臺ヶ原　同上　教来石　同上　中條

若御子　長沢　荊沢

鰍沢　以下駿州道ノ駅　八日市場　下山

南部　万沢

富士川　笛吹釜無両川ノ下流ナリ　釜無川　駒ヶ岳ニ出テ衆水ヲ納テ富士川ニ入ル

塩川　御岳及ヒ八ヶ岳ノ麓ニ出ス釜無川ニ入ル　御勅使川　芦倉ノ山中ニ出テ釜無川ニ入ル

滝沢川　西郡ノ諸水ト平岡ノ山中ニ出テ富士川ニ入ル　壷川　中郡ノ山中ニ出テ衆水ヲ納テ富士川ニ入ル

早川　[illegible]川ニ入ル　湯島温泉

御坂嶺　大石嶺　女坂

阿難坂　長坂　石禾　川笛吹ノ下流

黒駒　市川　石花湖

精進湖　本栖湖　以上三所富士湖ノ内ナリ　屏風岩

湯川　湯奥及ヒ北川ノ山中ニ出テ富士川ニ入ル　芦ノ川　大石嶺ニ出テ富士川ニ入ル

加祢川　[illegible]ノ山中ニ出テ笛吹川ニ合ヒ富士川トナル

天目山　甲内ノ山中ニアリ　金峯山　信州ニ連ル　御岳　水精ヲ産ス

夢山　巴山　甲府　山梨郡府

塩山　温泉　川浦　温泉　勝沼　葡萄ノ名所

岩崎　同上　隺瀬　蛭石ヲ出ス　駒飼　以上三所甲州道

黒平　温泉　酒折宮

子酉川　武州ノ界ニ出テ笛吹川トノリ号フ〔ニ入ル〕　重川　竹森ノ山中ニ出テ笛吹川ニ入ル又西川トモ

日川　田野ノ奥ヨリ出テ笛吹川ニ入ル　濁川　ヒキスイニノ奥ニ出テ笛吹川ニ入ル

荒川　金峯山金池ヨリ出テ笛吹川ニ合ヘ

大菩薩嶺 丹波山 小野山
笹子嶺 菊花山 雛鶴嶺
天神坂 山中湖 大明見湖
川口湖 以上富士八湖内ナリ 黒野田 白野
初雁 花咲 大月
駒橋 猿橋 名橋アリ 鳥居沢
犬目 野田尻 鶴川 川ハ日ノ原ノ奥ヨリ出テ桂川ニ入ル
上野原 黒野田以下甲州道ノ駅

皇國地名箋 上　甲斐　三十三

桂川 山中湖ヨリ出テ入咲川トナリ下ハ相模国ニ入テ馬入川 丹波川 丹波山ヨリ出テ武州ニ入テ玉川六郷川トナリ海ニ入ル
花咲川 笹子嶺ヨリ出テ桂川ニ入ル 道志川 板橋ノ山中ニ出テ相模ニ入リ馬入川ニ入ル
駒 煙艸 生糸 真綿 海氣結 紬
木綿 太布 紙 葡萄 杉板 澁紙
蜂蜜 猪胆 搗栗 轉柿 小梳 林檎
胡桃 梨 甘艸 黄蓮 紫艸 水晶
磁石 硯石

伊豆 四郡
田方 那賀
賀茂 君沢
天城山 小利茂ヨリ出 韮山 丸山 加茂郡ニ跨ル
北條 長岡
有賀野山 子杖越 濱港 仁科川ノ河口ニアリ
田子港 濱港ノ北ニアリ 安良利港 甲子港ノ北ニアリ
伊豆御山 熱海ノ北ニアリ 岩戸山 日金山
弦巻山 黒岳 黒峯トモ 小室山 大室山

皇國地名箋 上　伊豆　三十四

大笞山 柏嶺 遠沢野山
万城岳 那賀郡ニ跨ル 高根山 高添利山
中川 天城山ノ西ニ発シ西流海ニ入ル 稲生沢川 那賀郡ニ発シ下田ニ至テ海ニ入ル
松崎 岩地港 博地岬
子浦港 妻良港 長津呂妻良ノ西ニアリ 長津呂港 南海ニ突出スル所
伊豆岬 中木港 長津呂妻良ノ間ニアリ
神子本島 燈臺 下田港 當国第一ノ港 雲見岬
洲崎港 下田ノ東ニ突出スル所 河津川 天城山ニ発源シ東流海ニ入ル

賀茂川（音野及ヒ蛇石ノ山中ニ発シ港ヨリ海ニ注ク）　外浦港（熱海ノ南ニアリ）
和田　伊東　川名港（押[illegible]）
網代港（熱海ニアリ）　熱海（温泉）　走湯（温泉）
初島　朝根島
三国山（豆相駿三国界）　山伏山　猿投山
狩野川（天城山ノ北ニ発シ駿河ノ黄瀬川ニ入ル）　三島（東海道ノ駅 神社）
大庭　修禅寺　江梨岬
戸田岬　大島　利島

新島　神集島　三宅島
御倉島　八丈島（以上伊豆七島ト云）　三原山（大嶋ニアリ 噴火山ナリ）
風挿島　荒島　神達（共ニ大島ニアリ）
宮塚山　向山　新島峯
島分山（共ニ新島ニアリ）　天城山（天井山トモ）　黒島山
多子登山　長根山　神山
秩父山（共ニ神集島ニアリ）　大窪山（雄山トモ三宅ニアリ 火山ナリ）
蘭難波岩　三本岳（大野原トモ）　遠波瀬（恩馳トモ共ニ三宅島ニアリ）

小島　鬼島　青ガ島（共ニ八丈島ノ属島）
東山　西山　千代川
大窪川（共ニ八丈島ニアリ）
小笠原島（無人島）　父島　兄島
弟島　母島　姉島
妹島　姪島　鑓山
旭山　二見港　乳房山
沖村港（共ニ小笠原島ニアリ）

八丈縞　絹紬　木綿　雁皮紙　挽物　酒
茶　椎茸　煙草　葛粉　椿油　山葵
黄楊　柴胡　釣藤　大蕪菁　青海苔
心太艸　鹿角菜　鰹魚　鮑　鯣　栄螺　砥石
切石　水篩沙

相摸　九郡
足柄上　足柄下　淘綾（餘綾トモ）　大住
愛甲　高座　鎌倉　津久井

三浦
三国山 相駿ノ界　海尻嶺　地獄岳 同湯
冠ヶ岳　箱根嶺 駅　二子山 箱根山ニアリ
石搦山 箱根山ノ南ニアリ　石垣山 小田原ノ西ニアリ　須雲川 箱根ヨリ早川ニ入ル
湯本 温泉　宮下 同　塔沢 同
堂ヶ島 同　芦湯 同　氣賀 温泉 木賀トモ
底倉 同 以上七所ノ箱根七湯ト云　芦湖 箱根ノ湖水ト云
小田原 東海道ノ駅 足柄県　真鶴岬 港

皇國地名箋　上　相模　二十七

長尾山　善知鳥坂嶺　猪鼻山
足柄山 駿河国境ニアリ　三国山 相駿甲ノ界　岡本
金子　栢澤　阿弥陀木
大磯　小礒　曽我
雨降山　大山 雨降山ノ内　雷山
高麗山　曽屋　蓑毛
子安　神戸　伊勢原
田村　平塚 東海道ノ駅　唐ヶ原

丹沢山　二増嶺　荻野中
厚木　愛甲　塩川瀧
遊行坂　信濃坂　藤沢 遊行寺 東海道ノ駅
関野　吉野　小原 以上甲州道ノ駅
鼠坂　青子　稲村嵜
鎌倉　雪下　扇谷
七里濱　由井濱　亀谷
比企谷　鶴岡 八幡宮

皇國地名箋　上　相模　二十八

笹目谷　江島 社　腰越
龍ノ口　名越　梶原
甘縄　戸塚 東海道ノ駅　滑川 鎌倉ニアリ
建長寺　極楽寺　光明寺
圓覚寺　壽福寺　五大堂
豆子　磯嵜　三嵜
久比里　長鶴岬　城ヶ島 燈臺
浦賀 燈臺　走水岬　横須賀 造船場

猿島 走水岬海中ニアリ　衣笠

○

早川 岸川水源箱根山ヨリ出小田原ノ西ニテ海ニ注ク　酒匂川 相甲駿三国ノ界山中ヨリ出小田原ノ東ニテ海ニ入

押切川 葛川ノ西ニアリ　狩野川 矢倉沢ノ山中ニ発シ酒匂川ニ入ル

河内川 二河山ヨリ発シ矢倉ノ山中ニ合ス　葛川 大イソノ西ニアリ

花水川 發原ハ大住郡ノ山中ニ発シ平塚駅ノ西南ヨリ海ニ　馬入川 甲州都留郡湖中ニ発シ曲折南流シテ海ニ入ル

引地川 上常御ノ山中ニ発シ藤沢ノ西南ニ至テ海ニ注ク　固瀬川 一名川名川水源武蔵ノ界ニ発シ海ニ注ク

炭薪　箱根細工　石長生　山生魚

箱根竹　紅花　柴胡　嵐大根　神代杉

粕漬梅　海豚　華臍魚　烏賊魚　鯛

鰹魚　鰕　鰒

武藏 二十二郡

久良 久良岐　都筑　多摩　橘樹

荏原　豊島　足立　新座

入間　高麗　比企　横見

埼玉 サキタマ　大里　男衾　幡羅 ハタラ

榛沢　那賀　児玉　加美

秩父　葛飾

金沢　本牧　横濱 互市場是ヨリ東京芝口迄鉄道有リ

野氣浦

神形山　加奈川 東海道ノ駅　生麦 同加奈川川崎間

鶴見 門川同源郡山中ヨリ発シ東海ニ入　川崎 東海道ノ駅　溝口

二又川 東海道程ケ谷ノ北ニアリ古ノ鎌倉街道

高尾山 相摸ト境ニアリ　小佛嶺 甲斐ニ至ルノ路　御岳

御堂岳　七箇石　雲取山

小野路　高井戸 甲州街道　石原

府中　分倍川原　日野

八王子　駒木野 高井戸以下甲州道ノ駅

中野　堀内　田無

新町　青梅ノ駅 中野以下青梅海道

羽田 燈臺アリ　大森 浅草海苔ヲ産ス　不入斗

品川 東海道ノ駅　高輪泉岳寺　鈴ケ森

三田　白銀臺町　世田ヶ谷
目黒 不動　池上 本門寺
東京 旧ハ江戸　芝 神明社　西窪
櫻田　麻生　青山 百人町 墓地三ヶ所
赤坂　澁谷 羽根沢 墓地　四谷
市谷 八幡社　小石川　牛込
湯島 天神社　本郷　神田 門外 神田社
下谷 稲荷社　根津 貸座敷　谷中 天王寺墓地

皇國地名箋　上　武蔵　四十一

浅草 浅草寺 三社　吉原 貸座敷　佃島 住吉社
大久保　巣鴨　染井 墓地
板橋　新宿　鳴子
練馬　岩淵　麹町 日枝社
番町　駿河臺　雑司ヶ谷 墓地
摘場 墓地　愛宕 愛宕社　飛鳥山 桜ノ名所
王子 稲荷社　三川島　日暮里
本所　深川 八幡社 三十三間堂

蕨　浦和 埼玉縣廳　大宮
上尾　桶川　鴻巣 中山道ノ駅
舎人　門前　大門 岩付街道
鳩ヶ谷 同上　川口 同上　千住 小塚原墓地
草加　焼米坂　
白子　膝折　大和田
引又　宮戸
川越　大井　所沢

皇國地名箋　上　武蔵　四十二

扇町郷　小手差原　堀兼井 入間川ノ東ニアリ
飯能　藤金　小川
松山　菅谷
今市　塚越　慈光山
忍 行田トモ　岩槻 縣廳　騎西
上新江　越谷　大澤
糟壁　河原井沼
熊谷 中山道駅

畠山　折原
妻沼　石塚
深谷 中山道駅　園部 原同上　榛沢
大月嶺　大坂嶺　小栗
長濱　勅使河原
本庄 中山道駅　児玉　八幡山
杉木嶺　蛙川
波風山　土坂嶺　竜頭山

不動山　赤岩嶺　礒廣山
八日見山　膽凝山　松尾山
十文字嶺　武甲山 社　三峯山 社
秩父山 観音　伊豆岳 社　妻坂嶺
山伏嶺　小坂嶺　御岳 社
雁坂嶺 甲斐ニ跨ル　大堂影岳　大日向山
安戸　大宮 妙見　贄川
新大瀧　菅平

○多摩川 六郷川ノ上流ニテ甲州都留郡丹波山ニ発源ス　荒川 秩父郡ノ山間ニ発シ戸田川ト墨田川トナリ品川海ニ注ク
豊島川 戸田川ノ一名ナリ　高麗川 妻坂嶺ニ発シ入間川ニ入
入間川 入間郡ニ発シ戸田川ニ入ル　綾瀬川 足立郡ニ発シ墨田川ニ入レ
中川 利根ノ支流行徳ヨリ海ニ入ル　江戸川 利根川ノ上流ナリ古地川筋ノ川町ニ出テク
隅田川 戸田川ノ下流府下ヲ経テ海ニ入ル　浅草川 本橋ニ流ルノ隅田川ヲ云
玉川上水 多摩川ノ支流ニテ青梅街道五ノ神ノ南羽邑ト川崎ノ間ヨリ発ス　神田上水 甲州道ノ上高井戸ノ北井ノ頭池ヨリ発ス
永代橋 隅田川ニ架ス　新大橋 同上　両国橋 同上

厩橋 同上　大川橋 同上　千住大橋 同上
日本橋　江戸橋 石造　京橋 石造
芝口橋　万世橋 石造 神田川ニ架　浅草橋 石造 同上
紫染　錦絵　摺物　蒔絵　金銀箔
縫箔　象牙細工　鼈甲細工　銀細工
団扇　煙草入　浅草紙　煉火石
鋳物　川越平　太物織　煙草　索麺
和唐紙　形紙　綿　苧麻　岩槻葱

蓮根　大根　漬菜　牛房　胡蘿蔔
梨　桃　鯽魚　白魚　海鼡　鰕　蛤　蜆
牡蠣　鱶　鯆

安房

平群 ヘイ郡ト訓ス　安房　朝夷 アサイ　長狭
鋸山　伊豫岳　横根嶺 [illegible]ノ東ニアリ
木根嶺　富山　明金岬
鬼ヶ嵜　本郷　勝山

皇國地名箋 上　安房　四十五

多田良　那古寺　保田川 横根峠ニ発シ保田ニ至リ海ニ注ク
佐久間川 長狭郡ノ界ニ発シ勝山ニ至テ海ニ注ク　向川 源富山ニ発シ久枝ニ至テ海ニ注ク
大津川 富山ニ発シ多田良ニ至テ海ニ注ク

○

湊川 平群郡ニ発シ北条ニ至テ海ニ入ル　塩入川 湊川ノ西ニアリ
佐野川 洲嵜ノ東ニアリ　竹原　北条
館山　大賀　波佐間
洲嵜 社　鯨山

高塚山　雨乞丘　冨士
白濱　埜島ヶ嵜 天女　大川
忽戸　朝夷　宇田
白子　瀬戸川 木原富ニ発シ流海ニ注ク　三島川 同郡ニ発源シ東流海ニ入
白渚川 峯岡ノ西ニ発シ東海ニ入ル
大山社　花立嶺 清水山ノ西ニアリ　請雨山
天岸山　清水山 上総国界ニアリ　清澄山
大日堀　岩光山 同　市ヶ坂

皇國地名箋 上　安房　四十六

小湊 誕生寺　内浦　鯛ノ浦
天津　廣場　磯村
北小町　金束　二間川 上総元清澄山ニ発シ東海ニ注ク
松嵜川 清水山ニ発シ廣場ニ至テ海ニ注ク

○

賀茂川 長狭川トモ長狭郡ニ発シ北濱海ニ入ル　曽呂川 西野原ノ山中ニ発シ磯村ニ至テ海ニ注ク
木綿　蠟　白牛酪　楊梅　干鰯　魚油
鰯メ粕　鮑　牡蛎　心太艸

上総　九郡

市原　望陀　周淮　天羽

夷隅　長柄　埴生　山辺

武射

○

村田川 長柄郡ニ発シ下流両総ノ界ト為テ海ニ注ク　養老川 夷隅郡ニ発シ五井ノ駅ニ至テ海ニ入ル

八幡社　五井　岩ヶ嵜

姉ヶ嵜　今富　牛久

小野ノ峯 久留里ノ南安房ノ国界ニアリ　沢山 久留里ノ南ニアリ

元清澄山 久留里ノ東南ニアリ　大石山 元清山ト山脈ヲ通ス

奈良場　木更津　貝淵

櫻井　久留里　三本松

鹿野山　中野　貞元

富津岬 燈臺　三直　六手

市宿　市場　飯野

小糸川 安房国界ニ発シ木更津ニ至テ海ニ入ル

鬼泪山　高岩山 観音　見舟山

八丁山　小久保　佐貫

三宝山　湊村 港　竹岡

金谷川 源ハ横根峠ニ発ス　関　出濱川 金谷ノ東ニアリ

新川 源ハ高岩山ニ発シ湊村ニ至テ海ニ入ル　奥津

荒木根山 大多喜ノ東南ニアリ

下植野　勝浦　松野

中野　大多喜　御宿郷

小濱　部田　福原

八幡嵜　大舟谷 小舟谷　大瀧川 安房ノ国界ニ発シ東流シ海ニ入ル

大東嵜　九十九里濱　鳴山

駒ヶ嵜　一宮 社　寺嵜

茂原　本納　笠森 観音

岩井　白亀川 山辺郡ニ発シ東流シ海ニ入ル　一宮川 埴生郡ニ発シ一ノ宮本郷ヲ過テ海ニ

野鹿音山　矢野　古麻川

雀技川 矢野ノ山中ニ発シ一宮川ニ入ル

小間子ヶ原　真亀川（下総ノ界ニ発シ九十九里ノ濱ニ注ク）
八川（同上）　大網　土気
東金　流山　宮作
栗山川（下総ニ発シ九十九里ノ濱ニ注ク）　小松川（下総ノ界ニ発シ東海ニ注ク）
成東　埴谷　芝山（観音）
横芝　賀茂
炭薪　馬　紅花　楊梅　樽柿　茶
烟艸　干鰯　魚油　鰯〆粕　鰹節

皇國地名箋　上　上総　四十九

鯉　鮑　蛤　牡蠣　雑鶏　鶏卵　鷲　切石

下総　十二郡

葛飾　千葉　印旛　匝瑳
海上　香取　埴生　相馬
猿島　結城　豊田　岡田
古河　中田　関宿
宝珠花　野田　山崎
流山（美淋酒）　松戸（陸前濱街道ノ駅）　小金原（同上）

國府台（古戦場）　市川　行徳
八幡　鎌谷原　船橋（太神宮）
小利根川（八幡ノ下ニ注ク）　大和田　萱田
小和田原　検見川　千葉（県庁）
馬加　生実　野田
寒川（港）　和泉
濱野　臼井　馬渡
佐倉（鎮台営所）

皇國地名箋　上　下総　五十

酒々井　印旛沼（神崎鹿島ノ二流ヲ受ケ大湖ナリ長七里幅二里）
松山　八日市場　太田
[illegible]子　野手　矢立浦
栗山川（上総ノ下ニ注ク）
飯沼　今宮　本城
松岸（鉄）　犬吠崎　銚子（港）
小舟木　小見川　津宮
佐原　大貫　神崎（社）

高畄　滑川　吉畄
飯笹　多古　中村
香取社
成田不動　長沼 飯畄水掛新妻ノ水潴リテ大湖ヲナス　藤代 我孫子ヨリ以下陸前濱街道駅
我孫子　取手　白井
布川　布佐
手賀沼 我孫子ノ東ニアリ
境河岸　谷貝　仁連

諸川　武井
結城　新宿　飯沼
水海道　中妻
岩井　岡田　赤法華

〇

利根川 上野利根郡ヨリ発源ス銚子ニ至テ海ニ入ル
細干温飩　佐倉炭　薪　醤油
味醂酒　玉液酎　葛西海苔　蒟蒻　蜜柑

甜瓜　西瓜　蕃薯　茶　鱸魚　水母
車鰕　雁　鴨　牡蠣　石炭　砥石

常陸 十一郡

新治　真壁　筑波　河内
信太　茨木 茨城トモ　鹿島　行方
那珂　久慈　多珂
新治　土浦 霞浦ノ西ニアリ 新治縣　中貫
稲吉　石畄 土浦ヨリ以下陸前濱街道ノ駅　高原

雨下　柿畄 筑波山ノ東ニアリ　真鍋 同上
藤畄　小田
下館　下妻　芦穂山 筑波山脉
加葉山 同上　太宝沼　羽黒
真壁 筑波山ノ西ニアリ　小栗　海老島
矢田部　小張　豊体
田下　筑波
若柴 陸前濱街道ノ[illegible]　牛久 同上　竜嵜

牛久沼 牛久駅ノ南ニアリ　女男川 櫻川ノ下流ナリ
荒井　中村　櫻川 土浦ノ南ヲ流ル
水戸 茨城縣廳　笠間　竹原
片岡　小幡　長岡 竹原ヨリ以下濱街道ノ駅
青柳　菅谷　額田
大足　石塚　杉崎
枝川　田彦　石神
大橋　那珂 港　邑松

海老沢　磯濵　大貫
夏見　千波沼 水戸城ノ南ニアリ　涸沼 水戸城東南三里ニアリ
子生　籾山　吹上
鹿島 社　宮市　常陸原
北浦湖　鹿島浦
麻生　玉造　平賀
牛堀　潮来 以上霞ケ浦湖辺ニアリ
鳥子山 鳥子村ニアリ　檜木山　長倉

比藤　下大瀬
金砂山　男体山　武生山
月折山 鍬田ノ上ニアリ　太田 水戸城北十里ニアリ　町屋
上河　天下野　高倉
小生　大橋　久慈
袋田滝
高鈴山 介川ノ西ニアリ　神御子　大能山
花園山　森山　助川

川尻　荒川　足洗
磯原 港　上岡　大津
平潟　大北川 筑波ノ山ヨリ発ス　多賀浦
○
那賀川 下野茂木川ノ下流ナリ　久慈川 水源陸奥国白河郡ニ発シ那賀久慈両郡ノ界ヨリ海ニ入ル
霞浦湖　浪逆海 同湖内
浮島
大方紙　西ノ内紙　小杉原紙　彩雲紙

生糸　真綿　蚕種　晒木綿　漆　茶
煙草　西瓜　葛粉　粟野膳　菜子　多子
三度栗　真珠　干鮑　鮭　浮亀　燧石

東山道　十三ケ国

近江　十二郡

滋賀　栗本 俗 栗太　甲賀　野洲
蒲生　神崎　愛知　犬上
阪田　浅井　伊香　高島

皇国地名箋　上　近江　一　五十五

大嶽 日吉社 比叡山　長柄山　逢坂山
波母山　小松山　撫岳
八池ケ岳　櫻嶺　龍華越
古関越　比良山　唐崎 松
打手濱　矢走渡　堅田 浮御堂
粟津　膳所　大津
別所 滋賀県　坂本 上下アリ　絹川
木戸　小松 坂本以下北街道ノ駅　志賀院

延暦寺　三井寺 観音　石山寺 同
岩間寺 同　尾蔵寺
白雲山　田上山　大日山
金勝谷　草津 東海東山両道ノ追分　山田 港
野路玉川　勢田橋　勾 上下アリ
篠岳　槙外山　石根山
甲賀山 飯道山トモ云　鏡山　水口
石部 東海道ノ駅　野川

皇国地名箋　上　近江　一　五十六

三上山 社アリ 御上トモ云　櫻山　守山 東海道ノ駅
鏡　永原　木部 錦織寺
篠原　木濱 港
水晶岳　比牟禮山 八幡社アリ
龍王山　長命寺山 観音　安土山 信長ノ城跡
観音寺山 観音 佐々木ノ城跡　千草越
箕作山　八幡 港　武佐 東海道ノ駅
蒲生野　沖島 湖中ニアリ

釈迦岳
伊庭山
鳥籠山
沢山 石田三成古城址
多景嶌
磨針峠
鳥井本
柏原 以上中山道

山上
愛知川 神崎郡政所谷ヨリ出ノ西流シテ湖水ニ注ク
鍋尻山
高宮 東山道駅
伊吹山
番場
米原 港

越川 東海道駅
彦根山 金亀山トモ
多賀社
霊山
醒ケ井
長濱 以上三所北国街道ノ駅

皇國地名箋 上　近江　五十七

[illegible]川
荒乳山
[illegible]野
海津 同
早嵜
金糞岳
中尾嶺
大水山

水田
鬼姫山
岩熊
菅浦
尾上
横山
三瀬山
湧山

小谷山 長政ノ古城址アリ
塩津 港
竹生島 観音社
柴山
大黒山
志津岳

木本 地藏
中河内 木本以下北国街道
熊野山
大浦
知内
村井
○
高島川 山城国ニ発シ朽木川ヲ納レテ湖ニ注ク 一名舟木川ト云

柳瀬
余呉湖
高島山
河原市
野口 大浦以下北国道
朽木

椿市
三尾山 観音社
今津
細川
山中 若狭道

皇國地名箋 上　近江　五十八

横田川 仙川ノ下流ノ野洲川上流ナリ
姉川 河内山中ニ発シ草野川ニ合ノ湖ニ注ク
勢田川 湖水ノ落ル口ヲ云
尾上川 掛坂嵩ニ発ス余呉ノ餘水ヲ納テ湖ニ注ク
杣川 神日谷ニ発シ松尾川ニ合シ横田川ニナル
安曇川 跡川ト云リ アツミト読ハ非ナリ
比良川 比良ニ発シ湖ニ入ル
黒津川 勢田川ノ下流

野洲川 横田川ノ下流
犬上川 高宮川トモ 水源伊勢界ニ発シ西流ノ湖ニ注ク
善利川 大堀川モ 水原河内ノ山中ニ発シ西流ノ湖ニ注ク 古名不知哉川
智内川 若狭ノ界ニ発シ東流シ湖ニ注ク
天ノ川 伊吹ノ山中ニ発シ湖ニ注ク
田上川 勢田川ノ下流
石田川 一名ハ角川 若狭界ニ発シ湖ニ注ク

米　糠　油　醤油　生絲　真綿
夏蚕種　絹　縮緬　天鵞絨　晒布
蚊帳　疊表　紫　伊吹艾　陶器　茶器
籐細工　椀　干瓢　青花　蕎麥　蕪菁
日野菜　源五郎鮒　堅田鰕　鯰　鱒　鰣
諸小魚　蜆　石灰　硯石　砥石

美濃　二十一郡

多藝　石津　不破　安八
池田　大野　本巣　席田
厚見　各務　山縣　武儀
郡上　賀茂　可兒　土岐
恵那　方縣　海西　羽栗
中島　舟付　養老瀧
高田　釜段池
高須　中山 南宮ノ山ヲ云　不破関 今ハ古地ノミナリ
松尾山

皇國地名箋　二　美濃一　五十九

野上　寝物語　今須
関ヶ原　垂井　赤坂 今須以下東山道ノ駅
南宮社　岩手　青墓 朝長ノ墓
青野　和射見原
大垣　墨股　今尾
笠縫
撫山　岡村
杉原　揖斐　谷汲観音

皇國地名箋　下上　美濃　六十

美江寺　河渡 以上東山道ノ駅　大次 越前道
岐阜山社　金花山　岐阜
加納　日置
高富　太郎丸　高木
門原　御手洗　二永 以上越前道
関　阿知 以上濃山道
毘沙門峠　雛木山　大日峠
杉檜山　二日市　前谷

鷲尾（三日市以下 鳥山道）　八幡　坂本
三日市（八幡以下）　法師丸　外原
水宇禮池（宮ノ東ニ）　阿弥陀瀧
土田　伏見（中山道駅）　御嶽（同上）
虎渓　細久手（細鉄）　大久手（大湫ト云）
高山　釜戸　池田（高山以下名古屋道）
高巣山　恵那岳　十石峠
竹鼻　笠松　古野坂

皇國地名箋　上　美濃　六十一

西行坂　岩村　大井
中津川　落合（大井以下中山道）　阿妻
明智　串原（岩田道）　苗木

〇

木曾川（水源信濃飛騨ノ両国ヨリ来リ勢州湾ニ入）　太田川（木曾川中ノ小名ナリ）
長柄川（郡上郡ニ発シテノ又河渡川トナリ墨俣川ニ入）　洲股川（長柄川ノ下流ナリ）
河渡川（洲股川ノ下流）　杭瀬川（伊吹山ノ東北ニ発シ勢州湾ニ入ル）
呂久川（杭瀬ノ下流）　伊娑川（近江ノ境ニ発シ墨股川ニ入ル）

藤子川（関ヶ原川ト云 水源伊吹山ニ発シ呂久川ニ入ル）　藍川（糸井ト赤坂ノ中間ニ有リ）
牧田川（水源近江ノ界ニ発シ江ニ至テ呂久川ニ入ル）
米　紙　生絲　真綿　縮緬　羽二重　絹
縑子　麻布　蚊帳　藤細工　陶器　庖刀
剃刀　鈎　縫針　算盤　岐阜提灯
箕笠　テクス　茶　藍　干大根　榧實
蜂屋柿　甜瓜　更紗石

飛彈　三郡

皇國地名箋　上　飛彈　六十二

大野　吉城　益城
位山　金剛峠　長柄嶺
水無嶺　有巣嶺　寄合嶺
乗鞍岳　三谷　三日町（以上三ノ八幡道）
七日町　高山　八日町
上山田　山田（八日町以下越中富山道）　増島
落合　三河原（同上）　小鳥谷
谷村　月瀬　二ノ谷（同上）

一ノ宮　久々野　渚村 以上ミノ加納ヘ出ル
小坂町 以上ミノ加納ヘ出ル　大島　小島
大峠　硫黄岳　鎗ケ岳
錫杖岳　双六岳　白木岳
舟渡　千貫橋　谷村
小豆沢 舟渡以下越中富山道　平湯　白骨湯
蒲田湯　落合湯
黒谷　荒淵　野々股 以上越前大野道

皇國地名箋 上　飛驒　六十三

小白川 越中ヘ出ル
竹原峠　追原峠　普代坂
萩原　下呂 温泉　中津原
保井戸　三渕　下原町 萩原以下ミノ岐阜道
搦谷　追原 以上ミノ八幡道　白水瀧
岳谷瀧
○
宮川 大野郡上ヲトリノ山中ニ発シ舟津川ニ入ル　八賀川

川上川　小鳥川 宮川ノ上流
高原川 大野郡寄合峠ニ発シ木曽川ニ入ル　雙六川 双六岳ニ発シ舟津川ニ入ル
益田川 高原川ノ下流　馬瀬川 高原川ノ上流
白川 大原郡ノ山中ニ発シ
材木　綿紬　麻布　陶器　ヘキ目細工
楊枝　蕨粉　葛粉　旱藕　搗栗
岩茸　茶　香魚　鱒
信濃 十郡

皇國地名箋 上　信濃　六十四

伊奈　諏訪　筑摩　安曇
更科　水内　高井　埴科
小縣　佐久
駒岳　前岳　黒河内岳
青崩峠　風越山　園原
小河内峠　厂ノ峯　高遠
飯田　根羽　平谷
浪合　駒場　山本

伊豆木　吉岡　田上
帯川　市田　大島
片桐　飯島　上穂
宮田　伊那部　松島
下平田　上村　木沢
和田　麻績
八嶽 甲斐ニ跨ル　三佐山 御射山トモ　諏訪社
高島　諏訪湖 天龍川ノ源

長根山　奥名山　御岳
寄合峠 飛騨ニ跨ル　堺峠　小豆峠
立峠　桔梗原　松本 筑摩ノ縣
村井　郷ノ原　洗馬
本山　熱川　奈良井
藪原　宮越　福島
上松　須原　野尻
三留野　妻籠　馬籠 洗馬以下東山道

富田　刈屋原　會田　青柳
信濃坂　燒山　蝶ヶ岳
高嶽　大地岳　神明岳
五六岳　鑓岳　風吹岳
横前倉岳　箙岳　雨飾山
藥師山　天狗原　物見岳
黒鼻山　大町　池田
木高　高瀬川 五六岳ニ発シ犀川ニ入ル　大ノ川 高岳ニ発シ犀川ニ入ル

姨捨山　鏡臺山　猿ヶ峠
田毎月　川中島　桒原
稲荷山　丹波島
虫倉山　戸隠山 社　黒姫山
鷹打山　山姥岳　花立山
中峯　斑山　飯綱山
大峯山　朝日山　沼池
野尻湖　桂池　鳥井川 逆川ノ下流ニテ信濃川ニ入ル

逆川　東筑摩郡中ニ発シ烏井川ニ入ル　夜叉川　飯綱山ニ発シ烏川ニ入ル　湊川　戸隠山ニ発シ犀川ニ入ル
飯山　戸倉　栢原
五本山　恩波岳　高倉山　以上廿三越後ニ跨ル
大倉岳　赤石山　横手山
白根山　太郎子山　魔山
乳山　四阿山　以上二上野ニ跨ル　岩松山
湯宮山　塩路山　剱峯
白剱山　田中温泉　角間温泉

野沢温泉　須坂　安田
中野　市　二禮
保科　久志見　田中
更科山　更科郡ニ跨ル　妻女山　皆神山
地蔵嶺　松代
和田嶺　湯丸山　白山
栢木山　秋山　十文字嶺
金峯山　以上甲斐ニ跨ル　高天原　浅間岳　上野ニ跨ル

浅間焼野　大藤山　飯盛山
布引山　石原坂　梓川　高岳ニ発シ曲折ノ犀川ニ入ル
小諸　コモロトモ　軽井沢　沓掛
追分　小田井　岩村田
塩灘　八幡　望月　軽井沢以下中仙道ノ駅

○

筑摩川　佐久郡南相木山中ニ発シ諏水ヲ納レ犀川合シテ川トナル　犀川　筑摩郡駒岳ニ発シ湖水ヲ納レ筑摩川ト合シ信濃川トナル
姫川　安曇郡黒鼻山ニ発シ越後ニ出ル　信濃川　筑摩川犀川ノ合流ヲ越後ニ出ル

木曽川　堺峠ニ発シ美濃ニ出テ勢州湾ニ入ル　御岳川　飛騨ノ界御岳ニ発シ木曽川ニ入ル
小沢川　坂峠ニ発シ犀川ニ入ル　洗馬川　犀川ノ内ノ小名　小木曽川　上古ノ木曽川ノ流
材木　生糸　真綿　山繭　蚕種
上田縞　麻　紬　袴地　絞木綿　太布
奉書紙　小杉原　紅花　苧麻　煙艸
甘草　黒柿　木細工　小梅　花積
串柿　干蕨　干瓢　蕎麦　蕨粉
陶器　櫛　氷餅　山繭　漆　鹿角

熊膽　八目鰻　山生魚　鷹　貉　瑪瑙石

上野　十四郡

碓氷　片岡　甘樂　多胡
緑野　那波　郡馬　吾妻
利根　勢多　佐位　新田
山田　邑樂

中尾山　碓氷嶺 社　鼻曲山
巣鷹山　堂峯　人見原

坂鼻　安中　松井田
横川　坂本 坂鼻以下東山道
撥見嶺　十石嶺　古禮嶺
礒嶺 以上信濃ニ跨ル　志賀坂嶺　坂松嶺 以上武藏ニ跨ル
大嶺　坂嶺　扶立嶺 以上武藏ノ邊ニアリ
西御荷鉾山　音氣山　大桁山
金雞山　金鋼山 中岳トモ　妙儀山
射透穴　富岡　藤井

一ノ宮　下仁田　加鳥屋
本宿　白井 以上廿二信濃路ノ驛
東御荷鉾山　矢田　吉井 燧鎌ヲ出ス
多胡碑　七日市　小幡
落合　笛木　鬼石
藤岡　西平井
柴町　中町　五料 以上日光道
新田　前橋 厩橋トモ　惣社

榛名山 社 群馬郡ニ跨ル　相馬岳　摺碓嶺
二ツ岳　金平山　小野山
子持山　水番山　黒髪山
金井　西新波　白岩
中室田　三野倉　伊香保
金子　妙安寺
高崎　岩鼻　倉ヶ野 中山道ノ驛
白狐山　神守山　猪倉山

岩砥山　長坂嶺　入江山
太平山　三坂嶺 三社　三国山 越信野ノ三州ニ跨ル
赤屋川 川上ニ発シ山中ニ発シ下利根川ニ入　稲色山　大倉山
白根山　万座山　乳山
吾妻山　鳥井嶺　湯丸山
大薄山　横笹山　勝間山
薬師岳　暮坂嶺　五町田
中山　中野条　原町

皇國地名箋 上　上野　廿一

郷原　岩下　長野原
中居　大笹　大戸
本宿　須賀馬　上沢渡
生須　草津温泉　山田川 稲色山ニ出テ吾妻川ニ入ル
地蔵川 茂開岳ニ発シ吾妻川ニ入　鹿倉川 同上
烏帽子岳　駒根山　駒ヶ岳
大江山　間田山 東中北　萱子山
座禅山　白根山　三辻山

花咲嶺　穂高山 社　加葉山 社
文殊岳
玉泉山　尾瀬原　同沼
東入原　津浦沼　沼田
追貝　土出　戸倉
月夜野　相俣
袈裟山　三峯山　別当山
大黒檜山　赤城山 社　姥子山
地蔵峠　鳥井嶺　荒山

皇國地名箋 上　上野　廿二

大胡　三夜沢 以上赤城道駅　花輪
伊勢崎　境町
新田山 金山　木崎　太田 以上三所日光街道
尾島　照屋　世良田
別当山　並山　桐生 川ハ下野ノ二山ヨリ発ノ
新町　如来堂　園田
多田良沼　近藤沼　大輪沼
板倉沼　館林　川俣

皇國地名箋　上　十　　上野　七十三

利根川　三國山中ノ深岳ニ發シ下総ニ入リ…

片科川　荒山ニ發シ利根川ニ入ル

發知川

万座川　万座山ニ發シ利根川ニ入ル

吾妻川　吾妻ニ發シ利根川ニ入ル

澤渡川

四万川

碓氷川　碓氷峠ニ發シ烏川ニ會シ神流川ニ會ス

烏川　…ニ發シ神流川ニ合シ利根川ニ會ス

神流川　甘楽川トモ共ニ称ス信州ノ界ニ發シ利根川ニ入ル

廣瀬川　利根川ノ分流ナリ

生絲　日野絹　新田絹　太物織　白芋

蚕種　黒豆　煙草　牛蒡　白葱

三度栗　鮎　鰻　鱒　香魚　砥石

石炭　砥石　油ランプ

下野　九郡

足利　梁田　安蘇　都賀

寒川　河内　芳賀　塩谷

那須

雞足山　行道山　大岩山

皇國地名箋　上　十　　下野　七十四

足利　学校　佐野　橋　小股

梁田　米富

十二山　室生山　地蔵岳

足尾銅山　庚申山　二子山

天明　犬伏　中ノ駅　以上ニ日光道　葛生

免取　田沼

尾咲山　社　日光山　黒髪山　男体山

女峯　三ツ嶺山トモ云　行者山　毘沙門山

赤安山　四口山　黒岩山

鍋掛山　真子山　富士見山

湯前岳　白根山　三笠山

中禅寺湖　華厳瀑布　龍頭瀑布

裏見瀑布　霧降瀑布　寂光瀑布

清瀧　岩舟山　太平山

鉢石

岩舟　茂呂　富田

野木　間々田　小山
新田　小金井　石橋
飯塚　木賊ノ原
出流山 観音　杤木 驛應　合戦場
金崎　擣木　奈佐原
鹿沼　文挾　板橋
壬生 同上　親抱松　室八島
赤倉山　黒岩山　姫路野ノ原

雀宮　宇都宮　白沢 以上奥州道
野沢　徳次郎　大沢 以上日光道
大乗　大渡　今市 日光道
梏木嶺　山王嶺　雞山
関屋嶺　氏宿　喜連川 以上奥州道
船生　玉生　八井田
高徳　大原　藤原
高原　碇　光嵜

横川　湯本　関谷
道場宿　祖母井　茂木
福岡　赤羽　西高橋
七井　飯　小貫 以上笠間道
真岡　久下田　本吉田
塩原温泉　荒湯　日光沢湯
川俣湯　湯西湯
中嶺　大倉山　那須岳

白邑山　那須野原　殺生石
八溝山　烏子山 以上常陸界　森田
烏山　黒羽　伊王野
箕輪　馬頭　佐久山
大田原　鍋掛　越堀
芦野　益原　湯本
那須湯　大丸塚湯　遊行柳
道辺ノ清水　国造ノ碑

○

絹川 鬼怒川トモ

五行川

那須川 那須岳ニ発シ箒川ニ入ル

狐川

姿川

渡良瀬川 三国山道ニ発シ上野ニ入リ分流シ又利根川ニ入

大谷川 日光中禅寺湖ヨリ発シ鬼怒川ト合

小貝川

母栗川

思川

田川 鬼怒川ニ入ル

佐野中川

大芳紙　絹　生絲　真綿　笠　扇

閉扇　陶器　桃　折敷　日光細工

檜細工　漆　人参　艾　煙艸　麻

白葱　午房　黄芪　石炭　砥石

切石　蠟石　三光鳥　寿光皮細工

岩城　十四郡

白川　白河　石川　田村

菊田　磐城　磐前　標葉

楢葉　行方　宇多　亘理

伊具　刈田カッタ

関山　湯岐　白河

棚倉　矢槻　塙

山田　東舘　中宿

大塙 水戸道

釜子　浅川　竹貫

中田　小平 以上三所水戸道

守山　三春　根本

中沢　田母神　蓬田 根本以下水戸道

三株山　馬脊山 常陸ニ跨ル　荷路夫岳

観音岳　薬師岳　三大明神山

竜富士　鬼宿山　椋子山

勿来関　泉　関田

雀田

湯岳　熊倉山　雨降山

水石嶺　鍬峯　閼伽井岳

富神岬　宿ヶ嵜　龍ヶ嵜
御嵜山　合磯山　尼子嶋 新川ニ在ス
賢沼　平 磐前郡　湯長谷
小名　網取　白水 石摩ヲ出ス
湯本　中ノ作　渡戸
中寺　江戸　三坂 以上平ヨリ棚倉道
金山　猫鳴山　三箭山
月山　八葉ヶ岳　石森山

高倉山　霧島山　二ツ箭山
玉山湯　松風滝　逢瀬滝 雄二滝アリ仁井田川ニ落
琥珀山　四倉　横山臺
北濱　麻町　置凪
新町
矢大臣山　熊倉山　大岳
岩下嶺　鬼ヶ城　湯烟山
大倉山　石折山　赤木山

長根山　子規山　中山
五社山　三森山　小塙瀑布
綱下岬　殿ヶ峯　江ノ綱
鮃ヶ淵　鍋倉山　聰石山
久ノ濱　廣野宿　下町
上町　富岡宿　上河内 平ヨリ三春道
高野宿　小高　牧野
原町 以上中村街道

美山 称岳モ　熊川　中津河
大越　當葉 以上二所平ヨリ三春道　駒峯
鹿島　中村　舟留
丸森　角田　山下
新地　坂本
亘理　新濱
不忘山　藏王岳　瓜割嶺
下紐閑　刈田宮　白石

〔ワタ〕

齋川　越川　貝田
藤田　桑折 刈田宮ヘ奥州道　小坂 出羽上ノ山道
崇濱　亘理

（一）

鮫川 白川郡ニ発シ岩間ヨリ会ヲ閼ヨリ海ニ注ク　鎌田川 会津井川ト田村郡ニ発シ岩瀬東流シ海ニ注ク
阿武隈川 白川郡大熊滝ニ発シ北流亘理ニ海ニ入　仁井田川 相馬山ニ発シ東流海ニ注ク
木戸川 源ヲ大倉山ニ発シ大浦ヨリ海ニ入ル　井出川 大倉山ニ発シ海ニ注ク
米　雜穀　馬　生絲　真綿　紬

皇國地名箋　十一上　岩城　八十十一

八丈織　川股絹　紙布　繻紈
相馬焼陶器　魚油　鰯〆粕　木炭　煙艸
半紙　延紙　椎茸　藍玉　塩　鰹節
澤亀　干鮑　鰑　鰹タヽキ　孫太郎虫

岩代　九郡
會津　大沼　耶麻　河沼
岩瀬　安達　安積　信夫
伊達

〔アヒヅ〕　〔オホヌマ〕　〔カハヌマ〕

六十里越 越後ヘ踰ル　小瀬嶺　赤安山 以上二山上野ニ踰ル
帝釈山　山王嶺 下野ヘ踰ル　金山
長田代山　中山　布引山
雀沼　堀月沼　森山
鶴切坂　北坂　川島
雀沼川　會津　赤井
原　猪洲　福良
御代 若松道　関山　大内 大堀トモ

皇國地名箋　十一上　岩代　八十十一

串谷　楢原　田島
糸沢 関山以下廿里越道　古川 以下二長沼道　田子倉
大口川　土出　小野岳
八十里越　鬼面山
大倉　叶津　界沢
野尻 越後出道　宮合
炬嶺　車嶺　鳥井嶺
栄髙山　瓜割嶺　野沢 以下若松ヨリ越後新発田道

野尻　白坂　八仟田
作山　栁津　片門
赤巓山　飯豊山　磐梯山
猪苗代湖　山嵜湖　塩井
塩川 以下若松ヨリ米沢道　熊倉　大塩
檜原　綱木　三條沢
天上岳　甲子湯　大熊瀧 逢隈川ノ水源
山王坂　向坂　招坂

皇國地名箋　七　岩代　八十三

大餅坂　譜代坂　国見嶺
清水嶺　勢至堂 岩瀬ヨリ　汞沼
牧内　小屋　井手 嶺ヨリ勢至堂 以下若松道
根田 以下奥州道　大田川　矢吹
栗石　須賀川
安積山　吹上坂　人取坂
安積沼　篠川 以下奥州街道　日出山
郡山　日和田　高倉

本宮　福原
小山　春日山 龍嵜　二本松岳
大郎山　安達山　和尚山
安達原　岳湯　野中清水
杉田 以下奥州道　温石町　三本松
二本柳　黒塚
東岳　三角山　丸山 以上出羽ニ隣ル
信夫山　土湯　瀬上

皇國地名箋　七　岩代　八十四

福島 縣廳　清水町　根子
若宮　八町目 瀬上以下奥州道　佐々木野 以下福島ヨリ米沢道
庭坂　李平　関 ヨリ湯ノ山道
鎌倉山　靈山　厚樫山
石那坂　腰掛石　新館
松沢　下手　梁川
○
摺上川 瀬上川トモ 丸山ヨリ発シ阿武隈川ニ入ル
高倉川 五百川トモ

名女川　須川
岩瀬川 永沼ノ山中ニ発シ阿武隈川ニ入ル　只見川 小瀬沼ヨリ発シ雀沼川ニ入ル
揚川　日橋川
會津川 [illegible]
漆器　蠟燭　生絲　文字摺　絹　紬
絹絣子　其餘乳　陶器　臘　銀細工
紙　漆　麻　干糒　大豆　胡桃　熊膽
井塩　温石　砥石　硯材

陸前 十四郡
柴田　名取　宮城　黒川
加美　玉造　志田　遠田
栗原　登米　牡鹿　桃生
本吉　氣仙
篠谷嶺　二口越　憚ノ關
有耶無耶關　金ケ瀬　大河原
舟廻 五ケ瀬ヨリ奥州街　猿花　熊根

野上　花谷 最花以下山形道　野尻
河張岬　松ケ浦島　千引石
岩沼　武隈松 社　桃波久橋
槻木　岩沼　増田
中田 槻木以下奥州道　挑俤 湯泉
富山　赤松山　躑躅ケ岡
松島 瑞巌寺　高木 以上二所仙台ヨリ石巻道　塩竈 社
血鹿浦　宮城野　奥細道

国分根　岩切　壺碑
十布　野里川　中野
石巻 港　廣口池　小角池
仙臺 宮城縣廳　長町 奥州道　七北田 同上
熊根 出羽街道　山ノ寺
黒川岳　吉岡 以上奥州道　中井田
小野田　門沢　漆沢
軽井沢　坂下　作並

三本木 奥州道
新屋 以上奥州道
古川
岩手
河渡
中新田
菅根山
姉歯松
大沼
長沼
一ノ迫
二ノ迫
高清水
日ノ沢
宮野
沢辺
金成
有賀部 高清水以下奥州道
佐沼
三関
二関 佐沼以下一関ヨリ石巻道

亀岡
尻前
鳴子
狼川原
登米
新谷 石巻道
金華山
湊
山鳥 社
十八成濱
中濱
田代
追波
十五濱
湊
氣仙沼
出島
十三濱
細浦
大島
氣仙沼
押津
津谷

荒磯
唐煮濱
竹駒 社
唐丹 以上三丹八戸道
盛
唐丹
今泉
入手

鳴瀬川
玉造川
栗原川
吉田川
高城川

米
雑穀
小馬
仙臺平
斜子織
八丈織

絹布
白精好
生絲
真綿
蚕種
麻
紅花
煙艸
乾糒
千歳延
埋木細工
熊皮
小荒翡
海鼠
鮭
鱒
煎海鼠
鰹節
干鮑
孫太郎虫
鰮石

陸中 十郡

磐井
膽沢
江刺
和賀
稗貫
紫波
岩手
鹿角
閉伊
九戸

皇國地名箋　上　陸中　八十九

栗駒山　田谷窟　剣山
駒形山　二ノ関 奥州道　山ノ目 同上
鳥海　衣関　衣川 川 胆沢郡田谷窟ニ発シ北上川ニ入ル
高館　平泉　中尊寺
三間　田代　光堂 金色堂ト云
松川湯　正法寺
磐山　外山　猪岳
膽沢　鎮守府　前沢
泉城 今胆沢ノ城ト云　水沢 縣治　金崎
下風江　塩竈社
六角牛山　江刺　野午崎
御駒岳　戸呂山　和賀川 戸呂山ニ発シ北上川ニ入ル
相去　鬼柳　橘村
越中畑　川岸　赤坂
花巻　馬場　大槻
湯本　圓満寺

皇國地名箋　上　陸中　九十

南昌山　西清水　仁戸谷
梛山　小諸
国見嶺　山伏嶺　妻神境
岩鷲山　鞍上山　藪川山
姫神嶽　閉伊山　関楽山
桂清水　岩鷲沼　盛岡
渋民　沼宮内 同上　中山 同上
紫波　當湯　臺湯
厨川　千本松　仙人嶺
尾崎山　月山　早池峯 同沼
和山　薬師峯　荒擬
神岳　花沢　黒崎
葛巻金山　遠野
富田　大男　宮古
釜石　卯子酉
巴山　折爪　茉喰岳

種市岳 鉄山 牧 二岬
観音林 久慈 黒崎
七時雨山 西道金山 槙山
立菱山 田永 三平
赤沢銅山 上深井 白根銀山
月山 濁川岳 清水嶺
芦柄山 花部山 八鳥山
花輪 松山 小国小町

磐井川 剣山ニ発シ北上川ニ入ル
雫石川 源石ヲ七水源剣山ヨリ発シ北上川ニ入ル
豊沢川 清水ノ山中ニ出テ北上川ニ入ル
米代川
志津川 仙山ニ発シ東流シ海ニ注ク
北上川 北上山ニ発シ南流シテ諸水ヲ聚メ陸前国ニ入リ海ニ注ク

○

米 大豆 牛馬 鉏 南部紬 黄絲
蚕種 マダ布 真綿 白苧 篠竹細工
椎茸 紫根 百合 早蕨 甘艸 紅花
海鼠 鱈 心太艸 帆立貝 煎海鼠

ヲクリカンキリ

陸奥 四郡
二戸 三戸 北 津軽
四角山 波市嶺 末松山
一戸 福岡 金田市 一ニハ…
二戸 肥知川 三田
雷電山 龍森 戸来山
鉄山 高山 三ツ坂

通十八坂 三戸 浅水
五戸 六戸 八戸
小南部 奈良崎
十和田山 泊山 恐山
大間岳 牧 尻矢岬
小佛 佐井 九艘泊
田名部 安度 大間崎
傳法寺 藤島 七戸

野辺地
平沼
八戸川
高川
大坂川
七戸
高村
外ヶ濱
岩城山 津軽富士
銀山
矢立嶺 羽後道
清山嶺
楢木嶺
甚井坂
降坂
津軽坂
尾駮 沼
弘前
刈和沢
小湊
野内 刈和沢以下青森道
青森
黒石

岩崎
大間越
深浦
十三呂岐
鳥井崎
荒崎
十三濱
十三潟
鯵ヶ沢 湊
小泊 湊
龍飛岬
三厩 湊
蟹田 同
平館 同
外ヶ濱
母衣川
油川 同
今別 同
蓬田
新城
浪岡
藤崎
津軽野 新城以下弘前道
碇ヶ関 温泉 羽後大館道

大野 同
藏立 同
[illegible]

○

岩木川 岩木銀山ヨリ発シ十三湖ニ入ル
平川 羽後ヨリ発シ北流シテ岩木川ニ合ス

米　鮭　雪　朴木　炭　味噌
醤油　鰯　鮮干物　[illegible]　菅笠
油　下独活　数冬　昆布　若布
鯲　数ノ子　塩鶴　干鰯　[illegible]　海鼠

干鮑　熊胆　鹿皮　海獺　海豚
心太　試金石　硯石

羽前 四郡
置賜　村山　最上　田川
三面山　黒沢嶺　清水
米沢 五郡　[illegible]　大沢
板谷　[illegible]　赤湯
小岩沢 [illegible]　小松原

萩生　沼沢　松嶺　滑川湯　金山嶺　山伏山　川口　天童

鮎貝　小国　川沢　姥湯　蔵王岳　浮島　上ノ山　六田

小坂　松川 以上同所ヨリ越後　赤湯温泉　千年山 ?屋ノ松　長谷堂　山形 ?　笠留?

皇國地名箋 卷上　羽前　札十五

飯田　延沢　戦場　寒川江　左沢砂地 戦場以下…山ヲ? 庄内道　岩沢　関谷　田代 以上銀銅山

土生田　寺町　山辺　白岩　古口　穴沢　栗生村 銅山

尾花沢 山形ヨリ以下 庄内道　上畑 以上奥州大巻道?　長瀞　海臨?　栗沢　竹房野村 以上金山　宝沢

亀割山　下畑山　新庄　板敷越 舟形以下…　白鳥沼　氣闘?　握美川?　湯田川

杉嶺　柳沢　清水　合山?　白糸瀑　尾国?　杉代　大山

板敷山　舟形　和具?　瀧沼　本渓?　坂下　濱中 鼠関以下三馬 海道?

皇國地名箋 卷上　羽前　札十六

袖ノ浦

三瀬 三馬道中

○

最上川 水源岩代東岳及陸前ヨリ発シ聚水ヲ納ツ飯田ニ至ノ海ニ注ク方言酒田川　大梵字川

野川　掛引川?

清川 村山郡ニ発シ最上川ニ入ル　大樽川

田沢川 小滝川ト村山郡ニアリ下流最上川ニ入ル　松川

面野川

米　大豆　酒　生絲　蚕種　糸織　青苧

漆　御蠟　油紙　紅花　干蕨　胡桃
小鳥串焼　温石　砥石

羽後　八郡

飽海　秋田　河辺　仙北
雄勝　山本　平鹿　由利
湯殿山　月山　羽黒山
金宝山　横峯　松岳山
鳥海山　大師山　三寄山

梨池山　志津　田麥畑
大網　松根　丸留　志津ヨリ出ル　庄内ヨリ上ノ山道
大泉　一名庭村　藤島　清川
山寺　松嶺　坂田　縣廳　鶴岡ヨリ七里　道
吹浦　女鹿　小砂川
汐越　木浦　芹田
平沢　本庄　松ヶ崎
象潟　道川　長濱

百三端　以上三崎座道　矢島　象潟
蚶満寺
虎毛岳　冠岳　院内銀山
横堀　湯沢　院内ヨリ峠ヲ　前新庄ヨリ岩手道　言語同断
保呂濱　横手　新庄ヨリ岩手道
高尾山　岩手山　刈和野　以下水沢
神宮寺　花立　大曲
六郷　厨川　金沢

駒岳　温泉　小杉山　八郎潟
角館　陸中岩手道　庄保内　同上　田沢　同上
上桧内　八森銀山
戸島　現
太平山　杜吉山　陸中ニ跨ル　矢立嶺　陸奥ニ跨ル
国見嶺　寒風山　新山
本山　滝山　鹿角山　陸中ニ跨ル
東院内　篠館　久保田　一名秋田

土崎湊　大久保　船川
高清水　大川　鹿渡
杜岡 久保田以下三馬屋道　荷揚場　小繋
今泉　綴子　河口
大館　釈迦内　沢尻 一ノ関道
白沢 荷揚場以下津軽道　沢尻 一ノ関道　岩崎
男鹿島　蝙蝠窟　八郎大潟 八郎潟トモ云
阿仁金山　七崎港

皇國地名箋 上　羽後　四十九

馬瀬山　森山 鐙山トモ　池蔵山
八森銀山　檜山 以下青森道　雀形
飛根、　能代　岩館
大田内　大沢
○
御物川 [illegible]郡ニ発シ角館川ヲ経久保田ニ至テ海ニ注ク　田沢川 八郎潟ニ発シ角館川ニ合シ戸島川ニ入ル
角館川 駒岳ニ発シ戸島川ニ入ル　新川
野代川 陸中鹿角郡ニ発シ能代港ニ至テ海ニ注ク　四十八川

早口川　岩瀬川
矢島川 最上郡鳥海山ニ発シ西北ニ流レ本荘ノ北ニテ海ニ注ク　古雪川
坂田川 最上川ノ一名
米生絲　真綿　秋田織　畝織
八丈縞　白鳥織　狸織　塗物　材木
鐵鍋　菜種　蕨粉　干蕨　蕨紙
秋田款冬　黒柿　紫艸　鹿皮　串鮑
海鼠　八目鰻　石脳油

皇國地名箋 上　羽後　五十

北陸道 七ケ国
若狹 三郡
遠敷　大飯　三方
青羽山　青井山　田名嶺
高濱浦　青戸入江　本郷 高松以下小濱道
笠原　川上　大飯 笠原以下丹州山家道
青戸入江
上林嶺　千坂越 以上丹波道　多太山 多田山トモ

後瀬山　中村　上根凝
小濱　遠敷（江州上中道）　日笠（同上）
若狹浦　唐船島
御神山　常神岬　三方湖
三方　氣山　佐垣
佐田（三方以下敦賀道）　丹生浦　上瀬社
機織地　粟野

○

[illegible]川（遠敷ニ發シ三方湖ニ入ル）　北川（川上ニ發シ三方ヲ經テ湖ニ入ル）
井ノ川（北ノ川下流）
厚紙　筆　漆器　木履　桐油　揚枝
苧　白昆布　熊川葛　黄連　海苔
和布　松魚　小鯛　蒸鰈　鰻鱺

越前　八郡

敦賀　南條　丹生　今立
足羽　大野　吉田　阪井

荒乳山　角鹿山　木ノ芽嶺
手筒山　天田野　水島
常宮浦　敦賀（浦港 驛）　氣比社（ノ浦 [illegible]）
山中　駄口　疋田（此以下近江 敦賀ヘ出ル）
湯川（福井道）　葉原（同上）　金崎
五幡
横山　鹿蒜山　湯尾嶺
五幡坂　鞋ヶ平　河野

二屋　今庄　湯尾
鯖波　脇本（三里以下福井街道）　板島（北國道）
燧　杣山　河野
日永岳（社）　愛宕山　帽子嶺
淦見　麻生
丹生山　白鬼坂　今宿（福井道）
鯖江　府中（福井道 武生ト云）　宿浦
三嵜　粟谷　瓜生

北庄　福井　浅水

舟橋 福井ノ下北国道　大味浦 三国街道

大日山　別山　白ケ岳 二ノカタ氏

大野　勝山　平泉寺

市原 出ニ長濱ニ　野原 勝山ヨリ白山道　千手瀧

不動瀧　白山温泉

黒丸　永平寺 曹洞派本山　丸山 勝山ヨリ白山道

竹田　燈明寺

皇國地名箋　上　越前　百三

丸岡　長崎　金津

細呂木 長崎ノ下北国道　松蔭 三国街道　三国湊

唐人防石　吉崎 御坊　小島

鷹巣　蓮浦

○

白鬼女川 近江ノ界ニ発シ九頭龍川ニ合シ海ニ注ク　足羽川 福井川浅水川トノ界ニ合シ白鬼女川ニ合シ海ニ注ク

日野川　帰川 鬼ケ嶽山ニ発シ今泉ヨリ流テ合ス

鹿谷川　九頭龍川 何ノ瀬川北黒龍川ト界ヨリ発シ北流シ河ニ入ル

米　奉書紙　鳥子紙　素麺　生絲

真綿　紹　紗　絹　紬　縞布　割織布

蚊帳　蓑　雲丹　茶　蠟燭　漆　麻

葛粉　甜瓜　小荷駄馬　熊胆　岩茸

香茸　和布　心太草　鰤　鱒　海鼠

烏賊ノ黒作　砥　硝子石

加賀 四郡

江沼　能美　石川　河北

皇國地名箋　上　加賀　百四

牛首　地獄　手塚山

大聖寺 温泉　立花 北国道　一ノ瀬

作見 北国道　動橋 同上　山中

大内 以上三所勝山道　東橋　蓮池

竹浦　篠原　山代温泉

山中温泉　塩屋浦 燈臺

三田山　手取山　佛ノ原

木葉潟 木場潟ト　今江潟 今江ト　月津

小松 同上　寺井 月津以下北国道　安宅 濱道
湊　掛橋　粟津湯
白山 国幣小社　釈迦岳　大己貴岳
妙法山　剱岳　笈摺岳
大日山 越前ニ跨ル　亀岳　雲竜山
鞍岳　ササラ山　風嵐山
尾曽根　中宮温泉　湯涌
新谷　木滑 尾曽根以下金沢ヨリ白山道　下折

金沢 石川県庁アリ　釼 金沢ヨリ白山道　泉寺町 同上
水島　柏野　松任
野々市 水島以下北国道　金岩 旧宮越大野ノ二區　富樫
大乗寺　本誓寺
二王山　三国山　内高松潟 河北潟ノ
八田潟 内高松ノ内　一乗寺　竹橋
津幡　森下 竹橋以下北国道
（）

菅生川 一ノ瀬ノ山中ニ発シ蓮池ノ浦ニ入ル　動橋川 山中ニ発シ柴山潟ニ入ル
津幡川 三国山ニ発シ内高松潟ニ入ル　安宅川 梯川ト称ス山中ニ発シ安宅ヨリ海ニ入ル
才川 [illegible]山ニ発シ内高松潟ニ　歡部川 亀岳ニ発シ西流シ海ニ入ル
鉄鎖川 才川ニ同ジ　森下川 [illegible]山中ニ発シ内高松潟ニ入ル
米　光絹　綿　撰糸　真綿　杉原紙
菅笠　赤絵陶器　木地類　[illegible]表
象眼彫　皷皮　手綱　鐙　翦子　茶
菊酒　落雁　大蛸　烏賊魚　鱈

熊胆　切石
能登 四郡
羽咋　鹿島　鳳至　珠洲
宝来山　羽咋潟　河尻
一ノ宮 気多社国幣中　阿武屋　福浦
味守　今濱
古城山　石動山 越中ニ跨ル　宝達山 同上
薄香嶺 同上　七尾 所口トモ　能登島 島地トモ

佐波　大木　揶浦
金丸浮 羽咋・内　味知
高爪山　鳳至　輪島 港
河合　小田屋　部倉島
天坂　宇出津 港　由井
総持寺 諸嶽山 道場
山伏山　時国　七島 能登島山下ヒ
珠洲岬 能登 岬ト云　正院　飯田

皇國地名箋 卅　能登　百廿七

蛸島 港　白丸 四郎丸トモ

○

鳳至川 丸山ヨリ発 輪島　大海川 加州ヨリ発シ
子浦川　宇出川

漆器　銅器　素麪　真珠　鮑　海鼠腸
烏賊ノ黒作　海鼠　江豚筋　心太草

越中　四郡

砺波　射水　婦負 姉負　新川

三国山 加能越　栗殻岳　源氏峯
宝坂嶺　黒坂山　砺波山
水無嶺　水無池　城端
小俣　福光　庄
往井　西赤尾 道 以上
今石動 高岡 道　一ノ岡 同上　三戸野
二上山　室津山　薄香嶺 能登ニ跨ル
石動山 能登ニ跨ル　高岡 北国道　田中 同上

皇國地名箋 上　越中　百八

脇村　氷見　伏木 新港ト云
大境　下村　名湖浦
加羅島　窪浮 水見浮トモ　放生津
笹渡　高尾 飛弾道　加賀沢 以下高山ノ
蟹寺　牛増
立山　剱岳　別山
薬師岳　金剛堂山　浄土山
松倉山　大地山　佛岳

朝日山　捺木谷　劔獄

黒川　富山　湯川

美女杉　短才坂　伏拝

中津原　室堂 湯川以下富山ヨリ信州松本ニ越ル道

篠津　同掛 以上二所高山道　東岩瀬 能登道

水橋 東西アリ　滑川　魚津

浦山　舟見　二日市

入膳　横山　境川 [illegible]以下越後ノ道

舟橋　称名瀑　虹ノ瀑

合本橋　立山温泉　小川 同

大牧 同　山田 同

◯

射水川 庄川ハ小股ノ山中ニ発シ[illegible]ヨリ海ニ注ク　千保川 砺波山ニ発シ大門川ニ合ス

大門川 飛弾ニ発源シ岩嵜端ヨリ海ニ注ク　神通川 飛弾ニ発源シ富山ヨリ海ニ入ル

艶川 ハ常願寺川ノ支流　常願寺川 白山ヨリ発源ス

上市川 同上　滑川 同上

早月川 同上　門川 四十八瀬

片貝川 同上　布施川 同上

黒部川 白山ヨリ発源ス　色波川 同上

小川

米　半紙　生絲　真綿　蚕種　五郎丸

八講布　木綿　染地　反物　銅器　漆器

茶　売薬　畳表　[illegible]　熊胆

鰤　鱒　干鰯　鯡　砥石

越後　七郡

頸城　古志　三島　刈羽

魚沼　蒲原　岩船

焼山 火山　[illegible]立山　戸倉山

大沢岳　雨飾山　鉾ヶ岳

鮫尾山　阿弥陀山　妙高山

天水山　五智山　駒ヶ岳

大明神嶽　島屋峯　米山
赤倉山　春日山　若菜山
市振　親不知　外浪
宇田　遠海　糸魚川
鍛冶屋敷　能生　名立
有馬川　長濱　今町港
春日新田　黒井　片町
柿崎　鉢崎 以上北国街道　清崎

中洞　山口　根地 以下糸魚川ヨリ信州松代道
高田　荒井　二本木
松ヶ崎　關山 温泉　二俣
小田切　關川 以上高田ヨリ信州松代道　稲包
岡田　番町　鳥島
上野 柏崎以下高田ヨリ信州飯山道　鉢崎　渋柿野　国分寺
大所銀山　糸魚川金山　大平村硫黄山
駒帰　上ヶ濱　直江浦

黒姫山　八石山　鬼割坂
米山薬師　佐藤池　鯨波 以下
柏崎　荒濱　宮川
椎谷　石地　出雲崎 以上青森道
妙法寺 火井　脚田　関原 妙法寺以下柏崎ヨリ[illegible]道
北条　塚原　上貝
駒嶽　大明神山　尚場山
清水山　坂戸山　白峯

惣岳　御月山　中ノ岳
秋山　赤沢　芦沢
水沢　川口　堀内
浦秋　五日市　六日市
塩沢　關　湯沢 温泉
三俣　二居　浅貝 川口以下高崎及ヒ沼田道
小知谷 小知谷以下長岡ヨリ信州飯山道　十日町　芦崎
赤沢　小出島

杉村 温泉　下倉
軌州山　守門岳　欺掛山
御所山　保倉山　長嵓
新町　須吉　軽井沢
一貝　大白川 以上沼川道　六日町
妙見 新町以下長岡ヨリ高崎道　見附　長沢
門堂　吉平 以上古代若松道 沼田道
関上山　赤佐浮　山田

寺泊　与板 塩井 火井　地蔵堂
高根室山　弥彦山 一ノ宮　鎌倉潟
鎧潟　白蓮潟　鳥屋潟
福島潟　塩津潟　弥彦
岩室 温泉　赤塚　新潟 港 縣庁
沼垂　松嵜　次第濵
築地　桃嵜 弥彦以下青森道　曽根
白根 以上二項新潟ヨリ寺坂上道　亀田　沢海

分田　水原　保田
荒川　新発田　中島
荒屋　柄川木 中島以下新発田ヨリ村松道
芝田　新津　五泉
小坂　田上 湯田上 温泉　加茂 以上新発田ヨリ長岡道
村松　黒水　三日市
鍛冶　中条 三日市以下新発田ヨリ村上道
五十巻　山内　赤谷

綱木　荒屋 以上若松道　五十公野
小島 火井　三条　如法寺 火井
小須戸　佐々木　八重
善照寺　太子堂
大利岳　上旭山　高根山
岩船 港　瀬波 港　村上
猿沢　塩町　武鉤
大沢　中村　黒川沢

中沢　大股　小股
小名部　田中　大川　以上青森道
平　黒川　石越酒ヲ産ス　大鳥
関　川口　沼　以上朱沢道
鉾立岩　壮子岩　蓬莱岩
粟島　鳥越渡
姫川　水原信州安曇郡ヨリ来リ駒帰ヨリ海ニ入ル　関川　信州野尻湖ヨリ発源ス

皇國地名箋　上　越後　百十五

信濃川　犀川筑摩川ノ下流　花津川
五十嵐川　[illegible]　阿賀野川　岩代若松猪苗代湖ノ下流
渋見川　野尻湖ノ下流　佐内川
悪田川　矢代川
縮布　カスリ縞　五泉平　精好　酒
折縄　紙　苧麻　蝋　油粕　漆
漆器　銅器　八房梅　三度栗　茶
煙草　旱藕　胡桃　白兎　鮭

鱈　鱒　八目鰻　大鰻鱺　針千本
雪海苔　蔓藻　石脳油　熊
佐渡　三郎
羽茂　雑太　賀茂
金山　十八坂　城山
高嵜　二見港　小木浦港
沢嵜　赤岩　赤泊港
腰細　同　松ヶ嵜　尾戸港

皇國地名箋　上　佐渡　百十六

深浦港　宿根港　野浦港
金北山　二岳　上杉山
経塚山　夕暮山　四十八瀧
水津港　夷港　白瀬港
浦川港　鷲嵜港　二亀岩
大野亀岩　羽丹生港　大川港
高下港
檀特山　金剛山　梛川　[illegible]

羽田　春日崎　一里岩
沢根港　二見港　沢崎港
○
二瀬川　国府川 二瀬川ノ下流
石花川　石田川
瑪瑙細工　鋳物　裂織　レナ布
箱細工　苫　藁細工　干物　葛粉
柿　榧實　旱藕　細辛　黄蓮

蒼朮　雪海苔　ツルモ　海豚　鮫
鰑　鮑　針千本　白兔　竹

北海道 当道未タ明細ノ書ヲ得サルヲ以テ其ノ大略ヲ記ス他日確定ノ書ヲ得ルノ後之ヲ改ムベシ
渡島　七郡
亀田　茅部　上磯　福島
津軽　檜山　爾志
河汲嶺　江差岳　鉛山

駒岳 内浦郡ニ　黒瀧山　茅守山
烏帽子岳　屋牟加岳　佐々山
見日岳　冷水岳　御鉾岳
中歌山　七岳　八岳
知内岳　仙見山 千軒岳ト　恵山
葛岳　尖岳　恵直嶺
安奴流川　有川　知内川
喜古内川　野田老川　落部川

濁川　乙部川　中ノ川
大沼　小沼　白神崎
矢越崎　野崎　銚子崎
汐首崎　恵散崎　胜子崎
砂崎　松屋崎　尾花崎
松前　及部　根森
大沢　荒谷　炭焼沢 松前以下津軽郡
禮髭　吉岡　宮野歌

白府　福嶌　知内
陰内 以上ツクエマ郡　木古内　札苅
泉沢　釜谷　三ツ石
當別　茂辺地　富川
三ツ谷 以上上イソ郡　汲切地　大野
一ノ渡 以上亀田郡　柳原　鷲ノ木
落部　野田老 以上茅部郡　小砂子
石嵜　塩吹　木野子

上国　江指　泊
田沢　伏木戸　枇花　奥川 以上檜山郡
乙部　小茂内　大茂内
突府　三ツ谷　蚊柱
相沼内　泊川　熊石 以上尓志郡
大島　小島　鴎島
鮏　鱒　鯖　鰯　雑魚　昆布　煎海鼠
鮑　海獺

後志 十七郡
久遠　奥尻島　太櫓　瀬棚
島牧　壽都　歌棄　磯谷
岩内　古宇　積丹　美国
古平　余市　忍路　高島
小樽
大田山　天狗岳　札幌岳　太櫓山
黒岳　岩内岳 火山　後方羊蹄岳 膽振ニ跨ル

德猪恩別山　雌岳　余市岳
和束梭岳 余市岳　古平岳　雄岳
混保山　茄瓊山　盤嘯岳
瀝沐岳 盧遮　突布岳　勇拉岳
鍋岳　哥棄岳　笠佛岳
尓部志内岳　實内岳　積丹岳
千勢根尻　伊勢鉢岳　本目岬
湊器岬　辨慶岬　検内嵜

御神嵜　雷電嵜　臼川
太櫓川　利別川 年別トモ　珠月川
壽都川　後志川　尻潞川
余市川　小樽川　尾平川
緹川　岩内川　火串
壽築　白糸滝　蚊志田
夏泊　雷岸　茶師内
糠森　島小牧　黒松内

皇國地名箋　上　後志　一百廿一

鯖　鮭　鱈　雑魚　帆立貝　煎海鼠
鮑　水豹　硫黄　アツシ 類衣

石狩　五郡

石狩　札幌　夕張　樺戸
空智　雨龍　上川　厚田
濱益
石狩岳　夕張岳　札幌岳
阿曽岩岳　黄金山　岩老山

アノロ岳　空知岳　比別岳
老井山　別刈山　暑寒別山
筑別岳　勇仁岳　雨龍岳
志別岳　丹根湖　良運湖
十府羅志内　紗幌　孟来
忍寄子　掀蛭　石狩川
空知川　雨龍川　竹別川
夕張川　江別川　札幌川

皇國地名箋　上　石狩　一百廿二

札幌社 官幣小
鮭　羆　熊　鹿　狐　鷲　アツシ

天塩　六郡

増毛　留萌　苫前　天塩
中川　上川
天塩岳　本天塩山　流別山
空芽山　風根尻　鴨居山
汁取岳　散鯨山　炊稲岳

江谷鞴山　諸千川岳　乇斗山
幌知岳　大塩川　猿太川
羽幌川　内太川　古丹川
留萠川　劔淵川
焼尻島　天賣島
鮏　鯖　鱈　鱒　雑魚　鮑　煎海鼠
昆布　鷲　狐　アツシ
北見　八郡

宗谷　利尻島より　禮文同上　枝幸
紋別　常呂　網走　斜里
由和布岳　祖父山根室ニ跨ル　斜里岳
初吹山　幌内山　有采牛山
斜未木岳　音根山　辺烏山
頸川山　千勢根山　千登蟹牛岳
阿茶荼標山　乇斗山
知床岬　野捕岬　納沙布岬

延巴岬　乍延納岬
渚綳浦　諸骨川　猿拂川
緭川　鉄里川　緭走川
勇川　常呂川　透川
網走湖　遠笛湖　藻琴湖
朱文湖　猿拂湖　年別湖
遠渕湖　野捕湖
鯖　鮏　鱒　雑魚　煎海鼠　鷲　鹿

アツシ
膽振　八郡
山越　数田　有珠　室蘭
緭別　白老　勇拂　千歳
蟹寒山　閑蘭峯　熊根岳
勇幣岳　舵牛岳　止氣岳
散斑岳　小谷轆岳　雖雪岳
沼見嶺　臼岳　今里蘭布岳

沼振別岳　白老岳　敷宇岳
室蘭岳　星氣散平山　善散平山
屈岳牛岳　福志岳　樽舞岳
混仁岳　禮文嶽　幌内岳
江庭山　逆谷川　於骨内川
勇拉川　於砂万辺川　於沙流別川
幌川　敷宇川　白老川
蛇侍川　臼川　別川

勇払川　厚間川　六川
江巴岬　醜津湖　筬津湖
履岳湖　善光寺灘　帯醫粟
巻古丹　千府岳内　部志保久
鷲別　黒松内　江直
撫木　蕨臺
鮏　鰯　鯡　雑魚　煎海鼠　帆立貝
膃肭臍　羆　熊　鹿　狐　アツシ

日高　七郡
沙流　新冠　静内　三石
浦河　様似　幌泉
浦色武岳　沙流岳　糠平山
式子岳　淘部志別岳　波伊山
藻岩岳　家内岳　尖岳
羆岳　幌尻岳　珍湯岳
沙抹氣岳　渋茶利岳　蚊摑止岳

宇遠比目岳　横岳　愛太乍岳
下日事岳　青山　當払岳
猿太川　紋川　美扑川
厚川　渋茶利　三利川
武庫川　幌川　襟裳岬
藻岩　千縫　幌居
鏢太奴月　義經社
昆布　鯡　鮏　煎海鼠　羆　熊　鹿

狐　アツニ
十勝　七郡
廣尾　當縁　十勝　中川
上川　河東　河西
獵虎岳　神岳　鶏色岳
目室岳　笄呂岳　奴茂部辺岳
島府牛岳　十勝岳　殖辺散花岳
利薫川岳　夕谷山　薩内岳

猿拂岳　熊根尻　結荷岳
遠川岳　部川岳　獵虎川
減舟川　當縁川　十勝川
千歳節川　茂當川　年別川
勇當川　美幌
鯖　鮭　昆布　羅熊　熊　鹿　狐
アツニ
釧路　七郡

白糠　足寄　釧路　阿寒
網走　川上　厚岸
雌岳　雄岳　久摩岳
摩周岳　黎薫別岳　西別岳
盤螺山　阿寒湖　久摩湖
麻周湖　當路湖　阿寒瀑
諸呂々川　久摩川　部寒拍子川
恩別川

大黒島　牡蛎島　千宝寺
昆布　鮭　鯖　鮫殻　煎海鼠
羆　熊　鹿　狐　花錦鼠　鷲
蒲莚　アツシ
根室　五郡
花咲　根室　野付　標津
目梨
千世根岳　天薫別岳　寒地牛岳

部屋牛岳　納沙布岬　野付岬
由瑠璃島　萠瑠璃島　纈尻島
大時島　秋路島　紋藻屏島
勇留島　春刈藻尻島　藻尻香島
板標津島　散藻尻島　四時谷島
志發島　多樂島　醜丹島
恩根湖　風蓮湖　標津川
宇遠川　丹[illegible]川　忠類川

意地止川　恩根荷縁川　小太糠川 以上[illegible]七川ト云
西川　小糸川　伊茶米流
小丹糠　薫根川　無川
忍路骨
鯖[illegible]鱒　海鼡　水豹　海獺
黒[illegible]羆　熊　鷲　アツシ

千島　五郡

国尻　擇捉　振別　紗那

薬取
火打山　黒智岳　山根山
連[illegible]山　登伊床山　祖父岳
毛[illegible]岬　野枝岬　[illegible]屋岬
跡[illegible]山　鴎刈有山　来麻臺山
[illegible]刈山　裡古部山 火山　[illegible]周岳 火山ナリ
散粒岳　越谷火山　黄取岳
露[illegible]岳　藻寄岳　志由麻山

知津刈山　乙今山　愛谷岳
藻尻葉岳　蝶津岬　黒鶴白千子岬
當縁沼　覗當沼　黄取沼
年求湖　部戸淵湖　利兎別瀑
泊　標津　内保
取[illegible]部　和津樫　有求
當古部　那余米　遠淵
當掃　瓜洲迫門　賣粒島

岩有岬　信野津岬　武宇反迫門
廉留島　志安迫門　摺頓迫門
羅紗倫島　無紗迫門　待岩島
姑老仁迫門　渋夜須古丹島
加林古丹島　世須止伊迫門
恩根古丹島　火矢地迫門　餡吹烏苞迫門
幌莚島　屈取吉利迫門
春珠島　吉利留迫門

鮭　鯖　鰯　鱒　煎海鼠　獵虎
水豹　羆　熊　狐　鷲　アツシ
樺太　唐太　庫頁　薩哈連
白主　富内　白濱　小實
榮濱　鵜代　幌泊　楠内
名芳　丞泊　越外　苗淵
田肥　真縫
饗路布山　宗牛岳　宇遠岳

白主山　小児山　恩凍山
登摂山　古江山　平周取山
宇留山　唐牛山　哥香山
富古丹山　留高山　平朩仙鹿山
田肥山　新名牛岳　路禮山
犬牛内山　小西川山　夜牛椰子山
幌登　宗志山　千代馬山
哥釧幌内山　古丹澑山　新紗待山

名寄岳　朱土井山　利運内山
野龍山　諸得山　勢田平山
天牛迎山　石丹山　突岨岳
富幾山　平松千鹿山　伊更山
良市名寛山　隣斂山　憐登志岳
歴脊床岳　敏恵古存岳　上尾岳
瀬凝岳　安巴舞岳　珠々山
知床岬　真知床岬　白主岬

突唃岬　淡谷岬　鞍阿岬

鶯帳岬　鉾部岬　野手岬

本湖　知部紗仁湖　輪淮湖

富内茶湖　盤香湖　幌内湖

縫江湖　茶江湖　雷血鹿湖

謙遅戸湖　鳥欒湖　敷鹿川

汁取川　新追川　真縫川

鷲毛川　縫鵜川　幌古丹川

護幹川　幌内川　亜尓華湾

鉢賢湾　鵞小門　和丙

後戸　輪流　本庄

有奴郎　子丹岸

小六子人　統連人　肉分人

鯖　鱒　鮭　昆布　煎海鼠　帆立貝

水豹　海獺　鷲　狐　馴鹿　麞

地名箋巻之終

大日本地名箋

山陰道　八国

丹波　六郡

桑田　船井　何鹿　多紀

氷上　天田

大江山 丹後ニ跨ル　天孫嶺　畑山

唐櫃越　能見嶺　鳥井嶺 摂津ニ跨ル

八田嶺　千歳山　保津山

亀岡 四名亀山　穴太 観音　本目 以上同国笹山道

鳥羽 同前福智山道　板橋 若州道　出雲社 国中社

外畑　篠村 八幡社

園部　須知　水呑

矢原 以上播州　檜山　下闕

強盗岩　大原社 狼ヲ神使トス

摂山　藤坂山　籾井 笹山道

福住 同上　笹山　杉子嶺

天王嶺 以上二所摂津ニ跨ル

清水山　小津山　三国山 丹播摂

神表嶺 但馬ニ跨ル　和田山　小野尻

午坂　竹田　小高

追入 竹田以下多紀山ヨリ播ニ道　柘原　石貢

遠坂 以上但州摂津道　国領

上尾嶺　御岳　一万坂

生野　福智山　天津

拝師　座田

鬼城　赤見嶺　箕内嶺

上林嶺　屋代嶺　黒谷越

粟峯　高倉山　綾部

山家　海瀬　物部

（川）

保津川 桂見峠及ヒ胝招峠ニ発シ山城ニ入桂川トナル

久下川 氷上郡ナリ笹山ノ東ニ発シ播ニ入リ大川ト為ル

福智川 丹後由良川ノ上流
弓削川 保津川ノ上流
大蜘川
豊富川
棚野川
上林川 何鹿郡ニアリ末ハ福智川ニ入ル
和智川 船井郡ニアリ福智川ニ入ル
左治川 神衣峠ニ發シ下川ニ入ル
土師川 天田郡ニアリ
高屋川

蘭表　大豆　小豆　綿　金山木綿
太布　陶器　杉皮　太蔴　粉　葛粉
氷蒟蒻　烟草　山椒　栗　木賊　櫨
天、蜂蜜　蠟　五倍子　石灰　燧石
金剛砂

丹後 五郡
與謝　中　竹野
加佐
熊野

建部山　屋代嶺　大舟嶺
多袮山　普甲嶺　由良ケ岳
千丈ケ岳　松尾山 若狭ニ跨ル　由良 港

川尻 田辺ヨリ宮津道　中山 同上　舞鶴 田辺ノ名 田辺港
白滝　市場　松尾 由良以下宮津ヨリ若狭小濱道
倉見 舞鶴ヨリ此道　河守 同上
大江山　三谷山　神路山
北向嶺　長尾嶺　鼓岳
足占山　成相山　真名井原
座頭轉　七曲　黒嵜
宛文殊　大鼓濱　五色濱

琴弾浦　王ノ浦　経ケ岬
浦島 水ノ江　鷺岬　竹根浦
天橋立　與謝海　阿曽海
籠神社 国中社　切戸文殊　毛島
乙島　冲島 鐘塔島　内宮
外宮　栗田　宮津 港
岩瀧　弓木 濱道　二世川 宮津ヨリ福智山道
加悦　佛谷 此二所宮津ヨリ出石道

御坂嶺　長岡　御坂
峯山　三家（峯山以下但馬道）　竹野社
大智嶺　中濱港
間人村港　夕日港　同浦
久美濱　袖志村港　上日港
布袋野　橋爪

○

由良川（丹波ヨリ来リ由良ニテ海ニ注ク　八千八川トモ云）　淺藻川（竹野川ノ一名ナリ）

佐野川（但馬ノ界ニ発シ西北ニ流テ海ニ入ル）　倉梯川
宮川（加悦ヨリ発シ由良ニ入ル）　竹野川（但馬ノ界ニ発シ北流シテ海ニ入ル）
田辺川（丹波ノ界ニ発シ舞鶴ニ入ル）
撰糸　縮緬　紋縮緬　綾織　丹後縮
細縮　大杉原　鳥ノ子紙　蝋燭
蜂蜜　桑　神代杉　小杉　心太
海雲　鰒　河苔　鯛　金剛砂

但馬　八郡

朝来　養父　出石　氣多
城崎　美含　二方　七美
生野銀山　朝来山　和田山
竹田（以上豊岡ヨリ生野道）　粟瀬　白井（八鹿ヨリ村岡ヘ道）
物部　蹈鞴木
中瀬銀山　妙見山　延明銀山
高田（豊岡ヨリ姫路道）　網場
入佐山　出石　岩嵜

山下（出石ヨリ福知山道）　大谷（同上）　藤杜
久畑　大河内　出谷（藤杜以下丹後道）
湾坐　出石社（同中社）
川瀬　擽銀山　三原
松岡　竹貫
来日山　白山　田結嶺（丹後ヘ）
津居山港　結浦　二見浦
後ヶ島　豊岡（縣廳）　城崎温泉（湯島トモ）

森津　氣比　金剛寺
久斗山　余部岬　丹生港
訓谷　隼人
加茂峠　七曲峠 共ニ同路　雪濱 雪ハ白濱トモ
鬼門岬　濱坂港　諸寄港
釜口　居組港
氷山 嶺名　村岡　福岡
大久保　日數

○

城崎川 豊岡川トモ　湯嶋川 城崎ニアリ
佐野川 氣多郡ニ發シ城崎川ニ入ル　出石川 丹波界ニ發シ城崎川ニ入ル
氣多川 氣多郡ノ北ニ發シ城崎川ニ入ル　朝來川 播ノ界及ビ丹波界ニ發シ城崎川ニ入ル
矢田川　養父川 七美郡ノ南ニ出テ海ニ注グ
諸寄川 七美郡ノ北ニ出テ海ニ注グ
生絲　撰糸　眞綿　綿　縮緬　細
藤布　宇陀　蔴　小　陶器　縫針

紙　村岡紋紙　葛籠　柳行李
糸細工　麥藁細工　烟艸　蜂蜜　蕨粉
蕨繩　甘艸　城ノ崎海苔　瀬戸海苔
朝倉山椒　神代杉　珊瑚珠

因幡　八郡
岩井　法美　八東　知頭
八上　氣多　高草　邑美
東銀山　蒲生銅山　湯山池

浦住　温泉町　網代港
因幡山　宇倍社 國幣中社　桜谷
山根　上池　湯本
福井　安井　德丸
討良　若桜 以下但馬村岡道　吉川
落折　花原
馬荒鹿坂　知頭 作州津山道　鷹
野原　駟馳 山陰道 播州姫路道

四角嶺　鹿野　袋原
水谷　德谷川　用ヶ瀬（津山道）
河上　船岡　水谷
鷲峯山　日光池　田原
鹿野　青谷（木子道）
小山池　青島　濱内背
加茵（杜）　母里　吉岡（古承）
尾崎　竹生

鳥取（縣廳）　古川　国安
鳥島　海士島
○
加留川　千代川
若櫻川　袋川
生絲　白絲　麻絹　綿子　木綿
生布　拔木　苧麻　鋤　黄　菅笠
疊表　骨柳　茶　柿　蠟　雞卵　梅干

栗　竹　骨粉　茯苓　五倍子　黑木
錫　干鰯　乾鮑　鰻　温石　燧石
伯耆　六郡
河村　久米　八橋　汗入
會見　日野
人形山（跨）　天王坂（同上）　鳥井嶺（同上）
坊主嶺（同上）　四角嶺（因幡跨）　拡嵜
美德山　倭文社　宍鴨

本地山　本泉　吉原
泊港　東郷池（東）　長瀬
蛭山　湯關（温泉）　倉吉
吉川　四十曲
多根　上伊勢　八橋
赤塚　今市　八橋野
妻波　野中倉
大山（大神山神社）　鍋山　熊見山

ミブ　ヒノ

瓦山　逢坂　淀江
日原　本宮
舟上山　新山　二部　嶺
四十八森　外江　米子
山市場　名和　浦　市搦
境村港　切杭
沓掛　坂屋原　根尾
溝口　沓掛以下作州真島道　木谷　以下備中道　黒坂

皇國地名箋　下　伯耆　十一

生山　以下備後道　九塚

○

橋津川　因幡及ヒ美作ノ界ニ発シ長瀬ヲ海ニ入ル　篦津川　美作ノ界ニ発シ北海ニ入ル
甲川　同上　拵田川　同上
荒井川　同上　冑川　同上
天神川　同上　阿弥陀川
日野川　備中備後ノ界ヨリ発シ東北ニ流テ海ニ注グ
繰綿　木綿綛子　麻絹　畳表

イツモ　タミ

稲扱　炭　白砂糖　干温飩　素麺
椎茸　甘茶　紅花　藍　干瓢　蕃薯
干薇　人参　熊胆　干鮑　鮑熨斗
干鯛　車鰹　鯣　燧石　硝子石

出雲　十郡

出雲　楯縫　秋鹿　島根
大原　意宇　能義　仁多
飯石　神門

皇國地名箋　下　出雲　十二

寉山　朝山　来成山　天王社
鰐渕山　御嵜山　宇竜岬
日御崎　社　因小社　宇竜港　鷺宮港
幕島　友島　盤島
素娥　築杵　大社　官大社　入南
遥堪　鰐渕寺
十六島　浦

佐田（浦 社）　秋鹿　古浦
伊野　長野
枕木山　手間山（關山）　加賀浦（崎）
雲津灣　三保關（岩）　千酌
松江（島根郡）　錦浦　朝酌
手間　河津
八雲山　八重垣山　揖屋坂
熊野山（社 山中）　三日市　湯町（温泉）

伊弉河　玉造温泉　忌部温泉
大根島　銅山（出雲郡）　石炭山（矢田村）
長谷原　來海
鳥上山（伯耆境）　安來山　八杉
田里　廣瀬　宇加山
袖師浦　富田
簸川上　長瀬原　湯村（温泉）
三沢温泉　大谷

三阿如山　琴引山　神石
龍頭滝　都賀　大津
中郷　赤穴

○

簸川（東ヨリ備後ノ界ニ発シ三刀 簸川ハ四瀬ニ入宍道湖ニ注ク）　井尻川（能義川ノ一名）
富田川（仁多郡ノ界ニ発シ荒島ニ至テ海ニ入ル）　熊野川（熊野ノ山ニ発シ揖屋ニテ海ニ入ル）
能義川（仁多郡ノ界ニ発シ而安来ニ至テ海ニ入ル）　比田川（富田川ノ上流）
三刀屋川（飯石郡ノ山中ニ発シ 簸川ト合シ宍道湖ニ入）　古志川（石見ノ界ニ発シ北流シ海ニ入ル）

神門川（飯石郡ノ界ニ発シ北流シ海ニ入ル）　來待川
宍道湖（一名松江）　神在湖（神門郡）
紙　椿艸　桐油　木綿　扱苧　尾
陶器　瑪瑙細工　塩　黄蝋　白蝋
蜂蜜　干魚　鮑　串貝　鯖　鰤
人参　茯苓　十六嶋海苔　瑪瑙
石見　六郡
安濃　迩摩　邑智　那賀

ア
美濃　鹿足
三瓶山　吉永　河合
志学　酒谷　大浦
羽根湖　物部社 国幣小
銀山　宅津　邇摩
温泉津 港　西田　荻原
荻町　久利
中野 以下濱田ヨリ安芸ヘ通ズ　市木　久喜 以下安芸ヘ[illegible]道

皇國地名箋　下　石見　十九

大林　石[illegible]
星高山　濱田 縣廰　長沢
今市 濱田ヨリ安芸道　江田　江津 以上[illegible]
長濱 港　外浦　宰ノ泊
戸田港　須津大嶋　瀬戸島 港
須津江　周布　二隅 周布以下長門萩道
[illegible]　折居
高角山 高津[illegible]　芋山　當麻山

雲雀山　津田　益田
小濱 入[illegible]　廣瀬　飯浦
星坂嶺　大野坂
津和野　日原　横瀬
星坂 岩国道　横道 出ル[illegible]宮内ヘ
〇
郷ノ川 江川ノ又名見川[illegible]山ヨリ郷[illegible]当国江津ニ至テ海ニ注グ　出羽川 源ヲ[illegible]東流シ石見川ニ入ル
長原川　市木川 出羽ノ上流

皇國地名箋　十七　石見　廿六

熊見川 [illegible]高津川ニ入ル　周布川 [illegible]
益田川 [illegible]　高津川 [illegible]
三隅川 [illegible]　木部川 [illegible]
津和野川 [illegible]　一股川 [illegible]ノ上流
諸紙　柳[illegible]　蜂蜜　[illegible]　鹿粉
葛粉　香茸　三度栗　鯛　海苔類
隠岐 四郡
知夫　海部　周吉　越智

隠　アマ　ヲチ　スキ

島前 二島アリ　島後 周吉越智二郡
知夫里島　中島　西島
焚火山　鼓岳　知夫港
浦ノ郷港　波賀島　三田港
島津島 渡島トモ　大柱島　竹島
三郎島　文覺島　由良姫社
別府　珍崎
知々井崎　豊田　北方

小杜島　松島
都方 高田ノ社　福浦港　大森島
蔵田　四敷島
大滿寺大岳　撫尾山　西郷港
津井　長尾崎　港
府中　沖ノ小島

○

八尾川 穿尾ヨリ周吉郡ヨリ原田ノ山中ニ発シ海ニ注グ　原田川 周吉郡ニアリ原田ノ山中ニ発シ分派シテ海ニ注グ

防　カコ　ミキ

桐　采　樅　板　櫟　扱　推　茸　和布
牡蠣　鯣　干鮑　下海鼠

山陽道 八国

播磨 十六郡

明石　加古　印南　飾東
飾西　揖東　揖西　赤穂
美嚢　加東　加西　神東
神西　多可　宍粟　佐用

雄子尾　雌子尾　鳴尾山
引尾山　垂見 以下西海道 海神社里　明石浦 人丸社
舞子濱　大倉谷　大久保
長池　西谷　石炭山 中山村
土田　別府 湊 手枕松　尾上 社 鐘 別府以下播州[illegible]
二見村 港　西條
高御座山　鷹巣山　戸田山
檜笠山　八十石階　印南野

皇國地名箋　下　播广　十九

神爪村　曾根 天神社　高砂 港 松山
石宝殿　魚崎浦村 港　加古川 駅
豆嵜 加古川ノ下 由海ノ　志方　印南浦
大鹽　陶口
廣峯 姫路ノ　長彦山 雄山ノ　弥高嶺
增位山　麻生山 播ノ小 白ノ上　姫路 飾广驛
御着 西海道ノ駅　飾磨津　飾磨海
鞍掛島　南畝
雪彦山　書写山 観音　山田嶺
中濱　沖ノ投石　男鹿島 播ノ岬
坊勢島　西ノ島　松島
家島 宮浦　青山　唐猫谷
風早峯　琵琶山　斑鳩 以下西海道 鵤トモ
新宮 作州津山道　林田 同
門前　揖養
金剛山　傾城岳　山伏岳

皇國地名箋　下　播广　二十

室山 港 室津ノ前　網干　立野
千本 林田ヨリ津山道　山余 以下西海道　尻島
寉亀　讃石
舟坂山　大肖山　白旗山
無鐵山　那波 塩屋　坂越 同
赤穂 目岬　恋濱　七島
大島　有年 西海道ノ駅 西有年村銅山アリ　𪫧縄
赤松　銅山 細倉山
屛風峠 摂津ニ跨ル　高木　三木
淡河　貸潮
清水山寺 観音　三草山　市場
小野 三草以下丹後ヨリ摂州三田ノ田　坂本 姫路ヨリ福知山道
鶴野　法華山寺 観音　繁昌 三田福知山道ノ追分
金倉山　二宮　野村 福知山道
銅山 豊部村　的場
粟加 豊岡道　福本　米田 三田道

真弓 宍粟道　杉原
山崎　安知 安志トモ　市場 伊和社
大日山　小日山　高倉山
東今峯　三日月 林田ヨリ津山道　上月 同シ
佐用 サヨトモ　平福　奇延
春哉　佃藏

○

明石川 明石郡北陸ニ発シ南ニ流レ海ニ入ル　加古川 瀧野川ハ丹波ヨリ下リ…東西郡ニ発シ合流シテ高砂ニ於テ海ニ入ル

金市川 加古川合流ノ東ニ支リ　荒井川 同上西ノ支流ナリ瀧野川トモ
東条川 丹波ノ界ニ発シ西流シ加古川ニ入ル　市川 神路川ハ神東郡ノ北陸ニ発シ南流シ飾磨ニ至リ海ニ入
御祓川　正条川
笛部川　安粟川
有年川 千草川ハ…　上津川 有年川ノ上流
熊見川　久寄川
夢前川
華細工　塩　焼塩　醤油　酒　晒木綿

綿　高砂染　織帆　足袋　甲掛
陶器　膠　杉原紙　算盤　白蠟　茶
干瓢　針　凧　素麺　牡蛎　細干海苔
飯章魚　海鰻　白魚

美作 十二郡

英多　勝南　勝北　吉野
真島　条南条　条北条　東南条
東北条　西々条　西北条　大庭

泉山　土井 津山ヨリ林田道　横川
坂根 鳥取道　筏津　銅山 川北村
勝間田 温泉　湯郷　本地原
新野 林田道　関本
条更山　塩乗山　弓削 真島ヨリ留山道
福渡 同上　誕生寺　落合
坪井 真島ヨリ留山道　公文　領家
高田 林田鳥取道ノ追分　黒木 鳥取道

人形山　津山　二宮 津山ヨリ伯耆 八幡道
院庄 同上　奥津 同上　中山社 国中
真島　久世 真島ヨリ米子道　湯本 温泉
徳山　湯原 温泉　真賀 温泉
赤見山　三国山　鹿田 備中新見道
三鴨 真島ヨリ米子道　新庄 同上　藤森

○

吉野川 吉野郡北陸因幡界ヨリ出テ英田郡ニ入リ梶並川津山川ニ合入
梶並川 勝北郡同上ヨリ出テ英田郡ニ入テ吉野川ニ合入

津山川　幕田川 中津川ノ上流
院庄川 西北条人形山ニ出テ津山川トナル　西川 因幡ノ界ニ発シ津山川ニ入ル
河面川 津山川ノ上流　東川
中川　真島川 伯耆ノ界ニ発シ備前ニ出テ吉野川ニ入ル
高田川 因備ノ界ニ発シ津山川ニ入ル
雲齊織　烟艸　石灰　和人参
香魚　下白魚　高田石　五倍子

備前　八郡

御野　津高　磐梨
和氣　邑久　上道　兒島
十三嶺　大山嶺　天神山
八木山　三石 古城址　同上
伊部 陶器　邑田 西海道　梨木 津上道
塩田 同上　鹿久居島　大多府島
曽島　香ノ島 鴻ノ島
熊山 古城址　西山寺山　虫明

山田　笠賀　牛窓 港
神崎 笠賀以下 富道　長船　長島
前島　大島 尻海村　犬島
藤井 西海道　教使 同上　西大寺
関　西禅院
邑田　那磨　父井
加茂山　須佐井 津山道　白石
加茂 真島道　伊田

建部　金川　大森 岡山ヨリ真島道
黒瀬　石上社
富山 縣廳　大島井 西大寺　[illegible]帰
大島井　南長瀬　曽根 濱道
瑜伽山　常山　天城
藤戸 渡　浮洲岩　田ノ口 至丸亀航海
田浦 同上　下津井　米崎
六口島　上水島　大槌島

日比　打網　下村

東大川 吉井川ノ一名　吉井川 美作大川ノ下流ニテ児島湾口ニ注ク
西大川 旭川ノ一名　旭川 下流ヲ逆瀬川トモ真島川ノ下流児島湾ニ注ク
酒　醤油　素麺　茶　綿　小倉織
雲齋織　真田紐　陶器　刀剣
畳表　[illegible]　水母　糖鰕　干白魚
章魚　烏賊魚　[illegible]　藤戸海苔

備中 十一郡
都宇　窪屋　浅口　賀陽
下道　小田　後月　川上
上房　阿賀　哲多
深井　早島　羽嵜
鳥羽　神村社
神村山　倉敷 岡山ヨリ福山道　日間山
八王寺　子位庄

直山　冨田　八重村
戸島　大島　竃泊
阿智潟　亀島池　石井池
縣守淵　泊島社　木綿崎社
黒崎 岡山ヨリ福山道　下水島　三郎島
石目山　神島社　吉田
月出島　白石島　真鍋島
新田池 入江　笠岡 小田縣　片島

皇國地名箋　下　備中　廿七

大高島　大飛島　六島
妹山　二ガ山　小松原
笠原野　石手拄　屋影淵
藤原池　河辺　△冨田
矢掛 河辺以下西海道　山田 高梁道　松尾
忍山　皷山　岩碕山
八幡山　黒髪山　長良村
石隈橋　△庭瀬　板倉 西海道

足守　大井　高田
吉備津社 国中
井山　大村山　□高梁 旧松山
平川 高梁以下真島道　塩壺
劒山　黒髪山　花光山
荷山　塩城　高岡拄
永冨　△新見　弓弦
刑部 新見以下真島道　銅銀山 田治部　赤瀧山

皇國地名箋　下　備中　廿八

弥高山　玉ノ尾山　山ノ井
鏡瀬　玉村　銅山 吉岡
銅鉛白鑞山 小泉村
天神　宂田金山　万歳井
青木　八島　上神代
△成羽　泉三条　七日市 西海道
高屋 同　李村　縣主

○

高梁川 [illegible]　松山川 英賀川上三郡ノ衆水ヲ會シ流テ河辺川トナリ海ニ入ル
成羽川 [illegible]　小田川 源後月郡ヨリ発シテ[illegible]川ニ入ル
江原川 [illegible]　大井川 備前ノ界ヨリ発シ南流シ板倉川トナリ海ニ注ク
河辺川 [illegible]
大高檀紙　杉原紙　小菊紙　生糸
藤行李　[illegible]表　茶　[illegible]　塩
水島鯛　硯石　柳行李

備後 十四郡

皇國地名箋　下　備後　廿九

深津　安那　神石　沼隈

品治　葦田　御調　世羅

三次　三谿　甲奴　三上

惠蘇　奴可

神辺 西海道　須津 福山道　福山

山野　胡桃　賀茂

長野　川田　酒屋

伊勢山　鞆 湊　今津 西海道

細太 觀音　渡社 一宮　田島

仙醉島　走島　宇治島

横島　百島

中島　江尻　宮内

松語撫　古府中　有地

尾道 港　三原　向島

院島　鰯島　大細島

鞆山　九文

上野山　甲山　小童

古金　在原　四田

三次 以下雲州部ニ出ツ　布野　横谷

神部　領家　女田

庄原　高門　春田

森脇　油木

東条　小瀬　小串

○

皇國地名箋　下　備後　三十

大田川 葦田川ノ下流也　東条川 伯耆ノ界ニ発シ出羽辺川ニ入ル

三次川　田幸川

西条川　神谷川

田房川　阿威川

御調川　葦田川 御調川ノ下流

疊表　綿　御行李　綿

茶　烟草　雁皮紙　保命酒　素麺

大根　鯡　魚　備後

安藝 八郡

豐田　加茂　沼田
高田　高宮　佐伯
　　　山縣

本郷　沼市　忠海港
瀬戸田島港　黒島 [illegible]島トモ
寺町　四日市　西條 以上西海道
竹原港　三津港　内海港
川尻港　仁方港　廣村港

皇國地名箋 下　安藝 五十一

阿賀港　風早港　三津口港
御手洗港　大芝島　情島
海田市　府中 以上西海道　戸坂
上深川 以上雲石道　向灘港　三瀬町港 蒲刈島
瀬戸町港　本浦港　鹿老渡港
蒲刈上島　鹿島 [illegible]島トモ　横島
似島　倉橋島
廣島　江波島港　長束

銅山 八木村　光明院
弥山 宮島ノ内　廿日市港　玖波 同
草津 同 以上西海道　嚴島 港宮島ニ在 神社国中　阿多田島
大黒神島　大那佐美島
阿多田　宮内 以下西海道　小方
津田 雲州道　中通
可部　秋山　桐原
背向山　中山 以下濱田道　本地

皇國地名箋 下　安藝 五十二

筏津　八幡原
吉田　栗屋　銅山 深川村
佛通寺山 石夢出ス　土師　小越

沼田川 豐田郡及ビ賀茂郡ノ界ヲ流レ[illegible]海ニ注ク　戸野川 石見及備後界ヨリ発シ[illegible]ニ入
入野川　椋梨川 豐田郡ニ発シ備後ニ入リ[illegible]川トナル
八木川　太田川
三篠川 ミサヽトモ　吉田川 山縣郡ニ出テ高田郡ヲ経テ石見国ニ[illegible]

大竹川
米　諸紙　塩　炭薪　山繭紬　綿
紙袍　木綿　赤地類　下駄類　傘
葛籠　竹皮笠　矢野鰯　竹　大根
蜂蜜　胡粉　治灰　西條蒲　牡蠣
銅　目張　廣島海苔　厳島海苔
麋鹿　蜜柑

周防　六郡

皇國地名箋　下　周防　三十三

大島　玖珂　熊毛　都濃
佐波　吉敷
甲山　地家室港　仲家室港
小松開作港　大畠　伊保田
日見　戸田　飯山
岩国山　岩国　小瀬嶺
関戸　玖珂本郷　高守　小瀬以下西海道
廣瀬　大貫岬　麻里布港

桂島　端島　浮島
頭島　八代島　鰯島　情島
大水無瀬島　荷内島　祝島　笠島
平群島　牛島　馬島
岩見島　祝島　仙島　錦帯橋
室津港　室積港　以上濱道　普賢山
象鼻山　水場浦港　上関
金峯　御岳トモ　徳山　下松

皇國地名箋　下　周防　三十四

今市　呼坂　濱市
花岡　福川　今市以下西海道　加野
奥大　椛原　加野以下津和野道　一宮　玉祖社
川嵜　富田　平野　川嵜以下濱道
須磨　深浦港　笠戸島　港
袷島　仙島　黒神島
大津島　馬島　玉祖社　国小一宮村
佐波河内　舟坂　仁保　以上山口より津和野道

富海　宮市 富海ノ下 西海道　三田尻 港
四郎ヶ谷 港　小田港　小芽港
中関　野島　向島
鉾岩　幸井
天神山　氷上山 氷上山　高峯 社
山口 縣庁　宮野　大海
大道 西海道　小郡 同上　九屋港 岬
赤石嵜　端港　竹島

赤岬　陶　常波

○

小瀬川 安藝国ヨリ来テ岩国川ニ合シ海ニ入ル　岩国川 安藝及ヒ石見界ヨリ発シ小七川ニ合シ海ニ入
錦川 岩国ヲ経　三瀬川 岩国川上流ノ水
大潮川　桶山川
田原川 石見ニ発シ岩国川ノ上流ナリ　吉敷川 長門界ニ発シ椹野川ニ入ル
島田川　椹野川 小郡川ト云 長門ノ界ニ発シ南流シテ海ニ注
徳地川　莊方川

佐波川 長門界ニ発シ南流シテ海ニ注ク　川掛川 都濃郡北部ニ発シ南流シ富田ニ至テ海ニ入
周防灘
米　諸紙　陶器　蚕生蠟　塩　紫蘇
縮布　絞鹿子　縞木綿　白木綿　藺
石灰　砂糖　漁網　干鰯　指物　砥石

長門 大郡
豊浦　大津　阿武 アブ　美祢
見島　厚狭郡

二ノ山　甲山　粟野山
豊浦山　小月　清水
西市　豊浦 田舎 長府　鳴戸
下ノ関　赤間関 港　肥中 同
特牛港　新地港　下津川尻港
福浦港　南風泊港　竹嵜港
伊嵜港　干珠島　満珠島
引島　六連島 燈臺　角島

金伏岩 佐賀　与次兵ヱ岩 同　俎 同
蓋井島　川棚温泉　住吉社 田中一宮村
俵山温泉 同村深山　深川 同　正明市
千畳　中村　東港
久津港　通浦港 青海島内　小田港
青海島　大島
西鳳翩山　一位岳　三見
萩 濱港　大井　那古

木与　宇佐　総江
須佐港　江崎　下田方
生雲　笹波　明水
嫁泣港　恵美酒港　浮港
夕御港　相島　大島
鯖島　櫃島
一坂越　女房原越　長登
山中　大嶺　繪堂

皇國地名箋 下　長門　三十七

宇部　舟木 石炭ヲ出ス　朝市
本山　吉田　瓜生野
後潟村川港　苅屋浦港
藤曲村川港　赤岬
見島　兼高島
○
厚東川 美祢郡ニ発シ乙曲ニ至テ海ニ入ル　吉田川 大川ノ分流
大橋川 阿武川又大川トモ徳佐川ノ下流ナリ　土原川

大井川　大㟢川
河上川 萩ノ南ニアリ　徳佐川 石見界ニ発ス
地福川 大川水源ノ支流　飯櫃川
當田川　吉部川 大川水源ノ支流
米　諸紙　木綿　絞鹿子　縮布
素麪　生蠟　竹細工　籐細工　櫛
陶器　茯苓　呉茱萸　紫草　荒和布
アヲサ　長門海苔　心太草　鯨　章魚

皇國地名箋 下　長門　三十八

鰯 烏賊魚 鮑 鱶鰭 香魚 硯石 赤間
南海道 六国
紀伊 七郡
伊都 那賀 名草 有田
海部 日高 牟婁
高野山 不動坂 梨木嶺
大窪嶺 紀見嶺 大沢嶺 大窪以下和泉路
真土山 大和路 朝戸生 大瀧

九度山 橋本 學問路
河根 紙屋 橋本以下高野道 大畑
花坂 廣口
妹山 妹山 根来山寺
高辻 大津 志賀
粉川寺 観音 究伏
名草山 紀三井寺 雄山 日前宮 官大
国懸宮 官大 雜賀 和哥山 縣廳

岩手 鳴瀧 栖井
鹿ヶ瀬山 藤向嶺 蕪坂
御坂 加田 粟島社 加田港 瀬戸 吹上濱
玉津島 社 和哥浦 伊勢木
加茂谷 宮原 名高浦
友島 沖友島 浦初島 地ノ島トモ
絲鹿嶺 坊主嶺 雲雀山
湯浅 港 北港 由良岬 港

海獺島 畑島 神谷浦 畑島 大引浦
修理 鴨谷 稗木
宮原 切目山
愛徳山 塩谷嶺 榎坂
岩代山 片倉嶺 南部嶺
坂嶺 端無嶺 日比岬
由良港 白港 堺港
元島港 印南港 小松原

唐子　南部　千里濱
鹿島　畑島 神谷浦　烔島 大引浦
海瀨島　岩代岸　道成寺
汐見嶺　大坂嶺　柏嶺
岩上嶺　妙法山　那智山 瀧
雲取嶺 大小アリ　舟見嶺　胴切坂
女夫坂　湯峯 温泉　大串嶺
吹越山　神倉山　木本嶺

大蕗嶺　八鬼山　櫻坂
鉛坂　鉢神坂　孫瀨坂
曽根太郎坂　狼坂　花窟
人国山　田辺　高原
近杖　野中　湯川
湯峯 高原ヨリ下田辺ヘノ大小道　富田　阿瀧
三口　里浦　有田浦
汐岬 燈臺　浦加　牟杭

三輪崎　新宮　那智
請川　本宮 那智川下大和道ニ到　有馬
新鹿　二鬼　尾鷲
馬瀨　木村 有馬以下新宮ヨリ勢道　網不知港
立ヶ谷港　白濱 温泉湯崎　周参見港
袋 同　橋杭 同　大島浦 同
新宮川口 同　三輪崎 同　宇杭 同
勝浦 同　大池 同　下里 同

浦神港　三木島 同　九木浦 同
須加利 同　引本浦 同　江川 同
木杉 同　立戸 同　細野 同
高瀨村 同　饒石浦 錦浦　玉浦
阿賀島　鈴島　大島
中島　向島　稲積島

紀川 大和吉野川ノ下流ニテ加太ニ至テ海ニ入ル　有田川 有田郡東北ニ出テ西流シ海ニ入ル

湯浅川 有田郡ノ山中ヨリ出テ西流シ海ニ入ル　日高川 日高郡ノ東北ヨリ出テ小松原ヨリ海ニ入ル
切目川 日高川ノ南ニアリ　田辺川 田辺ノ西ニアリ
富田川 汐見峠ニ発シ富田ニ出テ海ニ入ル　安宅川 岩上峠ニ出テ安宅ニ至テ海ニ入ル
古庄川 妙法山ニ発シ勝浦ニ至テ海ニ入ル　成川 新宮川トモ大葉原ヨリ出テ新宮ヨリ海ニ入ル
阿多和川 新宮ノ東北ニアリ　市木川 阿多和川ノ北ニアリ
志原川 市木川ノ北ニアリ　井土川 志原川ノ北ニアリ
音無川 熊野山ニ発シ
栈木　樽丸　山炭　薪　蜜柑　桃

皇国地名箋　下　紀伊　四十三

折敷　漆器　陶器　黒砂糖　木綿
雲斎織　紋織　茶　煙草　忍冬酒
紅花　蜂蜜　蚕種　樟脳　松烟　椎茸
香茸　高野豆腐　抹香　鯨　鰹節
海蘊　眼丸 加田　加田海苔　荒和布
珊瑚珠　石灰　岩茸

淡路 二郡

津名　三原

千光寺 山トモ 先山　柏原山　行者峯
由良　△須本　竹口
撫本　岩屋　留田
津志　平安　志筑谷
淡路浮　繪島礒　松帆崎 浦
一宮 伊弉諾社 国中　室津　成山島
繪島 浦 繪島礒ノ別ナリ　大和島　福良 港
楪葉山　松本

皇国地名箋　下　淡路　四十四

完川　三原　湊里
吹上　白崎　小石端
沼島 野島トモ　烟島 松尾島トモ　沖炊鼻島 大岡島トモ
伊毘沖島　丸山沖島　潮崎

○

三原川 三原ノ郡ノ衆水所ヲ西北ニ向ノ海ニ注ク

米　陶器　青海苔　艾　海鼠　蠣布
磨沙

阿波　十郡

板野　阿波　三好　美馬

麻植　名東　名西　勝浦

那賀　海部

吹田　大坂　帑嵜

引田　坂本　木津

碁浦　北泊　島田山

高島　大毛山　鳴門 大小二アリ

撫養港　切幡寺

服町　上野 新田社

夏山　根吉良嶺　佐野山

大西　池田　蛭間

大瀧山寺　祖母山中 同高越　猪火谷

賀茂宮　重清

城山　高越山寺　多野

忌部　呉島

焼山寺山寺　国實　土師

粟島　銅山 神領村

徳島　曽良本　桜間池

津田港　南濵　大帑

大麻彦社　国分寺

眉山　住吉山　灌頂瀑

小松島　勝浦　大巫

辨天島　小金磯　宝山

銅山 棚野村　石炭山 同上　鶴林寺

島尻　富帑　椿泊

小勝島　高島　舞島

野島　和田島港　撟浦 同

中島浦 同　大龍寺　平等寺

剣峯 土佐ニ跨ル　八坂々中　八濵々中

岩本　鞆 同浦　宍喰港

加島港　日和佐港　由木港

伊座利　蒲生田　大島

出羽島　竹ヶ島　二子島

○

吉野川 土佐国土佐郡矢筈山ニ発シ当国ノ諸水ヲ納レ徳島湾ニ入ル

佐那河川 佐古山及ビ名東郡ノ西陲ニ発シ合流シテ徳島湾ニ入ル

榆井川 那賀郡ニテ…ノ山中ニ発シ徳島湾ニ入ル

桂川 旭山ノ南ニ発シ徳島湾ニ注ク

中川 那賀郡ニテ水源海部郡ノ…ニ発シ東流シ…海ニ入ル

日和佐川 海部郡…ニ発シ東流シ日和佐浦ニテ海ニ入ル

小松川 上海村ノ山中ニ発シ…ヨリ海ニ入ル

海部川 …ニ向テ海ニ入ル

宍喰川 土佐界ニテ舟津ノ山中ニ発シ宍喰浦ニテ海ニ入ル

廣戸川 吉野川ノ支流

皇國地名箋　下　阿波　四十一

今切川 吉野川ノ支流　別宮 板野郡ニアリ吉野川ノ支流

牛川 那賀郡ニアリ

藍玉　塩　刻煙艸　砂糖　鰹節　素麪

木綿　石灰　漆　若和布　心太艸　鱒

香魚　鯔　帆立貝　撫浦

讃岐 十一郡

大内　寒川　三木　山田

香川　阿野　鵜足　那賀

豊田　多度　三野

坂本　引田港　三本松

雀羽　女島　安土池

大窪寺　志度寺 浦 港　津田

太皷　鷹島　猿子島 新羽島

白岩 大小二アリ　名子島　五剣山

佛生山　八栗山　三条

山太寺池　幡羅

皇國地名箋　下　讃岐　四十二

宮脇　喜多　牟禮 武例トモ

屋島 山　駒立石　蘇甲

総門　檀浦　兜島

相引潮　大島　高島

鎧島　稲木島　笠居

立沸池 池宮　矢原　高松

円座 上下アリ　檀紙

一ノ宮 田村社同中　東港　女木島

男木島　国分寺
綾松山　白峯 社
妻田　上村　篦生嵜
大山　宇足津　坂出浦 港
象頭山 琴平山ト 社国中　飯山 又云讃岐富士トモ　松尾
上村　丸亀 港　白方
多度津 港　下真島
多度津　屏風浦　筆山 海

大嵜　道福寺
北茎岡　弥谷　下麻
松山 寺　箱岬 同浦　舟越 八幡
大濱　西光寺
雲辺山 阿讃ノ二國　箱嶺　琴弾浦 八幡
箕浦　吉留　海老救
観音町　土居
塩飽七島　本島　牛島　佐柳島　手島　高見島　廣島　沙見島

向笠島　手島 小手島　櫃石島
瀬居島　烏小島　雀小島
二面島 上下二島アリ　真島　向島　柏島　荒神島　葛島
屏風島　屋鷹島　牛首島　京上鶴島　寺島　家島
喜平島　同島　烏島 上下二島アリ　一ノ鶴島　箕子島 上下二島アリ 以上真島ノ属島ナリ
小豆島　小島　土庄村　[illegible]　四島　佐島　沖ノ島　小豊島　四島 大中小
小島　弁天島　知福島　福部島 大小二アリ　以上小豆島ノ属島

○

宝田川 川田郡ニテ阿波ノ界ニ発シ[illegible]海ニ入ル　本山川 阿波ノ界ニ発シ観音寺ヲ経テ海ニ注ク
新田川 [illegible]ニ発シ馬介[illegible]海ニ注ク　大麻川 [illegible]也ニ発シ多度津ヨリ海ニ入ル

入野川 土佐ノ界ニ発シ馬宗[illegible]海ニ注ク　福田川 大久ノ山中ニ発シ小田ニ出テ海ニ入ル
長尾川 阿波ノ界ニ発シ北流シ長尾寺ノ村ヨリ海ニ入ル　円摩川 塩野ノ山中ニ発シ北流シ香西ヨリ海ニ入ル
二村川 土佐ノ界ニ発シ那賀郡ニ入リ太田ヨリ二村川ヨリ海ニ注ク　高瀬川 新田川ノ一名
土器川 二村川ノ一名　津田川 福田ノ同流
横田川　府中川 那賀郡ニアリ
十川　中筋川
国田川
白砂糖　木綿　竹細工　團扇　藍

蕎麦　鯛　鰆　海鼠

伊豫　十四郡

宇摩　新居　周敷　桒村

越智　野間　風早　和氣

温泉　久米　浮穴　伊豫

喜多　宇和

寒川山　三角寺山　長濱

余木　河江

三島　西条　大町

猿田　氷見　一宮 大山祇社 国中

喜多濱港　新濱　大島

御代島　黒島

石槌山　横峯　布留権現山

小松　来見

中村　西窪　南木

今治　郷村 新田義助墓　拜志

佐礼山　朝倉　冨村港 島ナリ

岩城村港 島ナリ　大三島　伯方島

大島　弓削島　小大下島

大下島　肥島　柏島

大横島 小横島　津島　馬島

小筑戸島　虫島 小虫島　宇島

鋳島　赤骨島　生名島

佐島　高井神島　沖島

江ノ島　豊島　元島

美濃島　比岐島　毛無島 小毛無島

平市島 小平市島　鄭躅島

宮崎端　捉取岬　濱村港

波止濱港　弓杖島　来島

高輪山　柳原港　北条港

安居島港　神浦村港　津和地港 島ナリ

高田　中忽那島　無須喜島

二神島　油利島　怒和島
大館場島小同　二子島上下二島アリ　児島
妹小島　大千切島小同　藍島大小二島アリ
横島　別府
太山寺山寺　三津港　堀江村港
高濱港　興居島村港　島之和氣濱
釣濱　須雲濱
松山　石出寺山　道後温泉

皇國地名箋　下　伊豫　五十三

桑村　齋院
石井　日瀬里　河野
吉井　大山
小川　太平　高田
松前村港　萬安濱港　小冨士島ナリ
菅生山　唐岩嶺　隈町
岩谷山　御坂嶺　山嵜
大洲　新谷　田子

長濱川港　新港　青島
沖浦　内子　毛山
笹山　權現山　内海浦
鬼ヶ窟　矢野神山　宇和島
外海浦　吉田　樫谷
城下　枝嶺　川石浦港
玉ヶ月港　窪間浦港
江湖港　岩松港　深浦

皇國地名箋　下　伊豫　五十四

八幡濱浦港　三机港　神嵜
御岬　田之浦　法華津
北灘　柏嵜　舟越
沖島　日振島古純友跡　戸島
沖大島　卯木島　鹿島
獱島大小二島　竹島　契島
遠渡島　嘉島　御五神島
横島　高島　九島

大良岬　地大岬　七岬
黒嵜　松島　雎鳩
○
入野川 土佐ノ界ニ発シ北流ノ海ニ入ル
吉野川 宇和郡ニ発シ土佐ニ入リ渡川ニ合ス
長濱川 土佐界ニ発シ西北ニ馳テ長ハマヨリ海ニ注ク
長野川 石槌山ニ発シ小松ノ北ヨリ海ニ入ル
肱川 土佐ノ界ニ発シ西北ニ馳テ長濱ヨリ海ニ注ク
重信川 久米郡ニ発シ西北ニ向テ海ニ入ル
石出川　加茂川 長野川ノ一名
奉書紙　仙花紙　拘蠟　烟草

木綿　素麺　干温飩　藍　塩　蕨粉
五倍子　蜂蜜　蜜蠟　晒柿　空豆
椎茸　香茸　陶器　鰹節　干鰯　鰑

土佐　七郡
安藝　安喜　香美　長岡　土佐
高岡　吾川　幡多
野根山　神峯　甲ノ浦 港
竹屋敷　安藝　室生門岬

室津港　佐喜浦 港　津呂浦 港
吉良川浦 港　奈半利浦　羽根浦
田野浦　安田浦　蒜生浦
島島　赤葉島
楼山　大日寺山　窪田
和食 港　物部　深淵
手結港　赤岡港
芸上峯　白髪山　五臺山寺

峯寺　種子嵜　本山
玄武島　国分寺　大日寺
高知 縣廳　一宮 国中ニ十市社　擽山
雪光山　朝倉　銅山 本川村
矢筈山　池川　長濱港
浦戸港　銅山 安居村
鄰山　御在所山　角山
火打山　羽山七谷　横倉山

柳本山　仁井山　佐川
窪川　与津 両村　上景
小松岬　井尻港　宇佐港
野見港　奥津港　須佐港
久礼港　上加江港　福島港
志和港　中島　戸島
弁天島 二島有　柏島 大小二島アリ　小松葉
鷹山　月山　蹉跎山 岬

笹ヶ坂　蔵ヶ嶺　鋼山 田ノ口村
佐賀港　川口港 上下二所アリ　三崎港
清水浦港　松尾港　西泊港
古満目港　柏島港 島アリ　霜柏港
下田港　天地港　泊港
福良港　湊港　小浦港
窪津港　小尽港　沖島 島ナリ
大島港　坂下港　片島

池浦島　大藤島　伊田
中村　宿毛 伊田以下イヅハ島道

○

渡川 幡多郡山七ケ村ノ北ヨリ出テ吉野川支流ト合シ南流シテ山ヨリ海ニ注ク　奈半利川 …奈半利浦ヨリ海ニ注ク
安藝川 阿波ニ発シ安藝ヨリ海ニ入ル　物部川 阿波ノ界ニ発シ…合シ下リ又合流シ高知湾及ヒ海ニ注ク
牛老川 高知ノ北ニ出ツ　鏡川
仁淀川 伊豫及ヒ郡山ニ発シ東南ニ向テ海ニ入ル　四万十川
諸紙　楮艸　鰹節　鯨　乾魚　材木

樽丸　木香 瀬戸ニ用ユルモノ　二度米　炭薪
雞卵　砂糖 白黒　生絲　縮緬　生絹
木綿　太布　茶 宇治流 碁石茶　烟艸　木石
炭　椎皮　椎茸　樟脳　楊梅皮
桂根　蜂蜜　蕨粉　蕨縄　松縄
五倍子　茯苓　山梔子　蜜柑　人參
果下馬 駒トモ呼フ 上佐　雲母　温石　真珠
珊瑚珠 紅白　硯石 元浦　荒砥石 中浦

筑前　十五郡

怡土　志摩　早良　那珂

席田　糟谷　宗像　遠賀

鞍手　嘉麻　穂波　夜須

上座　下座　御笠

浮岳　深江港　吉井 以上三所唐津道

羽根島　箱島

雷山　寺山　今宿

加椋　濱崎港　唐泊港

岐志港　佛崎　姫島

玄界島 同辨　釈加牟尼島　机島

三瀬山　日社山　福留 同名島 波奈港

生松原 大神　草香江　残島

鵜来島　立石　姫濱

今津　能古浦　春田

博多 新袖港　箱崎 八幡宮　千代松原

志賀島 社　沖津島　虎島

中瀬　二日市　子島

廣瀬　志賀 社　妙見島

海中道　香椎宮 同浦

藍島　鼻栗迫門　三瀬

阿世島　赤島　黒島

火島　鯨瀬　短島

釜蓋島　前島

宗像山　赤間　畝町

鐘岬　佐屋形山　地島港

柚港　勝浦

黒崎港　木屋瀬 以上　若松港

芦屋川港　山鹿岬　波津

塩屋　阿賀津　大倉

初瀬　川津　米山

青柳　立花

米山　山口　長尾
豆田
天拝山　大野山　御笠山 宝満山トモ云フ又竈門山トモ云
朝倉山　芦木山　寒水嶺
宰府 天神　刈萱関　山家 西海道
原田　針摩　追分
内野 西海道　安楽寺
秋月　野町　甘木

皇國地名箋 下　筑前　十七

中山田　木丸　千手
白木　有馬　福井
大隈　飯塚　腰張
東蓮寺　天童寺
○
遠賀川　浅芽川 上座郡ニ発シ遠賀川トナリ海ニ入ル
木屋瀬川 浅芽川ノ下流　那賀川 寒水嶺ニ発シ福岡ヨリ海ニ入ル
泉川　鴨生田川

大入川 肥前ノ界ニ発シ西ニ流レ海ニ入ル此川肥前ト界ス　多久川
羅漢川　當方川
米　博多織　縞木綿　柿蝋　塩釜
茶　練酒　菜種　雞卵　蜂蜜
蜜蝋　牛房　長西瓜　鯨　海鼠
干カマスゴ　蛤　鵲
筑後 十郡
御原　生葉　竹野　山本

皇國地名箋 下　筑後　十八

御井　三潴　上妻　下妻
山門　三池 三毛トモ
松崎　三原　本郷
神崎　平松
高良山　善導寺山　府中 熊本道
田主丸　宮地
浦村　千々屋
福禄

高井岳　熊渡山 熊門山又熊山トモ
朽木
文字山　三国山 豊後肥後ノ界　内屋
大淵　高田
久留米　梛川　救久 熊本道
福島　住吉　酒見
後津　大野島
原町 熊本道　勢高　江浦

皇國地名箋　下　筑後　六十三

大野　沖濱　江泊
黒崎　八十二原　宿見
三池　手鎌　大牟田
石炭山 稲荷村　加納
筑後川 俗ニ筑紫二郎ト云豊后大分郡及ヒ肥後五家ノ山中ニ発ス　千歳川 生葉郡熊山ニ発源シ三流ト為リ海ニ入ル
沖端川　矢部川
熊白川　瀬高川 千歳ノ分流ノ南川ナリ

塩塚川
本諸紙　朽蠟　朽實油　茶
縮　藍　紅花　牛房　蜜柑　河海苔
鳥坂海苔　砥石
豊前　八郡
田河　企救　京都　仲津
筑城　上毛　下毛　宇佐
英彦山 村 國小　金辺嶺　採銅所

皇國地名箋　下　豊前　六十四

香春　岩石　城井谷
猪膝　帆柱
福知山　霧岳　八町嶺
豊津 港 旧名ハ小倉ト云今ノ府庁　内裡 同上　文司 關 郡ノ社 同上
柳浦　田浦 港　企救濱
白野江　今津　大積
猿喰　馬島　鐘ケ嵜島
天子島　藍島　姫島

篠瀬　笠縫島　刈田 宇佐道
打綱山　貫山
大橋 同ト　木下　神島
網敷天神
尾川　御井川　水祝
二ヶ崎　阿喜湊　沓尾港
箕島　神島 小島トモ
江菰　卯木

松江 宇佐道　八屋港　高瀬
大瀬　宇ノ島港　明神崎
二　門
観山　大岳　矢山
拆坂　烏帽子岳　森津峯
山移　平田　高瀬
竹井　今津　高家
中津　灘打　小津

龍宮島　中洲　羅漢寺
鹿嵐山　御許山　宇佐 八幡
長洲　山村　米鉢
和田　龍王

○

板櫃川 筑前遠賀郡ニ發シ小倉西ニテ海ニ入ル　蒲生川 香春ノ界ニ発シ小倉ヨリ海ニ入ル
小波瀬川　高瀬川 観山ニ発シ中津ニテ海ニ入ル
今井川　駅館川 駅館川ハ宇佐川トモ豊後界ニ発シ宇[illegible]ヨリ海ニ入ル

犀川
米　小倉織　木綿　生蠟　櫨實　塩
陶器　油粕　炭　大竹　葛粉　茶
大根　銀杏　小倉海苔　海鼠　竹蟶
海鰻　干小鯛　海蝦　塩　硯石 司門

豊後 八郡

国崎 国東トモ　速見　大分　海部
直入　玖珠　日高 今日田ニ作ル　大野

丹子山　八面山　文殊山
松尾山豊前ニ　松尾　竹田
武差　△立石　下岐部港
小熊毛港　向田港　深江港
堅木港　長嵜　姫島
馬背島　田深
高嵜山　竜王山　杵筑
日出　畑方　深江港

辻間　灘手港　三ノ嵜
塚原　徳用
窟見岳大山　由布岳　錦嶺
四極山　別府　府内大分縣
野津原　三佐港　原港
雀嵜川口港　竹本　乙津
江隈　野津原府内より熊本道　今市同上
柞原社国中　塩九升

湯岳　夕山　彦岳
白岳　左志生府内より田杵道　鶴島
臼杵　長目府内より佐伯道　代後浦同上
蒲戸港同上　二佐伯　西浦
苫洲端　上瀬　横川
城下川口港　上浦港　下浦港
神嵜　地蔵岬　黒濱
白濱　松濱　観音岬

苻岬　白嵜　大入島
高島　保戸島　中方島
長島　彦島　津方島
大島　屋形島　深島
高手島　海瀬波石　伊賀波石
向島地図ニ…　唐船波石
姥岳　田代　竹田
白住　白丹府内より熊本道　久住同上

湯坪　堤 府内ヨリ熊本道
岡　町田　宮原
森
奥反瀑　松本瀑
湯山　春日山　豆田町
隈町　梅野　長湯
隈山　五島市
（）

皇國地名箋　下　筑後　六十九

大分川 肥後ノ阿蘇山ニ發シ府内ノ海ニ注ク　豆田川 筑後川ノ上流直入郡ニ發源
隈川 玖珠川ト豆田川ノ同流　鶴川 由布川ハ由布岳ニ發シ吉津川ヘナル
白瀧川 白瀧ハ大分川ノ名　浦川
光吉川
米　大豆 岡　紙 田　竹木　絞木綿　黒
紺布　九重斗　黄蠟　薀寶　菜
烟草　烟管竹　陶器　瓦　七島莚　藍
蜂蜜　麩　生姜　蜜柑　梅　海雲

心太草　海鼠　鮑　鰯　香魚
羚羊　火打石
肥前 十一郡
基肆　養父　三根　神埼
佐嘉　小城　松浦　杵島
藤津　彼杵　高来 高木トモ 高城
田代 西海道　藤木
倉ノ上　轟木 以下西海道　中原

皇國地名箋　下　肥前　七十

神埼　境内　川原 西海道
鹿井　逆池　寺井
佐嘉 縣　牛津　本庄
五条　牛津 西海道
猪城山　後藤山　針木嶺
小田　成瀬　塩田 小田ヨリ西海道
塚崎　伊万里　武雄
園木　股木　廣田

皇國地名箋　下　肥前　七十一

久原　多良山　藤津　温泉岳（硫黄ノ所アリ）　有馬山　日見嶺　△諫早　日見

大町　加島　大浦　温泉山　南串山　神代　小津　東

白石　竹崎　前島　北串山　小野寺　矢上　島原港

早岐　井崎　湊島　ウノ津港　虚空蔵山　長井　松原　針尾港

水月　亀島　牧島　樺島港　魚見岳　永昌　彼杵港　佐世保浦港

會津　馬島　茂木港　長崎港　大村　嬉野　早岐港

皇國地名箋　下　肥前　七十二

草場港　長与港　伊野港　嘉喜港　三重港　七ツ釜港　松島港　沖ノ港

瀬戸港　時津港　岳下港　崎戸港　式見港　脇津港　鷹島港　伊王港

川棚浦港　亀港　面高港　神野港　福田港　平島港　香焼港　神ノ港

崎戸港　江ノ島　竹島　黄島　洲岬　領巾振山　松浦　忠佐

福港　大島（二所アリ）　鵜瀬　脇岬　国見岳　九艘泊　大河原

崎戸港　寺島　前島　観音岬　嬉野　田平　大内

唐津
鵆岬
大島港
〇平戸 水銀ヲ産ス
津吉港
田浦港
御厨港
福江島

名古屋港
早岐港
高島港
川内港 平戸
志自港
阿翁港
賊津港
黄島

神岬
水島港
呼子港
木浦港
薄香港
福島港
小値賀港 島ナリ
久賀島

樺島
黒島
大島 的山大島トモ
赤島
多々良島
奈留島
有福島
若松島

中通島
平戸島
鷹島
津多羅島
屋根尾島
前小島
口之島
畑之子島

宇久島
生属島
栄螺島
嵯峨島
津婦羅島
葛島
漢生島
桂島

串ノ島
野崎島
手羅島
元島
大鹿島
大飛島
加部島
小川島

祝言島
玖島
笠島
小高島 上下二島アリ
度島
福島
松島
神集島

頭島
納島
牧島
高島
青島
馬渡島
加唐島
大島

〇
塩田川
神崎川
本明川
松浦川 後藤山ニ発シ北ヘ馳テ海ニ入ル
江津川 高来郡ニアリ
板屋川
鹿尾川

牛津川 後藤山ニ発シ牛津ヨリ海ニ入ル
寒水川
本庄川 佐賀郡ノ北ニ発シ東北ニ向テ海ニ注ク
玉島川 伊万里ノ北ニアリ
有田川
六角川

氷　陶器　酒　素麪　石灰　柿蠟　茶
烟艸　鼈甲細工　線香　竹木　椎茸
樟脳　肉桂　生姜　蒲葵　夏蜜柑
南京芋　真珠　玳瑁　鯨　鯖　鰯
海鼡　鯔子　鼠　鮑　天艸海苔

肥後　十四郡

天草　葦北　玖麻　八代
益城　宇土　飽田　託麻

皇國地名箋　下　肥後　七十五

合志　山本　玉名　菊地
山鹿　阿蘇
上土岐 鏡島　下土岐 御所浦トモ　鳴子
母子島　六浦　廣瀬
奥貫 不知火岬　権現山　志岐
富岡港　牛深港　崎津港
上島　下島　大矢野島
岐市浦島　楠盛島　荻島

牧島　竹浦 御所島トモ　横浦
戸浦　下須浦　大浦
通詞浦　釘浦　樋合浦
前浦　永浦　湯浦 談合島トモ
野釜浦　八木浦　藏々千水浦
国見山 路ハマニ　雀木山　島来山
水股港 薩州道　黄楊　佐敷
日奈久港 薩州道　国赤崎　大門岬

皇國地名箋　下　肥後　七十六

円浦港　海浦港　湯浦川口港
福浦港　津奈木港　袋港
小路島　二子島　裸島
赤島　黒島
弓木山　白山　人吉
白水　米良 東西アリ　奈須
撞山　八代港　宮地 薩州道
小川 八代道　鏡港　植柳港

大鼠蔵島（同）　苦竹島　大島
飯田山　八田　北野
宮原　奥正寺
三角山　宇土　川尻港（以上八代道）
松橋港　髙良港　戸馳島
寺島　中神島　甲島
鈴島　風流島　三角迫門
長濱

熊本　植木（熊本道）　大津（府内道）
藤崎　船津港　塩屋港
白濱港　近浦港　小島川口港
二町川口港　離島
窪田　見舟　長谷
腰尾　越尾
當帰山　内牧　湯田
池田　越水

山本　伊倉　田原
緑川
金山　平山　南關
腹赤　古田　大濱港
横島港　小天港　晒川口港
沖津新川港　長洲港　大島港
八方岳　山鹿（熊本道）　湯町
髙橋

屋谷　星原
阿蘇山（火山 社 国中）　鞍ヶ岳　根子岳
涌蓋山　板利（熊本ヨリ府内道）　大里
秋原　北里　髙森
艸部　荊尾

○

久麻川（八代川ト曰 日向国諸縣郡肥後界ニ発シ八代ヨリ海ニ入ル）　白川
佐敷川（葦北郡ノ東陲ニ発西ニ馳テ海ニ入ル）　緑川（川尻川ノ支流）

キウス

木山川 阿蘇山ニ発シ西ニ流レ土町ヨリ海ニ注ク　川尻川 赤瀬山ヨリ発シ阿ソ郡ニ発シ西ニ駛シ海ニ入ル
水股川 国見山ニ発シ西ニ向テ海ニ入ル　合志川 菊池郡ニ発シ西南ニ向テ本山川ニ合ス
高瀬川 菊池川ノ筑後ノ界ニ発シ河ノ洲ヨリ海ニ入ル
米　雜穀　折實　蠟　菜種　種油
油粕　諸紙　楮州　畑州　椎茸
砂糖　晒葛　素麪　團扇　花瓶
櫨木　白炭　七島莚　棕櫚皮　苧麻
唐黍　紅花　柑類　早　蕃薯　蒲葵

辨竹　水禅寺海苔　八代川苔　石灰
蠟石

日向　五郡

臼杵　児湯　宮嵜　那賀
諸縣
可愛岳　猪峯　行騰山
梓嶺　傾山　嫗岳
高千穂山　矢岳　ムカバキ山

ミヤザキ　コユ

壷屋山　銅山 七折村 北方村　鉛山 山裡村
瀬不　八戸　延岡
赤水　細島港　三江野
山鹿　曲淵　七山
敷掛岬　東海港　尾港
島野浦　元方賊島　助兵エ島
大武島　乙島　中島
蟹取波石　枇榔波石　黒波石 大中小アリ

小島 沖大小ノ三アリ　岩宮波石
御鈴山　国見山　上面木山
賊辺　津野　高城
宮村　鹿遊　美々津港
蚊口浦港　福島今町港　浦港
下別府港　都濃社 国小一宮村
宮嵜 神武帝社 縣廰　新名凢 佐土原ヨリ飫肥道　北方 同所ヨリ鹿児島道
花ノ峇　清武　田野

加納　嵐田　鈴ヶ峯
小松山　牛嶺　御嵜
黒山　鵜殿山窟　外浦港
都井嵜　長田嵜　佐土原
油津港 佐土原ヨリ大隅ヘ出ル道　内海港　江原
本郷 佐土原ヨリ大隅街道　山狩屋　酒谷川
宮浦　飫肥　新別府港
檍ヶ原　鯰藏

皇國地名箋　下　日向　八十五

二ツ立島 一ニ枇島　鼠島　野島
大島　築島　幸島
烏島　鬢垂島　鵜石
雀島　銅島嶼　椎葉山
住吉山　霧島山　三箇山
法花岳　国見山　江代山
雨包越嶺　黒山嶺　猪鼻越
一房山　宇都越

九島　志布子　松山
木庄　阿谷　神谷
野尻　高原　花堂
東霧島　荒川　西霧島
大久保 神谷ヨリ下鹿児島道　高岡　前坂
天川　田尻　高城
勝山　勝間　都ノ城
飯野　馬関田　亀沢
高嵜　梅谷　加久

皇國地名箋　下　日向　八十六

○

八峡川 五ヶ瀬川ノ上流　赤江川 猿瀬川トモ称セ川ノ下流ヨリ東向ノ海ニ入ル
大淀川 猿瀬川ノ上流　五瀬川 五ヶ瀬トモ肥後五家郡奈須ノ山中ニ発シ延岡ノ東ニテ海ニ入ル
高城川 神門川ト云 肥後国ニ発シ東向ス 勝山ニ発シ　綾川 法花岳ヨリ発シ石崎川ト成
一瀬川 三財川トモ　酒谷川 梅谷ノ山中ニ発シ平田ニ至リ
猿瀬川 霧島及ヒ宇都越ニ発シ青木原ニ出テ海ニ入ル　二瀬川 肥後国米良ノ山中ニ発シ法花岳ノ水ヲ納テ九反田ニテ海ニ入ル
耳川 七山及ヒ霊屋山ニ発シ東南ニ趣キ美々津ヨリ海ニ入ル　三納川

祝川 ホリ川トモ　石嵜川 浜花岳ニ発シ海ニ注ク
平山川 諸縣郡梅谷ノ山中ニ発シ掾ヒ川ニ入ル　塩屍川 山鹿ノ山中ニ発シ東向テ海ニ注ク
鹿古川 末ハ水ノ山中ニ発シ松田川ニ合ス
栈木　早稲　樂節　椎茸　香茸
樟脳　櫨木　木炭　椎皮　茶
半切紙　楮州　菜種　苧麻　生糸
蚕種　生蝋　漆　砂糖　烟草
海人草　野馬　蒲葵　鮑

大隅　八郡
菱刈　桑原　姶羅　噌唹
肝属　大隅　熊毛　馭謨
馬越　擣川
宮内　粟野　高田
本庄　辺田小島　一盃島
沖小島　鹿児島社 国中
日當山　西八幡山　白銀山

上据木　据木　腰木
蒲生　乳房　姫城
国府 銅山アリ　姫宮　牛根
湊　福山
垣吉　高隈　大嵜
柏原　内浦
高嵜　南浦港　波見港
高山　當嶽

竹浦　魚水　大瀬
大泊　観音　佐田岬 燈臺
桜島　新島　鳴呼島
枇榔島　大輪島　烏瀬
荒平岳　元見山　羽亀山
権現山 御岳ト　安房港　宮之浦港
栗生港　矢筈岬　屋久島 古名馭謨郡ノ
口ノ永良部島　沖岩　七ツ瀬

種子島 熊毛郡ト呼ヒ名ク　門倉岬　御岬
国上港　赤尾木港　馬毛島
一瀬　斧野
○
雄川 日當山ニ発シ東向ノ海ニ注ク　新川
高隈川 曽於郡ニ入リ　久保田川 肝属郡ニ入リ
生糸　蠶種　茶　畑神　孟宗竹
蕪菁　牛房　石灰　玳瑁

薩摩 十三郡
鹿児島　谿山　給黎　頴娃
河辺　阿多　日置　薩摩
伊作 伊佐　出水　高城　甑島
揖宿
鹿児島　吉野　宮ノ浦
入来　多賀水
田布施　伊佐　福本

和田　平川　喜入
松宿　宮濱　山川津
鳴川港　知林島　小島
鵜瀬　保川洲
開聞岳 海門トモ 枚聞山 サノミヤマ　海門岬　長岬
児水　大川
野間岳　金山 鹿籠　御岬
崔咬岬　野間岬　枕岬

坊ノ津　片浦港　大浦
川辺　小松原　沖秋目島
竹島　桟敷島　沖立神
高立神　双剣岩　恋島
聖嶽　硫黄島　橋島
金峯山　阿多　高橋
池辺　大野
伊集院 駅道　湯田　湊

串木野　松尾川神山　久多島
郡山　薩摩岳　隈城山
布施城山　市來　串木 市來以下八代道
平佐　向田 八代道　水引 同上
山崎　羽島岬　沖羽島
鴨瀬
高城　津ノ町 八代道　京泊
西方 八代道　久見岬　船間島

花瀬
紫尾山　矢筈山　笠山
阿久根 八代道　高風野 同上　出水 同上
米津 同上　切通　隼人迫門
長島　伊唐島 小ミ　蕨島
大島　桑島　竹島
鬱島　野島　黒島
獅子島　所島　桂島 大小二島アリ

七尾島
大村　雀田　大口
平泉　宮城
金山　上甑　桑崎
里村　中甑　平村
下甑　長濱山　野岬
早岬　尺浦　濱ノ市
近島　野島　小島

牡島　岩島

○

川内川 日向諸縣郡加久藤ノ山中ニ発シ大隅ヲ貫キ津ノ町ヨリ海ニ入　湊川 日置郡ニアリ
万瀬川 金峯山ヨリ発シ西流シ海ニ注ク　阿久根川 出水郡ニアリ
江月川　新川 万瀬川ノ分流

黒砂糖　上布　絣木綿　芭蕉布
泡盛酒　鰹節　烟艸　番器
樟脳　陶器　蠟燭　櫛　挽物細工

蒲葵扇　蜂蜜　香茸　蜜柑
枇杷　大根　巴豆　屋久杉　海人艸
七島細艸　青螺　玳瑁　琉球朱
消毒丸　毛皮類

二島 二國

壹岐 二郡

石田　壹岐
奥鉤山　芦辺 港　引野

初山　波瀨浦　黑崎
湯浦 港　郷浦　一宮 石田社
多々喜　坪浦　久佐
八幡崎 港　瀨戸 港　印通寺 港
渡良 港　春島　長島
妻島　小島 前後二島　嫦娥島
大島
乙島　平島　机島

飛島岬　鳥岬
勝本　坂本　尾漏振
呼子松原　手長島　辰島
若宮島　仁島　洞山島
松瀨　六良島
綾布　雲州　鯽

對馬 二郡

上縣　下縣

上島　御岳　日暮山
大星山　丹岬　岸崎
豊崎　知奈崎　棹尾崎
島崎　鳥崎　鴬浦
豊浦　鰐浦 港　佐須奈 港
大津 加志村ニ在リ 島　海泉島
志古島　妙見島　品木島
荻島　銭島　黑島

椎根島（沖地ノ方ニアリ）　東島（大小アリ）　矢立山
白嶽　有明山　浅芽山（同浦）
銀山　女岳　九鬼嵜
鏡山　志陀利　佐須
竹敷浦　擬岬　東向院
卒土濱　亀嵜　島山嵜
嚴原港（旧名府中）　大舟越　沖島（大小）
内院島　大島

鹿島　黒岬島　琵琶島
中島　丸島　京島
沖京島（一切島）　塔ヶ嵜島　甲島
榎島　鼠島　東風泊島
赤島　沖島　黒島
大佛島　根尾島（上下）
陶器　椎茸　木茸　五倍子　雲丹　鯨
煎海鼠　干鮑　鱶鰭　干烏賊　鯛　鰤

鯖　鰯　荒和布　甘海苔　海藻　鹿角菜
琉球　流求　留求　流虬
沖縄島　中山　中頭省（十二間切）
首里　那覇（首里ノ西南ニ當ル）　久米
泊（首里以下間切ト称ス）　真和志（以下間切ト称ス）　南風原
東風平　西原　浦添
宜野湾　中城　北谷
讀谷山　美里　勝連

與那城　越来　具志川（以上）
佳蘇岳　名護岳　恩那（恩納間切ニアリ　東南ニアリ）
辨岳　八頭岳（以上）　嵩家山
山南（島尻省十五間切アリ）　大里　玉城
豐見城　小禄　兼城
高嶺　佐敷　知念
具志頭　麻文仁　真壁
喜屋武（以上十二間切）　山北（国頭省十九間切アリ）　金武（東岸ニアリ）

恩納 南岸ニアリ　名護　以志
羽地　今帰仁　氷部
大宜味　国頭 以上九間切　仁世波入江
瀬底水無　運天港　沖君島
屋加島　謝敷村 余地間切ニアリ礁石屢ヲ出ス　久高島 小南ノ東海ニアリ
津堅島 勝連ノ東南海中ニアリ　波麻島 濱島ノ下ニモ　平安座島
宮城島　伊計島 勝連ノ東北海中ニアリ　計留岸島
渡嘉敷 間切ノ名　座間味島ノ属　姑米島 上ノ西

内　金城 以上久米島間切ノ名
伊恵島 北今帰仁ノ西伊江トモ　伊江城村 同山 同港　尸無島 上ノ東北ニアリ
粟国島 上ノ東北ニアリ　伊豆那島 与西　具志河島
柳葉島 属島　恵平屋島 上ノ　伊乃保島 上ヘヤノ属島
島々 エヘヤノ北噴火山ナリ温泉硫黄アリ　宮古島 二十許 石垣入上及群島先島トモ
太平山 宮古島ノ名　於呂加　雁俣
下地　平良 以上宮古島間切ノ名ナリ　斜水港
筑山　伊計間 寄西　大高見島

来間島 宮古ノ西南　奥永良部島　宇加麻島 西
太良山 宮古石垣ノ間　水無島 タラマノ東北以上宮古ノ属島ナリ
石垣島 宮古ノ西小島十余　八重山 石垣島ノ一名　平久保岬
宮良　石垣　河平
大濱 宮良以下間切ノ名ナリ　御岬泊　表岳 島ノ西南隅
武富島 石垣ノ西南　黒島 武富ノ西南　上離
下離 黒島ノ属　波照間島 黒島ノ西南以上石垣ノ属
入表島 表表ノ西 姑弥島 西表島トモ　入表　姑弥 入表ノ間切ノ名 東古見港

比計川村 港　曽奈比村 港　小濱村 入表ノ東
鳩間村 北ニアリ古見間切ニ属ス　新城村 西南　与那国島 入表ノ正西以上入表属
大島 小琉球 琉球ノ北界　笠利岬　阿麻弥島 大島ノ古名
湯湾岳 阿麻美岳トモ　永明山　清水山
菊花山　奈瀬 北岸ニアリ　古見 港
笠利　住用　焼内 港
西 西方トモ　東 奈須以下七所ハ大島間切ノ名　瀬名
龍郷 港　赤木名　大和濱 港

須垂　渡連　實久 以上大島七間切ノ外ナリ

深井浦 笠利ノ内　佽照浦 焼内ニ属ス　加計留間浦 大島ノ西

宇計浦 上ノ南　與呂浦 カネル以下大島ニ属ス　喜界浦 大島ノ東

志戸捕　東　西目

捻　荒木 以上間切ノ名　捻泊 西南ノ港ナリ

德島 大島ノ西南　亀津　伊仙

岡前　兼久　喜念

而縄 東以下德島ノ間切ノ名ナリ　秋德港 花島ノ東隅　井之川港

銙屋泊 花島ノ西岸　沖永良部 上ノ西南三間切　比雷

大城　德時 間切ノ名　和泊 東岸

與論島　大水　東

武義屋　阿賀佐 村名　ワ永良部

中島　臥蛇島 蛇島　諏訪瀬島

平島　悪名島　宝島 薩琉ノ界

鐵　硫黄　石炭　琉球米　海帯　龍蝦

五色魚　海松　細布　紙　蠟燭

草薦　黒魚　棉花　蕉布　雲丹

乍魚　砺石　綿布　細上布　麻布

太平酒　樫木　津璟　瑇瑁　珊瑚

海石　螺石　櫻招　阿旦　蕃薯

蕃蕉　砂糖　陶器　綵紋紙　蕉絲

永良部鰻　茶　竹　海参　牛馬　朱

地名箋巻之終

[illegible]　川[illegible]清助

明治七年十二月官許

東京書肆

馬喰町二丁目　山口屋藤兵衛

室町二丁目　大坂屋藤助

大傳馬町三丁目　丸屋正五郎

大藏省 編

改置府縣概表

明治五年（一八七二）東京府北畠茂兵衛刻本

據明治五年（一八七二）

東京府北畠茂兵衛刻本影印

大蔵省編纂

改置府縣概表

明治辛未十二月新刊

官版 不許飜刻

御用御書物師 北畠茂兵衛

改置府縣概表凡例

府縣ノ名ハ當分定メラルヽニ從フ北海道十一國ハ從來ノ通ナレハ此表ニ加ヘ入レス

東京京都大阪ノ三府ハ各府ノ字ヲ記ス其他ハ悉皆縣ナルカ故ニ縣ノ字ヲ[illegible]以テ府縣ヲ分別ス

○各府縣ノ經緯ハ度分秒悉ク全備セス諸書ニ出ルモノ一二ヲ記載ス然リト雖モ全ク縣廳所在ノ度數ニアラス只其地ノ度ナリ且經度ノ初度ハ東京ヲ以テ定ムルハ適當ナリト雖モ地誌中公圖大觀英國ナル[illegible]ヲ初度トスル故ニ此表中モ亦コレヲ採用ス

○一郡中兩縣ニ分レ管スルアリ各縣下郡數ノ級ニ之ヲ二郡ト計ヘ例ハ武藏國足立郡ハ東京府ト埼玉縣兩管下ニ分ルト雖モ各一郡ト算スカ如シ

○現石。戸數。人口。ハ各縣管轄ノ員數確定ノ上記載スヘシ東京ヨリ各縣廳マテノ行程里數モ亦然リ

○官員ハ每月改正スヘシ判任ハコレヲ略ス

明治四年辛未十二月

全國中各部高數表

府三縣七十二　但北海道除之
國數八十四　五畿内八道　外琉球國
郡數七百一十七郡　内十七郡北海道
鄉數三千七百七十餘　古之鄉代
村數六萬三千六百五十九　北海道除之
段別
石高三千一百六十二萬石余　北海道除之外十四萬石餘琉球國
現石一千一百六十五萬石餘
戶數七百〇五萬八千九百六十〇軒餘
人口三千二百七十九萬四千八百九十〇人餘

全國管轄等級圖

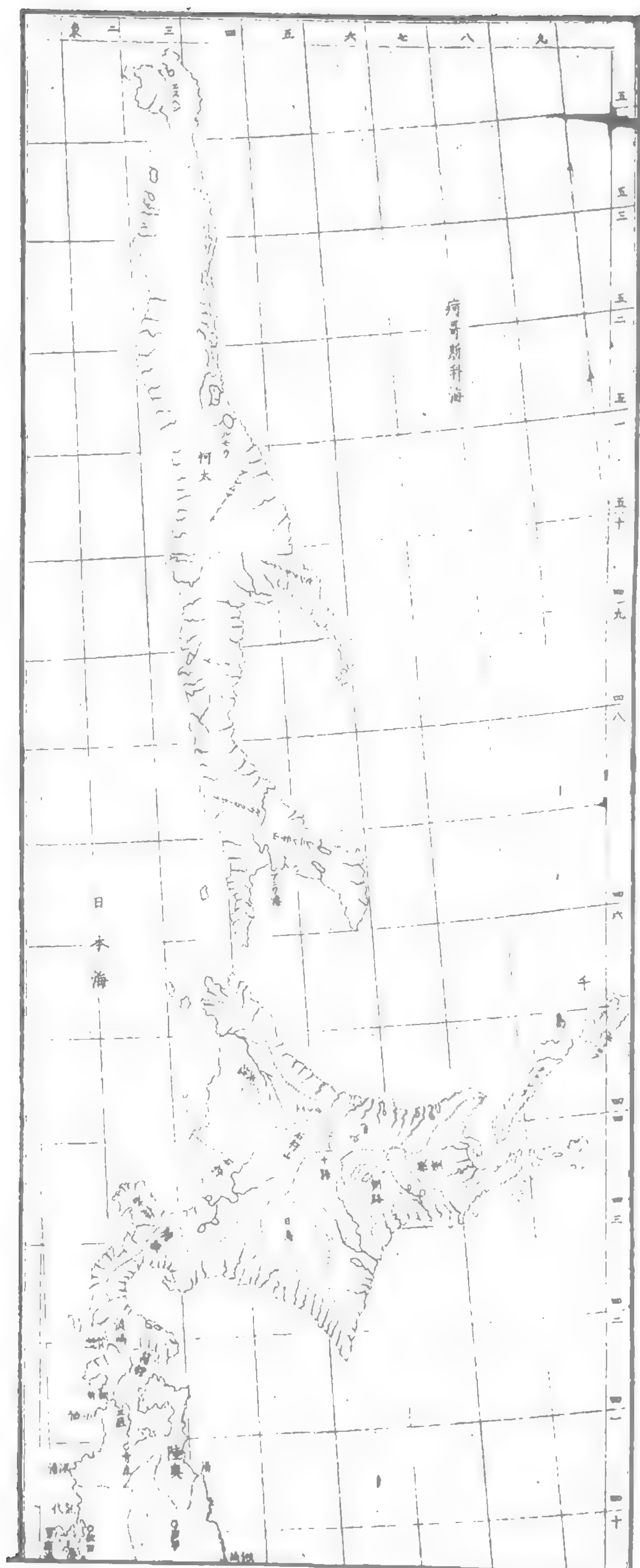
府縣（フケン）
｜
國（クニ）
｜
郡（コホリ）
｜
鄉（ガウ）
｜
村（ムラ）
｜
字（アザナ）

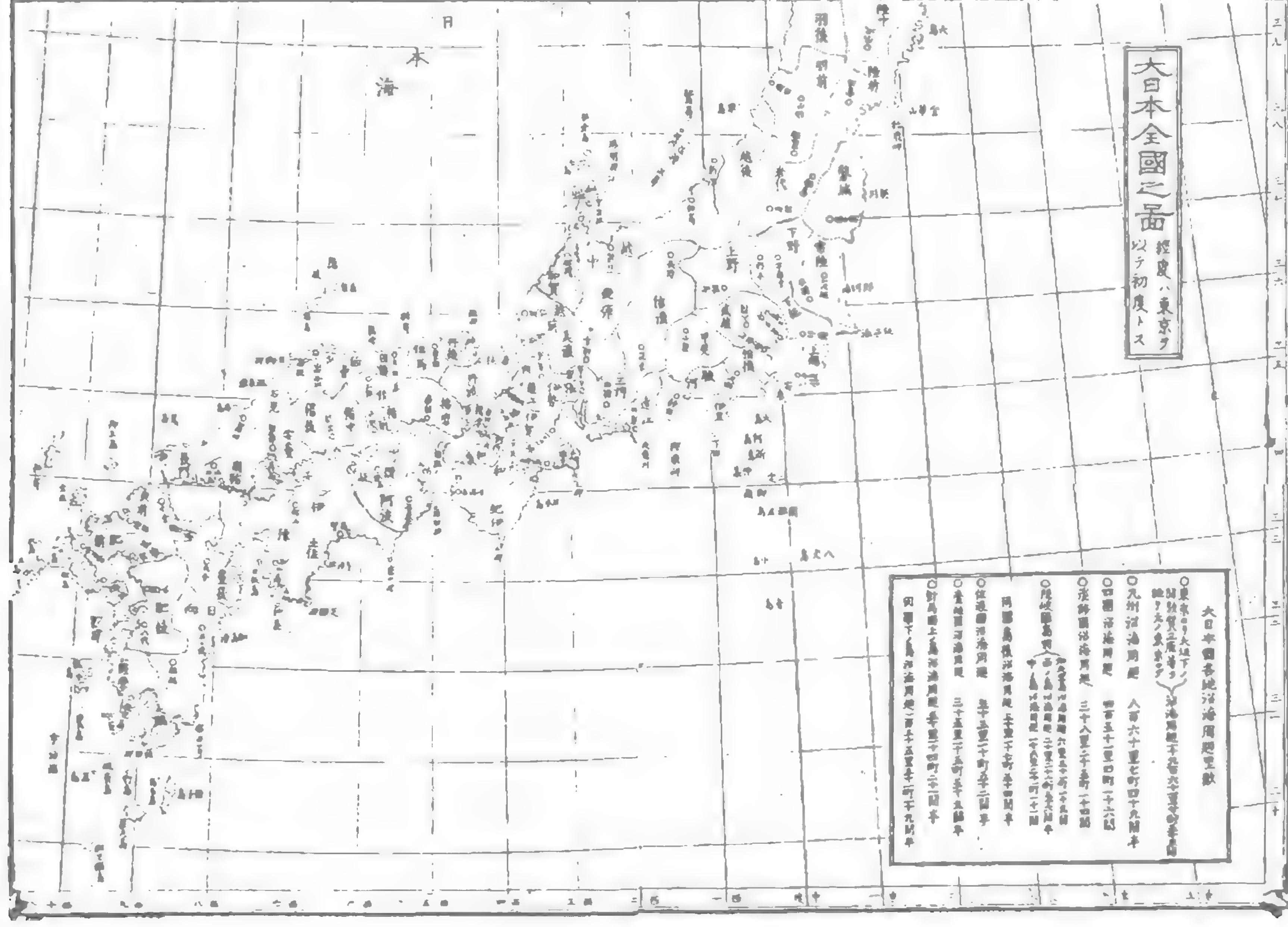
大小上中下ノ五等ニ郡ヲ立シハ戶數ノ多寡ニ依テ古ヘ定メラレシナリ國ノ大中小モ准之ベシ

府縣職員等級表

任	等	府	縣
勅任	一等		
	二等		
	三等	知事	知事
奏任	四等	權知事	令
	五等	參事	權令
	六等	權參事	參事
	七等		權參事
判任	八等	典事	典事
	九等	權典事	權典事
	十等	大屬	大屬
	十一等	權大屬	權大屬
	十二等	少屬	少屬
	十三等	權少屬	權少屬
	十四等	史生	史生
	十五等	府掌	縣掌

縣ニ開港場アルハ其令ヲ勅任トス權令ハ其例ニ非ス○令アレハ權令ヲ置カズ權令アレハ令ヲ置カズ○官員ノ定限ハ縣治條例ニアリ


疴哥斯科海
柯太
日本海
陸奥


大日本全圖之四
經度ハ東京ヲ以テ初度トス
日本海
大日本國各地沿海周廻里數
○九州沿海周廻　八百六十里七町四十九間半
○四國沿海周廻　四百五十一里四町一十六間

府縣名	廳所	石高	國名	郡數	郡名	廢縣	緯度	經度	官員
東京府	豐島郡幸橋御門内	[illegible]五万石餘	武藏	四郡	荏原 豐島 足立内 葛飾ノ内	品川 小菅 [illegible]	三十五度四十分	百三十九度四十分	知事 從四位 由利公正；權知事；參事 從五位 黒田清綱；權參事 [illegible]木；七等出仕 川勝[illegible] 安藤[illegible] 福羽[illegible]
京都府	山城國葛野郡立賣通新町	三十八万石餘	山城	一國八郡	乙訓 葛野 愛宕 紀伊 宇治 久世 綴喜 相樂	京都 亀岡 園部 綾部 山家	三十五度五分	百三十五度五十三分	知事 正[illegible]位 長谷信篤；權知事；參事 正六位 槇村正直；權參事 正六位 馬場氏就；七等出仕 正七位 谷口起孝 山田年[illegible] 國[illegible]正[illegible]
			丹波	三郡	船井 何鹿 桑田				
大坂府	西成郡東横堀	二十五万石餘	攝津	七郡	島上 島下 豐嶋 能勢 西成 東成 住吉	大坂 高槻 麻田	三十四度四十分	百三十五度二十五分	知事；權知事 從五位 渡邊昇；參事 從六位 藤村信卿；權參事；七等出仕 從七位 竹内紀綱 福田正則
神奈川	武藏國久良岐郡	三十三万石餘	相模	三郡	三浦 鎌倉 高座	神奈川 六浦			令 [illegible] 陸奥宗光；權令；參事 大江卓；權參事 高木久成；七等出仕 石田忠卿
			武藏	四郡	橘樹 久良岐 都筑 多摩				
兵庫	八部郡兵庫津	十六万石餘	攝津	五郡	八部 菟原 武庫 川邊 有馬	兵庫 尼崎 三田			令 從五位 神田孝平；權令；參事 [illegible]；權參事 [illegible]；七等出仕 [illegible]
長崎	肥前國彼杵郡	二十九万石餘	肥前	三郡	彼杵 高來 松浦之内	大村 福江 島原 長崎 平戸	三十二度四十四分	百二十九度五十一分五十八秒	令；權令 正六位 宮川房之；參事；權參事 森岡昌純；七等出仕 横山貞秀 岡田實明
			壹岐	一國二郡	壹岐 石田				
新潟	蒲原郡	六十万石餘	越後	二郡	蒲原 岩船	峰山 新發田 村上 三日市 村松 黒川			令 從四位 平松時厚；權令；參事 松平正直；權參事 南部信近；七等出仕
埼玉	[illegible]	四十八万石餘	武藏	三郡	埼玉 葛飾之内 足立之内	忍 岩槻 浦和			令 從五位 野村盛秀；權令；參事；權參事 白根多助；七等出仕

入間

入間郡川越

四十万石余

武藏　十三郡

横見　入間　秩父　男衾　大里　榛澤　賀美　幡羅　比企　新座　那賀　児玉　高麗

川越

令	権令	参事	権参事	七等出仕
		小笠原幹	宮城時亮	

足柄

相模國足柄下郡小田原

二十六万石余

相模　六郡

足柄上　足柄下　大住　愛甲　陶綾　津久井

伊豆　一圓四郡

君沢　田方　那賀　賀茂

韮山　小田原　荻野山中

令	権令	参事	権参事	七等出仕
		正七位　柏木忠俊	杉本行厳	

三

木更津

上総國望陀郡久留里

五十二万石余

安房　一圓四郡

平　安房　朝夷　長狭

上総　一圓九郡

市原　望陀　周淮　天羽　夷隅　長柄　山辺　武射　埴生

館山　加知山　長尾　花房　鶴舞　鶴牧　一宮　櫻井　松尾　菊間　飯野　大多喜　佐貫　小久保　宮谷

令	権令	参事	権参事	七等出仕
	柴原和		國司脩信	

印旛

印旛郡佐倉

四十六万石余

下総　九郡

結城　猿島　葛飾　相馬　岡田　豊田　千葉　埴生　印旛

佐倉　古河　関宿　結城　生実　曽我野　葛飾

令	権令	参事	権参事	七等出仕
從五位　河瀬秀治			西村[illegible]	

新治

常陸國新治郡土浦

六十一万石余

常陸　六郡

新治　行方　筑波　信太　河内　鹿島

下総　三郡

香取　匝瑳　海上

土浦　龍崎　牛久　麻生　松川　石岡　志筑　若森　多古　高岡　小見川

令	権令	参事	権参事	七等出仕
		土肥實光	成川尚義	

茨城

茨城郡水戸

七十一万石余

常陸　五郡

多賀　久慈　那珂　茨城　真壁

水戸　笠間　下妻　松岡　下館　宍戸

令	権令	参事	権参事	七等出仕
			山口正定	

四

群馬

群馬郡高崎

四十四万石餘

上野　十一郡

利根　碓氷　佐位　緑野　吾妻　那波　片岡　群馬　勢多　甘樂　多胡

沼田　伊勢崎　前橋　高崎　安中　七日市　岩鼻　小幡

令	権令	参事	権参事	七等出仕
從五位　青山貞			野口文清	

栃木

下野國都賀郡

五十二万石餘

上野　三郡

邑樂　新田　山田

下野　五郡

足利　梁田　寒川　安蘇　都賀

壬生　佐野　足利　吹上　日光　館林

令	権令	参事	権参事	七等出仕
	正六位　鍋島貞幹	藤川為親	從六位　井上義斐	

三重

五

	宇都宮	奈良	堺	安濃津
	河内郡	添上郡奈良町	和泉國大鳥郡堺町	伊勢國安濃郡津
	四十一万石余	五十万石余	四十六万石余	五十三万石余
	下野	大和	河内 / 和泉	伊賀 / 伊勢
	四郡	一圓十五郡	一圓十六郡 / 一圓四郡	一圓四郡 / 八郡
	芳賀 塩谷 那須 河内	添上 添下 平群 廣瀬 葛上 葛下 忍海 宇智 吉野 宇陀 式上 式下 高市 十市 山邊	錦部 石川 古市 安宿 大縣 高安 河内 讃良 茨田 交野 若江 渋川 志紀 丹北 丹南 八上 / 大鳥 和泉 日根 南	阿拝 山田 伊賀 名張 / 安濃 安藝 鈴鹿 河曲 三重 桑名 員辨 朝明
	茂木 宇都宮 烏山 黒羽 [illegible]原	奈良 郡山 高取 小泉 田原本 柳本 芝村 櫛羅 柳生 五條	丹南 伯太 [illegible] 岸[illegible] 吉見	津 長島 亀山 神戸 菰野 桑名
令		従四位 四條隆平	従五位 税所篤	
權令				
參事	小畑高政	三須文郎		川村貿
權參事	岩村精一郎	津枝伊太郎	[illegible]	[illegible]助
七等出仕				

六

	度會	名古屋（愛智）	額田	濱松
	伊勢國度會郡山田	愛智郡	三河國額田郡岡崎	敷智郡
	三十四万石余	六十六万石余	五十六万石余	三十七万石余
	志摩 / 伊勢 / 紀伊	尾張	三河 / 尾張	遠江
	一圓二郡 / 五郡 / 一郡	七郡	一圓八郡 / 一郡	一圓十二郡
	答志 英虞 / 多氣 度會 飯野 飯高 一志 / 牟婁内	春日井 愛知 葉栗 海東 海西 丹羽 中島	碧海 賀茂 額田 幡豆 寶飯 設樂 八名 渥美 / 知多	濱名 敷智 豊田 引佐 麁玉 長上 磐田 周智 山名 佐野 榛原 城東
	鳥羽 久居 度會	名古屋 犬山	西尾 岡崎 新谷 半原 擧母 田原 西端 西大平 豊橋 重原	堀江
令	従三位 橋本實梁			
權令		従五位 井關盛良	従五位 林厚德	従五位 多久茂族
參事	従六位 安岡良亮	長新斎		高石和道
權參事	下山尚	池田文八郎	木村成章	岩崎實
七等出仕				井上八郎

静岡

安部郡
二十五万石余

駿河　一圓　七郡
志田　益頭　有度　安部　廬原　冨士　駿東

静岡

令	権令	参事	権参事	七等出仕
		浅野氏祐	長沢洸之允	[illegible]

山梨

山梨郡甲府
三十一万石余

甲斐　一圓　四郡
山梨　八代　巨麻　都留

甲府

令	権令	参事	権参事	七等出仕
従五位 土肥実匡			益田包義	

七

滋賀

滋賀郡
四十五万石余

近江　六郡
滋賀　栗太　野洲　甲賀　蒲生　神崎

水口　西大路　膳所　大津　山上

令	権令	参事	権参事	七等出仕
従五位 松田道之		榊原豊	正七位 宍田安定	

長浜

坂田郡
四十万石余

近江　六郡
愛知　犬上　坂田　浅井　伊香　高嶋

宮川　朝日山　彦根

令	権令	参事	権参事	七等出仕
	従四位 神山君風		笠原半九郎	石黒務

岐阜

厚見郡
七十三万石余

美濃　一圓　二十一郡
多藝　石津　不破　安八　池田　大野　本巣　席田　厚見　各務　山縣　武儀　郡上　加茂　可児　土岐　恵那　方縣　海西　羽栗　中島

大垣　郡上　加納　岩邑　今尾　苗木　高富　野村　笠松

令	権令	参事	権参事	七等出仕
従五位 長谷部恕連			正七位 小崎利準	

筑摩

信濃國筑摩郡松本
三十八万石余

信濃　四郡
筑摩　伊那　諏訪　安曇

飛騨　一圓　三郡
大野　吉城　益田

高山　松本　高遠　高島　飯田　伊那

令	権令	参事	権参事	七等出仕
		永山盛輝	荒木権六	

長野

水内郡
四十五万石余

信濃　六郡
埴科　高井　水内　佐久　更科　小縣

松代　上田　飯山　岩村田　小諸　須坂　長野

令	権令	参事	権参事	七等出仕
	正六位 立木兼善	[illegible]	[illegible]	[illegible]

宮城

陸前國宮城郡仙臺
五十五万石余

磐城　四郡
宇多　亘理　伊具　刈田

陸前　九郡
牡鹿　桃生　遠田　志田　賀美　黒川　宮城　名取　柴田

仙臺　登米　角田

令	権令	参事	権参事	七等出仕
		塩谷良翰	遠藤温	

八

府縣	管轄	石高	國	郡數	郡名	舊藩	令	權令	參事	權參事	七等出仕
福嶋	岩代國信夫郡	四十七万石余	岩代	五郡	信夫 安達 安積 岩瀬 伊達	二本松 福島 白河		從六位 宮原積	藤井正志		
			磐城	一郡	白河						
磐前	磐前郡	四十二万石余	磐城	十郡	宇多郡 行方 標葉 楢葉 田村 磐城 石川 菊多 白川 磐前	棚倉 三春 中村 泉 湯長谷 磐城平			坂[illegible]廉四郎	兒玉氏精	富田久助
若松	會津郡	三十四万石余	岩代	四郡	會津 耶麻 大沼 河沼	若松	從四位 鷲尾隆聚		牟田通照	岡部綱紀	
水沢	陸中膽沢磐井郡	四十二万石余	陸前	五郡	本吉 登米 栗原 玉造 氣仙	一関 膽沢			増田繁幸	岡[illegible]隆德	
			陸中	三郡	膽澤 江刺 磐井						
岩手	岩手郡盛岡	二十四万石余	陸中	六郡	閉伊 紫波 和賀 岩手 稗貫 九戸	江刺 盛岡			從六位 島惟精	野田親孝	安宅勝会
青森	陸奥國津軽郡	三十八万石余	陸奥	四郡	津軽 二戸 北 三戸	弘前 黒石 八戸 七戸 斗南 館		正六位 菱田重禧		野田豁通	
			松前								
山形	村山郡	四十五万石余	羽前	三郡	村山 最上 置賜之内	上山 天童 新庄 山形		正四位 壬生基修	岩村定高	早川勇	
置賜	置賜郡	三十八万石余	羽前	一郡	置賜之内	米沢			高崎五六	折澤善三郎	高山[illegible]太郎

九

十

	酒田	秋田	敦賀	足羽
国郡	羽前國田川郡	羽後國秋田郡	越前國敦賀郡	足羽郡
石高	二十[illegible]万石余	四十三万石余	二十三万石余	五十四万石余
管轄	羽前　一郡　田川 羽後　一郡　飽海	陸中　一郡　鹿角 羽後　七郡　平鹿　雄勝　仙北　由利　川邊　秋田　山本	若狹　一圓三郡　大飯　遠敷　三方 越前　三郡　今立　南條　敦賀	越前　五郡　足羽　吉田　丹生　坂井　大野
	大泉　松嶺	岩崎　本庄　秋田　亀田　矢島	小濱　鯖江	福井　丸岡　大野　勝山　本保
令				
権令		島義勇		
参事	松平親懷		従七位　熊谷直光	村田氏壽
権参事	菅實秀		兼松貞	千本久信
七等出仕				

十一

	石川	七尾	新川	柏崎
国郡	石川郡金澤	能登國鹿島郡	新川郡	苅羽郡
石高	四十六万石余	四十六万石余	六十八万石余	五十四万石余
管轄	加賀　一圓四郡　河北　石川　能美　江沼	能登　一圓四郡　羽咋　鹿島　鳳至　珠洲 越中　一郡　射水	越中　三郡　礪波　新川　婦負	越後　五郡　頸城　古志　魚沼　苅羽　三島
	金沢　大聖寺		富山	高田　与板　椎谷　清崎　柏崎
令				
権令				
参事	従五位　内田政風	正七位　兵頭正懿	三吉周亮	鳥井断三
権参事	桐山純孝	奈良幹	林時萬	南部廣矛
七等出仕				河原信可

十二

十三

相川	
所在	加茂郡
石高	十三万石余
國	佐渡
管轄	一圓 三郡
郡	加茂 雑太 羽茂
	佐渡
令	
権令	
参事	鈴木[illegible]
権参事	加藤敬[illegible]
七等出仕	

豊岡	
所在	但馬國城崎郡
石高	四十六万石余
丹波	三郡：多紀 氷上 天田
但馬	一圓 八郡：朝来 養父 七味 氣多 美含 出石 城崎 二方
丹後	一圓 五郡：熊野 与佐 加佐 竹野 中
	篠山 福知山 柏原 舞鶴 宮津 峯山 久美濱 豊岡 村岡 出石 生野
令	
権令	従五位 小松彰
参事	
権参事	田中光儀
七等出仕	大野右仲

鳥取	
所在	因幡國邑美郡
石高	四十万石余
因幡	一圓 八郡：岩井 法美 八東 八上 智頭 邑美 高草 氣多
伯耆	一圓 六郡：河村 久米 八橋 汗入 會見 日野
隠岐	一圓 四郡：海士 知夫 越智 周吉
	鳥取
令	
権令	従五位 川田景與
参事	
権参事	関龍二
七等出仕	川崎[illegible]

島根	
所在	出雲國島根郡
石高	二十八万石余
出雲	一圓 十郡：島根 神門 秋鹿 楯縫 出雲 飯石 仁多 大原 能義 意宇
	松江 廣瀬 母里
令	
権令	正五位 池田種徳
参事	
権参事	山口[illegible]右衛門
七等出仕	

十四

濱田	
所在	那賀郡
石高	十八万石余
石見	一圓 六郡：安濃 邇摩 邑智 那賀 美濃 鹿足
	濱田
令	
権令	正六位 佐藤信寛
参事	
権参事	渡邊積
七等出仕	

飾磨	
所在	飾東郡
石高	六十五万石余
播磨	一圓 十六郡：明石 美嚢 加古 印南 加東 加西 多可 神東 神西 飾東 飾西 揖東 揖西 赤穂 佐用 宍粟
	姫路 明石 龍野 赤穂 三日月 三草 山崎 安志 林田 小野
令	
権令	従六位 中島錫胤
参事	
権参事	石部六郎
七等出仕	

北條	
所在	西北條郡
石高	二十六万石余
美作	一圓 十二郡：東南條 東北條 西北條 大庭 眞島 久米北條 久米南條 勝南 勝北 英田 吉野 西西條
	眞島 津山 鶴田
令	
権令	
参事	洞邊高照
権参事	小野立成
七等出仕	樺山頼吉郎

岡山	
所在	御野郡
石高	四十二万石余
備前	一圓 八郡：御野 津高 赤坂 磐梨 和氣 邑久 上道 兒島
	岡山
令	
権令	
参事	正六位 新庄厚信
権参事	中村修進
七等出仕	河合毅義

小田

深津
備後國深津郡
五十一万石余

備中　一圓十一郡
上房　阿賀　哲多　川上　小田　後月　下道　賀陽　都宇　淺口　窪屋

備後　六郡
沼隈　深津　安那　品治　芦田　神石

足守　庭瀬　新見　鴨方　淺尾　高松　成羽　岡田　倉敷　生坂　福山

令	権令	参事	権参事	七等出仕
	正六位　矢野光儀		森三郎	

廣嶋
安藝國沼田郡
四十九万石余

安藝　一圓八郡
沼田　佐伯　豊田　山縣　高宮　加茂　安藝　高田

備後　八郡
御調　世羅　三谿　三上　奴可　甲怒　三次　恵蘇

廣嶋

令	権令	参事	権参事	七等出仕
		伊達宗興	西本正道	

十五

山口
周防國吉敷郡
八十九万石余

長門　一圓六郡
阿武　豊浦　大津　厚狭　美祢　見島

周防　一圓六郡
都濃　玖珂　吉敷　佐波　熊毛　大島

山口　岩國　德山　豊浦　清末

令	権令	参事	権参事	七等出仕
		中野茅長	久保久清	木梨信一

和歌山
名草郡
四十万石余

紀伊　七郡
伊都　那賀　名草　海部　有田　日高　牟婁之内

和歌山　田辺　新宮

令	権令	参事	権参事	七等出仕
	従五位　北島秀朝	濱口成則		

石鐵　神山

名東
阿波國名東郡
四十四万石余

阿波　一圓十郡
三好　美馬　阿波　板野　麻植　名西　名東　勝浦　那賀　海部

淡路　一圓二郡
三原　津名

徳島

令	権令	参事	権参事	七等出仕
		井上高格	西川甫	

香川
香川郡
三十万石余

讃岐　一圓十一郡　三島
大内　寒川　三木　山田　香川　阿野　鵜足　那珂　多度　三野　豊田　小豆島　塩飽島　直島

高松　丸亀

令	権令	参事	権参事	七等出仕
		林亀吉	田部密	

十六

松山
温泉郡
二十四万石余

伊豫　十郡
宇摩　新居　野間　周布　桑村　越智　風早　和氣　温泉　伊豫

今治　小松　松山　西條

令	権令	参事	権参事	七等出仕
		本山只一郎	擲井熊一	

宇和嶋
宇和郡
二十二万石余

伊豫　四郡
宇和　喜多　浮穴　久米

宇和島　吉田　新谷　大洲

令	権令	参事	権参事	七等出仕
	従五位　間島冬道		江木清郎	

高知

土佐郡
[illegible]

土佐 一國七郡

安藝 香美 長岡 土佐 吾川 高岡 幡多

高知

三十三度三十三分
百三十三度二十分

令
權令
參事 林包德
權參事 中村貫一郎
七等出仕

福岡

[illegible]
六十五万七石余

筑前 一國十五郡

遠賀 宗像 鞍手 穂波 嘉麻 上座 下座 夜須 御笠 糟屋 席田 那珂 早良 志摩 怡土

福岡 秋月

令 二品 熾仁親王
權令
參事 塩谷 厖
權參事 水野千波
七等出仕

三潴

三潴郡
五十三万石余

筑後 一國十郡

生葉 竹野 山本 御原 御井 上妻 下妻 三潴 山門 三池

久留米 柳川 三池

令
權令
參事 水原建久
權參事 関口頼藻
七等出仕

小倉

企救郡
二十六万石余

豊前 一國八郡

企救 田川 京都 中津 筑城 上毛 下毛 宇佐

豊津 中津 千束

令
權令
參事 伊藤源藏
權參事 堀尾重興
七等出仕 平井淳麿

十七

大分

大分郡
四十三万石余

豊後 一國八郡

國東 速見 大分 海部 大野 直入 玖珠 日田

杵築 佐伯 日出 府内 岡 臼杵 森

令
權令 [illegible]
參事
權參事
七等出仕 [illegible]
出仕 [illegible]

伊万里

肥前國松浦郡
四十九万石余

肥前 九郡

松浦 藤津 杵島 小城 佐賀 三根 養父 基肄 神埼

對馬 一國二郡

上縣 下縣

佐賀 唐津 小城 蓮池 鹿島 嚴原

令
權令
參事 [illegible]
權參事 [illegible]
七等出仕

十八

白川

熊本

[illegible]郡
四十八万石余

肥後 九郡

玉名 山鹿 菊池 山本 阿蘇 託摩 飽田 合志 益城

熊本

令
權令 山田武甫
參事 林秀謙
權參事 德富一敬
七等出仕

八代

八代郡
三十六万石余

肥後 六郡

下益城 宇土 球摩 葦北 八代 天草

人吉

令
權令
參事 太田黒惟信
權參事 織田泉之
七等出仕

都城

日向國諸縣郡

四十三万石余

日向大隅

三郡　六郡

那珂之内　宮崎之内　諸縣之内

始羅　肝属　囎唹　大隅　菱刈　桑原

飫肥

令	權令	参事	權參事	七等出仕
		桂久武		

美々津

兒湯郡

十四万石余

日向

五郡

兒湯　臼杵　那珂之内　宮崎之内　諸縣之内

延岡　高鍋　佐原

令	權令	参事	權參事	七等出仕
		福山清藏	町田吉二	

十九

鹿児島

鹿兒島郡

三十二万石余

大隅薩摩琉球

二郡　一國十三郡　十五島

熊毛　馭謨

鹿兒島　谿山　給黎　揖宿　頴娃　河邊　阿多　日置　薩摩　伊佐　出水　高城　甑島

沖繩島　計羅婆島　戸無島　久米島　粟島　伊恵島　渡名喜島　慶良間島　伊平屋島　大島　徳之島　喜界島　與論島　宮古島　八重山島

鹿兒島

令	權令	参事	權參事	七等出仕
		大山良綱		

明治五年壬申正月廿日改

官版　不許翻刻

御用御書物師

山中市兵衛

村上勘兵衛

北畠茂兵衛

青生元宣 編

國郡全圖

文政十一年（一八二八）序刊本

據文政十一年（一八二八）

序刊本影印

國郡全圖序

昔在我
神皇順天受命建國經野
乃就地利以處人民
列聖繼興疆壤日廣遂分
海內為五畿七道定官置

職大布政敎相土物產著
之圖籍民部掌之是以貪
吏不得行姦宄民無有爭
訟仁民之政至矣及鼎將
更出兵燹屢起所謂圖籍
遂亡

先王之迹逾遠而舊建之
名亦變實可惜也方今叡
教日興文運復昌博洽之
士繼踵故作地圖者亦多
然唯載列國而未及郡邑
尾張青生元宣慨其未備

博採舊聞旁求古畫研究
訂正數年乃成題曰國郡
全圖披而觀之則五畿七
道山川之大小都邑之廣
狹田畝之多寡里程之遠
近不出戶牖而可知也今

玆季秋因友人河村生請
余序余雖未識其人而善
其學之篤爲書之以與云
享和三季秋九月
式部權大輔兼文章博士
菅原長親

國郡全圖序

經界既正則可以分田制祿民部省御圖牒蓋我經界也此書已亡其省倀倀然源能州之籍有國郡部雖非圖記類也延喜有神名式雖非方志亦類也世傳建久曆卷首載小輿地蓋中世所謂指圖者也自慶元來四

海文明人皆能絕地紀國有府志家有地名考於是有長翁赤水路程圖出焉事之為精在上古無之聞之翁言曰吾書更十改刻則可以無大過矣而未及三而翁歿繼有秦檍麻呂東方十國圖焉麻呂健足日行六七十里躬自經涉其地窮之可謂精之又精者然僅僅十國授梓未半麻呂亦逝豈不大遺憾乎無憾者其唯青君東溟之書乎麻呂止十國翁無郡縣此書無而有之山川城邑分界關津之大無不備載陵墓原隰舊蹤寺觀之細無不悉記書以全名不亦宜乎君曰非敢然也桑滄變換地名沿

革茫茫淆淆難可單窮故吾唯創垂之欲使後人繼而全之也曰然則翁期諸己君托諸人期己者挾托人者博他日司土氏必有所來取哉或謂余曰嘗觀大石良雄書非獨以其人而已也字亦遒勁印有富士山陰是故鄉七字不知何謂也問之於人人

亦不識也昨讀此書山下有大石寺
敢正諸吾子余歎曰此事雖小可以
喻大

文政戊子仲秋

尾張　秦鼎撰

杉山延書

自序

輿地圖學之説極博。言多失荒唐。水戸赤水氏昉著日本路程全圖、郡國廣狹城邑、配置悉皆詳審。然一幅之帖、山川邑里、百載一二。非官道所由則多所不載。至於一覽盡形勢則可矣。施之尋繹道路、絶絡山川者則未可矣。如其配之山川列之邑里、次序道之所由、輿地之於圖可謂博大矣。余有志於此擧久矣。今以一國收于一紙、至於大國則及三紙四紙亦有之。以邑付郡、以郡付國、以七十五紙收六十六國、輯為一卷。山川邑里道路所由、天下曲折可坐而知矣。若夫郡國増減、歷代沿革、浩繁冗雜、不勝詳擧。姑據延喜式倭名類聚等書。條一二郡名於凡例下。可謂郡國面目於此始具矣。先師乾堂先生嘗出示尾張全圖一幅曰、此圖山川邑里不爽毫釐。梓而傳之於不朽、是吾志也。余謂擧一國之全、不若具各國之徵為愈也。想各國亦必有全圖。於是遍捜遠求、曠年彌久、自五畿逮二洲地圖粗具。然踈密相間、配列錯午者不少矣。志在考之方志、証之國人。然研究渉久、恐年命之不吾與也。縱得經歷天下山川城邑、尋繹道路所由、疲駑之力不勝重遠矣。悉不能及詳審。遂命剞劂氏、標曰國郡全圖。後來博該君子、各國有識之人、就加補正、豈啻老夫之幸。抑亦天下之徵益。

文政戊子

尾張　東谿青生元宜識

凡例

一此圖每國方圓曲直ノ形状ハ赤水先生日本路程全圖ニ倣テ寫シ來サレトモ其國ノ大小廣狹ヲ論セス一紙ノ面ニ載セ全圖ノ大幅ノ折畳紙ニテ展玩ニ力ヲ費シ又ヨリ磨滅シテ有カタシ今此圖ハ几上一覽ノ便利ニシテ文字剥落ノ患ナキヲ旨トス但シ陸奧出羽薩广等ノ如キハ次ヘ送リ二三葉ニ及ブ各合紋ヲ以テ印トス

一海陸ニチノリ長短ハ畧ニテ載ス〇郡名ノ古今ノ違ハ目録ニ記ス

一村名ハ畧字或ハ片カナヲ用ヒ總テ村ノ字ヲ省ク一字ノ村名ト雖モ亦然リ（加村下村ノ類）極メテ細密ノ処ハ圖モ字モ及ヒ難キ処アリ

一黒筋ハ郡界　朱筋ハ街道驛路　■城廓　□陣屋　〇黄ハ驛或宿並　〔〕村名庄号　丹神社　寺佛閣堂廟　ハ淺黄ハ海河川谷ニ池水ヲ滝ニ島ニ　青ハ峯嶺山哥　●湊或船着舟渡シ　▲陵或ハ名所舊跡曲關路古墟　朱ハ温泉火井

〇新田ノ印ナリ

廣大ノ海宇繁多ノ郡里固ヨリ此小圖ノハ悉皆詳明スヘキ所ニアラ並ハ其誤脱踈漏極メテ可多唯博物ノ君子玩閲ノツイテ其闕ヲ補ヒタイハウハ年月ヲ積テ全備トナラン鄙心ノ深ク希フ事ニコソ

郡名目録上卷

○畿内　五箇國

山城國　八郡　乙訓　葛野　愛宕　紀伊　宇治　久世　綴喜　相樂

大和國　十五郡　添上　添下　平郡　廣瀬　葛上　葛下　忍海　宇智　吉野　宇陀　城上　城下　高市　十市　山邊

古十四郡　河内國　十六郡　錦部　石川　古市　安宿　大縣　高安　河内　讃良　茨田　交野　若江　澁川　志紀　丹比　八上　今增八上郡　丹比分南北

古三郡　和泉國　四郡　大鳥　和泉　日根　泉南　今增泉南郡

古十三郡　攝津國　十二郡　住吉　東成　西成　島上　島下　豐島　能勢　河邊　武庫　兎原　八部　有馬　舊有百濟郡今省之

○東海道　十五箇國

伊賀國　四郡　阿拜　山田　伊賀　名張

伊勢國　十三郡　桑名　員辨　朝明　三重　河曲　鈴鹿　奄藝　安濃　壹志　飯高　多氣　飯野　度會

志摩國　二郡　答志　英虞

尾張國　八郡　中島　葉栗　丹羽　春日部　愛智　智多　海東　海西　今海部分東西　舊有山田郡今省之　又春日部今作春日井

參河國　八郡　碧海　賀茂　額田　幡豆　寶飯　設樂　八名　渥美

遠江國　十四郡　濱名　敷智　豐田　引佐　麁玉　長上　長下　磐田　山香　周智　山名　佐野　城飼　蓁原

駿河國　七郡　志太　益頭　有度　安倍　廬原　富士　駿東　古駿河今作駿東

古三郡　伊豆國　四郡　田方　那賀　賀茂　君澤　今加君澤郡

甲斐國　四郡　山梨　八代　巨麻　都留

古八郡　相模國　九郡　足柄上　足柄下　餘綾　大住　愛甲　高座　鎌倉　御浦　津久井　今加津久郡

古二十一郡　武藏國　二十二郡　久良　都筑　多磨　橘樹　荏原　豐島　足立　新座　入間　高麗　比企　横見　埼玉　大里　男衾　幡羅　榛澤　那珂　兒玉　賀美　秩父　葛餝　今加葛餝郡

安房國　四郡　平郡　安房　朝夷　長狹

古十一郡　上總國　九郡　市原　武射　埴生　望陀　周淮　天羽　夷灊　長柄　山邊　舊有海上畔蒜二郡今減之

古十一郡　下總國　十郡　千葉　印旛　匝瑳　相馬　結城　猨島　海上　香取　埴生　豐田　舊有葛餝郡今減之

常陸國　十一郡　新治　眞壁　筑波　河内　信太　茨城　行方　鹿島　那珂　久慈　多珂

○東山道　八箇國

近江國　十二郡　滋賀　栗本　野洲　蒲生　神崎　愛智　犬上　坂田　淺井　伊香　高島　甲賀

古十八郡　美濃國　二十一郡　多藝　石津　不破　安八　池田　大野　本巣　席田　厚見　各務　山縣　武藝　郡上　賀茂　可兒　土岐　惠奈　方縣　海西　葉栗　中島　今加海西葉栗中島三郡

古三郡　飛驒國　四郡　大野　荒城　益田　大原　今加大原郡

信濃國　十郡　伊那　諏訪　筑摩　安曇　更級　埴科　水内　高井　佐久　小縣

上野國　十四郡　碓氷　片岡　甘樂　多胡　緑野　那波　群馬　吾妻　利根　勢多

佐位　新田　山田　邑楽

下野國　九郡

足利　梁田　安蘇　都賀　寒川　那須　河内　塩屋　芳賀

陸奥國　五十一郡　古三十五郡

白川　黒川　磐瀬　宮城　會津　耶麻　安積　安達　柴田　刈田
遠田　名取　信夫　菊多　標葉　阿曽沼　行方　磐井　和賀　稗貫
亘理　玉造　賀美　志太　栗原　江刺　膽澤　登米　牡鹿　鹿角
陸上　津軽　宇多　伊具　本吉　石川　大沼　桃生　磐前　磐城
伊達　閉伊　糠部　氣仙　楢葉　田村　磐手　一戸　三戸　九戸

北郡　舊有色麻閉新田小田四郡今省之而加田村磐手二戸三戸九戸北郡七郡又河内大名門郡磯金原星河高野稲我七郡界未考之喜式有三十五郡無大沼郡和名鈔為三十六郡也

出羽國　十二郡　古十一郡

最上　村山　置賜　雄勝　平鹿　山本　飽海　豊島　田河　秋田

檜原　由利　今増檜原由利二郡舊有出羽郡今省之豊島一曰河邊

郡名附録上巻　三

北陸道　七箇國

若狭國　三郡

遠敷　大飯　三方

越前國　十郡　古六郡

敦賀　丹生　今立　足羽　大野　坂井　南條　今北　吉田　坂北

今加南條今北吉田坂北四郡舊有黒田池上柳田三郡今省之界未考

加賀國　四郡

江沼　能美　加賀　石川

能登國　四郡

羽咋　能登　鳳至　珠洲

能登一曰鹿島

越中國　四郡

礪波　射水　婦負　新川

越後國　八郡　古七郡

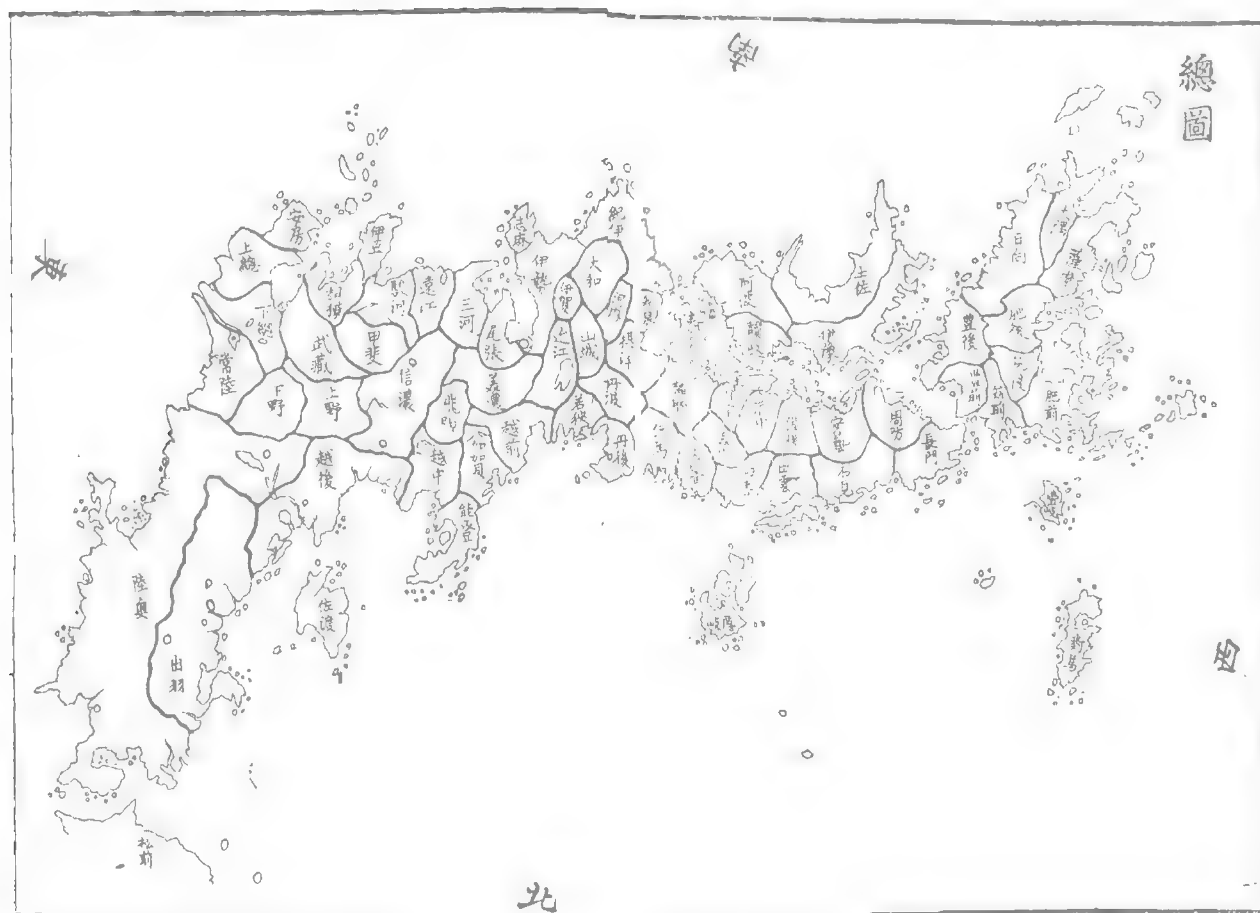
頸城　古志　三島　魚沼　蒲原　沼垂　石船　刈羽

今加刈羽郡

佐渡國　三郡

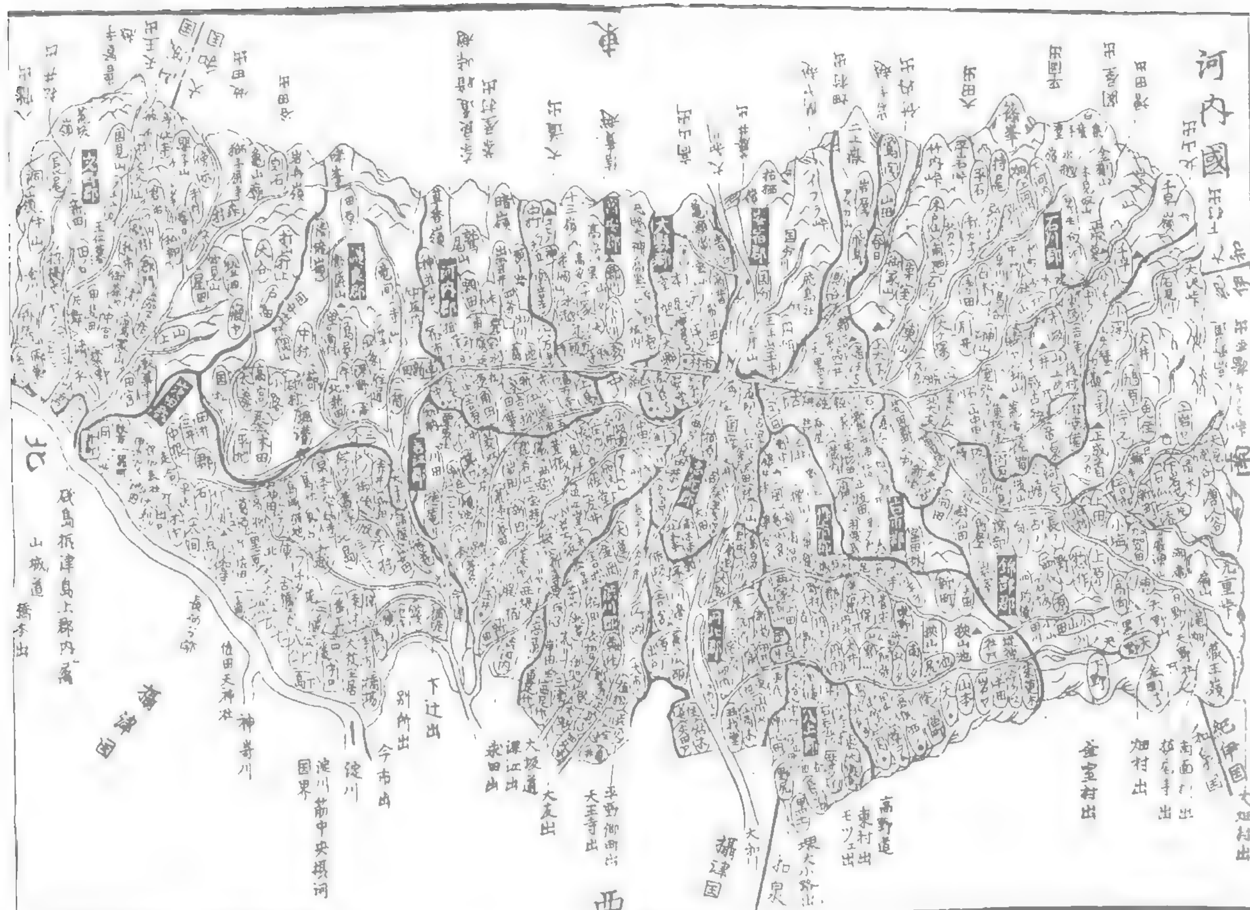
羽茂　雑太　賀茂

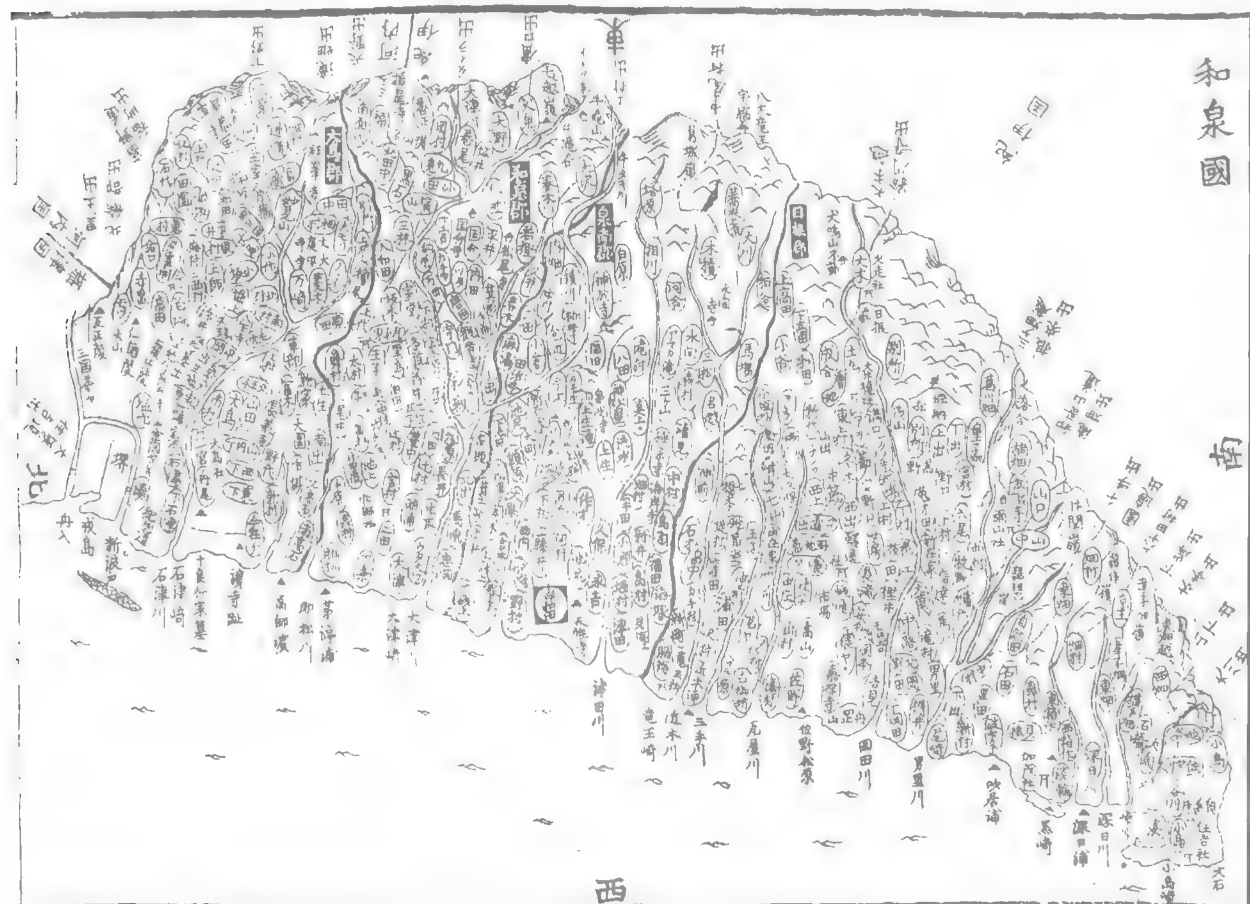
五畿汝　帝甸七道
列藩翰便覽里程全
山河盈几案

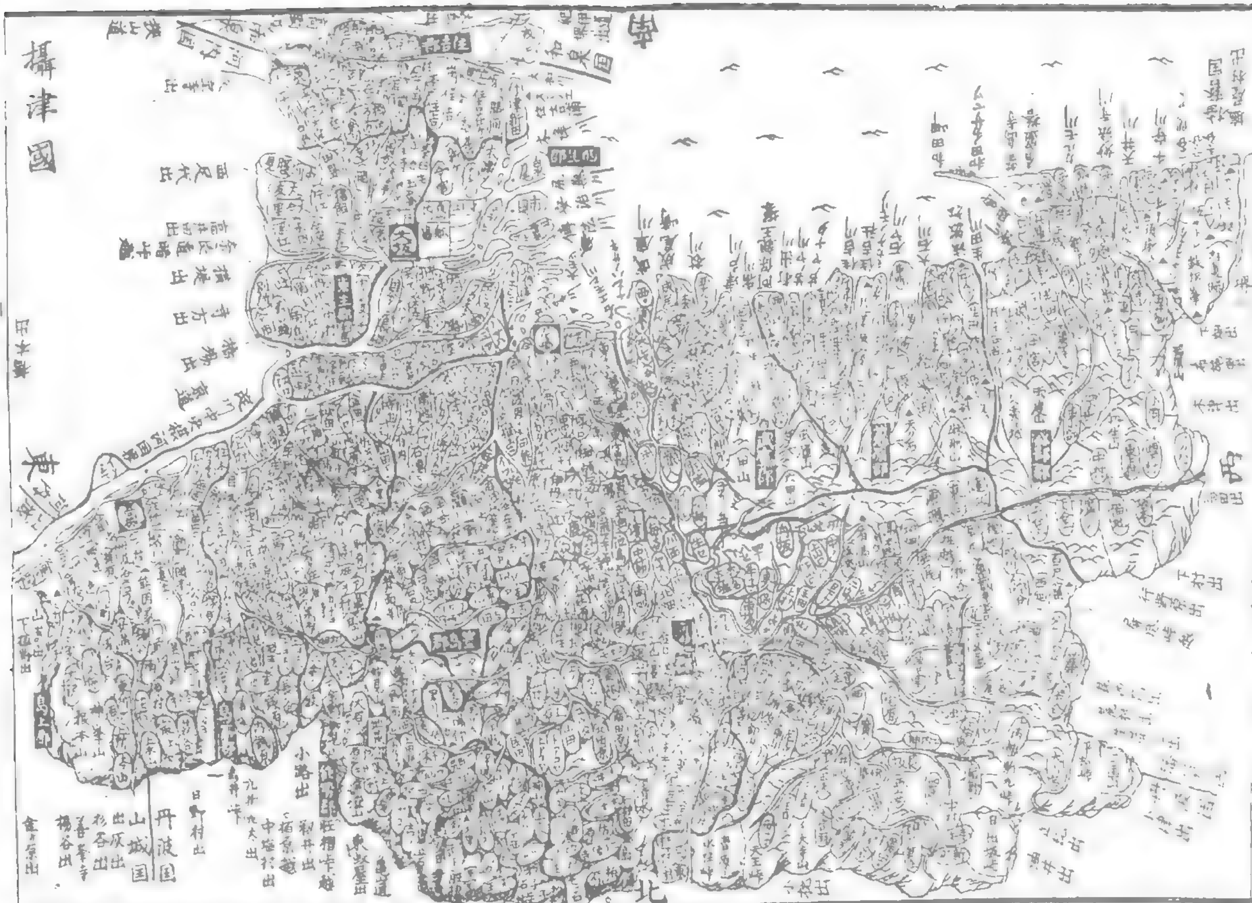

總圖
東
西
北
陸奥
出羽
常陸
下野
上野
武藏
甲斐
信濃
越後
越中
能登
佐渡
三河
尾張
丹波
丹後
土佐
伊豫
豐後
周防
長門
出雲

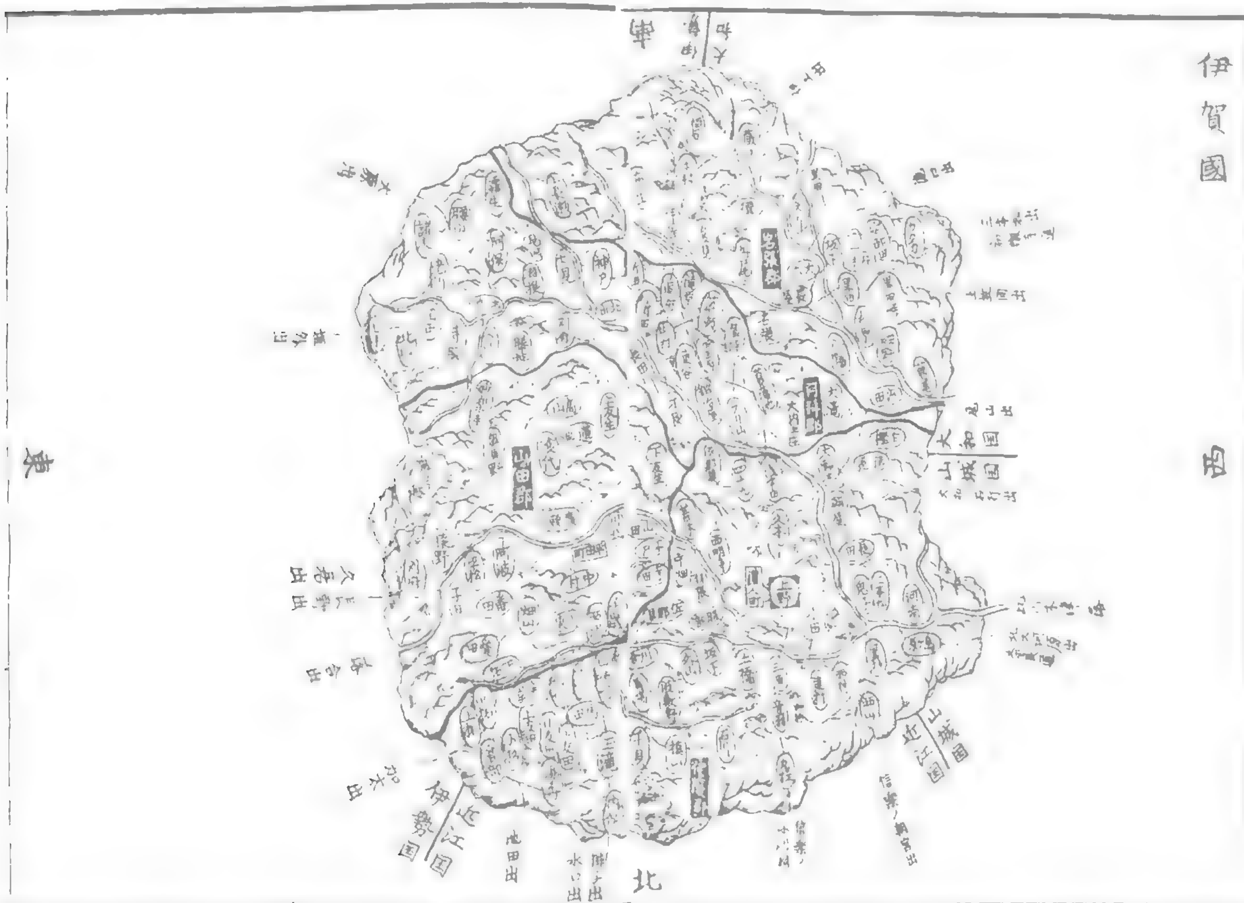
山城國

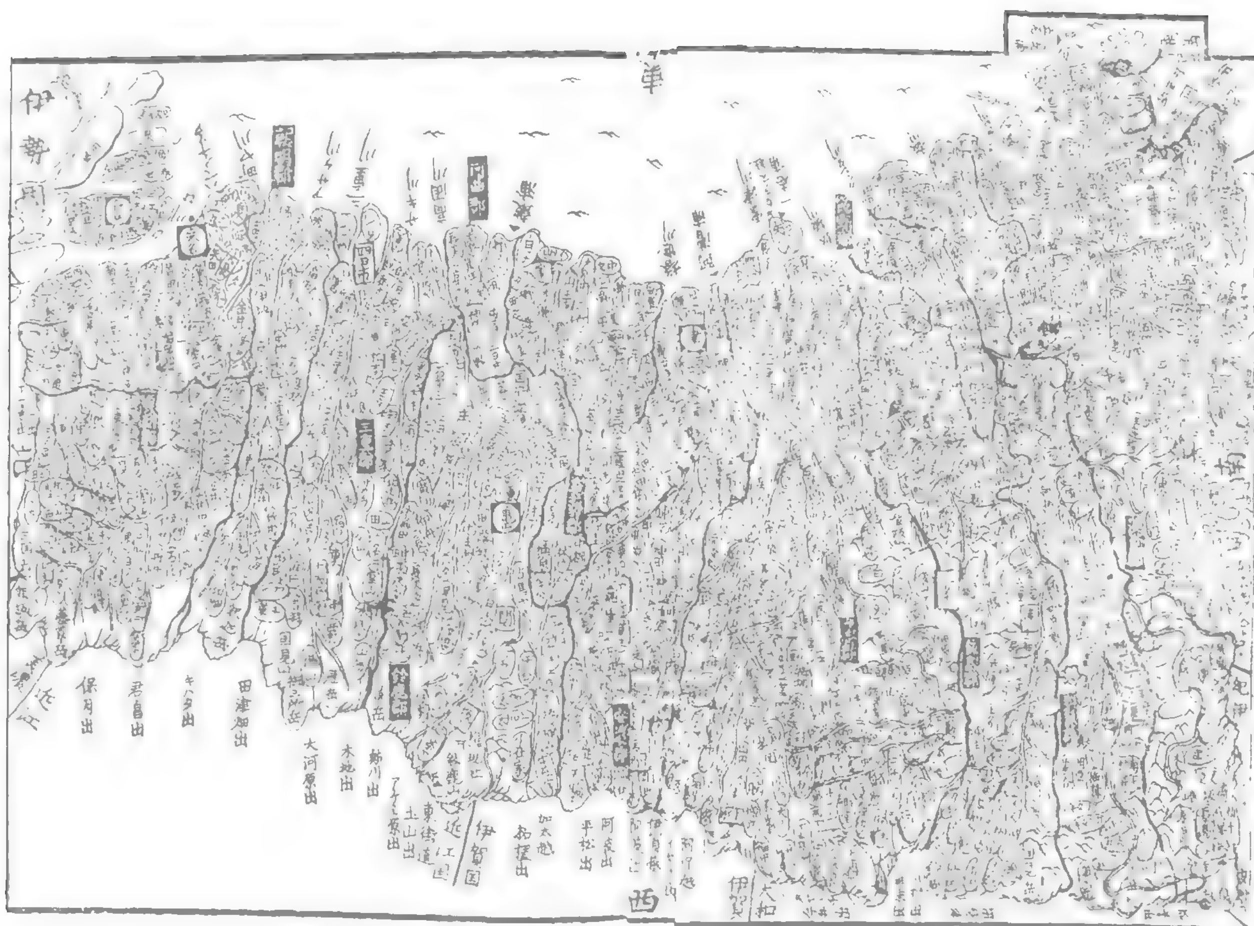
大和國

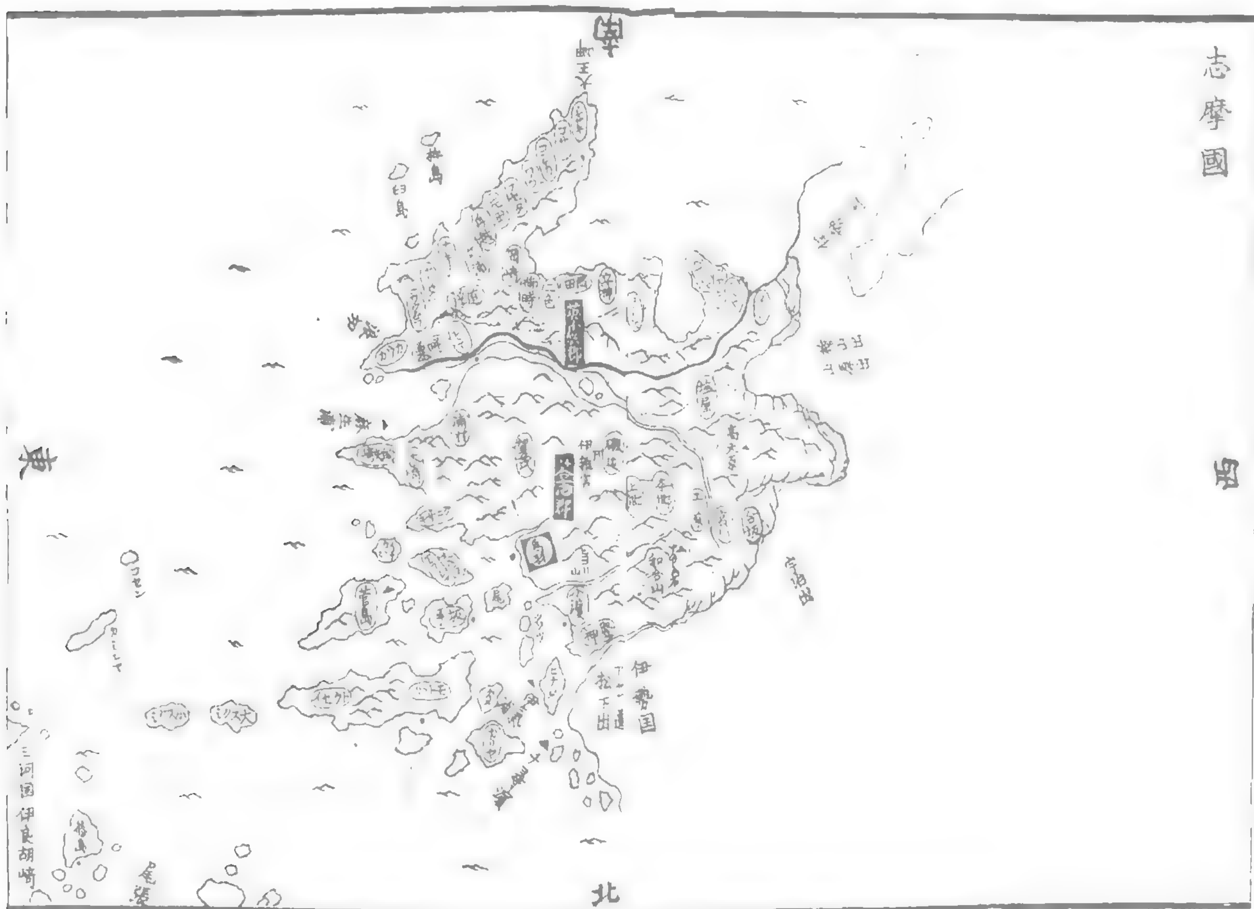

河内國
東
西
北
攝津國
和泉
紀伊国
山城道
大坂道
高野道
下辻出
別所出
今市出
淀川
神崎川

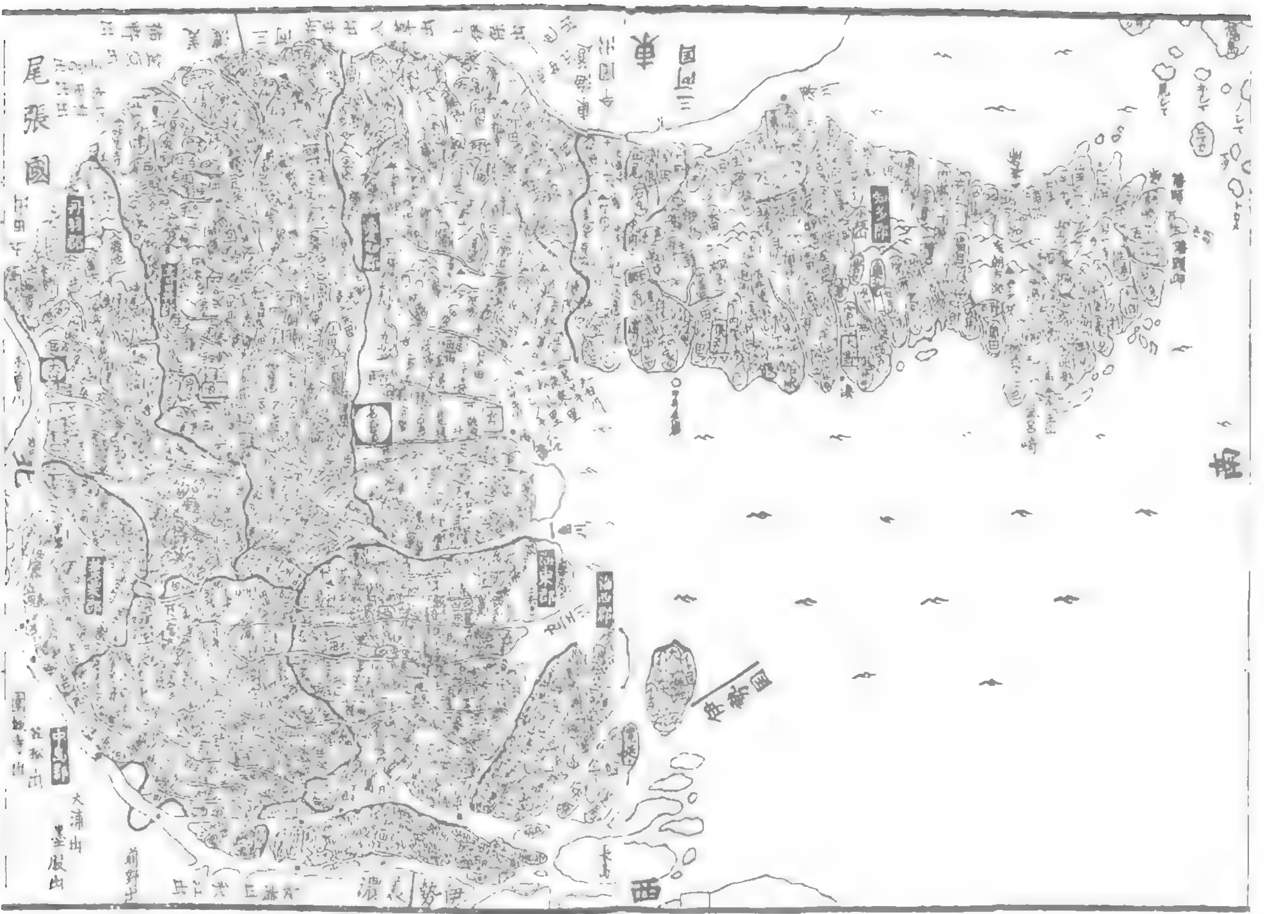

和泉國
東
西
北
南
津田川
近木川
樫井川
男里川

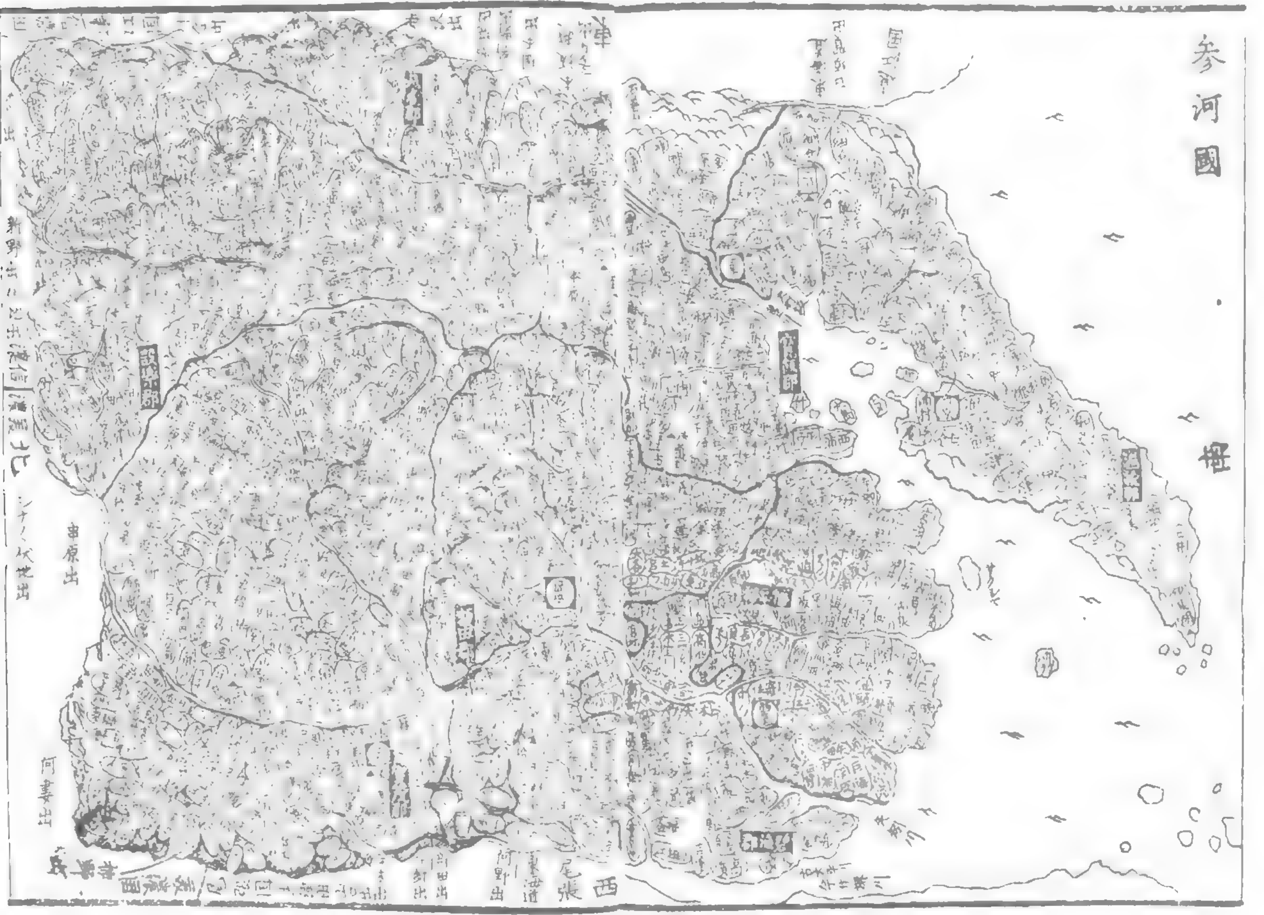

攝津國
南
東
北
丹波国
山城国

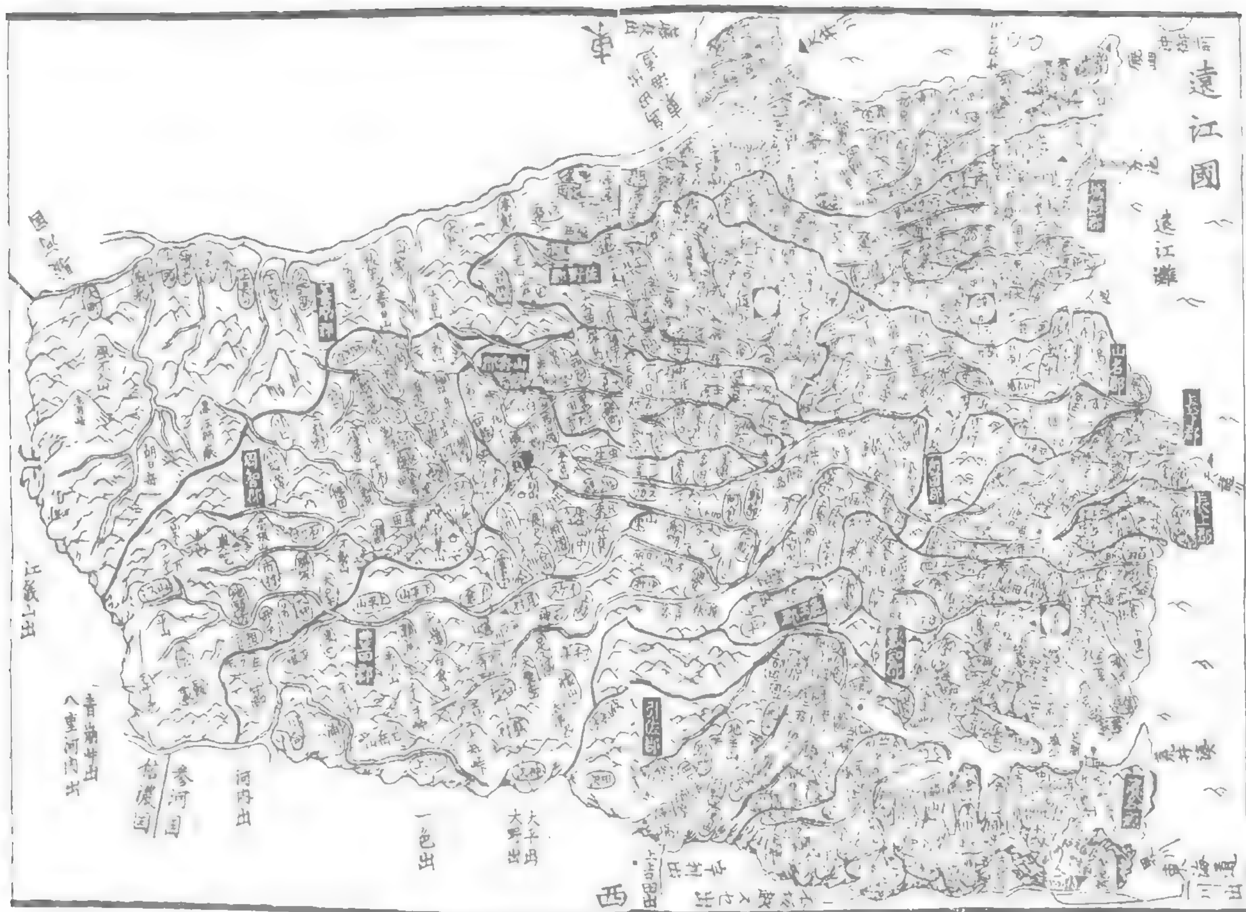

伊賀國
南
東
西
北
大和国
山城国
近江国
伊勢国
山田郡

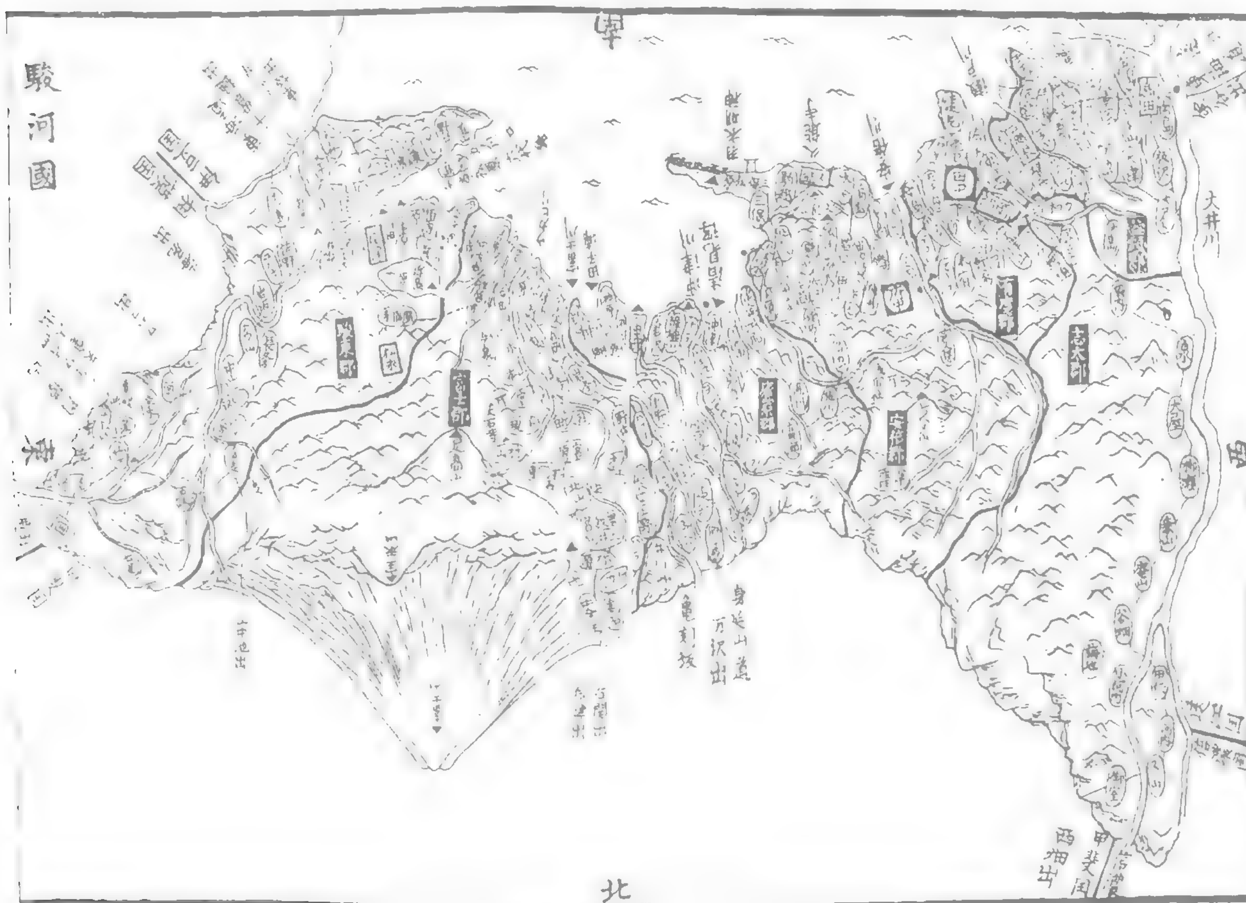



志摩國
東
北

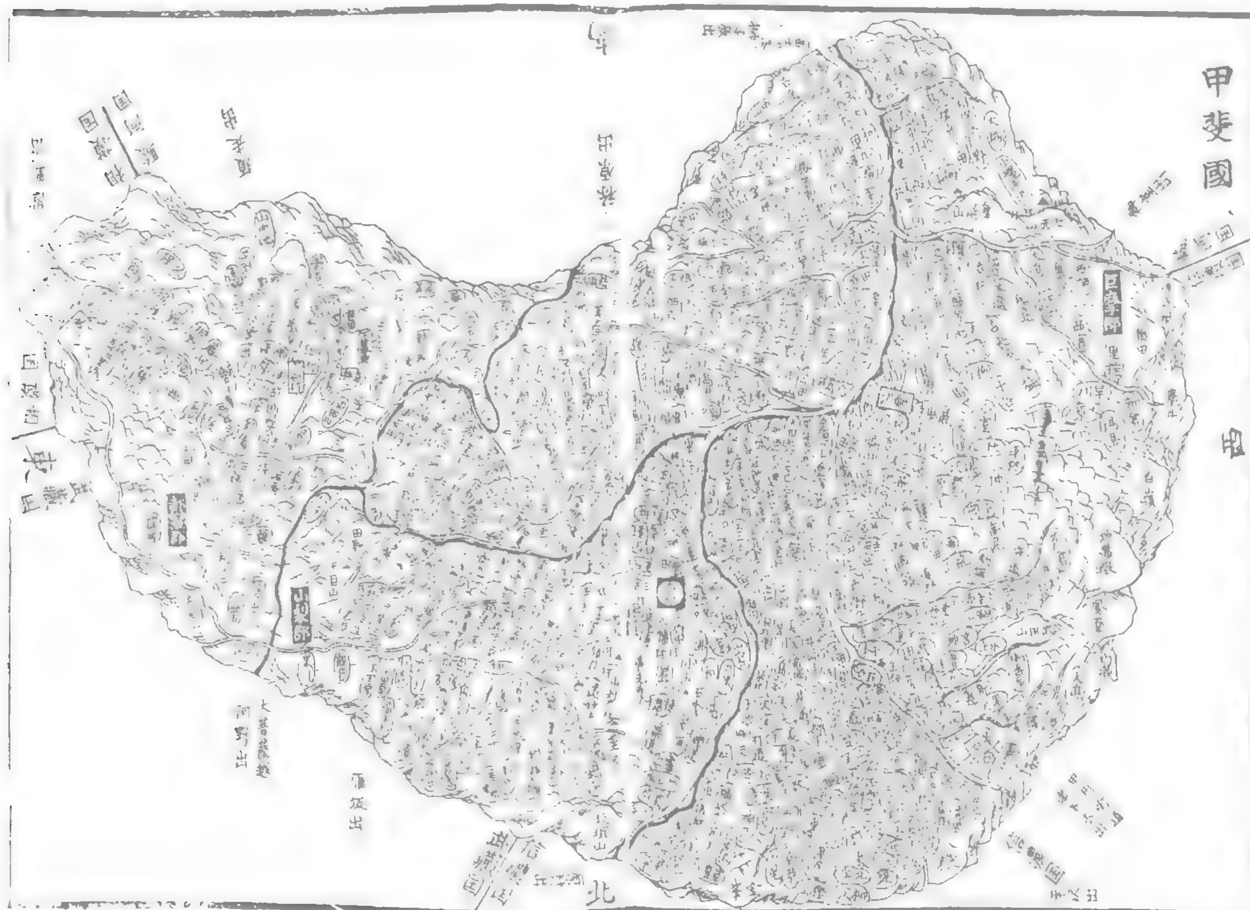

尾張國
東
西
北
南
三河國
伊勢
美濃

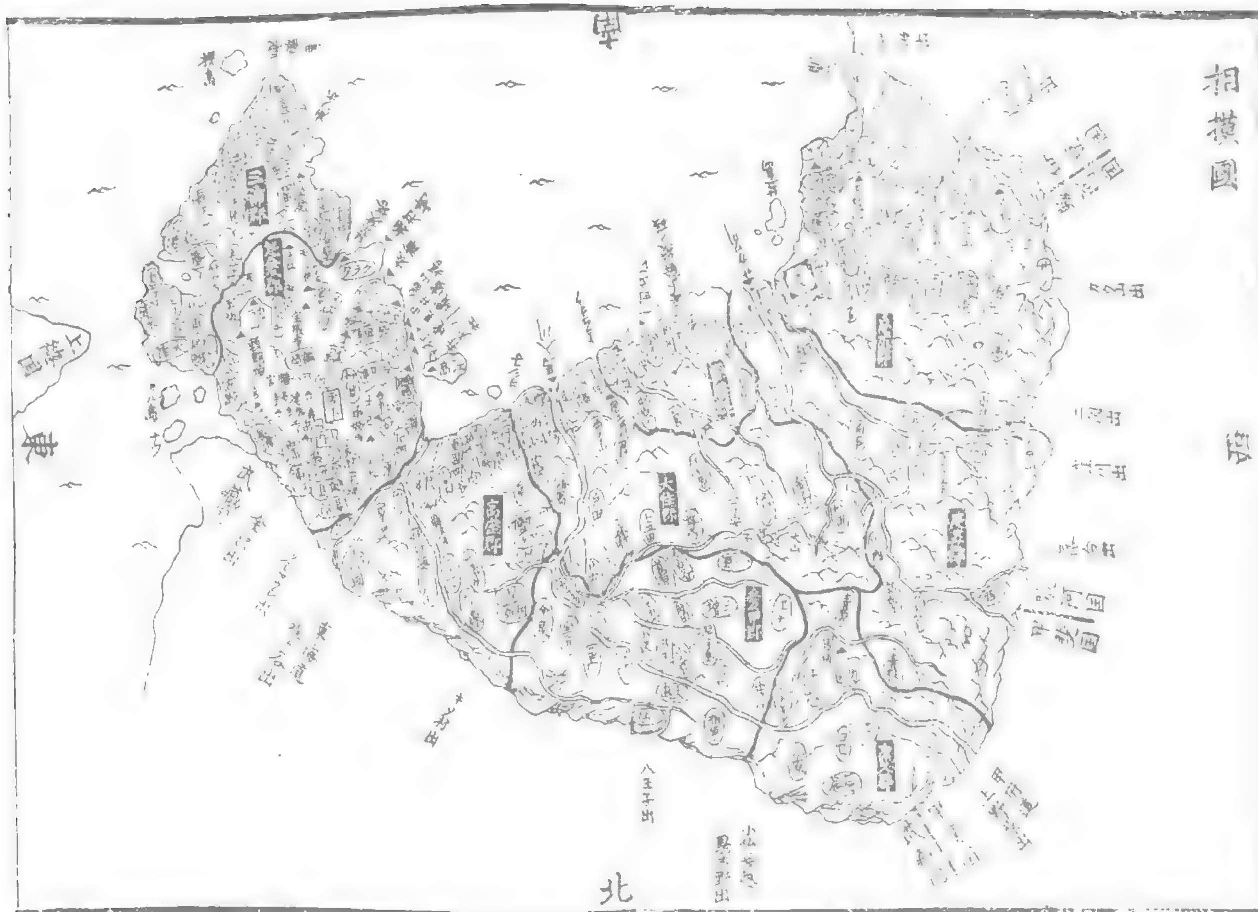

参河國
東
西
北
南
尾張

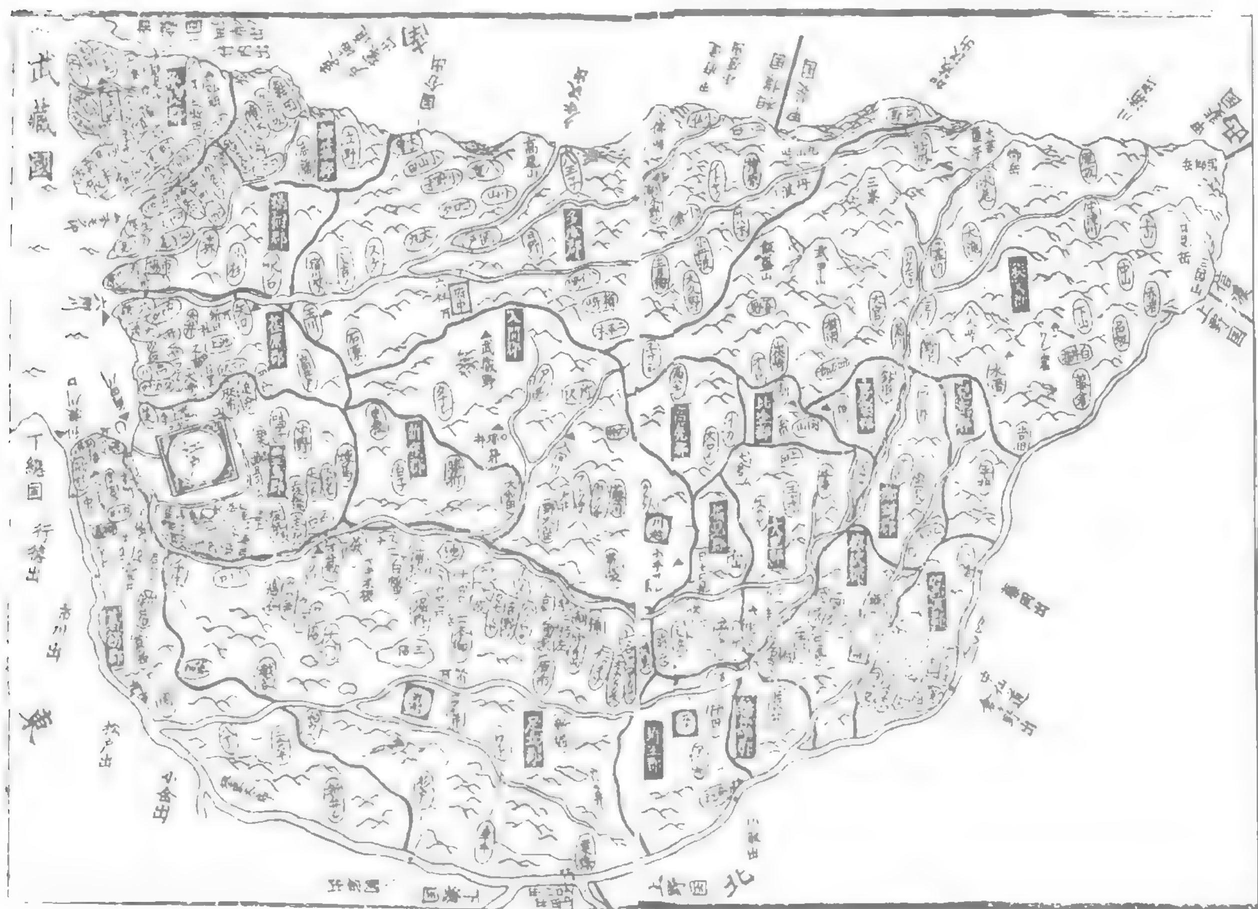

遠江國
遠江灘
西


駿河國
大井川
北

伊豆國
東
北
西

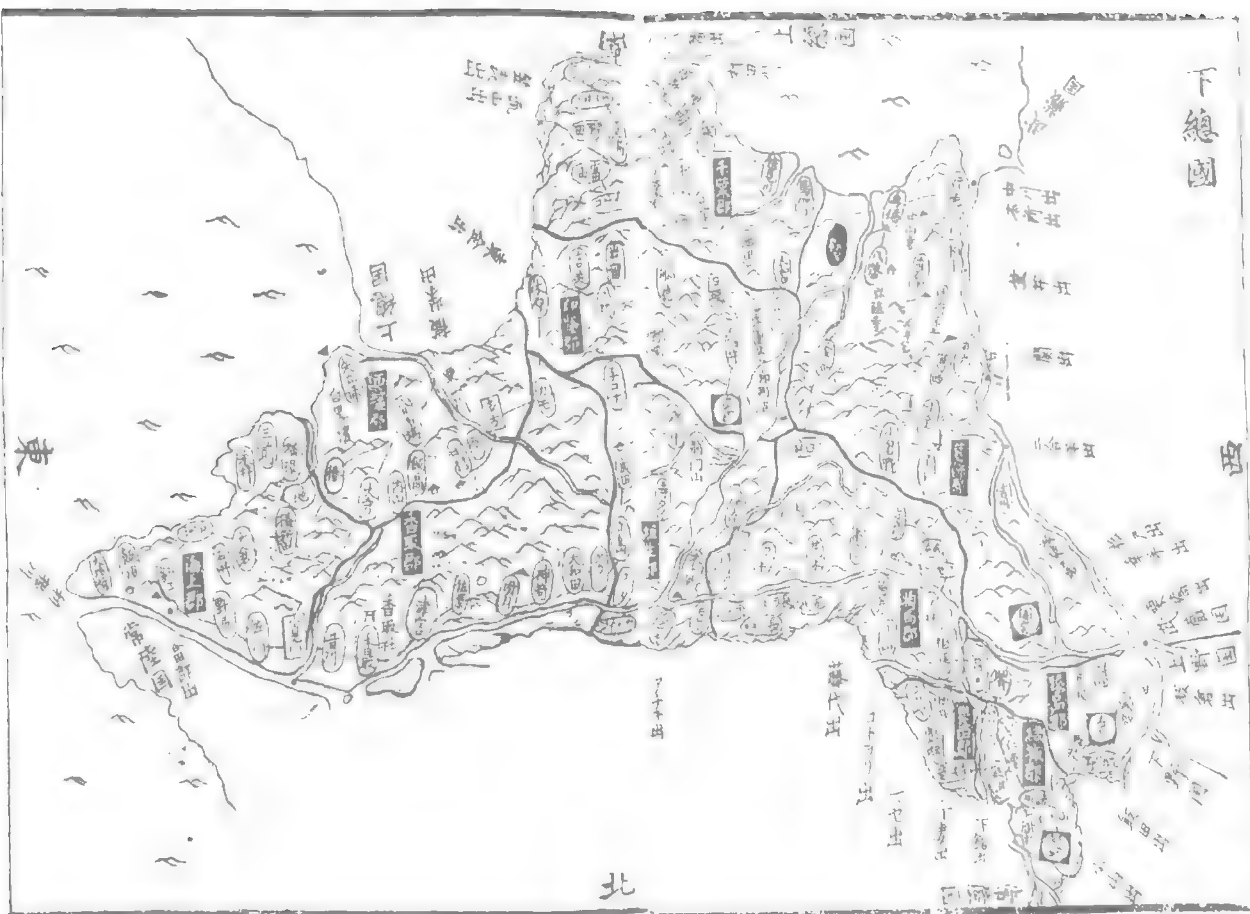

甲斐國
東
北

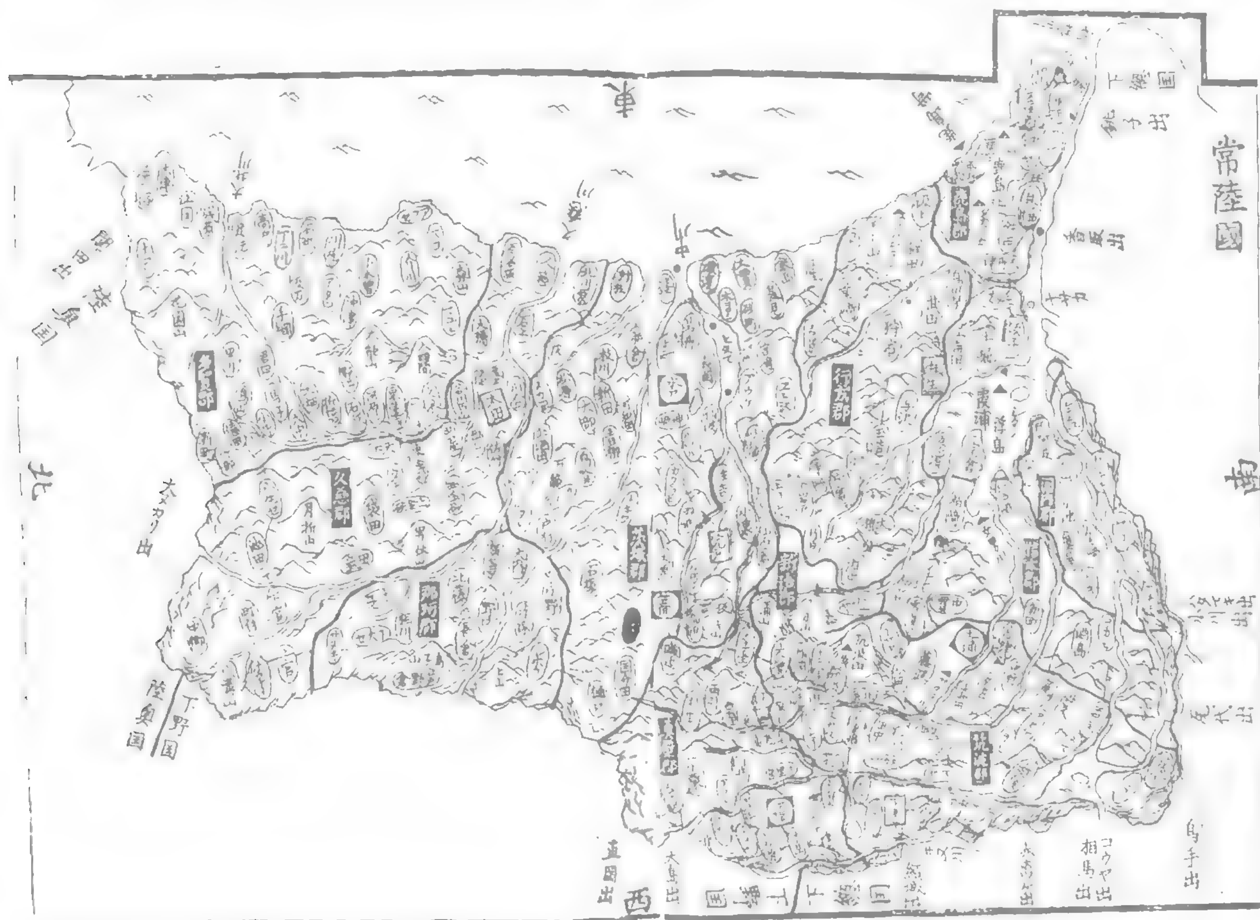

相模國
南
東
西
北

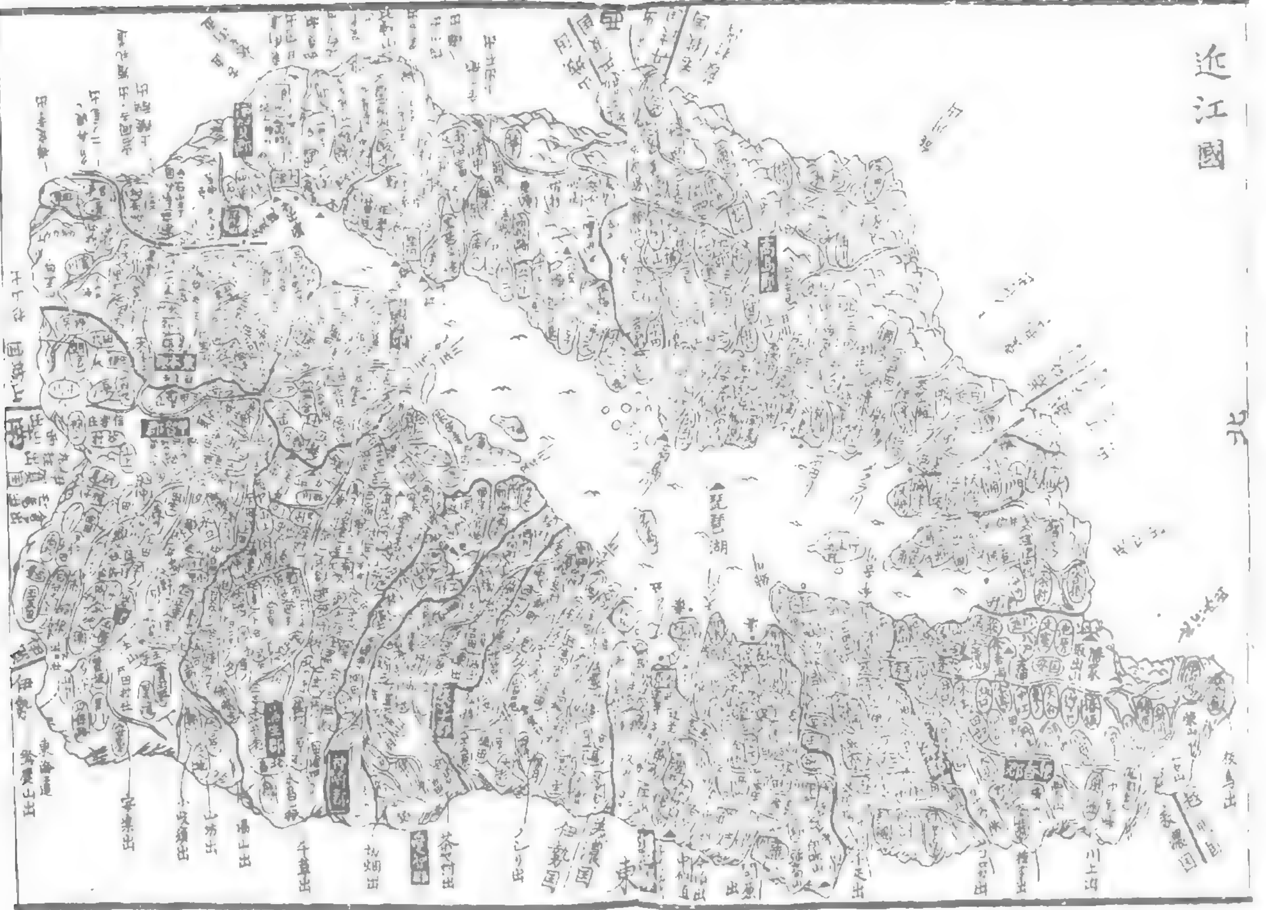

武藏國
東
北

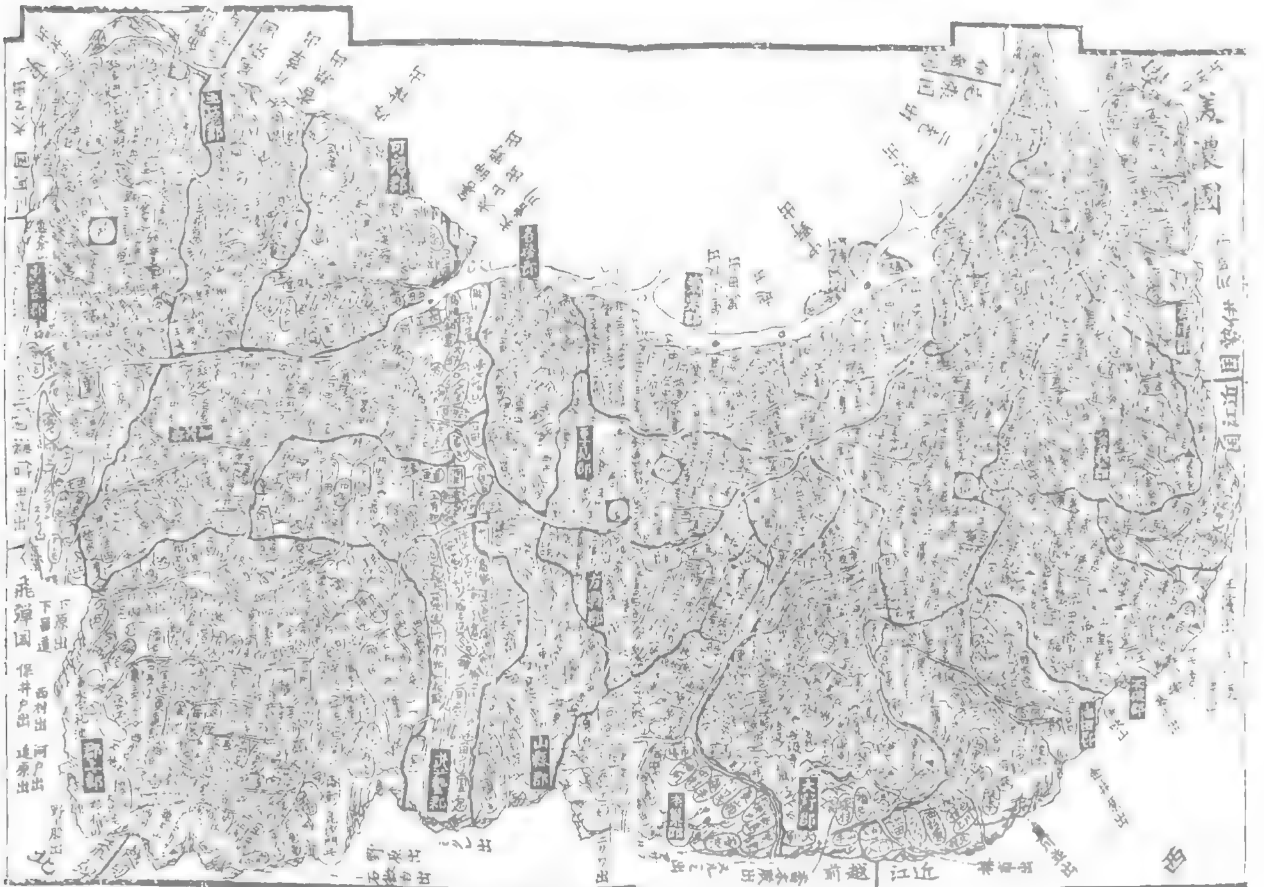
安房國
東
西
北
南
長狹郡
平郡
安房郡
朝夷郡
上總國
下總國

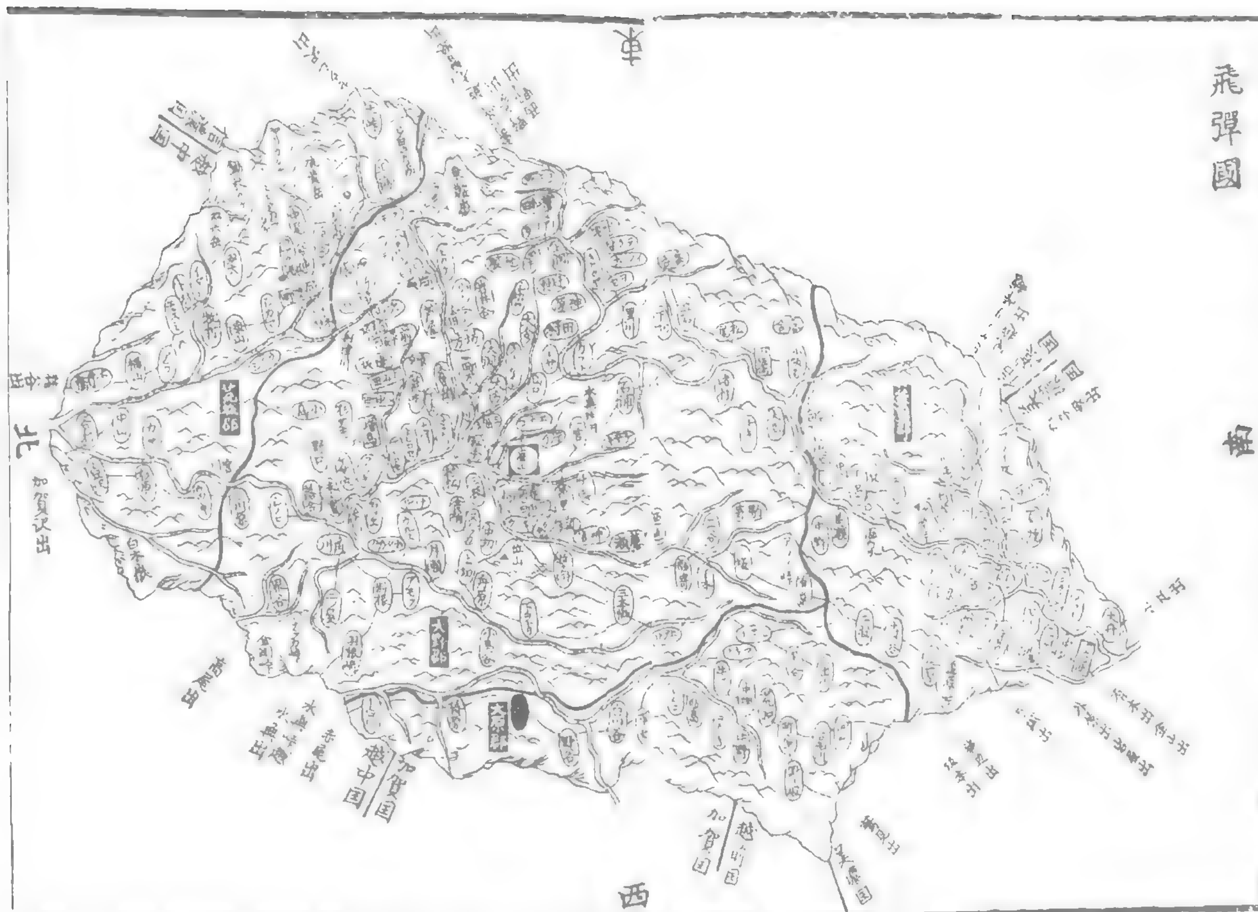
上總國
東
西
北
南
長柄郡
山邊郡
武射郡
埴生郡
市原郡
望陀郡
周准郡
天羽郡
夷隅郡
安房國
下總國

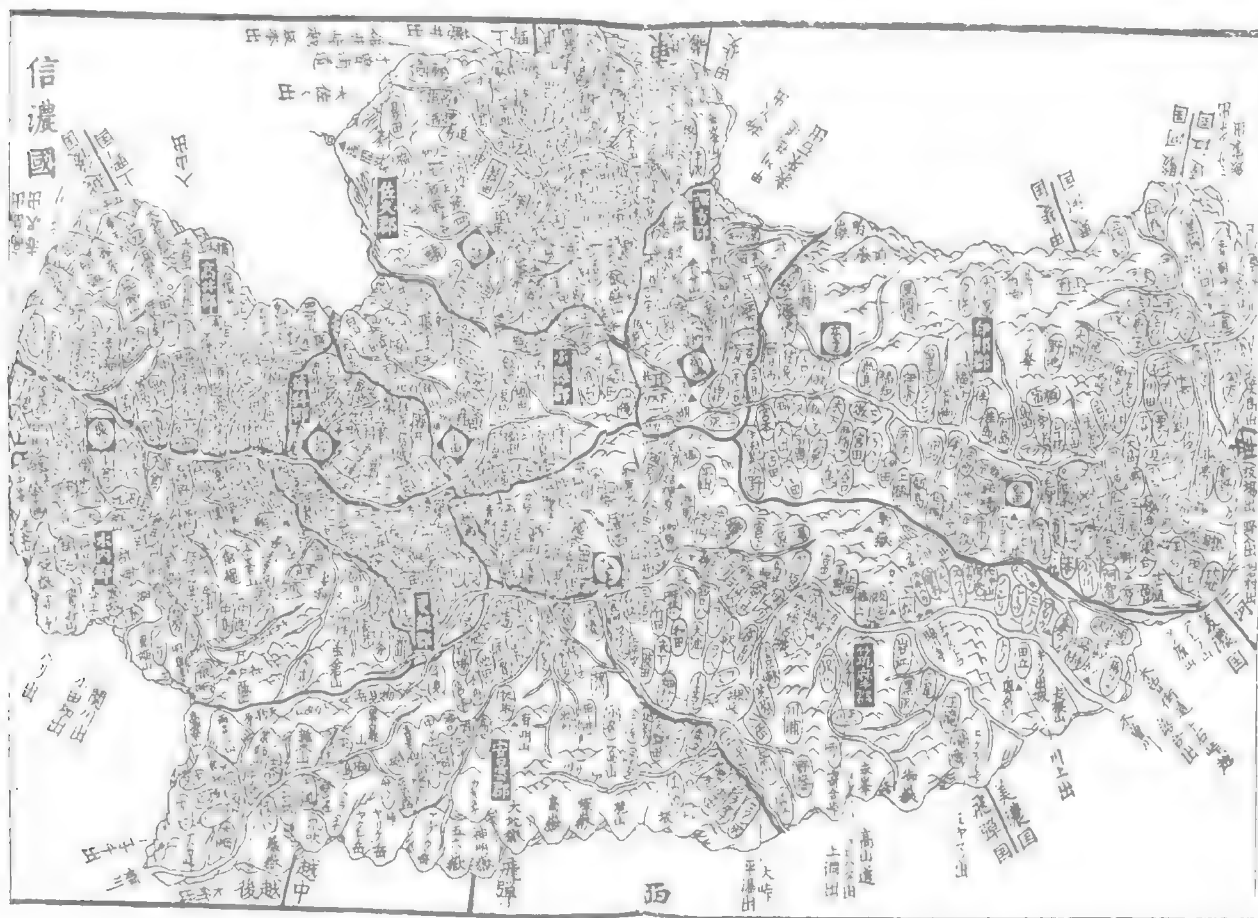

下總國
東
北
西

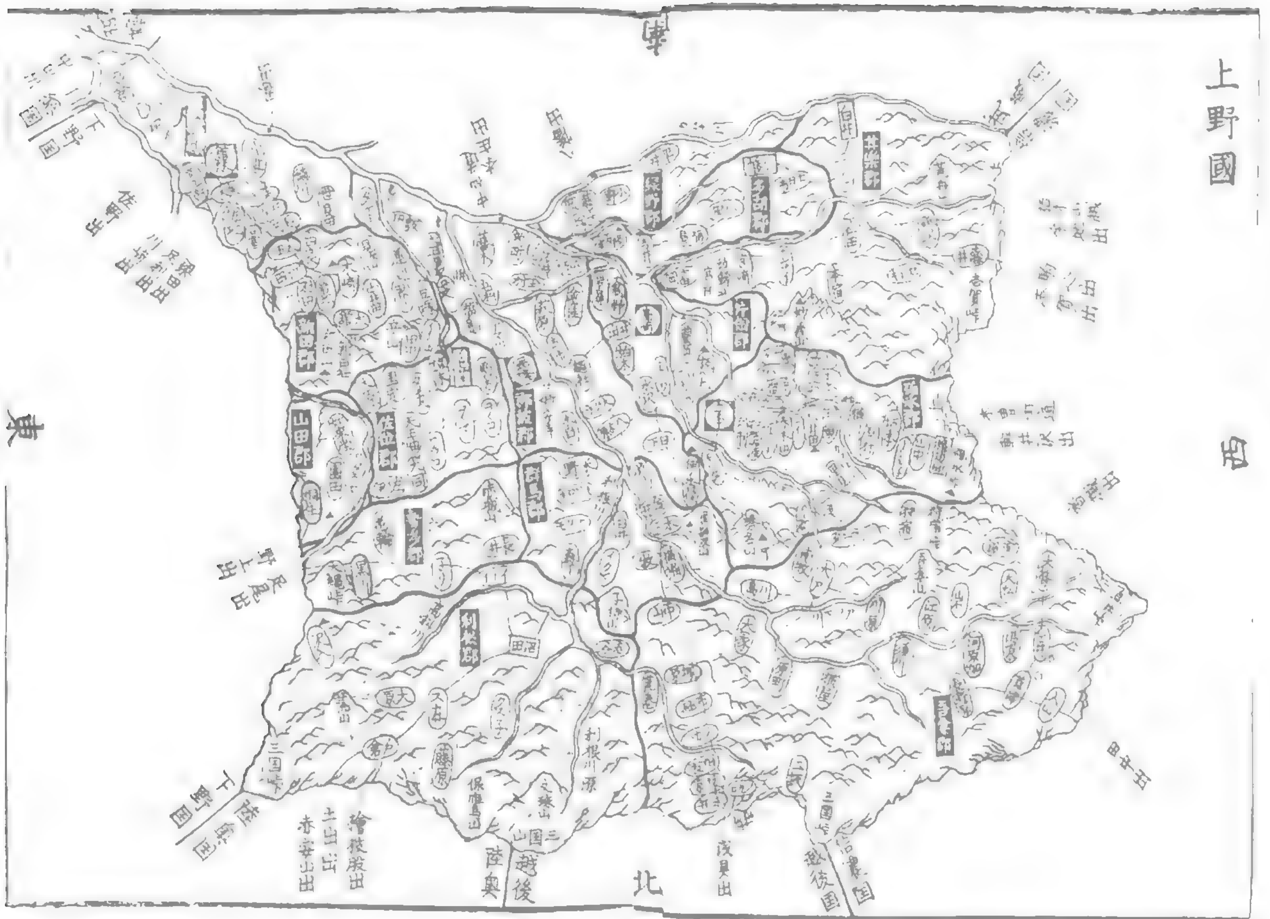

常陸國
東
北
西
南
下野國
陸奥國

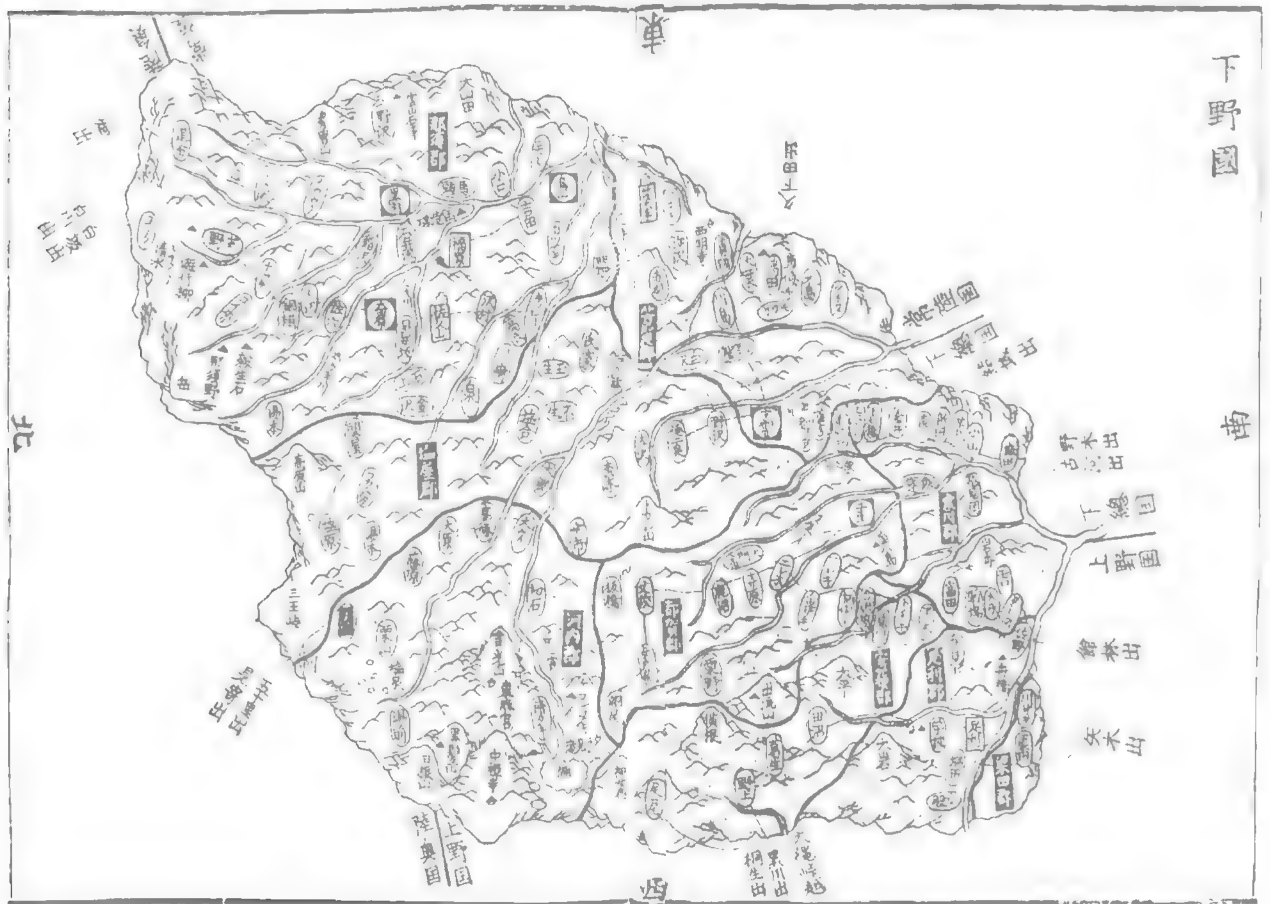

近江國
琵琶湖
北
東

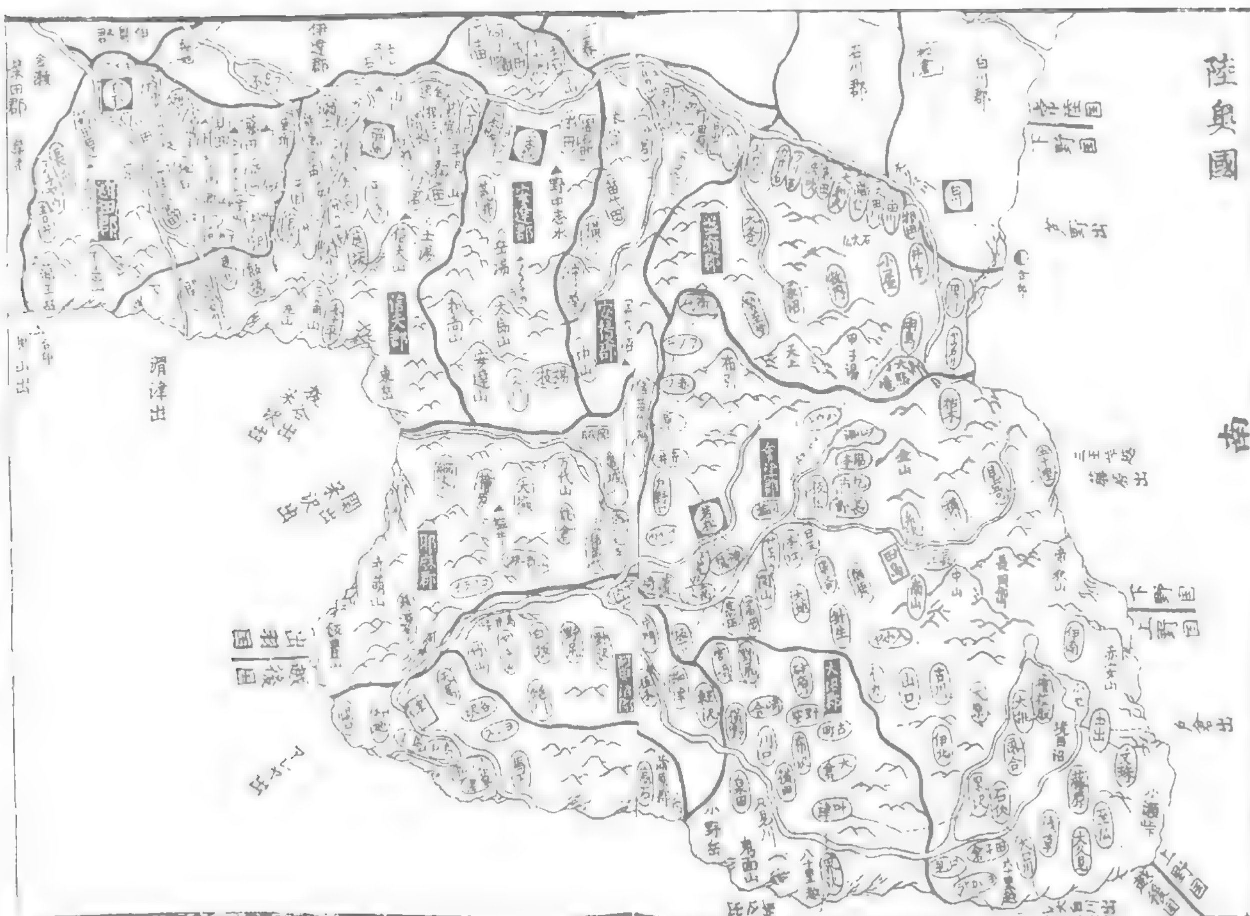

美濃國
飛騨國
近江
越前
西
北

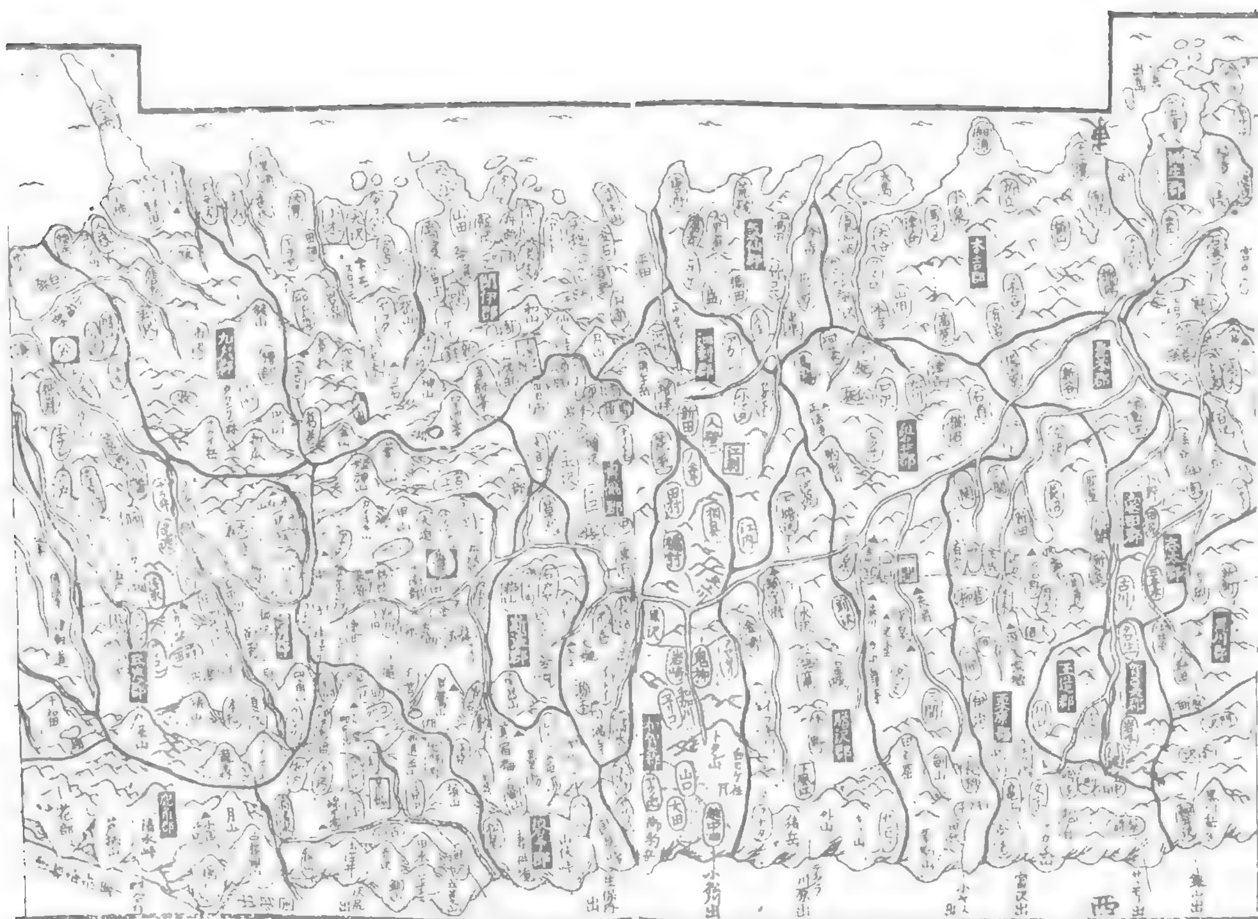

飛彈國
東
南
西
北
大野郡
吉城郡
益田郡
越中国
加賀国
美濃国

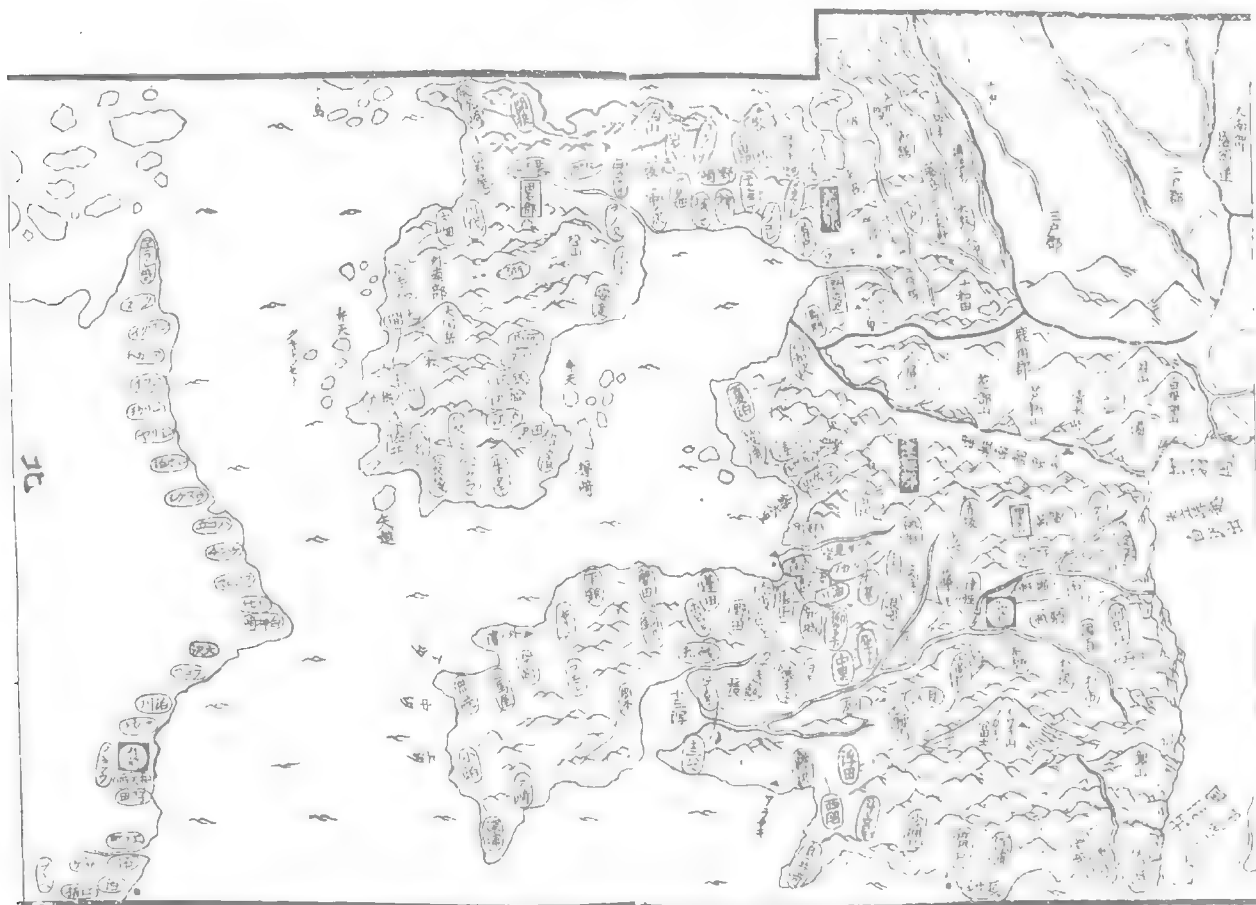

信濃國
東
南
西
北
佐久郡
小縣郡
筑摩郡
伊那郡
諏訪郡
安曇郡
水内郡
高井郡
更級郡
埴科郡
飛彈国
美濃国
越中
越後
高山道

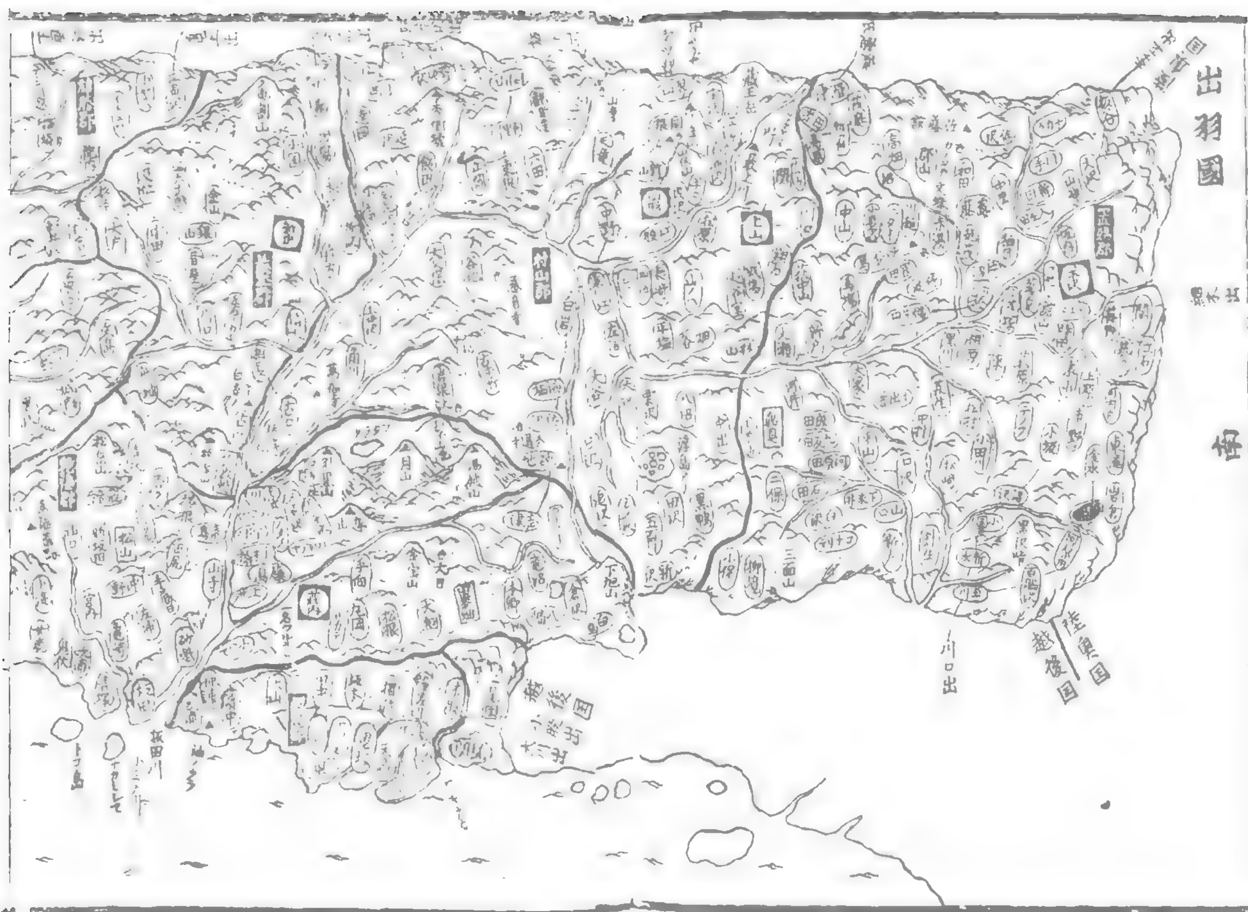

上野國
東
北
山田郡
利根郡

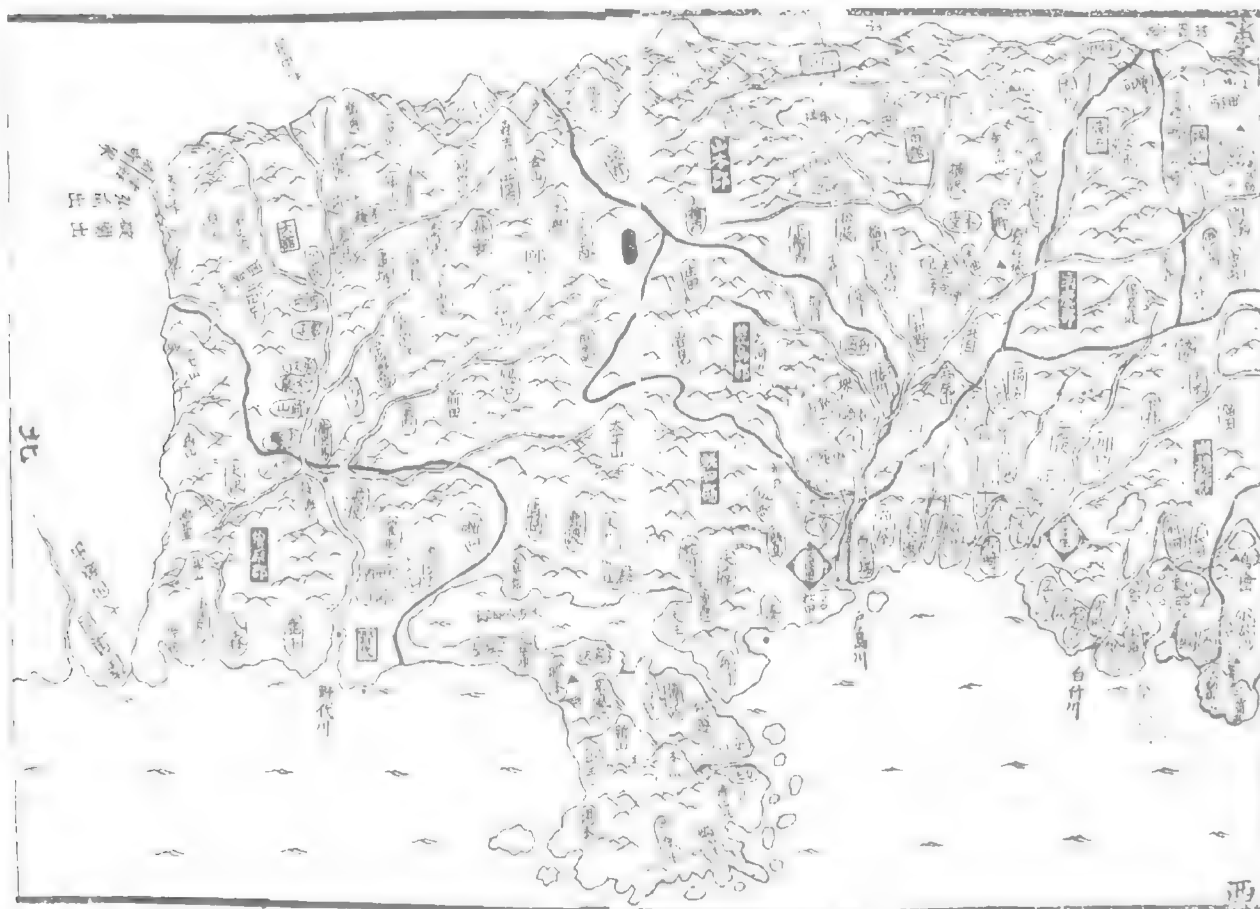

下野國
北
西

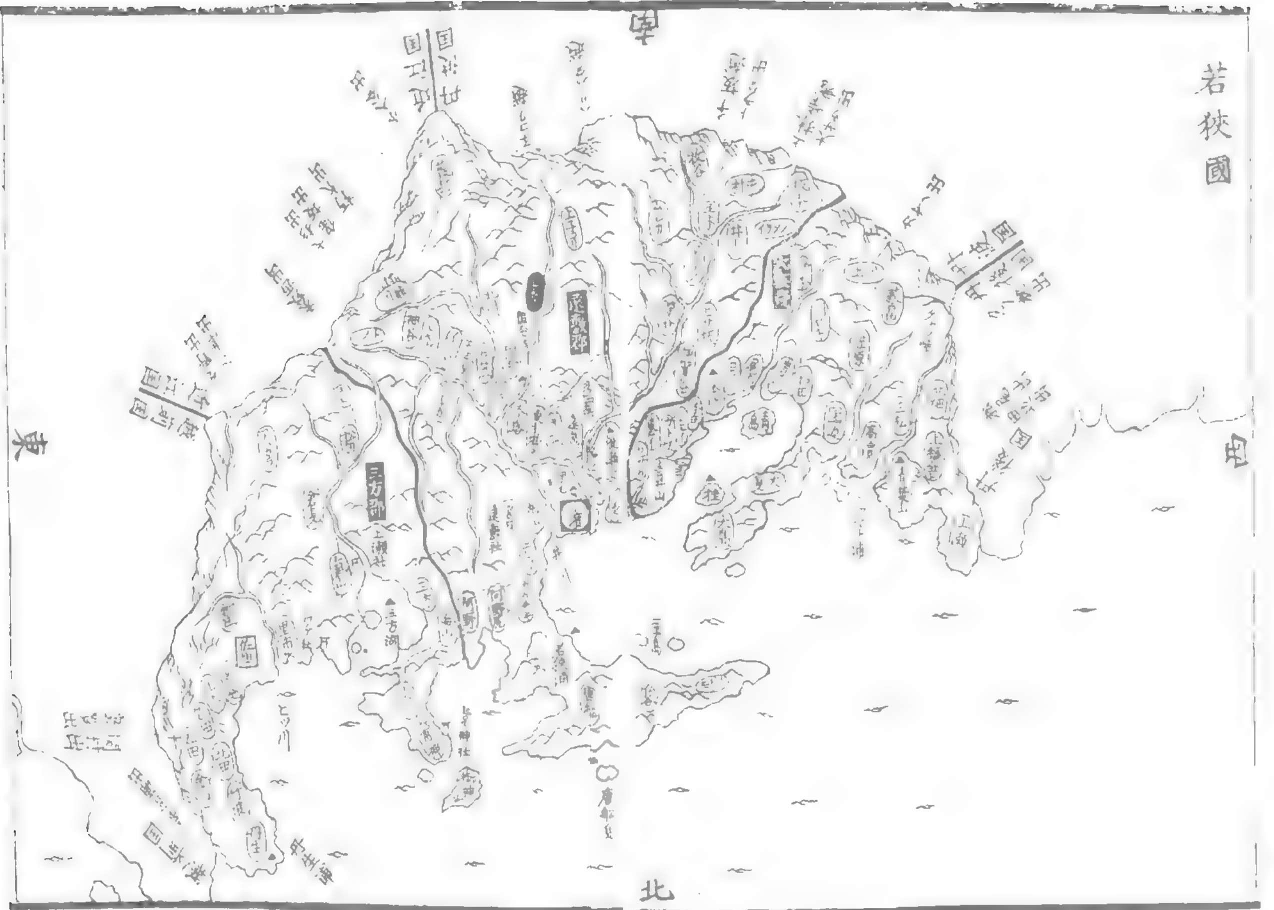

陸奥國
南



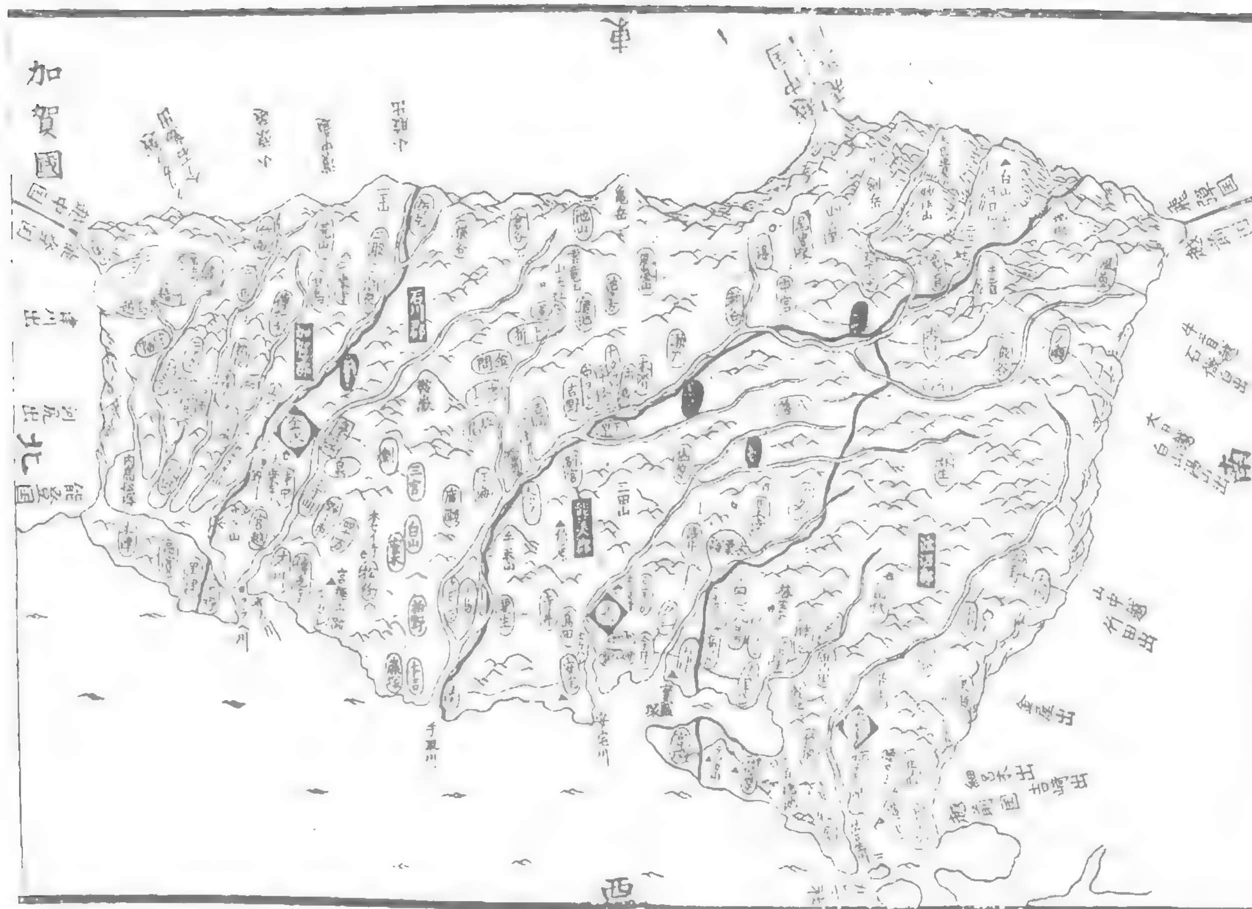


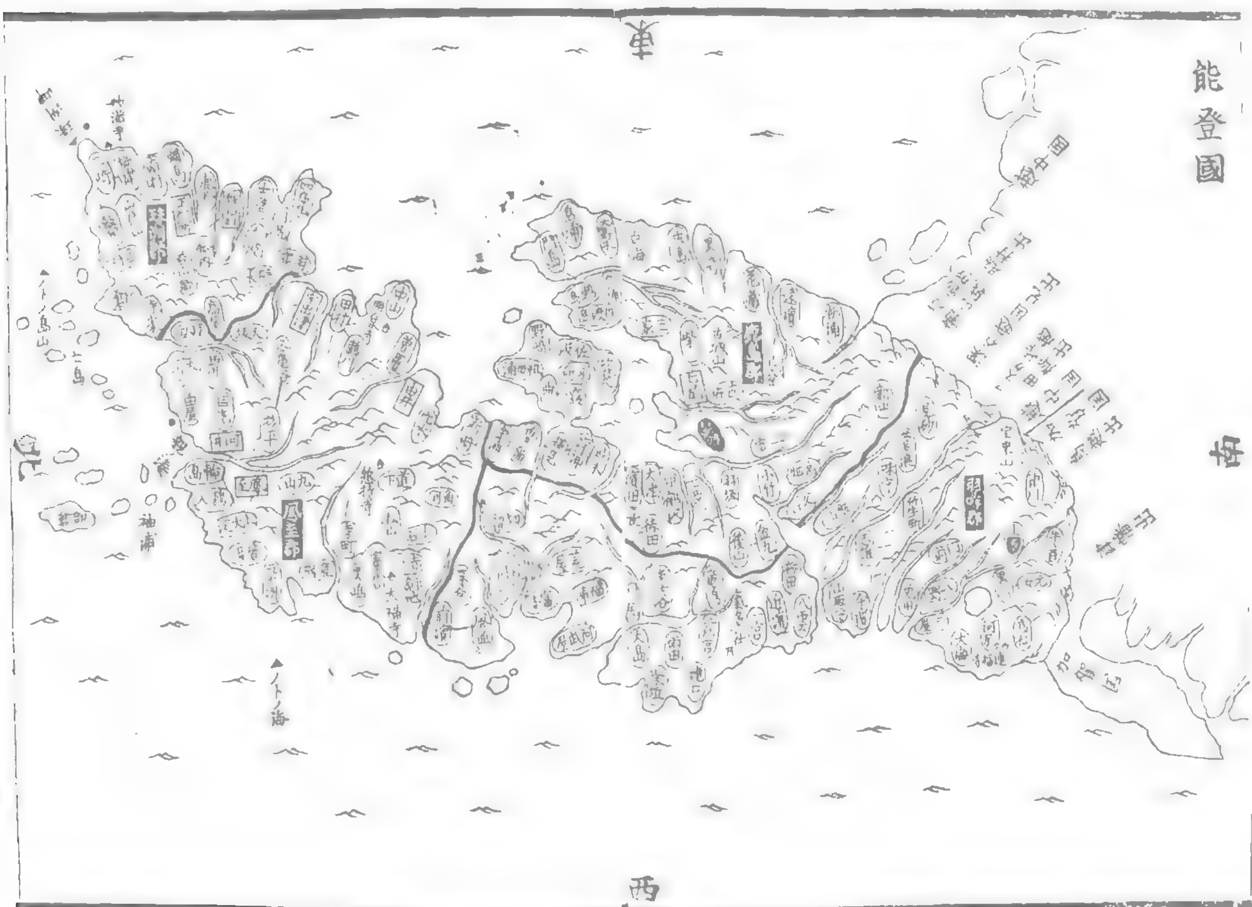

出羽國
陸奥国
越後国
川口出

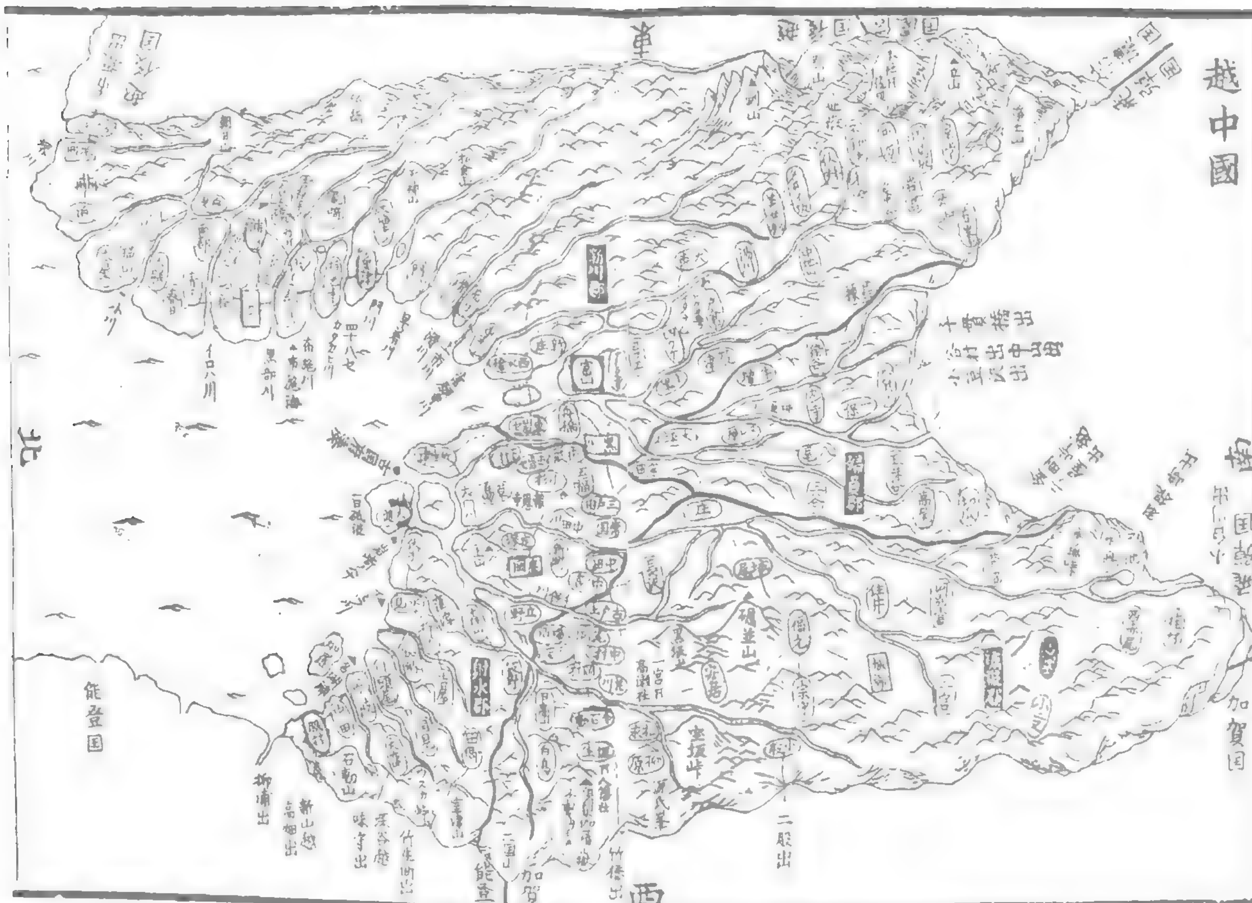

野代川
西

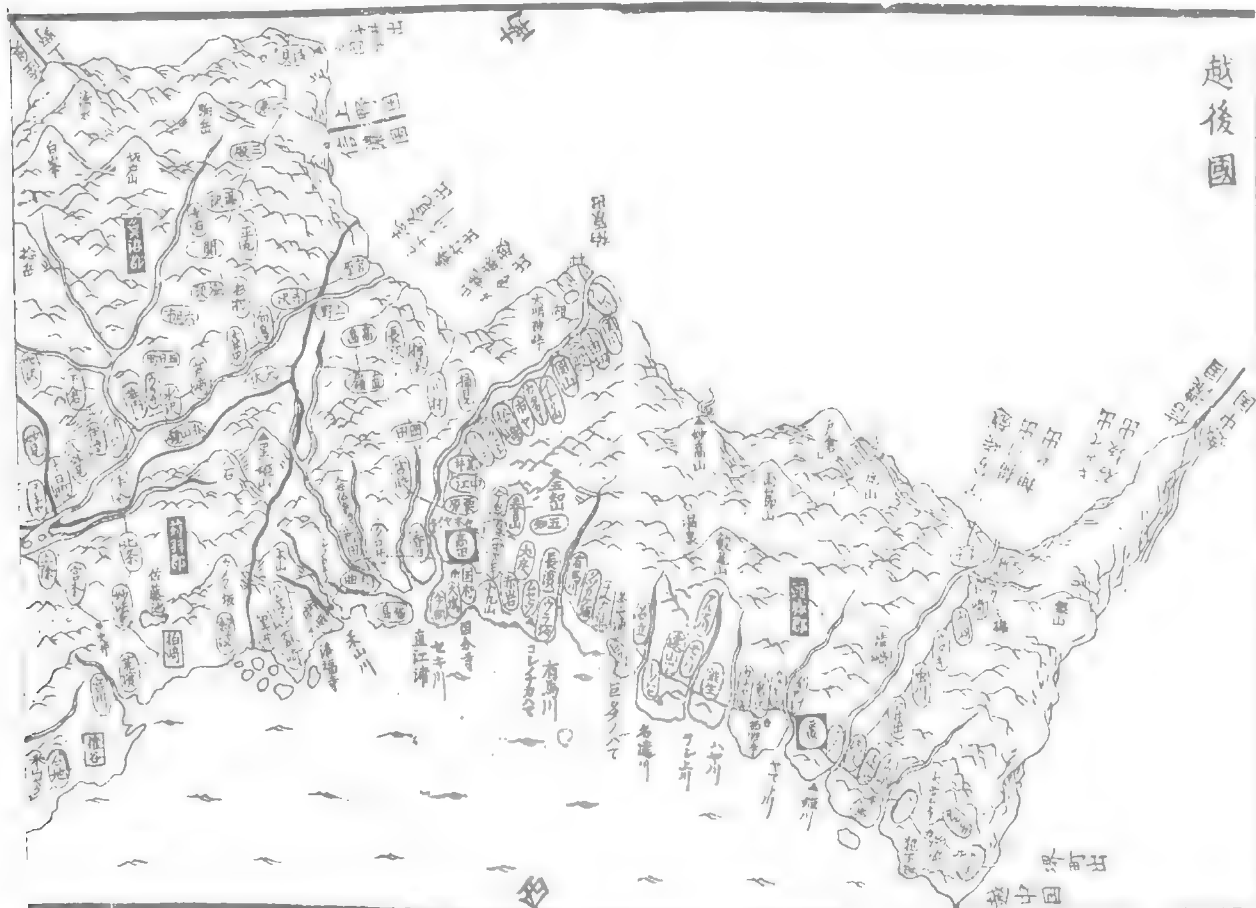

若狭國
東
北
西

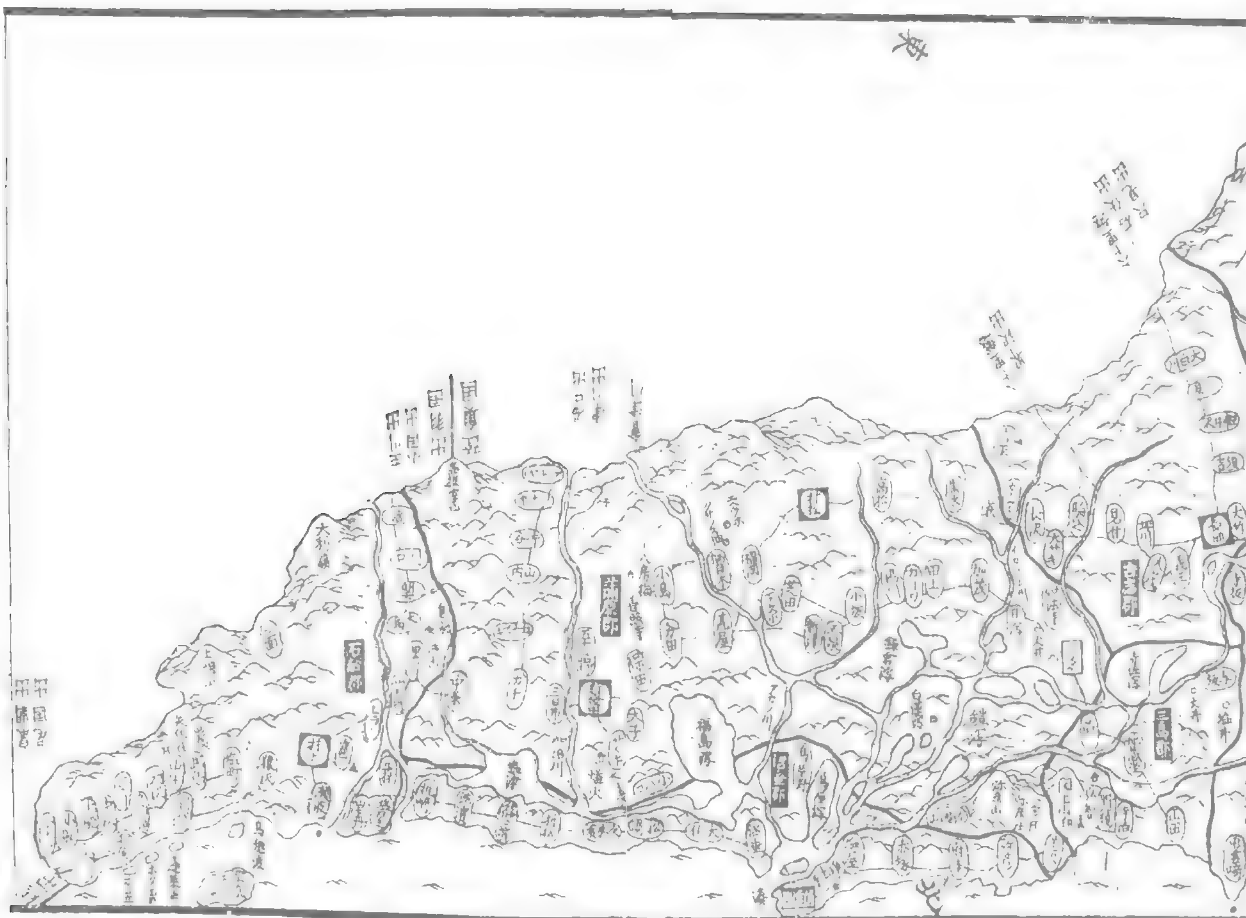
越前國
西

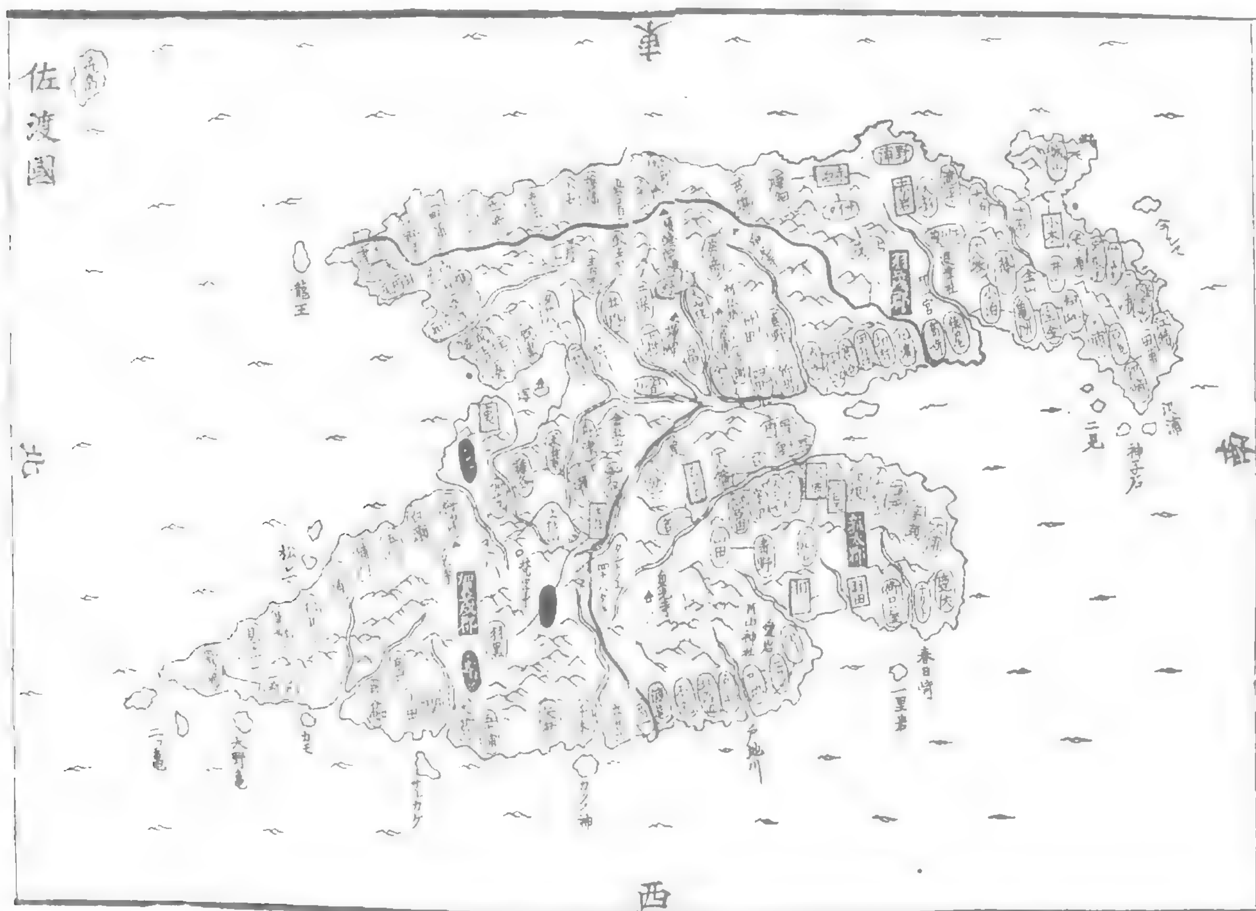

加賀國
東
西
南
北
石川郡
手取川


能登國
東
西
南
北
鳳至郡
ノトノ海


越中國
東
北
西
能登国
加賀国
二股出
能登
加賀


越後國
直江津




佐渡國
東
西
二見
神子石
春日崎
一里岩
龍王
二ッ亀
大野亀

吉水林誠 編

皇國圖說

明治十一年（一八七七）長野縣芳古堂刻本

據明治十一年（一八七七）

長野縣芳古堂刻本影印

廣瀬青邨先生閲
吉水林誠
古田連祢
青木禎一郎　同輯

皇國圖説

全

明治十年六月七日
版權免許
芳古堂藏版

叙

圖雖狭小山勢水脈可以
見易観之已其誌雖
管短無地物産可以知
則讀之亦不為無益此
小冊子毎國且圖毎圖
詳山川脈絡備載郡
名物産等大紙中可以

概見如地学初歩者便

於此焉夫經緯之度每

州表境界別焉

皇國嘗附地圖此是以爲

地學楷梯無豈可以莫揆

小冊短篇視之哉

明治十年十二月　青郊主人範書于

東京牛門外平山堂上

凡例

一 此小冊子ハ曩ニ編纂セシ所ノ皇國暗射地圖ヲ解説スルモノニテ專ラ日本地誌畧中ノ府縣山川ノ位置及ヒ郡名物產等ヲ詳記シ以テ小學幼童ニ便ナルヲ旨トス

一 本圖ハ殊ニ看易ク記シ易キヲ要スルカ爲ニ概子簡約ニ從フ故ニ此書ヲ編シテ以テ本圖ヲ解説シ旁ラ其闕ヲ補ント欲ス然レ𪜈紙員限リ有ヲ以テ猶其精詳ナルヲ得ス看官請フ之ヲ領セヨ

一 毎國ノ形狀ハ官版實測圖其他各種ノ圖籍ニ參考セシモノト雖モ僅ニ掌大ノ紙面ニ畫挿スルカ故ニ展縮ノ規矩ヲ用ヰサルヲ得ス其毎國大

小廣狹ノ比例ニ至テハ本圖ニ照シテ之ヲ詳ニセヨ

一 毎國郡境道路燈臺温泉佛宇等ハ他ハ圖籍ニ讓リ斯ニ掲ゲズ

一 神社ハ有名ナルモノヲ擧ケ他ハ之ヲ省畧ス

一 圖中往々古蹟ヲ掲クルモノハ史學ノ標記トス

一 琉球諸島ノ如キハ又省畧ニ從フ

一 毎國一紙上ニ掲畫スト雖モ伊豆薩摩北見千島等ノ如キ遠隔ノ屬島廣大ノ境域ナルモノハ二葉或ハ三葉ニ分掲ス

一 總テ圖中ノ名稱ハ日本地誌畧ノ讀法ニ藉ル然レトモ數千百ノ中謬誤ナキヲ保セス看官認メ得ハ幸ニ之

ヲ正セ

一經緯ハ本圖ニ讓テ斯ニ贅セス

一圖中[印]大都會ノ印△五港ノ印◎縣廳ノ印⛩神社ノ印■古蹟ノ印[印]高山ノ印[印]大河ノ印[点線]國境ノ印[山脈記号]山脈ノ印[湖沼記号]湖沼ノ印等也

一此書特リ本圖ヲ解說スルノミニアラス廣ク世間暗射地圖ニ便アランコヲ企望ス然レドモ海內ノ廣キ山川ノ多キ僅々冊子ノ能ク明瞭ヲ盡ス可キニアラサレハ其漏脫スル所モ極テ多カル可シ冀クハ博識ノ諸賢若シ明睟ニ觸レ其闕ヲ補ノ所アリテ遂ニ完全世用ヲ爲スニ至ラハ小生等ノ幸之ヨリ大ナルハナシ

明治十年第八月

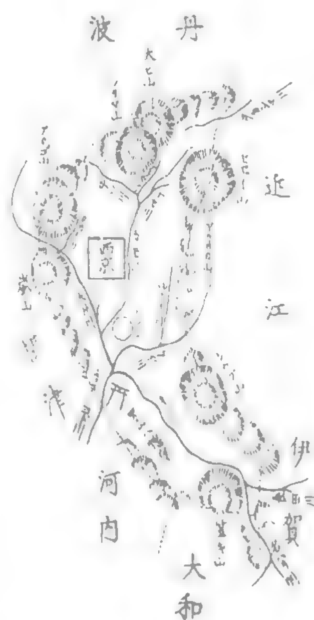
編者謹誌

皇國暗射地圖之參

畿内五国

山城國

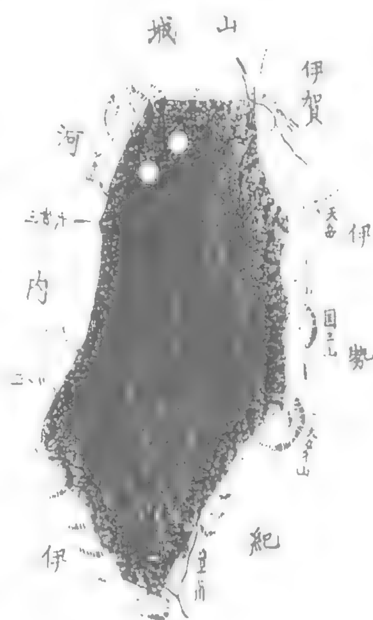
乙訓、葛野、愛宕、紀伊、宇治、久世、綴喜、相樂、



産物　白川石、宇治茶、鴨川染、西陣織、清水焼、松蕈、筍、蕪、水菜、糸物、漆器、針、扇、

大和國

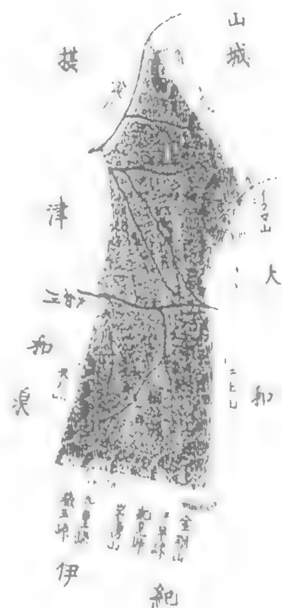
添上、添下、平群、廣瀬、葛上、葛下、忍海、宇智、宇陀、城上、城下、高市、十市、山邊、吉野、



産物　吉野葛、吉野紙、奈良晒、墨、水綿、煙草、藥品、漆、木材、銅、水晶、

河内國

錦部、石川、古市、安宿、大縣、高安、河内、讃良、茨田、交野、若江、澁川、志紀、丹南、丹北、八上、



産物　木綿、茶、煙草、道明寺糒、藥品、

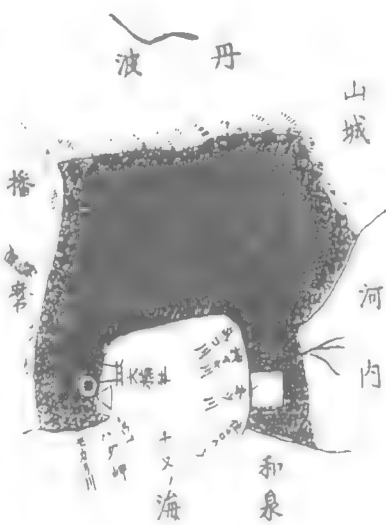
和泉國

大鳥、和泉、泉南、日根、

産物　麻布、鐵器、刀、庖丁、櫛、織物、朱、丹、茶、木綿、

攝津國

住吉、東成、西成、島上、島下、豊島、河邊、武庫、菟原、八部、有馬、能勢、



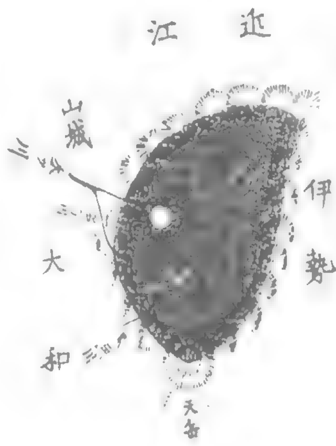
産物

御影石、池田炭、伊丹酒、紙、塩、油、木綿、陶器、藤筵、檜筵、真田織、一閑張、薄雪昆布、

東海道十五國

伊賀國

伊賀、山田、阿拜、名張、



産物

石炭、硫黄、磨砂、伊賀焼、

伊勢國

桑名、員辨、朝明、三重、鈴鹿、河曲、奄藝、安濃、壹志、飯高、飯野、多氣、度會、

産物

茶、油、蠟、木綿、津綟子、染形紙、蝦、鮑、時雨蛤、塗物、烟草、菜種、麻尾菜銅、石炭、万古焼、

志摩國

答志、英虞、

産物

下花茶、麻尾菜、鹿海布、鮑、鰯、堅魚、

尾張國

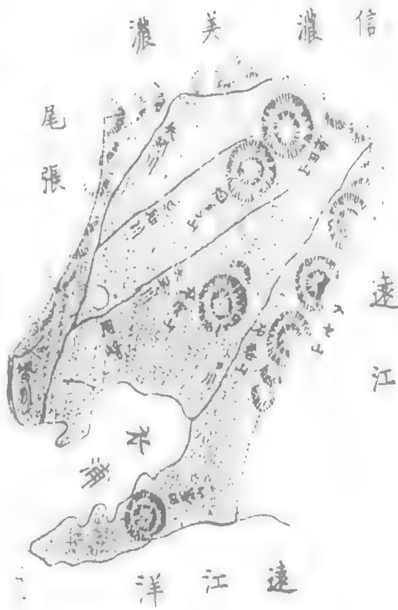
知多、愛智、丹羽、春日井、
海東、海西、葉栗、中島

産物

水晶、瑪瑙、絹、木綿、鳴海絞、瀬戸燒、
常滑燒、大根、酒、醋、鐵物類、海鼠腸、
名古屋扇、

三河國

八名、設樂、賀茂、額田、
碧海、幡豆、寶飯、渥美、



産物

紙、木綿、生茶、漆、塗物、砥石、
硝石、雲母、蜊、白魚、

遠江國

榛原、周智、佐野、豊田、山名、城東、
磐田、長上、麁玉、引佐、濱名、敷知、

産物

蜜柑、松蕈、納豆、木綿、
鮒、鰻、葛粉、葛布、塗物、

駿河國

駿東、富士、庵原、安部、
志田、益頭、有度、

産物

興津鯛、蒲原鮎、漆器、竹器、紙、
茶、太布、竹、砥石、蜜柑、香蕈、

甲斐國

巨摩、山梨、八代、都留、

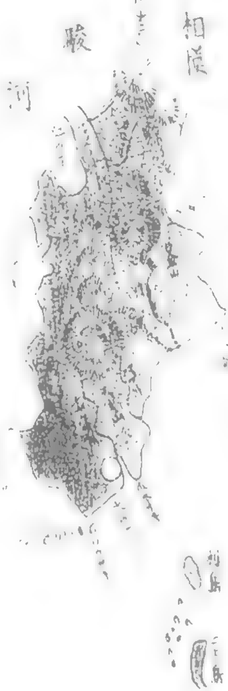
武藏
信
濃
相
模
駿

産物

金、水晶、石炭、硯、材木、絹、紬、諸織物、梨、柿、葡萄、

伊豆國

君澤、田方、那賀、賀茂、



産物

金、硫黄、小松石、磐城石、八丈縞、樺、黄楊、諸材、薪、炭、雁皮紙、椿油、鰹魚、鮫、鮑、蝦、香蕈、山葵、海苔、石花菜、

伊豆國屬島

三宅島
三倉島

小笠原群島

南島

相模國

足柄上、足柄下、津久井、愛甲、大住、淘綾、高座、鎌倉、三浦、

産物

堅魚、蝦、章魚、湯本細工、貝細工、小田原梅干、鹽辛、水飴、山椒魚、紅花、根府川石、

武藏國

秩父、多摩、高麗、兒玉、加美、那賀、榛沢、幡羅、男衾、比企、大里、横見、入間、新座、埼玉、足立、葛飾、豊島、荏原、都筑、橘樹、久良岐、

産物

秩父絹、八王寺織物、玉川鮎、茂草海苔、苧、麻、石材、紫草、染草、銅、釜、白魚、團扇、綿、繍、木綿、陶器、銅、漆器、

安房國

安房、朝夷、長狹、平群、

産物

紫菜、水仙、木綿、蠟、牡蠣、磨砂、

上總國

天羽、周准、望陀、夷隅、市原、埴生、長柄、山邊、武射、

産物

紅花、茶、海苔、煙草、木綿、鰮、

下總國

葛飾、相馬、印旛、千葉、埴生、香取、匝瑳、海上、豊田、岡田、猿島、結城、

産物

馬、鰮、鮮、西瓜、佐倉炭、結城紬、茶、銚子縮、醤油、味噌、酒、行徳塩、

常陸國

久慈、多賀、茨城、鹿島、行方、新治、筑波、眞壁、信太、那珂、河内、

產物

石炭、砥石、茶、桑、楮、鮭、鯛、鰻、煙草、紙、生糸、木綿、銅器、漆器、

近江國

滋賀、高島、伊香、淺井、坂田、犬上、愛智、神崎、蒲生、野洲、栗本、甲賀

產物

野洲晒布、信樂及土山茶、長濱縮緬、伊吹艾、高宮藺席、陶器、紙、絹、天鵞絨、鮠、鰻、鯉、源五郎鮒、蕪菁、

美濃國

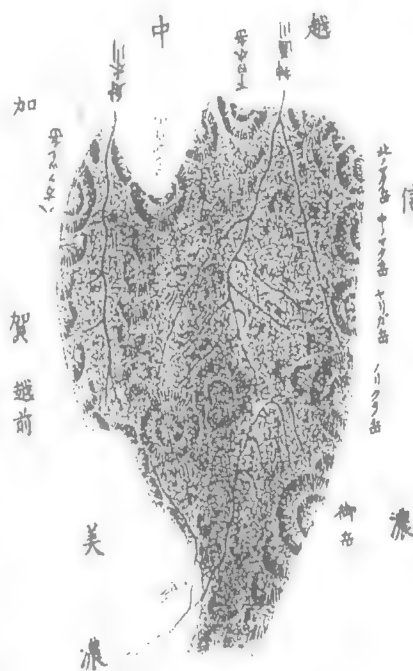
郡上、加茂、惠那、土岐、可兒、各務、厚見、方縣、武儀、山縣、本巢、大野、席田、池田、不破、多藝、石津、安八、海西、中島、羽栗、

產物

金、銀、銅、鉛、等ノ諸礦物、卯材、等ノ諸石材、瓜、藥草、茶、麻、干蘿蔔、紙、酒、縮緬、陶器、鯉、鮎、鱒、硯材、

飛驒國

吉城、大野、益田、

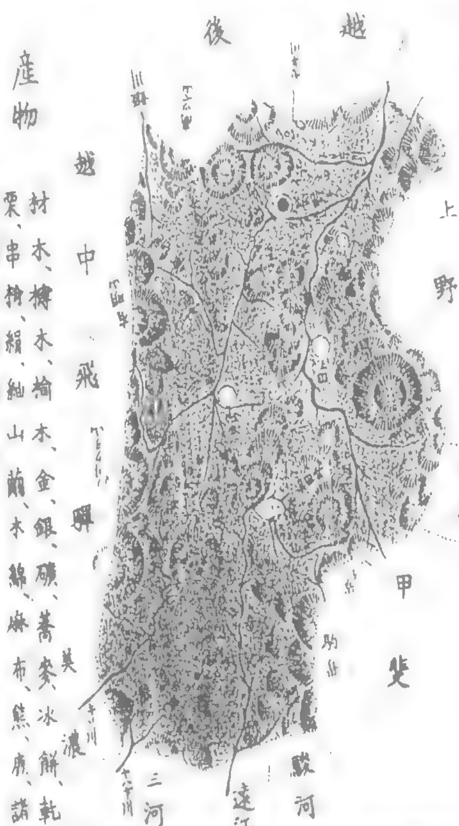


産物

諸礦物、諸石材、諸藥品、諸木材、獸類、陶器、漆器、綿、絹、蠟、

信濃國

佐久、小縣、諏訪、伊那、筑摩、安曇、更科、埴科、水内、高井、

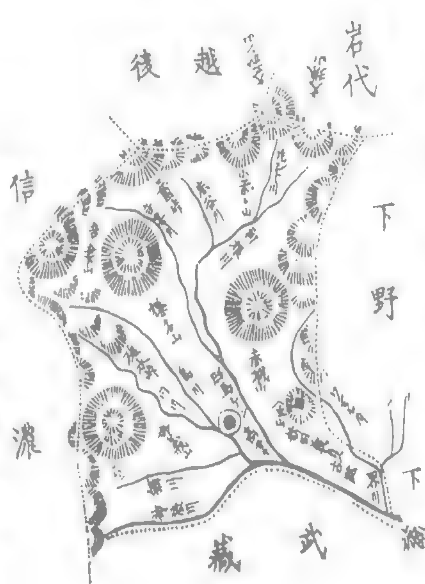


産物

材木、檜木、榆木、金、銀、礦、蕎麥、冰餅、軋粟、串柿、絹、紬、山繭、木綿、麻布、熊、鹿、諸獸、鱒、鮎、諸漁魚、

上野國

利根、勢多、吾妻、群馬、碓氷、甘樂、多胡、緑野、片岡、那波、佐位、新田、山田、邑樂、



産物

蠶種、生糸、絹、紬、木綿、麻布、漆、煙草、鯉、鮎、金、銀、銅、鐵、硫黄、石炭、明礬、

下野國

那須、塩谷、芳賀、寒川、安蘇、足利、梁田、都賀、河内、

産物

足尾銅、日光蠟石、金、銀、石炭、石耳、眞岡木綿、足利絹、蠶種、生糸、紙、綿、麻、漆器、木材、

磐城國

菊多、磐前、磐城、楢葉、標葉、行方、宇多、亘理、伊具、刈田、田村、石川、白川、白河、

產物

石炭、鰹節、香蕈、紙、馬、陶器、生糸、蠶種、紙布、干鰮鮑、

岩代國

岩瀬、安積、信夫、伊達、會津、安達、大沼、河沼、耶麻、

產物

金、銀、銅、鐵、漆、蠟、蠶種、生糸、眞綿、二本松紬、川股絹、陶器、磁器、

陸前國

柴田、名取、宮城、黑川、加美、志田、遠田、玉造、栗原、登米、桃生、牡鹿、本吉、氣仙、

產物

金、鉛、鐵、紙、生糸、埋木、海苔、馬、鮭、仙臺平、氣仙籠、海鼠、松葉、海栗、

陸中國

磐井、江刺、膽澤、和賀、稗貫、斯波、岩手、鹿角、閉伊、九戸、

產物

金、銀、鐵、牛、馬、鮭、海參、乾鮑、苧、煙草、紫根、百合、山慈姑、紬、布、漁網、

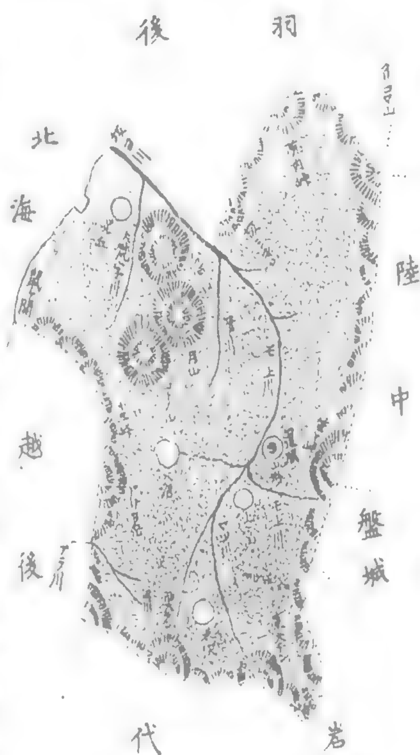
陸奥國

二ノ戸、三ノ戸、北、津軽、

産物　銀、銅、諸礦物、檜、杉、諸材木、牛、馬、海参、乾鮑、大口魚、昆布、薬品、[illegible]礦、漆器、

羽前國

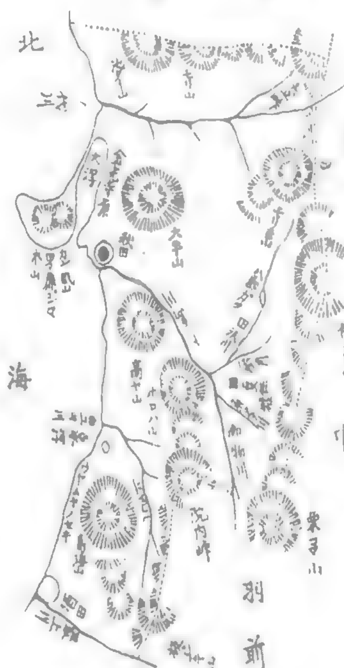
置賜、村山、最上、田川、



産物　生糸、青苧、蚕種、紬、諸織物、馬、熊、煙草、蠟、燭、紫根、紅花、硫黄、石炭、金、銀、銅、鉛、

羽後國

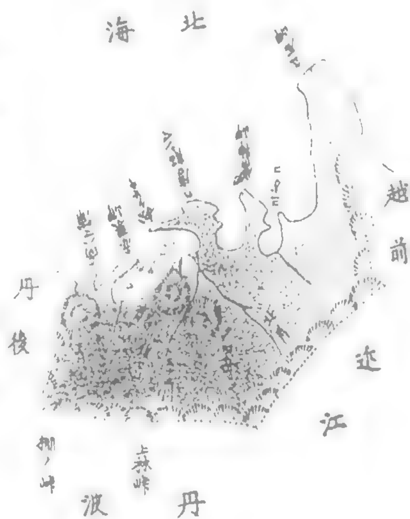
雄勝、平鹿、仙北、飽海、由利、河辺、秋田、山本、



産物　秋田欵冬、野代漆器、絹紬、石炭、砥石、金、銀、銅、諸礦物、

若狹國

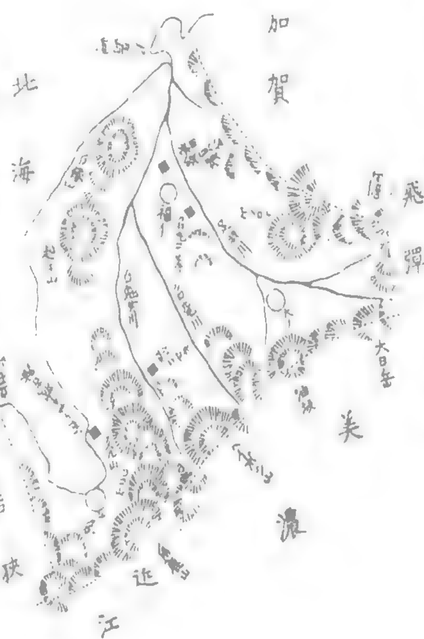
大飯、遠敷、三方、



産物　水晶、砥石、和布、海苔、銅、鰤、鯖、鰈、鯛、紙、蠟、漆、

越前國

敦賀、南條、丹生、今立、足羽、大野、吉田、坂井、



産物

銀、鉛、銅、石炭、硫黄、奉書紙、鳥子紙、生糸、紬、蚊幬、丸岡綃、三国鱒、鮭、大口魚、桑、麻、茶、漆

加賀國

江沼、能美、石川、河北、

産物

金、銅、石炭、蓑、菅笠、紙、絹、陶器、藺席、手綱、鰛、章魚、

能登國

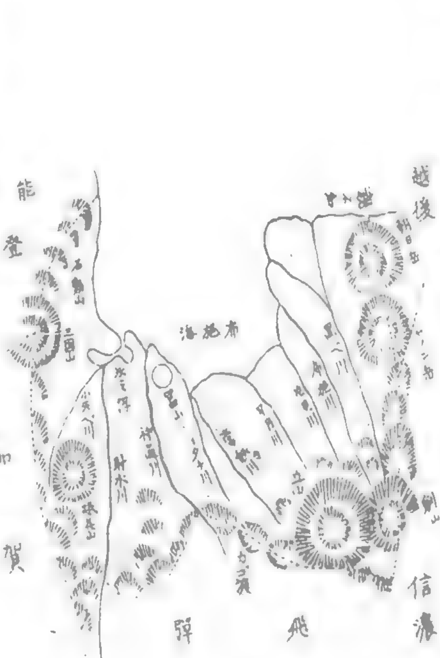
羽咋、鹿島、鳳至、珠洲、

産物

砮石、瑪瑙、石炭、海草、漆器、索麪、海参、

越中國

礪波、射水、婦負、新川、



産物

紙、絹、布、茶、硫黄、鮭、鰛、及藥劑、鐵物、

越後國

頸城、刈羽、三島、魚沼、古志、蒲原、岩船、

産物

金、銀、銅、鐵、ノ諸礦物、石炭、石脳油、藥品、獸類、鮭、大口魚、桑茶、漆、苧、布、越後縮、五泉平、櫔尾紬、

佐渡國

羽茂、雜太、加茂、

産物

金、銀、諸礦物、水晶、瑪瑙、珊瑚、海草、海參、大口魚、乾鮑、杉、栗、ノ諸材、

丹波國

桑田、船井、何鹿、多紀、氷上、天田、

産物

石灰、砥石、燧石、木材、煙草、栗、椒、棗、梨、松蕈、薪、炭、茶、綿、生絲、蜂蜜、綿布、蠟燭、連、求酒、藺席、川魚、

丹後國

加佐、與謝、中、竹野、熊野、

産物

木材、海藻、絲、鰤、鯛、海參、蜂蜜、紬、縮緬、葛籠、撚糸、紙、漆、蠟燭、桐油、

但馬國

朝來、養父、出石、氣多、城ノ崎、美含、二方、七味、

産物

牛、金、銀、銅、水晶、砥石、温石、石材、海苔、海藻、鯉、鮎、鱒、鮭、大口魚、山繭、蜂蜜、煙草、柳、箒、毛針、杉、楮、白楊、苧、麻、紙、綿、生糸、柳物、漆器、

因幡國

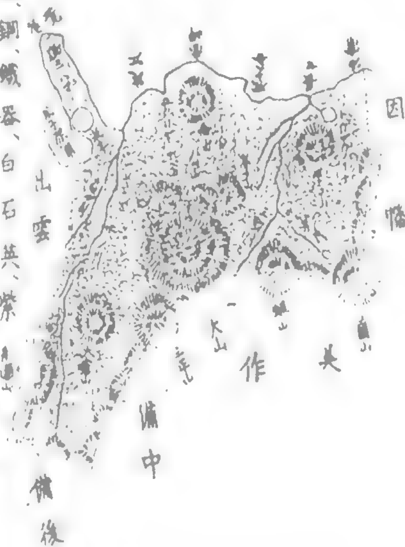
岩井、法美、八東、八上、智頭、邑美、高草、氣多、

産物

銅、砥石、硯材、藍、茶、烟草、漆、紙、生糸、絹、棉布、紫、蝋、白珊瑚、蘭席、石斗、葛粉、諸木材、諸薬材、鰻、鶏、鮎、鮭、大口魚、比目魚、鰤、鮫、鱶、海藻、蜂蜜、凍、燕脂、

伯耆國

河村、久米、八橋、汗入、會見、日野、



産物

鐵、銅、鐵器、白石英、紫石英、砥石、雲母、藍、紅花、胡麻、茅草、砂糖、蝋、漆、石灰、紙、麻、草綿、棉布、甘藷、白柳、鰯、鰻、海参、海藻、熊膽、諸薬材、

出雲國

出雲、楯縫、秋鹿、島根、意宇、大原、能義、仁多、飯石、神門、

産物

鐵、鉛、瑪瑙、水晶、石炭、硝石、蜂蜜、牛、馬、鱸、鮑、紙、苧、蝋、木綿、人參、海苔、陶器、

石見國

安濃、邇摩、邑智、那賀、美濃、鹿ノ足、

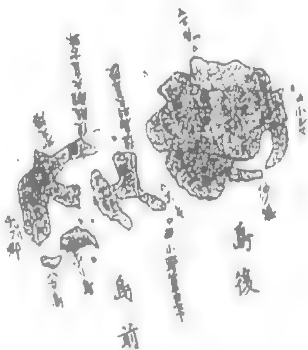
石見海　出雲　安藝　長門　周防

產物

銀、鉛、銅、鋼、鐵、礜石、緑礬、無名異、熊膽、猪膽、蜂蜜、鮎、鰮、海苔、蜆、紙、楮、麻、苧、天、蘭布、葛粉、嵓茸、蕃藷、香蕈、山葵、荏油、木賊、

隠岐國

知夫、海部、周吉、越智、



產物

牛、馬、和布、鯖、鮑、鰤、干鮑、海參、馬蹄石、椎、栗、牧ノ奴材、

山陽道八國

播磨國

明石、加古、印南、美濃、加東、加西、多可、神東、神西、飾東、飾西、揖東、揖西、赤穂、宍粟、佐用、

但馬　丹波　因幡　美作　備前　攝津　播磨洋

產物

姬路革、明石鯛、赤穂塩、竜野醤油、鋼、石炭、紙、烟草、茶、麻、布、木綿、鰹、鯛、鮎、章魚、鯛、

美作國

吉野、英多、勝南、勝北、久米南條、久米北條、東北條、西北條、西西條、東南條、大庭、眞島、

產物

銅、錢、石炭、烟草、紙、鹽、雲齋鐵、燒酎、

備前國

和氣、邑久、磐梨、上道、赤坂、津高、御野、兒島、

産物

水晶、蠟石、白魚、海月、氷蝦、海苔、砂糖、塩、酒、醬油、蠟、茶、忌部ノ陶器、長船ノ刀劍、

備中國

都宇、窪屋、淺口、賀陽、下道、小田、後月、川上、上房、阿賀、哲多、

産物

水晶、石炭、銅、鉛、茶、烟草、藍、漆、綿、鯖、紙、生糸、醬油、酒、蠟燭、陶器、

備後國

深津、安那、神石、沼隈、品治、葦田、御調、世羅、三次、三谿、甲奴、三上、恵蘇、奴可、

産物

鉛、石炭、蠟、茶、烟草、銅、鐵、海鼠、綠綿、紙、藺席、花莚、塩、保命酒、

安藝國

豐田、安藝、賀茂、沼田、佐伯、高田、高宮、山縣、

産物

銅、石炭、藍、茶、烟草、栗、蜜柑、塩、紙、綿、紬、麻布、鰮、牡蠣、海參、

周防國

玖珂、熊毛、大島、都濃、佐波、吉敷、

産物

綠礬、蠟石、茶、烟草、樟腦、蜂蜜、塩、紙、縮布、木綿、海參、

石見　安藝　長門　周防灘

長門國

厚狹、豐浦、大津、美祢、阿武、見島、

石見　北海　周防　豐前

産物

石炭、綠礬、硯材、鮎、烏賊、鰤、鮑、鷄、鯨、草魚、河豚、茶、塩、陶器、

南海道六国

紀伊國

牟婁、日高、有田、伊都、那賀、名草、海部、

和泉　河内　大和　伊勢　熊野浦

産物

銀、銅、石材、木材、蜜柑、樟腦、烟草、木綿、紙、炭、蠟燭、紋羽織、傘、團扇、水且齋、漆、墨、鯨、堅魚、

淡路國

三原、津名、

攝津　ハリマ　播磨洋　和泉　紀伊　アハ　紀ノ海

産物

石材、乾鰯、陶器、

阿波國

板野、阿波、三好、美馬、麻植、名東、名西、勝浦、那賀、海部、

產物

銅、石炭、石材、藥品、藍、塩、砂糖、堅魚節、絹織、綿綠、

讃岐國

大内、寒川、三木、山田、香川、阿野、鵜足、那珂、豊田、多度、三野、

產物

石炭、硝石、蕎麥、小豆、茶、砂糖、塩、木綿、保田織、

伊豫國

宇摩、新居、周敷、桑村、越智、野間、風早、和氣、温泉、久米、浮穴、伊豫、喜多、宇和、

產物

銅、石炭、木材、藥品、藍、茶、乾鰮、海參、紙、塩、陶器、蠟燭、砂糖、

土佐國

安藝、香美、長岡、土佐、吾川、高岡、幡多、

產物

銅、石炭、木材、樟腦、珊瑚、眞珠、茶、紙、陶器、堅魚節、

西海道十一國

筑前國

遠賀、宗像、鞍手、穗波、嘉麻、上座、下座、夜須、御笠、糟屋、席田、那珂、早良、志广、怡土、

產物　石炭、塩、茶、葛粉、煉酒、陶器、木綿、及、博多織、

筑後國

御原、御井、三瀦、山門、三池、下妻、上妻、山本、竹野、生葉、

產物　石炭、埋木、紅花、藍、茶、紙、油、蠟、

豐前國

企救、田川、京都、仲津、築城、上毛、下毛、宇佐、

產物　石炭、木材、蠟、塩、及、上野陶器、小倉織、門司硯、

豐後國

國東、速見、大分、海部、大野、直入、玖珠、日田、

產物　硫黄、明礬、木材、烟草、紙、大豆、藺席、生絲、木綿、蠟、鮎、

肥前國

松浦、彼杵、高来、藤津、杵島、小城、佐嘉、三根、神埼、養父、基肄、

産物

鯨、鰯、海鼠、乾鮑、茶、烟草、蝋、砂糖、石炭、陶器、

肥後國

阿蘇、菊池、益城、託摩、合志、山鹿、山本、玉名、飽田、宇土、八代、葦北、球麻、天草、

産物

石炭、砥石、茶、蝋、紙、香蕈、葛粉、砂糖、紅花、樟脳、雑穀、陶器、素麪、團扇、

日向國

臼杵、児湯、那珂、宮崎、諸県、

産物

銅、鉛、砥石、硫黄、木材、樟脳、漆、蝋、紙、烟草、砂糖、茶、生蝋、及、山獣、海魚、

大隅國

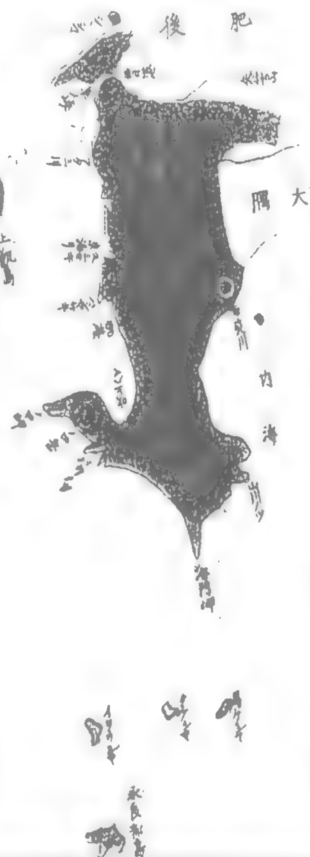
菱刈、桑原、囎唹、肝属、大隅、熊毛、馭謨、

産物

金、銅、硫黄、明礬、木材、烟草、馬、鮑、大根、砂糖、

薩摩國

鹿児島、鹿山、給黎、揖宿、頴娃、河辺、阿多、日置、薩摩、高城、出水、伊佐、甑島、



産物

金、銅、鐵、烟草、陶器、硫黄、硝石、砂糖、堅魚、薬品、木材、紙、布、油、蝋燭、蕃薯、泡盛、七島席、鰹節、

薩摩國

三十七

壹岐國

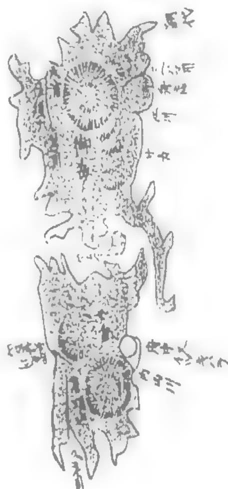
石田、壱岐、

産物

石炭、茶、烟草、鯨、海膽、

對馬國

上縣、下縣、



産物

紺青、真珠、楔、椎茸、諸材、鮑、烏賊、鯨、馬、皮、紙、陶器、

對馬國北海渡島

三十八

渡島國

北海道十一国

亀田、茅部、上磯、福島、津軽、檜山、爾志、

産物

金、銀、銅、硫黄、鱒、烏賊、蛇、牧、海鼠、鮭、參、大豆、檜材、

後志國

久遠、奥尻、太櫓、瀬棚、島牧、壽都、歌棄、磯谷、岩内、古宇、積丹、美國、古平、餘市、忍路、高島、小樽、

產物

金、銀、砂金、硫黄、厚朴、雜材、昆布、海艸、虎斑竹、鷲羽、椎茸、鯡、鰈、煎海鼠、鮑、鱈、熊、[illegible]、獺、海獺、

石狩國

石狩、札幌、夕張、樺戸、空知、雨龍、上川、厚田、濱益、

產物

天塩國

増毛、留萌、苫前、天塩、中川、上川、

產物

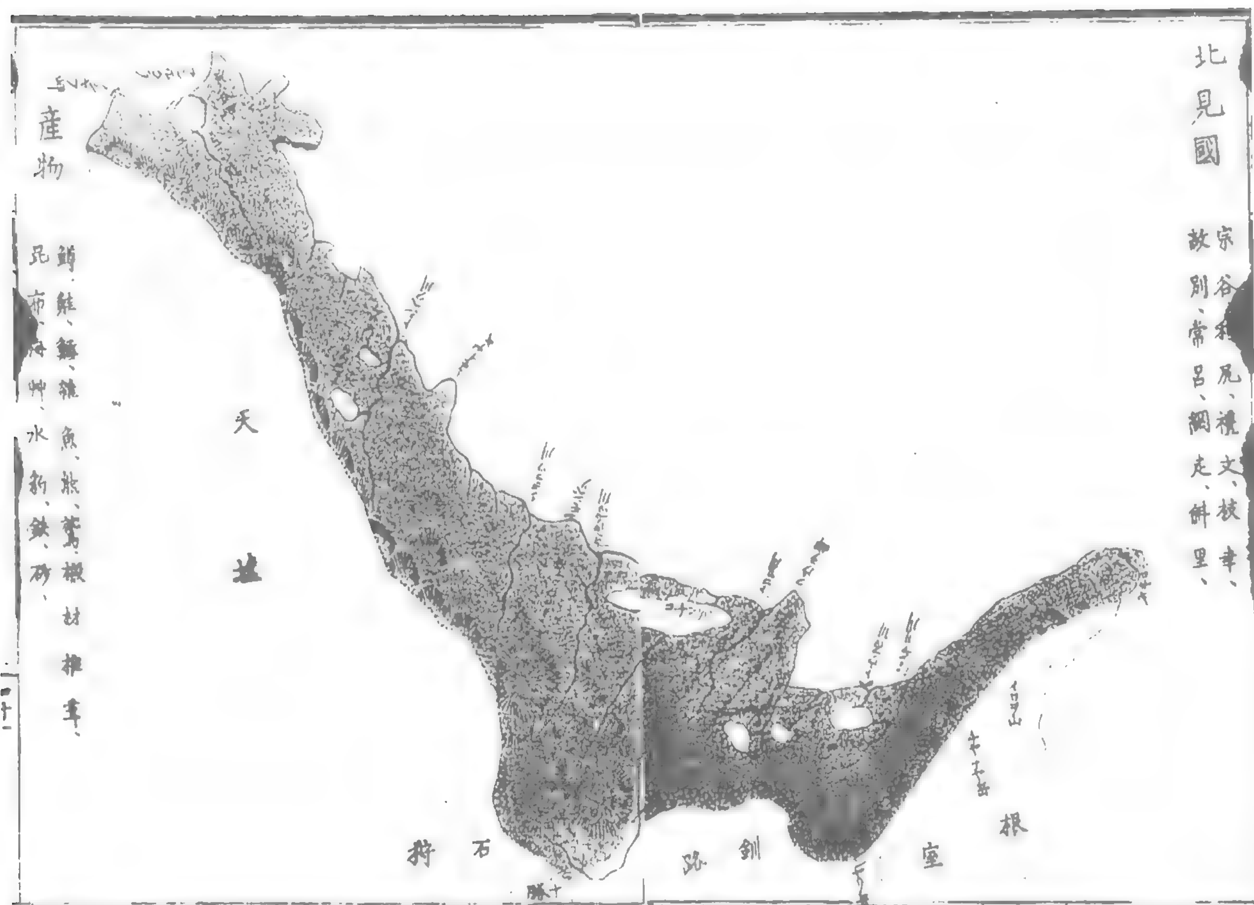
砂金、熊、鷲、鹿、海獺、海獺、鮭、鱒、鰊、鮑、煎海鼠、雜昆布、雜材、椎茸、

膽振國

山越、虻田、有珠、室蘭、幌別、白老、勇拂、千歳、

產物

馬、牛、熊、鷲羽、帆立貝、椴材、椎茸、野菜、昆布、海艸、鯡、鮭、鱒、鰯、鱈、煎海鼠、海狗、金、銀、硫黄、



北見國

宗谷、利尻、禮文、枝幸、紋別、常呂、網走、斜里、

產物

鯡、鮭、鱒、雜魚、膃、鷲、椴材、椎茸、昆布、海帶、水豹、鐵砂、

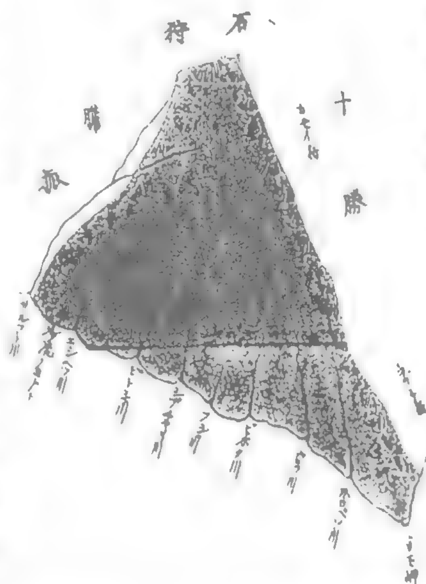
四十一

日高國

沙流、新冠、靜內、三石、浦河、様似、幌泉、

產物

金、銀、鐵、砂、鹿角、鷲羽、馬、熊、椴材、椎茸、昆布、海帶、鯡、鮭、鱒、鰈、雜魚、粟、稗、大豆、



日高國十勝國

十勝國

廣尾、當緣、十勝、中川、上川、河東、河西、

產物

石炭、熊、鹿、鷲、海狗、海獺、鰯、鮭、鱒、鰤、煎海鼠、昆布、椎茸、

四十二

釧路國

白糠、足寄、阿寒、網尻、川上、釧路、厚岸、

産物

石炭、黒水晶、鶉、鷄、雉、
煎海鼠、昆布、布海艸、椎茸、材木、熊皮、
海[illegible]、海豹、鷲羽、

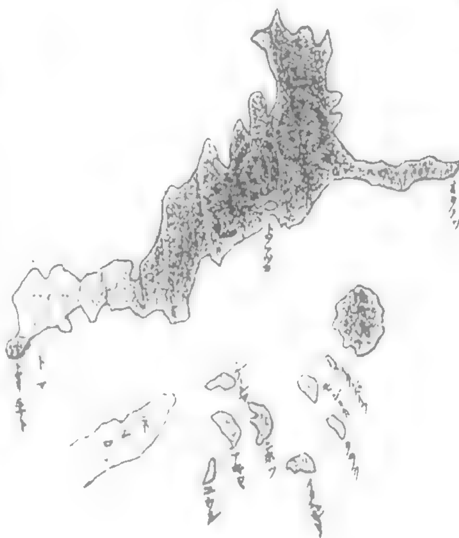
根室國

花咲、根室、野付、標津、目梨、

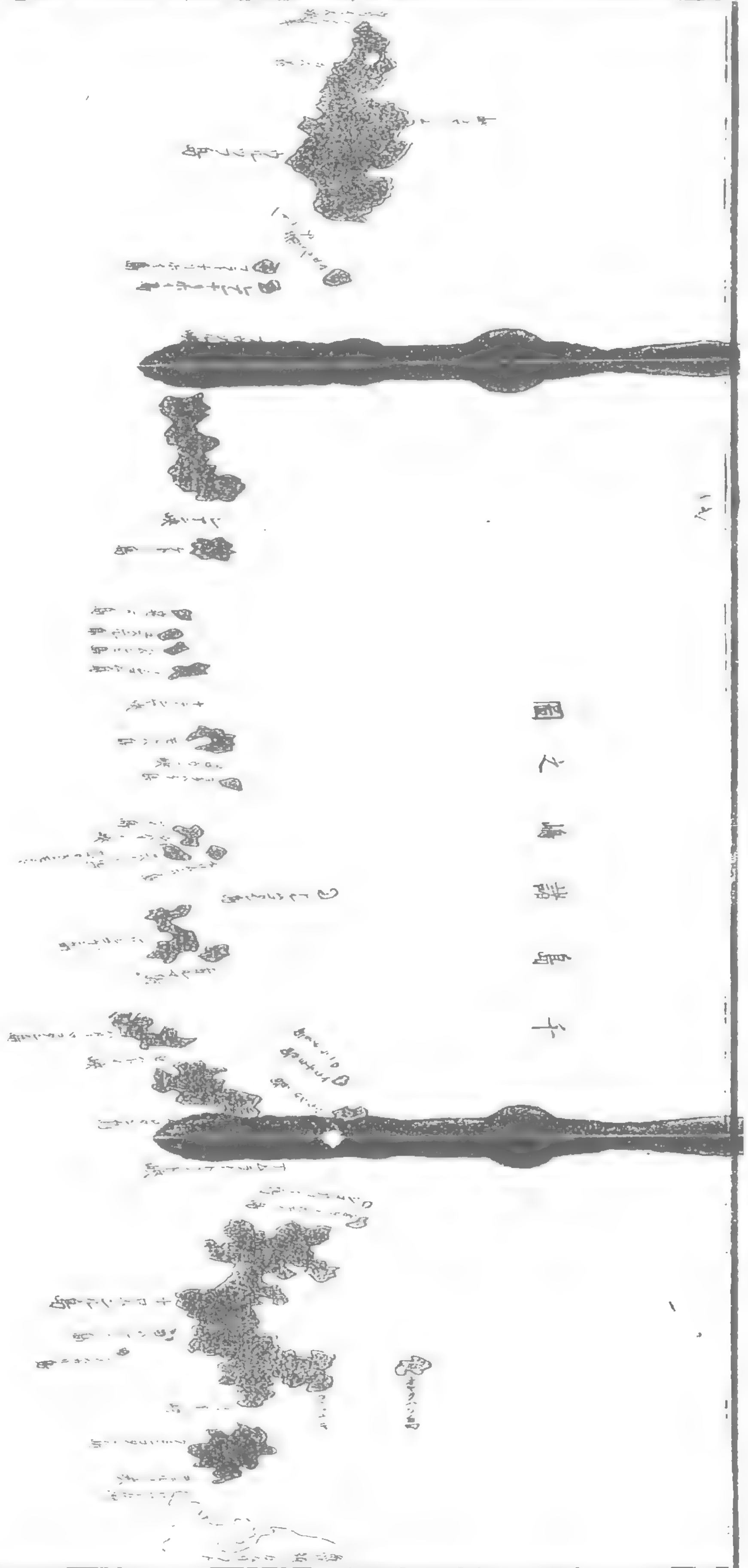
産物

紅、鱒、鮃、鰊、椎茸、[illegible]材、
熊、鹿、鷲羽、鯨、獺虎、

千島之内 國後島



千島之内 擇捉島



版權免許　明治十年六月七日

編輯　長野縣平民　吉水林識
仝縣南第五大區六小區信濃國筑广郡塩尻村三百六十番地寄留

出版　仝縣士族　古田連禰
仝縣南第十三大區三小區信濃國諏方郡下諏方村二百四十六番地

人　仝縣平民　青木禎一郎
仝縣南第五大區六小區信濃國筑广郡塩尻村六百四十九番地

閲者　東京　廣瀬範治

四十六

諸國書肆

東京
- 須原屋茂兵衛
- 山城屋佐兵衛
- 小林新兵衛
- 和泉屋吉兵衛
- 和泉屋北　郎
- 藤岡屋慶次郎
- 袋屋龜次郎
- 和泉屋金左門
- 出雲寺万次郎
- 椀屋喜兵衛
- 岡田屋嘉七
- 須原屋伊八

西京
- 菱屋孫兵衛
- 吉野屋仁兵衛
- 出雲寺文次郎
- 田中屋治兵衛

大坂
- 伊丹屋善兵衛
- 河内屋喜兵衛
- 中島徳兵衛
- 河内屋龜七

名古屋
- 永樂屋東四郎
- 萬屋東平
- 菱屋平兵衛
- 菱屋藤兵衛

岡崎
- 本屋文吉

岐阜
- 武井忠藏

濱松
- 松屋好五郎
- 谷島屋太兵衛

仝
- 浪花屋市藏
- 青木榮二郎
- 堺屋又三郎
- 小松浦布衛門

甲府
- 山本昌昶
- 正丈堂利兵衛
- 小西屋庄左門
- 村田屋孝太郎

高崎
- 菊屋源作

仙臺
- 伊勢屋安左門

新潟
- 平野傳十郎

高田
- 藤屋直一郎

高山
- 拚屋東兵衛

長野
- 岩下伴五郎

上田
- 鼠屋甲造

諏方
- 惠比屋喜代治

飯田
- 十一屋半四郎

松本
- 高美屋甚左門
- 島屋幸助
- 青雲堂禎十郎
- 精花堂八十平
- 水琴堂專吉

發兌書肆

東京　和泉屋市兵衛

愛知　永樂屋東四郎

甲府　内藤傳右衛門

松本　窪田重平

竹内禎十郎

高美甚左門

塩尻　芳古堂

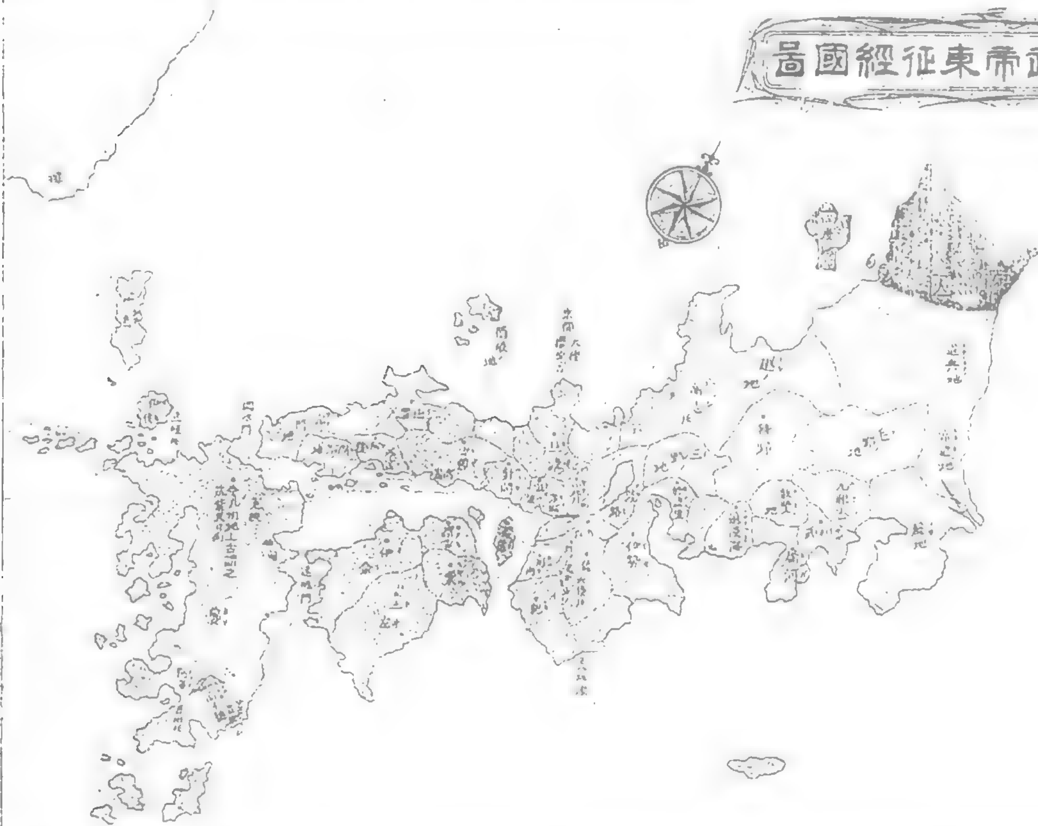
伊澤孝雄 編

日本歷朝輿地沿革之圖

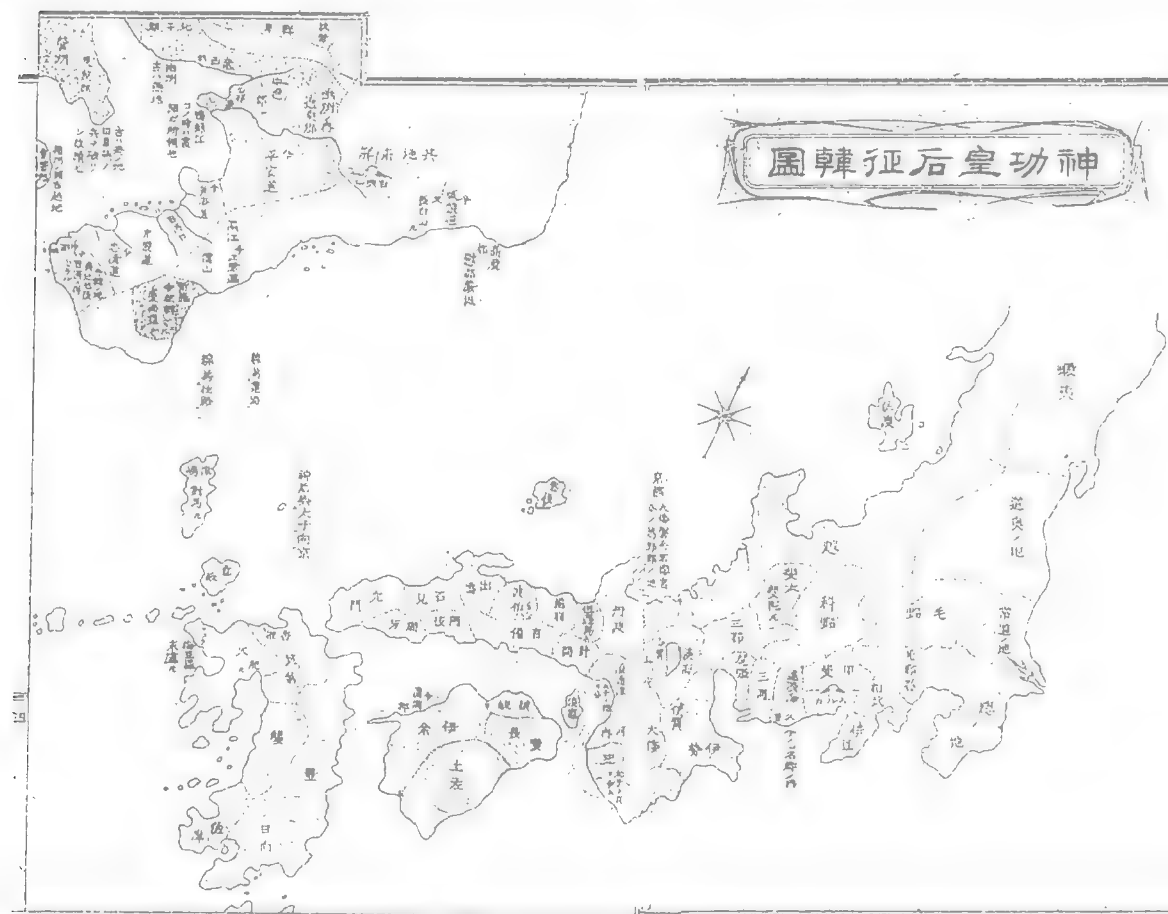
明治二十五年（一八九二）刻本

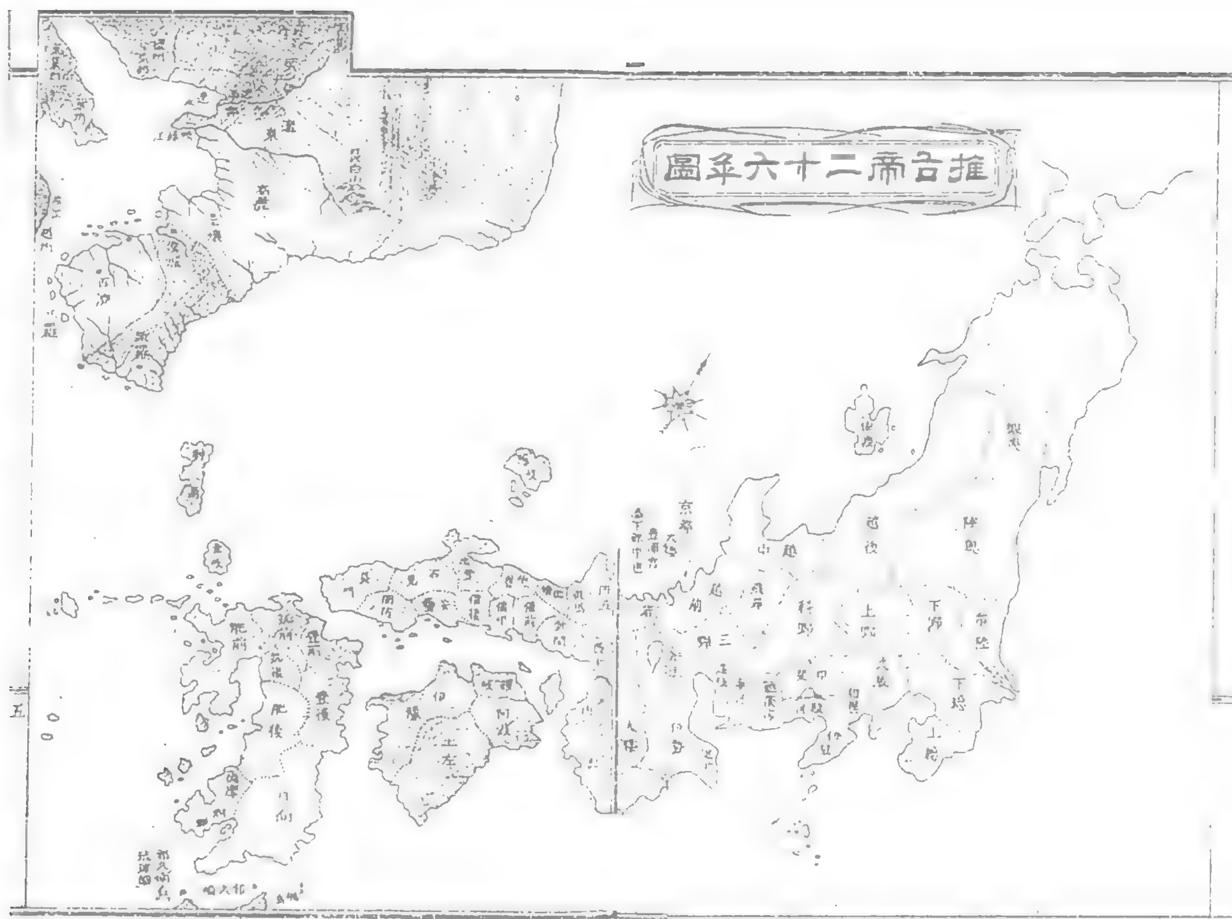
據明治二十五年（一八九二）刻本影印

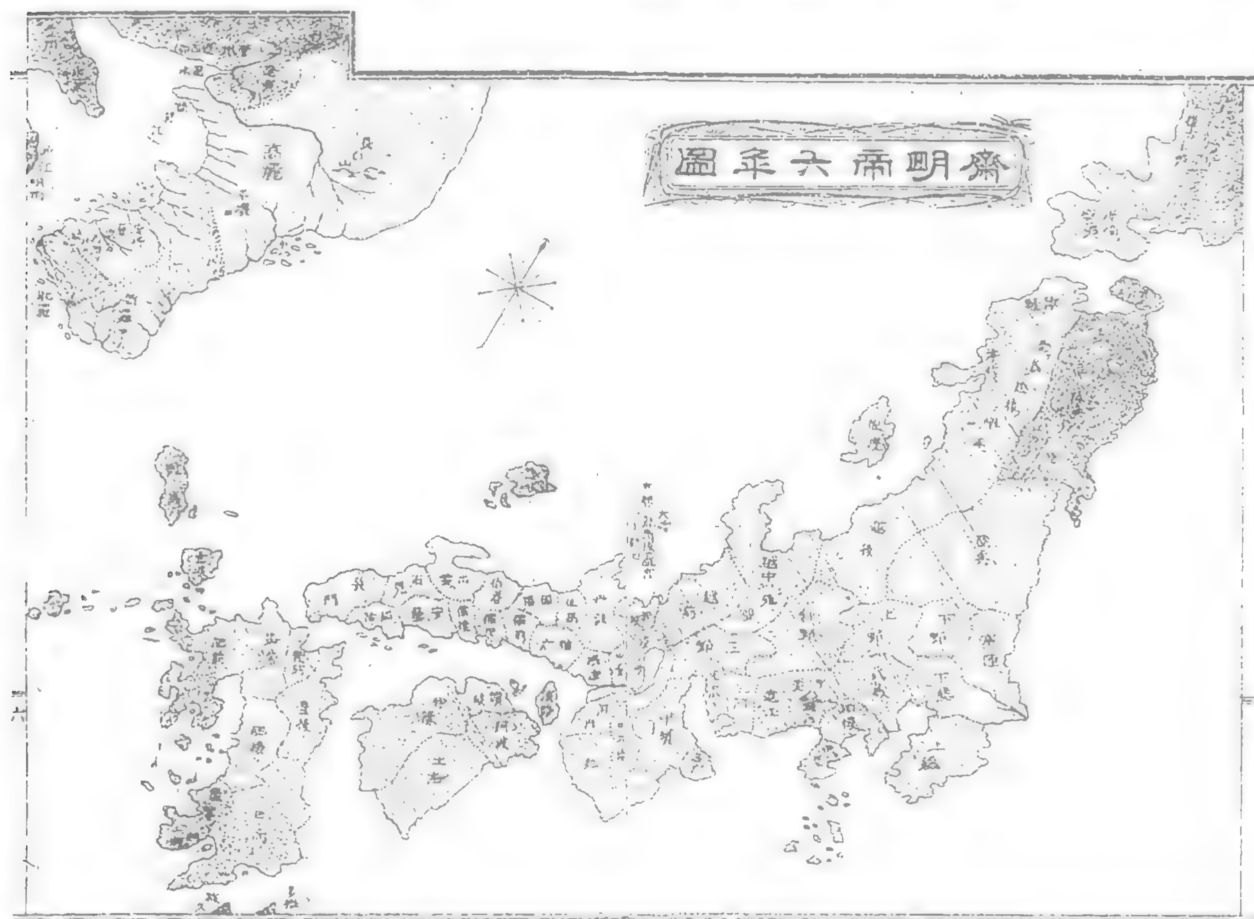
歷朝輿地沿革之圖

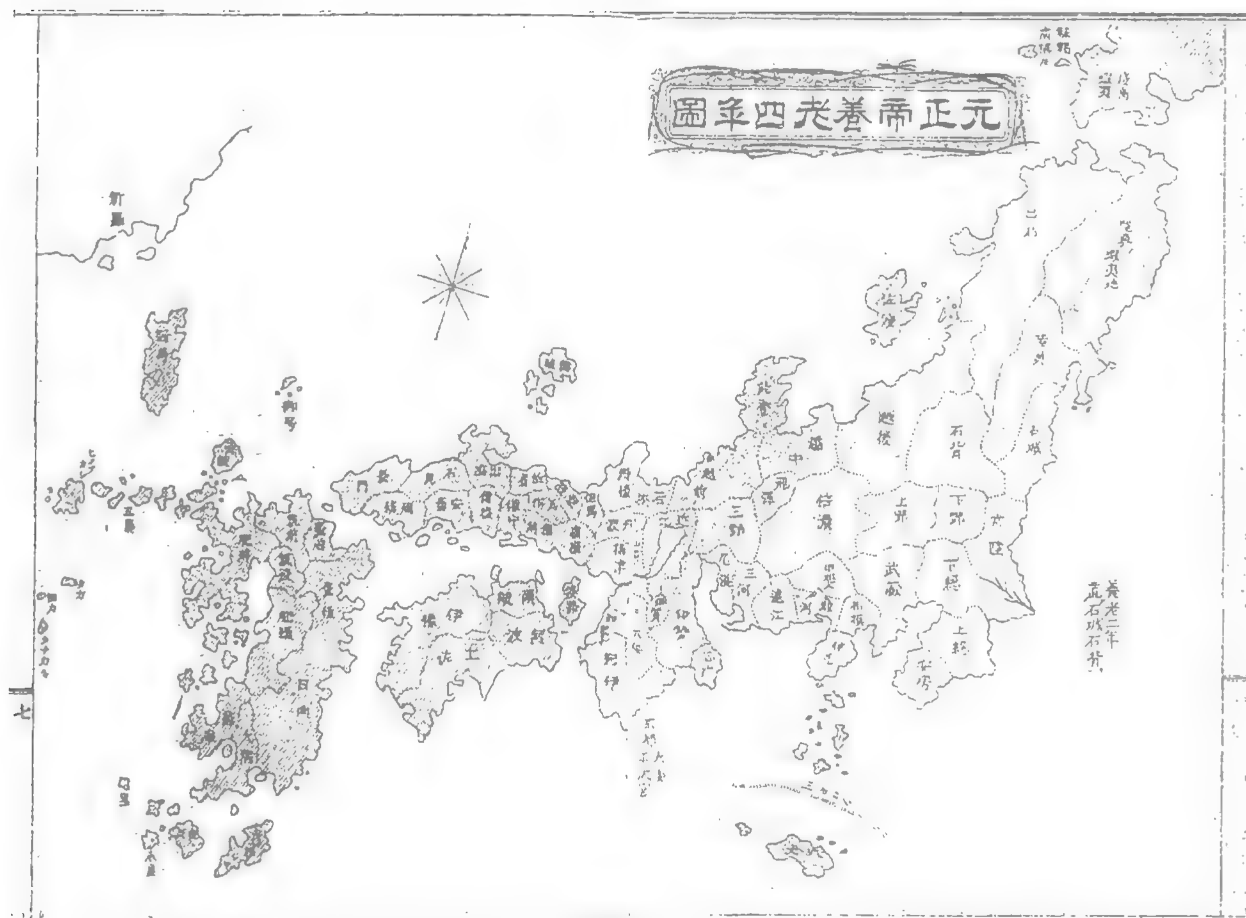


景行帝東西征討圖

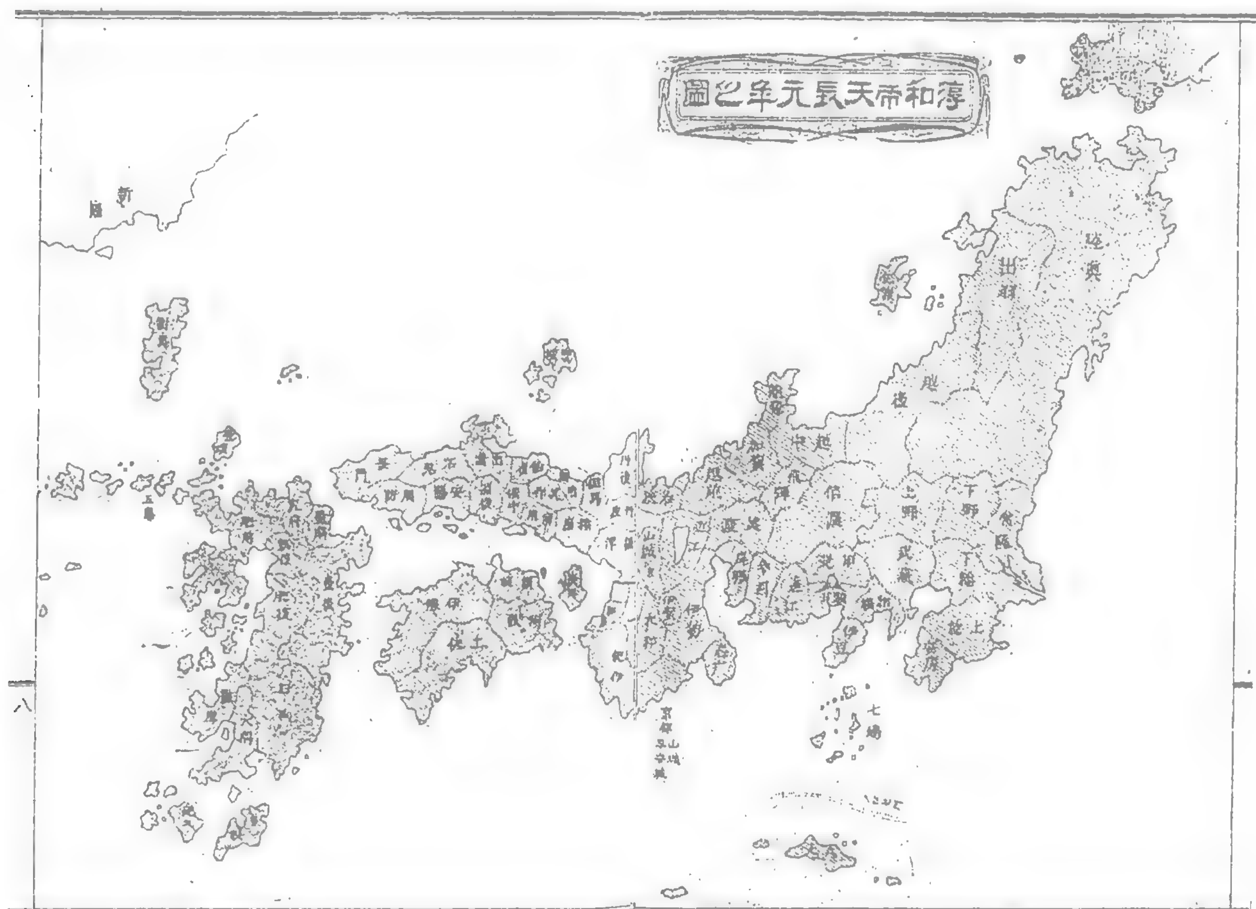

神功皇后征韓圖


推古帝二十六年圖

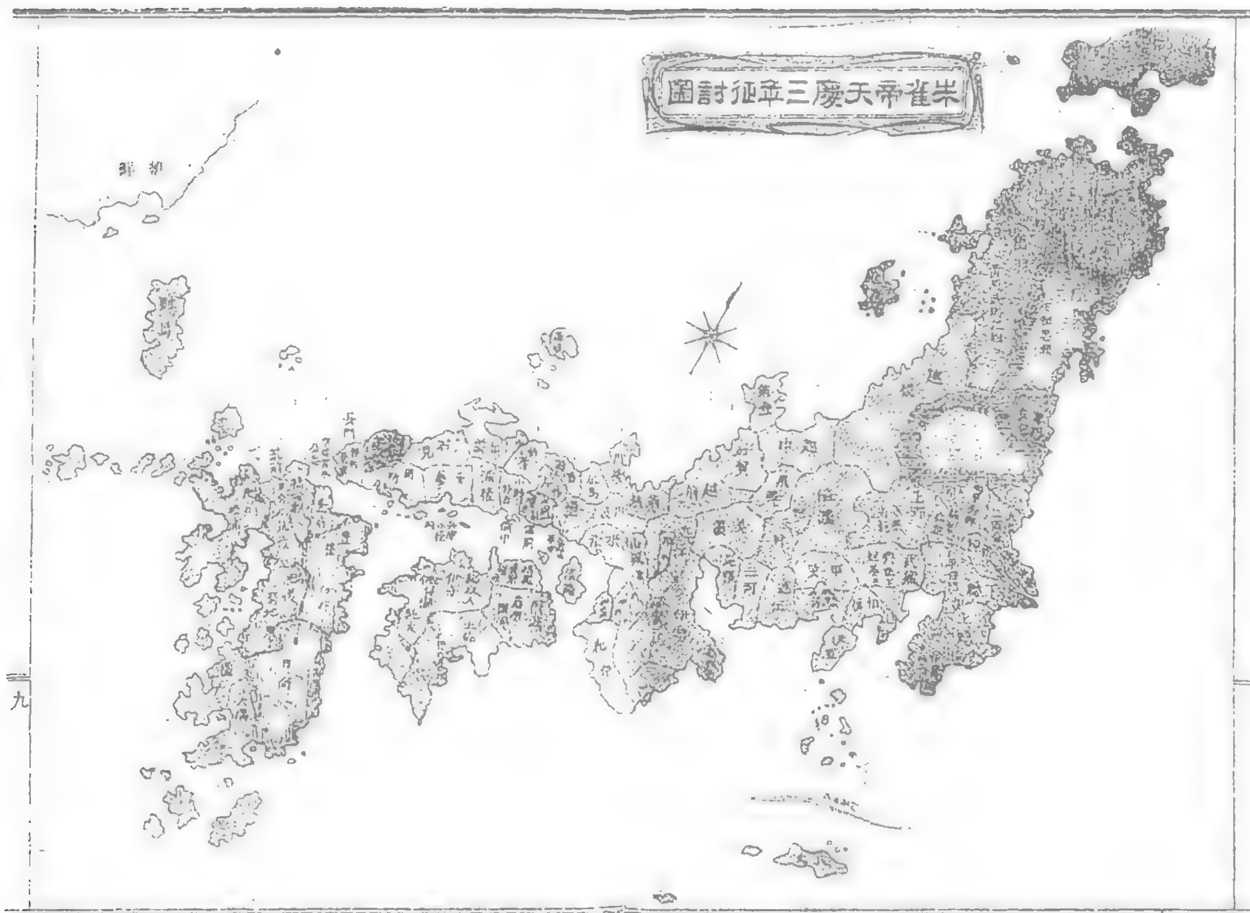

齊明帝六年圖

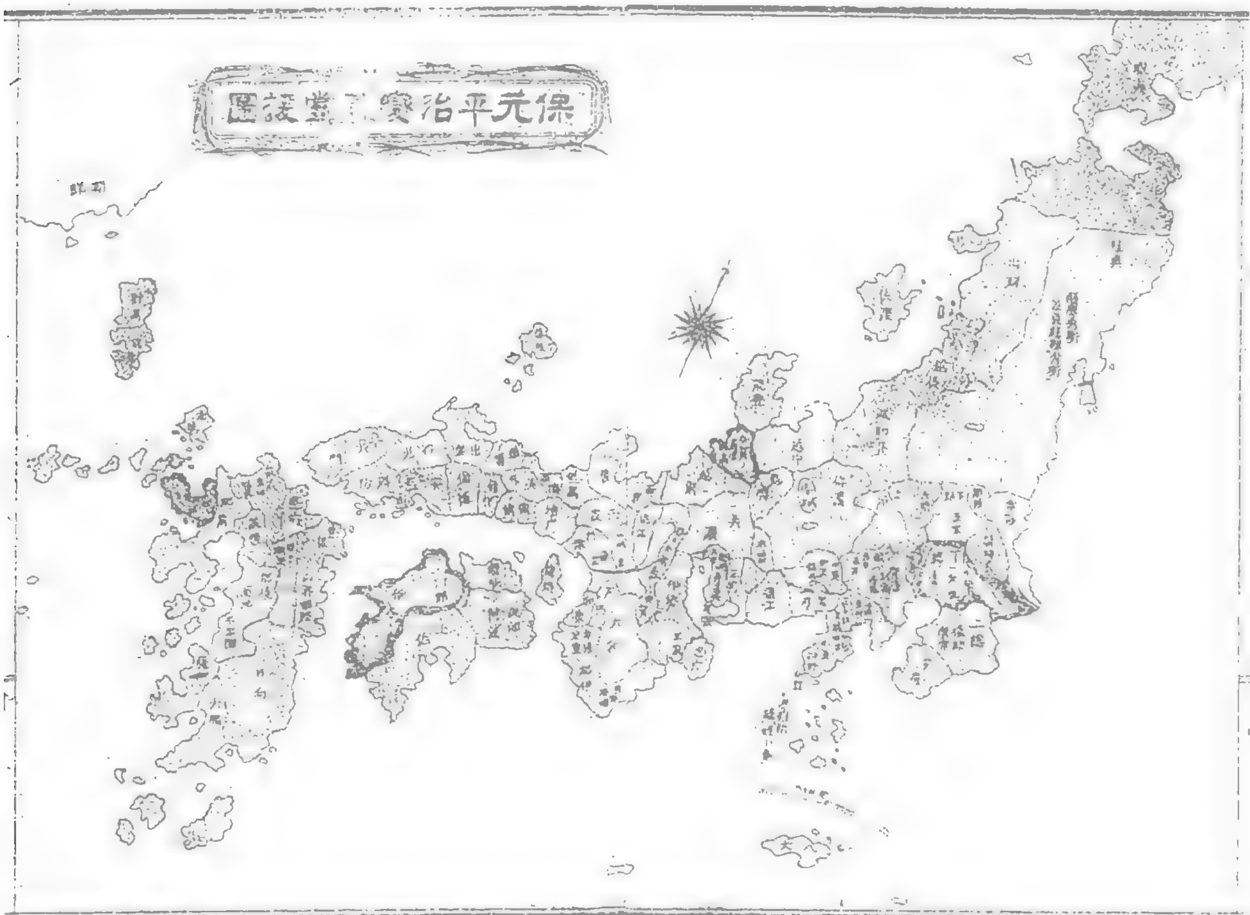


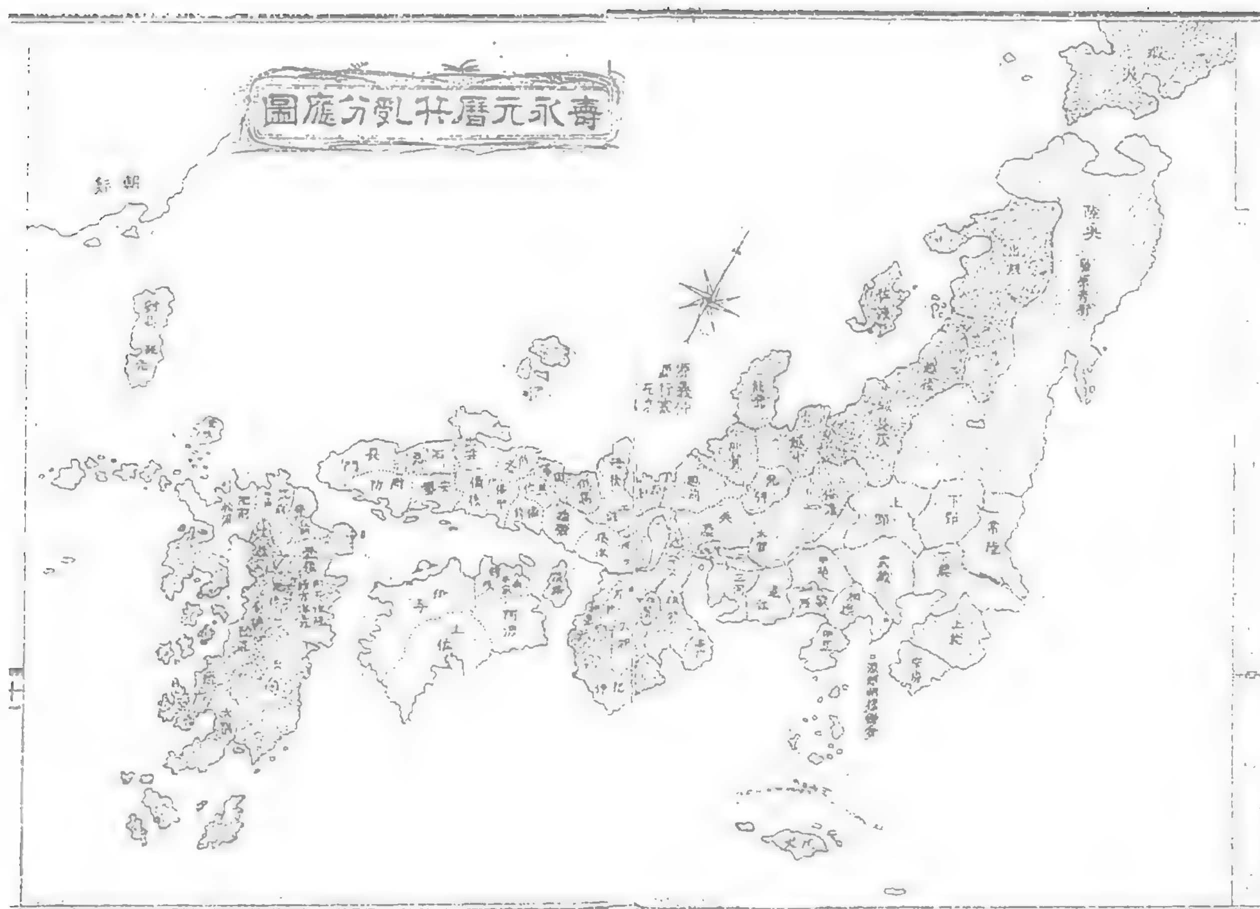
七



八

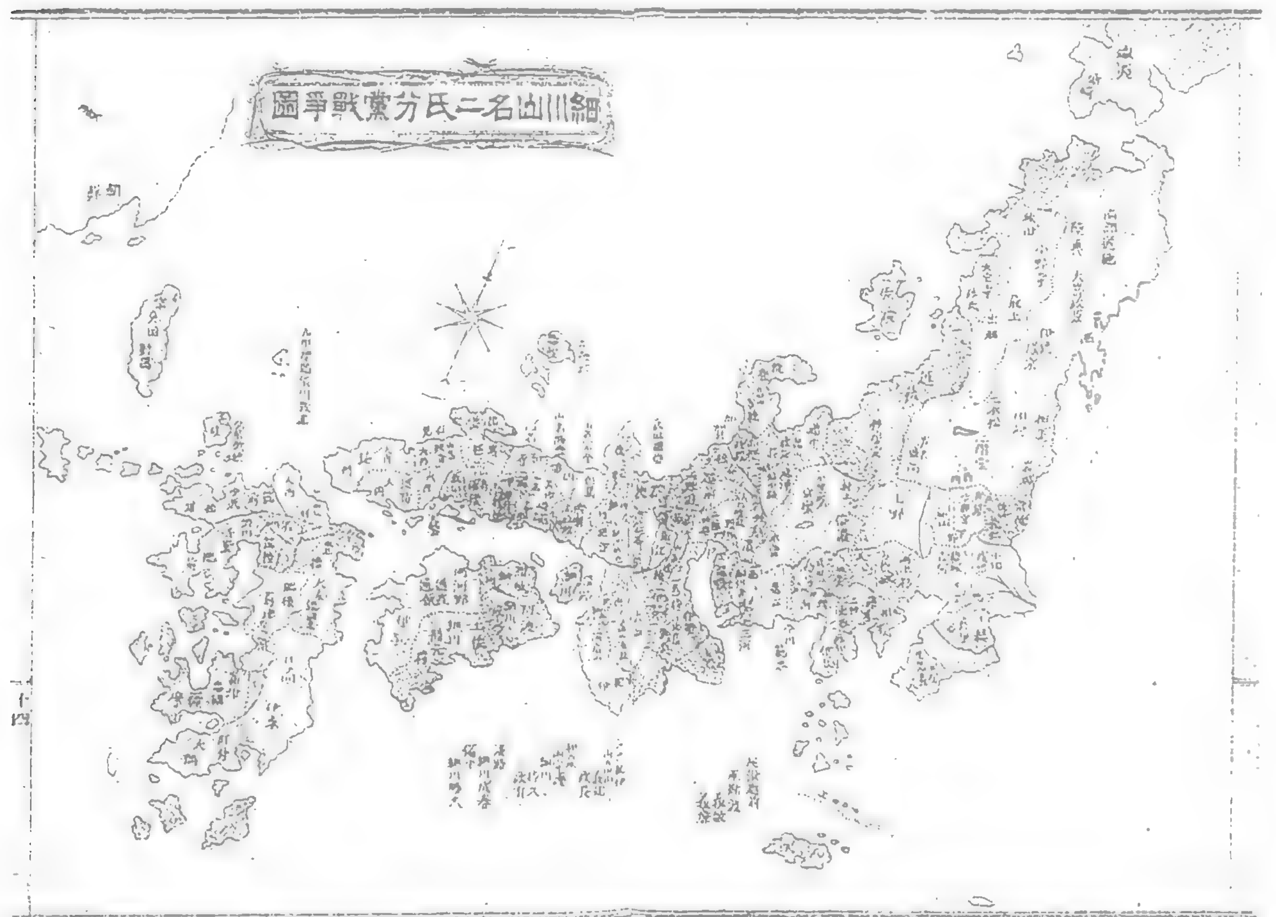

朱雀帝天慶三年征討圖

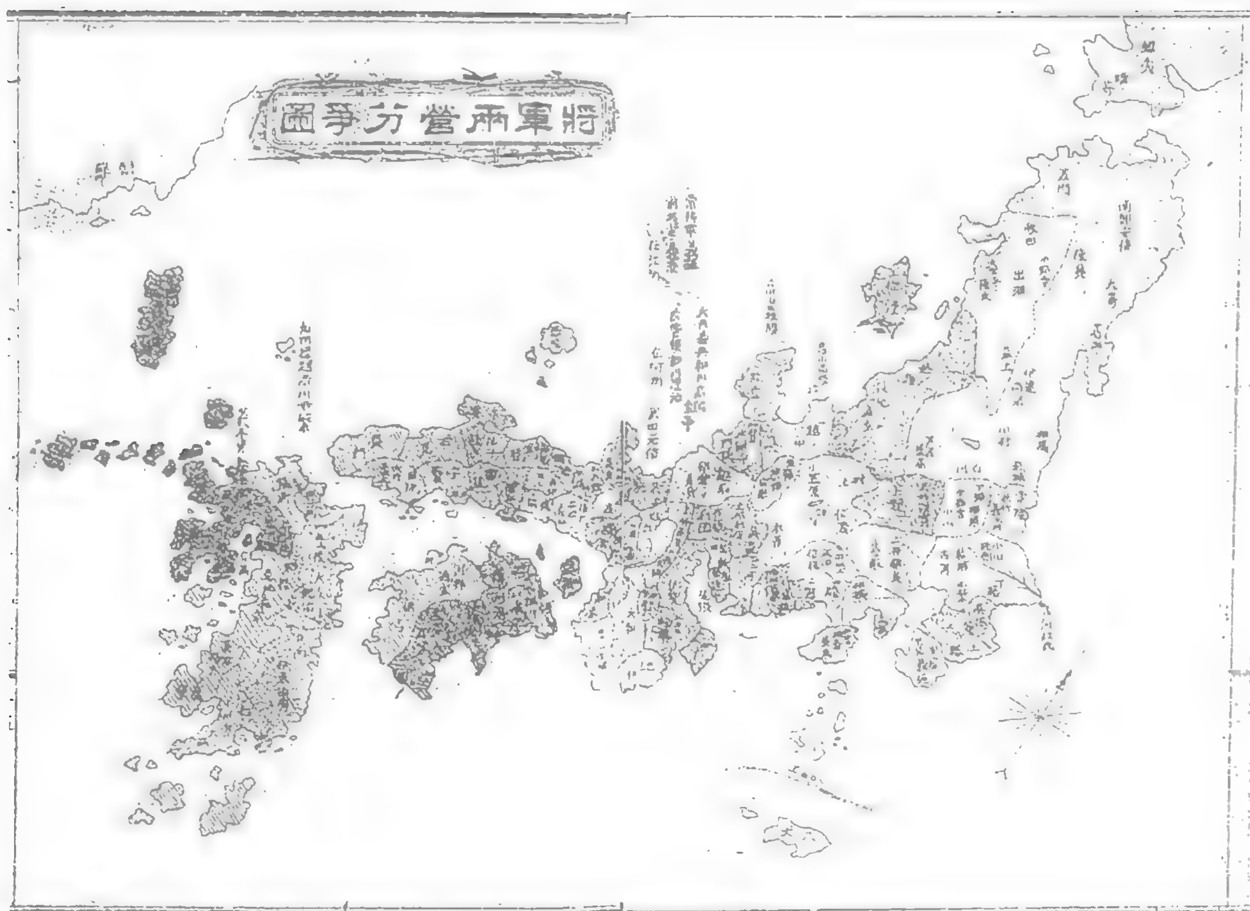

保元平治變亂黨援圖

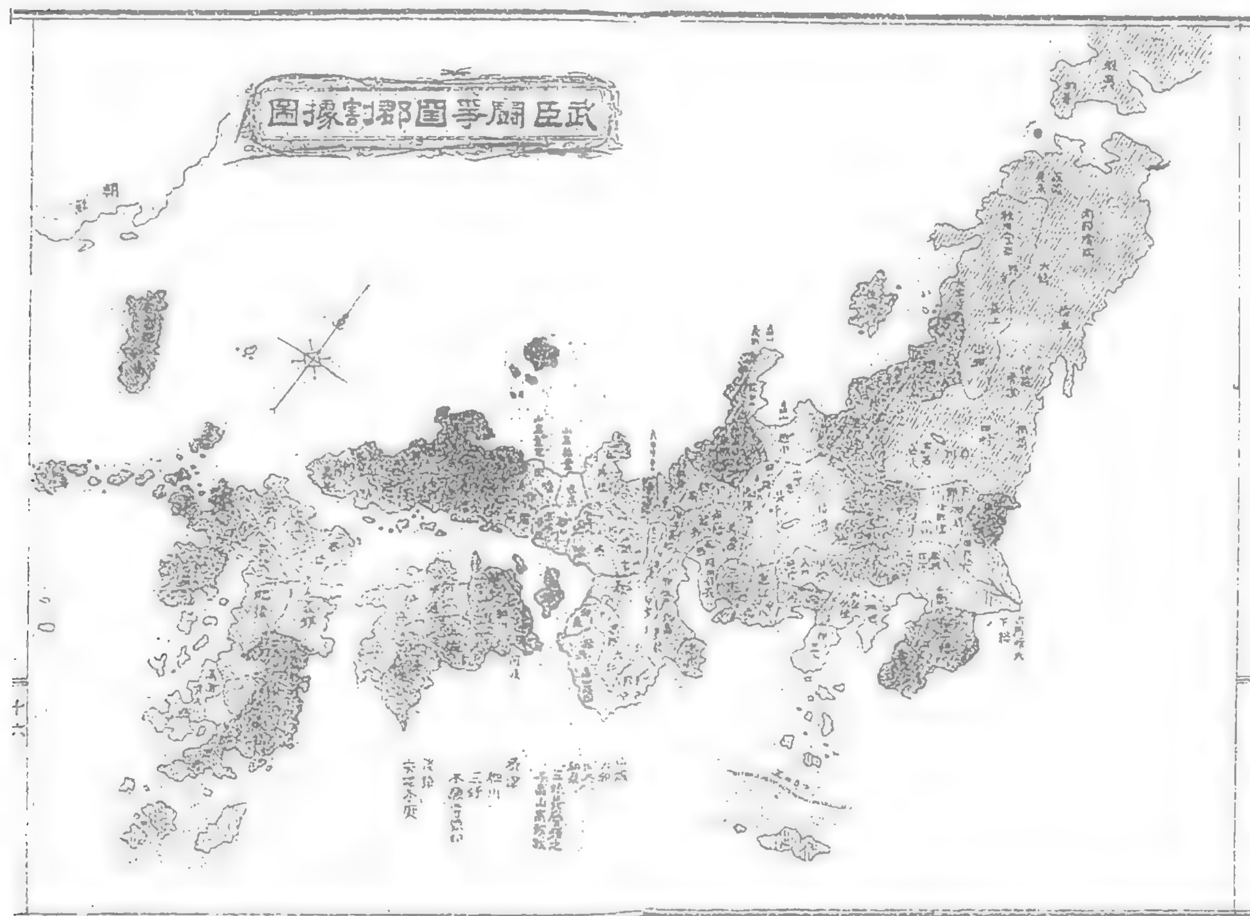

壽永元曆扶亂分據圖
十一

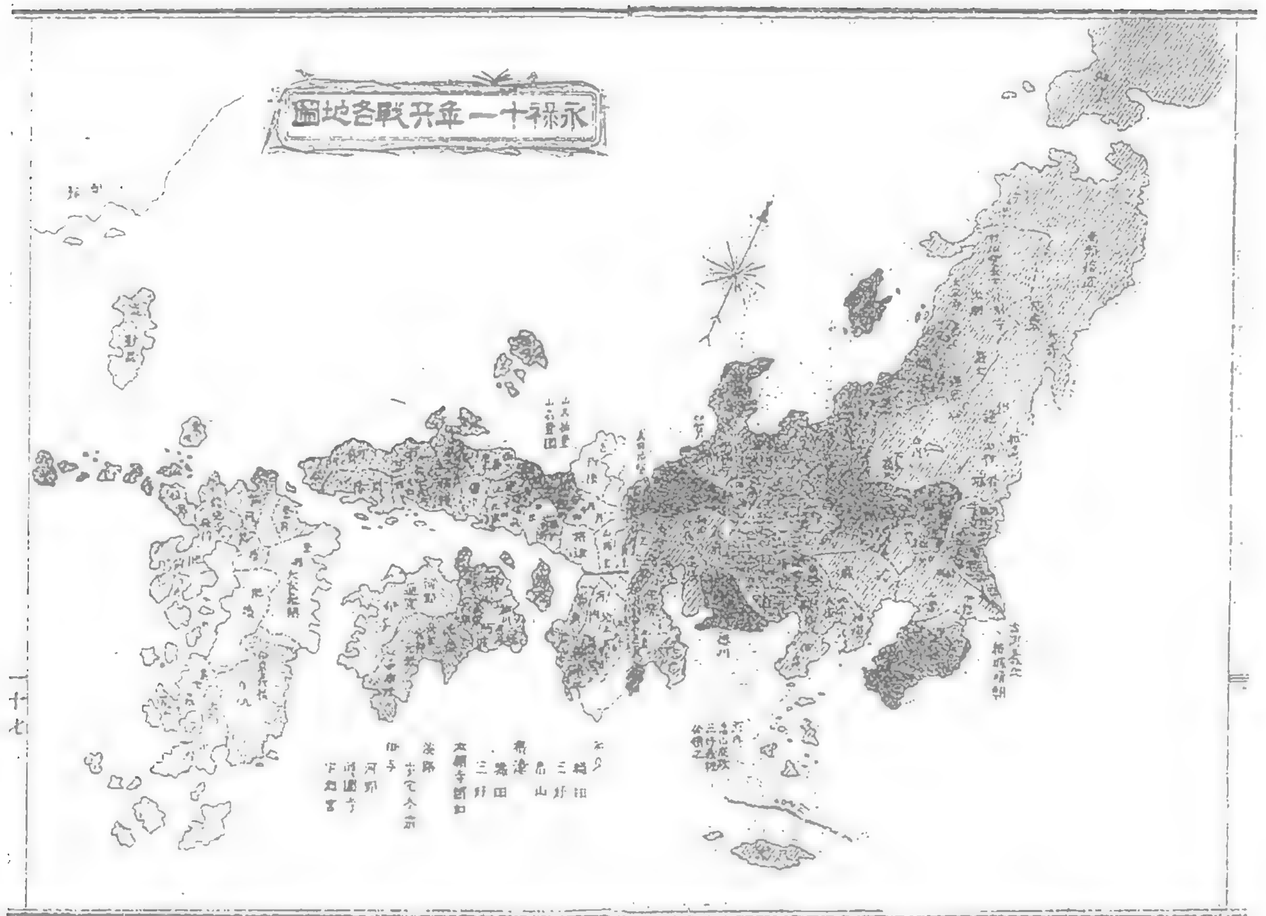
南北分統闘爭圖
十二

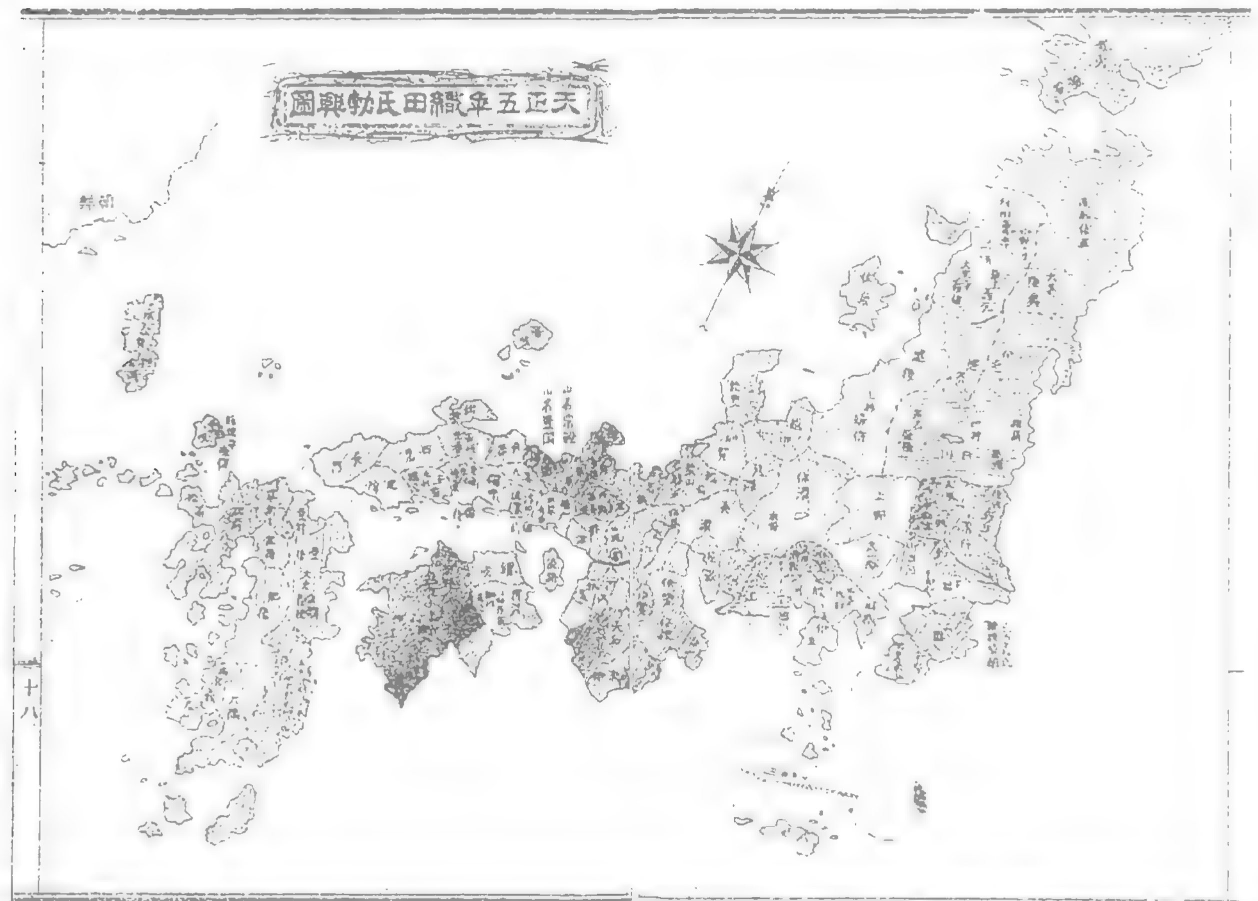
南北兩朝盛衰圖
朝鮮
十三

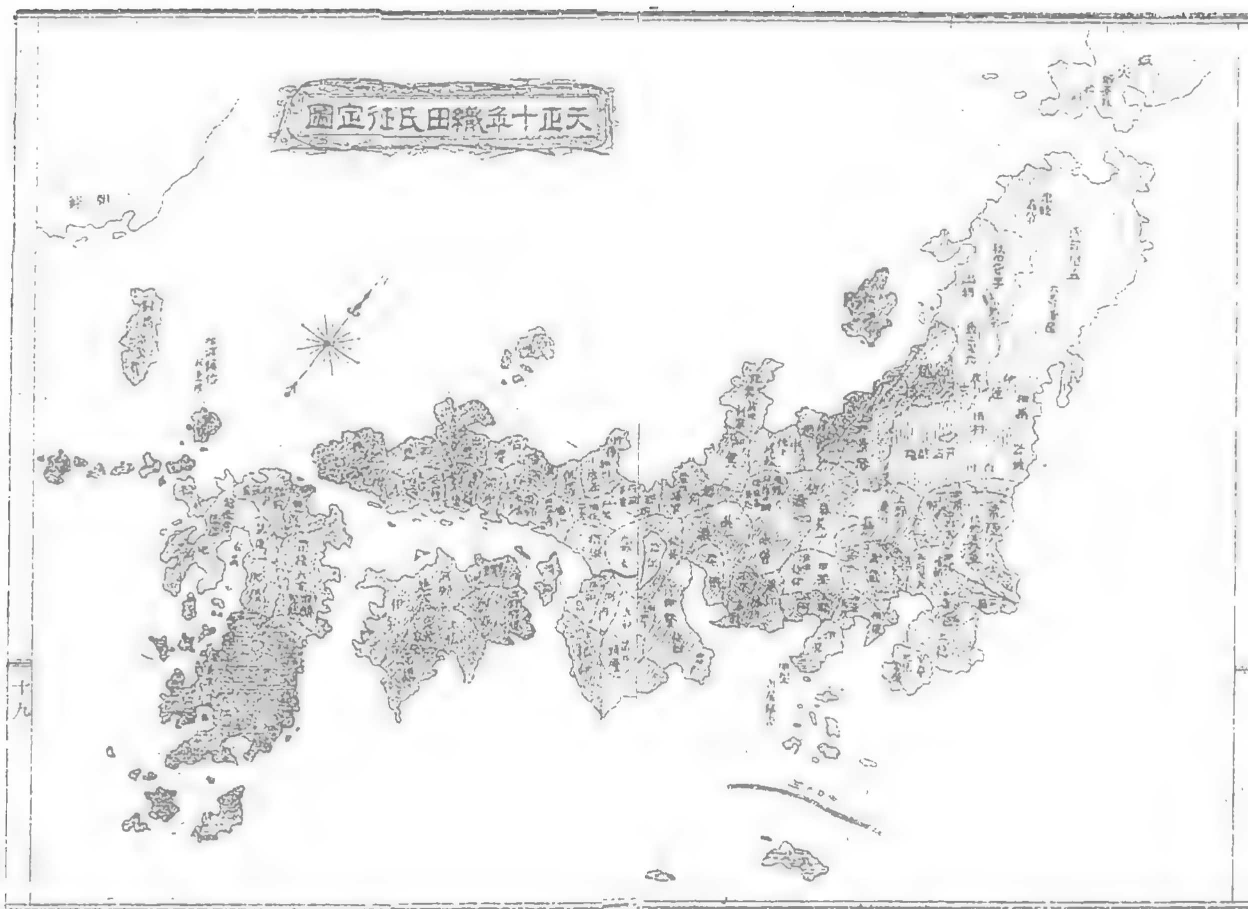

細川山名二氏分黨戰爭圖
朝鮮
十四


將軍兩管分爭圖

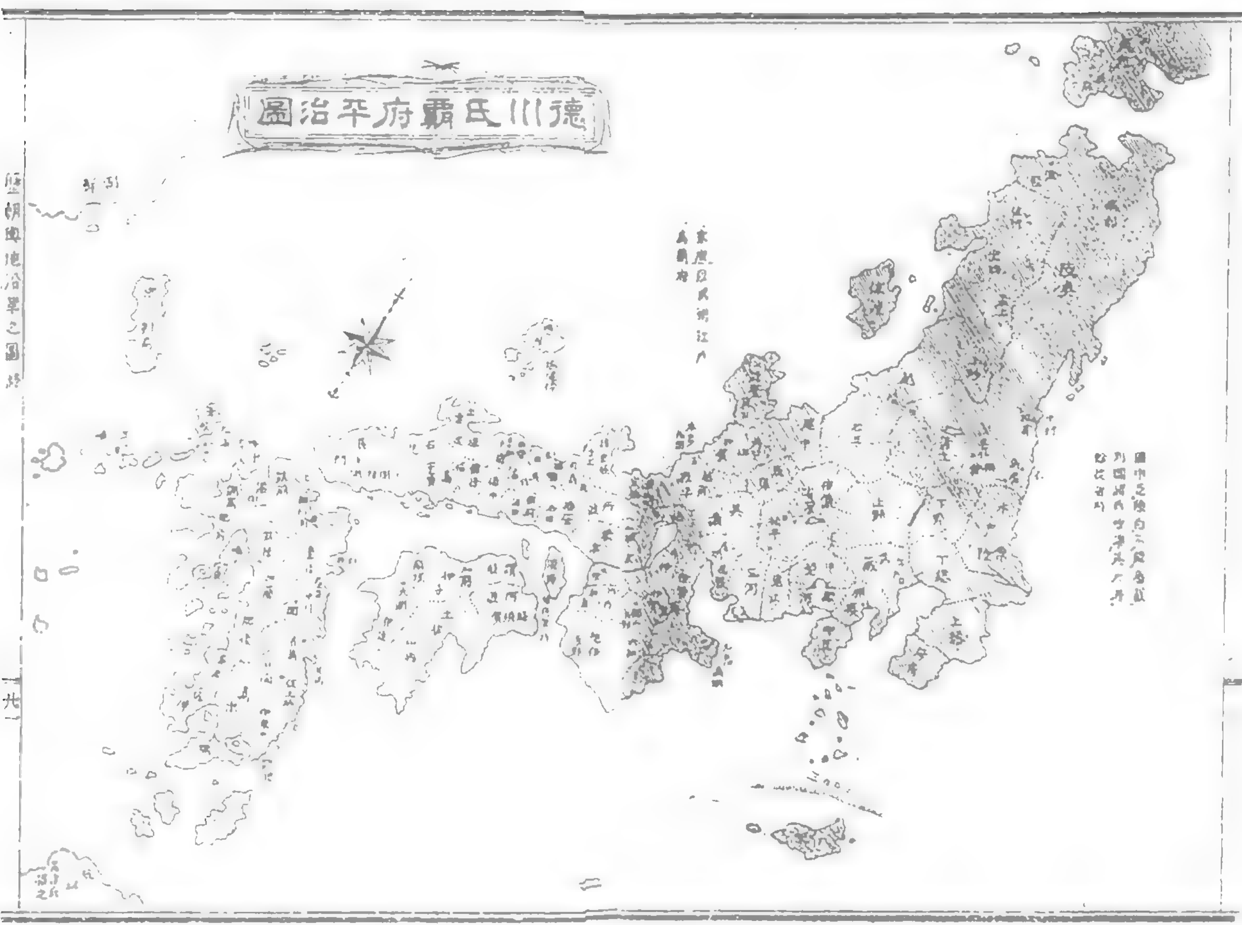

武臣鬪爭國郡割據圖


永祿十一年兵戰各地圖
十七


天正五年織田氏勢輿圖
十八


天正十年織田氏征定圖

天正十四年豐臣氏遠征圖


德川氏霸府平治圖
歷朝輿地沿革之圖
一六

明治廿五年八月三十日印刷
同　年九月三日出版

大阪市南區長堀橋筋一丁目五番邸
著作兼發行者　伊澤駒吉

大阪市東區南久太郎町二丁目四十七番邸
印刷者　齋藤萬次郎

何田罷等 編

沿革考證日本讀史地圖

明治三十年（一八九七）東京富山房刻本

據明治三十年（一八九七）

東京富山房刻本影印

日本讀史地圖

凡例

一 歴史ハ一社會ノ變遷ヲ述ル者ニシテ時代先後ノ因果ヲ知ルト云フト雖當時ノ地理上ヨリ歴史事實ノ場所ヲ失念セハ決シテ其眞相ヲ得ル能ハサルナリ、而テ此地理上ノ關係ヲ考究スルハ歴史地圖ヨリ善キハナシ、是レ獨リ地理上ヨリ歴史講究ヲ補フノミニアラス、又地理ヲ歴史上ヨリ講究スルノ幇助ヲ爲スコト多シ、近時此種ノ地圖二三種アリテ世ニ布クモ未タ廣ク行ハレサルニ似タリ、今教育家ノ言ヲキクニ目下學校ニ於テ歴史教授ヲナスニ方リ、善良ノ沿革地圖ナキノ故ヲ以テ、授業モ抽象的説話ニ流ルヽコト多シト云フ、是レ豈ニ一大缺失ナラスヤ、予輩ノ斯ノ編述ヲ試ミタルハ此ニ慨スル所アレハ也

一 地圖ハ最簡明ヲ要ス、且本編ハ主トシテ歴史關係ノ地點ヲ示スモノナレハ、不必要ノモノハ一切載セス、唯古今其名稱ヲ異ニシ若クハ位置境界ノ變更アルモノハ異色ヲ以テ參考地名ヲ記セリ、又講究ニ便センカ爲メ、圖説ヲ附シテ別冊ヲ爲ス

一 本編ハ中學科ノ課程以下ヲ標準トシテ立案セリト雖間々詳細ニ渉ルモノアリ、是レ兼テ一般ノ讀史研究ノ用ニ供セント欲シタレハ也

明治三十年二月

編者識

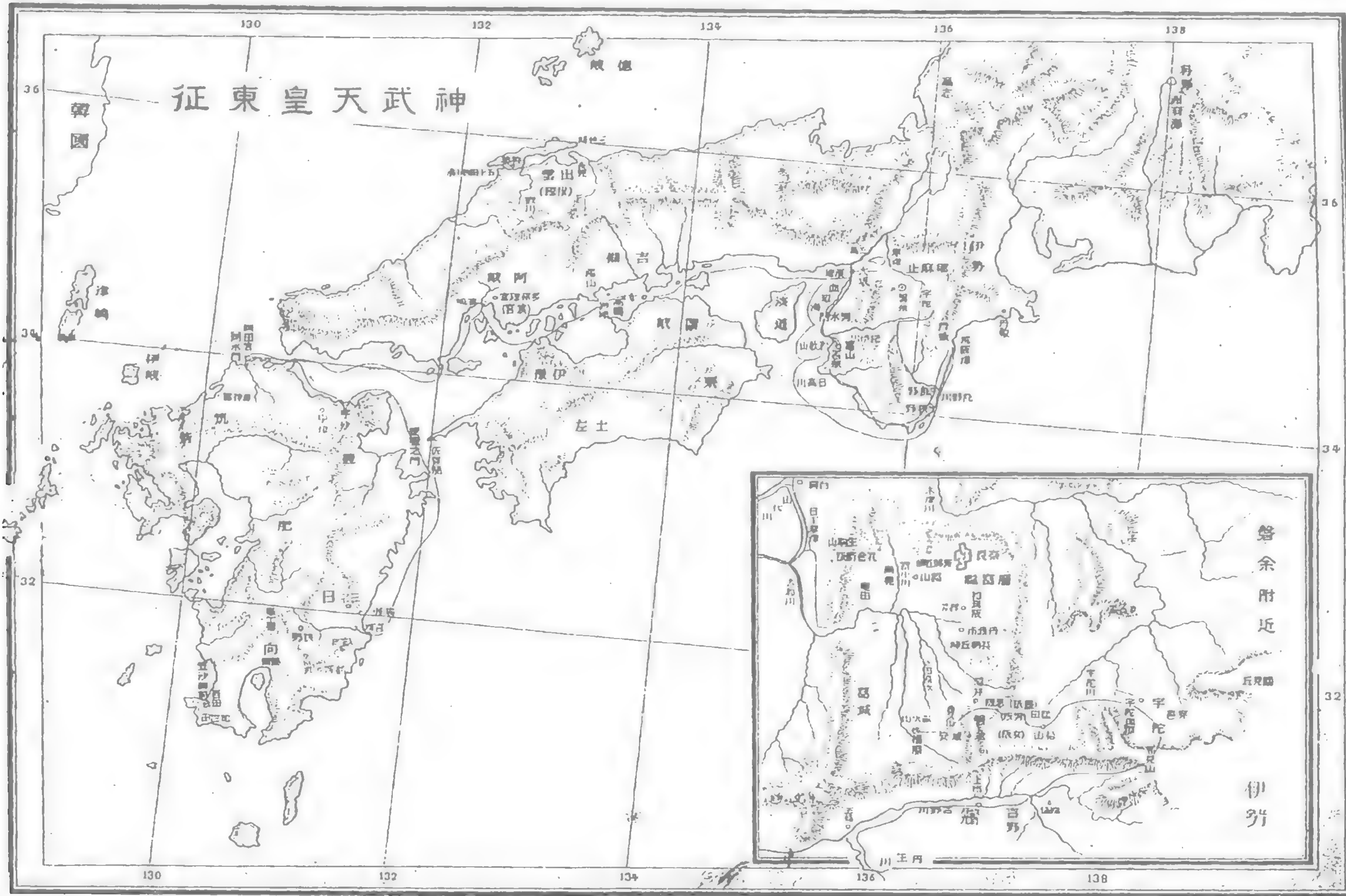
目次

日本讀史地圖敘

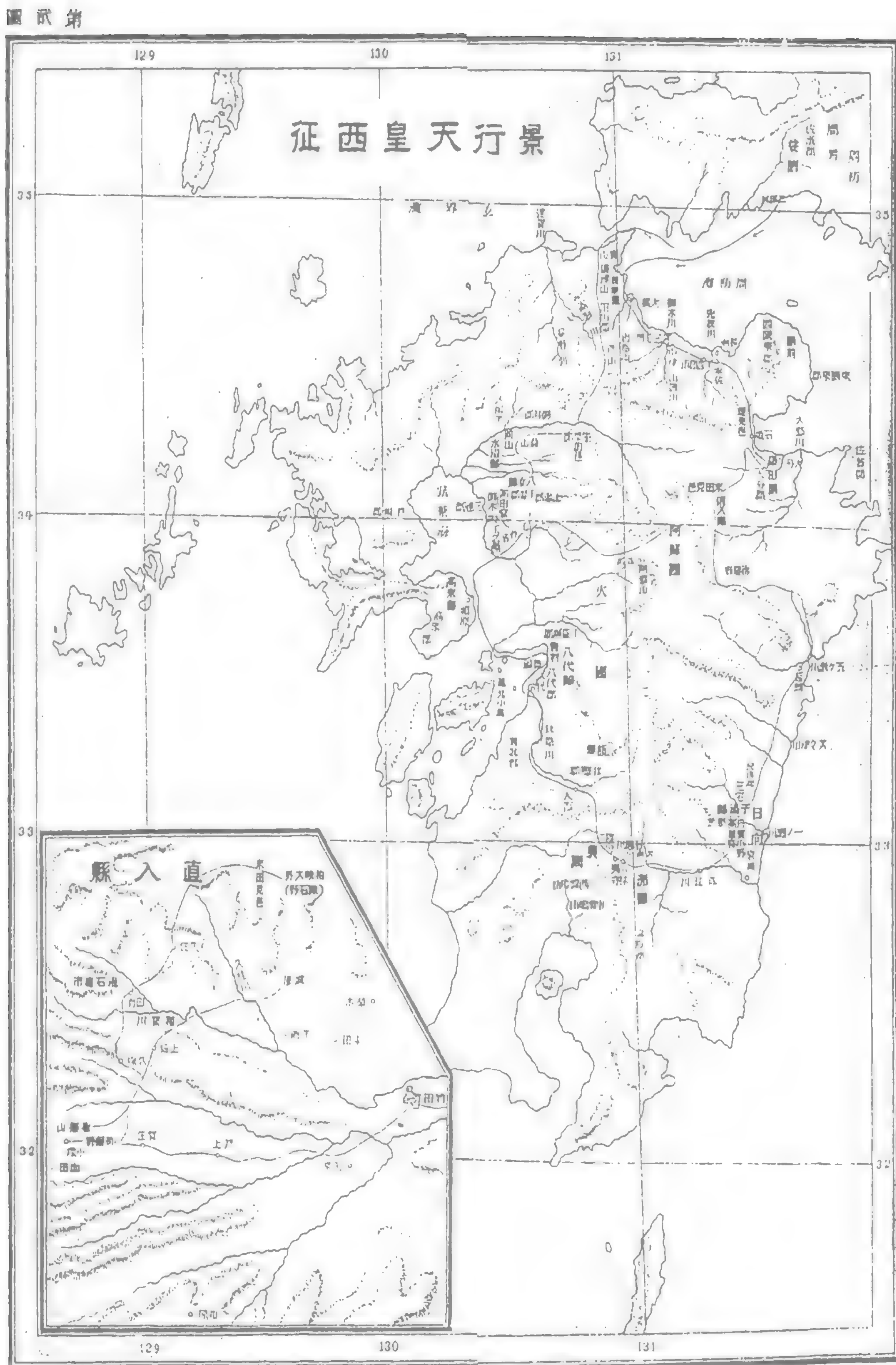
予之在史館也，命採訪古文書於縣郡，行之所至，通邑大都，必覽政俗教化之臧否；村市江津，則考風土物產之同異；名山巨川，廢墟荒丘，必想封域關塞之遺，豪傑攻守之地。今之蔓草寒烟，昔日之闤闠郭郛也；今之傳電行通汽船者，昔日之垣壞鄉隔也；今之鐵道以馬識穆察焉者，昔日之嶮隘要衝也。每覽盛衰變遷之相尋於無窮，未嘗不慨然興感，而思其所由也。於是求古地圖，繹之可以與史傳相參稽者，乃訪沿革地圖之類，皆粗率杜撰，無一足觀者；於又悵然自失者。因將修歷代地圖，以便讀史，而未果。會吉田農卿、高橋健自、河田羆詳石譯，作日本讀史地圖，來謁序。予喜其先獲我心也，急披覽之。上自 神武東征，下迄 今代征清，凡五十餘幀，按史傳，稽圖籍，搜羅致密際，括古今，能舉其要領，都覽之際，使予恍然追惟當日情況。世之讀史者，置諸座側，以資參照，其於究變遷沿革之故，瞭如列眉，伯陽氏所云，不出戶知天下者也夫。

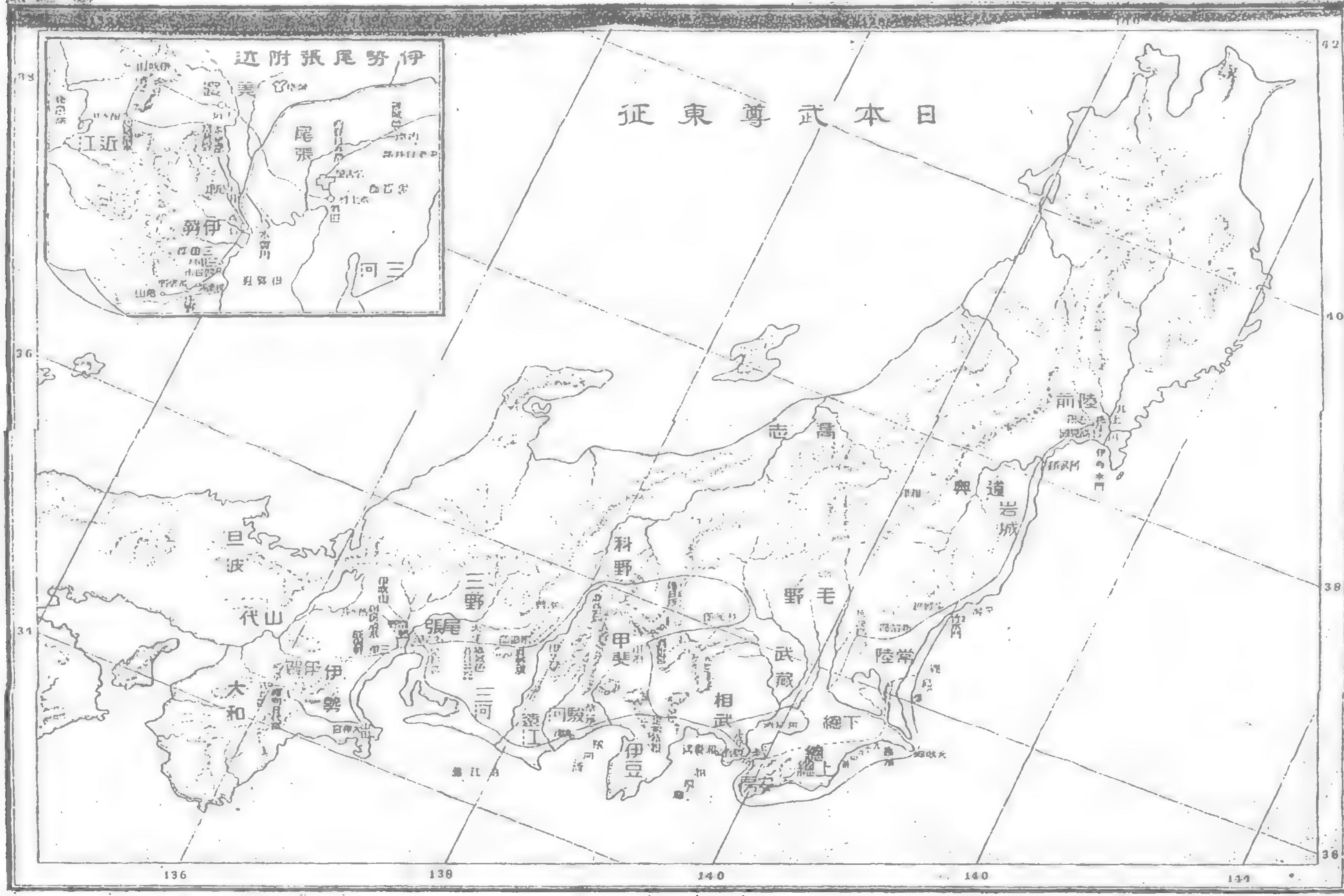
明治廿九年歲在丙申八月初吉

成齋老人重野安繹書

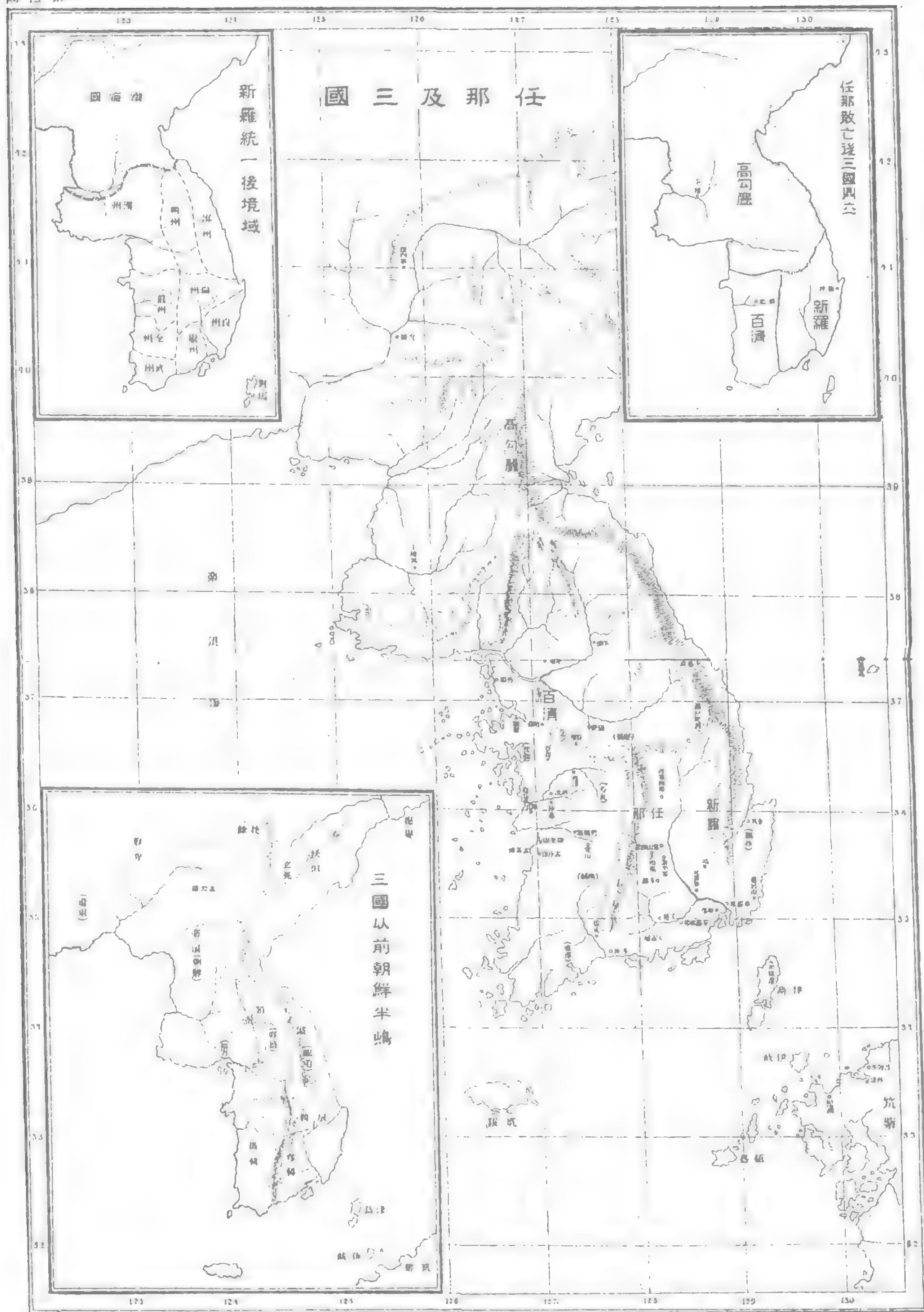

第壹圖
神武天皇東征
韓國
土左
淡道
伊勢
磐余附近
葛城
宇陀
吉野

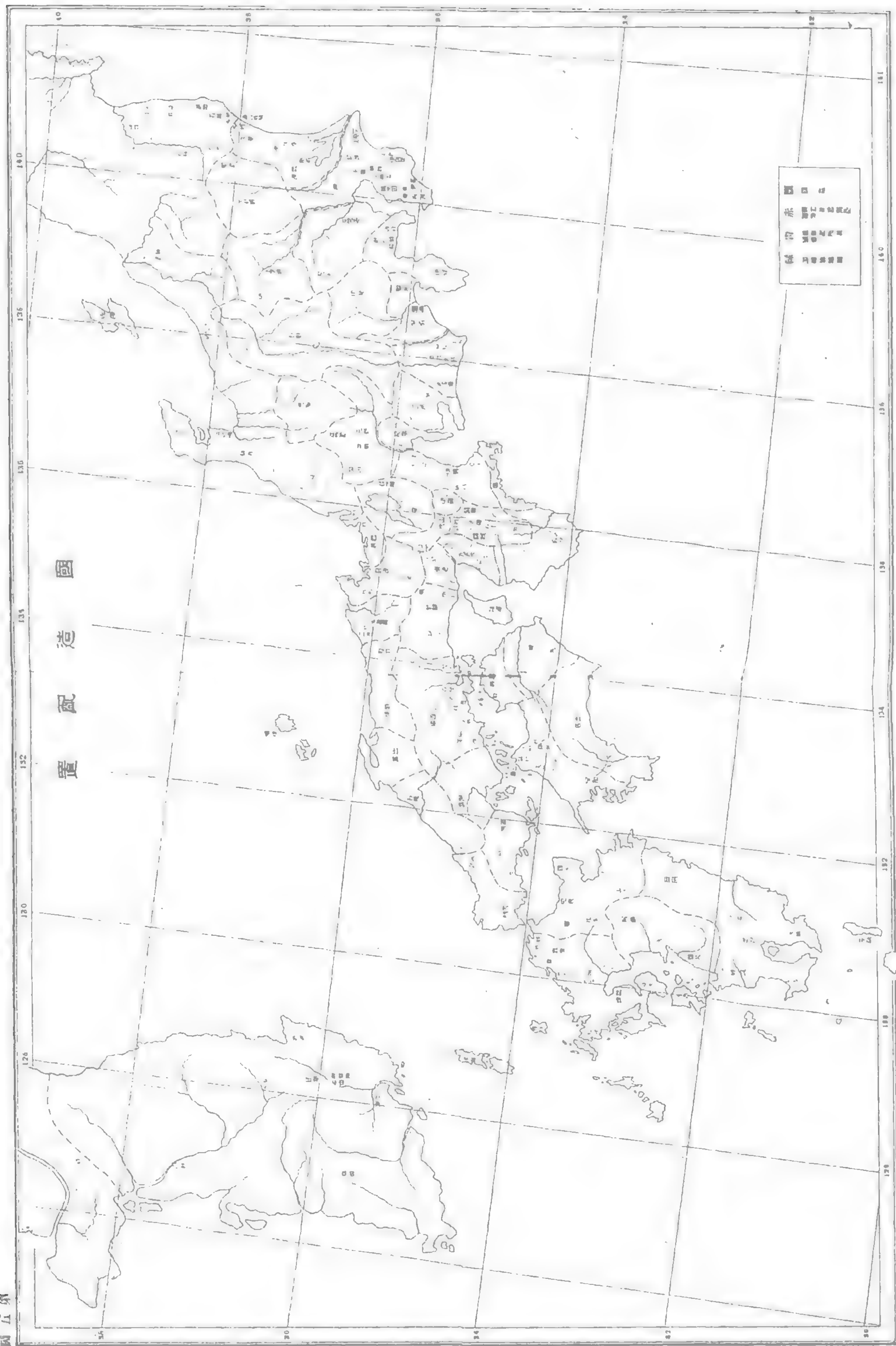
第貳圖

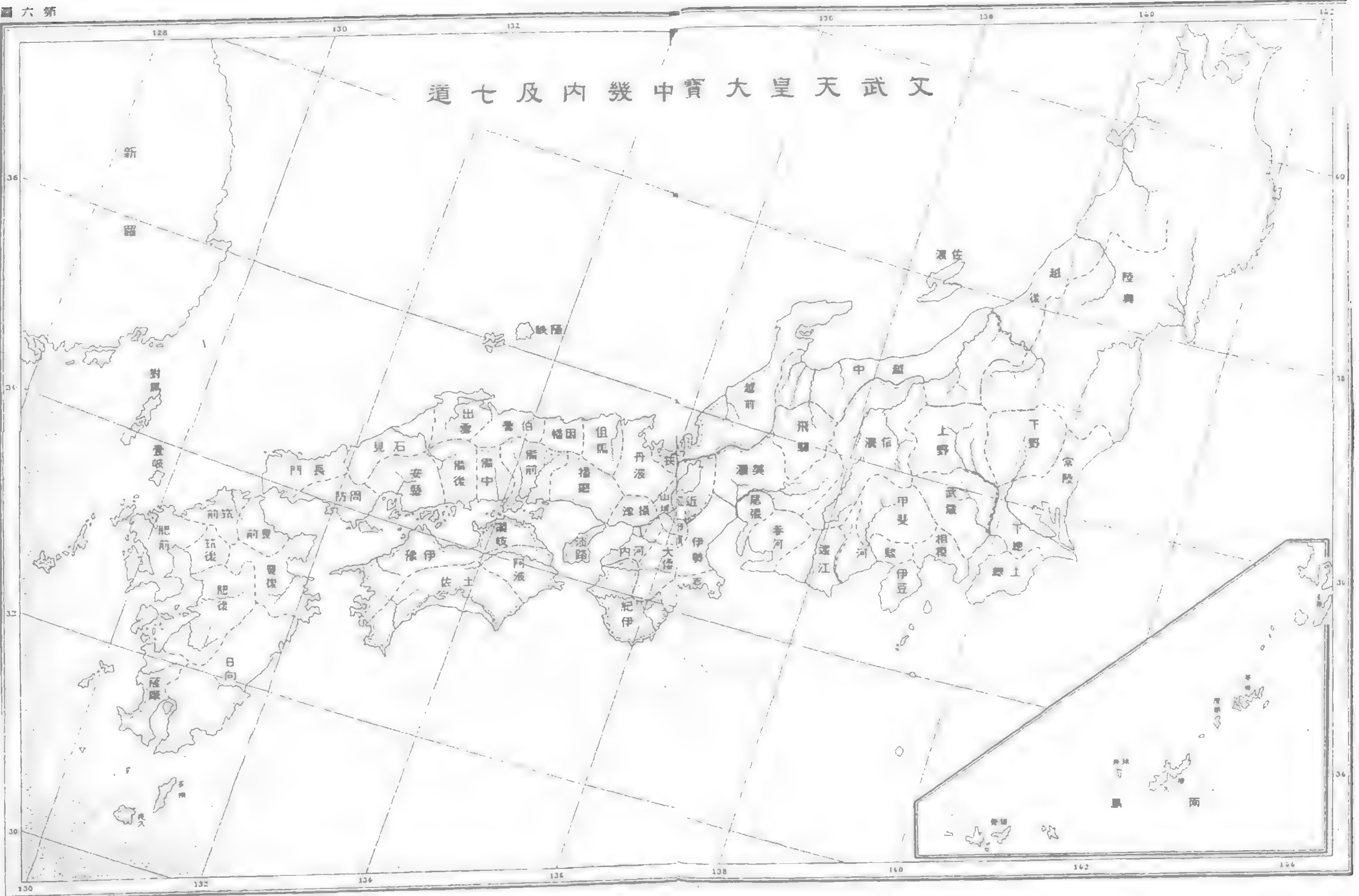


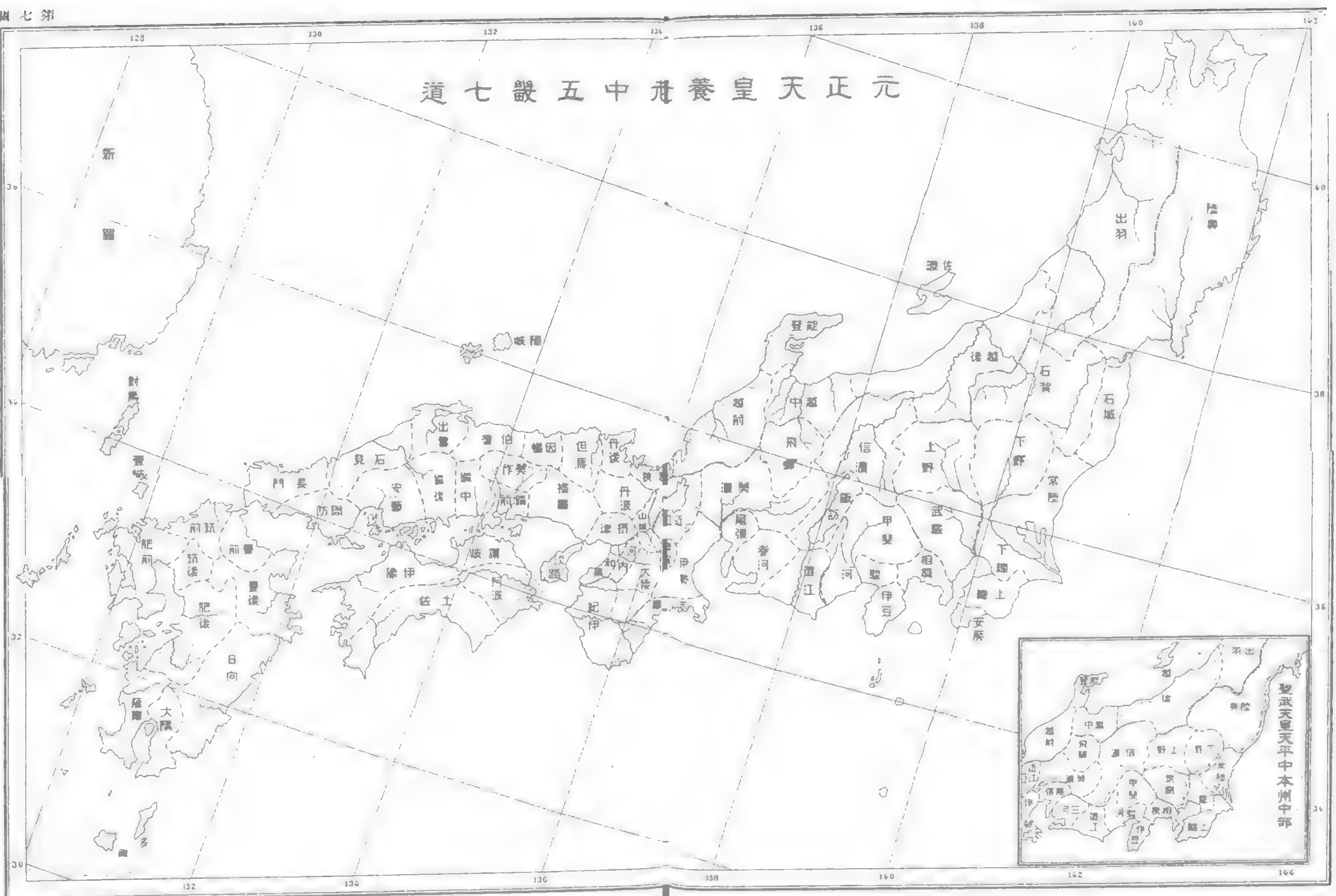

日本武尊東征
伊勢尾張附近
近江
美濃
尾張
伊勢
三河
大和
伊勢
山代
旦波
三野
尾張
三河
遠江
駿河
甲斐
科野
相武
武藏
伊豆
安房
上總
下總
常陸
毛野
高志
道奥
岩城
陸前
136
138
140
140
36
38
40
42

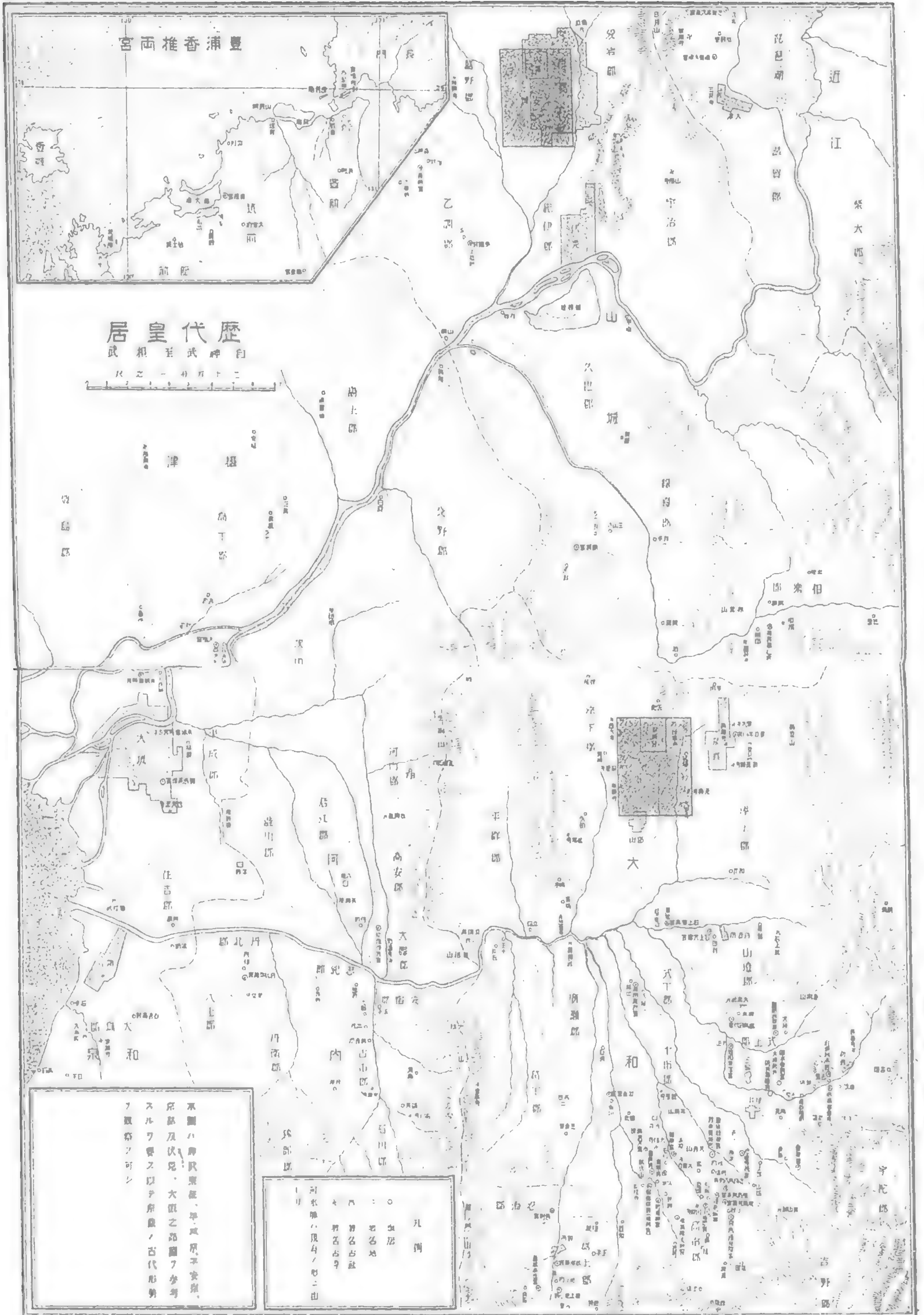
第四圖

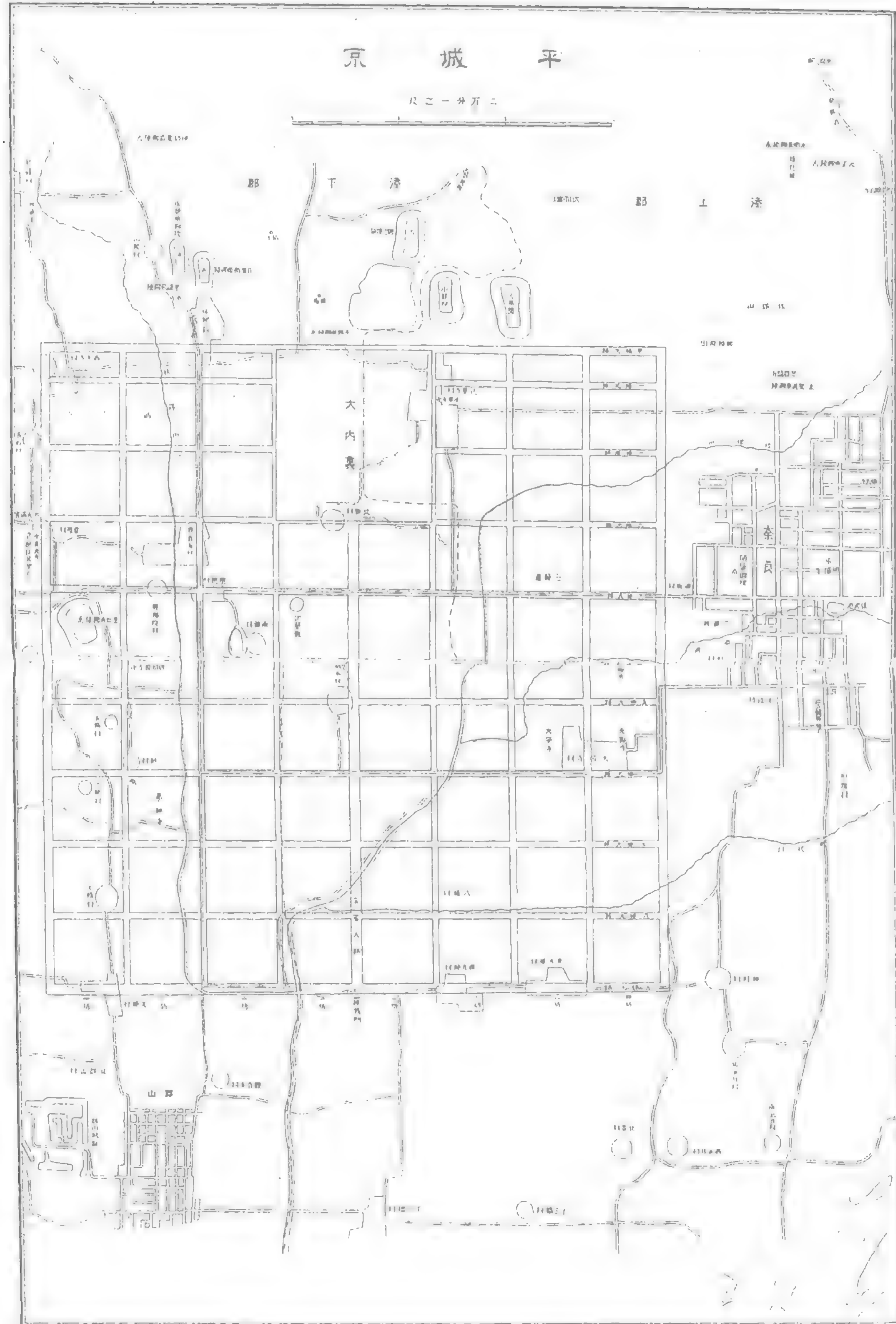


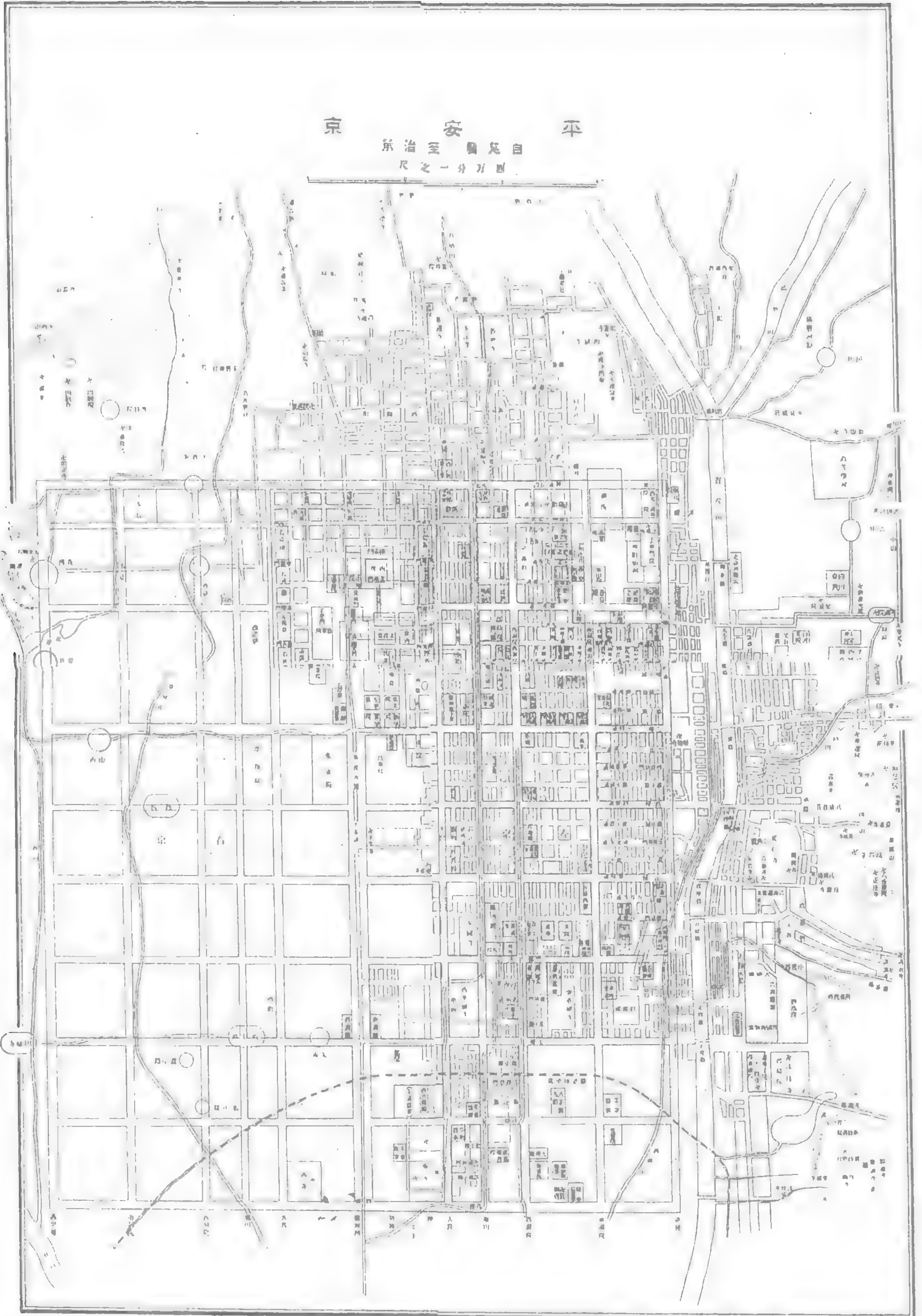



第六圖
文武天皇大寶中畿內及七道

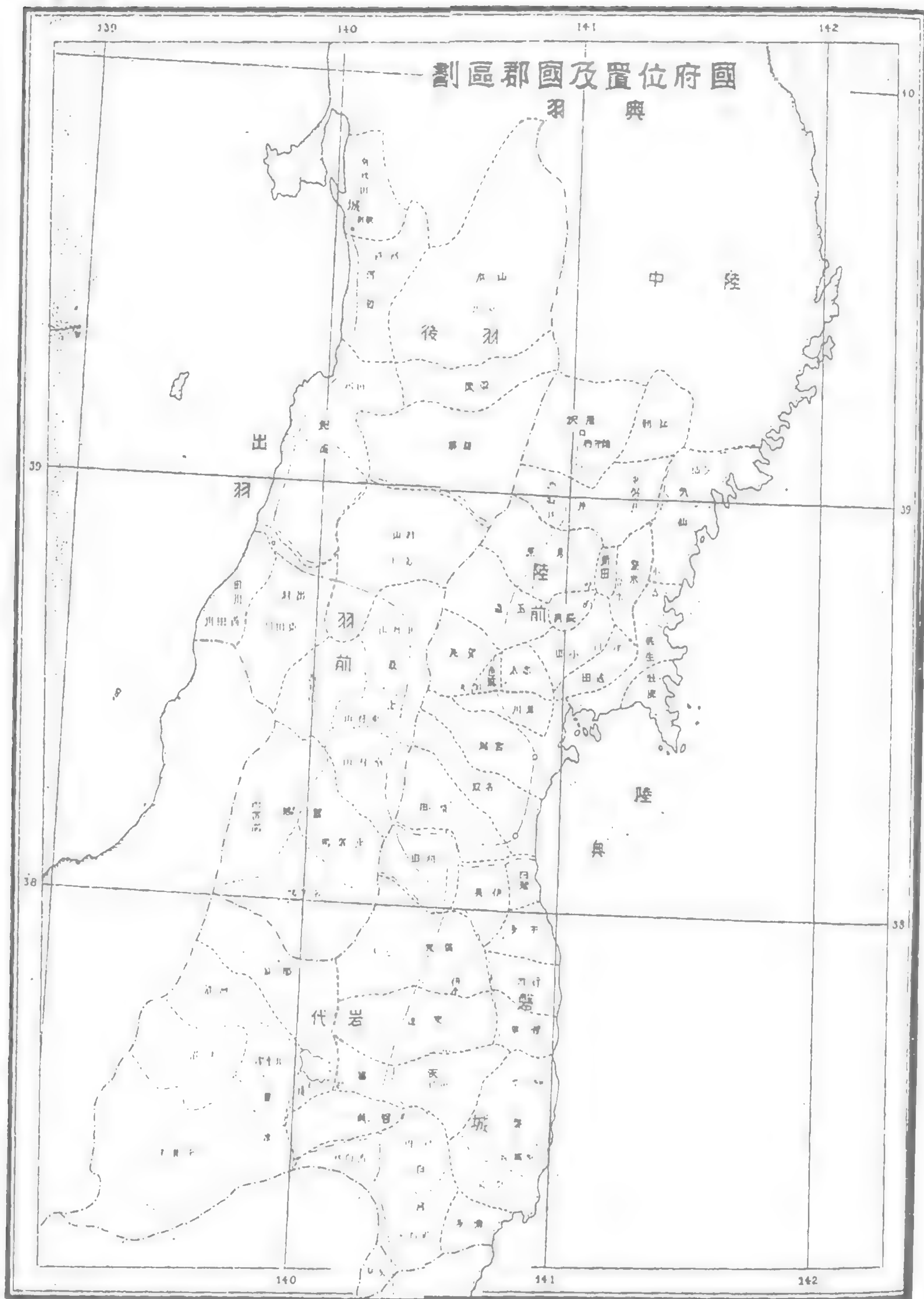

元正天皇養老中五畿七道
聖武天皇天平中本州中部
第七圖

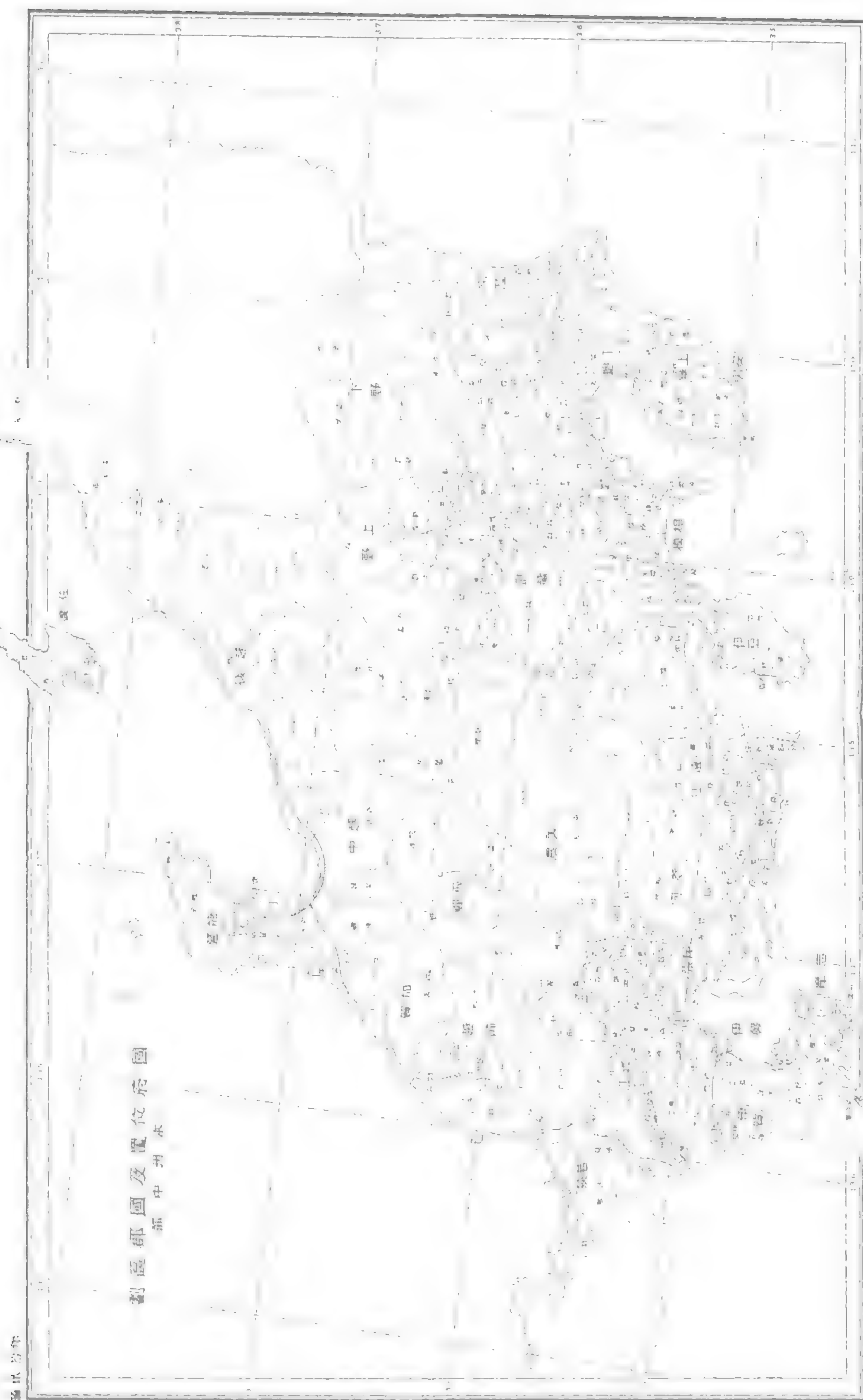

歴代皇居
自神武至桓武
豊浦香椎両宮
山城
大和
河内
和泉
攝津
近江
凡例

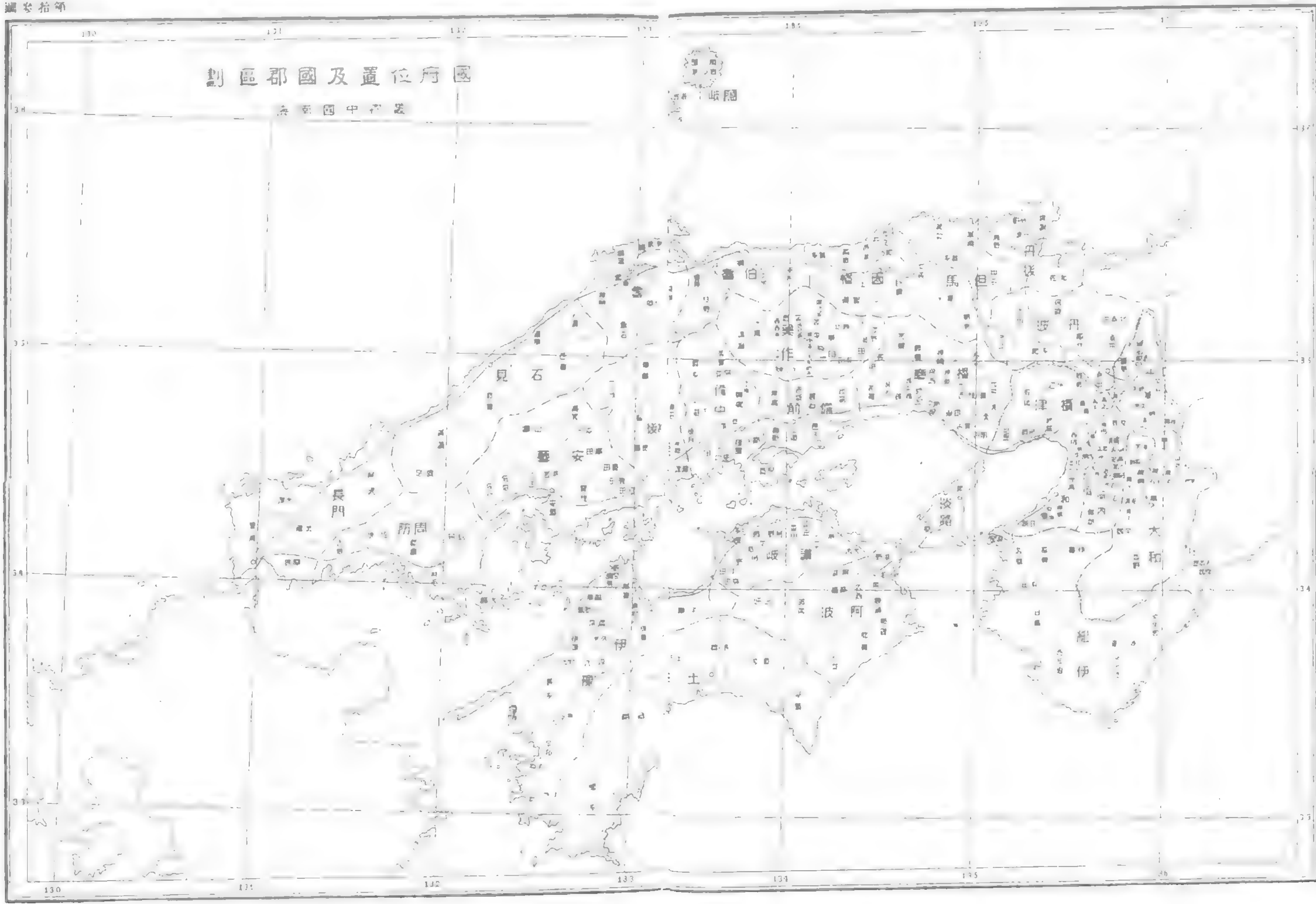

平城京
二万分一之尺
添下郡
添上郡
大内裏
奈良


平安京
自延暦至治承
四万分一之尺

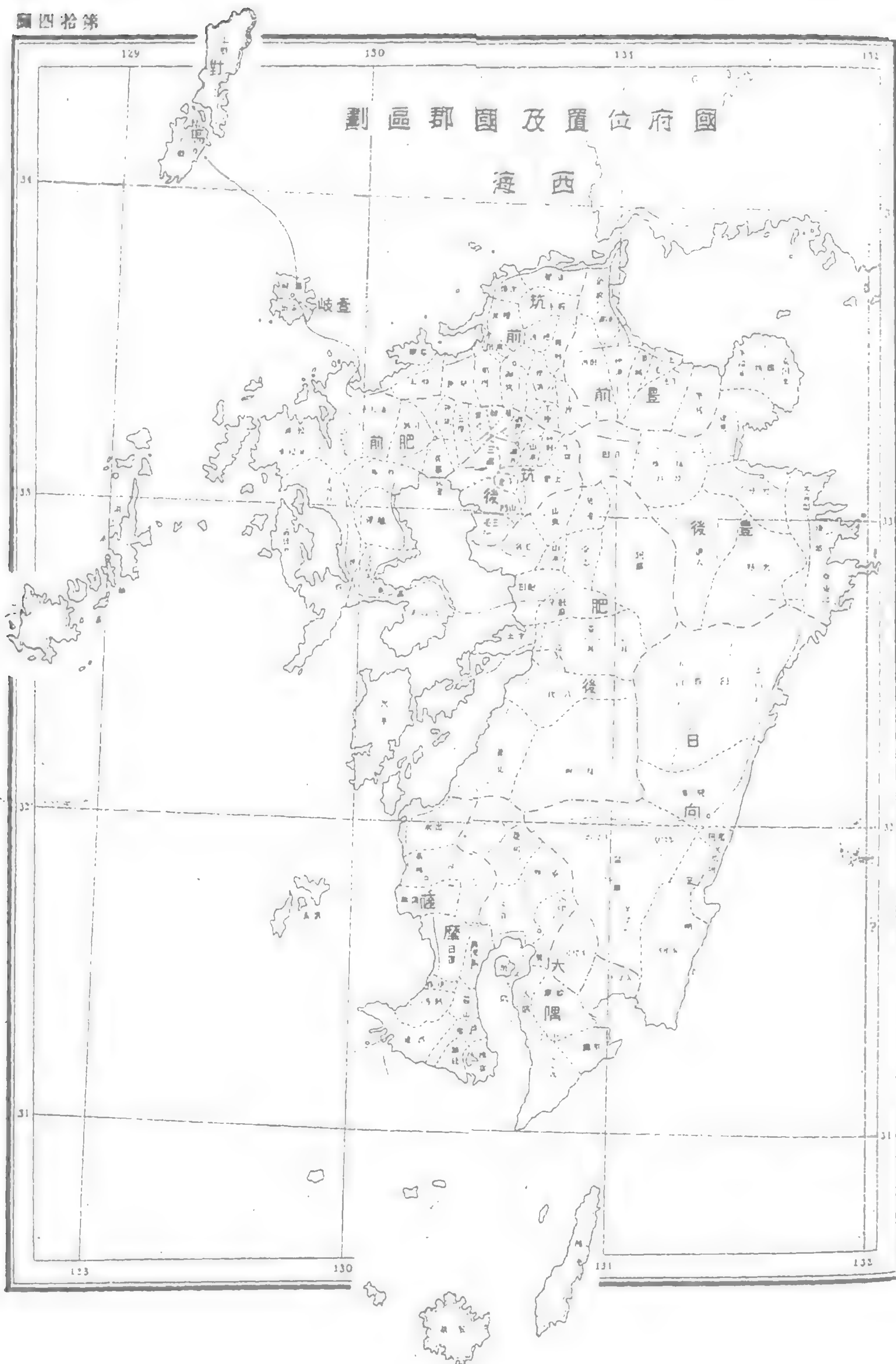
第拾壹圖



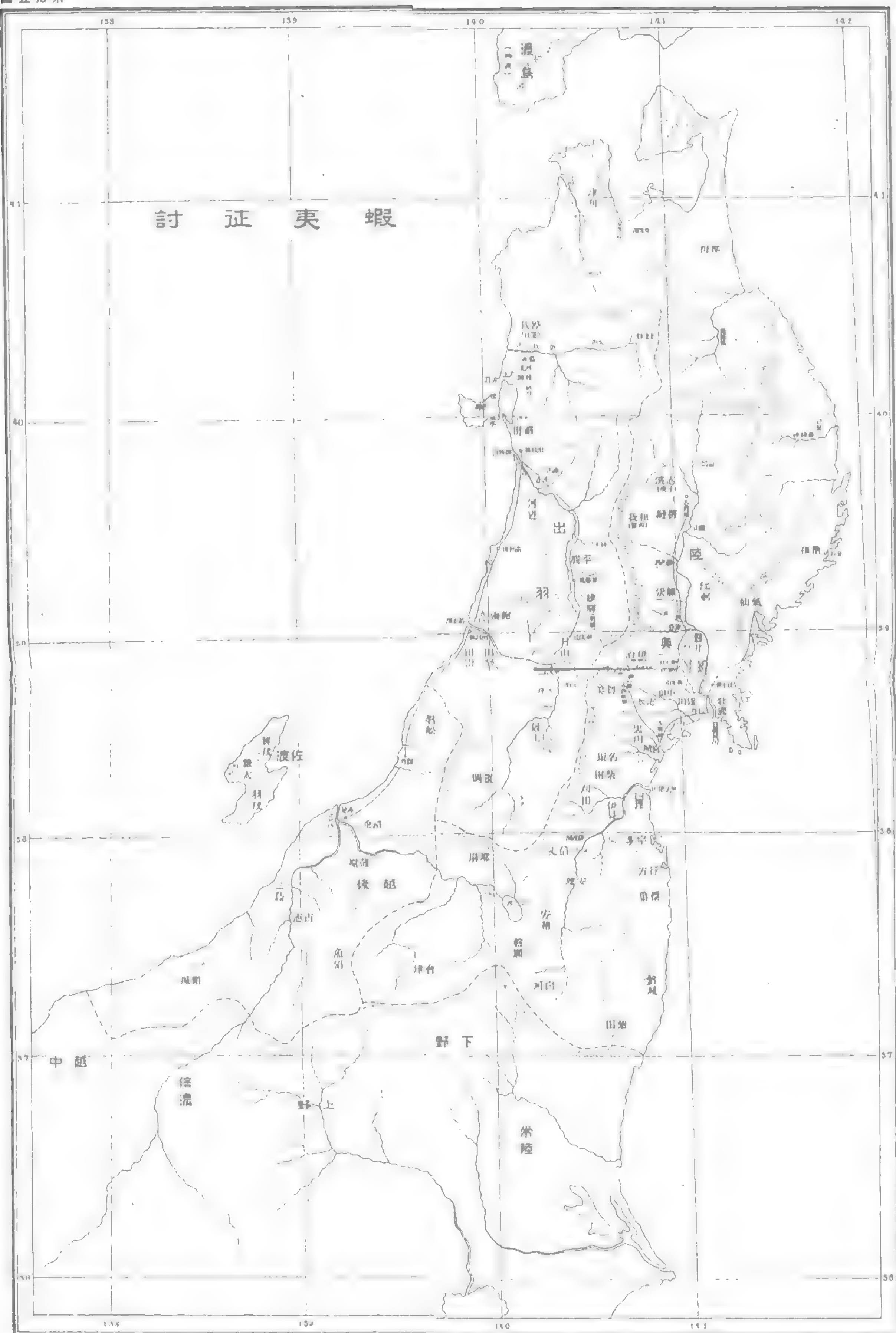


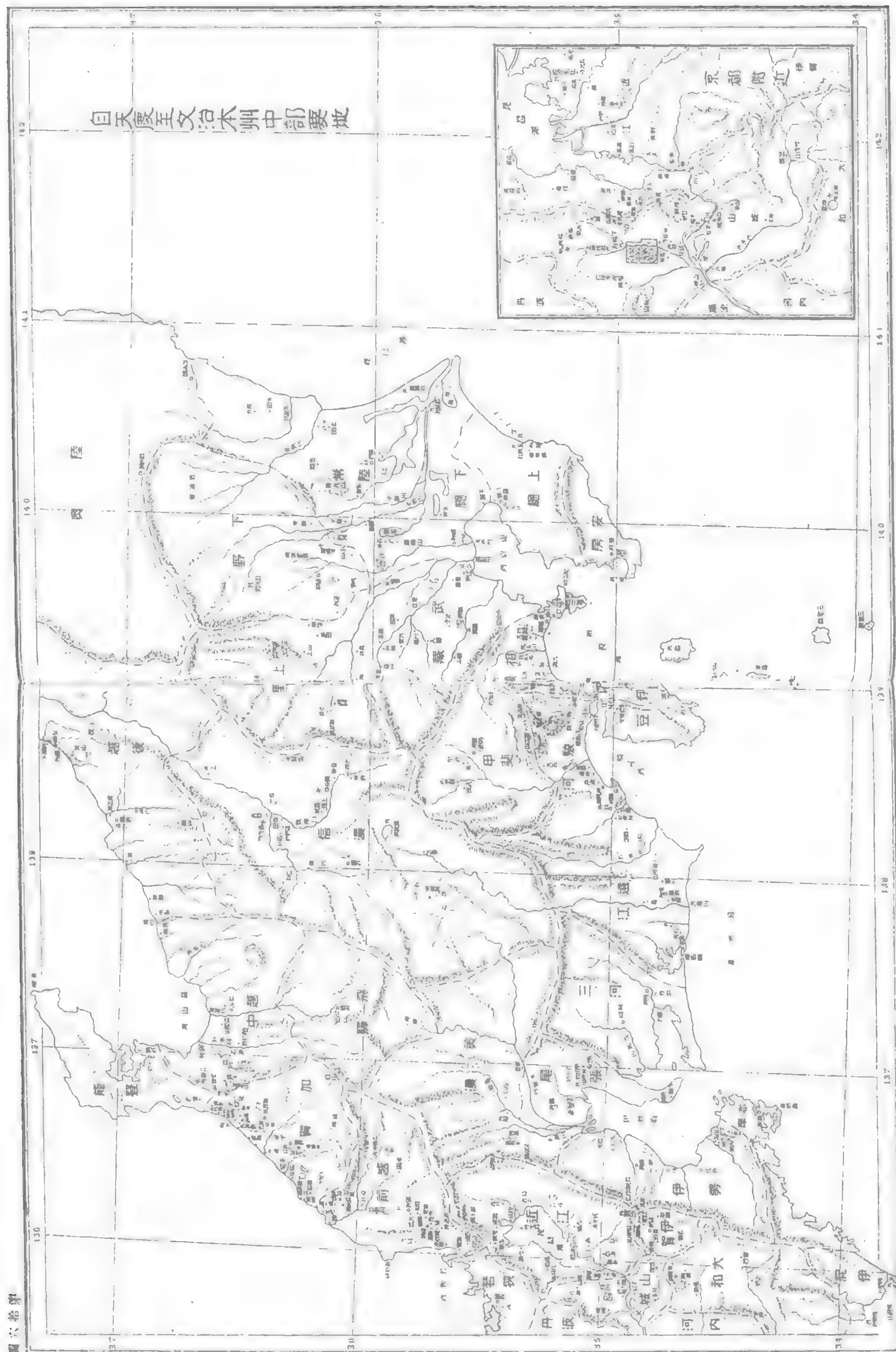

國府位置及國郡區劃
隱岐
石見
長門
周防
安藝
美作
備前
但馬
丹波
播磨
攝津
阿波
讃岐
伊豫
土佐
淡路
大和
紀伊

第拾四圖

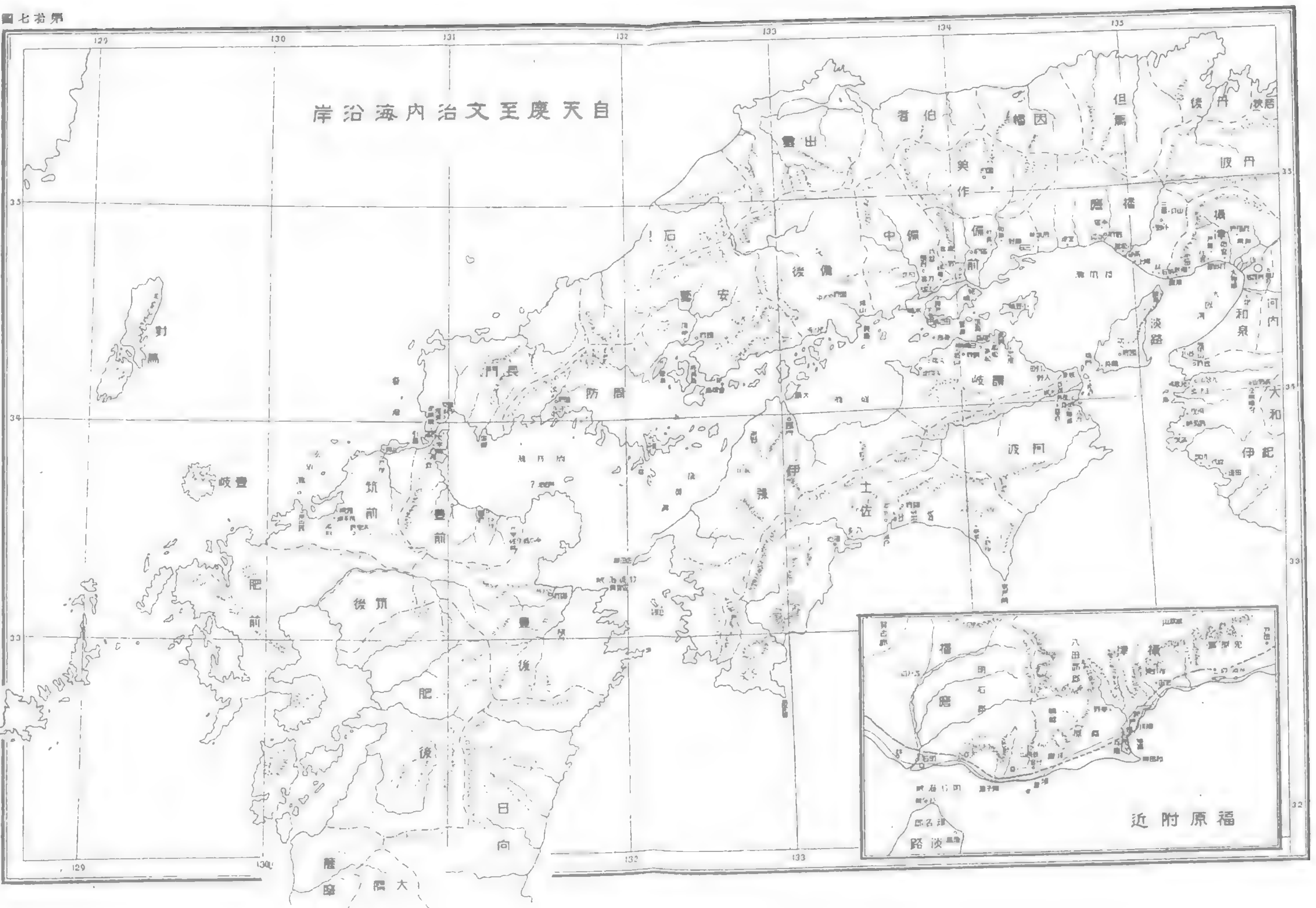


第五拾圖

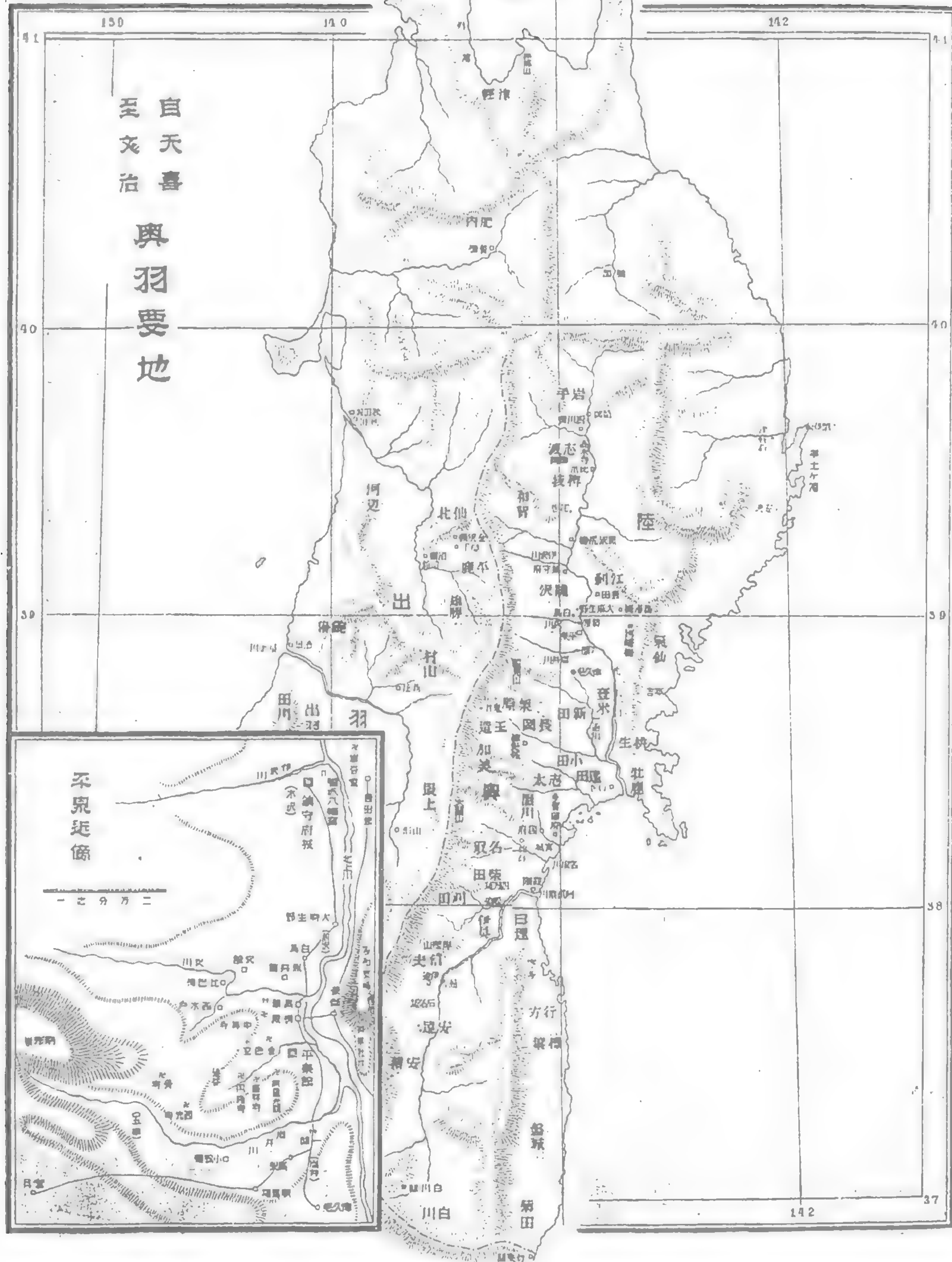

蝦夷征討
渡島
出羽
陸奥
佐渡
越後
越中
信濃
上野
下野
常陸
138
139
140
141
142
41
40
39
38
37
36



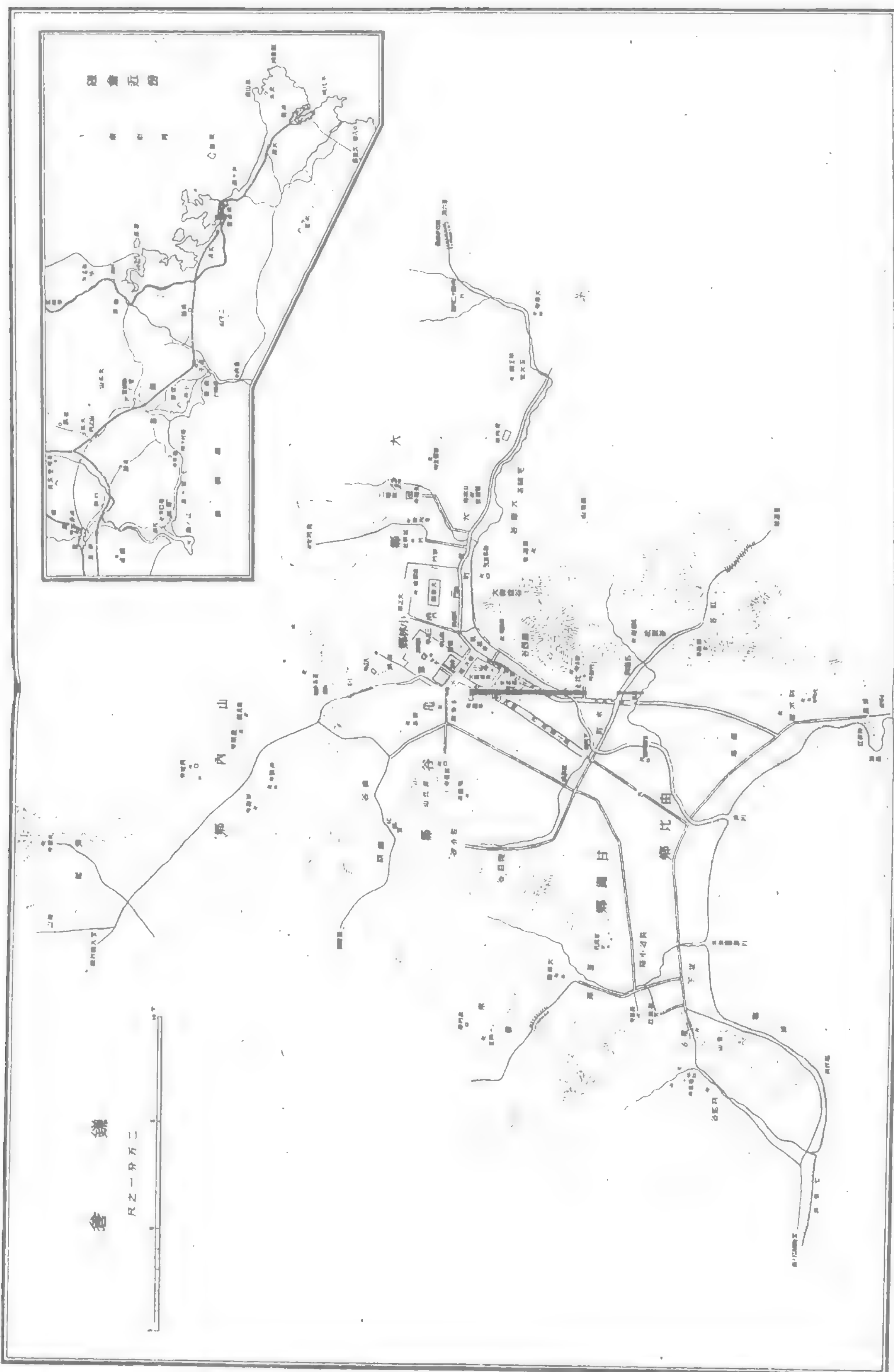
第六圖

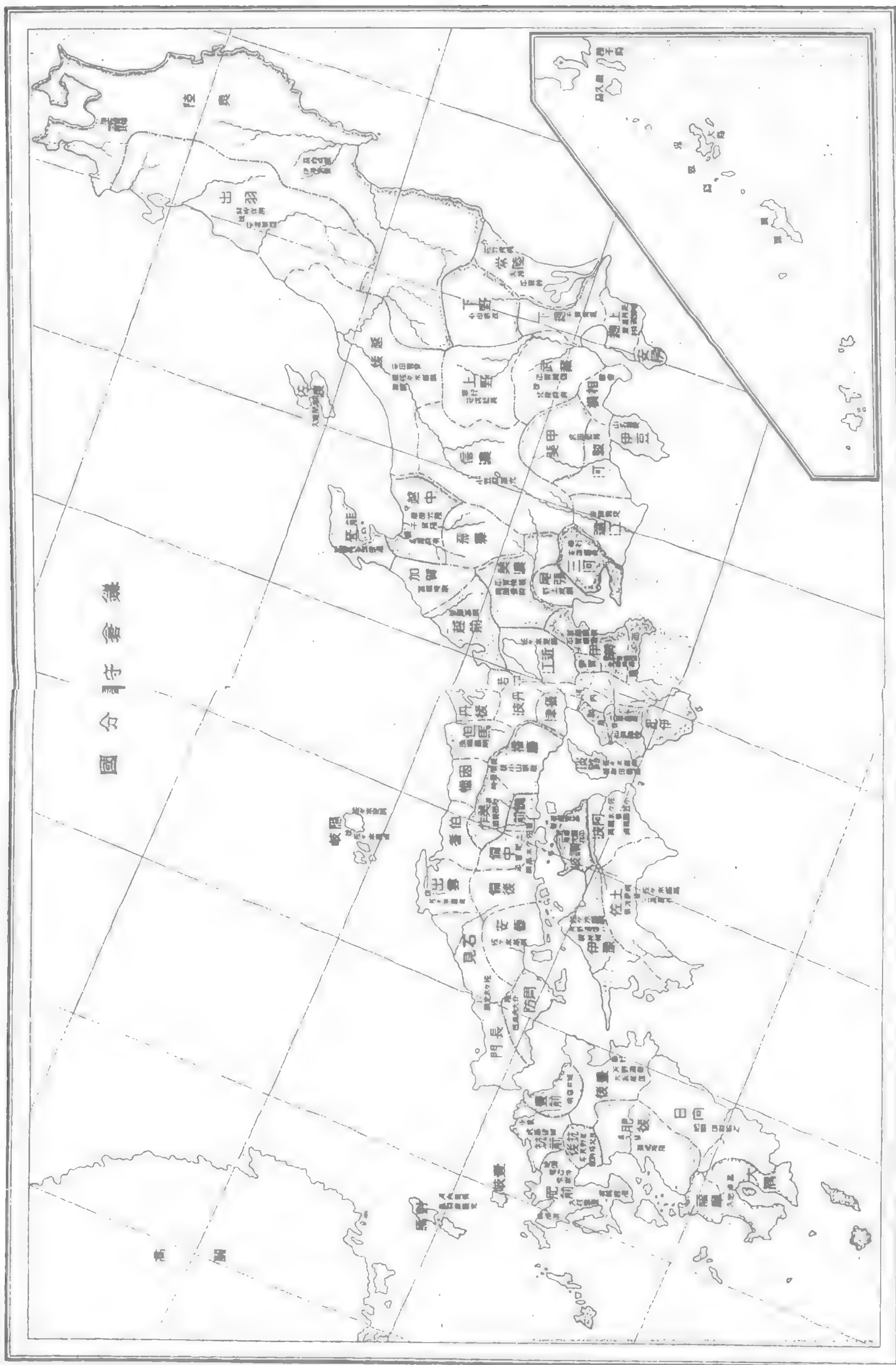

自天慶至文治内海沿岸
出雲
伯耆
因幡
但馬
丹後
丹波
美作
播磨
摂津
備中
備前
備後
安藝
石見
長門
周防
讃岐
阿波
土佐
伊豫
淡路
和泉
河内
大和
紀伊
筑前
豊前
筑後
肥前
豊後
肥後
日向
大隅
薩摩
壹岐
對馬
福原附近

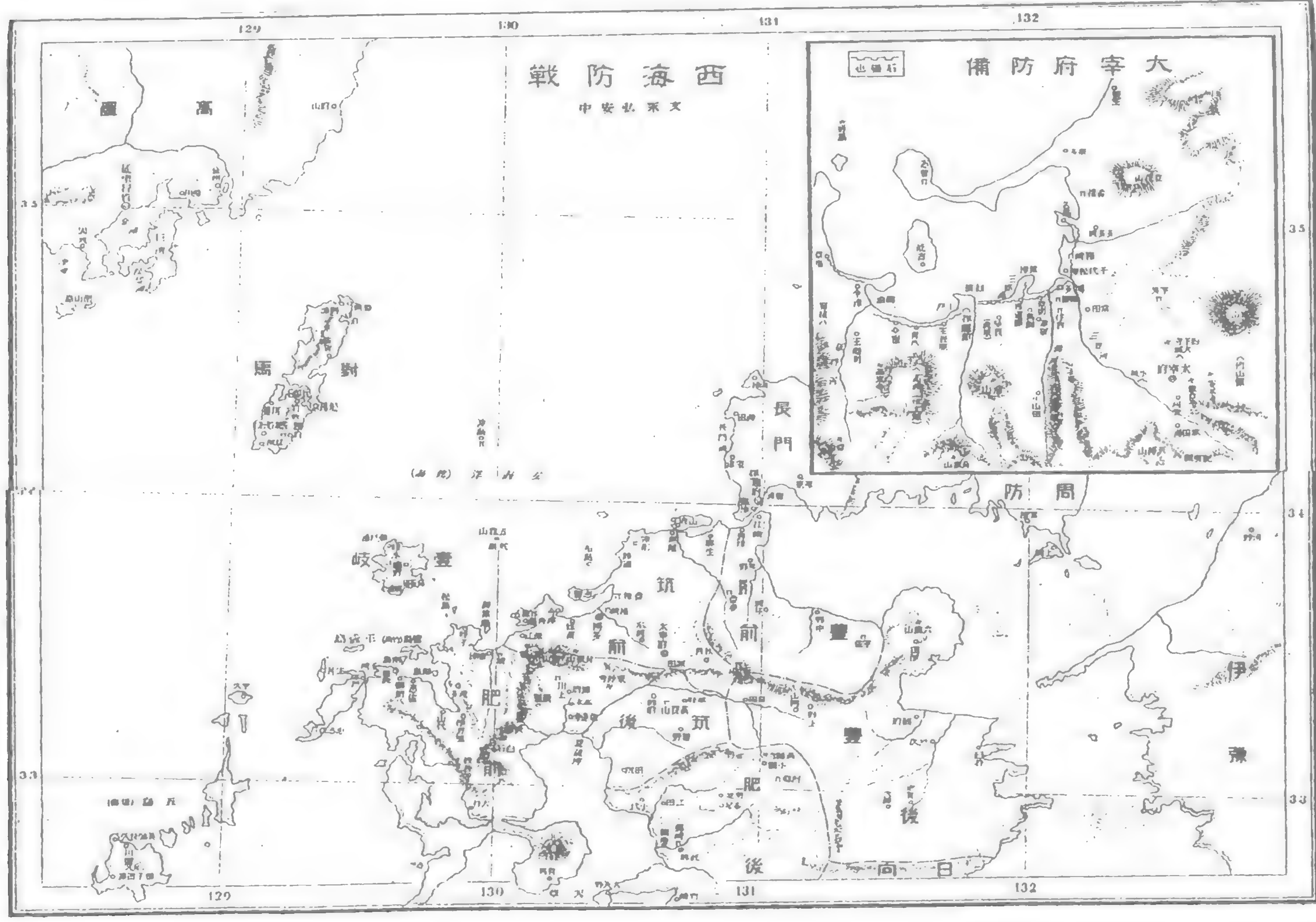
第拾八圖

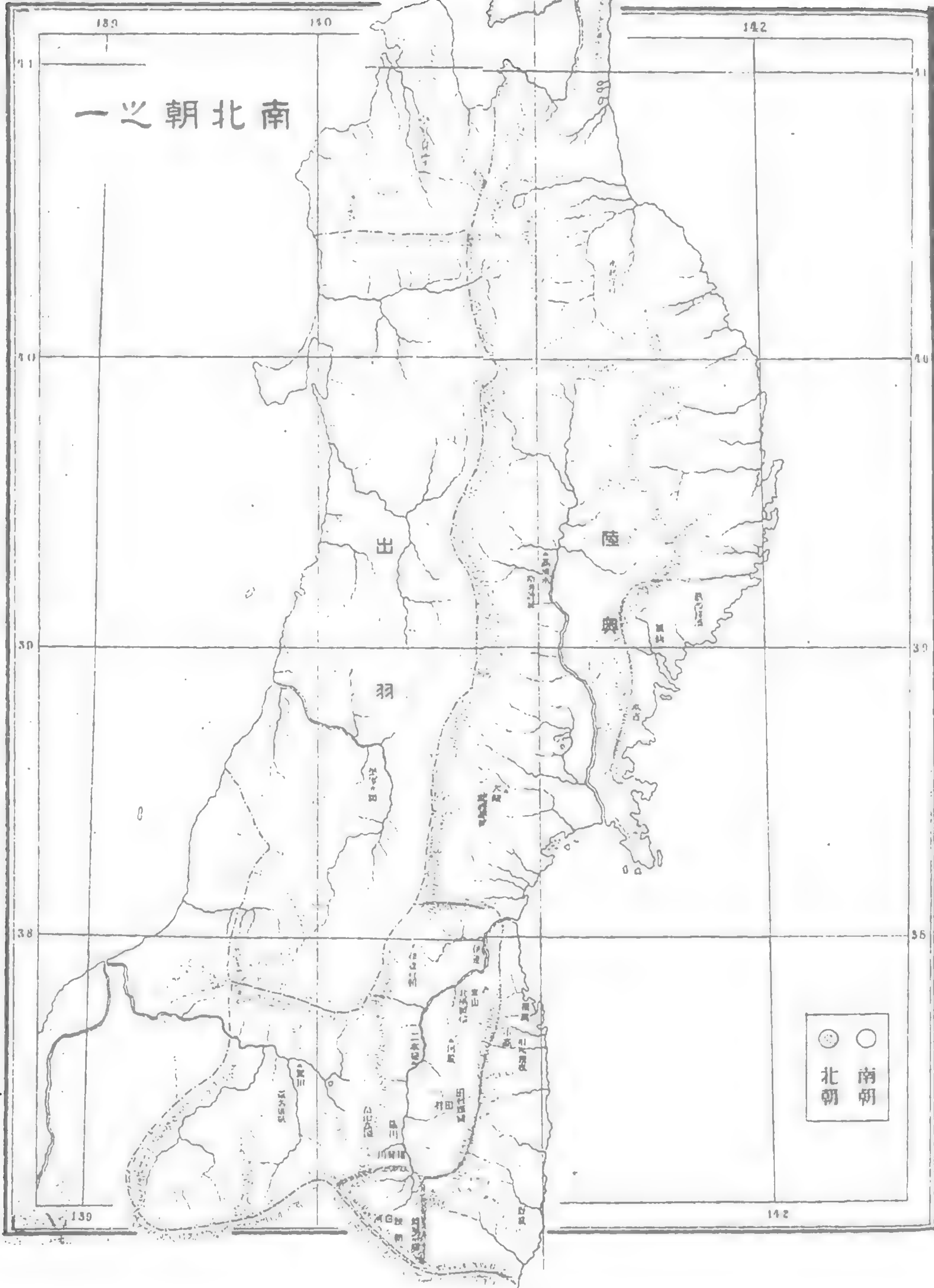

自天喜
至文治
奥羽要地
平泉近傍
出羽
陸奥
陸
出
津軽
比内
仙北
平鹿
雄勝
村山
最上
置賜
田川
出羽
安達
安積
白川
菊田
磐城
行方
標葉
宇多
伊具
亘理
名取
柴田
刈田
宮城
黒川
加美
玉造
長岡
志田
遠田
小田
新田
登米
桃生
牡鹿
気仙
江刺
胆沢
和賀
稗貫
斯波
岩手
平泉館
衣川
140
142
41
40
39
38
37

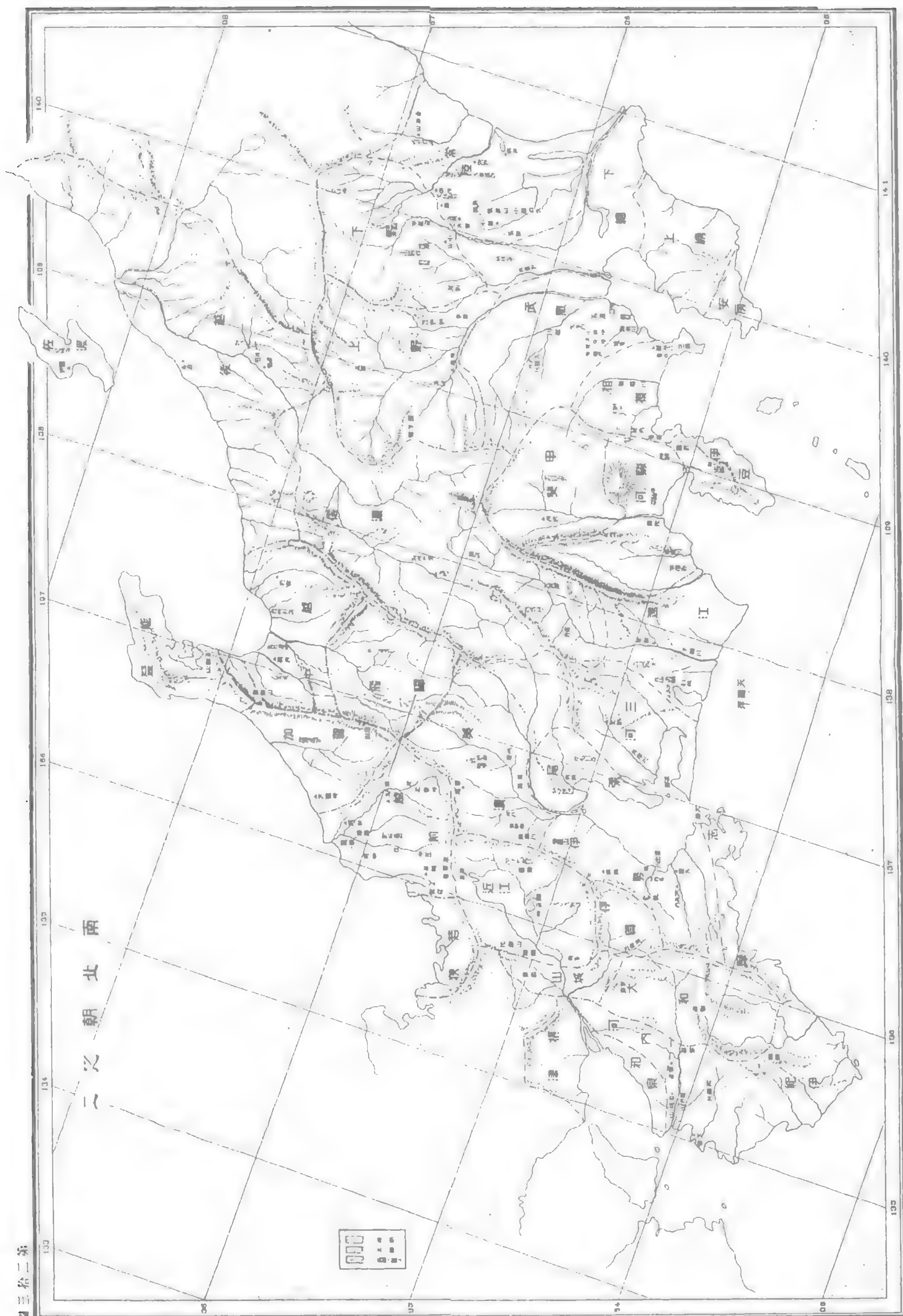
京都及伏見
自延暦至天正
京
都
伏見

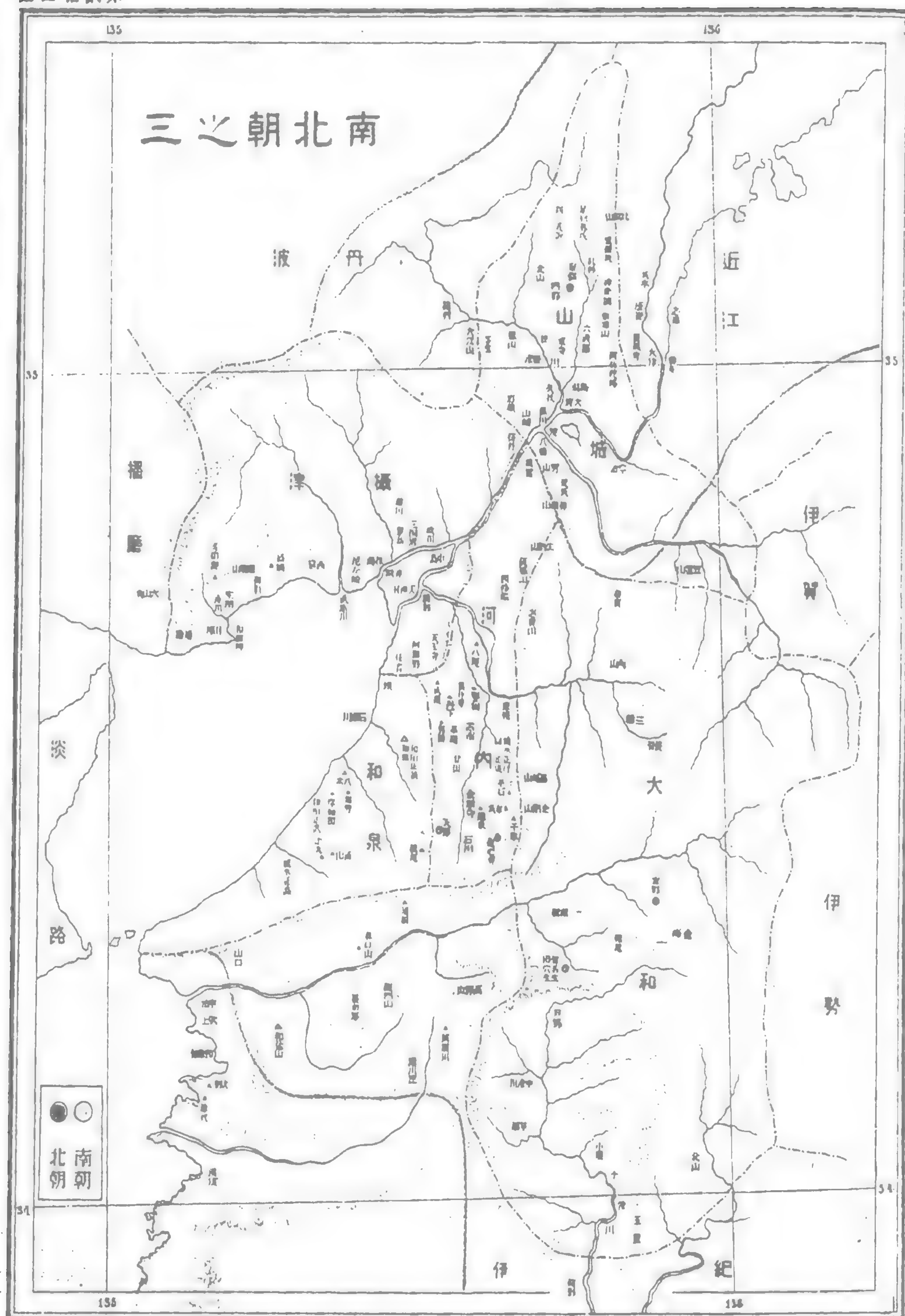


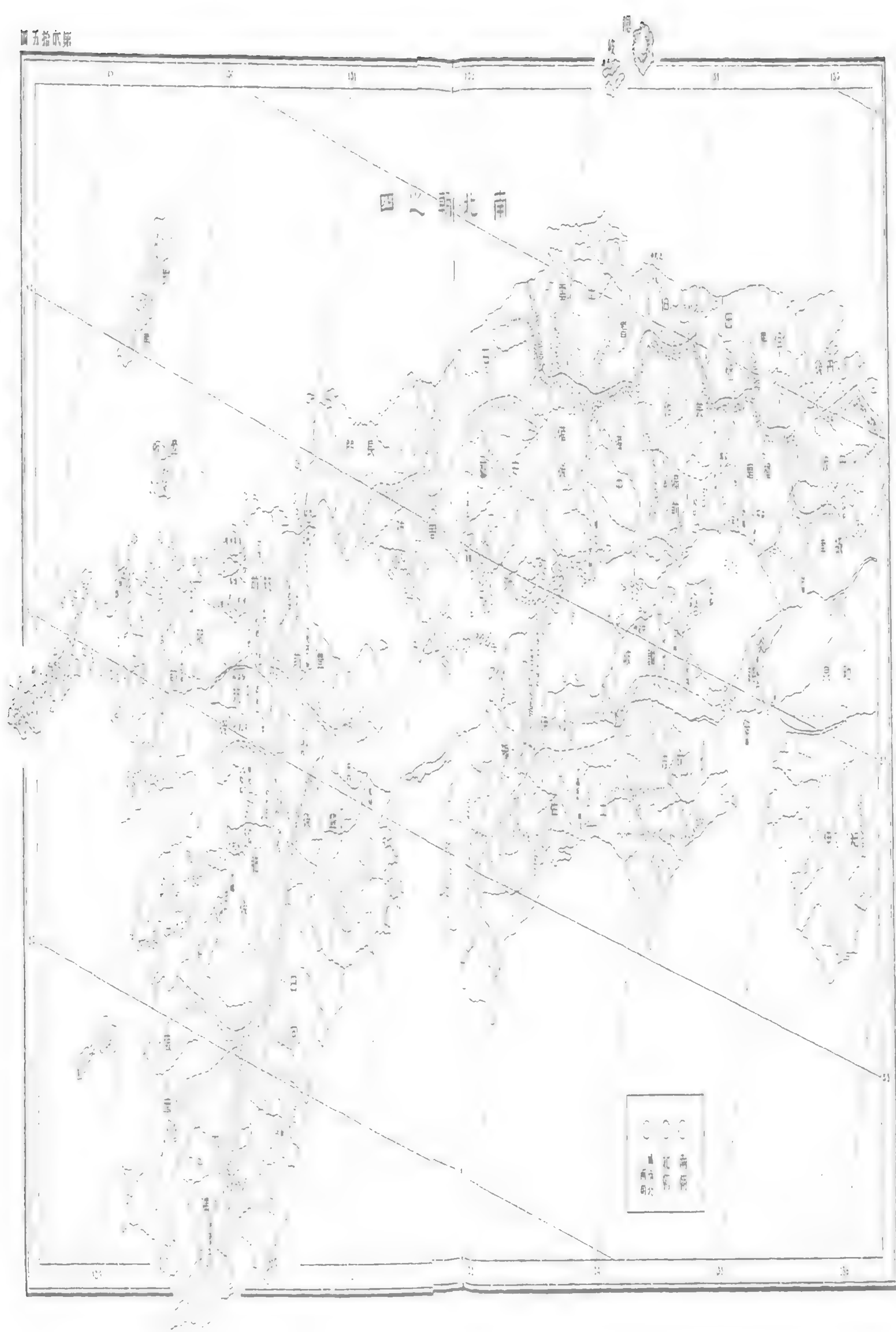



西海防戦
文永弘安中
大宰府防備
高麗
對馬
壹岐
長門
周防
筑前
肥前
豊前
筑後
肥後
豊後
日向
伊豫


南北朝之一
出羽
陸奥
南朝
北朝

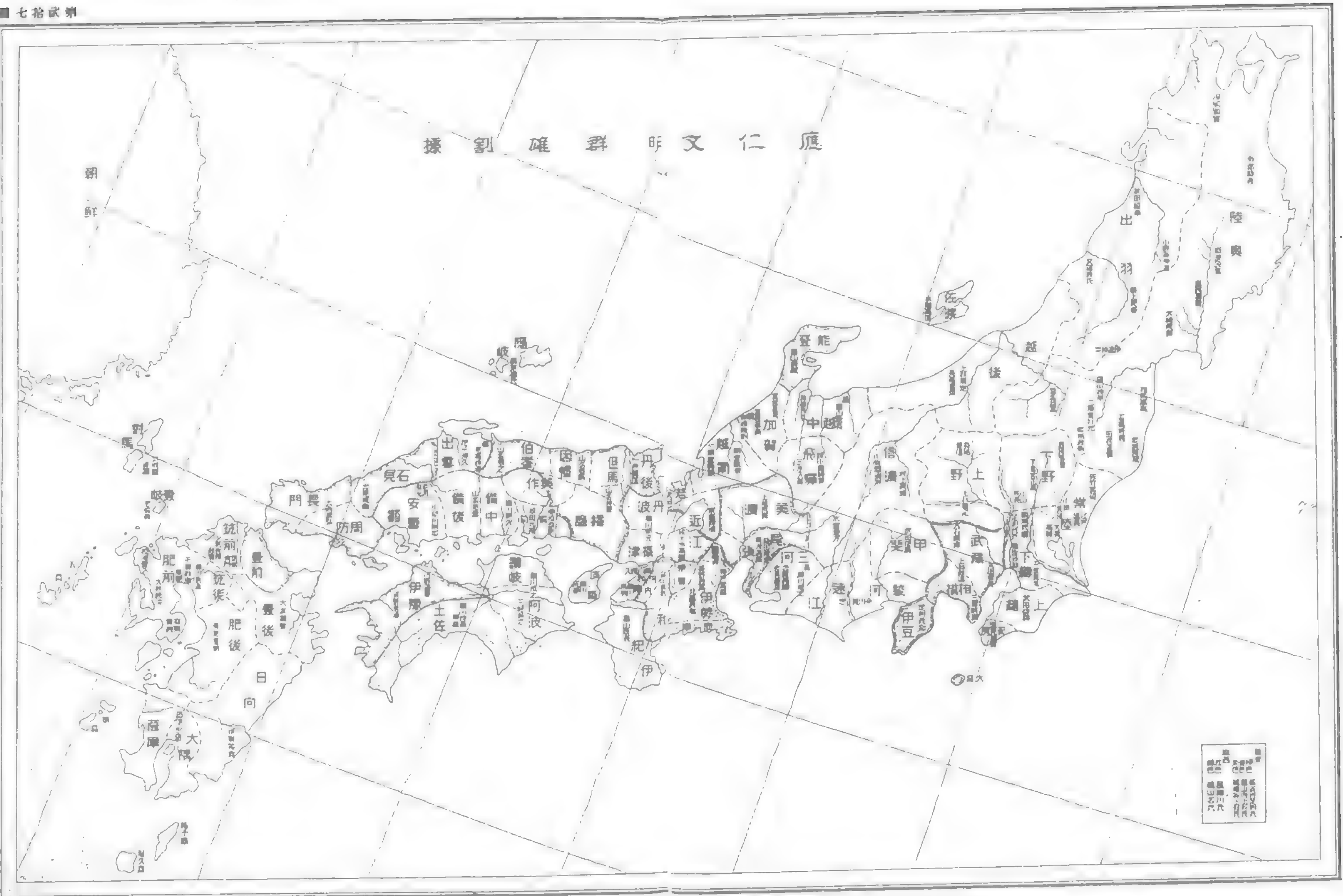

南北朝之二
第二拾三圖


南北朝之三
丹波
山城
近江
攝津
播磨
河内
和泉
大和
伊賀
伊勢
淡路
紀伊
南朝
北朝

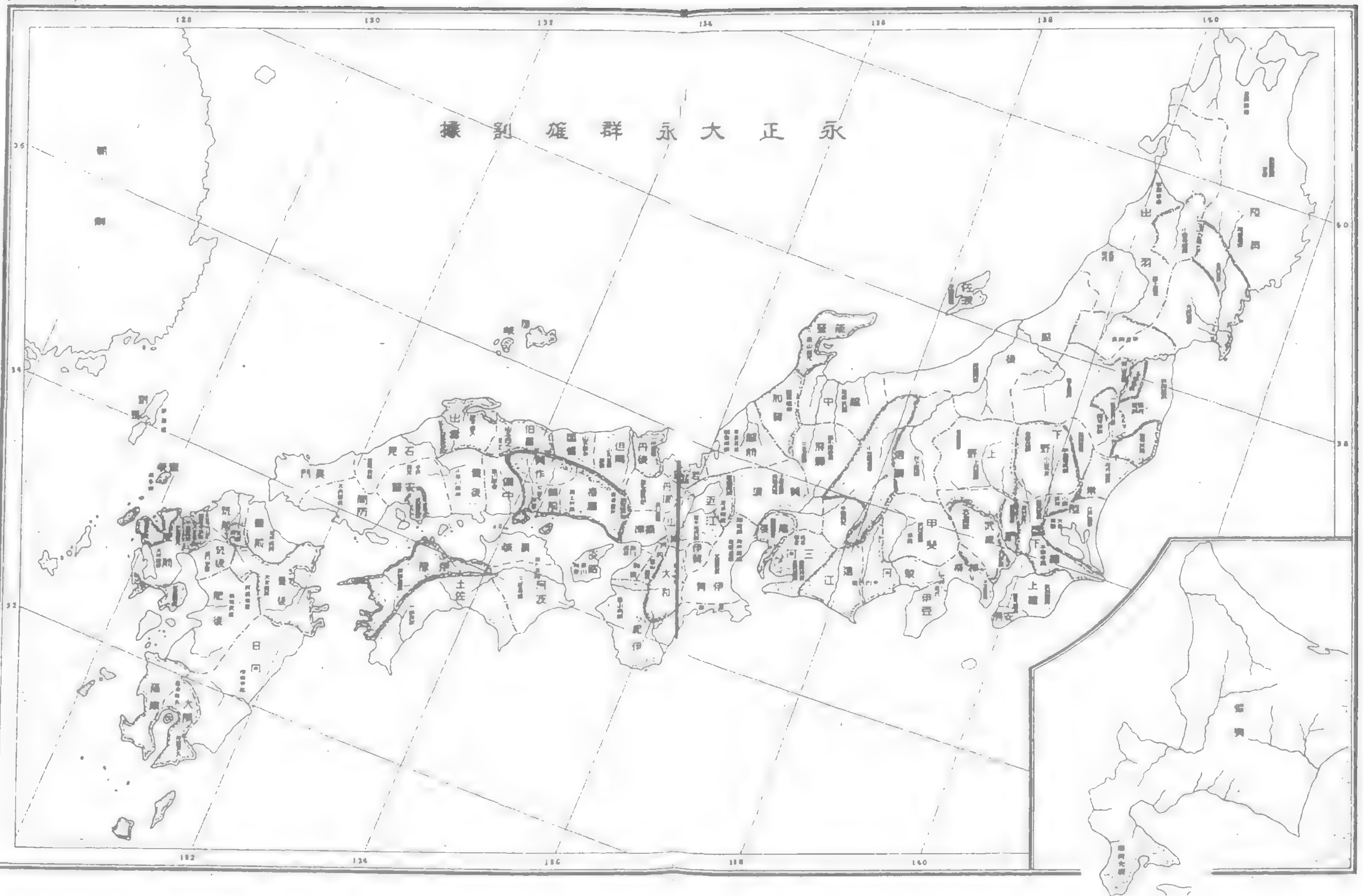

第六拾五圖
南北朝之四

第貳拾六圖

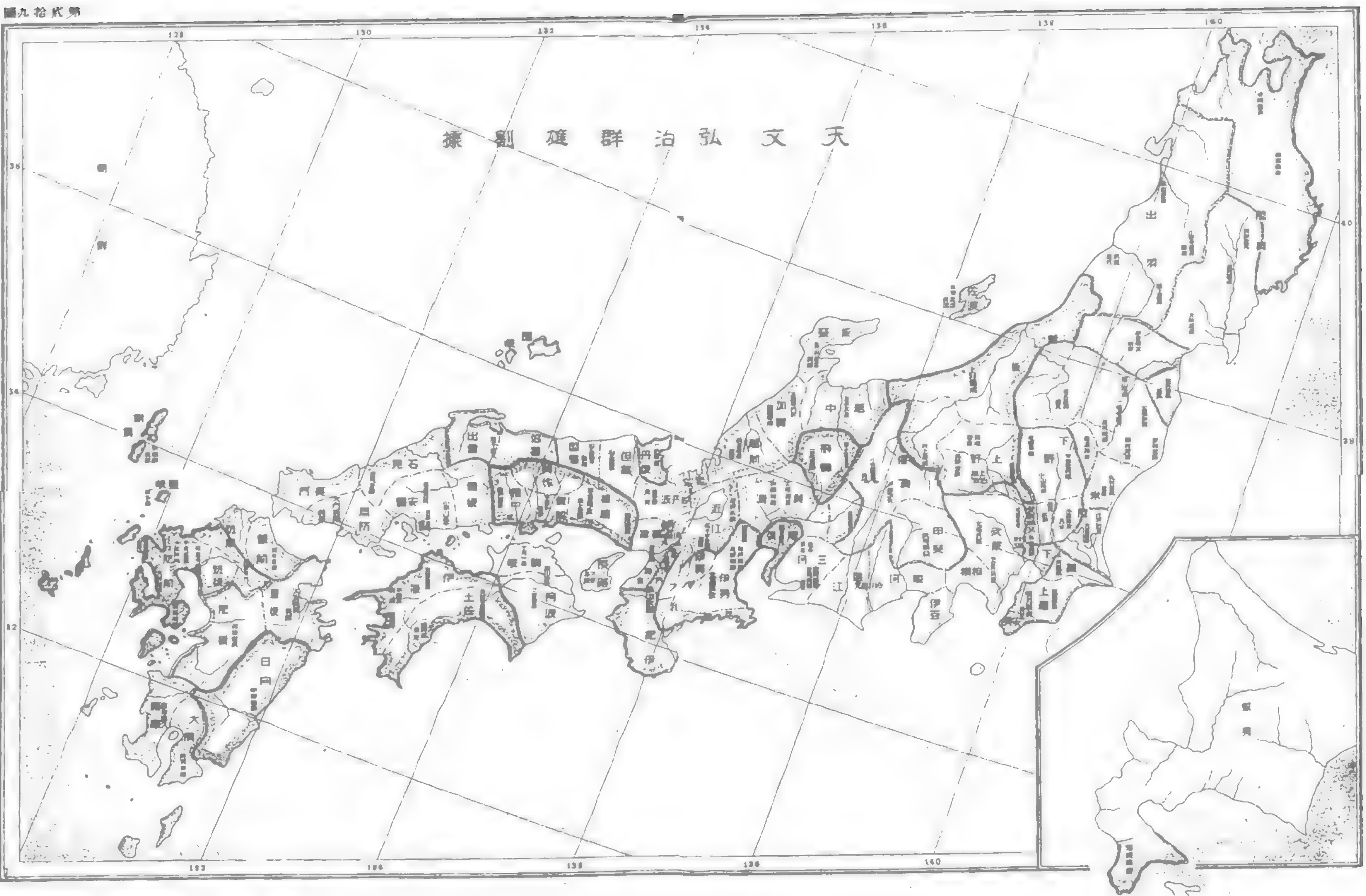
第貳拾七圖



第貳拾八圖



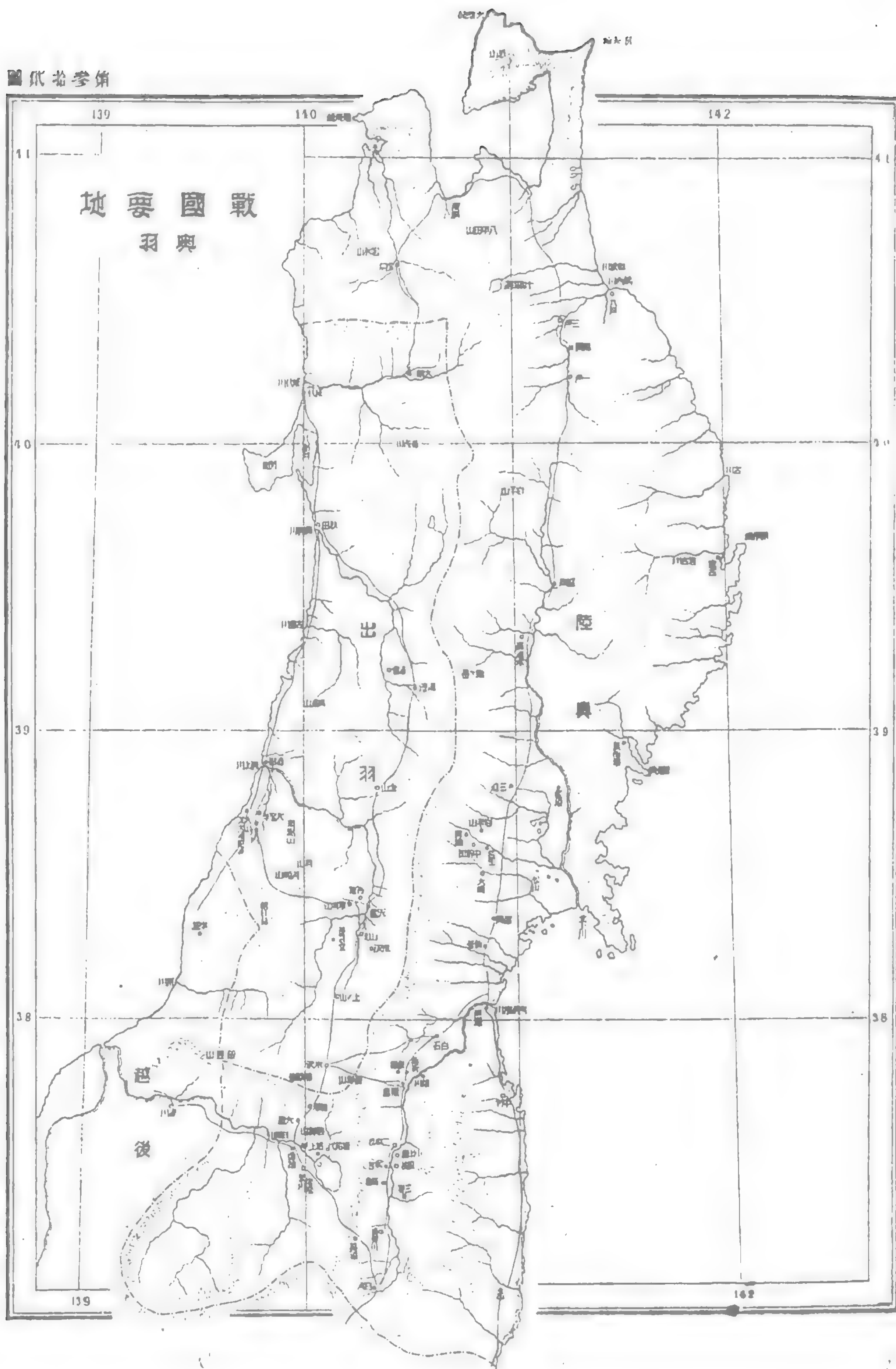
第弐拾九圖

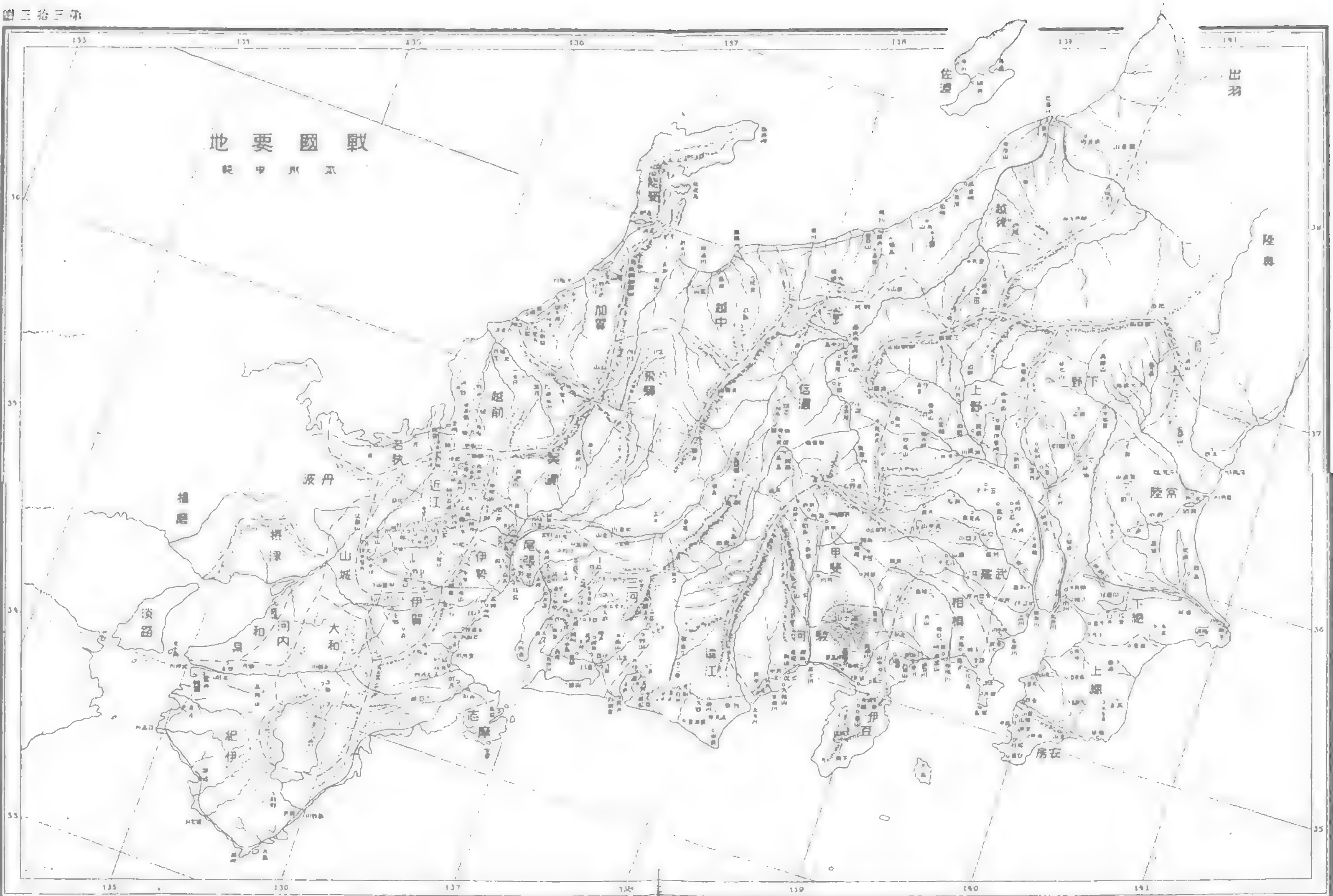


第參拾圖

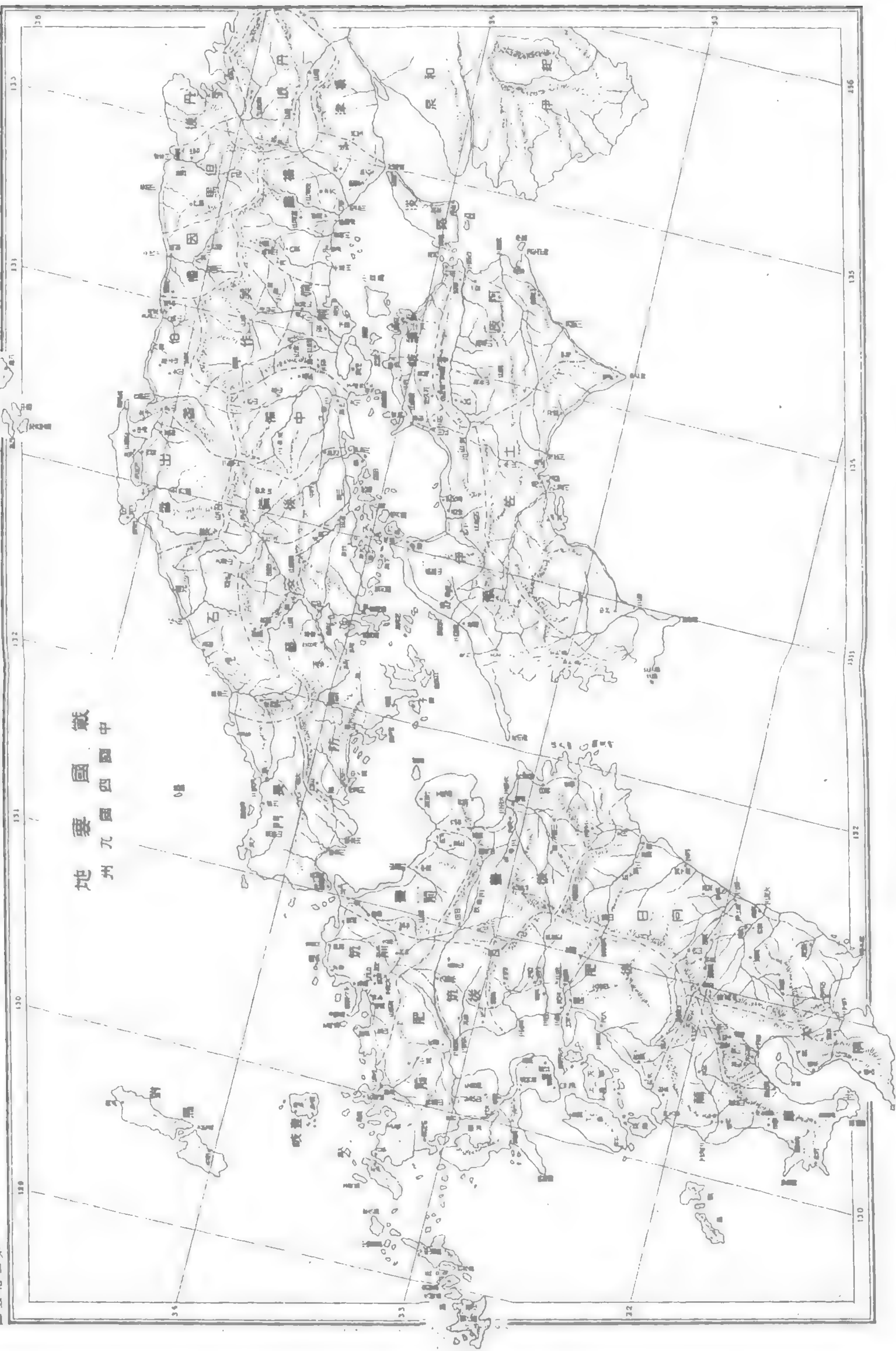
自天正二年至十年群雄割據

第參拾紙圖

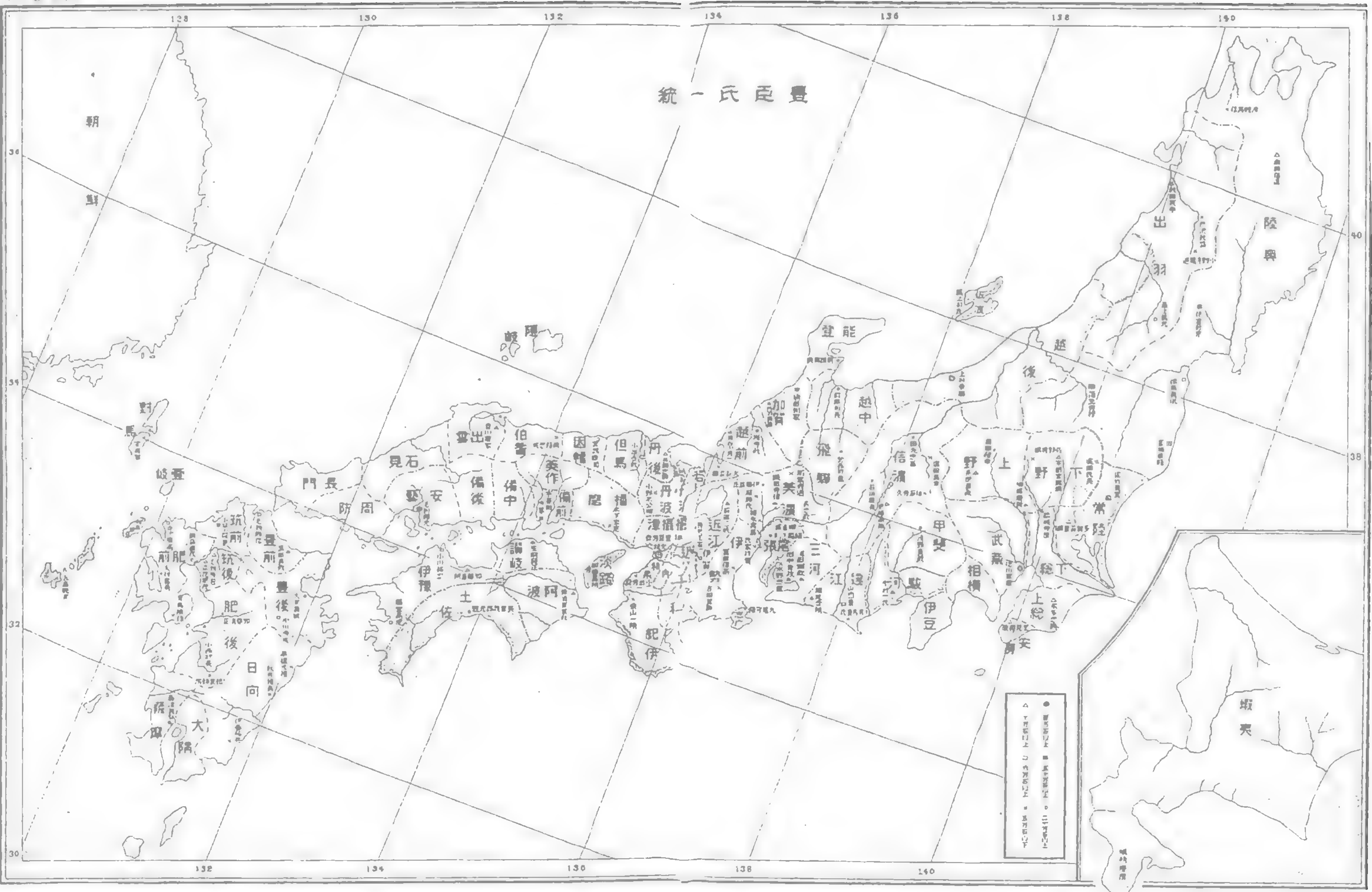


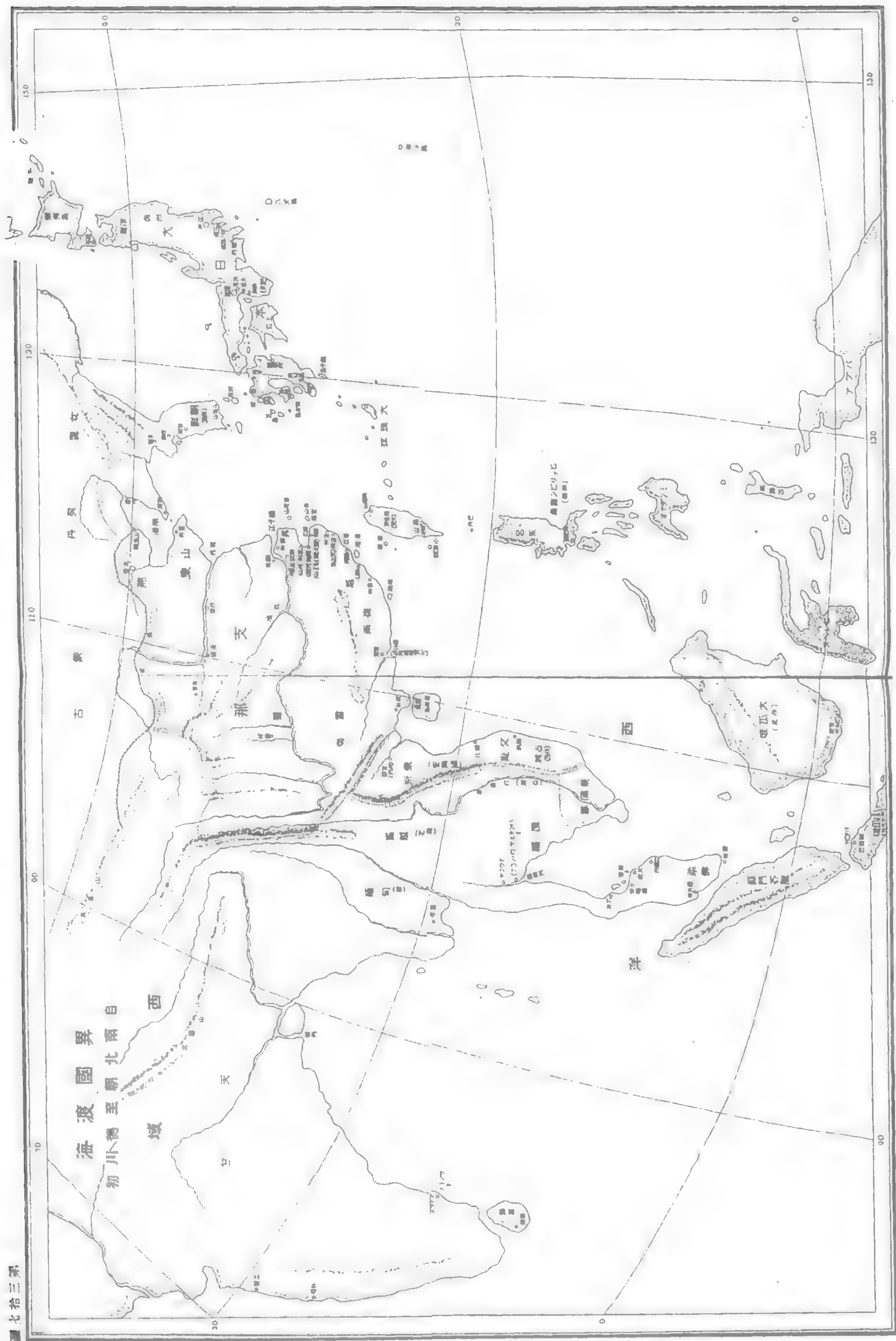

第三拾二圖
戰國要地
出羽
陸奥
佐渡
越後
上野
下野
常陸
武藏
相模
甲斐
駿河
伊豆
上總
下總
安房
信濃
越中
飛驒
能登
加賀
越前
若狹
美濃
尾張
三河
遠江
近江
伊勢
伊賀
志摩
山城
大和
丹波
攝津
河内
和泉
紀伊
淡路
播磨

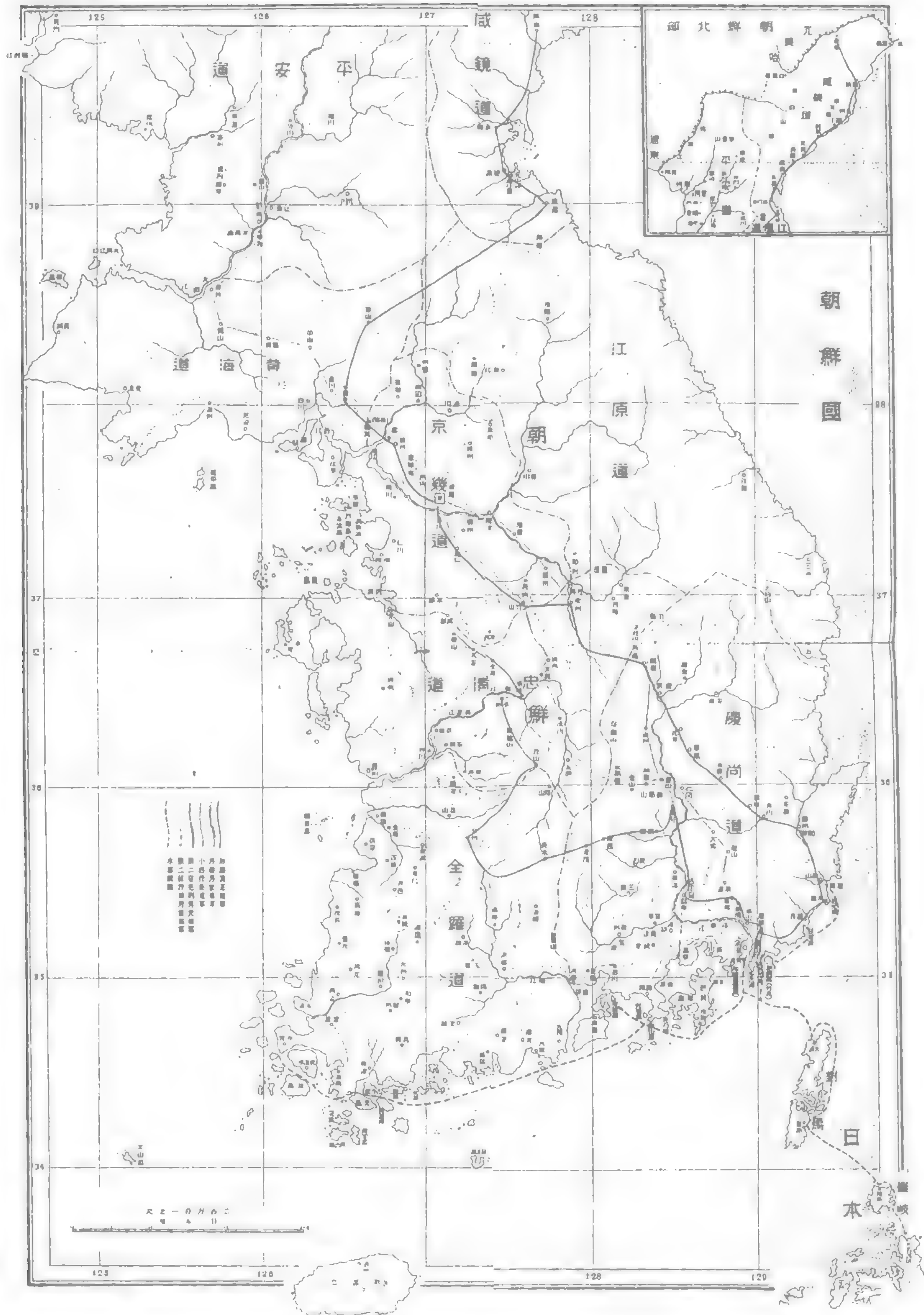
戰國要地
畿内
丹波
京都
近江
山城
攝津
播磨
伊賀
大和
淡路
和泉
河内
伊勢
紀伊
135
136
35
34

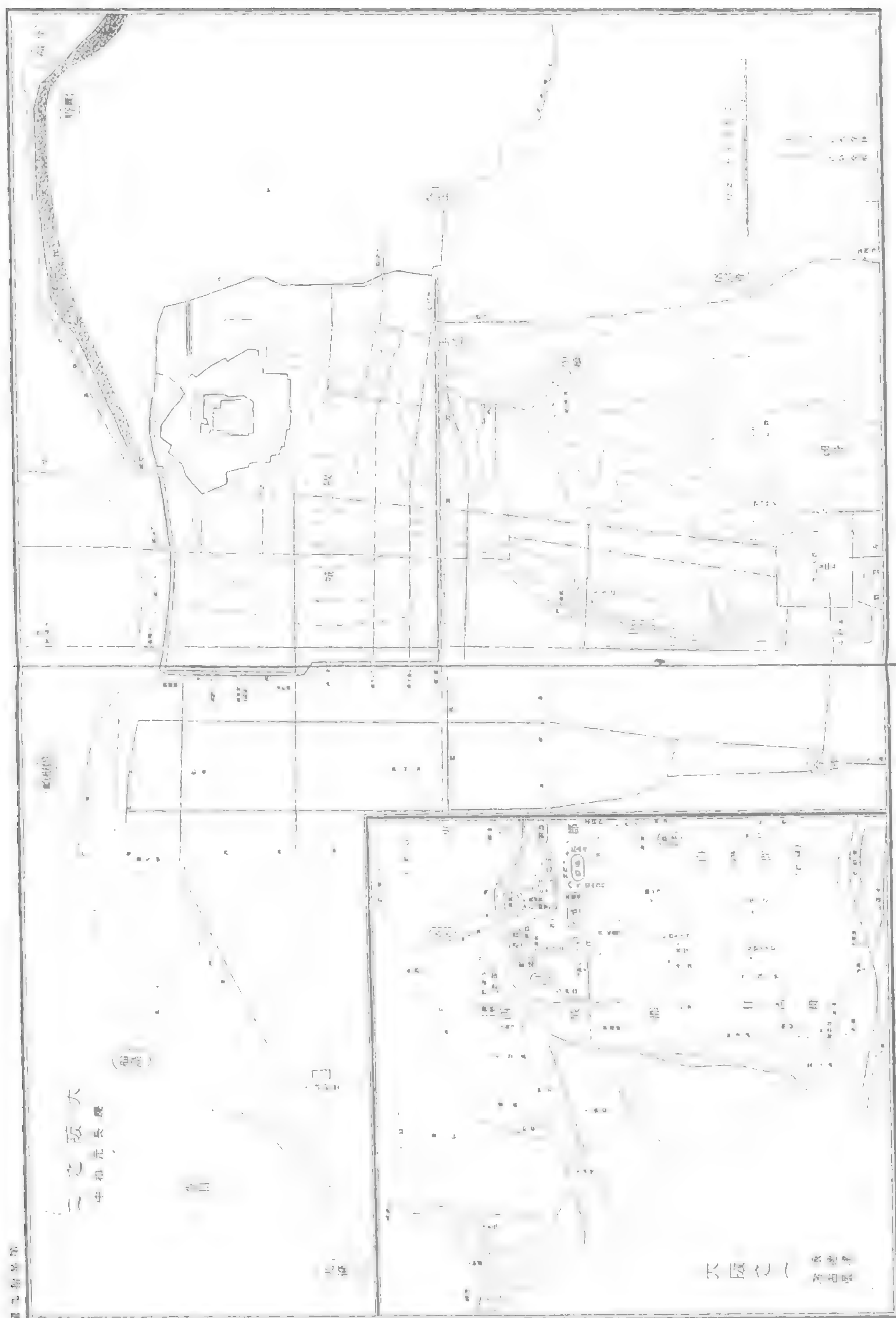

中國四國九州
第三拾五圖

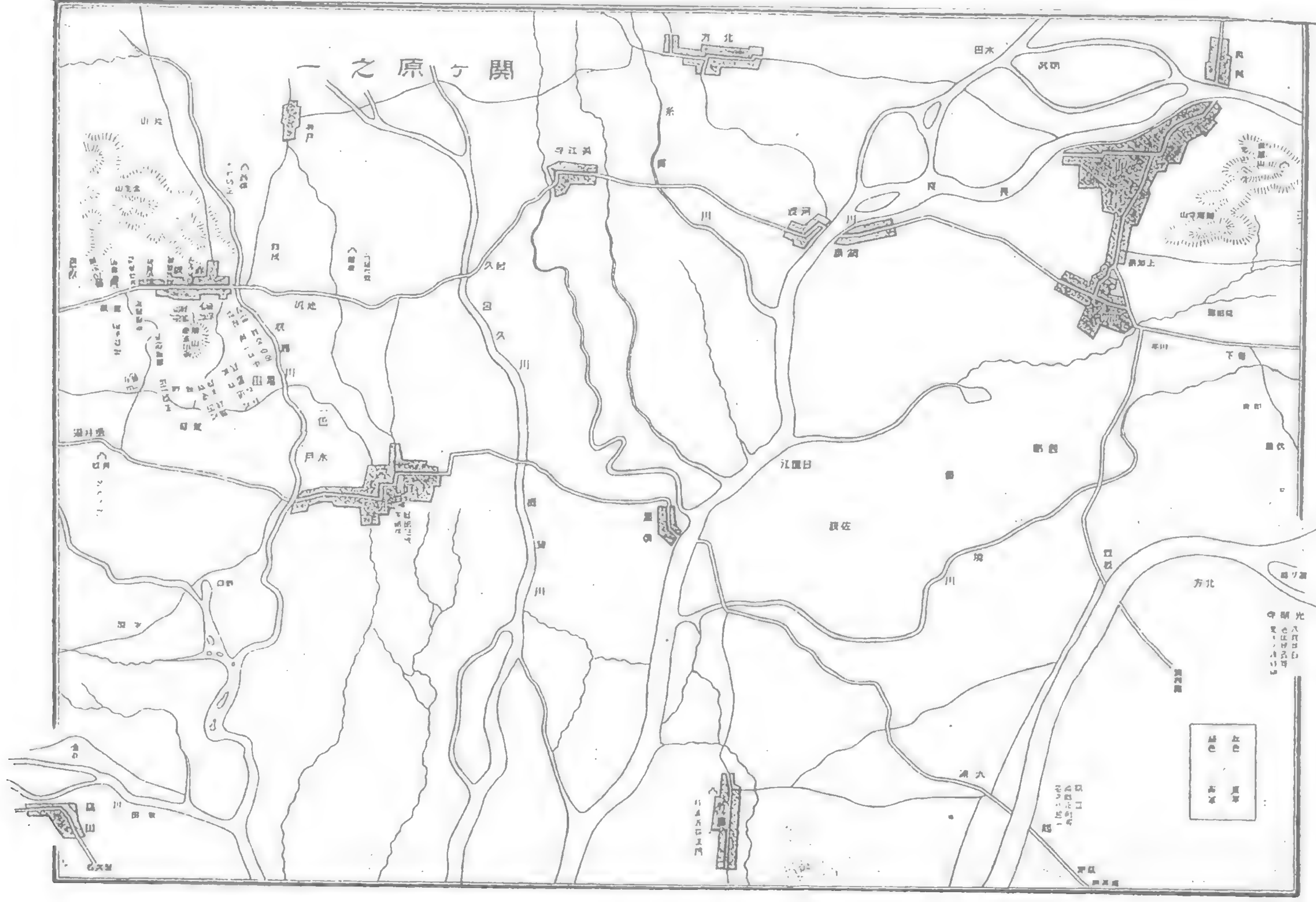
第參拾六圖

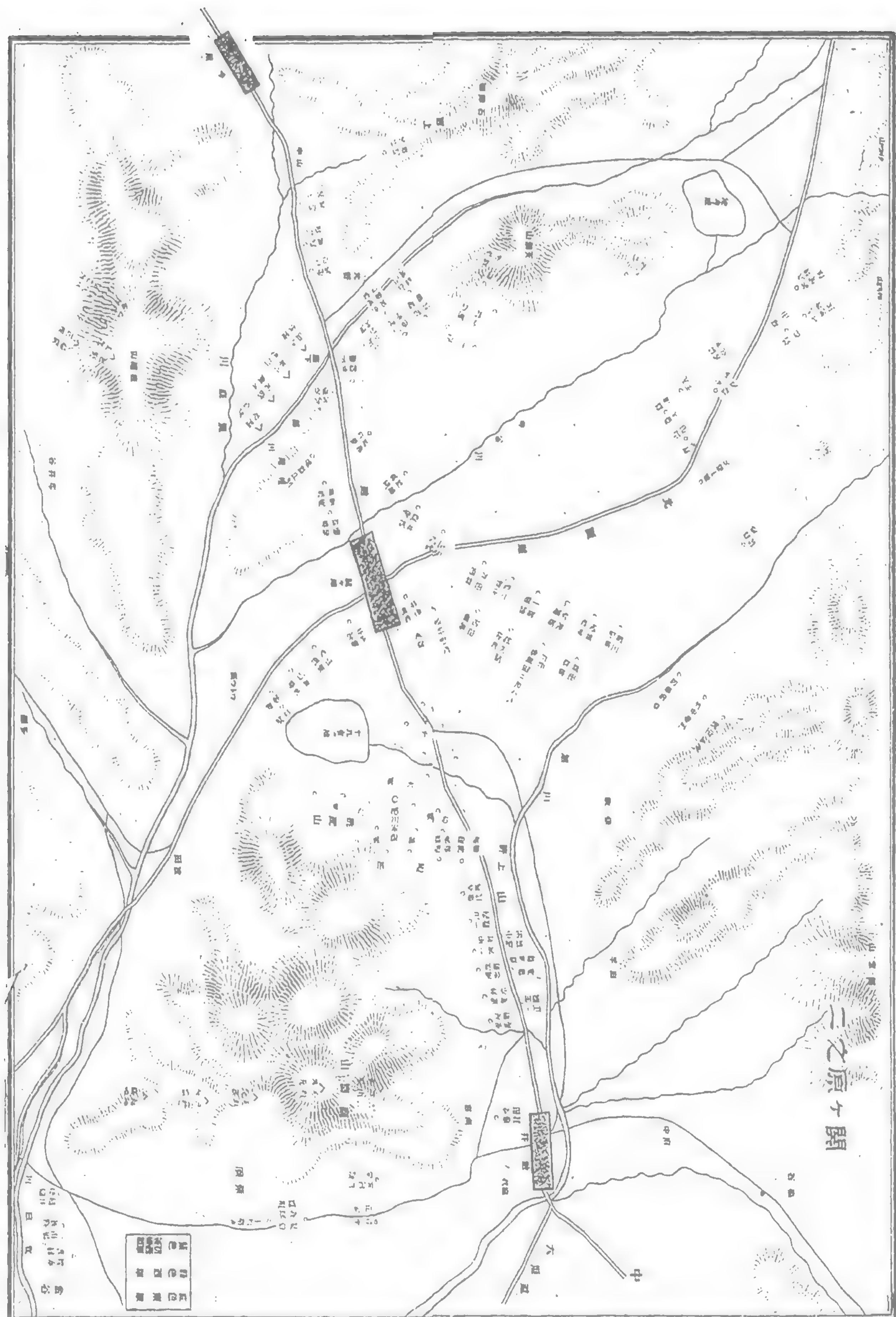


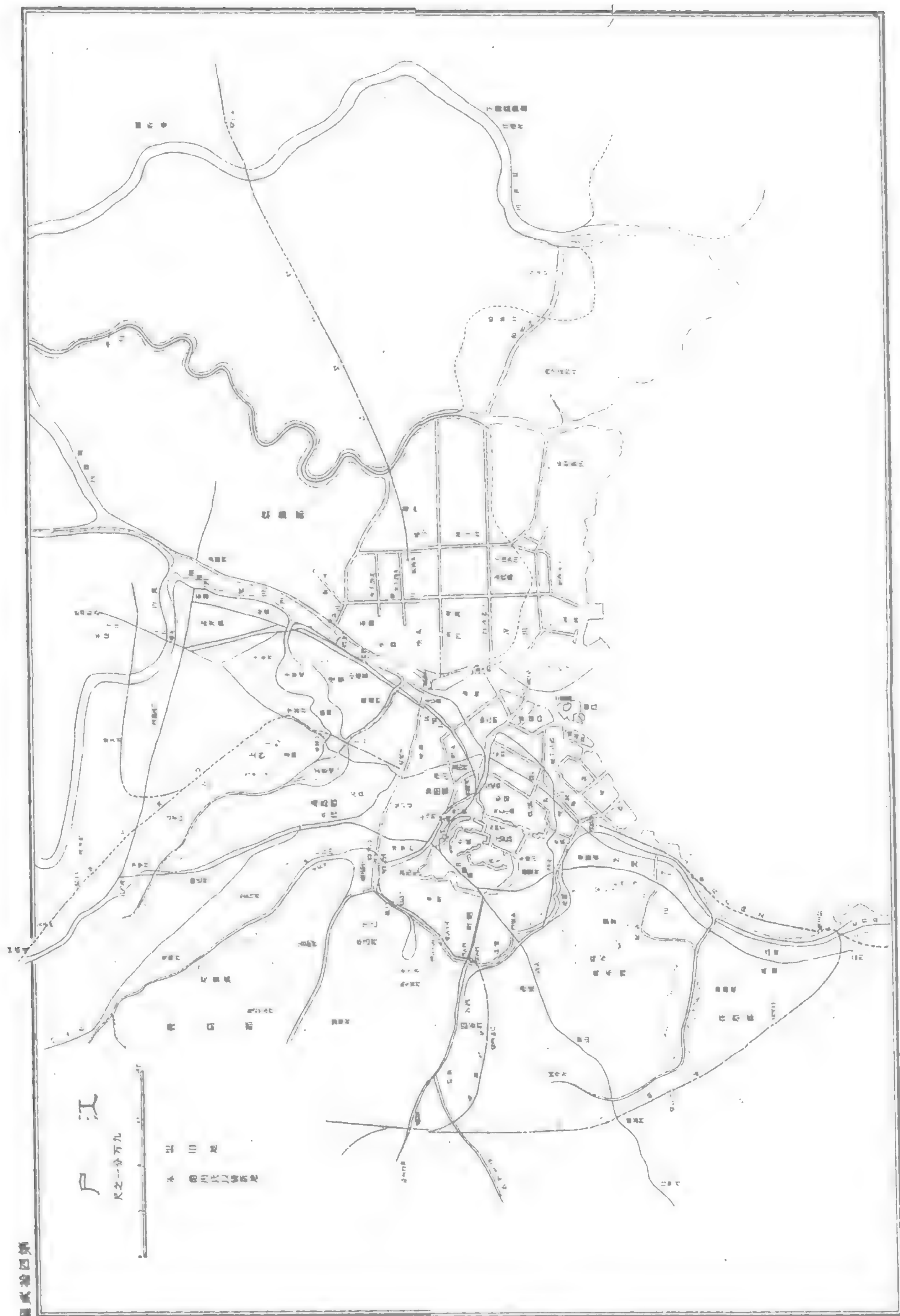



第三十八圖
朝鮮國
朝鮮北部
平安道
咸鏡道
黃海道
京畿道
江原道
忠清道
慶尚道
全羅道
朝
鮮
日本
對馬島
壹岐
125
126
127
128
129
38
37
36
35
34

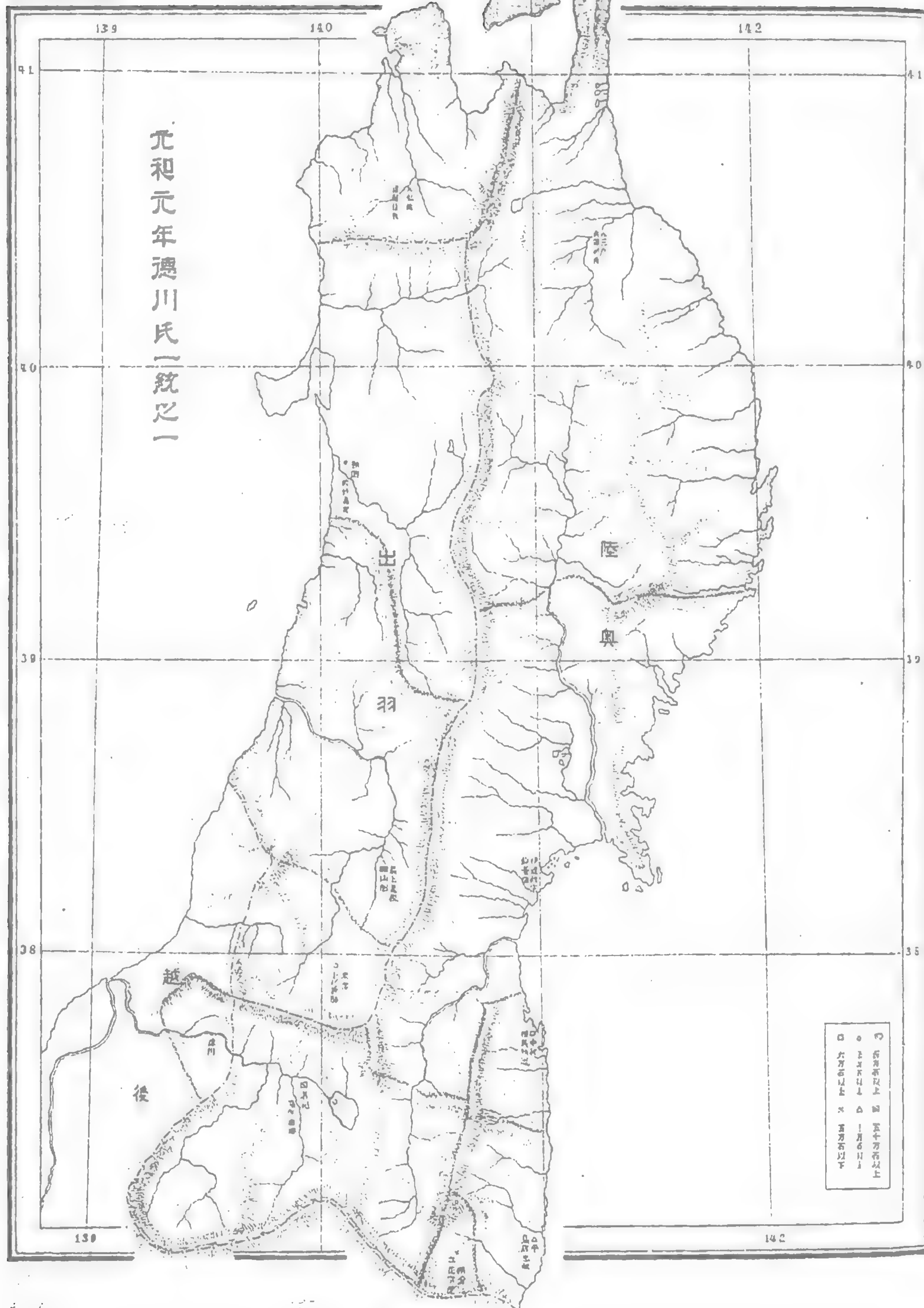


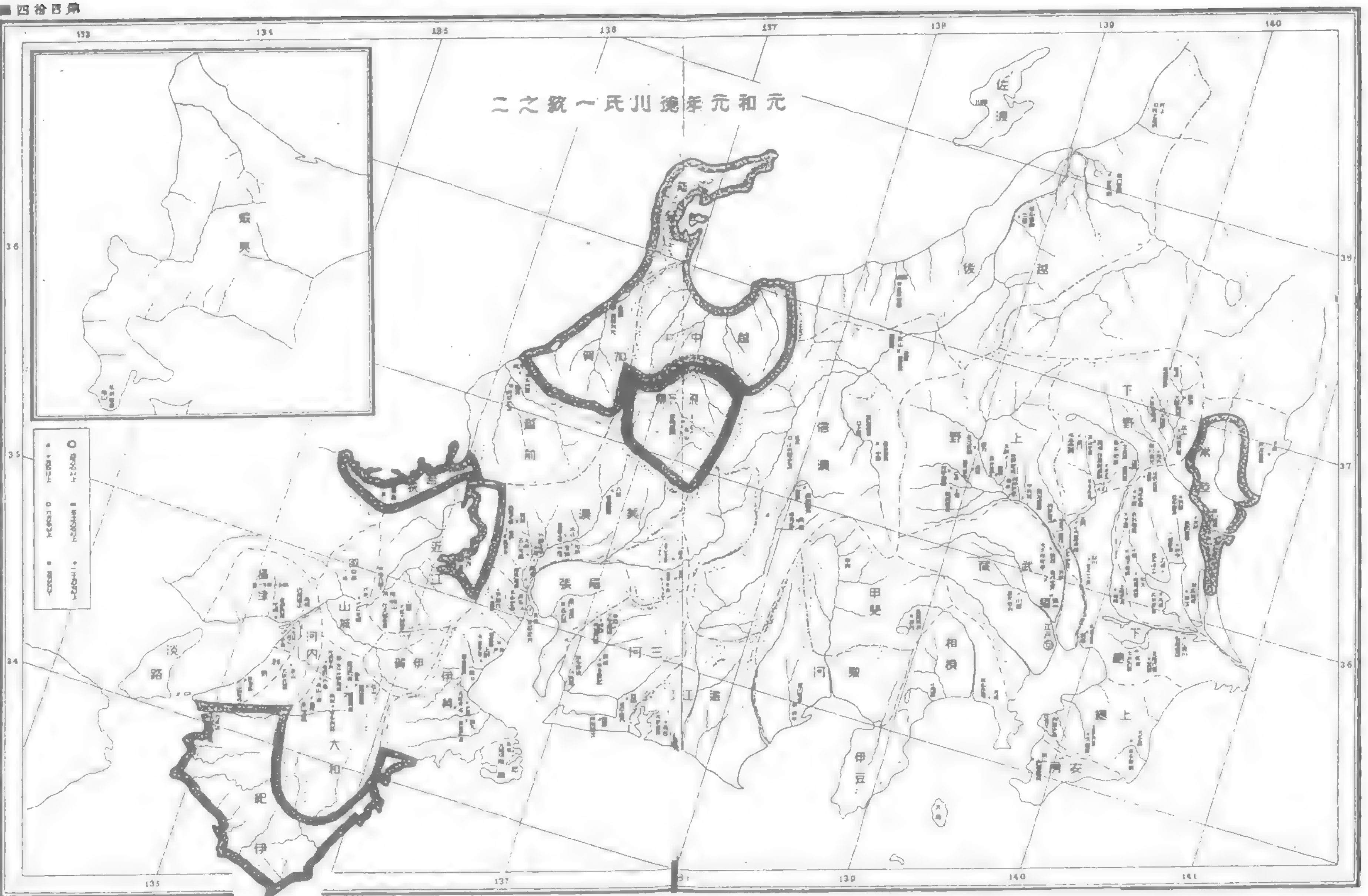

関ヶ原之一


關ヶ原之二


江戸

第四拾三圖

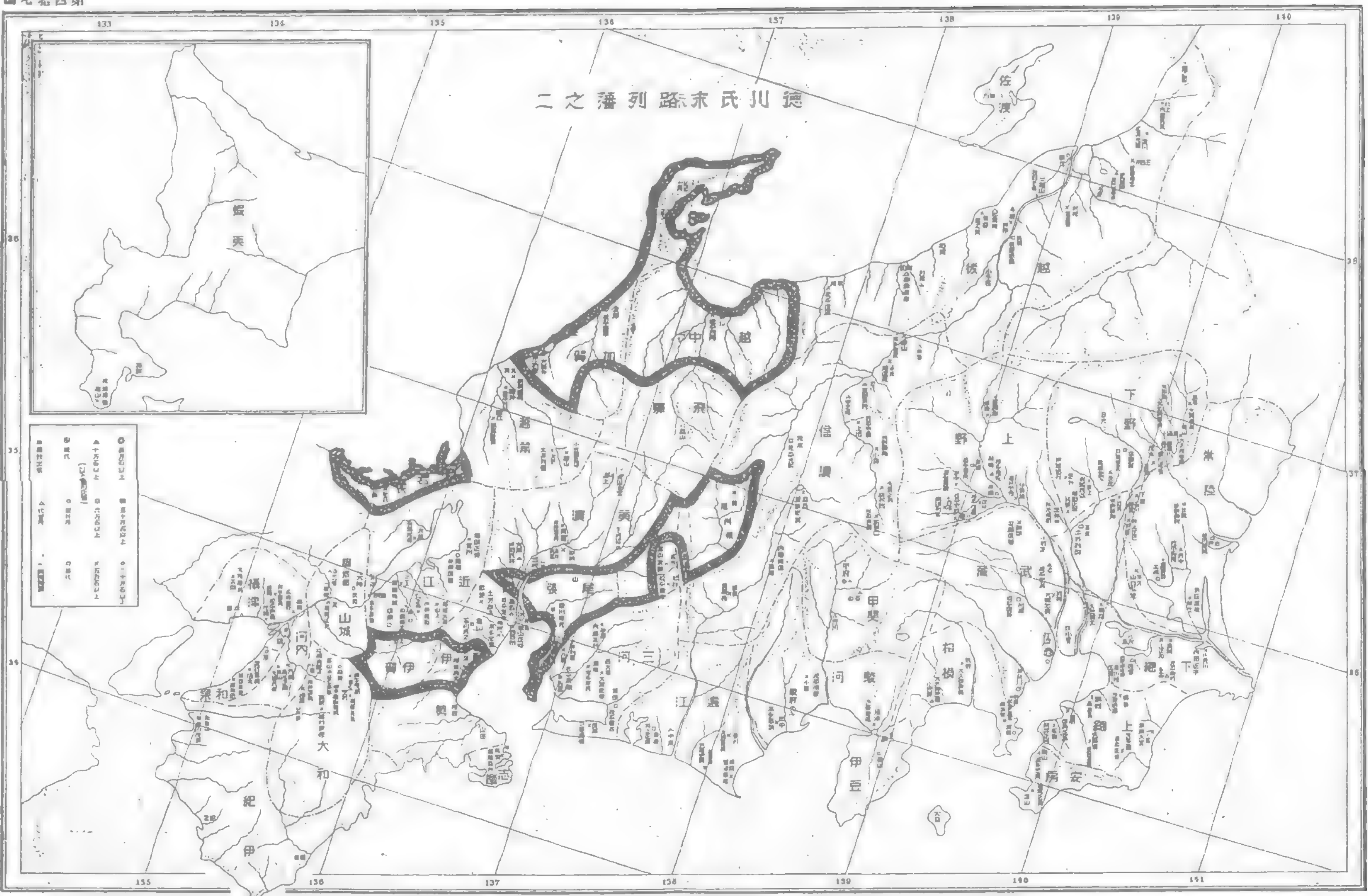


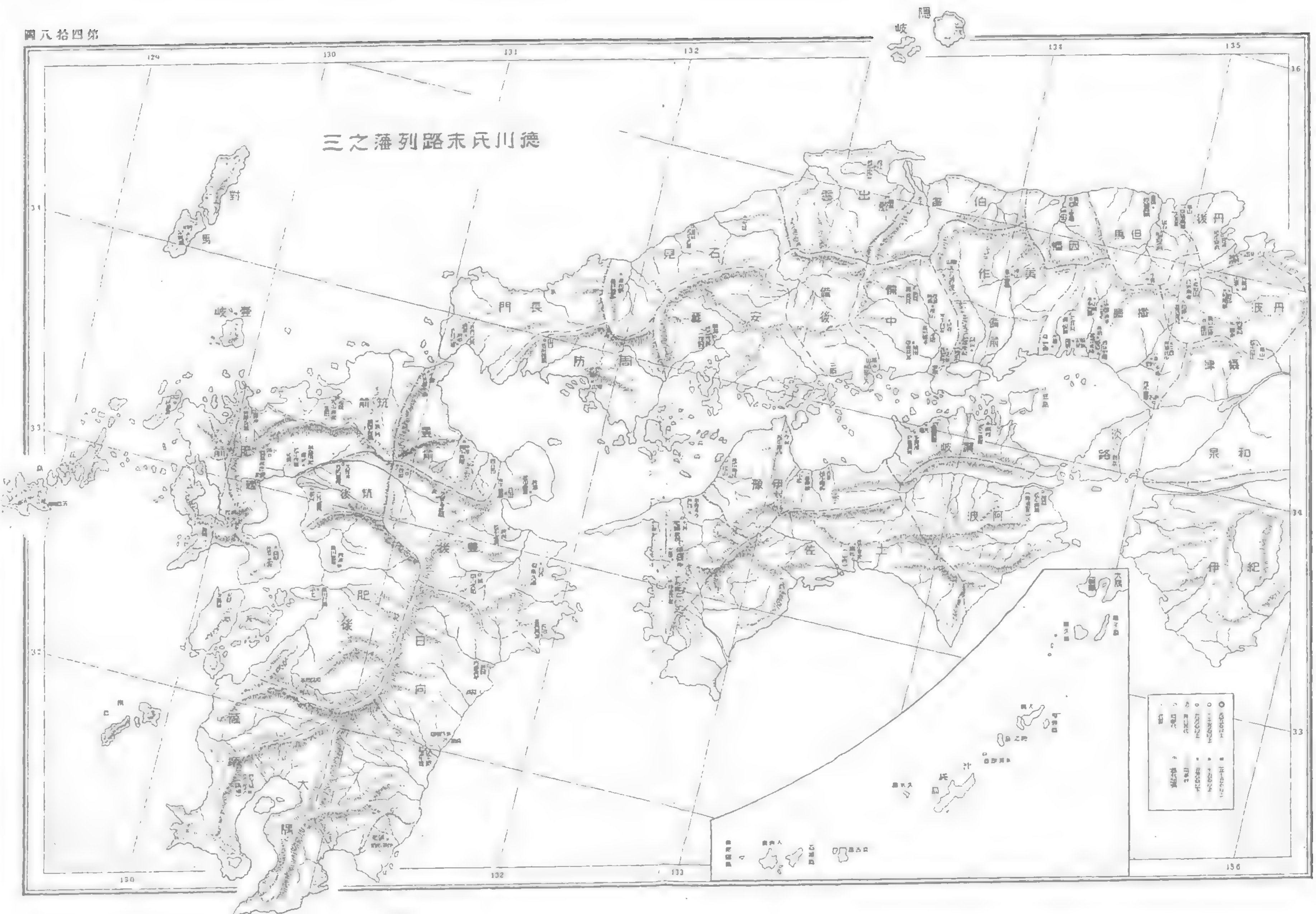

第四拾四
元和元年徳川氏一統之二
佐渡
越後
下野
上野
信濃
常陸
武蔵
甲斐
相模
駿河
伊豆
下総
上総
安房
遠江
三河
尾張
美濃
飛騨
越中
加賀
越前
近江
伊賀
伊勢
山城
河内
摂津
淡路
大和
紀伊

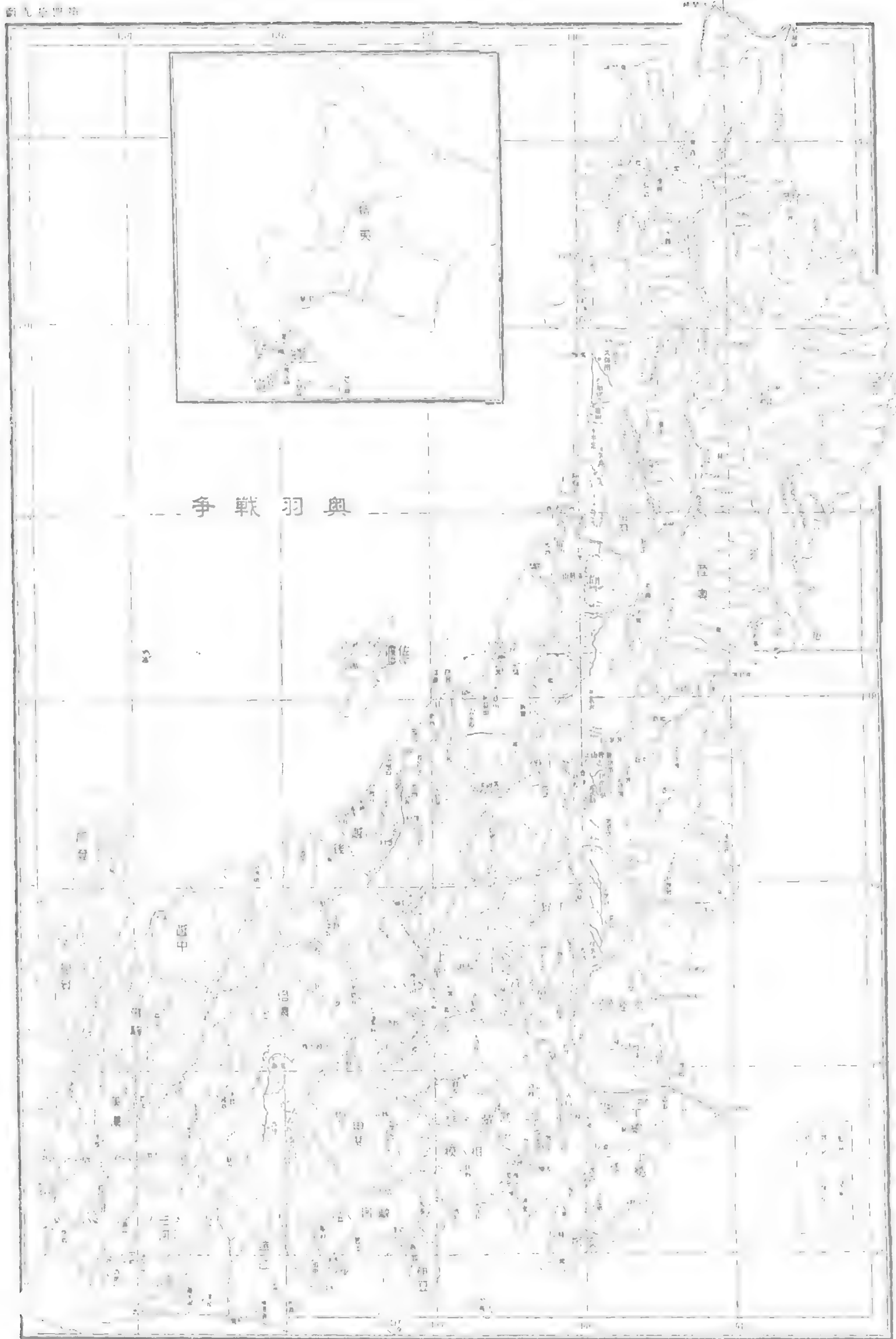
第四拾五圖
元和元年德川氏一統之三
隱岐
對馬
壹岐
長門
周防
石見
出雲
日向
和泉
淡路

第四拾六圖

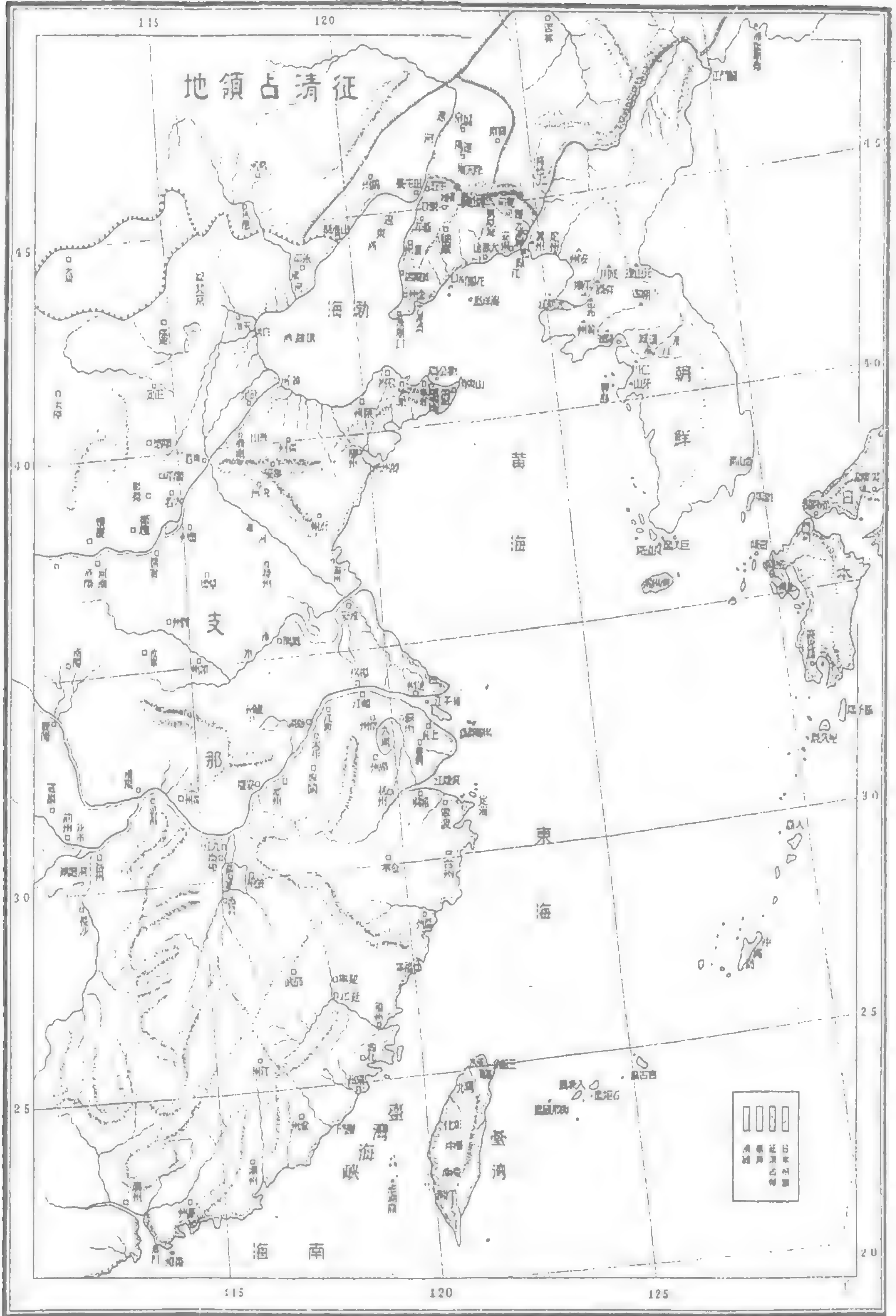
德川氏末路列藩之一


第四拾七圖
徳川氏末路列藩之二
佐渡
越後
越中
加賀
飛驒
越前
信濃
上野
下野
常陸
武蔵
甲斐
相模
駿河
遠江
三河
伊豆
尾張
美濃
近江
山城
伊賀
伊勢
志摩
大和
河内
和泉
攝津
紀伊
安房
上総
下総
蝦夷


第四拾八圖
徳川氏末路列藩之三


奥羽戦争

第五拾壹圖



河村與一郎 纂輯

日本外史古戰場概圖

明治十四年（一八八一）東京府刻本

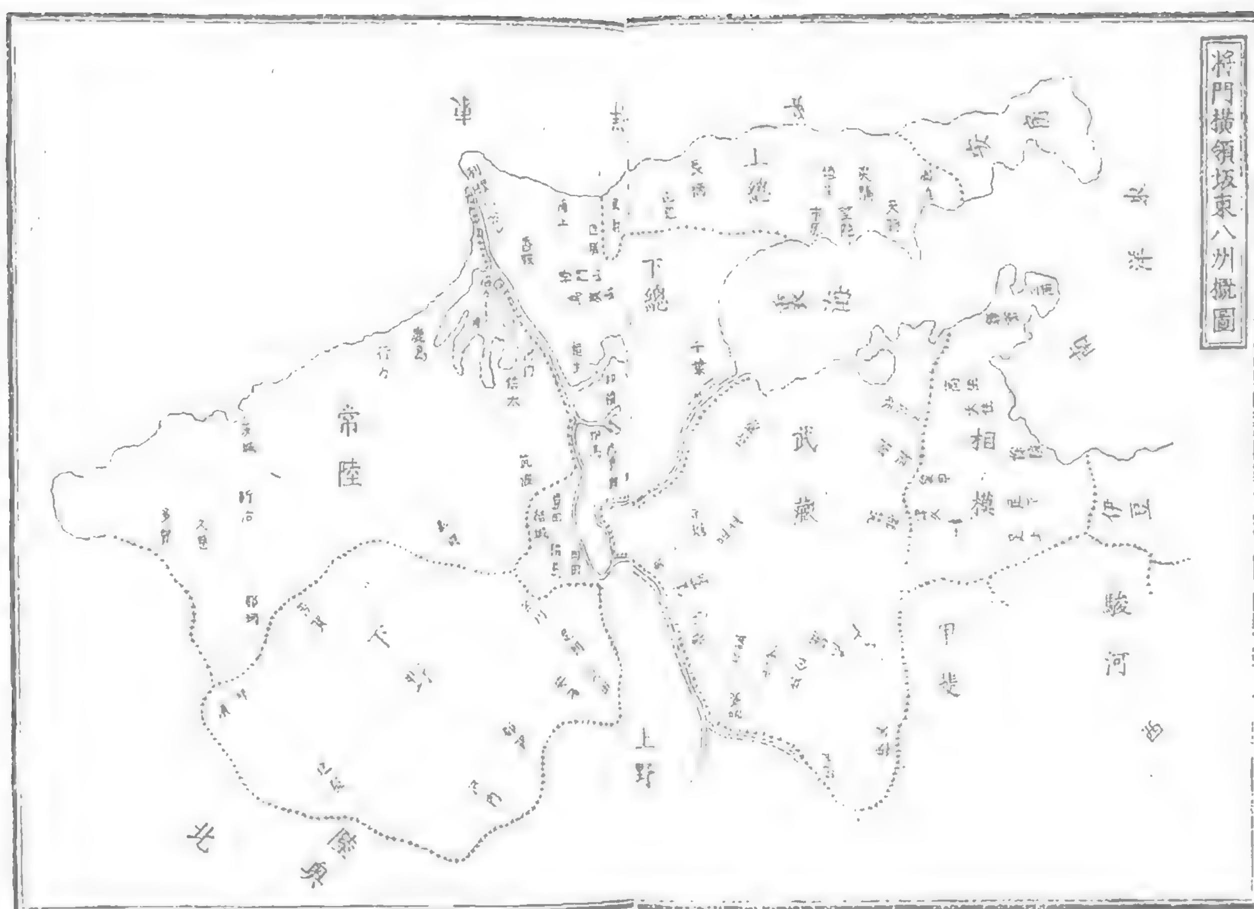
據明治十四年（一八八一）

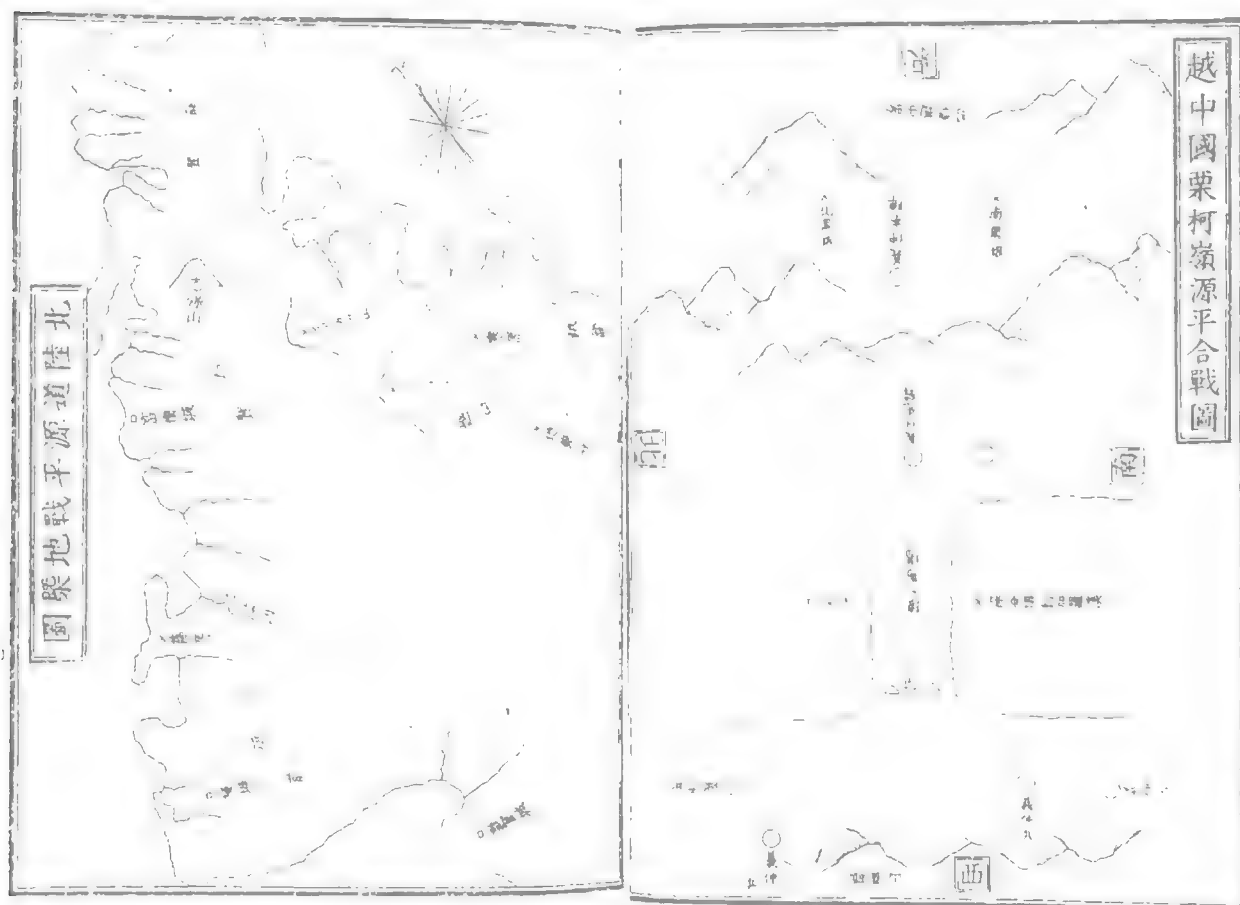
東京府刻本影印

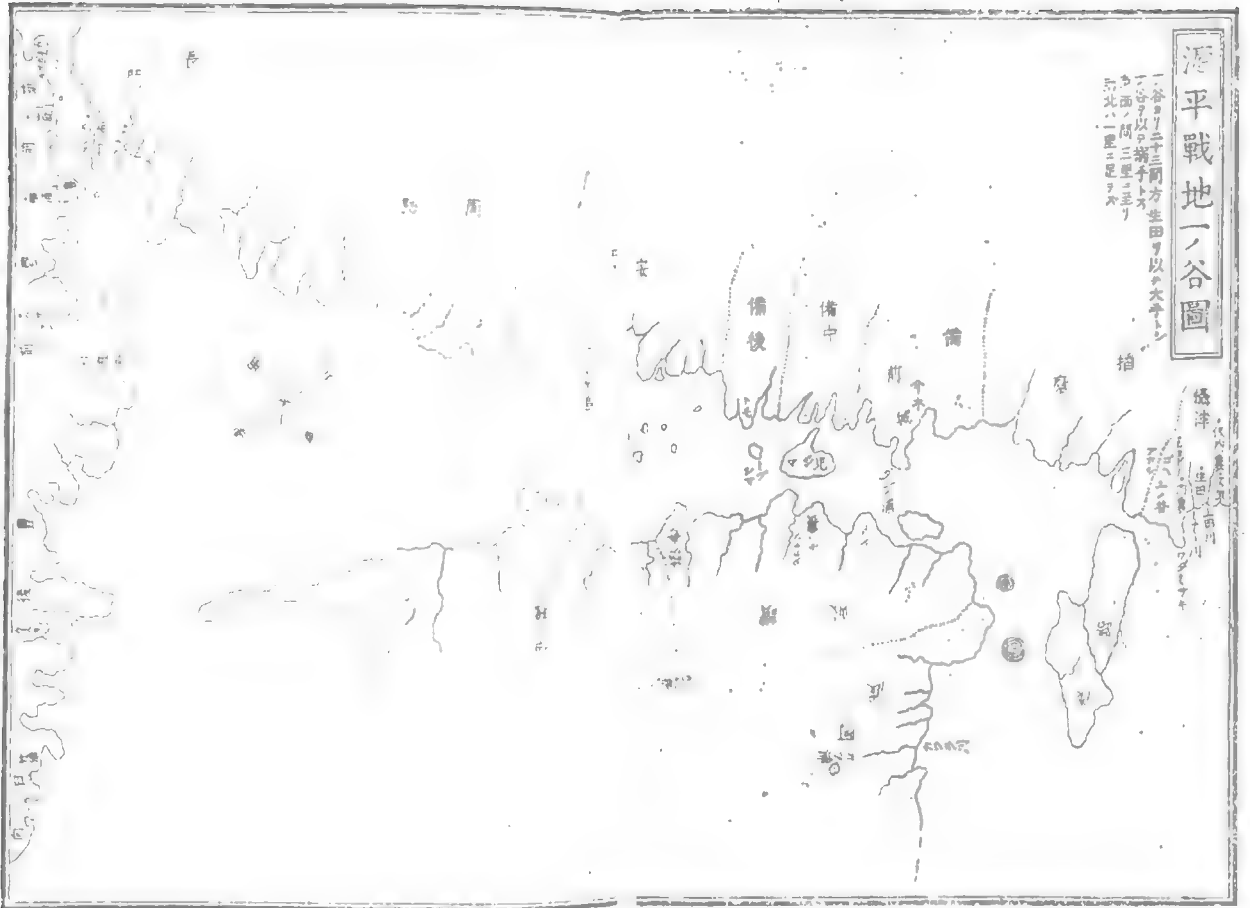
日本外史古戰場槪圖

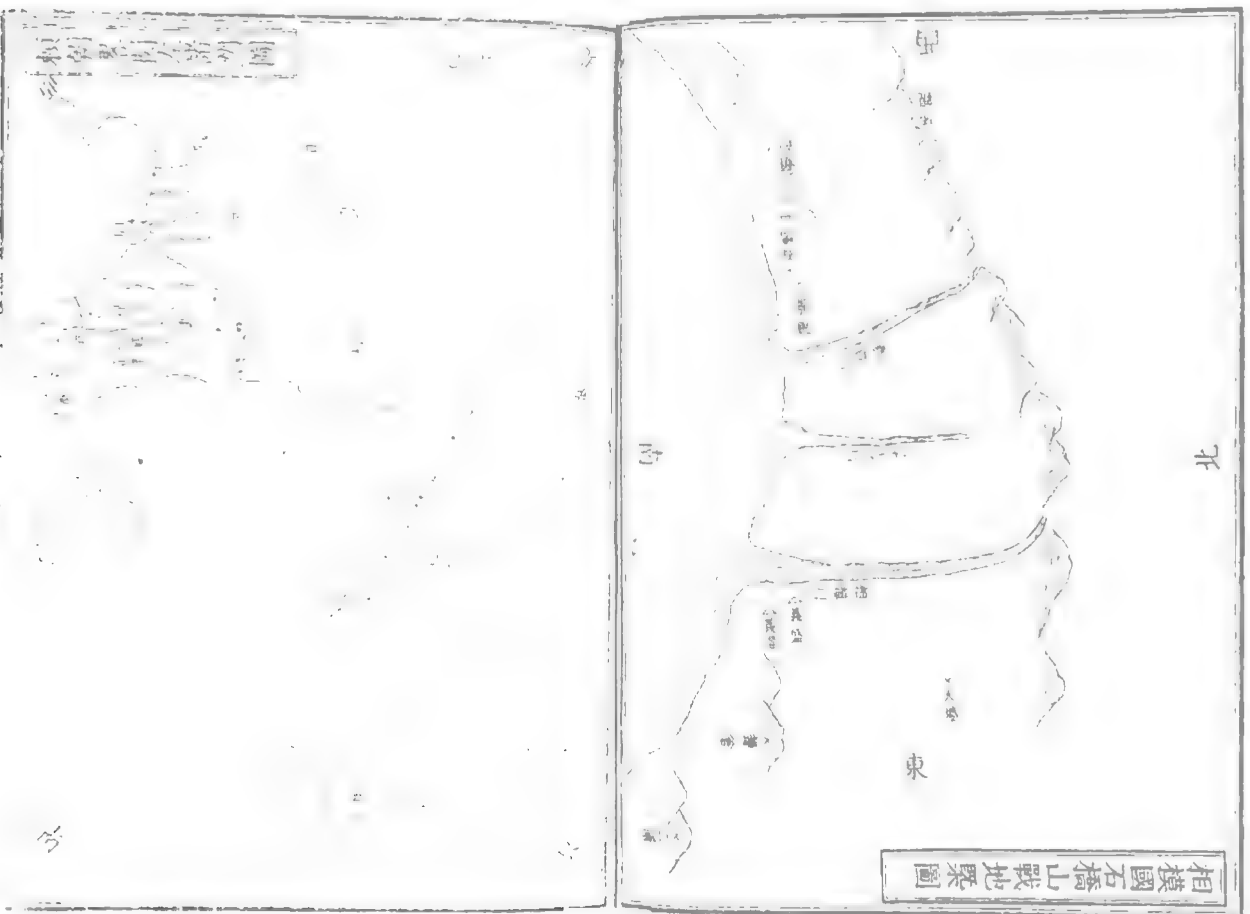
延喜以前内裏圖

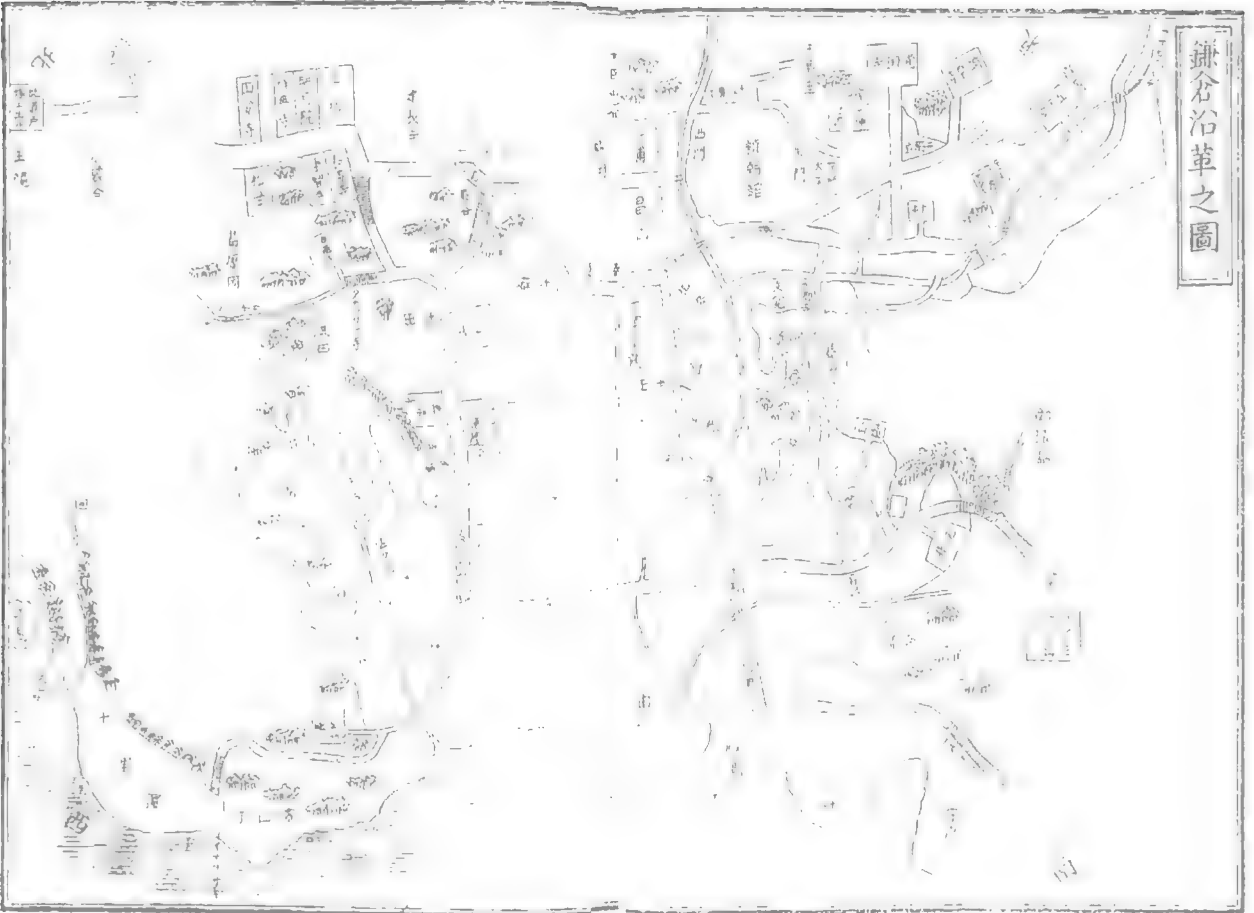
南北四百六十丈
東西三百八十四丈


將門擴領坂東八州概圖
常陸
下總
上總
武藏
相模
伊豆
駿河
甲斐
上野
下野

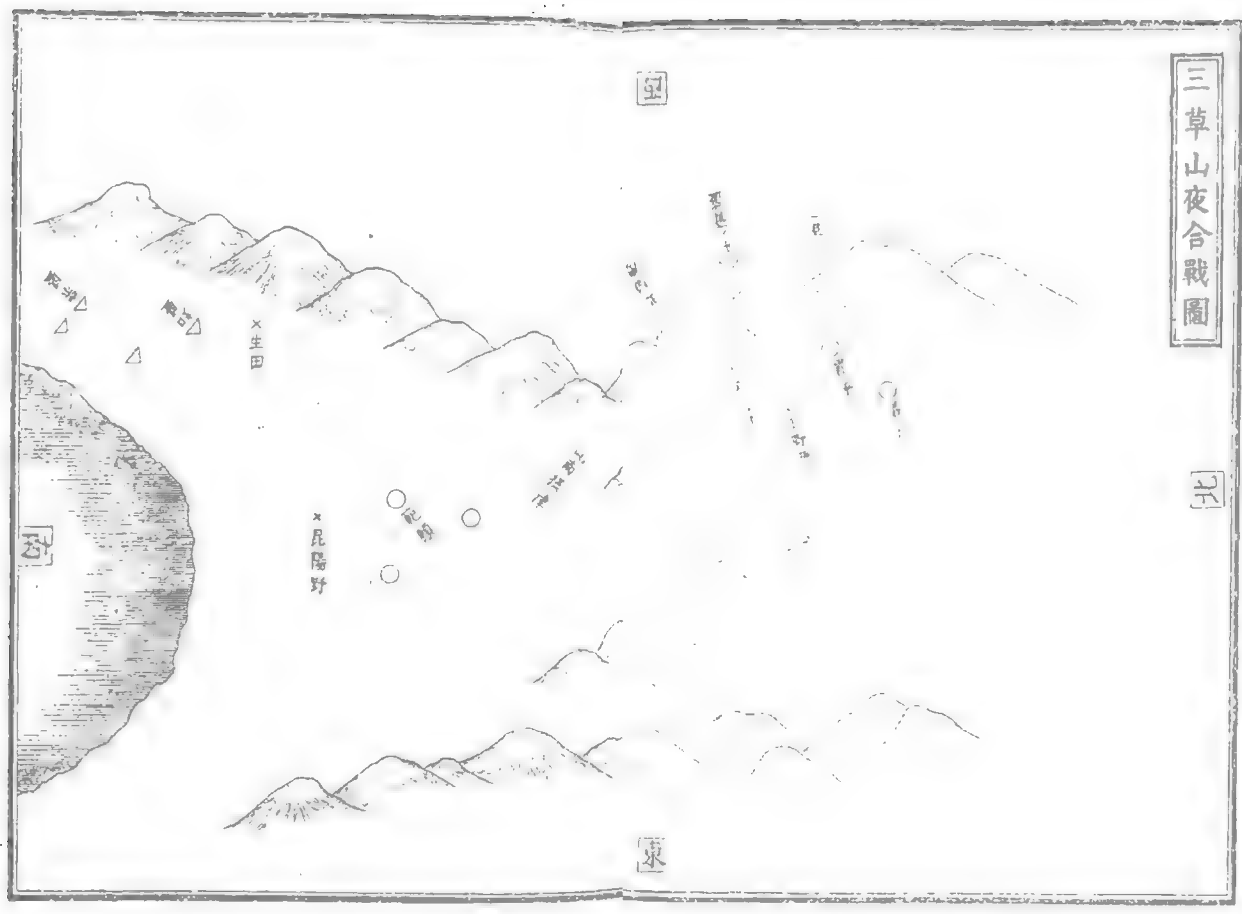

越中國栗柯嶺源平合戰圖
北陸道源平戰地聚圖

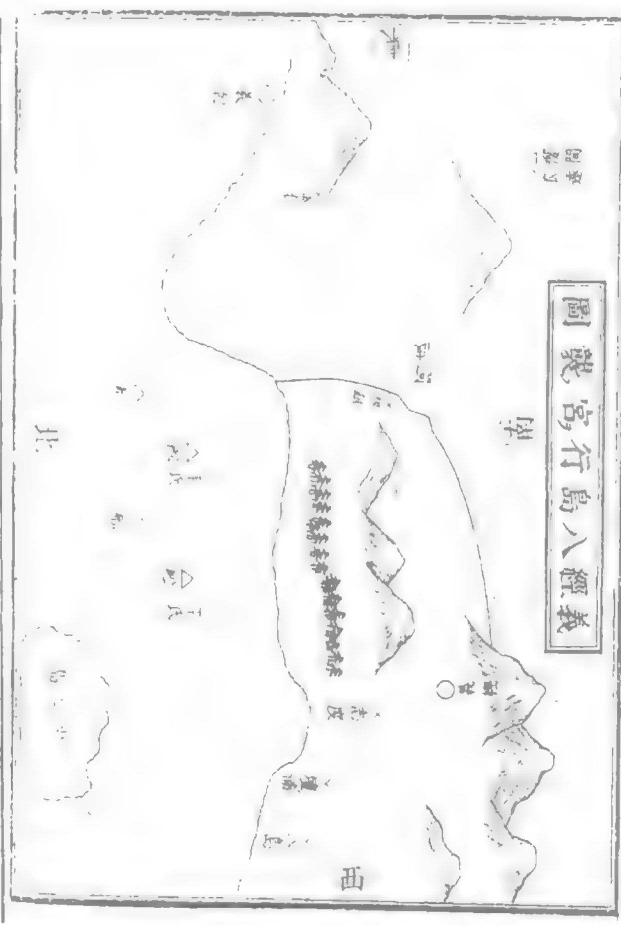

源平戰地一ノ谷圖
一ノ谷ヨリ二十三町方生田ヲ以テ大手トシ
一ノ谷ヲ以テ搦手トス
東西ノ間三里ニ亘リ
南北ハ一里ニ足ラズ
攝津
備後
備中
備前

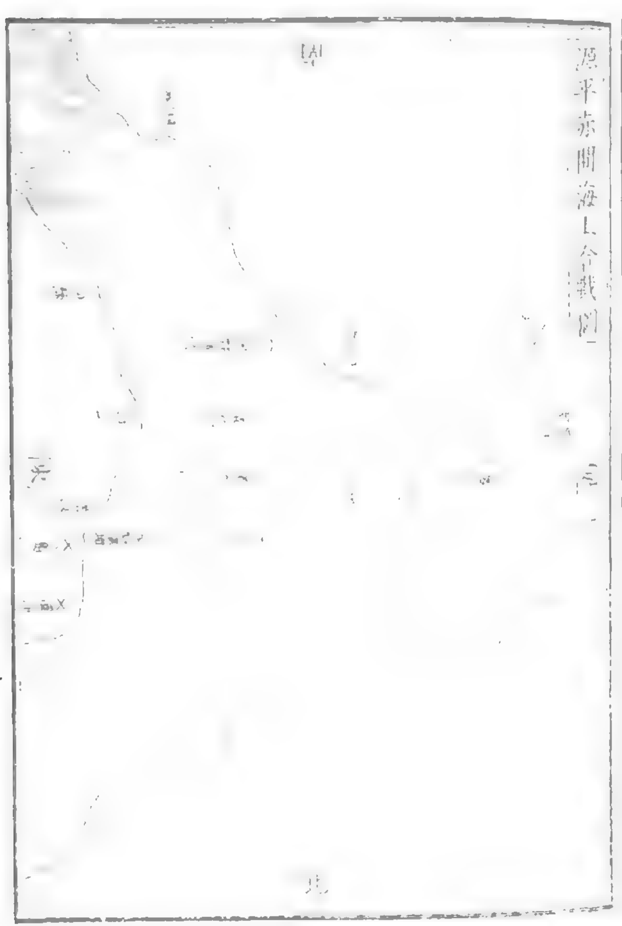

相模國石橋山戰地槩圖
東

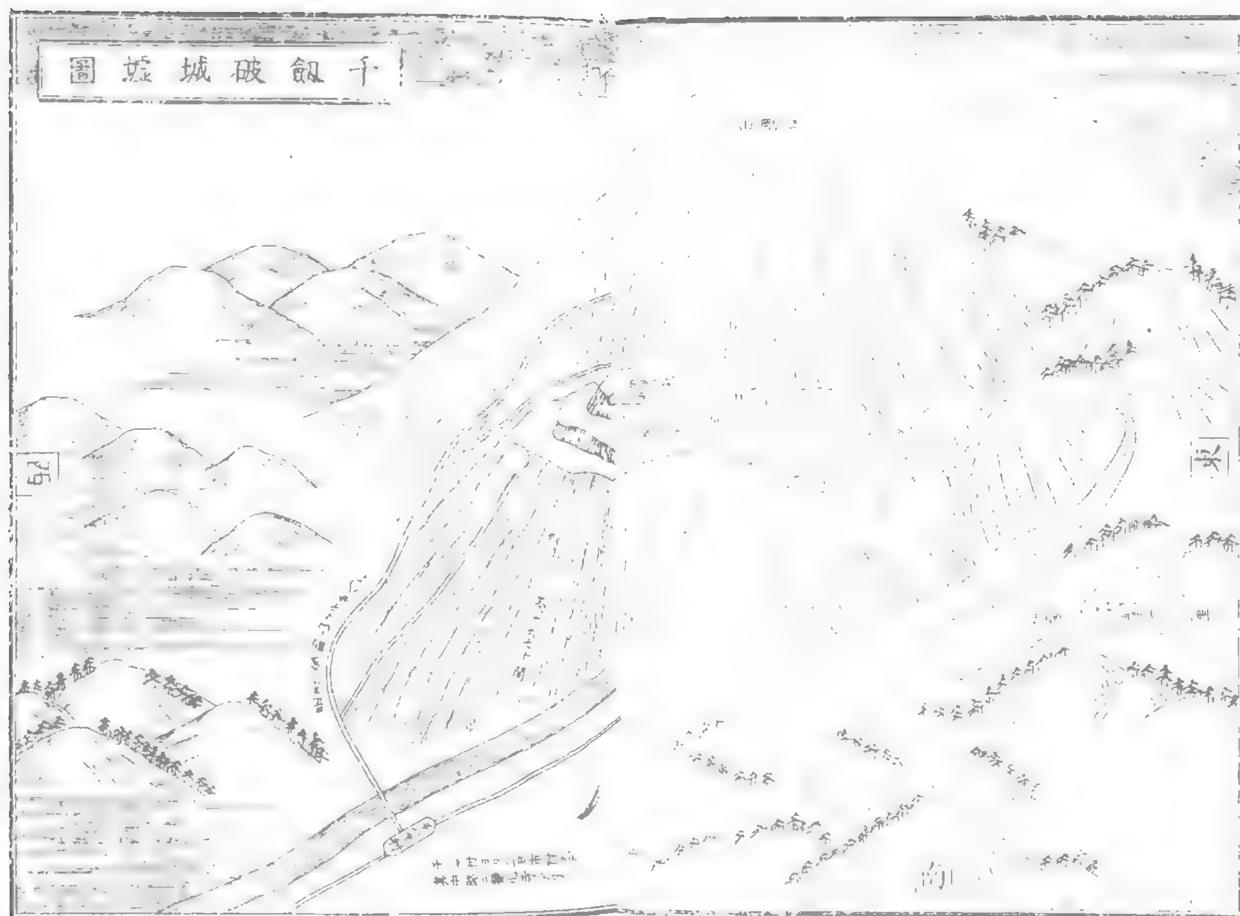

鎌倉沿革之圖

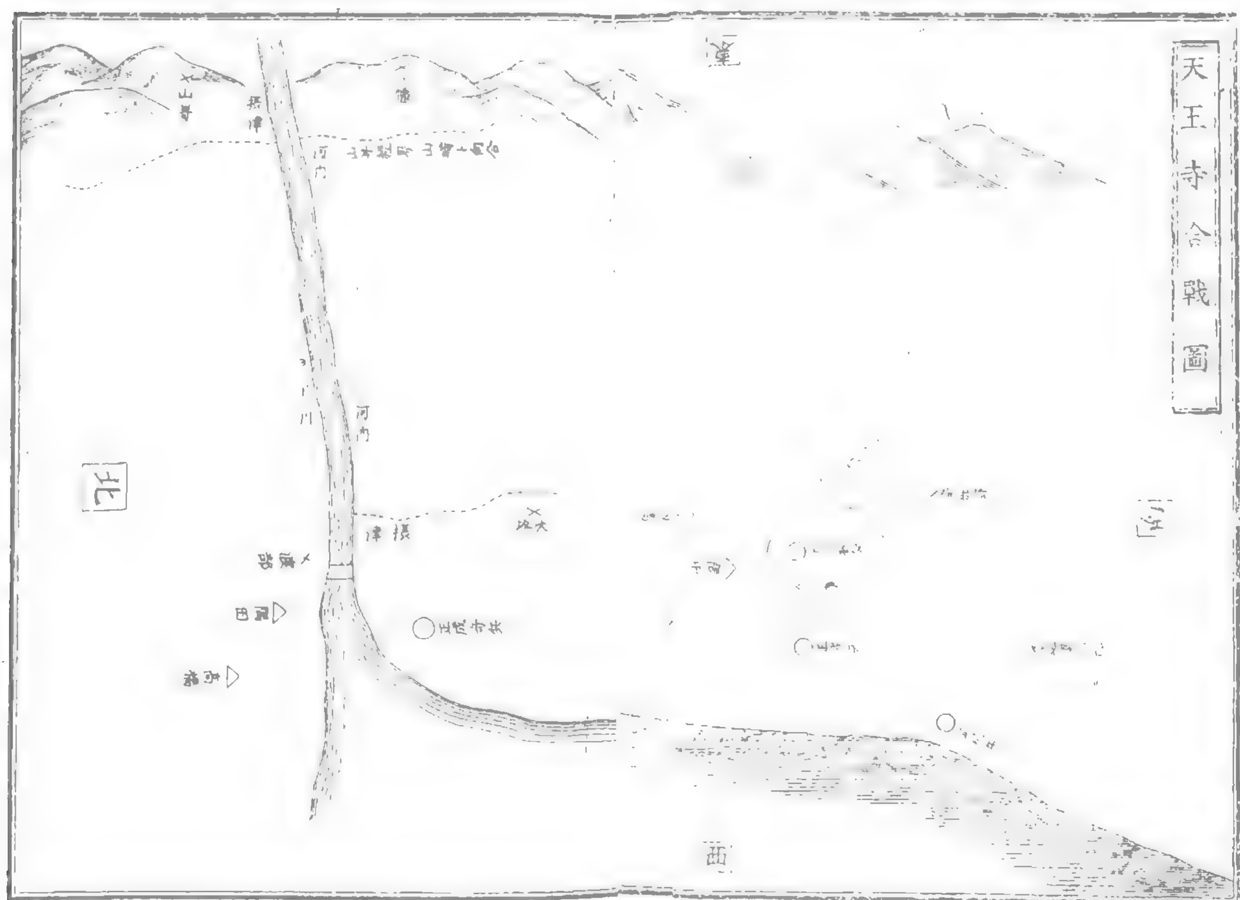
信濃横田河原合戰圖

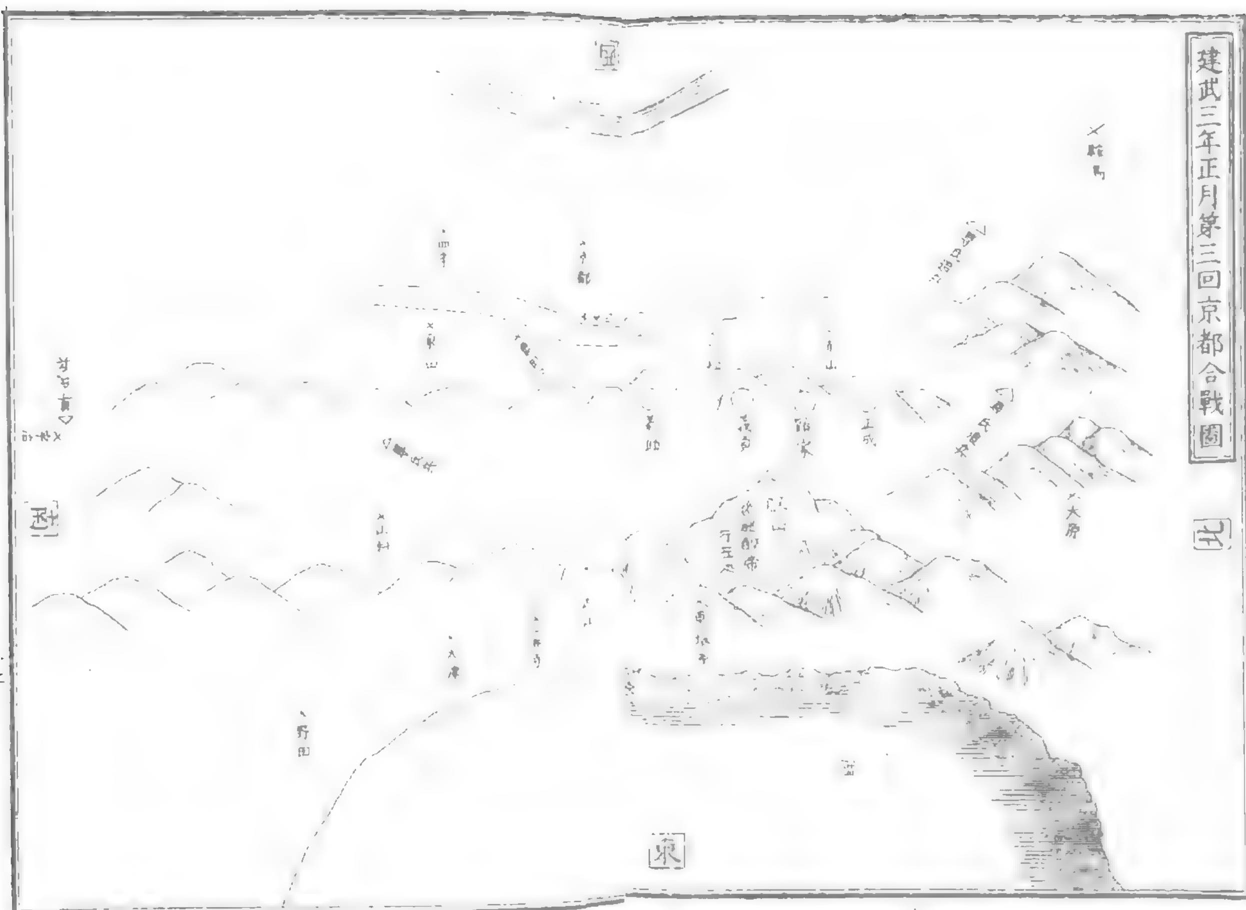

三草山夜合戰圖
西
東
生田
昆陽野


義經八島行宮戰圖
東
北
西


源平赤間海上合戰圖

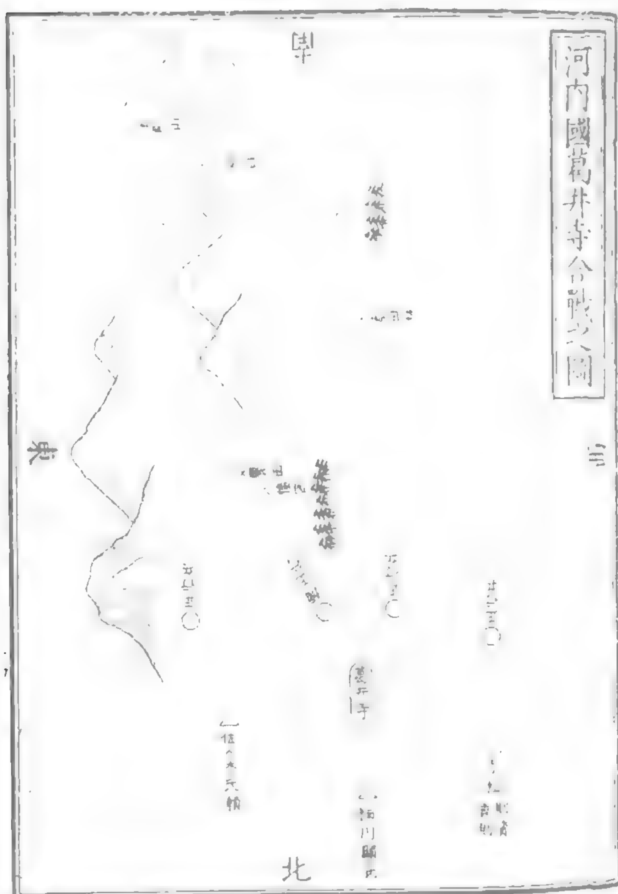

千劍破城圖
西
東
南


天王寺合戰圖
東
北
南
西

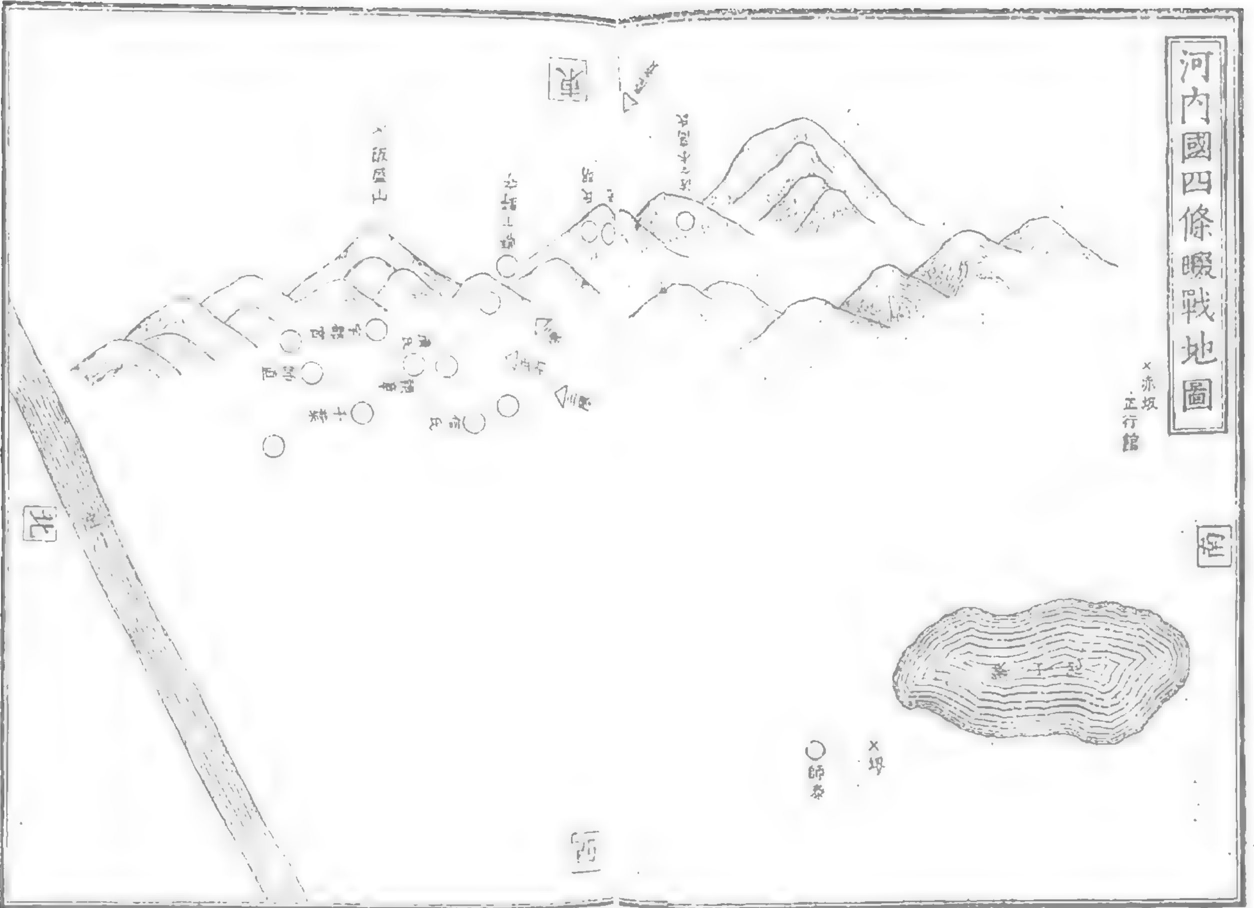


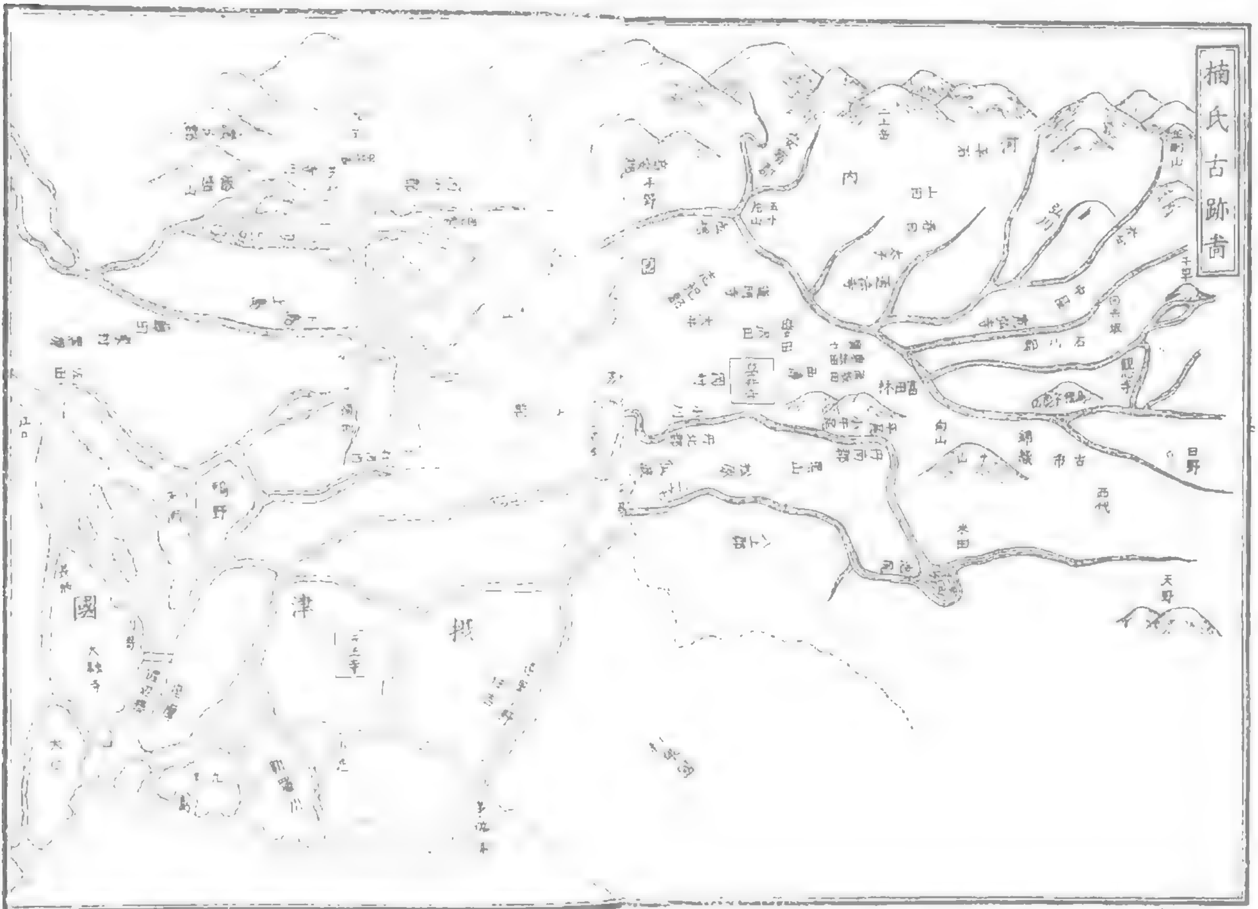
建武三年正月第三回京都合戰圖

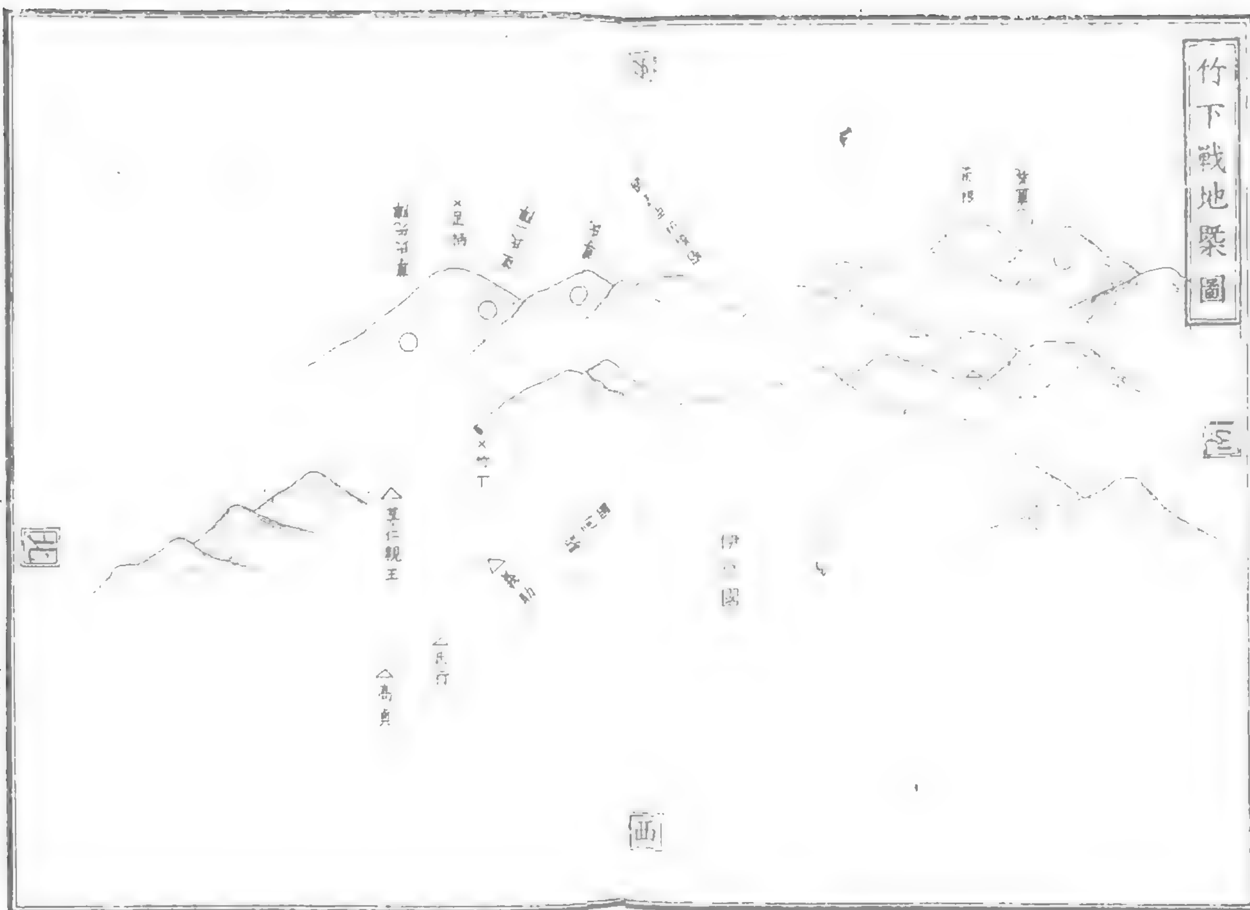
建武三年五月湊川合戰圖

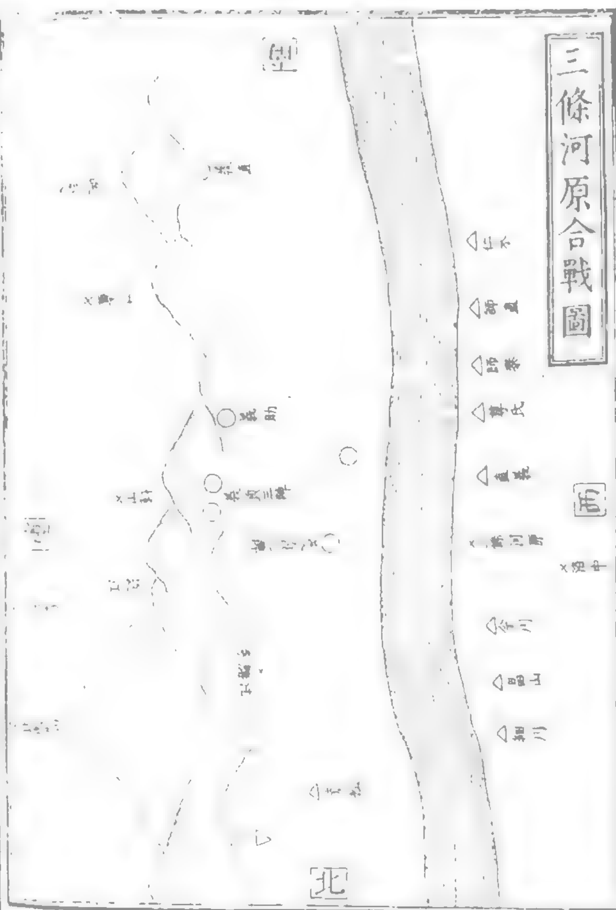


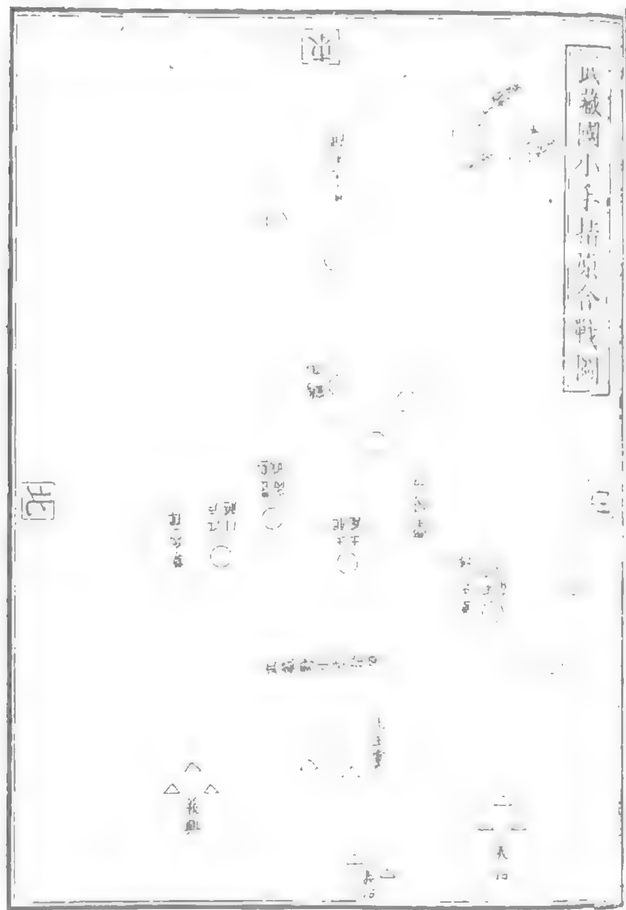
河内國葛井寺合戰之圖

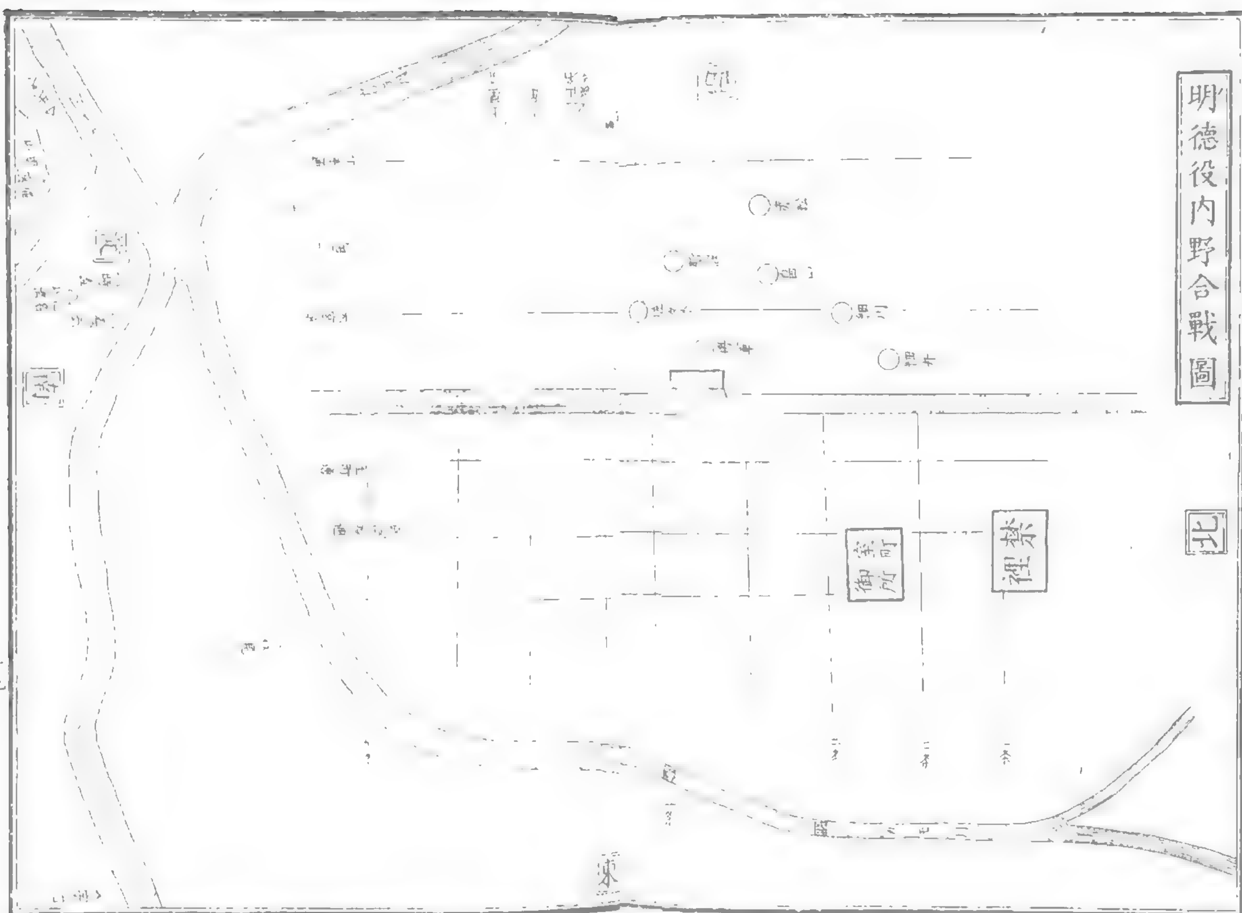

河内國四條畷戰地圖
東
西
北
南
赤坂
正行館
飯盛山

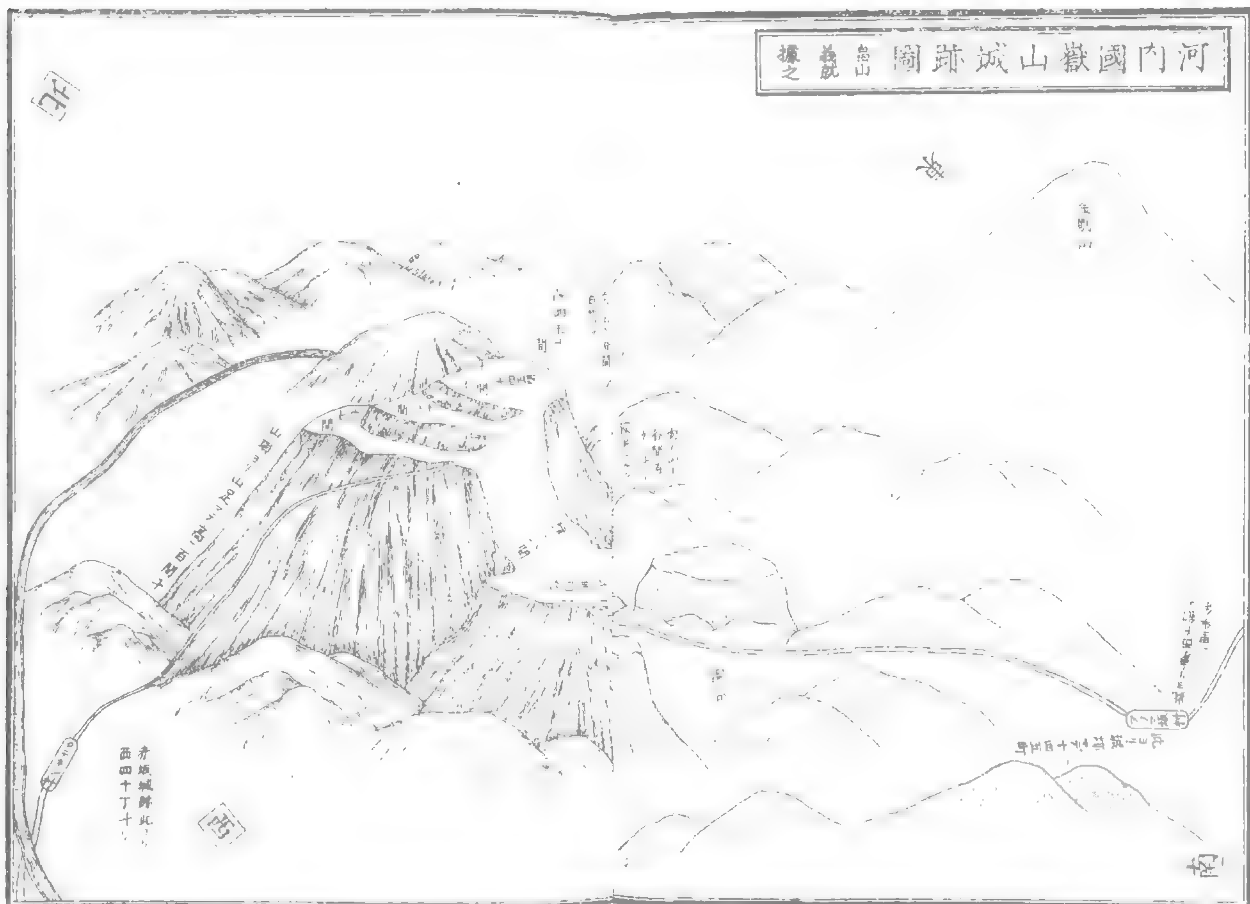

楠氏古跡圖
河
内
國
攝
津
日野
天野

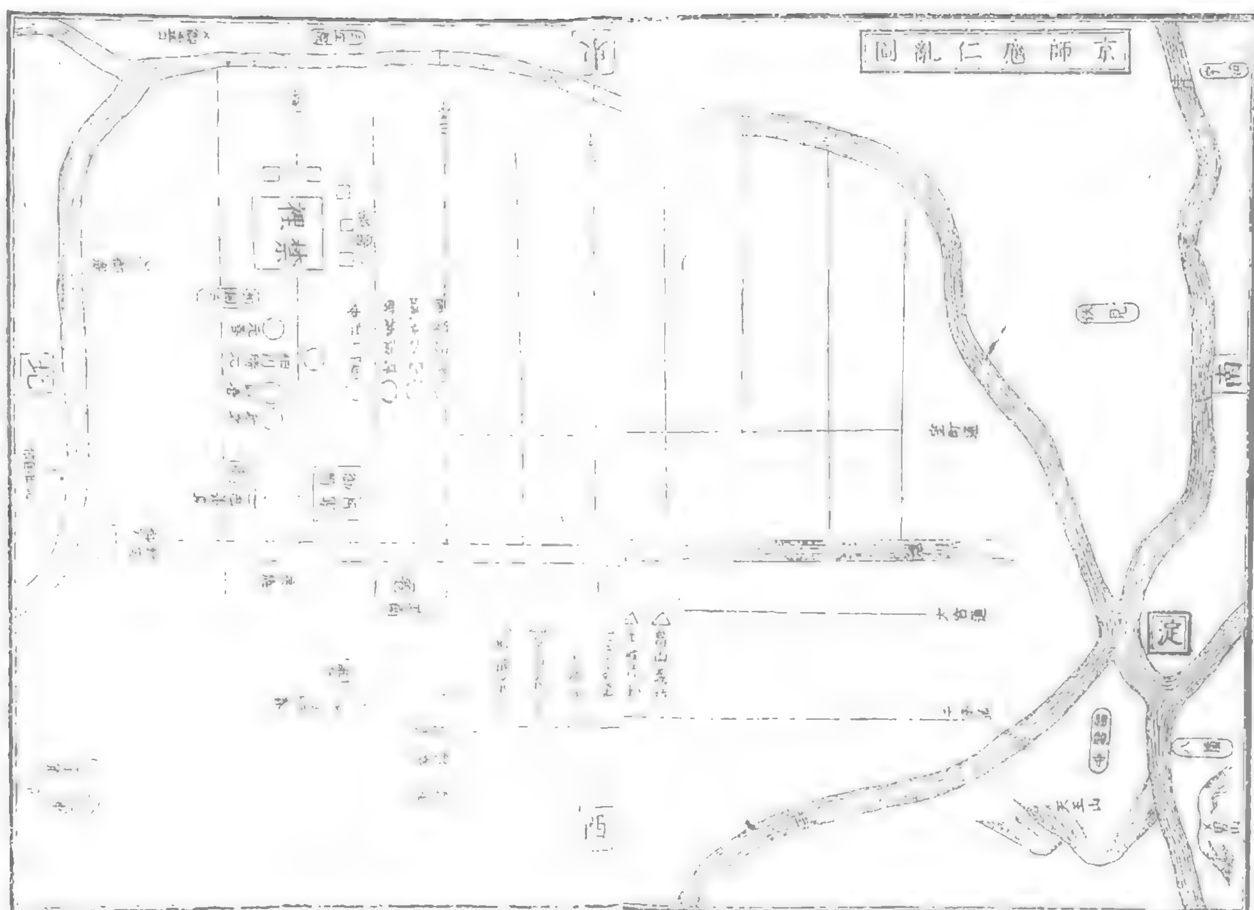

竹下戰地槩圖
竹下
伊豆國


三條河原合戰圖

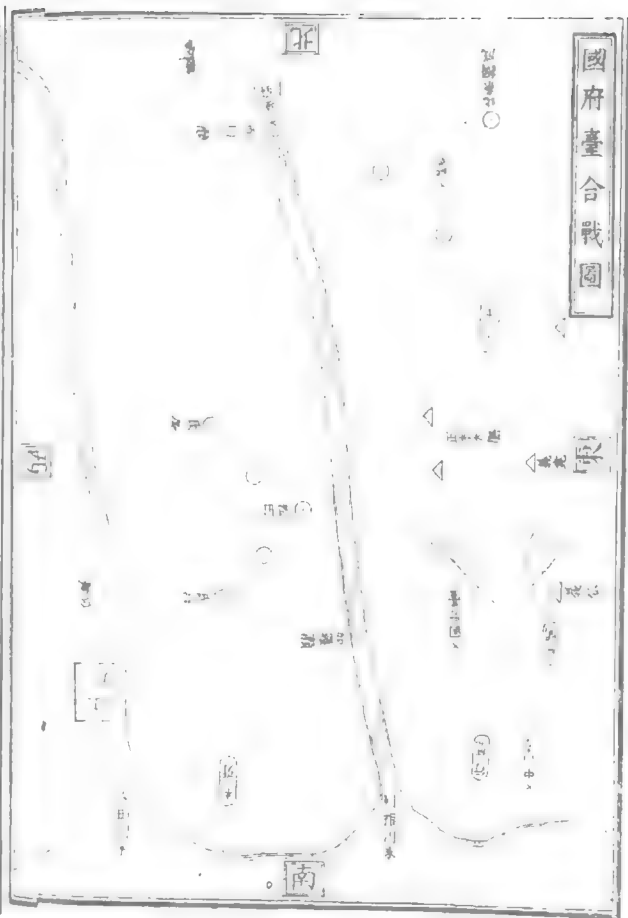

武藏國小手指原合戰圖

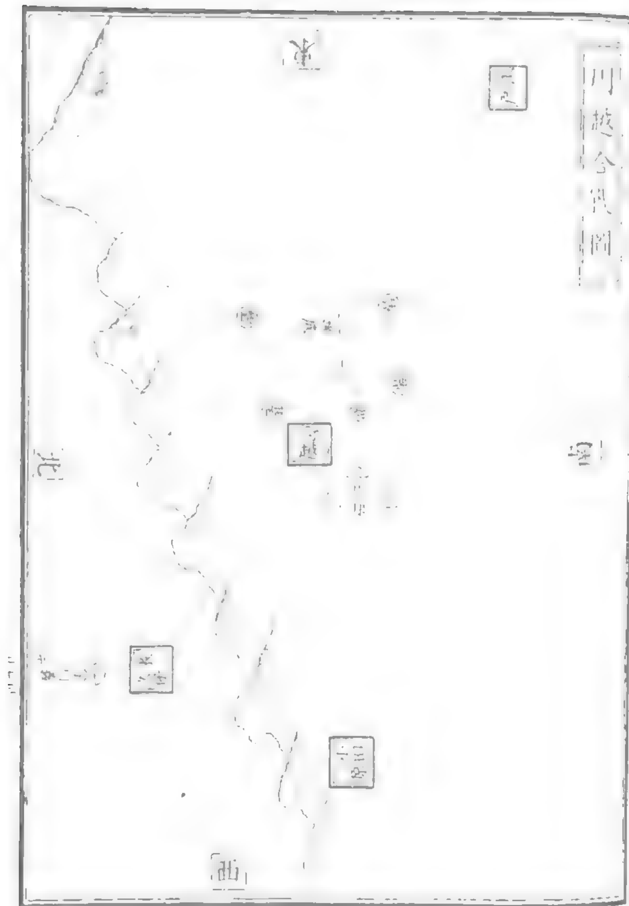

明德役内野合戰圖
北
禁裡
東
西
南

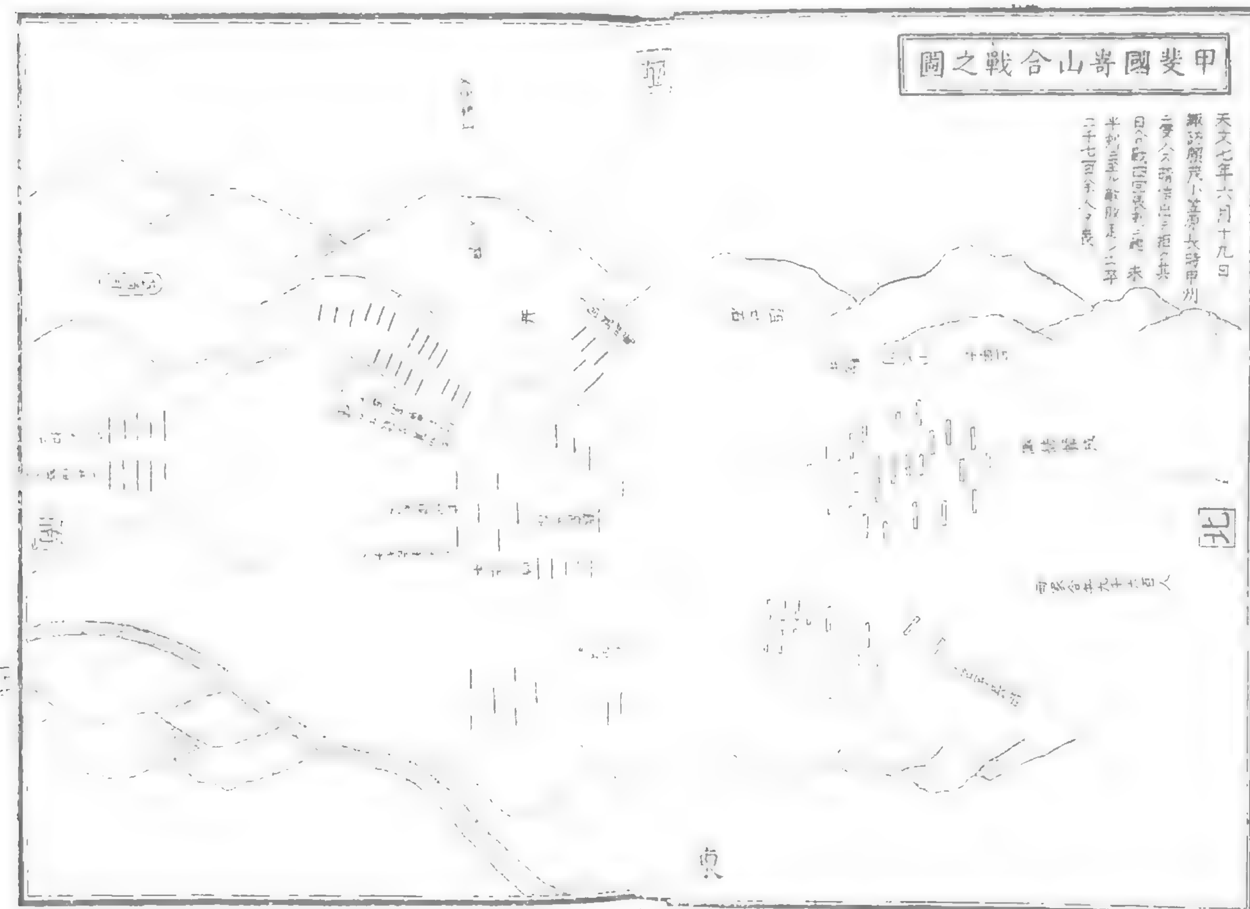

河内國嶽山城跡圖
畠山義就據之
北
東
西
南

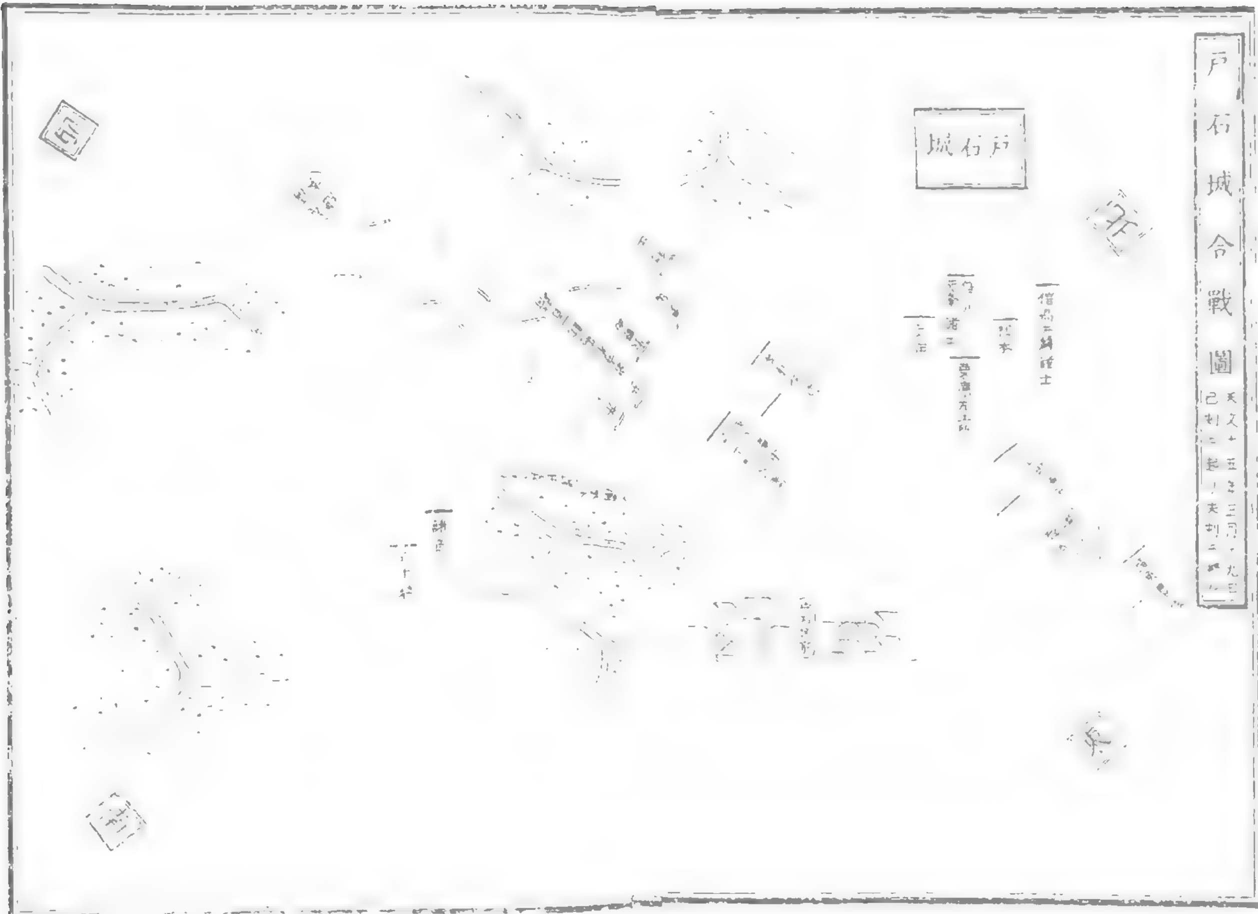

京師應仁亂圖
淀
西
北
南

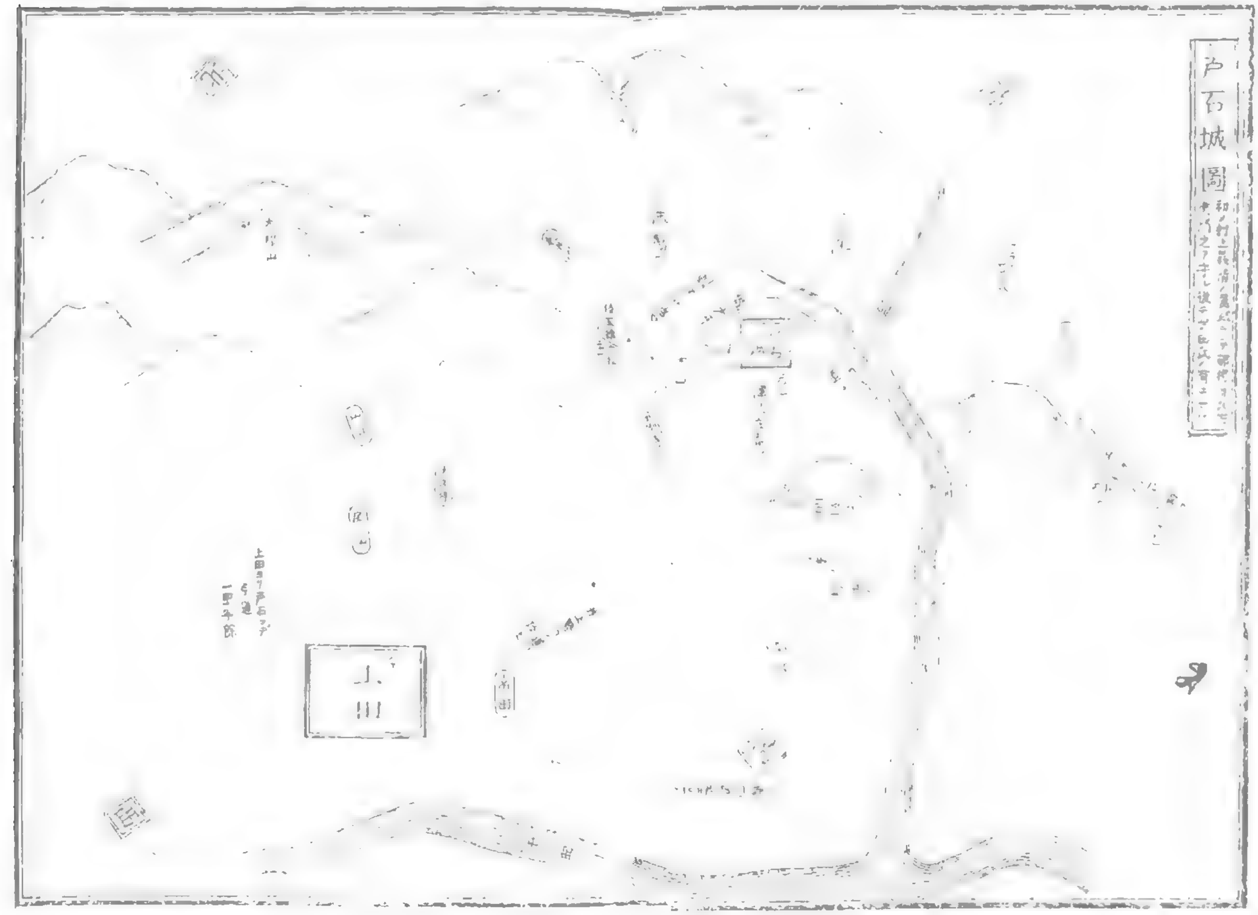
小田原北条氏戡定八國圖
常陸
下野
上野
北
南


國府臺合戰圖
北
南
東
西

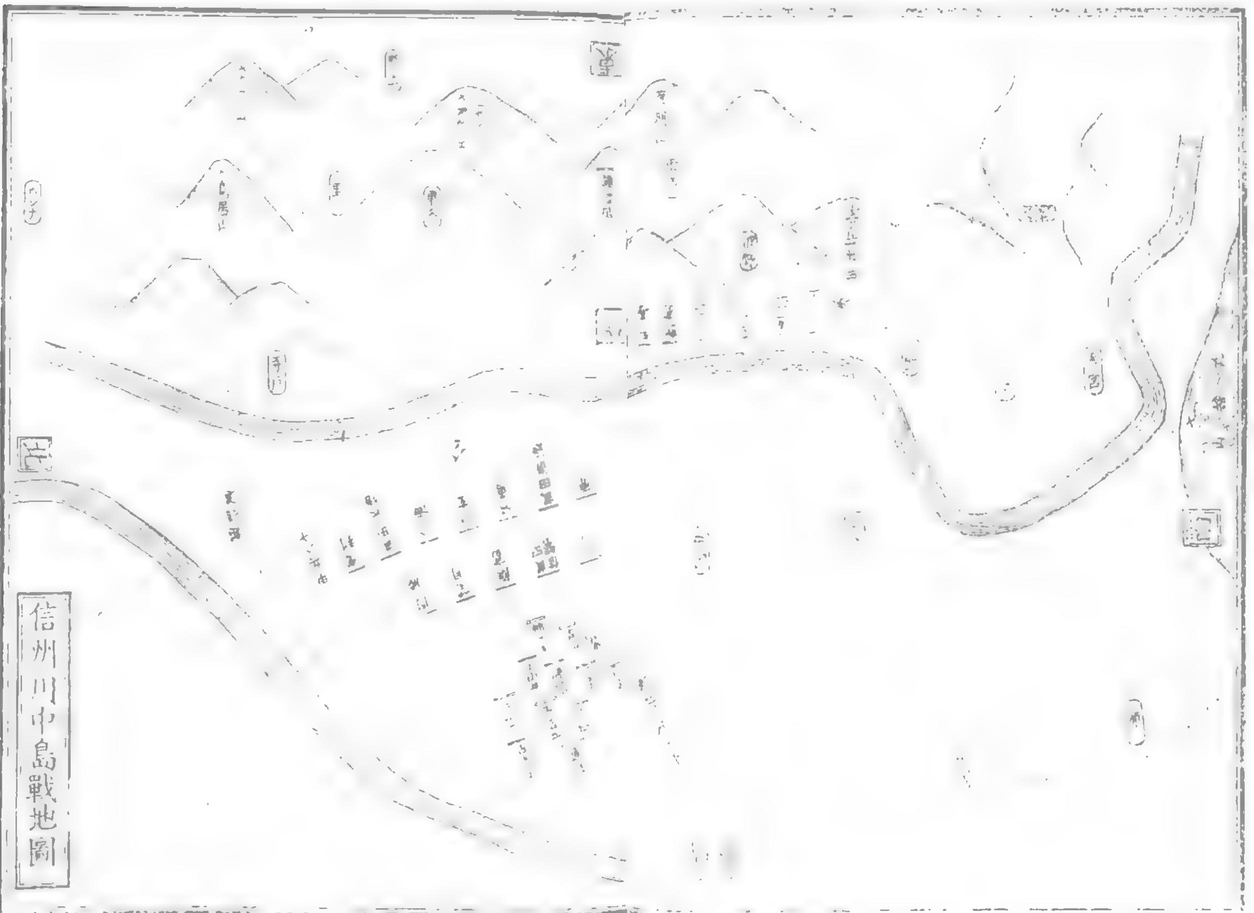

川越合戰圖
東
南
北
西

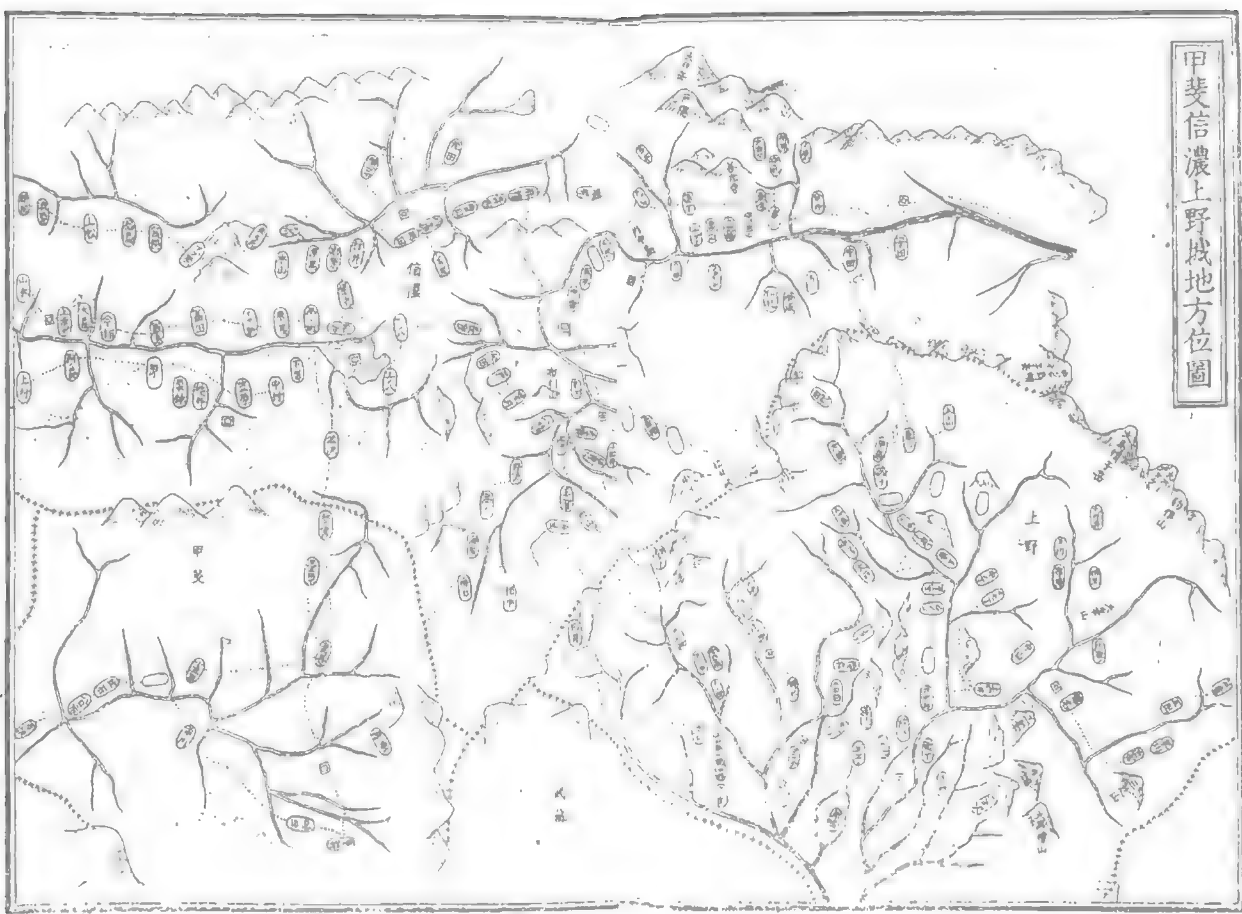

甲斐國嵜山合戰之圖
天文七年六月十九日
諏訪頼茂小笠原長時甲州
西
北
東


戸石城合戰圖
戸石城

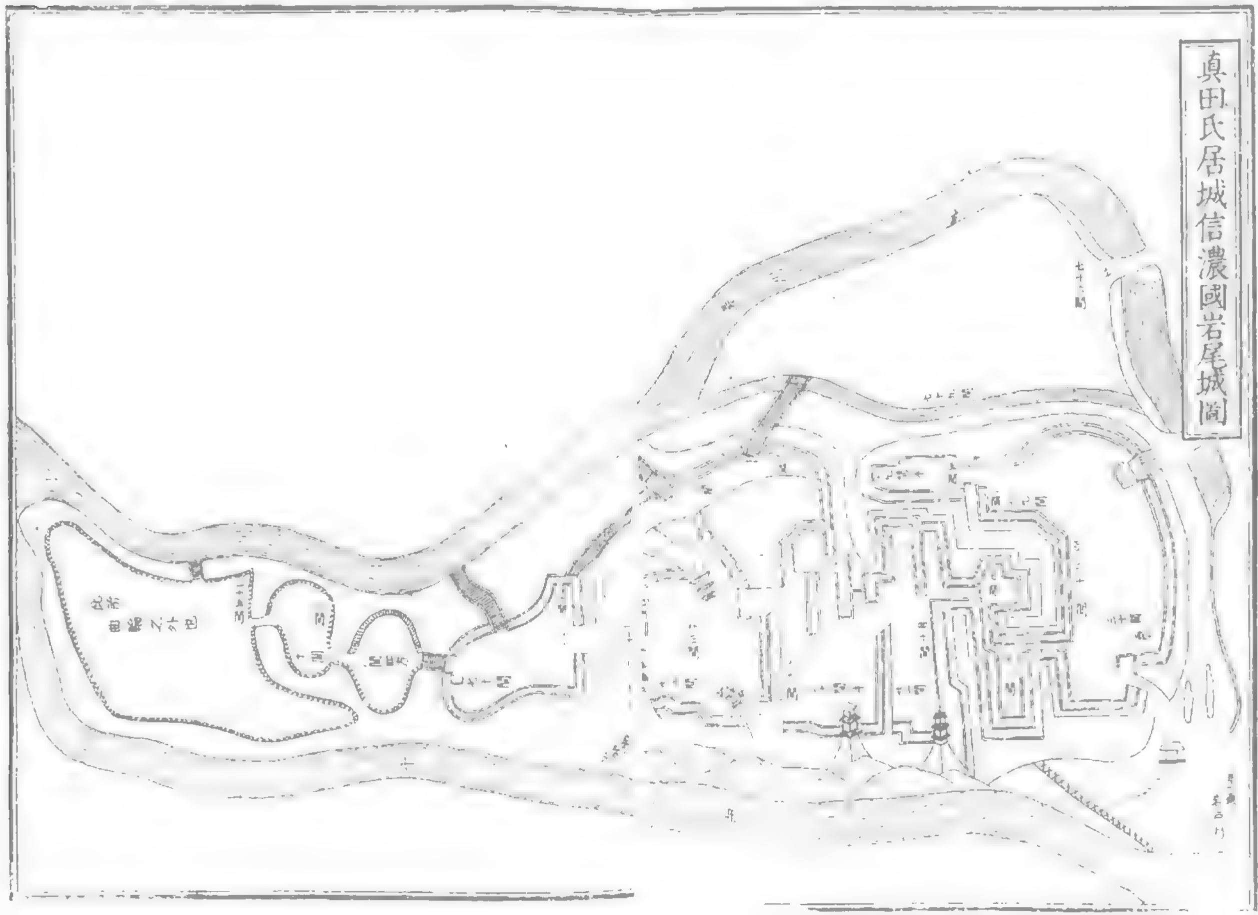

戸石城圖
上田

信州川中島方位圖


信州川中島戰地圖

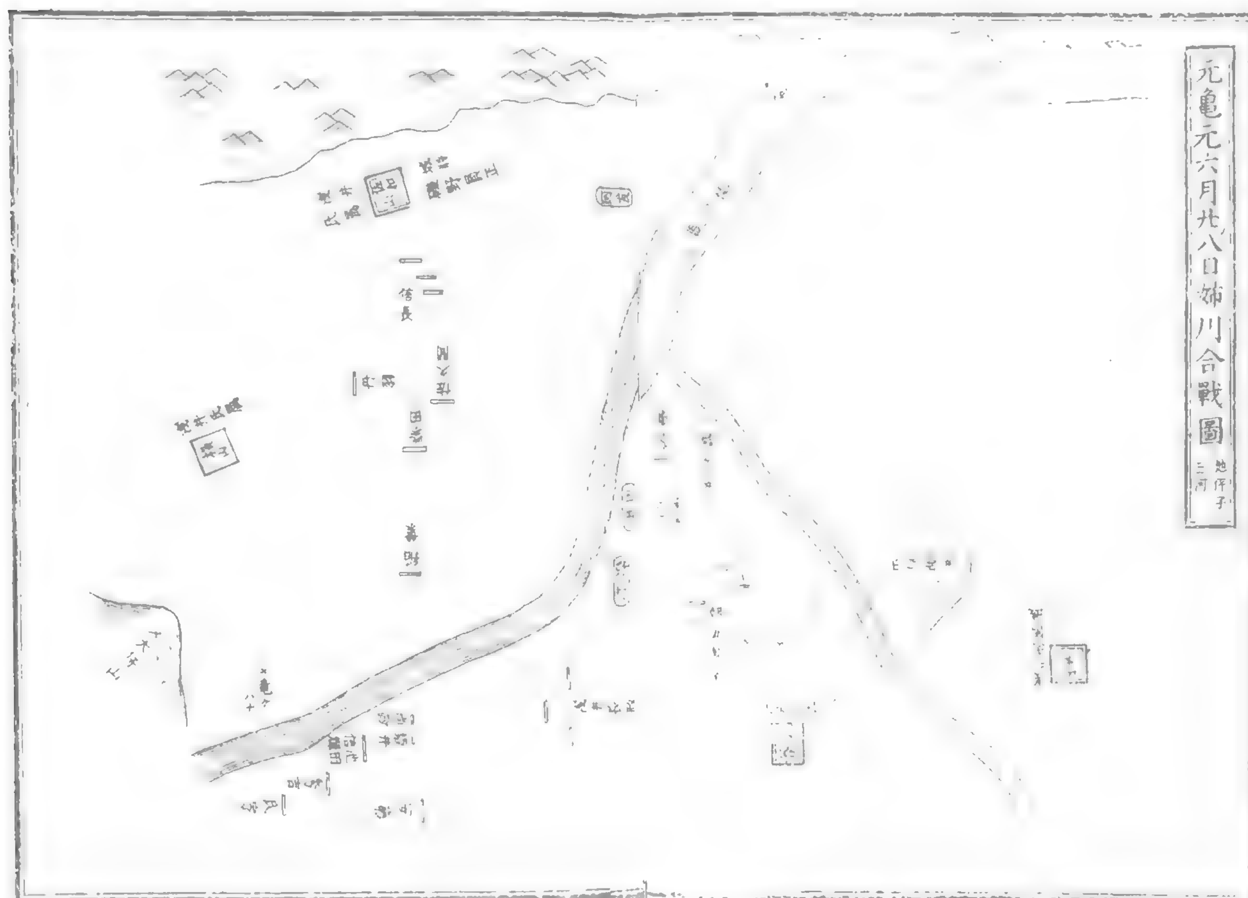


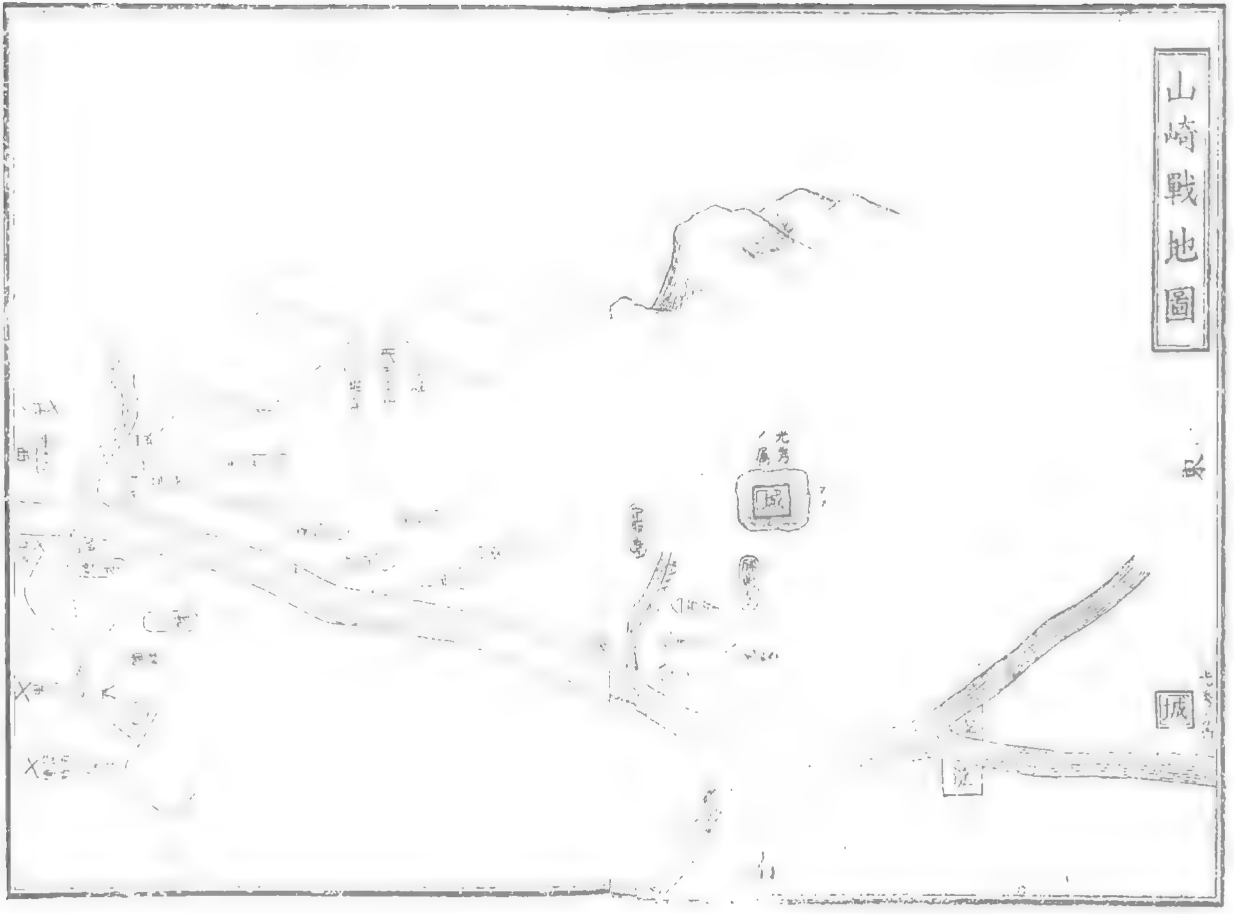
甲斐信濃上野城地方位圖

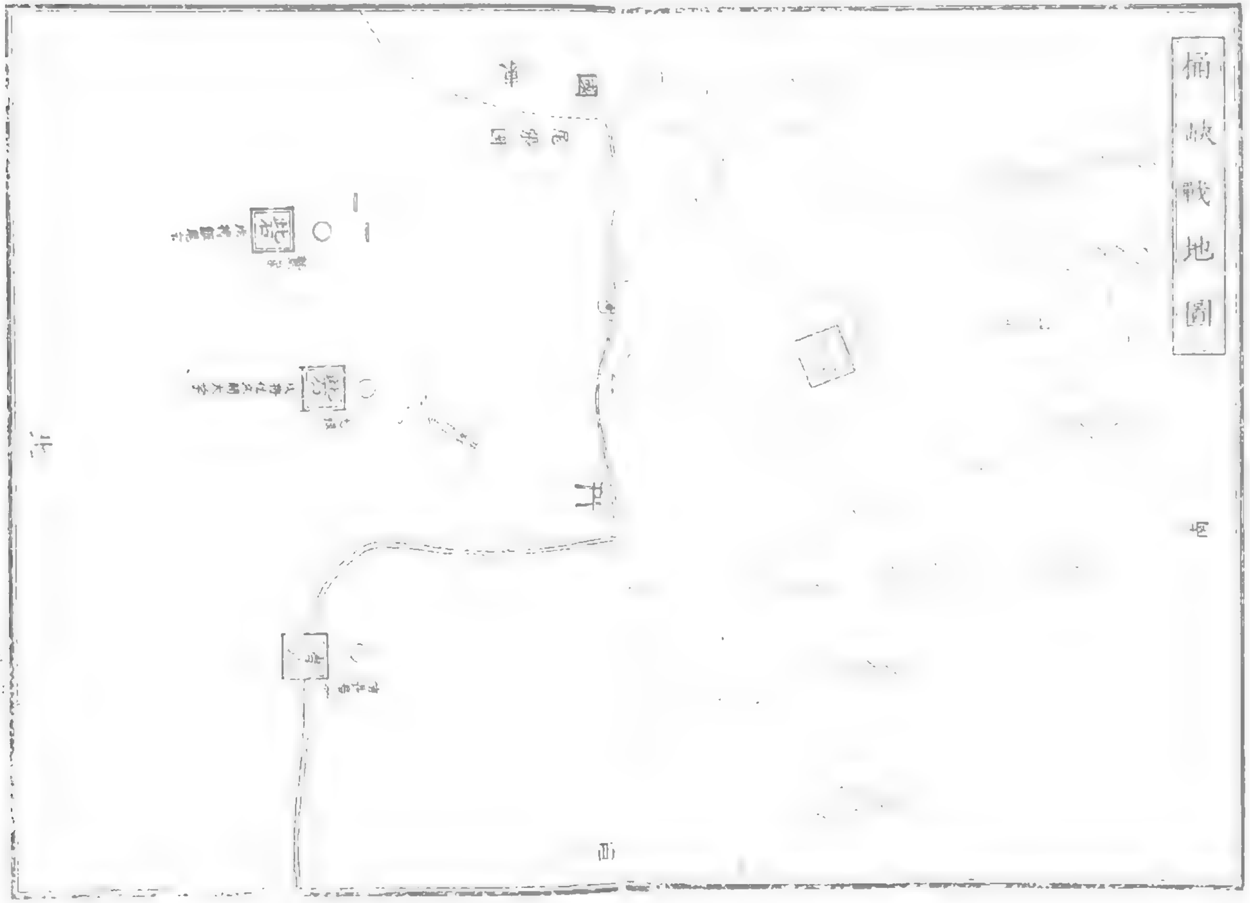


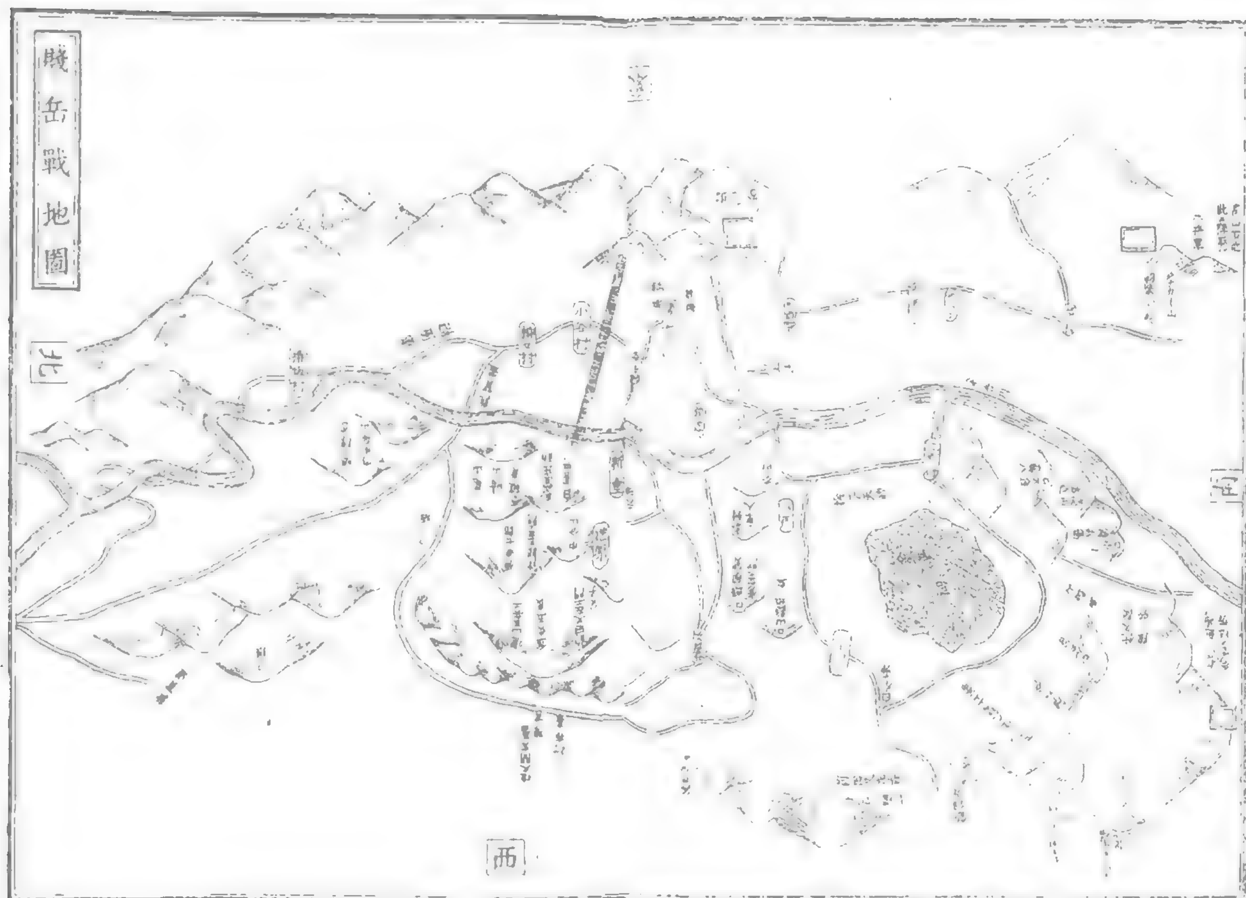
眞田氏居城信濃國岩尾城圖

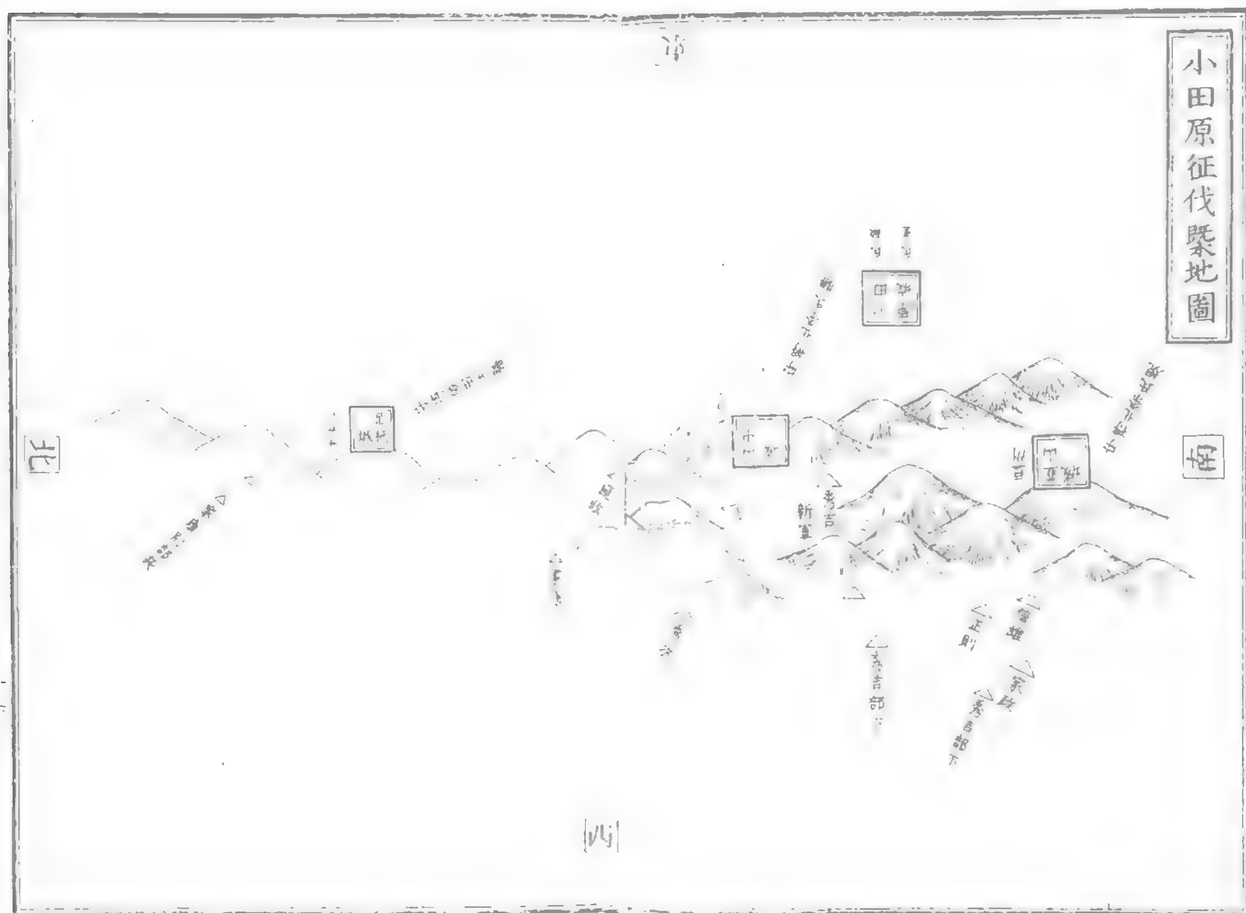
厳島戰地圖
北
南
東
西

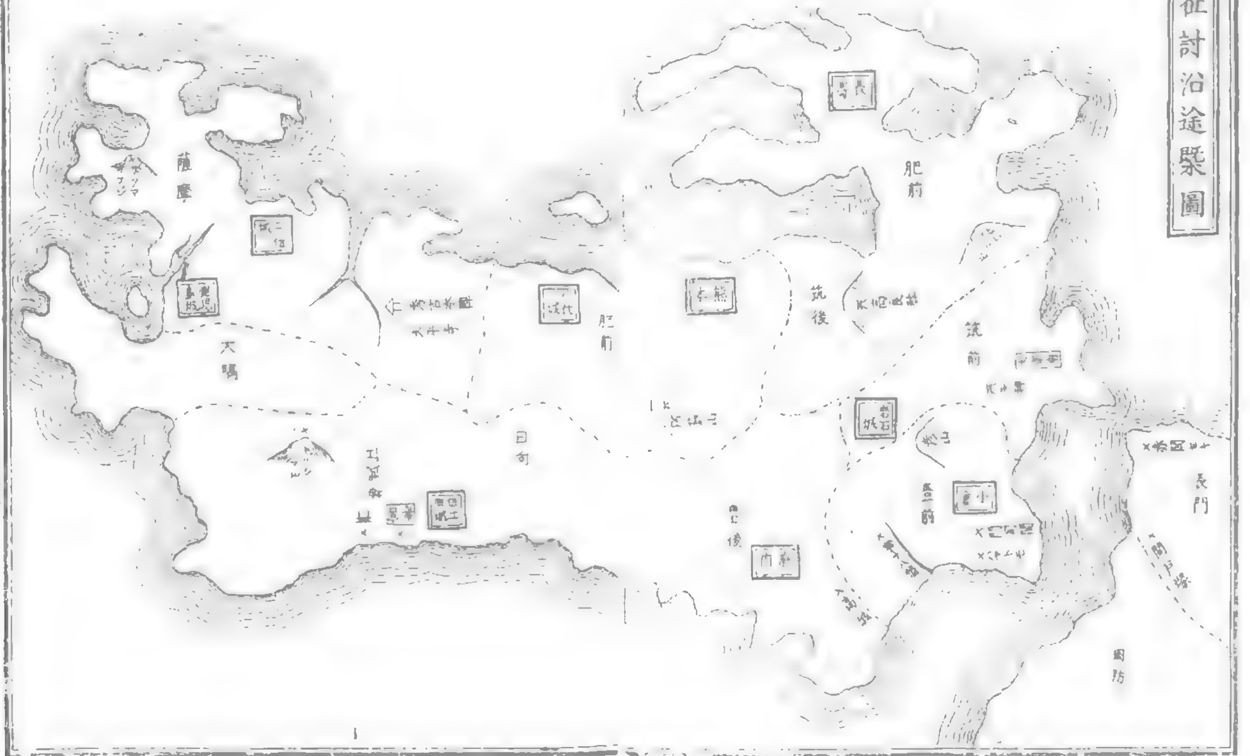

元亀元六月廿八日姉川合戰圖
三河
地停子
信長

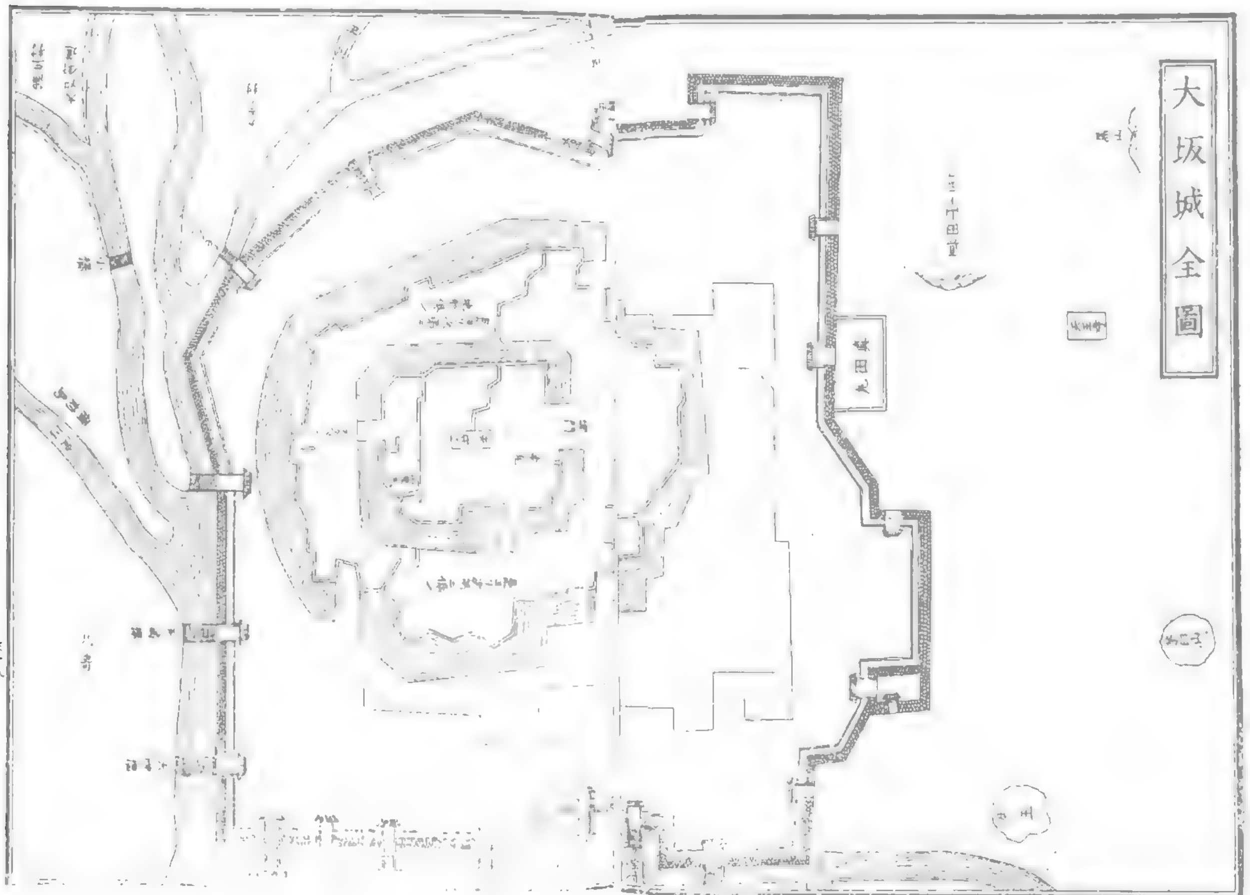

山崎戰地圖

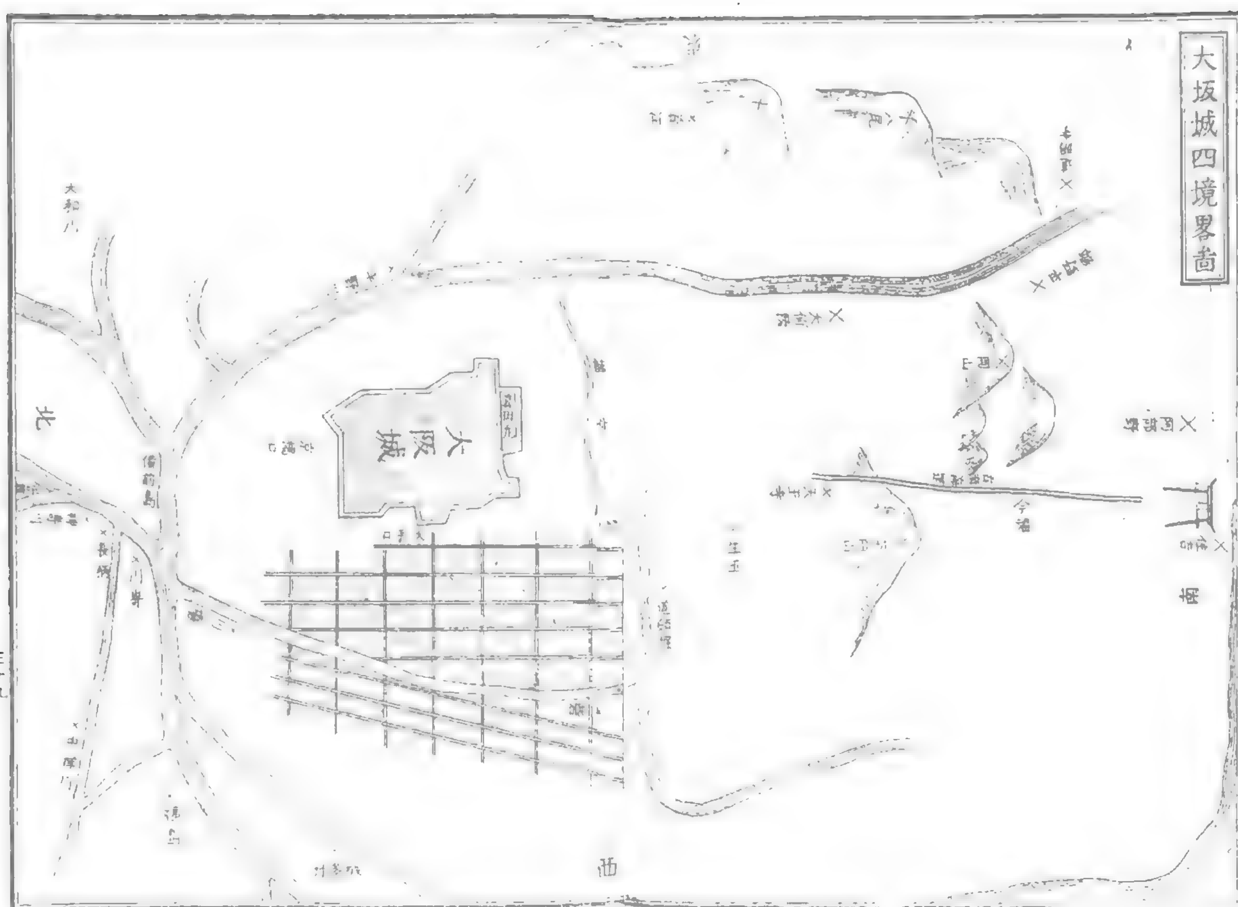

桶峽戰地圖


賤岳戰地圖

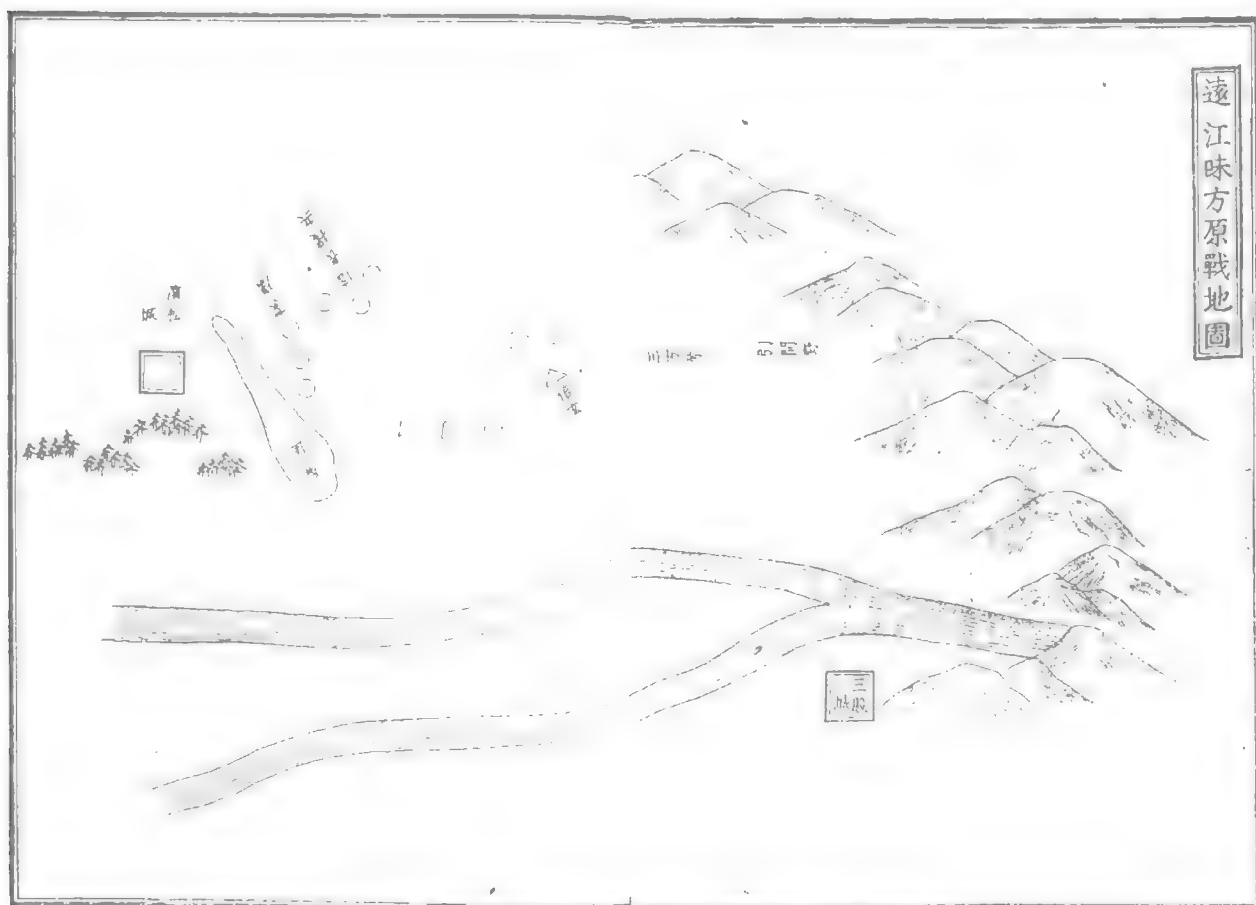

小田原征伐槩地圖

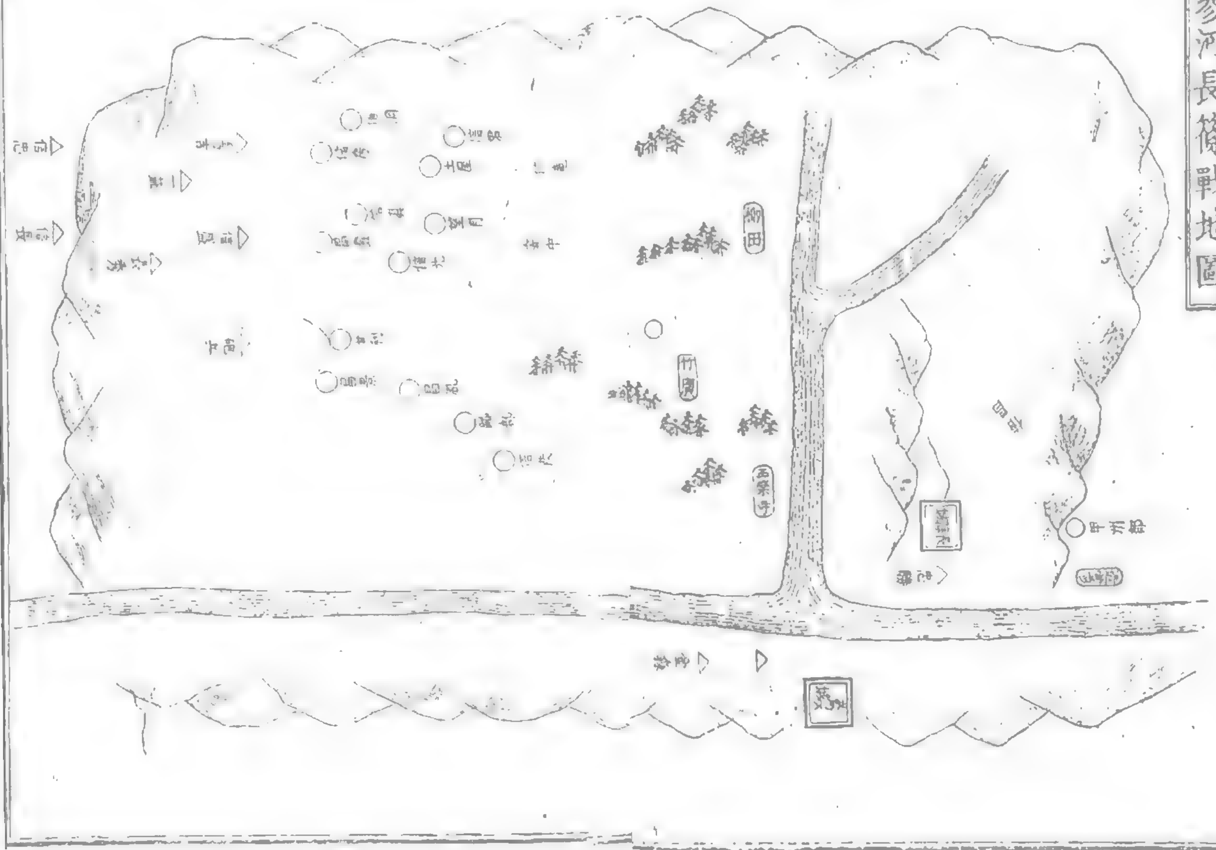

薩摩征討沿途聚圖
薩摩
肥前
筑後
筑前
大隅
日向
豐前
長門
周防

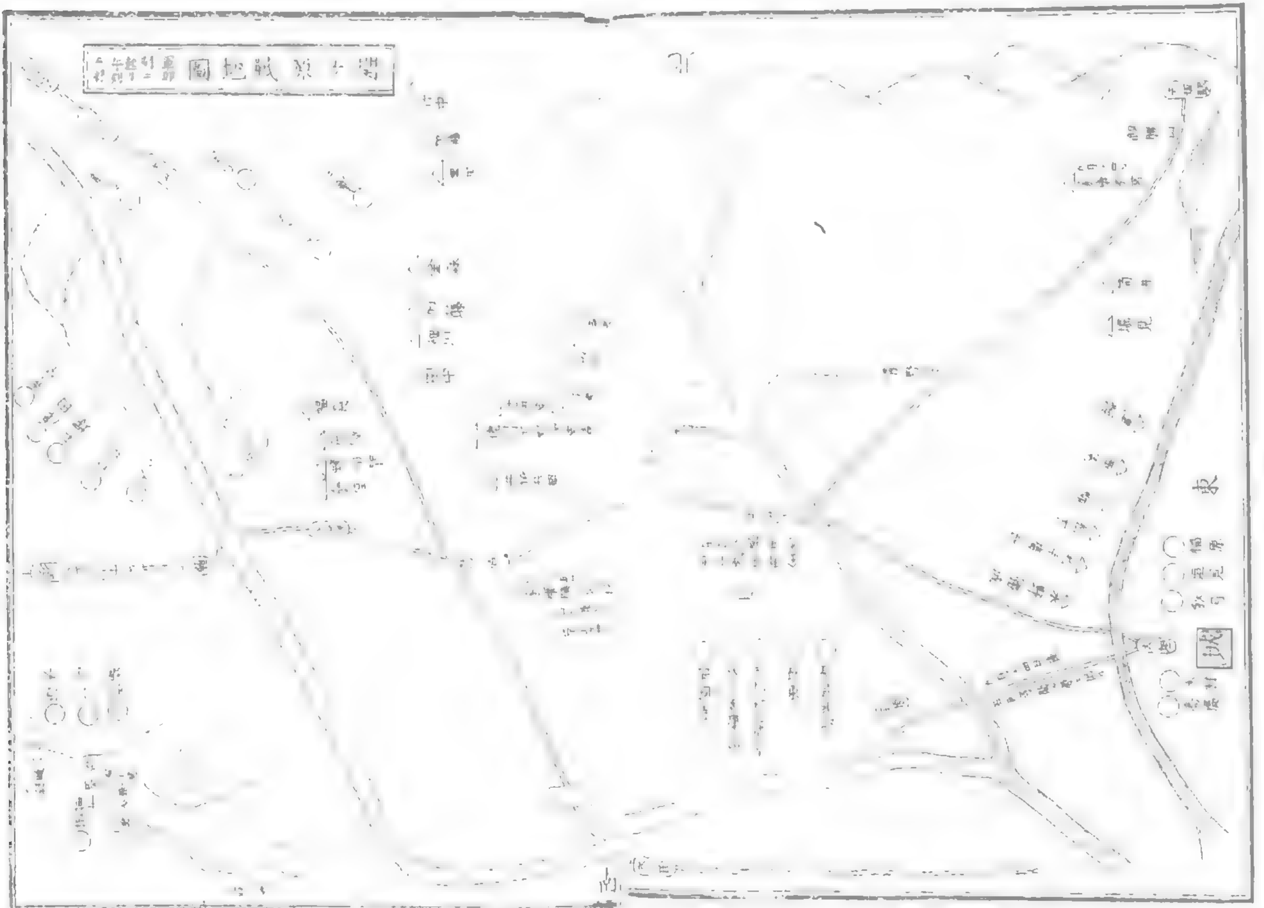

大坂城全圖

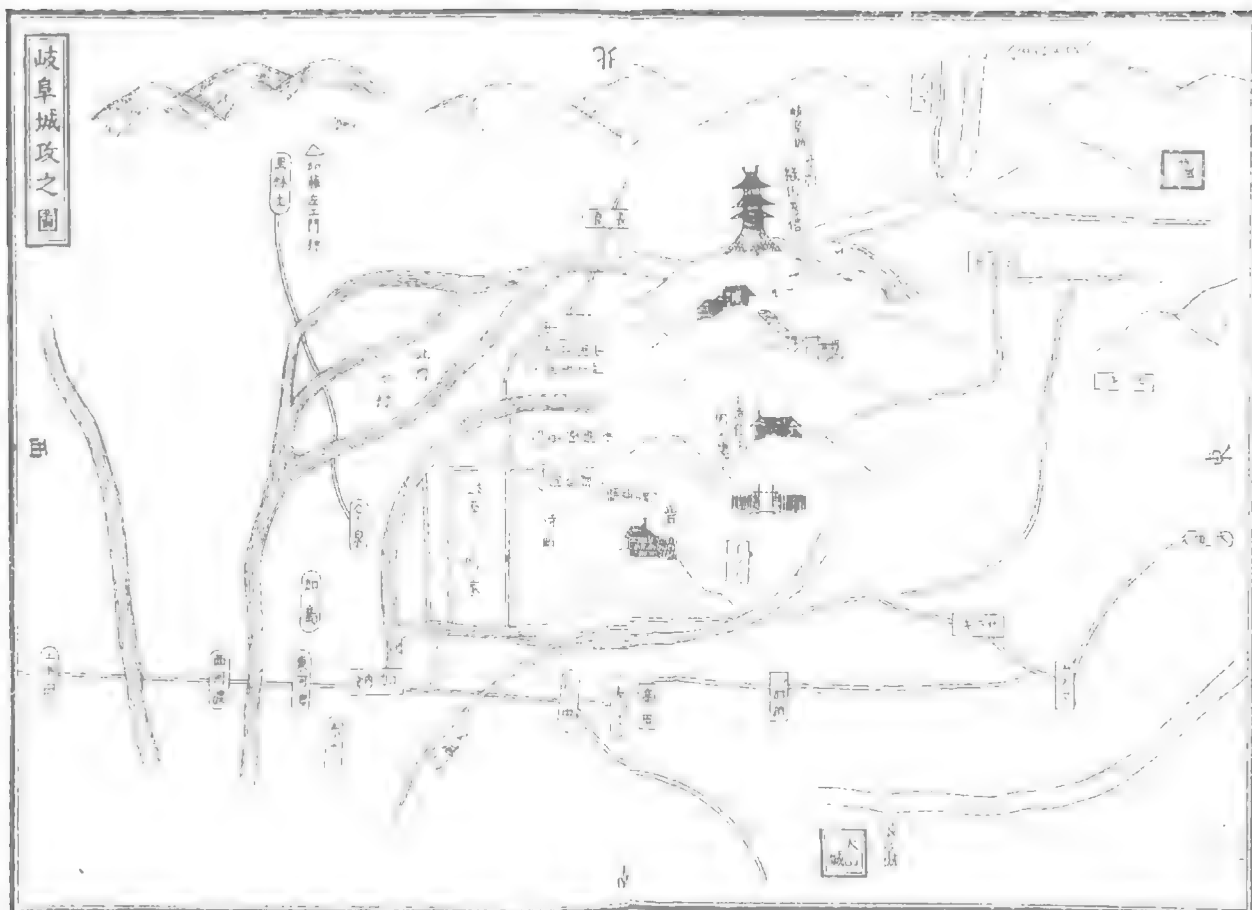


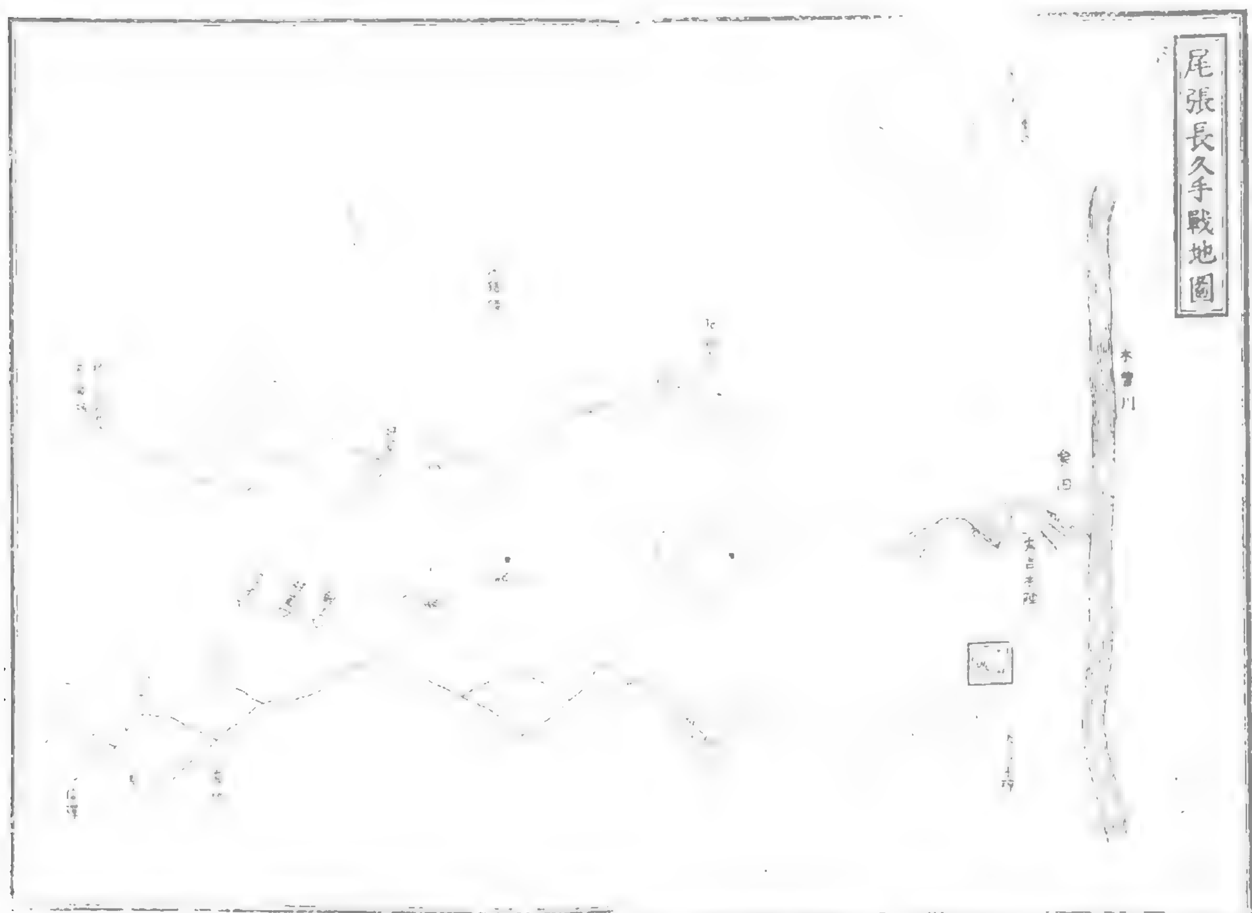
大坂城四境畧圖

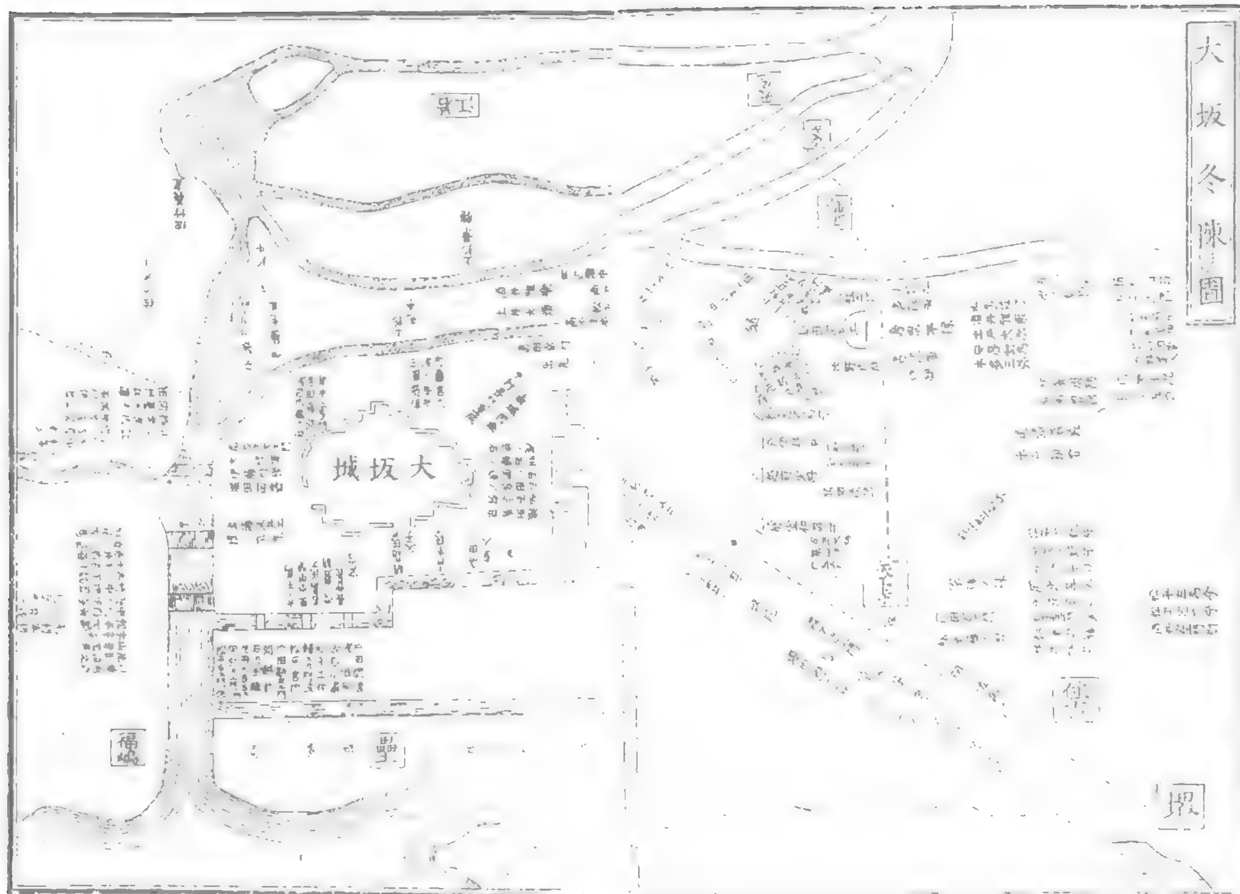

遠江味方原戰地圖

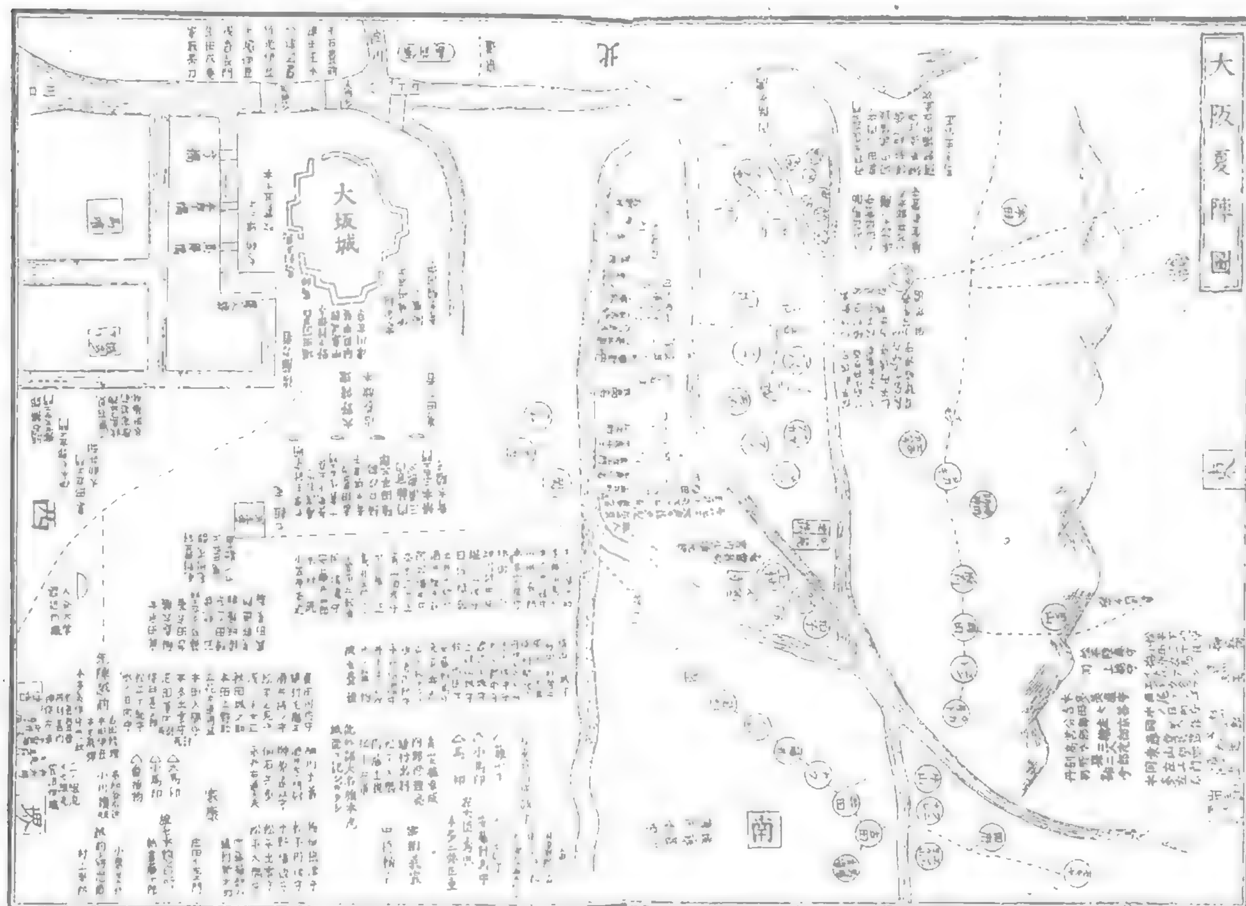

參河長篠戰地圖

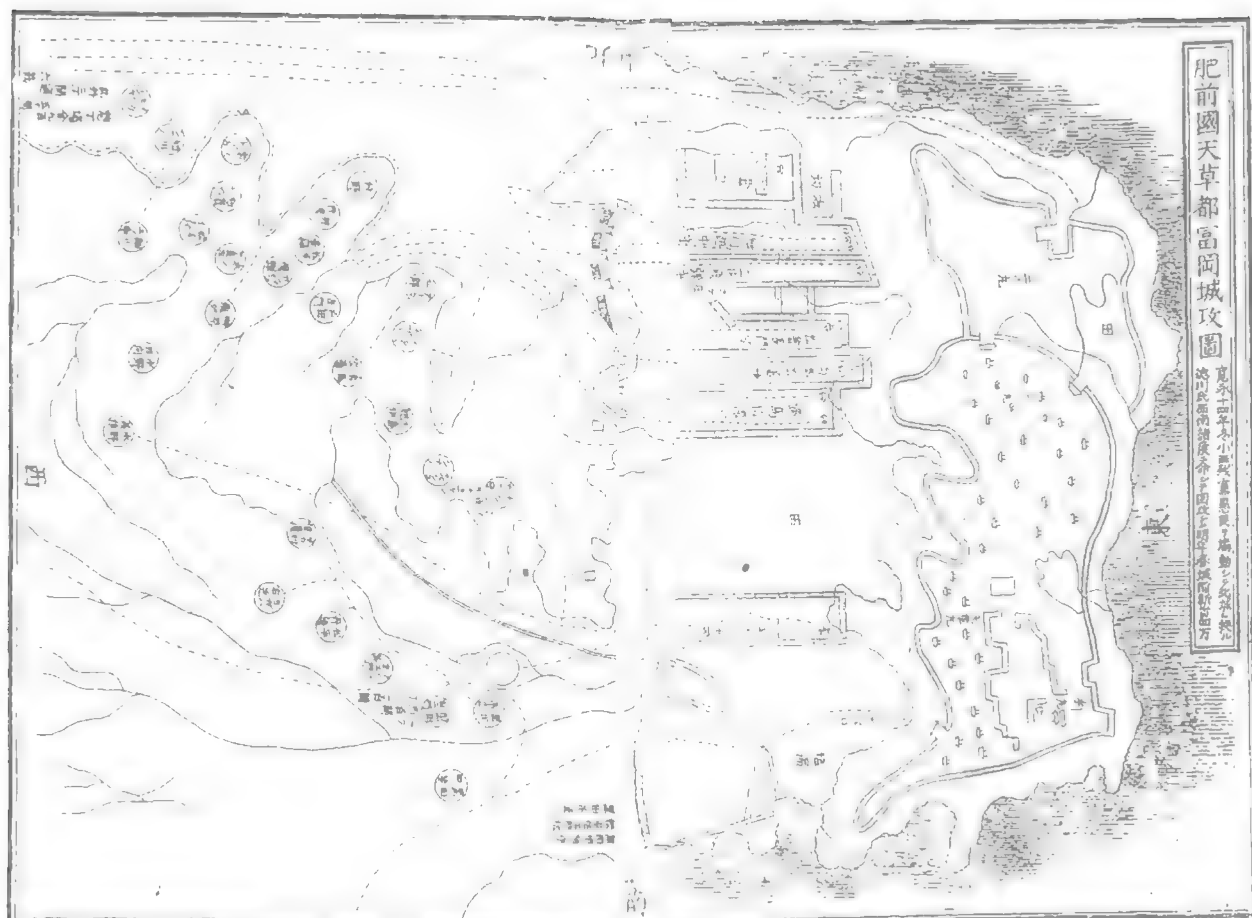

關ヶ原戰地圖


岐阜城攻之圖
北


尾張長久手戰地圖
木曾川


大坂冬陣圖
大坂城


大阪夏陣圖
大坂城
北
西
南



明治十四年六月二十日飜刻御屆

編輯者　京都府平民　河村與一郎　下京第二十六區菊屋町二百四拾七番地

原版人　大阪府平民　松田庄助　大阪府下第三大區二小區京町堀上通三丁目二拾六番地

飜刻出版人　東京府平民　牧野豐太郎　京橋區瀧山町拾壹番地

續簡 編輯

新撰佐倉風土記

明治十六年（一八八三）千葉縣中井書鋪鉛排本

據明治十六年（一八八三）

千葉縣中井書鋪鉛排本影印

續　簡編輯

新撰佐倉風土記

不許翻刻　中井書鋪蔵

新撰佐倉風土記序

史稱和銅六年詔撰諸國風土記蓋風土記之於政治其所關豈少小哉自土地田園戸口之數至山林川澤之所産國之險易風俗之醇醨人力之强弱皆莫不載焉故爲政者據而按之某國之租入幾何戸口幾何某國山林之所生川澤之所産幾何某國險某國易某國風俗醇而人力强某國風俗醨而人力弱皆一々可指

而知是其於爲政其便豈可勝言哉元明天皇所以有和銅之詔者以此也與降及戰國王綱解紐羣雄割據遂成封建國各異制而所謂風土記者或有或無如我下總未嘗聞有之元祿年間丹後守稻葉正通來治佐倉使其臣磯邉昌言撰佐倉風土記凡主吾佐倉者先後九主而有風土記之撰者獨稻葉君一人而已其用心於政事可知已昔者沛公至咸陽也諸將爭

走金帛財物之府分之獨蕭何入秦丞相御史府收律令圖書藏之後漢王所以具知天下阨塞戶口多少強弱之處民之所疾苦者以何得秦圖書也嗟乎何之所見可謂遠於人矣而所謂圖書者即風土記也其用豈不大哉獨所惜於佐倉風土記者其書鹵莽多缺略余嘗欲刪其鹵莽補其缺畧未暇今玆弟子文因改撰其書悉更其體裁以舊記爲附錄且雜以故老所

傳舊聞異事號新撰佐倉風土記將上之梓索序於余余受而閲之自疆域山川郡邑郵驛戶田調租至神祠佛刹及方物土產一々搜索悉之考據明詳使人一目瞭然嗟乎每國有如此記使爲政者觀之則其便於政事豈少小哉余因辨一言於其首且以嘗所著佐倉城沿革記及印波湖記附與之

明治十五年六月　佐倉　續豐德撰

新撰佐倉風土記序

佐倉風土記一卷蓋於正德享保之間磯邉昌言著之今玆書肆中井氏欲上之梓吾友敬齋續君爲正謬誤補缺漏且因其書改體裁名曰新撰佐倉風土記而享保以還百四五十年間風俗土地之沿革可以概見焉其惠於後人豈鮮小也哉然而明治之今日則雖僅々八九年而王化之流行變其觀有尤較著者讀者又不

可以不知也今試擧其一二則若夫風俗則咸重法愼己擴知識力農工說自由唱民權而不復見馳馬角力風也如土地則吾佐倉則城郭廢而鎭臺興千葉則縣治興而紅塵拂而如千葉野或畫爲鎭臺兵士之操練場小大砲響震于數里或域爲牛羊之種殖場牝牡和鳴達千四邊或疆爲貧民授產之區室家相連雞犬交聞麥隴桑圃蒼々相望而不復見曠邈之野也

其餘開合郡邨疏鑿川澤更則神祠佛刹而已然如數十百年溷淆無別神下爲佛佛上爲神者悉撿點而正之祠祝僧尼不爽所事且勞王事殉國難者新建祠宇豐祭祀之奠使見聞之人有慨然所感起則亦非無變更也然則夙重民權爲萬生殺身不悔木内宗吾郎氏其人者豈道傍之小碑而止哉吾見輪奐之堂峙乎雲表也將有日矣嗚呼看此書者其幸無以古而概今也

明治十五年六月

佐倉　青木牛聖撰

踏鳥戀舊林遊子思故鄉此奇其戀舊之情也余生長於佐倉後往在他鄉十數年去歳之冬始歸復住於佐倉其間與人談論每及鄉土未嘗不馳思于鄉里是人情之常不可止者矣余聞之奚能庇其本禾稷向于根夫無知之物猶有不忘本之意人而不知報本可乎一日書肆中井氏來乞曰舊所傳佐倉風土記者蓋享保年間稲葉侯儒臣磯邊昌言著之今茲欲上梓公之于世請校訂之余以爲所以報本者其在此乎故不辭其請遂訂正其謬誤補之以見聞之所及間又加以家兄付所撰佐倉城沿革記及飲馬湖記以足本編未盡者且改撰其書之體裁以今爲主以舊記爲附錄號曰新撰佐倉風土記庶幾乎參與地誌之一隅矣而余之本志亦於是乎成矣

明治十六年三月　　鑛[illegible]識

新撰佐倉風土記

下總州四郡之圖
常陸國
河内郡
香取郡
武射郡
上總國
山邊郡
市原郡

新撰佐倉風土記

封域

佐倉在下總國（在東海道之東南隅、南以內海水連武藏上總界、東南瀕于太平洋、南連上總、西接武藏、北界利根川、接常陸、國中有十三郡。曰結城、曰豐田、曰岡田、曰猿島、曰北相馬、曰南相馬、曰東葛飾、曰千葉、曰印旛、曰下埴生、曰香取、曰匝瑳、曰海上、曰武射、曰山邊……）印旛郡（印旛郡以下利根川以北三郡、則多古結城氏是治時大勢……）古堀田氏之治所。先是土井氏、石川氏、松平氏、大久保氏、戸田氏、稻葉氏共治此。次至堀田氏而數世治焉。其治所在印旛郡。其西南則千葉郡、而西北則南相馬郡、東北連埴生郡及香取郡。是其封疆也。明治四年辛未七月、詔廢藩置縣。同年十一月、廢下總七縣、置印旛縣、管結城・猿島・葛飾・相馬・岡田・豐田・千葉・埴生・印旛九郡。六年六月、廢印旛・木更津

二縣、置千葉縣。爾來此地爲千葉縣之所管矣（佐倉距東京十三里、士族工賈雜居、共稱佐倉町者、十五、曰宮小路町、曰新町、曰裏新町……曰本町……曰鏑木町、曰野狐臺町、曰中尾余町……曰海隣寺町、曰田町）。十一年稱區劃制郡治分畫、設置郡役所於佐倉新町（以十一年十一月廿一日開廳）。管印旛・下埴生・南相馬三郡。

磯邊昌言舊風土記曰、佐倉在下總國（古語拾遺曰、天富命更求沃壤、分阿波忌部、率往東土、播殖麻穀、好麻所生、故謂之總國、穀木所生、故謂之結城郡、註曰、古語麻謂之總也、今爲上總下總二國是也、按民部省圖帳有下總國相馬郡、古記作佐麻郡、而今印旛郡木下河岸之上有布佐村……）。印旛郡居國之東南、而以四郡識之、曰印旛、曰千葉、曰埴生、曰香取。分爲三筋（三筋俗語、言三道也）。城居其中、而南爲寒川筋（寒川筋轄印旛千葉二郡、而四分之三在印旛郡、其一在千葉郡、其界北距城、西至角來、南至仁戸名、相距三十里、西至宇名谷、東至文違而接上總國、相距三十里、乾至上坐、巽至大谷津而接上總國、相距三十里、坤亘千葉郡寒川、今井泉水而至海、艮至立澤高野、相距四十里）。北爲印西筋（專在印旛郡、僅帶千葉郡、其界西至神崎本、東至平賀吉高、西至手印旛江西涯、相距三十餘里、北至竹袋木下、南至臼井城下、相距四十許里、乾至小倉界手賀沼、巽抵印旛江、西至大佐倉、相距三十餘里、坤入千葉郡、至大和田、和距四十許里）。東爲成田筋（亘於印旛埴生香取三郡、其居多印旛、次之埴生、香取最少、其界西至印旛江東涯、東至駒井野、相距二十四里、北至府川而界利根川、南至久能、相違三十里、乾至安食須賀矢口、而界利根川、巽至根木名畑田、接于上總國、相距三十六里、坤至酒々井、接于佐倉市區、艮至名木、跨于香取郡、相距四十二里）。首乾尾巽、左艮右坤、乾巽相連五十四里、坤艮相逮七十七里、東西之隔四十二里、南北之距六十三里。乾界手賀沼、巽接於東金、坤接生實（舊作小弓）、而至海、艮至於小松。東交栗田、西連船橋、南至中田高根、北乃界利根川。其所謂者、印旛居多、埴生次之、千葉次之、香取爲少焉。千葉西亘、南印旛在東、其東北爲埴生、又其東北爲香取、爲地多曠原、

高下不齊、而無山嶽。其曰山者、或斷隴之餘、而有林薄耳。地多墳壤、未嘗有石。木宜杉松、不宜于檜栢樅。竹多出巨竹、但身薄節脆、不甚堅勁。寒暑大率無異武江。春夏之交、屢有烈風、捲沙揚塵。俗謂之衜風。或連五六日而止。下略

風俗

地理誌曰、東海道之人、疏通聰敏、而二總之人淳良。可謂約而盡之矣。夫天地之氣、各以方殊、而人亦因之。南方山水蘊藉而縈紆、人生其間、得氣之正者爲溫潤和雅、其偏者則輕佻浮薄。北方山水奇傑而雄厚、人生其間、得氣之正者爲[illegible]健爽直、其[illegible]者則[illegible][illegible]強[illegible]。此自然之理也。如我下總、則在本邦極東、[illegible][illegible]平衍、絕無峰巒。是以人亦因之而淳良也。其所以乏奇傑雄厚之氣象者、是因氣稟之所使。

然発而唯恐易失之輕佻浮薄耳
舊風土記曰國氣稟交強柔俗尚朴質馳馬角力農商通業第
無鑿利（正二月交市井之氏大合張飲常之里舍藩事相之村嬲也夏四月或中旬鼓下旬閭里家々隣作入隊皆持木兵置于鏡闘三兩日而罷業者野外見宜致聚落之曰鹿島香取東勝夫者必謹神兵之義也○所云秀堅曰蓋上世騎兵之遺制○鶴以爲非無益利也是不殆之也昔者不唯無益之利又無益之利也然而近來不論農商必有國者必以兵及又建製之非貴利不爲少也況有費皆家亦能製物巧之餘而所亦無益利也不用力務耳）

城

佐倉城在印旛郡之中昔稱鹿島山昔千葉氏世居千葉城千葉救
胤弟康胤居焉加城宗家宜胤卒無嗣康胤承宗家移城於佐倉鄕
將門山康胤子輔胤（康胤子胤持卒以弟輔胤爲嗣）徙居佐倉城（印旛門山）文明三年足
利成氏爲上杉顯定所襲去古河來于佐倉（將門山）依輔胤十年輔
胤歿長尾昌賢以和成氏與顯定送成氏於古河城輔胤延德四年

壬子二月卒子孝胤嗣孝胤子勝胤與北條氏通好勝胤子昌胤昌
胤子利胤利胤子親胤親胤弘治三年丁巳八月於佐倉（將門山）自害
衆迎立昌胤三男胤富爲主胤富子邦胤娶北條氏政女氏政見胤
鹿島山之險要使邦胤築城于此經營未成邦胤天正十三年乙酉五
月卒其子重胤僅十歲群下如小田原乞命氏政謂千葉佐倉者介
于敵境位爲樞地令臼井城主原胤義徙居佐倉城（將門山）陪重胤於
小田原以爲質命從重胤母岩松氏（名栄或曰亜胤姉時年十二）于鹿島山之地使
中村爲顯傅之十八年庚寅關白秀吉之征相也重胤率家族援小
田原守湯本口西將淺野長政木村重玆及本多忠勝鳥居元忠平岩
親吉等率兵三万餘徇三總房常四州五月十八日忠勝等勒兵入
下總諸城不能拒守佐倉城千葉氏留後原大炊介致城於內藤家

長白井城主原胤義致城於酒井家次而去七月小田原城陷北條
氏滅重胤坐而失食邑淪居總州之民間千葉氏亡矣是年八月德
川氏封久野三郞左衞門尉宗能于此（一万三千石宗能已老其子民部少輔宗秀爲嗣慶長元年丙申十二月宗秀於城州伏見城與三宅正次鬭死國除更賜宗能佐倉之地千石同七年轉封於遠江國久野七千石）文祿元年壬辰封武田
信吉于此（徙館於本佐倉南大堀居之）慶長七年壬寅十一月遷封于常州水戶而
封松平忠輝于此八年癸卯三月徙封于信州川中島十五年庚戌
以土井利勝封于此使利勝改築城於鹿島十六年辛亥興工七年
而成矣名曰佐倉城徙居於此利勝寬永十年癸酉轉封於古河自
是後一封一轉歷數之自石川忠總松平家信康信堀田正盛正信
松平乘久大久保忠朝戶田忠昌忠眞稻葉正通正知松平乘邑乘
祐堀田正亮正順正時正愛正睦十八侯至於相模守正倫明治元

年戊辰王室中興二年六月十七日 勅聽諸藩版籍奉還之請以
藩守爲知藩事罷從前所帶之官職以公卿諸侯之稱改爲華族四
年七月十四日 詔廢列藩爲縣罷各藩知事職 命使舊藩大參
事假管理事務大事仰朝裁同年十一月廢佐倉縣六年一月定六
鎭臺軍營設其第一軍營第二師管營所于此以管木更津水戶宇
都宮分營充之以步兵第二聯隊內二大隊同年同月凡城地之當
要衝者若爲軍事必需者仍屬陸軍省其他悉附之于大藏省因下
總諸城（古河關宿結城）存佐倉城
舊風土記曰佐倉城在印旛郡之中而稍近西（舊日鹿島山）其爲形勢
居高臨原還阻要屏翳足乎遠邇面卯背酉左右子午前留
市塵曰田町曰新町曰鏑木町曰本町曰本佐倉町曰酒々井

町是曰佐倉六町（俗名宮市陰日町）農賈相雜民庶安堵（至京師八百有八里距武藏國江府七十
九里東南至上總國界四十二里東北至常陸國界亦四十二里西北至下野國界五十四里西至武藏國七十二里）昔千葉介平常
胤自承父祖居千葉城以輔源頼朝公公補之地頭職實封於
此常胤子胤政胤政子成胤成胤子胤綱胤綱子時胤時胤子
胤宗胤宗子貞胤貞胤子氏胤氏胤子滿胤滿胤子兼胤兼胤
子胤直胤直子胤將胤將無子以其弟馬加康胤爲嗣康胤子
輔胤相紹居于千葉輔胤移城于佐倉鄕將門山（在今城東三里俗稱本佐倉城
曰佐倉中胤[illegible]移城又曰輔胤孫[illegible]胤移之今從大日寺之記焉）輔胤子孝胤孝胤子勝胤勝胤子昌胤
昌胤子利胤利胤子親胤親胤子胤富胤富子邦胤北條氏直
以女妻邦胤又相鹿島山之要阨使邦胤移城于此經營未成
邦胤卒其子重胤幼沖天正十八年與北條氏共敗于相模國

小田原城東照大神君驅將門山城文祿元年封武田信吉（神君
第五子稱万千代君）于此建館於本佐倉大堀居之慶長七年壬寅冬十一
月十九日遷封于常陸國水戶而封松平忠輝（信吉弟）于此八年
癸卯春三月二十一日遷于信濃國川中島十四年己酉以土
井利勝封之神君及將軍秀忠公再狩于此賞鹿島山之形勝
遂命利勝城之十六年春正月十一日興功七年而成矣名佐
倉城焉
古堂積氏有佐倉城沿革記曰城在下總印旛郡佐倉鹿島山
西距東京十一里北臨印旛湖南阻內海地爽塏門面東方左
右及背皆懸崖百仞鹿且不得上下而崖下沮洳南西又特以
川實要害處也治承中千葉介常胤屬源頼朝補地頭職始有

此地千葉氏世居千葉常胤十三世孫康胤徙居于本佐倉九
世至邦胤屬北條氏天正中氏政氏直來略下總見此地勝概
勸邦胤經城焉於是邦胤始鑿高阜鳩材木將興工會邦胤病
死子重胤幼在小田原而與北條氏俱滅以故遂不果城也至
慶長十四年己酉德川氏封大炊頭土井利勝於本佐倉告曰
鹿島山爲要害地果城於此則爲天下三城（蓋謂熊本城名古屋城與吾佐倉城）於
是利勝以其十六年辛亥起工閱七年而成矣名曰佐倉城遂
居於此先是德川氏封武田信吉及松平忠輝者皆本佐倉而
非今佐倉也蓋此城創於千葉邦胤而成於土井利勝也寬永
十年癸酉德川氏徙利勝於古河而封主殿頭石川忠總於此
十二年己亥徙忠總於膳所封紀伊守松平家信於此家信卒

子康信嗣十七年庚辰徙康信於高槻城無主者三年十九年
壬午封吾宗藩加賀守堀田正盛爲正盛卒子正信嗣萬治三
年庚子正信得罪配于飯山城無主者又一年寬文元年辛丑
封和泉守松平乘久於此延寶六年戊午徙乘久於唐津封加
賀守大久保忠朝於此貞享三年丙寅徙忠朝於小田原封山
城守戶田忠昌于此忠昌卒子忠具嗣元祿十四年辛巳徙忠
具於高田封丹後守稻葉正通于此正通致仕子正知嗣享保
八年癸卯徙正知於淀封左近將監松平乘邑於此乘邑致仕
子乘祐嗣延享三年丙寅徙乘祐於山形而封吾先君相模守
堀田正亮於此自是歷正順正時正愛正睦四侯至於今侯正
倫明治元年戊辰正月王室中興天下諸侯皆奉還封土今侯

亦然仍爲藩知事居於此四年辛未七月朝廷廢藩置縣今侯乃去而城遂亡矣蓋自慶長十四年至此二百六十有三年而九易主城舊設三郭與外郭而四三郭皆穿陸外廓獨引水而每郭皆植以杉樹至翁欝掩天及後置鎮臺於此悉伐而耕之識者惜焉

論曰德川氏之封建諸侯有外諸侯有內功臣而內功臣之封不過二三十萬石使足以折衝禦侮其外而不得以頡頏於其內其外諸侯雖或踰百萬石然多封宗族據其阨塞以鎮壓其邪心是其制內外輕重之勢以禁姦僭亂可謂密矣然而及至後世其待內功臣則謬矣徒虐使之而不知恤之故少有過差輙易置其封使之困頓疲弊殆至不能存如吾佐倉未滿二百年而九易其主其他皆莫不然是故戊辰之役以數百諸侯不能抗一薩長土之師雖錦旗所指不得不然抑亦無不由困頓疲弊之所致也向使內諸侯國富兵強則其成功未必如此之容易也雖然此亦天之所以祚王室也歟

官廨

東京鎮臺第一軍管第二師管營所在佐倉舊城內鹿島山明治六年一月九日定六鎮臺軍營其一設營所于佐倉以管木更津水戸宇都宮分營充之以步兵第二聯隊內二大隊同年七月改定鎮臺條例置十四師管佐倉屬其中七年六月十四日更定第一軍管第二營所廢佐倉移之宇都宮同年十月二十三日復佐倉

習志野原陸軍練兵場（在千葉郡）明治五年十月十四日置陸軍兵隊演習場于下總國千葉郡六年四月二十九日　乘輿幸大和田原同年五月十七日改大和田原賜名習志野爲陸軍操練場爾是於陸軍省所轄十五年一月原中渾被定　聖上御遊獵場井鳥獸蕃養地（陸軍省所轄演習場如故）

陸軍射的場（在印旛郡下志津原）

千葉縣廳（在下總國千葉郡明治七年二月二日假廳燒失同年新建于同郡寒川村以七月二日開廳）

明治元年八月八日大總督府置下總知縣事而未有縣名二年正月十三日始置葛飾縣於下總四年七月廢藩置縣同年十一月十三日廢葛飾佐倉古河關宿結城曾我野生實七縣置印旛縣於下總置木更津縣於上總以河瀨秀治爲印旛縣令管下總九郡四十六萬石六年六月十五日併印旛木更津二縣置本縣以柴原和爲令管安房上總及下總九郡八年五月七日廢新治縣以其所管下總國香取匝瑳海上三郡隸之于本縣以利根川以北地屬之于茨城縣（結城豐田岡田猿島北相馬西葛飾）

千葉裁判所（始置裁判所及治安裁判所在千葉郡千葉）明治十五年一月改定各裁判所位置及其管轄之區畫

農商務省種畜場（在印旛下埴生兩郡之間字兩國塚等之地跨地亘上總國武射郡）三里　明治八年五月開牧場於此置牧羊種畜之二場稱設官廳于字兩國索海外良好之種畜以計海內畜產之改良（將開牧羊之業於各地先求國牧羊家至因設生徒養成所講習其術及農西農器之用法十二年四月生徒既閲三年之學期卒業成歸以羊既成解備求入之約）十四年六月　乘輿臨幸於此親叡覽諸事業十五年六月再臨幸于此

郡村

印旛郡（舊事記應神天皇世置印播國造万葉集常陸風土記作印波〇三代實錄紹延喜式和名抄作印播〇西風土記曰印播諸俗爲惟轎之轎名歟〇明治維新後用旛字）利根川以南之地稱之印旛郡幅員頗廣東斗入埴生郡及上總武射郡西接南相馬東葛飾千葉三郡東南連上總山邊郡北至利根川地勢平濶多原沼小間子野原跨于千葉郡及上總武射山邊二郡飲馬沼瀕于郡中手賀沼浸于郡西飲馬沼爲著名之大湖手賀沼亦亞之而大利根川要津有木下風景流船從此上下于銚子港晝夜不絕佐倉城址在飲馬沼上流一丘起于平野水流繞其麓頗爲險要之地舊城主堀田氏世居於此廢藩之際爲印旛縣廳從而廢之今又爲陸軍第二師管本營近來設郡役所于舊城外佐倉新町以管印旛下埴生南相馬之三郡白井城址在白井臺距佐倉一里餘舊爲千葉氏之居城

其耕宅地一萬五千百五十町二段八畝十一步山林一萬五千五百十九町七段二畝十七步原野二千九十三町七段八畝十一步此地價金三百八十五萬二千九百四十八圓九錢八厘戶一萬三千六百二十五口七萬三千七百零五其三萬七千五百零三男其三萬六千二百零二女小學校八十町二十三村二百二十八

○佐倉新町（舊風土記曰印播江沮于郡中之中共東爲印東共西爲印西共名征）○佐倉裏新町○佐倉並木町○佐倉宮小路町○佐倉田町（傳曰舊庭島鄕）○佐倉海隣寺町○佐倉最上町○佐倉中尾余町○佐倉彌勒町○佐倉野狐臺町○佐倉本町○佐倉樹木町○佐倉藤澤町○將門町（有將門山）○本佐倉町○本佐倉（有古佐倉城址）○鏑木○寺崎○太田○六崎○城○石川○大蛇○高岡○上代○長熊（和名抄云長隈）○馬橋○八木○高崎○直彌○宮本○米戶○寒風○上別所○天邊○酒々井町○酒々井（舊風土記曰鹿長中東照大神名含令引印播江至村外面爲酒々澗利今皆爲田猶有新堀名）○中川○墨古澤（合併）○尾上○新橋○下臺○上岩橋○伊篠○伊篠新田○飯仲（公津）○下岩橋○江辨須（公津）○大袋（公津）○飯田新田○柏木（以下四村傍印播湖東涯）○下方（公津）○北須賀○八代（和名抄云印播郡八代）○臺方（公津本○有千葉氏城址麻賀多神社等）○船方（公津）○公津新田○日吉倉○久能○大和○根木名（有根木名驛）○中澤○立澤○新中澤○立澤新田○飯積○七榮（原野開墾地）○十倉（同上）○高野○高松○文違○雁丸新田○大關新田○榎戶新田○瓜坪新田○上勝田○下勝田○八街（原野開墾之地）○東吉田○吉倉○上砂○砂○勢田○大谷流○小谷流（合併稲葉村稲葉和名抄云印播）○用草○根古屋○岡田○西御門○宮內○飯塚○七曲（日吉倉至于此諸村接曠原曾小間子牧柳澤牧高野牧內野牧四牧場在此）

中○岩富○岩富町（舊曰白井莊富富鄕有城址）○內田○坂戶○木野子○神門○小篠塚○大篠塚○馬渡○成山○中臺○中野○山梨（和名抄云千葉郡山鄕）○和田○吉岡○南波佐間○上野○小名木○和良北鹿渡○宇那谷、○下市場○村上（和名抄有印播郡村神）○上高野○下高野○米本（有村上氏城址）○神野（舊風土記曰在印播江上流南此北設堂有二小流西出于千葉郡東自武藏來神與先崎之岡合爲一）○保品○先崎○齊管（保品至于此傍印播湖上流西南岸）○井野○井野町○小竹○上坐○白井臺町○白井（在白井氏城址）○臼井田町○上志津○下志津（有陸軍省射的場）○畔田○內黑田○生ヶ谷○長岡○栗山○物井○龜崎（舊風土記曰享保三年村民鋤圃中有古錢一萬五千文皆開元洪武等錢也）○羽鳥○吉見（合併飯郷新田二村改稱云然）○飯重（青菅至于此二十二ヶ村舊曰臼井莊）○江原新田○江原町○角來○山崎○下根○下根町○飯野町○飯野○土浮○荻山新田○飯田○大佐倉（舊風土記曰土浮至于此傍印

據江市岸此水涸轉之因名宿佐倉宿水陸路衝〇岩名〇山田〇平賀併印旛湖北岸與此南北夾湖折〇
瀬戸市毓于土浮木上三百九十丈〇鏑木〇師戸湖上亦二百九十丈南毓于臼井薦〇岩戸〇吉田〇松
崎合併松崎新田〇船尾和名抄印旛郡有船穗郷蓋是歟〇平賀至于此皆傍于印旛湖上沒北涯〇武西合併寶寺〇多
多賀田〇結縁寺有結縁寺〇惣深新田有熊野祠〇造谷〇大廻〇角田〇
花野〇龍腹寺有龍腹寺〇瀧〇物木〇吉高和名抄云吉高〇松虫有松虫姫之遺蹟〇萩
原〇中根〇笠神風土記曰野土實書色帶黑入火燃然所以代薪里民喚之以燒薪之化土近江國甲賀栗太二郡原有燒土之其
在甲賀者曰燧木土面似石色黃帶灰色化土有瑪在栗太者曰須久毛非石非土亦非草芠如木葉之重貼屈朽而黑色有罅處異瑪總後及他州亦有如甲賀出者而異
烟可想云按石炭石墨可以炊爨凌地理志水石陽湖程子外書炭室志者皐毛至範臨東坡集並言之而本草綱目石部亦收之土之可燒者亦當有而未見其說要
焉〇萩原新田〇松虫新田〇中根新田〇行徳新田〇下曾根新
田〇和泉屋新田〇甚兵衛新田〇下井新田〇酒直卜杭新田〇
安食卜杭新田吉高至于此皆傍于印旛湖之西畔〇長門屋新田〇中田切新田〇

押付新田〇松木新田〇佐野屋新田〇將監新田〇北布鎌併布鎌
北四箇村同北新田同松須賀新田同押砂新田改稱云然〇布鎌酒直新田〇布鎌下和田新田〇
布鎌脇川新田〇布鎌南四ヶ村新田〇布鎌大森新田〇布鎌長
門屋新田〇布鎌押付新田〇布鎌謂方新田〇布鎌中谷新田〇
布鎌七右衛門新田〇布鎌源五左衛門新田〇布鎌利右衛門新
田〇布鎌太郎右衛門新田〇布鎌上曾根新田〇布鎌南新田〇
布鎌西新田北布鎌至于此十八村北帶利根之本流南繞其支流西東合印旛湖之下流全村在利根川中爲一小嶼稱之布鎌村〇小林
〇小林新田〇平岡〇竹袋在利根川南涯木下河岸鳥之便于灘船運漕〇大森〇別所
併別所新田〇宗甫新田〇龜成併龜成新田實田新田〇發作併發作新田白幡新田〇八幡〇
十餘一取野開墾地〇鹿黑合併鹿黑村新田〇和泉併和泉南新田〇小倉併小倉新田〇泉新
田〇浦邊〇白幡〇平塚合併中村新田之內平塚平塚村新田〇名內〇今井新田

〇中村新田之內名內〇中內併中村新田之內手賀〇富塚併富塚新田〇折立〇神々
廻〇浦戸併浦戸新田〇谷田〇役併長殿法目宮ヶ谷更稱宮ヶ谷〇根併七澤中木戸新田白井木戸新田
輕井澤新田改稱云然〇木更稱所澤野口〇白井橋本〇染井入新田傍于手賀沼南畔〇呼塚
新田以下五村傍于手賀沼北畔〇根戸村新田〇我孫子新田〇高野山村新田
〇岡發戸村新田〇都部村新田
下埴生郡中古屬香取郡近生貞享三年復稱郡〇明治十一年十一月郡制施行上總國埴生郡改稱上埴生郡下總埴生郡改稱下埴生郡
東北边香取郡沿利根川西南隣印旛郡東南界上總武射郡地勢
平曠有長沼有取香野長沼南北一里東西十町有灌漑之便魚蝦
之利
其耕宅地四千七百二十六町五段四步山林三千百八十四町一
段九畝十八步原野五百三十四町五段十四步此地價金百四十

三萬二千六百四十四圓三十一錢五厘戶四千百口二萬〇〇十
三共一萬〇〇四十男共九千九百七十三女小學校二十二村六
十一
〇大竹南接八代北連安食西傍印旛湖東涯〇安食印旛湖至此如口湖上入往北流入利根川〇須賀〇北邊
田〇矢口〇龍蓋〇安西新田矢口至此三村東連傍于利根川之南畔〇田川接長沼東連香取河內郡
片岡傍于利根川之北畔〇興津〇佐野〇麻生〇酒直〇龍角寺有龍角寺〇南羽鳥
〇北羽鳥〇長沼沿于長沼西畔〇上福田〇下福田〇寶田風土記曰有寶谷田地皮也
有高材出皆鬱木也〇松崎〇山口和名抄云山方〇風土記曰村有沼川谷郷昔有孤泉而今亡矣其地土鹹如海猶存〇押畑
風土記曰有乘谷鬱地可一丈朽木出皆栗也〇新妻〇蘆田〇花海〇國部以上四ヶ村北連沿于長沼東畔
〇水掛〇幡谷〇土室〇大室有圓通寺風土記曰村東有田數十步水鹹如潮不宜耕稼云〇成毛
〇大生〇飯岡有永福寺〇西泉〇東泉〇小泉〇十餘三墾野開之地〇赤

荻○下金山○和田○東金山○野毛平○關戸○久米○馬場○山作○大山○小菅○長田○堀内○取香（舊牧場取香牧在于此）○駒井野○吉倉（併稱西吉倉東吉倉）○東和田○川栗○畑田○寺臺○郷部○土屋○成田（有新勝寺不動堂）○成木新田

南相馬郡（明治十一年十一月區劃郡治分舊分相馬郡爲南相馬北相馬）

亦以利根川以南之地印旛郡之一角置郡中、劃斷兩地、地勢平曠、手賀沼在其中央、而其地凰出印旛郡下流至布佐而注利根川、有布施爲常陸街道之一驛、有我孫子爲陸前濱街道之小市、其耕宅地三千二百三十八町四段六畝三歩山林二千五百二十二町八段五畝二十八歩原野千九町三段二畝二十九歩此地價金六十八萬二千八百三十二圓五十三錢五厘戸二千八百五十八口一萬七千百六十九其八千四百七十七男其八千六百九十二女小學校十九村三十九

布瀬（作兵衞新田小濱新田平貫村新田合併和名抄相馬郡古濱里是歟）○手賀（臨手賀沼印旛郡）○片山○柳戸（併上柳戸下柳戸）○泉○金山○藤ヶ谷○藤ヶ谷新田○高柳○塚崎○若白毛○鷲野谷○五條谷○大島田○岩井○箕輪○大井（和名抄云大井以上十七村在手賀沼以南印旛郡之中西西接葛飾郡）○根戸○宿連寺○久寺家○布施（傍利根川之南畔有辨天堂）○我孫子（驛）○柴崎○青山○高野山○下ヶ戸○岡發戸○都部○中里○中峠○日秀○古戸○新木○大作新田○淺間前新田○相島新田○布佐下新田（以上四村東瀕[illegible]子手賀沼北畔）○江藏地（傍利根川南涯）○布佐（在利根川南涯爲水陸運輸之要路手賀沼下流至此注于利根川○古語拾遺所謂總國蓋是歟○以上二十二ヶ村北帶利根川後子手賀沼其南遠中

香取郡（日本書紀作楫取清宮氏曰推常陸風土記鹿島郡側註孝德天皇世置郡）

爲國中之大郡、跨于利根川、東北界常陸國、南臨海上匝瑳二郡、西南接埴生郡及上總國武射郡、地勢曠衍、一水發源于郡之北方、南流會椽水、經匝瑳郡、入于上總國、謂之栗山川、利根派川之地多得運輸之便、有神崎森、枕于利根川、眺望絶佳、郡之東北境有乾潟、其地跨于匝瑳海上二郡、是則椿海之地、今爲稻田者矣、有佐原、在郡中、爲都會之地、置當郡役所於此、香取神宮在香取村、樹木森蔚、祠宇宏壯、祭神經津主神、配之以武甕槌神天兒屋命姫神、是爲官幣大社、郡中多屬舊藩地者、内田氏佐小見川、松平氏在多古、井上氏在高岡、大崎故城址在本矢作、古國分氏居于此、有小南古城址、傳昔平忠常據於此、源頼信降之、助崎故城址在名古屋村、村中有別格官幣社小御門神社、乃爲贈正一位藤原文貞公祠

全郡耕宅地二萬六千二百三町五段二畝一歩此地價金七百九十萬七千百八十七圓七十二錢二厘戸二萬千二百六十六口十一萬一千三百七小學校七十一村數二百七十四

西大須賀○滑川（傍于利根川南畔亦爲驛舍亦有觀音堂）○大菅○高倉○名古屋（舊曰助崎有別格官幣社小御門神社及助崎古壘）○七澤○小野○冬父○中里○名木（以上或云舊助崎莊○以上十村昔時屬佐倉封域者也其耕宅地七百五十七町六段八畝十九歩山林原野五百三拾八町四畝十歩此地價金廿四萬九千二百五十一圓四十三錢戸六百廿三口三千百廿二學校二）

千葉郡（中古稱葛飾郡千葉莊貞享三年復稱郡）

在國之西南隅、西臨内海、連東葛飾郡、東北隣印旛郡、東南接上總國、地平坦而多原野、有習志野六方野鳥喰野十文字野等、當郡之西

南隅有一驛曰濱野其北驛市曰曾我野爲戶田忠至之舊封地生實亦爲森川氏之舊封地在昔足利義明據於此以敵納其居曰御弓御所海岸一聚落曰寒川村連千葉町此地有千葉縣廳管轄安房上總二國及下總利根川以南之地有郡役所管掌千葉市原二郡其他有裁判所警察署監獄署又有師範學校醫學校之設千葉町之南有古城址曰豬鼻臺千葉氏世々居焉寒川村西連登戶村從此船舶常往返于東京又其西有撿見川此間砂路行旅難步近來連通稻毛村數村新開路以便行旅撿見川西有一驛曰馬加有城址傳曰千葉康胤居此

其耕宅地一萬九百二十三町八段二畝二十一步原野百十九町五段九畝十九步戶一萬九百五十

新撰佐倉風土記　十五

一口六萬二千七百五十五其三萬一千四百六男其三萬一千三百四十九女師範學校二其一女子師範學校小學校五十三町二村百二十七

且谷○谷當○下田○大井戶○下泉○上泉○中田○古泉（在鳥喰野）○富田○和泉○中野（本郡之東南隅接上總山邊郡）○平川○五十土○野呂○高田○佐和○川井（在四作原）○高根○多部田○北谷津○金親○大草○小倉○坂月○加曾利○長峯○坂尾○平山○過田○野田（以上數村千葉郡之東南在六方野四作原小間子野等曠原中）○大金澤○小金澤○川戶○仁戶名○星久喜○矢作○千葉寺（有千葉寺）○宮崎○大森○小花輪○赤井○有吉○生實鄕（或曰小弓舊森川氏之治所有小弓古城足利義明館址大巖寺）○北生實（有森川氏舊壘及古壘）○南生實○谷津○埔田子○宮岡○茂呂○中西○落井○駒崎○

古市場（近于上總市原郡）○村田（在村田川爲兩總國界○以下六村總沿內海東岸便于漁獵）○濱野（有本行寺）○曾我野（戶田忠至舊封地有曾我比咩神社）○今井（合併泉水）○寒川（有千葉縣廳及郡役所於此地便于漁獵鄉權）○登戶（東京俗稱之津）○千葉町（有裁判所師範學校病院等亦有千葉神社千葉氏古壘及墳墓）○貝塚○邊田○川野邊新田○原○高品○東寺山○殿臺○作草部（和名抄云三枝）○萩臺○西寺山○小深新田○長沼新田○犢橋○宮野木○畑○小中臺○園生○黑砂○稻毛○撿見川○馬加（有千葉氏古城址）○鷲沼武久々田○谷津（併名倚地新田○黑砂至此七村連沿內海東北岸）○藤崎○大久保新田○武石○實籾○長作○天戶○花島○柏井○横戶○勝田○萱田○萱田町○大和田○大和田新田（在習志野原）○高津新田○高津○三山（有二宮神社）○藥園臺新田（或曰正伯新田接習志野）○瀧臺新田○田喜野井○前原新田○上飯山滿○下飯山滿○大穴○坪井○古和釜○金堀○楠ヶ山○

新撰佐倉風土記　十六

神保新田○八木ヶ谷○大神保山章方○行々林○小室○小野田○小池○眞木野○神久保○佐山○平戶（有神崎）○鳥田○桑納○桑橋○吉橋○麥丸

道路（轄佐倉津保）

東京路（在佐倉西置驛五佐倉至臼井一里臼井至大和田二里大和田至船橋三里船橋驛八幡至市川航江戶川六里達東京○船橋至行德二里行德航江戶川及中川四里西達東京或行德通漁舟於江戶川直航東京○佐倉西南通千葉町至寒川五里自寒川航于上總木更津七里西南航東京）

成田路香取路（在佐倉東佐倉至酒々井一里酒々井至成田二里成田至香取古同伊能忠敬田至佐原七里佐原東南至鹿島三里十餘町西南通香取○成田至鹿島至川三里餘佛川驛至高岡神崎大戶川五里西總佐原取佐原誠津宮迁舟屢加置洲洲崎三里至大舳津又平里總鹿島宮中）

銚子路（佐倉驛成田驛須賀山至佐原驛香取驛從佐原至津宮一里津宮至小見川二里餘小見川驛須賀山石出東庄本野尻高田五驛至松岸六里自此一里銚子面總飯沼○自小見川北有佐山椿太河岸從此通利根川達銚子○自酒々井過木名上總加茂至多古四里自多古至中村二里中村至松山八日市場太田成田過松岸十里銚子飯沼之銚子驛）

関宿路 在佐倉北佐倉至瀬戸一里半此同有土浮渡筑手七百歩瀬戸至荒野一里荒野至瀬一里半瀬至木下一里木下至布川一里此間有利根川布川一至小文間腰取手守屋鬼怒川通内守屋岩井百戸通関宿自此西北四里至古河又七里通栃木○関谷北七里谷西通結城○関宿道通船渋江戸川航渡東京

上総路 在佐倉西南佐倉五佐倉至馬渡二里馬渡至千葉三里千葉至曾我野一里曾我野至宿野二十里町波野至八幡又二十里町西入上総国八幡座

五井姉ヶ崎奈良貫崎七里至木更津又四里至佐貫○佐貫至酒井戸長柄山長南十里西通大多喜○千葉西北陸岐見川鳥船四里二十里町至船橋又六里通東京

常陸路 佐倉至布川如宿路而布川至若芝三里若芝原牛久荒川小村五里通土浦土浦東北陸中貫稲吉石岡竹原片倉小幡長岡十一里西通水戸

○土浦西北陸北餘五里半至筑波

下野路 佐倉至布川同前自布川西北至山王渡小貝川歴水海道石下宗道至下宇過船玉十八里西至結城自此北九里通宇都宮西北九里通栃木

徑路 佐倉市木六崎神門岩富砂六里通上総国東金○佐倉過佐熊勝田大国新田八街東市行六里亦通東金○千葉東南通児久喜仁戸名東経野呂

和泉中野西通上総酒山田南翠好田西河土気○酒々井東南過盛佐五里過上総国芝山○成田北経松崎龍角寺矢口利根川西通常陸云是古路奥路也

馳漕 西風土記日堅従中酒々井北同浪引印旛江西宮舟於酒々井西今栗澤只存新畑名耳而存二近一登戸通佐倉市三十里寒川並通西在海畔此浮漕

西市五十里通武江浪大和田浜通佐倉浜六里迄印旛江北十八里而色利根川西左浜之過木下歴四宿南折沿市川入海西達武江戸右従流而下香取浦川

金江津神崎佐原小見川西至渋子入東海父古渕過上総而通安房武蔵○今也利根瀬川之地有安食従此迄印旛湖上通佐倉田町

渡津 師戸政信過印旛湖上七百歩市敷臼井田町土浮渡北鯨瀬戸亦湖上七百歩

橋梁 ○鹿島橋在佐倉田野宮城西北架東西○佐真田橋在鶴木六崎同将子南北○渡田橋同上○寺崎橋南北架子鎮木寺崎間○羽島橋在寺崎羽島間○

馬渡橋在馬渡架坤艮○小竹橋架子臼井上座際○下勝田橋在下勝田上則所間架乾飛○鹿馬橋在大森鹿島間○神崎橋在鮎見平戸間○平戸橋架平戸神野間

○荒田橋在下市場荒田間架東西○大和橋在千葉町○君神橋在寺在川架南北傳治永中平常風車兵衛源義朝商待歟此橋故名之云○寺長橋在寺台村東○新乗

橋在押畑新及間○飯岡橋架飯岡間田原

山川原野泉石

鹿島山 在臼城中今設陸軍養所於此書有鹿島神社霊置者所時移之子佗書鳳土記日鹿島神社在郡内未詳創建年時以上名鹿島下有鹿島祀観之知

其存古跡

将門山 在佐倉城本佐倉北文入三年癸亥曾書移士族於此舞閣門町○曾風土記日在佐倉城東六里有古蹟迹俗傳平将門館于此其蹟枯梗皆

字故名山云八幡之社後有松古経如蓋因何二丈俗日八幡松又西北百歩有古松巨処無徴元誠中新之其株上羅鎖廟八幡枯梗之丘木也○将宮氏日米井村有霜平

将門愛桔梗事見於将門式妾名云○内此地下桔梗今桔梗不着花今○帰古堂日佐倉将門山馬後小蔵家用合以為喜式名云此地桔梗今皆不花○古旧桔梗上好著相

亦有此説不足信

花島山 在印旛郡平賀村東北印旛国中谷原鄕島臺花佐側相近故然山多際及隣傍故名之云○書風土記日山陰印旛江西岸一江之郡鄕皆有寺

日大日本寺弘法大師修錬摩山上封土記其旗址山原有鳥站木山有十六峯八谷云

稷山 在印旛郡公津臺方村

千座山 在印旛郡臺方村

鳥見丘 在印旛郡林原村常陸風土記云印旛郡鳥見丘乃是○清宮秀坐日常陸風土記云大足日子天皇臺坐下鶴国印旛鳥見邸阿逸遊留跡東日御

刀印水旛地沼勢高杵爽陸登是泉丹行天空皇阿殿過在故其址中而今人無原知村為有何鳥址見書阿臨

菊水山 在香取郡滑川村山上有泉日菊水傳小田氏之古塁址

猪鼻山 在千葉郡千葉町南百許歩距内溝十町許千葉氏之古塁也其址田間時出焦米至楼如石甚千葉氏時儲糧兵火化灼云

印旛湖 調于印旛郡中天明及天保中府府会儲侯之其神野平戸之同歴来本村上西通下市場並田之間過勝田橋戸柏井経畑武石至海見

川以注于内海工不成○西民土記日佐俗日沮浮乃沮此亦宜日印播又日印福湖此江也古尼四十餘里有舟経之便多矣鯰之利而下引海川宜六江而氏沼或

之湖毛名不鄕奈北上故佐今和以佐江可曾爲大於江不千奈里里有其興口而志者毛並川亦佐尚乃矣伊其沢沼乃出字於納奈見多之江西毘

六北七里里二至小師戸一台自於鹿平船戸橋之下間彼一而自瓶戸河神二佐里山又之東間少北流于七船八尾里下而橋至同手一賀里自而此東北南

其所汎備湛之大患而常湖在其風十而来里必設在於深印水播鄕植苗生将二根郡川西東北南過鄕安海食若分渡風尾帯以而入明利自根山川

登口国吹者上平面賓水爲道住行在野入次于之此納収耳水江泥之一野為不頃宜唐于而平之山如招如坐也仙宜定于如豐征臨取矣尾井

富衍士朗峯者于平其賀千之里望表也者飯野大之江眺一也凡廣江以村三十陰水佐外山也洲神也保品也知骨背日也而先而

佐勢倉也也柏井木也也江下原方也也角北来羽也貫佐也倉八也代山也谷大也竹下也横酒也臼也野安也倉土也四也連印山小也西面北田鉄也乾大

也平下賀見也前吉高以也終於于虫也馬其船原北也也中根谷也也笠吉神田也也笠神野也原也戸下也枝也皆也運印戸西也西山起田

十終丈回水色深印玄而底者不可吉渕高旋渦可其二常里輪江臨中深有最二村穴民一所北之一佐南入相知連穴四佐五久十知歩輪鳳各之可小五

水者尺非于此火穴非下見湖火取初之史無分伝故五名六十北成百数十以若北往江若上来或問宏或祭之乍滅火乍川近水及中高

中又至深以五丈許多而出巨村亦土江人上引一作寄日也或○作好氏局日今天変明存中君宮○命眼古印営有湖印旛南湖高記日地

下總印旛郡有湖曰印旛湖以其郡名之也最西南二面至北入于利根川從其七里廣二里北西有湖出于鮒尾之西北受二小沈東過神崎又東至于師戶入于利根川其七

南有二湖曰對呂一曰吉倉在佐倉城西南合之物又井北川一自文至于鹿島之崎野入于湖東納二小高崎川至于西一川至于坐野與西湖之一物入于西

發曰井戶城之北千葉氏所築北有大限永祿中正十九年鹿島上總介千葉之所以天文所亡云今所爲西湖千葉佐倉城之北

至于中川北有大蛇所居故名曰龍宮則以神少北又東之多台社其神社社中之水旗在今行平南其所有

交於高瀨曰鷲花山所以名也北所在其北吉高赤有其所呂北曰北風所有千葉氏吉之氏名曰花吉高代介所

對於北千子水上須賀湖之閒以北云如見堅如如走馬如鷹之天明方不收則見上村下落一宮所在

帆湖古成曰湖曰沼又曰江者賀不得其貴古高之東湖中有大穴二種此不可不可三四

北小相者夏時五十步水色中深故名爲湖爲一常不可數百足人且閒之每佐入六七月佐入雨之夜有之

火一中氣也非自佐久如火穴非見西火堅以火之大如竹枝如下來井至于下食近其然西入湖根不川可之湖亦多

風頃之行湖于湖以之所以涉不見以十生里不投如如百天下氣所為赤不可知其千風處中天明及天

保中後有官治所以賞在之以示于內海水工高于湖不成云其

手賀沼

沼在印旛郡之西南二十町面北佐倉城之東北三里許其水源出于印旛郡鵜野間戶之間又北流東南北一里其出于利根川之中央

野歌東至木下大井之合流入利根川又一源出金山之北流至多古之北

長沼

北尾爲大下流西北又西一里東北大須賀入利根川沼在印旛郡之北生西新田東西十町多數又有其利

阿蘇沼

舊風土記曰在印旛郡之上保其中有平入者故佐入之毛乃射阿曾沼此乃古北也

毛可久野比等以此其事以見世有所爲沼也寺云里人所傳如此或石以

吉次沼

在印旛郡佐倉新田領內有丘墳是爲金實古次之墓實永元年水水在沼方二百步許爲沼名曰吉次沼〇舊風土記曰金實吉太爲

印旛沼在近江者之時貨爲賈古次兄弟二人往來於此者敷鮒所爲水土人記云云

鐘淵

在印旛郡六崎村〇舊風土記曰傳高岡村民與石川村長寺鐘而過此所其淵東西去矣

朝日淵

在香取郡小川村北今所謂變爲草地一矣日有下化女存自稱宮吾壽河〇舊風土記曰傳普有小田村宰相正治源信觀音一

日午不見只見小田川有異光而網出十一面觀音像長一寸二分正治建一寺安之名其川曰朝日淵云

子也泉

在印旛郡吉岡村野〇舊風土記曰昔有村翁曰出野必飲此水其子之鵜從於所從無與飲者但杯飲野水而然醒其耳其子飲此水冷

千葉水

無鋼味因又以爲酒而子也以爲水之義名其泉焉

在印旛郡大佐倉村勝胤寺堂前一古[illegible]井之首千葉[illegible][illegible][illegible]賞[illegible]水

延命水

在勝胤寺東百步地藏堂前焉

井野清水

在印旛郡大和田與井野之間〇舊風土記曰大久保加賀守有賞愛此水必駐駕故俗稱加賀殿清水近故今名焉

伊篠清水

在印旛郡伊篠村

權現水

在印旛郡曰井宗像寺佛殿後東南〇舊風土記曰傳東照神君好愛此水於此汲此井水美之曰宗像似京師御井水而豐所至鐵建近必命供日陰寺水飲

其後秀忠公亦嘗台駕當之曰此寺水手因賞甘美稱此時寺在國林萬豐冒爲涼故俗稱寶日陰寺

獨鈷水

在印旛郡平賀花島山〇舊風土記曰傳弘法大師以獨鈷突山巖出泉云

御茶水

在千葉郡山下〇舊風土記曰亦神君嘗用之供茶水大已濟冷石畔[illegible]之其[illegible]之[illegible]君足[illegible]足用矣

明星水

舊風土記曰在埴生郡山口村妙見山下早魃不涸時有與[illegible]曾有泉曰日月[illegible]今亡爲井矣俗言[illegible]沒爲[illegible]靈

濁江水

在印旛郡八代村外常濁如浸黃土故名之

菊水

在香取郡府川村市菊水山記

酒井

在印旛郡酒々井村舊爲一村亦因之名云〇平野重久撰文有古井相傳古舊記曰酒々井驛佐倉城一里而東印旛湖亦一郡之地也

古而山泉是驛之所以得名也其事近蕪不可信口碑所傳不可考也而古井已廢久矣其遺跡今在神宮寺中有一碑文字磨滅不可讀可惜耳神宮寺之西百數十步

有古松高可百尺其大八人圍之所謂可蔽牛者也里人爲之下有古祠傳以爲神八幡古松所在稱記前[illegible]七八百年外人名

千葉氏之臣風也此地保千葉氏之臣長[illegible]年間今千葉其介[illegible]自千葉氏子孫門之山居千葉氏九世至嘗天正十八年[illegible]北條氏兵亡[illegible]

名誠當時之城郭必有門之[illegible]矣然[illegible]今[illegible]出爲冷風化爲臣草之[illegible]宅爲[illegible]及此地瓦[illegible]相[illegible]火[illegible]一時[illegible]面[illegible]曾[illegible]氣[illegible]爲[illegible][illegible][illegible]田片瓦

不存傳見之竟先往天保年間爲此松葉所時之物面去年已故七月又爲大風[illegible]可[illegible]世之恐也[illegible]生來其耳曾[illegible][illegible]時半[illegible][illegible]爲[illegible]不[illegible]面目[illegible]々合

所謂木之枯實其老生其情之亦有數百然不北人石立之名余[illegible]百不[illegible]滅[illegible]文[illegible]余平[illegible]之[illegible]其[illegible]之情[illegible]故[illegible]然[illegible]人[illegible]如何[illegible]余[illegible]百[illegible][illegible]至[illegible]

親[illegible]公手[illegible]之[illegible]實[illegible]年[illegible]以[illegible]上保[illegible]其[illegible]幹[illegible]出[illegible]公之[illegible]士[illegible]砂[illegible]僧老[illegible]天正之[illegible]兵士伐以爲[illegible]火[illegible]尾上[illegible][illegible]亦三木之役爲兵士所斬伐亦

何[illegible]此[illegible]今過其[illegible]倒而[illegible]世[illegible]此[illegible]須[illegible]滅[illegible]不[illegible]以千[illegible]氏之名[illegible]其亡也忽[illegible]大風[illegible]使人[illegible]其[illegible]千葉氏之亡[illegible]數百年其傳者亦多何

之[illegible]之有[illegible]今[illegible]其[illegible]來井及古井之事[illegible]手古[illegible]之名[illegible]泉之所[illegible]也明治三年庚午十月甲午朔廿五日戊午[illegible]

七井　舊風土記曰在印旛郡神社村麻賀多神社四方三百歩外曰宮井曰花井曰北井曰南井曰御手洗井曰姫井共供神事

利根川　爲本邦第二之大川發源于上野國過下野武藏下總常陸之境朝于東海其支流從關宿南流入于内海名之曰江戸川

物井川　在印旛郡二源皆出上總國一自千葉郡野呂來經下田谷當北流二里許至坂戸一自吉倉來經大谷流一用草七曲岩富西北流二里許而至坂戸二水和合入于馬渡橋下又西北流一里爲物井川出於小名木湖流過■渡長岡亦合于此而北流半里至羽鳥又與高崎川合爲一北流於■城西過鹿島橋一里而入印旛湖

高崎川　二源一出於文違高松之間西流過下郡田埓下二里許經高崎市出高野北西流經立澤中澤過飯積埓下坤流二里至高崎北二水合于高崎西又西流過高岡歷寺崎埓下流于■城南合于物井川俱入印旛湖

中川　出自印旛郡尾上乾流一里餘過中川西入印旛湖

新妻川　在下埴生郡一水出畑田西西北流過寺臺堀下二里許而至下金山西一水出于取香畑内之閼西北流一里餘至下金山西二里水合於此乾一里許而入長沼

飯岡川　在下埴生郡出東泉東西流過飯岡埓下而入長沼

水掛川　在下埴生郡出大室東南二里乾流過水掛而入長沼

村田川　在千葉郡西南出于上總國市原郡金剛地坂倉邊之高原出于古都奈其大成等合細流西北流經草刈古市場注于村田海濱是爲二總國界

沙伽陀池　在下埴生郡龍角寺○舊風土記曰傳曰昔■女建寺置此地以植蓮爲中世池南防決常患汎濫後汎一女子面防始定矣其女爲現身兒偶持■寶堅地■生至結子半生半■■■■■存■今亡■

鶖池　在印旛郡竹袋村池頭又有鶖塚

鴨澤　在印旛郡池村西○舊風土記曰傳水脈潛通村中此水盈則村井皆盈此水涸則村井亦皆涸云

小間子野原　自印旛郡之東南跨千葉郡及上總國武射山邊二郡曠原也傳北條氏印旛佐千葉氏佐乃牧於此云總川府又牧場以區別之其一曰小間子牧（縱七十五町横四十町余）其二曰柳澤牧（縱九十町横十七町余）其三曰高野牧（縱六十五町余横四十町余）其四曰内野牧（縱五十町余横三十七町余）俱在印旛郡北五曰取香牧（縱五十町余横三十五町余）在下埴生郡其六曰矢作牧（縱七十町余横三十五町余）跨下埴生郡香取二郡以上六牧連于此原野坤艮而延亙上總國武射山邊二郡外有一曰油田牧（縱五十町横十五町余）在香取郡稱之佐倉七牧明治政府廢之合原野多■開墾於此七榮八街十倉十餘三之新村稱成　明治八年五月政府更開一大牧場於内野、高野、取香、矢作四牧地爲綿羊牛馬飼養場同年九月政府管轄於字用■別爲種畜牧羊之二場事業要海内種畜之改良供試用妻西之農恐具於關野原栗又分場内爲七區移改三里塚兩國補之頭■六駒之頭五兵足補農商務省下總種畜場共業全成　乘與觀臨幸于此　明治十五年五月

二日三日　聖上臨幸於中野八街近傍原野觀習近衛諸兵隊之對抗運動於此

草深野　在印旛郡之西北東西一里餘南北一里許而西通手倉野

六方野　在千葉印旛二郡之間乾連習志野而通小金原南接上總國大原總稱之千葉野○舊風土記曰千葉印旛二郡之間曠原四五十里通小金東金西振上總國者總稱之萬葉集歌曰千葉乃野乃古乃天可志波乃保保麻禮登阿夜爾可奈之美弖籠天多可懽奴

習志野原　在千葉郡之西北隔北直高野郡小金原南接續六方野原而賜稱之大和田原減正伯原屬小金下野牧場在此中　明治五年十月賜陸軍練兵場于此六年四月　聖上親臨賜此名屬于陸軍省所轄十五年一月原中澤軍物遊■場

熊野石　在印旛郡太田村今祀熊野神社○舊風土記曰傳言百五十年前村民某掘于紀伊國熊野社將所府石安置大可挑擧從■帷之取盛于■日日數其長且度遂還家則數不可容遂神之記爲熊野權現事禾甚政而北長亦不已初記屋後後移諸外爲其民經四世而石今三尺九分圍圖一尺四寸■如汲■北家吉一錢所長必可來大按之四十年前既長六七寸也按百■舞姐云利州佐江府有一寺寺前■的所■有■人■得一石如■因乞寺僧■于佛殿中石經長不已經年重四十斤文龍愛■引錢■記載洪州貢石子總王山下酤仙觀前長七八尺周三丈餘面七日内稍小長三尺■至在七八寸由是觀之則石有長者亦有消者■■然之氣夫天地者■所不至而非稱長亦將有所極矣

魔三郎石　舊風土記曰在印旛郡龍腹吉祥寺高可五尺廣可二尺厚七八寸傳昔叙古魔三郎偶來于此郡錄土成石云

土產

茶　無町村之別多產比近來製茶之多不讓于他州

酒　所々釀造

燒酎　所々蒸餾

醬油　所々造之

薪　千葉郡沿海諸村多燒出之于東京

炭　印旛千葉下埴生三郡俱接野諸村皆出之其燒斷者■頁○舊■土記曰出千葉埴生兩郡原共製斷者堪茶煙之用殆似佐沖池田産但■香氣耳

葛粉　千葉郡千葉町以南之海畔五六箇村以甘蔗多製出之其稱其者亞爲粉故稱之

栗　所々出之

柿　所々出之

三度栗　印旛郡下埴生田郡之原野及多○舊風土記曰原野有之樹不高子亦小森生及茗秋實冬和■稱之蓋第■屁也出本草綱目

蕨　原野多出

蒟蒻　舊風土記曰市井作之硬質乃他藥草名根如芋■■■畔浚來爲藥■見本森綱目■宜根爲藥物芋北■僞者專日藥

茯苓　所々在■先以■鋸刺古松根■其所在從而空取

筍　所々出之而印旛郡最多

蔬類　所々多出而千葉郡最多

甘藷　同上

靑海苔　寒川出之

蓴菜　下埴生郡池中多出

松露　所々產出○舊風土記曰春二三月間松陰土中■■狀如■丸外褐色内白皙香脆味美無如松蕈或曰陳仁王■■所■生之名是■未詳是否

初茸　所々產出○舊風土記曰■色■■又紫又■青甘脆尤佳故■■所■紫■之■近之

鳧

雁　印■手賀沼長■及水畔處多在爲手賀■■多

鷺、鷗　水畔處々

■多在

雉　印旛下埴生二郡之原野多在焉

鮭　利根川出秋時得于安食村以西江■地之間爲佳絶

鯉　利根川印湖長沼物井川鄰香出而物非川爲

者最佳。○鰻、風土記曰、千葉江戸沼所産、三尺餘、蓋此物乎、井川皆出。鯰 皆出印旛湖手賀沼長沼等、長沼為最佳。鯉 手賀湖印旛湖

沼長沼等多出。鯇○鯁 赤魚○鯽○鯽 皆多在印旛湖。○舊風土記曰、皆在印旛江、取之者用網、或一人操小舟、開數百蒲之籠取之者。

叉之取之。鮪 所在々多。海魚 出富川、為最佳、亦自上總海邊來。蛤蜊之屬 為佳。川鰕 在印旛、下埴生兩郡、々得之。子水野郡 兎

○駒 有官牧、有私牧耳。駒○舊野郡有官牧馬許。明治八年、政府廢官牧、令牧場於印旛下埴生兩郡之際、置牧地、宗翮開墾外、民賃

好之畜之爲牛馬羊雞豕。○舊風土記曰、野駒爲其家駒次之。其野駒在埔市者、自千葉野以東至埴

水名北者酒々井以東至寺臺原、縱横各三四十里。牧士所々官舗、其北牧之數甞有之。六月此來取之、其牧之處謂之込（字書無此字、俗用此字爲押息

入之。其有古來古无二（此爾古來）込、凡七處、曰內野、曰高野、曰柳澤、曰坂香（傳古之搭螢者出于此）、曰小■古、曰矢作、曰油田、是也。各込三四十步、四囲築防、傍開二門

及時刻牽呼牧士數騎、驅逐之、或百或數十、以及一所、而納諸込、乃官吏監臨、令牧士備擇毛物、不可者驅出之、可者留之、一人牽頭、一人摑驅首、又一人騰上騎、齊然抱

共頭、仆之執之、盡其込而止矣。牧士數十人、散居村々。

神社

麻賀多神社 在佐倉宮小路町。爲佐倉宮小路町、新町、本町、野狐臺町、鏑木村之鎮守。、仲町、田町、中尾餘町、最上町、並

愛宕神社暨五社 俱在佐倉田町、南五社所祭天照大神、八幡大神、鹿島大神、妙見、客人宮。凡五座皆在郡內、當舊藩之時遷之于此。

子安神社 在佐倉鏑木花開耶姫命。町、南所祭

八幡神社 在佐倉野狐臺町、鏑木町鎮守。

神明社 在佐倉本町北、舊俗所謂之都久舞、今則無。秋九月二十日祭之、衙門繞爲場、一人盛裝而上、四場無

八■神社 在將門山■有主■之地、二十石、八月十二■奉子■々、并走馬、祭之

將門神社 在將門山、以有將門祠、名山將平門。山者承平之古、將門廣撰古址、築城壘云。而千葉氏祀將門神、在將門社口、及社前之見二祠、子

奥神祠、宗吾靈之祠。而今存焉。將門口妙見祠神、曰來寶曆二年、甲申明年壬甲、修城主堀田正亮、有祀石島、其居永正三年、元和曆三口、年神、祠田子、奥堀正瑩、佐

說之因、成將門山口神祠八幡之二社、正佐爲祭宗吾靈、俱有祠、祠亦無不可詳、鎮座宮殿年時、證以舊曰、故正中里民亦識爲四民、佐倉

之神、有以將門世之神、將門亦舊以人、有近世之事、有將門石島居之嗣、存爲本祠、疑耳也。○將門

風土記曰、俗傳平將門居此、其妻桔梗前與原秀郷、將門相馬郡此、就其妻子、幸島也、未聞居此而其死也、故此地不生桔梗之草、因秀郷

下多其首所祭桔梗、此今不殺於將門、言今猶有物、將門石島居、有銘刻曰、享保二年將門山大明神、石碑、勸請將門、故其、至今上社之上（在石鳥居前）

新撰佐倉風土記

（在佐）承應三年甲午、爲天十一月祭日、總五吾靈非、又正印旛郡佐倉城主、從五位下、其城主堀田上野介、有記、臣正信

小見石自究此、其爲址、不也○已、有建小口明祠、於神祠山下、以文碑曰之、鬼神之廟、已爲靈入、其矣明、有宗手與而神、祠之見其形、有上、開

其佐倉者、敬之久野也、氏之在、城也、去將城一里亦許有、火之門山性、於水平也、古傳人云、所以在千葉氏之、世祭其蹟之明守、舊將郭

也佐倉之將門神、再造舊之詞、之近寺之妙見堂、其所謂三正公、上野介正信、寛永中私其靈位、加公（賈正之）移其靈於堂氏守之正盛、後

詞于將門山、爲山祭之口故、乃宛承應三年冬十一月天和年、間士悠佐、倉公等、有歿之宣、守其正休、曰口之、祠明封之神毛

吉井之宮在延享乙丑、川代先公相忠三公、俱遷佐倉子、明和四年、從羽以之、山形之移心、封此于祠字、私奠以明、所謂

佐倉者新土江之封邑、亦歸々則除而三高公之不得意公（左少將正俊）天平、亦仲將、尊其靈而以人吾之志、周之公之

之所以保其祀也、子孫志先是吾靈、寶暦中院、佐倉世司其三公之志、以表舊臣、亦後定于中秋、二乃仲命爲司行、台改期作、使口有神

司以明其祭、之所以保民、有以人之保祭之、社禮、神者有典、遺亡、無所祭、人以遂以其、先守以其靈、殊勝敬被傅、鬼被神尼、凡夜封

內神祠在有靈、大小不典不得不殊、事奕永、不絶、問學、院英、借獄○中○口、明者神、立名忠三公、舉列焉、不先公乃歸、陳士其庶由

來此蓋亦民以之心、爲心、春秋祭祀、永而可以無事、而鬼神之所以必求其所依、形附封其靈、而祀之家

世悠久則

一其月日、佐倉以士民正立、○此碑之性、不知以祭之所在、何以鬼神之所以、並依欲則建之、不得其祀、而可止矣。實○辛亥冬十一月

有佐倉之記、存有士家中在佐倉將門山、建寺久祠之、以佐倉將軍、名供士、其以來、日下野、三年、佐野、氏

共之行、此三子、武士名、於常總、死人皆以門爲將門、之靈所將、門於現其存、武州安部、宗門、將佐門祭

門山者、祭也、山之所、三郎將、明神之祠、以日在北、明總、共非在村、總野之國、其將門明神之神、日其在同、明神佐倉、此將

將門死亡之地云

八坂神社 在酒々井村、俗曰牛頭天王社

御靈社 亦在佐倉、曰鎌五郎社、麻賀多社 神社前有三老杉、火 愛宕神社 俱在大蛇村之內

大蛇社 在大蛇村○舊風土記曰、主鏡風、將門山城址、面之來、祭所神、此在大原之千上、杉家臣、原塚、之其

天神社 在石川村

麻賀多神社 ○在公津臺方村、舊風土記曰、印旛郡麻賀多神社、延喜式所載、印旛郡一座、伊許利命、多祭神社、是也

（舊神社本三十八座、今存者五、曰天津久神社、曰印旛國造神社、曰太田氏家臣、並皆社、曰幸、曰貞治永正、神宮社、曰馬來、文北田、家所女神、記、曰許

新撰佐倉風土記

郷有七井七疊井在社外四方三百步所謂神井花井天井北井南井御手洗井大井榕井乾有說歟当北有北野疊寶有元松疊寶有平松疊天神疊西有社司屋敷花輪屋敷神

門左右百二十步有七坪正月七日採七種菜於七坪之古有祭田七反七畝分卒以供祭祀油免麻布免蘇掛免圍子免神酒免鈎七宮免巫免是也今僅存其名而已

公曰讀風爲免

船形神社　帶根山内寶社在船方村千座山○舊風土記曰臣根山可二里亦便都許科合奇祭根日置專以爲瀬津宮攝社三座曰賀志波比賣神社曰阿

須波神社曰八代稻荷神社是也有二井御手洗井在北野井在西高

秡神社　舊風土記曰在船方神社内所祭神四座瀬織津姫神氣吹戸主神速開都姫神佐須良比咩神也

香取神社

健熊野神社　倶在船形神社之傍

根山神社　在北須賀村祭牛頭天皇

八幡神社　在城宮村古塁地○舊風土記曰慶長十四年北條氏勝請鎌倉鶴岡之神但以祭之云

神門神社　在神門村舊曰牛頭天皇社

八幡神社　在臼井村古塁地之西北臼井興胤與足利尊氏與菊池等戰於筑前國多々良濱祈于宇佐八幡宮及宰府天神而有勝爲後還主臼井城遷祭

新撰佐倉風土記　二十五

祭于此又携宇佐[illegible]梓枝來插地咒曰若此枝活而生葉以爲神來格之徵後附爲樹數及今在社傍[illegible]樹圍可三丈者是也又自此北數步在一大老楠圍五丈餘十餘

年前既枯今猶存舊株傍有山王之小祠

天神社　同上在古塁地内亦臼井興胤爲祭大宰府天神云

宗像神社　在瀬戸村唯祭筑紫宗像神社焉

鳥見神社　在荻原村及見丘中○舊風土記曰所祭饒速日命相殿神御炊屋姫命問見命也有永祿中之祭簡元祿中社司石井氏請吉田家欲爲事正一位焉

鷲宮神社　在先崎村○舊風土記曰大將軍家光公拔資祭田七石地寄未詳祭何神正覺寺主奉社事承平七年七月七日慈恩僧正奉朱雀帝之勅來祭此神而因伏平將門安行基所刻之像因其靈驗名曰鷲宮應永中隕失其記云延寶年間寺主定宥所記如此不審其是否疑祭天日鷲命乎亦未得其證爲試藏國太田庄有鷲宮而東鑑載建久四年十一月其神宮鳴動事蓋亦同神也

七百餘所神社　在村上村不詳所祭○以上在印旛郡

一宮神社　在矢口村傳延寶二年九月十九日祭之

駒形神社　在安食村○舊風土記曰社司木内晴風十五世木内三郎宗久正慶二年九月記曰下總國埴生郡安食鄉駒形神社郡司大内滿朝臣廣足所祭網神也天永二年夏五月廿一日安食鄉大水同三年夏大旱仁平元年夏六月十五日又大水民大饑凡三年矣於是同年秋九月九日建社於駒形山上用祭五穀神焉其社號曰駒形神社同二年五穀大熟是年郡司令曰是嗣神之爲也自今以後民可得安食也稱改號其鄉曰安食鄉又置神田使木内晴風奉祭祀爲安食鄉當名川綺鄉郡司大滿朝臣廣足崇享保四年吉田兼敬賜書云神天皇七世孫御諸別王之裔者也今社司木内氏主之

鷲神社　在安食村南岡阜上

三熊野神社　在南羽鳥村傳延長元年八月十五日祭之

服部神明社　在南羽鳥村

二宮神社　在松崎村不詳祭何神或云祭經津主命

三宮神社　在鄉部村不詳所祭

稲荷神社　在山口村舊風土記曰傳元弘中千葉貞胤臣山田周防勸請山城國稲荷四社祭焉慶長九年郡官天羽氏再造之有七國松三十年前枯

矣今有二松曰長掛松曰御前松共可三四圍也

新撰佐倉風土記　二十六

后田神社　在寺崎村不詳祭神焉○以上在埴生郡

須賀神社　在名古屋村舊曰牛頭天王社以陰暦六月十九日例年祭之當日遠近賣客參詣如堵

小御門神社　在名古屋村所祀贈大政大臣藤原文貞公也社後有公之遺墳明治十三年有志相謀立公之祠敢請其名古屋村事聞小御門神社號之于官官允之且以特旨下賜金三百圓十五年建祠宇竣功即以四月廿八日至三十日三日牽行上棟儀至之祭典宮内省納御劍千葉縣令奉幣而參向同七月大

政官列之別格官幣社

八幡神社　在西大須賀村

羅寶神社　舊風土記曰在西大須賀村社後地有一孔穿之爲神在未詳其神及建年時俗曰鹿島神之靈穴也若由是被祓禳定神也嫌正德五年社司

飯塚氏請進正一位云以上在香取郡

時平神社　在大和田村北爲大和田笠田並田町壽丸四村之鎮守

二宮神社　在三山村延喜式所載千葉郡寒川神社是也所祭神素盞男命稻田姫命書稱三山明神有社地十石舊風土記曰寒川村寒川社爲延喜式

寒川神社者蓋傳聞之誤

淺間神社 在鹿毛村祠在海[illegible]

千葉神社 在千葉町所祭天御中主尊祀以經津主命及日本武尊舊曰妙見社有宮寺妙見寺世司其祀明治維新後廢妙見寺改稱是爲縣社○舊風土記曰在千葉妙見寺傳言千葉氏祖平良文建其宮士原文次郎常時子上野國群馬郡花園七星山神像而祭之武藏國平井又移于父後又移于相模國村上國府祀焉至七世常重移之千葉以五文忠頼忠常胤相續稲荷山王天神石神等社二十八宿三十六禽祠之歳祭之正月朔至三日千葉宗胤無嗣庶管祭之今元日二日千葉之一黨不可勤之衆而去矣其地有俗忠常成胤之男人胤之後胤忠欲之本社非其地曰三角田妙見寺百步許焉其祭以七月十日千葉神輿行宮二十日如川曲之陌上輿出二十二日還輿千葉[illegible]一其自千葉出日千葉舩一自寒川出曰結城舩[illegible]上出舩還神輿松子二本社焉東照宮所附神田二百石○妙見寺舊風土記曰一條帝御宇寛弘元年六月此寺於此而七年二月燒失○舊風土記曰一見寺明治正六年勅修北辰供千秋此縣北斗寺金剛院至平常重城于千葉安置妙見像治承四年秋九月二十一日源賴朝至千葉卿胤乃過寺寄馬二十石並太刀矣原中東照神君寄二百石地令妙見寺多千葉氏遺品焉

總修七社神社 在千葉町總女二人乃是大日寺舊曰祭平良文將門忠頼忠常東胤常將巫

春日神社 在千葉猪鼻山古城址

白旗神社 舊風土記曰在寒川村所祭之在千葉寺而燒失千葉常胤建源賴朝白旗於此以祭州兵因以

寒川神社 在寒川村所祭神今俗稱風土記○延喜式神名帳千葉郡寒川神社是也未詳所祀○舊風土記曰寒川神社者在千葉郡一宮寒川村祭神素盞嗚尊稻田姫天正以前所祀舊風土記曰延喜式所載寒川神社在千葉郡和名抄一云寒川也

社名[illegible]大佐寒川神社者和稱一宮寒川祭神素盞嗚之尊稻田姫等也西香取私記佐倉風土記云

今據以此地之原野爲結城野其稱田名向寒川是也此地有結城明神社

蘇我北畔神社 在蘇我村延喜式所謂千葉郡蘇我比畔神社是也以上在千葉郡 不詳祭神

舊在有社廢十石明治五年是爲鄉社○

佛寺

海隣寺 在佐倉海隣寺町號千葉山傳平常胤治承三年二月二十六日時子胤拜月時設海上有異光乃網得金像阿彌陀佛文治二年七月建寺于此至平胤將遭於此云有平常胤及良一胤之像上人後時宗他阿上人

寺乃安其像上月如來初爲眞宮遺境內像一因之像

其數和尚爲中興至平康胤而移寺於此云

甚大寺 在佐倉新町平氏之菩提所也舊城主堀田侯之菩提所也有故城主紀正睦朝臣及妻母松

淸光寺 在本佐倉町開山月嵓上人天正中二世無算以東金富谷本土氏[illegible]封植厚朴樹天正十九年東照公狩于東金寄寓而宿于此召無算以[illegible]子此地寄二十石田寺後在武田万千代君館舍址

文殊寺 在大蛇村○舊風土記曰未詳創立年時佛有僧中華僧刻之文曰天文十四年乙巳三月二十日佐原大藏丞胤[illegible]勾當[illegible]謹敬[illegible]尼亦木鑄曰天文十六年十月十六日大檀那平胤冨五郎胤十世孫因祠之子胤父原十胤安乃其臣而天文再興年時也傳[illegible]倉胤富五郎常胤之所在寺前也

步林[illegible]中設曰五郎成曰御靈和胤沙佐倉亦乃[illegible]其生云開爲一社有櫻樹此所收[illegible]其輸於此所生其樹[illegible]今櫻乃其政爲御靈云傳[illegible]寺前

快[illegible]于堅衛十三四步春時開花[illegible]約不[illegible]變[illegible]映一山[illegible]爲[illegible]觀而色交[illegible]故曰五色櫻又曰五種櫻其開花不一[illegible]

吉祥寺 在本佐倉村字御殿○舊風土記曰傳昔有化人建之以異木爲社今存開住別之入火有香氣不知其名或曰阿如佐木而未詳創建時世堂前有

石亦異人之所植土作云

東光寺 在[illegible]々井村天文中[illegible]印開之云

大佛頂寺 在下岩橋村不詳創建年時傳弘法大師修大佛頂法之處也云

寶珠院 在大佐倉村不詳開基○舊風土記曰永德三年爲中興時而什物多[illegible]其年號○以上五寺凡城中有新鎭事相與修之三阿之佐倉五箇寺

勝胤寺 在大佐倉村山曰常輿享祿元年平勝胤建之慈哀和尚爲開山焉○舊風土記曰開七十五貫地古在殘鉢則在焉有勝胤及芳和世襲又有千葉

石駒角[illegible]數品皆千葉氏所寄置云山足有湧泉曰千葉水

妙胤寺 在本佐倉町○舊風土記曰鈴木紀伊入道以印代胤爲開山初號光玉寺後改妙胤寺平胤富以平胤用胤賜之日字云

超林寺 在公津臺方村文明十三年平輔胤建之以常陸國杉室大雄院五世周富和尚爲開山焉

東永院 在臺方村○舊風土記曰馬場胤信開基松蔭和尚爲開之臺方未詳其年時 馬場乃千葉氏

藥師寺 在臺方村安行寺藥師本尊行基所刻像不詳開基年時有旧名曰下總州印東庄八代鄕臺方村形藥師寺慶長元辛亥十一月日大工沙彌鑄

淨泉寺 在伊篠村初日同中心院延德二年乃光所原實眞中與[illegible]古以[illegible]和尚爲開山天文中來院原僧二人胤光原安[illegible]又入道[illegible]古開基二以[illegible]一

明應四年十一月九日常輝所與[illegible]原實後入道一永正六年九月廿八日輸光所與[illegible]原右衛門三郎其宮寄地同心院事皆有華押所開常[illegible]于大平孝

胤法名面輸光又法名不詳其[illegible]矣

西福寺 在坂戸村○舊風土記曰應安中眞叙上人開之始題曰念佛道場之坂戸念佛也安慧心所畫阿彌陀佛

長福寺 在岩富村文明二年岩富城主原胤房建之有北條氏康寄田賦云後岩富城主[illegible]作佛像古也

寶金剛寺 在直彌村不詳開創年時多岩富城主北條氏所寄手狀及寄田書云

大隆寺 在山梨村不詳創建年時○舊風土記曰傳大永七年自南波佐間遷于此寶室開芳和尙開山其五世[illegible]和尙[illegible]無敵自生寶[illegible]作[illegible]長

服忽留子十二人乘雲鳴出止于寺前松樹上呼宮司遂來說和尚亦有欲往狀侍僧獻人孥之二百大衆急轉讀般若經而說和尚上濟靜然亦大笑而去人見之者獻千佛

堂前古松一株然子植樹後無他異二樹今猶存寶寛永九年壬申枯朽朽也

千手院

在井野村不詳開創年時○寺風土記曰傳源遁形僧都爲法流祖至其四世沒秀僧都在臼井石神明傍○年中移此號金剛寶形寺臼井城主平爲胤寄附伊野邑地改名千手院而有狀記明徳三年八月九日又有享保四年胤度寄大勢若布施田之坦狀焉

宗徳寺

在臼井町○永年中原四郎胤高建之昔在千葉郡小弓柏崎以陸奥國寶禪郡永徳寺二世巨海之法兩志實和尚爲開山天正三年柏原胤榮移之曰井原氏乃千葉城主臣從小弓臼井二城主堂上有原氏父子之木主弘安太宗大居士爲山閑氏臼井城主從五位下原式部大輔平胤榮天正十八庚寅六月六日卒隠嶽近超大居士胤榮嫡子從五位下原刑部大輔胤義天正十八庚寅六月十八日卒東岳千岩大居士胤榮次男三州岡崎城主從五位下原豐前守胤貞慶長五庚子十月朔日卒○風土記成田參詣記俱載有平胤榮墓在寺域中草明治壬午之春予與同志友訪臼井城址先至宗徳寺問以平胤榮墓住僧曰無之予悵然從岡原氏之靈位牌面去又寺有甘泉曰鍾現水

圓應寺

在臼井田町臼井在近將監與胤開道之時創立建長寺僧圓師開佛具即師爲開山焉

長福寺

在米本村○風土記曰米本城主村上氏所記及墓曰功山玄忠居士不記其名年世永禄中城主村上綱清自殺于寺其孫及墓故亦未之詳焉

鴨窪寺

在風土記曰在村上村傳稱和尚御字有木佛首印揚江入寧而寶保品村隠僧寂有夢之處此來此佛首與夢符合因欲刻下體全之有化面助彫功平自有逃者渴乎天而去矣保元中平入道與因爲寶建寺以此佛爲本尊天文五年平胤廣再興焉

松蟲寺

在松虫村天平中行基開之安置金像云○臣風土記曰傳佛作有松虫姫曰聖武帝第三皇女松虫姫病癩來之于此自哀祈藥師佛而得愈還留終焉今之所謂多伊谷乃其所居云爾臣按多伊寺傍有墳又有祠以祭焉寺門之二王塔墓所作也有蓋元中所創建天和二年重建之云

結緣寺

在結緣寺村神亀年中行基開之安自刻本尊阿彌陀佛○臣風土記曰古額僧所六曰大仙曰安寶曰山中曰住持曰沙本曰地佛又有二堂曰額政曰澗見此所以守祇園政而今皆廢爲寺有古鐘銘曰寺號安三三町戍二月九日開山傳池沙門法懸泉以其祇園天和三年荒廢不寺鐘今銘云○寺號三町許有源朝政傳沙治承四年頼政敗死塔下河邊藤三郎附恒信其首來葬于此建一宇刻像而居此其說在後今所存塔者正保之頃井上筑後侯建之云

瀧水寺

在瀧村仁明帝承和年中建焉○風土記曰大同中建焉安關浮鐘建保師傳監門二王運慶所彫有木像傳金剛鐘次奈此而寄兵北鐘銘刻建武五戊寅八月八日建武三年丙子改元延元元丁丑南北朝分南用延元北用建武四年而戍寅八月二十八日改元曆應元焉初建丁丑南北朝分爲下總國足利尊氏故至此稱川北建武之說也又臣謹按鐘至二月八日朝臣手狀曰不可稱武家將亦但自吉野朝廷稱○因司將然其狀記天將三年乙未二月八日足利大寶以來無有天將殿矣但市乙卯改元文中爲天授天授以後三年乃丁丑而其五年也終後不有乙未爲若果天皆通天授則三寶作五乙寶作己丑未知古紙皆從之所致乎

抑其狀之不眞乎

龍腹寺

在龍腹寺村○風土記曰欽明帝御宇下塔焉爲名龍腹寺二王合新南大死腹之地故亦改風云本詳于龍角寺下覧師化本尊二堂在此風大師作右丹然其作爲使○靈示之於宗且曰下文總政國元印年七郎月龍火寺災時塔仍札作一寶版塔以銅札作一之版長一主新乘伝然其作爲使○靈赤之於宗且曰下文總政國元印年七郎月龍腹寺災時塔仍札尺八寸可閏八其寸詳不可考字上天順和左元禄年僧寂不所備撰福光寺設路遂擬不可能擬寺吉寄二號年慈壬寶戌等宇猶可爾其詳不可知字上須天和元年暦寂覺不全所皆明而字設緣起不可辨其寺吉寄二年壬戌山延日合院大同二年九月因覺自定世之爲寂沼所延慈喜觀十七年大佛母本紹印國與有部龍山寺千葉氏二代年北條時兵於寺宇塔以五技之北永正五年之二月因塔改無壁故明日時天龍山寺僧法覺起寺千葉吉氏二年北國司氏千寒氏自信兵其於堂宇稱建以五輪之塔正氏聞之八月再建爲兵而夜比兵不及十之一云死後寺二百五十年至文天元年十九月年寺千僧不瓜城火行諸臣堂八幡大災高於之灰代官中將臣所進名號礼物古寺因村之以建吾沒後移主封僧之原殿禮籤札以于進前覺巨公大欲森其治設燒不可其事由於而面倪臣佐掛物延幸果存像一札裁留之塔餘之乃上莱其文面也以嘉記吉且二使年高壬之戌合胝主今僧年間丙寅中勿三寶百僧九十五年平城氏等高見千王之木千村氏介等常事胤禮八世分之爲孫二胤胤兵之庚子正爲元年兼八胤月間十無五近日臣自天慶二年十丁卯堂臣本多信城邸記氏渡邊氏周實氏即其同族家臣也天保七年丙申十二月十阿彌陀佛官胤臣及多田城寺氏

以上在印旛郡

龍角寺

在龍角寺村○風土記曰和銅二年天平二年龍女化現來此鑄金像而一夜建寺天平八年神亀元年尺八寸金像大我小佛者也在池深去上人至法淨後七日一墨有以身分使三後以見于此乃金之即是爲日大龍所居忽而然在深淵從人法師何惜一日有龍以身分與三丈乃此而乃之字是也大師當住此說法天角三年三月八日異僧來彫金剛一今額龍尼寺堅僧正元年寺始曰大龍師於此是故龍居鑒天年印西龍寺尼堅于龍角寺面忽失所在於堂上一罷而曰止此我寺也乃天竺正祇園中精舍禪院之像故爲彫金剛神作印神也求今存三十年二一年上之總介平常秀而直備常秀文明永正平大火兵平衛也左方今其存永久二年上總介平常秀真常千葉常正爲兵火延燒天正八年又有災平郡胤修造焉

圓融寺

在山作村臣風土記曰○永中領○○印○於多○○入像○形又有平宗胤所納作佛焉

永福寺

在大佐倉村臣風土記曰佛不詳開創有得貞和元中年元總國高彫氏女所三像有佛造多又佐土郡○

圓寺所傳記所書真言佐倉因律寺僧所寺即是也○佈宮氏曰所阪田五代馬有十六法鑑鎮○曰相伯仲慈悲寺所載五永福寺馬塗年云

祥鳳院

在土浮村永正中勘解城主大須賀信濃守建焉相傳兆嚴

圓通寺

在大室村。舊風土記曰、[illegible]

迎接寺

在[illegible]村。舊風土記曰、未詳年[illegible]、[illegible]多[illegible]、永仁三年有觀音[illegible]。[illegible]惠心所作焉。

金光院

在金親村。舊風土記曰、正應二年二月、貞成法印[illegible]、[illegible]弘法所作[illegible]。惠心所造地藏、有五部金剛并弘法自書影、天文中[illegible]。元和元年九月、東照神君賜寺[illegible]、[illegible]寬文中回祿云。

大日寺

在千葉町。○舊風土記曰、仁生[illegible]、[illegible]元年秋八月二十二日[illegible]天平寶字中[illegible]

東照神君寄三十石田。

來迎寺

在千葉町。舊風土記曰、未詳開創時世。天正中、山城國知恩院僧[illegible]焉。[illegible]建之、爲東照神君寄田矣。

千葉寺

在千葉寺村。○舊風土記曰、和銅二年行基來此、[illegible]自刻[illegible]阿彌陀十一面觀世音[illegible]

元年[illegible]火燬寺十一面[illegible]再造[illegible]一里[illegible]治承中[illegible]一納其白云。

東照神君寄百石地焉。

榮福寺

在坂尾村。不詳開創年時。天正中原胤榮再興焉。

大嚴寺

在生實村。舊風土記曰、[illegible]三年庚申[illegible]生實城主原式部大輔[illegible]上人[illegible]山曰永[illegible]

[illegible]

出羽寺

在北生實村。號森川山重俊院。領主森川氏創建也。有森川氏累代之墓。

本行寺

在濱野村。舊風土記曰、當山號[illegible]山妙[illegible]寺[illegible]

[illegible]

辨天堂

在南[illegible]村[illegible]

[illegible]

以上在千葉郡

不動堂

在下[illegible]

[illegible]

[illegible]然云

觀音堂

在香取郡[illegible]村。[illegible]舊風土記曰、[illegible]

[illegible]

墳墓

伊都許利命墓

在飯[illegible]方村[illegible]

[illegible]

山州淀府行軍使[illegible]

賴源政墓

在結縁寺村。○舊風土記曰、[illegible]

[illegible]

亦領政所畜來此面死云恢昭啟東去不見于平家物器豊囊記好但願政昔種子下總州古河在口碑面山似此所何然不衛就是將更有一說顧致弟深栖三郎光益其子陵助領亞北居下總九郎義經少年來此俟金賣吉次前往陸奥國事見于平家物孫西側次所寄佛具在碑村沼水寺又近村中根源印鎌次江前啟有將奥次兄弟墳面傳其爲迹所殺則頼至之居必在此邊今曰卿所國者舊近之爲所現宮及金何於領亞之所建恐後人依是附合爲之役耳併說恋見以俟重傳明啟矣○清宮秀樂曰古寶城中有源頼政墓碑題故頼政墓嘉元三年乙巳仲春云々十數字其地稱立墳又頼政郭蕃北建石距頼政死後百餘年矣後永享紀下河邊両恒納頼政首鋪宜伴爲山伏騎子下總古河東南岡然則所謂亦入矣山塊紀盛衰記等並云下河邊清恒題頼政首於平等院床下平宋親取之不記其所瘞冢界分明曰美濃山縣郡遠華寺存祇政寫常於國於曰在河內郡沢々崎佐倉邸土記曰在印旛郡結縁寺村今從碑文永享記斷爲古河立崎村長崎邦國通又曰結縁寺則埋分骨或傳記所謂結縁寺村河椎而千葉常以存子日粗之後將國城寺明以頼政之死爲倡義首以厚宜何想結縁寺則爲頼政追福可知也佐倉城方有城村因城寺在此蓋爲曰以建也又日中戸地方稱三藏栖郷蓋深栖頼政居址矣

平貞胤墓　在公津臺方村國風土記曰在神崎北庄野碑誌曰千葉貞胤當郷闍人否故白子將觀應二年辛卯天四月日卒石今在超林寺庭際爲

神津八十墓　因風土記曰在神津之墓然不詳名誌爲村東北二三里原上多數故名之傳千葉氏世々

木内宗吾郎墓　在公津臺方村碑面曰德涼院涼風道閑居士右側道明左側道安道路碑以堂字靈之近者又將改造之其成功畫了不能日

矣同村東勝寺過去帳曰憲國信士俗名宗吾郎承應二癸巳年八月四日紗國信女同入寄寛文九年酉九月十四日病死又堂上木牌背面記曰承應二癸巳秋八月四日父子五人爲國民損命實居二壬中年正月一百回忌而故涼風道閑居士又享和二壬戌執行一百五十回忌之法會寛政三辛亥建法塔墓院建立石塔牌供養主之會在慈永壬子係二百遠忌由是建立廟堂及牌像神版等着手物以費振事完建之碑鳴鐘山主照事拜誌

平勝胤墓　平昌胤墓　平利胤墓　平親胤墓　富墓平胤

平邦胤墓　並在大佐倉村勝胤寺

源廣忠公齒骨墓　在本佐倉町府光子富寺提封于此寺寺之二世無寶自參河奉之遺骨之使住

故佐倉城主紀見山侯墓　在佐倉新町甚大寺有誌曰公諱正雙見山紀姓堀田氏自性公諱正時之子曰正亮於晤正其諱公

從父文政七年罹其公疾病無子臣宛乞公爲嗣明年襲封佐倉十一萬石敘從五位下十二年除奏者番加寺社奉行天保八年轉大阪城代敘從四位下未之任擢佳

田加判列任侍從十二年退拜加判列任大政十四年退職明年以病致仕元治元年再爲加判列京使京師再爲天子賜御盛五年有官罷職

三月二十一日卒于佐倉享年五十五公事文恭儉三悉病醫多藥公覧北多以故公亦深憾夫方其再執政也西洋諸書遂使來朝爲是時沛內多事

然以天下爲已任憂勞尤深甚當以勝國以爲安矣公其有志於治世封之衛即侵新政除害舊元貴榮發修大政學校以勝國士習陸立演武場以講武事方今之文教昭西武

閣修士民論將而紛貴賤者皆公賜皆撫治之所致也其討伐任大政爲也而又以治北國者推以施於天下然而其居職不久不得以達其志樂國者情爲公英明仁恕任賢使能々盡人言在位三十五年士民莫不仰其仁厚之德矣

北條氏勝墓　在臼井村寶金剛寺主屋長十六年卒氏勝[illegible]介[illegible]子稱左衛門大夫爲[illegible]

太田圖書助墓　在臼井村上古臺地圖書助名資常太田道灌之弟以忠孝入道之七々等也文明十一年巳亥正月十八日資作以二持隋入道一弟

万人頭曰井城資常及士卒五十三人皆腕之至七月十五日戰之陣敗退傷家臣資常中悲殿付入城曰井及後士防平孝從赤國面死焉○在古壘二之丸址西[illegible]

面不見斷碑之人只能記其所而已又有疾疫則厮之無不驗云

村上綱清墓　在米本村長寺風土記曰綱清稱民部大輔天文弘治間爲本城主永祿元年三月十三日自殺

圓城寺某墓　在小谷津村風土記曰天文年間城主敗亡夫妻死此云云某者古國城主爲兒原但藩某所殺

粟飯原大和守墓　在根古屋村大和者根古屋城主○三河守子天正十八年千葉氏滅時敗面出城寓村民舍○以上在印旛郡

小野忠明墓　在寺崎村永興寺忠明伊勢人也仕上總萬喜城主土岐氏其先伊勢人也上總萬喜子上總一刀流之祖伊藤一刀齋景久到上總將小野二郎右衛門受其術仕府屋任五年賜於信濃國田有七百石

海保三吉墓　在寺崎村上三吉海保丹波守子也天正十八年千葉氏滅佐倉酒井公封于山東面役千葉臣海保三吉押田庄吉原主水

金三郎等隸麾下賜采地三百俵爲面四謁○以上在下埴生郡

藤原文貞公墓　在古名村小御門神社明治十三年有志和歌者名古國村人之家碑在小公地貴此事國中有宇建設鎮功于此地物官此古此之人旧之前文貞國之文別之官於其社丘○舊

此國未許爲何人公家言朝廷貴賓人公家也披元弘之亂笠置城陷北條有高時御後醍醐帝近侍元弘二年十月兩京六波羅探題之官以上至下總國中臣于今不幸文詩稱公者上人也千葉介貞胤師之事

于此地下總國近侍元弘二年之亂兩大納言師文貞公有事出公卿千葉任以爲常陸國流罪名初貞師罪卒

文貞稱公主上土人稱山六大以小元弘之門名役笠推之城恐陥平貫爲○後藤氏曰名近侍古村公卿之原

貞遺賜不公成配而下去總○寓名子古千羅千貞宗胤愚大元須弘賀二氏年所十猶月蓋也貞初公爲此公於代此番面整使大須賀氏之

石碣己

藤原文貞公碑　太政官大書記官從五位　太政大臣從一位勳一等　三條實美題額

明治十一年三月　内務卿大久保利通　千葉縣令從五位　柴原和撰文

千葉縣令柴原和建碑於總國香取郡名古國村村民澤田太右衛門等公家文貞公久委遺蹟且撰之上總國書碑以上總國

列官祭社朝以記典有例而允花有園勅長其所以有此命也臣和建碑家臣史公保所行稱花山院世例行不聞以列其二帝至正二位大納言和碑家蓋公

因北條高時不道高時起兵犯闕公與中納言藤原藤房等從幸笠置山公服袞衣乘御輿偽稱天子幸延暦寺以欺賊賊而奔從帝幸於笠置笠置陷與藤房等俘帝遷隠岐高時使千葉貞胤囚公于其邑居五月以病薨元弘二年十月二十九日也後贈太政大臣謚曰文貞公少好學有氣節其在所每思及帝嗟歎泣曰主辱臣死今日何等時也位臨宰輔固分而己忠憤之致今尚存于歌其薨時年卅二葬于此地而歷年之久世遠之墓知土人相傳稱公家境云享保中藩士佐倉風土記載以爲公宅跡之地近世伊能之調附清宮秀堅者亦是其說蓋名古居村當時稱助崎係大須賀氏采地時貞胤之族故貞胤使北總公于此遠在外數十武之地此足以見其忠公大義固于一時而伸于百世之後上於天子之庭表下使村民敬墓不敢褻世非精忠大義之所致乎臣和既事職于此土又承朝命乃敢記其事係以銘曰

天孫承天　嗣自天降　万世一系　日出之邦　於赫皇紀　微敵失守　惟公忠誠

随帝左右　和寇之患　致亂之変　曁武紀伝　戕君賊国　妖氛一起　貫誠披瀝

身亡百世　致敬有府　皇帝歸然　乃復舊京　百僚供奉　四海無圖　英魂所託

享祭斯枉　邵官役泗　究抑乃伸　刀水西西　總野遠洞　乾此豐碑　長表遺烈

兒塚　在西大須賀村回國雜記下總國兒之原歌云志有兒奈小美字鼓於奈須知呉乃波麻右此自因弥都留美斗毛敷加婆也有兒小祠碑書風土記曰有永祿中僧京于此而詠歌曰知呉乃波能遊志留毛乃與波阿自古居小遏比斗都道志流之那部遠婆由也觀之文明中有碑而至永祿中碑已失乎今僅有小祠而俗稱之兒宮焉○以上在香取郡

平胤康墓　在馬加村胤康爲馬加城主後承宗家卒葬于此

青木昆陽墓　在馬加村宮秀堅曰青木昆陽墓在馬加村相傳有故以此地爲面題甘藷先生之墓按西來之品在當時甘藷爲第一幸而以來則以牛迩乃救生民法昆陽名敦字厚甫武藏人初唱洋學洋學由當時始谷於世後禁羽爲於是開化盤水將軍出而今則旺爲此呼也嗟禁而有德公以其

平常兼至胤將十六世塋　在千葉大日寺總葬歷所葬曰常兼常重常胤胤正成胤胤綱時胤頼胤胤宗貞胤氏胤滿胤兼胤胤直胤宣胤將十六世

平胤直墓　總葬戦録及風土記俱曰在千葉妙見寺與來迎寺之間其地曰相應寺

平胤榮墓　在生實郷大巖寺胤榮桓原式部大輔爲小弓臼井兩城主風土寺爲上總介胤定子按千葉大系圖原氏出平滿胤次男胤高世爲千葉長臣胤榮卸胤定孫面式部太夫胤子也胤榮建大巖寺同寺記曰胤榮法号大巖院殿前卸後嬰弘太宗大居士天正十八年五月十八日抗西軍於千葉郡野田原戰死○以上在千葉郡

古蹟

將門山壘　在本佐倉村根小屋距佐倉城東一里許平胤自承宗家築城於此其子胤持卒輔胤自千葉移于此以下歷孝胤勝胤昌胤利胤親胤胤宗至邦胤爲家臣所弑長臣原氏板武頭小弓臼井二城後邦胤爲北條氏直又爲其所以故相親善氏直使邦胤築城于鹿島山而未成以天正十三年五月七日卒其子二人曰重胤曰利胤胤嗣家原氏之役十八年豐太閤之攻北條氏也重胤年十五率家士一旅爲國北條氏相州沼本口既而北條氏滅千葉氏亦從而亡也是年八月東照公封久野宗能于此慶長七年轉封於遠江國久野而封松平忠輝于此同八年遷于信濃國川中島十五年庚戌以土井利勝封于此其後利勝改築城於鹿島山工成徙之

大堀館舍址　在本佐倉町市文祿元年壬辰東照公封武田萬千代信吉於此慶長七年壬寅十一月遂封于常州水戸信吉建館舍居之居俗官爲君屋敷

岩富壘　在岩富町距佐倉西二里千葉臣原左衛門尉胤其子九郎左衛門胤行其子若狹守胤居之天正十八年■千葉氏共亡矣慶長八年東照公封北條左衛門大夫氏勝於此十六年氏勝卒十七年城廢矣

高岡壘　在高岡村距佐倉東南一里千葉家臣木內隱岐守居之云

鷲山壘　在公津方村上距佐倉東北二里平嫡胤孝胤昌胤相模退老于此天正中邦胤輕胞之兄原胤居之與邦胤不相容出奔他國而城廢焉

拙波山壘　在船方村天正中千葉氏族船形越前守胤信居焉

師戸壘　在師戸村距佐倉西北一里半未詳何世誰所居焉

岩戸壘　在岩戸村距佐倉西北一里半風土記曰岩戸五郎胤安居之志津胤氏攻之家族皆死後頻有鬼哭燐火之怪時非闡應寺僧誦經止之建寺今西福寺即是也而其臣前紅佑則記胤安父子及妻所自殺處云○宮氏曰岩戸胤安千葉氏族也仕于臼井前胤正和中胤安卒子竹若僅三歲志津胤氏利其幼弱有呂恣心陰謀奪之胤安之病負竹若至鎌倉託之建長寺胤氏怒攻岩戸城胤安苦戰死之竹若既長改名興胤殺胤氏爲胤安建寺今西福寺是也○按阿辰名若興胤安同族被殺云其墓在臼井村北

米本壘　在米本村距佐倉西三里風土記曰村上氏世據之永祿元年三月十三日城主民部大輔綱清自殺城陷焉

臼井壘　在臼井村上距佐倉西北一里餘平常兼有六子其三曰六郎常康爲臼井城主領印旛二郡百十餘村從源頼朝有功其子常忠四世至祐胤與千葉氏同仕鎌倉正和三年秋八月七日祐胤二十五歲卒子竹若僅三歲臨命託之弟志津城主次郎胤氏胤氏有奪志將害之岩戸胤安竊負竹若奔于鎌倉依師而城乃爲胤氏之有竹若後得足利尊氏欲有戰功尊氏賞之叙從五位下任左近將監賜名興胤使千葉貞胤居胤氏於志津興胤子此興胤子胤貞治三年四月興胤卒其子胤尚包胤包胤子冬胤冬胤子之胤之胤子數胤數胤初無子皆養千葉介孝胤次子持胤乃子其後生子曰胤胤卒持胤嗣持胤有二子曰爲胤曰幸胤而不立遠宗後胤而退隱其文明十一年正月太田道灌二階堂七黨等其兵一萬餘騎發市川來攻臼井

城圍之六月城堅不抜七月十五日大破近濱敗退城兵殘其弟太田圖書十八年後胤田家持胤子幸胤而退臣従入道玄光幸胤卒無子後胤入道復入為城主永正十一年後胤退長子景胤而再退其臣十四年五月卒弘治三年十月景胤卒其子久胤賢稱在近年肯十四殺胤臣終招其猿名小弓城主原上總介胤定以後事従此胤定一城半在于臼井城事家政多萬士之心輕賀以得民心足以士民錦志於胤定不聽久胤久胤終居子城門外胤定為本城主久胤出奔依城依朝日井城七年三月上杉謙信攻臼井城也時胤定攻之城乃請和其先鋒久胤不克入小田原定之正志木大膳臼井小弓田信從自稱小弓城主胤定攻兩城而永禄四年正月十一日復發原城同五月十八日里見公使酒井家次取之文禄二年酒井忠勝居之時城失火焚其叙位故地猶有焦米焉

志津壘

在下志津村西距佐倉西二里許志津次郎胤氏居之慶長三年八月十四日為臼井胤所滅

生谷砦

在生谷村距佐倉西一里許上杉謙信攻臼井城時作所城於此云俗謂之遠信一夜城

根古谷壘

在根古屋村姑間城寺氏居之後栗飯原參河守其子大和守二代居之天正十八年城陷

坂戸古壘

在坂戸村距佐倉西原遠江守胤朝居之蓋在天文年間焉○以上在印旛郡風土記曰

寺崎古壘

在寺崎村千葉氏族臣馬場氏世居焉天正十八年城陷舊風土記曰城主伊勢守勝政死子土屋村淨寺委永興寺云

海保三吉遺址

在寺崎村舊風土記曰三吉海保丹波守子也大膂力好撲必捷碎巨竹以之試夜踊成田不動守忽有二人挑可一大擊相大石向三吉揣之仆於田間刑二金剛像也東照神君賜采地居之神君如此為伊賀時三吉在於陵所祠神君廷孔采地免出府城兩日而來拜禱其地從之神君在此與伊賀力家怯多出非法元和中神君命士民捉之三吉偶在山作田暇寺附近之將酒々井人稱田姓七持府寺下問其為夫而傳之今在岸畔地樹即其處也云

長沼古壘

在長沼村不詳誰居焉

東和泉古壘

在東和泉村距佐倉東北四里許舊風土記曰大須賀加賀守居之蓋助崎城主之族未詳時世○以上在下埴生郡

菊水山壘

在市川村距佐倉東北六里五町風土記曰傳小田氏城之世居之故小田之系出自常田明白道家而五世八田宗綱以源義朝子知家為之國其七田治世為正三位中將兼常陸介治國久雅其七世及左京大夫子政治前和國其四城常在常陸國守小田氏為佐竹氏所敗遂於和拔國菊其澤慶六年終于戰後國輩城趾在國其子國時小田守而氏戸崎矢田土部江戸崎鹿島居高牛久牛子生志筑山本水守小川美川國上上宗近築波田邊今泉田伏木田士濟潭逸衣名北作片野柿岳與野完方海上嶺澤以有水山設為別莱我乃退老之歟○又後長元年中小田莊小司豐下總國司麻原田沼崎間岩崎岩田獨馬八代其子城家臣之所居也疑小田所關爲路此境而結城秋預為里小路康房後為物于賢為小田少將小田增岐守小田中務大輔在包為討平忠常又散見於太平記者四東軍有小田常陸前司貞宗為小田民部大為永和年時有小田宰相將治者未之詳焉恐倣傳聞之誤放姑傳焉而藤原又北條記有小田宰相政治遠其臣菅谷攻戰守郭兵備氏康為而市川之戰者緣起

助崎壘

在名古屋村距佐倉東北六里許舊風土記曰千葉常胤六子四胤居之天正十大須賀四郎胤信之後也若狭守其孫二十年八月其末也曰萩尾氏今為其村家戸外有遺跡居其地民稱小弓城主胤佐不止生者實暮具其傳焉遂於之其亡云○舊風土記曰名木城主平正盛

名木古壘

在名木村距佐倉東北七里許時世未詳○以上在山武郡舊風土記曰

馬加壘

在馬加村距佐倉西南七里許胤永宗家之族而後未詳誰居之云馬加康胤為千葉胤直之後

千葉壘

在千葉町距佐倉西南五里許東大友城以猪鼻山城之地信攻出不破忠常元年之時下總以平忠常常居之其子常長不常其孫常兼其子常重其子常胤至十六世孫其孫常永以來居之後其子常以千葉介常胤邸佐倉將門山城○其人總其重子常日以常衆之其十一世孫胤永二年六月卒無子以弟胤為之後胤宗家內紛爭不納正元年以八

月十五日胤直自殺其子宣胤等以馬加城主介和康胤於此臣胤以為名家其二十年康胤子孫以胤為其居

霧石門山佐倉城○舊風土記千葉之胤子故此石之後未詳其今何往不出其來其堅

生實壘

在南生實村之阿弓小佐倉西南六里許原氏世居之原生實之支族千葉氏之族居之其子氏胤以下高城胤吉之後中守胤

甲斐守胤宗族居為胤親次男佐倉小金城主小弓胤高之後任於此胤居千葉上總小弓城主

友胤奉子二郎友田常陸國人足利左兵衛佐大田三河守武田信三郎主管明古河公方足利氏族次男

父兄不和貳古河不快明杉中原里見氏居上總八幡人勇不服大有永四年二月於三

二古河小弓八州管領足利高城義明守文子七年八月于此小弓御所

氏之家欲北條氏綱十月七日義明實死里見義明弘治父子戰死里見二州兵氏大

條氏義明兵從士卒千明幼兒從小弓城主小西州城二主上總介胤之北條氏三年北

胤定徙居臼井城胤子之式部太夫胤清居之永禄四年正月里見氏使老臣正木小弓

曰井城主胤富是時千葉宗治以臣氏以國氏為大高以胤則原井下治

上總弾正曰千葉之子此高城胤二年天正十八年五月六月八月原本公封

胤十八年六月卒生千葉介胤元和三年正月台公事於城六年五月六月

自是後森川氏出羽守後守兵衛少輔後兵後用出守羽守後內後正後藤十二後會伊內

後方明治元年戊辰王政四年十二月六月

實縣併印旛縣置又歸之于大藏省

曾我野藩址

在曾我野村距佐倉西南六里徳川氏封戸田大和守忠至鎮此忠至明治二年五月致仕其子備後守忠綱嗣同六月版籍奉還昭

爲藩知事稱從前之官職爲華族四年七月廢藩爲曾我野縣罷藩知事職十一月又廢之爲印旛縣之所管矣

○以上在千葉郡

新撰佐倉風土記 終

明治十四年十月卅一日版權免許
同　十六年七月　出版

定價三十五錢

編輯人　千葉縣士族　續　簡
下總國佐倉宮小路町廿五番地

出版人　千葉縣平民　中井藤右衛門
下[illegible]國佐倉新町百五十七番地

發兌人　同　中井善三郎
百五十八番地

同　東京府平民　石川治兵衛
日本橋區馬喰町二丁目一番地

田邊希文　著

封内風土記

明治二十六年（一八九三）仙臺鉛排本

據明治二十六年（一八九三）

仙臺鉛排本影印

封內風土記叙

古昔王道之盛。六十餘州。各有風土記。而州之廣狹地之磽肥。田圃戶口之數。山澤河海之產。其他王神社寺院名區勝迹之類。不レ詳其地。可坐而知焉。實治具之要典也。仁安之比。帝威不レ振武臣執權。耀武以來。天下大亂兵燹不レ熄。舊典頗爲烏有。風土記今存者僅出雲一國而已。其餘一郡或存一兩簡。誠可レ惜哉。元和之後。國家大治。文華瀏瀏。列國之記不レ少。然其所レ記。不レ載田圃戶口租稅庸貢之數。則不レ可レ謂之要典也。寬文中。會津故羽林中郎將源公。撰會津風土記。其於レ治レ國可レ謂レ勤矣。寶曆癸未之夏。邦君命臣希文。撰封內風土記。九經春秋。三易其稿而成。凡二十卷。謄寫分爲二十五冊。然郡邑古來所レ傳無其證者多不レ告也。臣今晚齡旣踰八旬。衰憊不レ能徧就各郡悉問其事。是以脫漏不レ少。不亦遺憾乎。欲レ使家息希元。官暇經歷諸郡。審問其事。別爲風土記拾遺也。

若夫官使庸貢故事等。佐久間義和所レ著。觀迹聞老志。詳記之故不復贅焉。杜撰之書。雖レ不レ足以爲要典。其於治具之一端。未必無小補云爾。明和壬辰正月之望。八十一叟田邊希文。操觚于仙臺河內依竹齋。

封內風土記凡例

凡村字。避邦君之諱。以邑字易之。其不可易者用正字。

古昔之制。州有郡。郡有莊。莊有鄉。鄉有邑。今失其制。或有莊而無鄉。或有鄉而無莊。或有莊鄉共無之者。今無文獻之可徵。不能詳考之。姑以其所傳說者記之。後之君子質焉。

田圃戸口之數。記於各郡之首。而不記其總計於卷端者。撰者之微意也。

給主士。（俗家晉士之外。別立蕪與有不斷。給主。名懸等之名。）及步卒諸士之僕隸。居于民間者頗多。居于府下者亦許多。其居于民間者。及公族以下諸士。賜其邑其地者記之。其餘不悉記焉。

封內大小橋。不遑枚舉。故今記五間以上者。其餘略之。

府下之地。宮城郡南目。小泉。小田原。荒牧。名取郡根岸。凡五邑相接。城府在宮城郡荒牧邑。故神社。佛宇。寺院等。在府下之本郡

者。直記其事實於府下。在他郡者。惟舉其名於其郡。而其事實載于府下之條下。

倭俗。以六十間為一町。以三十六町為一里。（勢州之地。以五十町為一里。）本州國俗。以六町為一里。今所記之里數從國俗。

倭俗。呼有市店及人家並列處。凡謂之町。或呼街衢。謂之小路。今所記者悉從和俗。

倭俗。呼陸田曰畑。或作畠。畑畠二字共字書無所見。或云村上帝朝所制和字。今從國俗。

和俗。訓樫字曰加志乃木。字書無所見。觀迹聞老志云。考之字書。櫟音緊。木名堅剛之木也。俗以字體相似。誤緊字作堅乎。今所記從俗。

古來所傳之說。怪異妄誕。不足信者頗多。姑依其所傳而記之。其所傳或有異同。或有不可解者。各論諸其條下。

郡邑。所ㇾ傳者無二其證一者不ㇾ告ㇾ之者頗多。恐於二事實一有二脫漏者一乎。後
之君子質焉。
所ㇾ引觀迹聞老志。佐久間洞岩義和。奉二鄕山君之命一所ㇾ撰也。名跡
志。萱塢三郎右衛門高壽。爲二郡司一時。使二屬吏佐藤善左衛門信
要撰ㇾ之。信要以二洞岩門人一與ㇾ之相識。編集已成將ㇾ脫二其稿一。洞岩
沒。是以就二高橋與右衛門以敬一潤色焉。

封內風土記目錄

封内風土記卷之一

田邊希文峯　君命撰

封域

奥州宮城。名取。柴田。刈田。伊具。宇多。凡三十一邑。九邑属二封内一。二十二邑属二相馬地一。亘理。黒川。

[illegible]美。玉造。桃生。牡鹿。本吉。登米。志田。遠田。栗原。胆澤。磐井。氣仙。江

刺。凡廿十一郡。古昔有二[illegible]田色麻新田階上等之郡一。今小田属二牡鹿郡一。[illegible]色麻新田属二加美郡一。各為レ邑。階上属二本[illegible]。階上作二波路上一。色麻作二四竈一。

[illegible]南[illegible]限レ海。西隣二羽州一。南連二本州相馬及伊達郡一。山接二本州南

部一。西界北面白山。和渕。倉山。各属二名取郡一。小新川山。大峠。風倉山。寒加勢

山。奥川子山。各属二宮城郡一。船峠。属二加美郡一。各北色山郡東根界。閉ノ森。荒神山。松森。南日長山。

北日長山。一瀧山。雨入平。西前坂。半森。富繋山。大石澤山。大平山。

吹越山。各属二加美郡一。以上各長瀞界。東根長瀞共祭下官吏。宮村孫左衛門指揮處。翁峠。住吉山。遠兀山。風下山。

田代。西峠。各属二加美郡一。前森。木兎山。東遠鈴山。關澤。西遠鈴山。西長根。

各属二玉造郡一。大柴山。禿嶽。外禿。軍澤山。鉄砲平山。各属二栗原郡一。以上戸澤上総介正誠主。封地界。正戸澤上総

上郡新庄城主也。水堺。菅根嶽。柴倉山。高岩原。四段坂。田代。長根。各属二栗原郡一。以上共佐竹

右京大夫義敦朝臣。封地界。義敦朝臣。秋田郡久保田城主也。南界二大森。白旗山。犬轉山。老婆澤。鬼石山。

各属二宇多郡一。旗巻山。天明山。中ノ柴山。總兵長根。軀山。國見。大坪。手倉山。

石筵山。三段坂。白髭山。松ノ房。川。玉ノ川。北鼻山。鍋潟。中居。塚山。所山。

二塚。伏鹽。仙山。各属二伊具郡一。以上相馬彈正少弼祥胤主封地界。祥胤主宇多郡中村邑城主也。呼二此地一曰二相馬一。笠峠。熊ノ倉。各属二伊具

郡一。板倉内膳正勝承主。封地界。勝承主。信夫郡福島城主也。的倉。舟峠。清水。大峠。松坂峠。重倉。犬飼山。

一盃。泉。赤羽山。牧嶺。雁木澤。石塚。柳筵。各属二伊具郡一。從レ是以南限二海及阿武隈川一。以上本州磐城郡平城主。

安藤對馬守信明主。封地界。號二梁川領一。北界二男岡山。大平山。森山。松坂山。石峠。經森。柳泉。

大竹山。不動坂。蒲峠。黒木峠。前森。五輪峠。各属二江刺郡一。國見嶽。赤坂山。筵

森。蒲峠。長尾。根山。蕨峠。西山。高河原山。各属二胆澤郡一。以上本州岩手郡盛岡城主。南部大膳大夫利雄主封

地界。土人呼二此地一曰二南部一。巽隅限レ海。坤隅接二伊達郡及羽州一。界二赤兀山。西澤田山。

遠。長柴山。東高丸山。高丸山。長嶺。各属二伊具郡一。黒岩山。湯ノ倉山。取揚山。八

題山。阿都加志山。石ノ大佛。桐筵。赤柴山。高貝弓山。湯ノ川山。今熊。刺

森。大峠。一盃森。大貝綿山。鞍懸山。猿檜森。笹峠。立小屋山。峠森。天狗岩山。實澤。燒石。座頭轉澤。大小屋澤。氷岩。飛石。盜澤。笹嶺。各因刈田郡。以上伊達郡界。宮下吏川崎市之進指揮處。十郎鳥居山。仙翁澤。古道澤。石。各因刈田郡下。附記羽州置賜郡米澤城主上杉大炊頭亟定勝臣之地界。大谷地澤。森。猿鼻山。檜皮山。王澤山。番匠平山。二ッ森。藏王嶽。各因刈田郡。羽州邑山郡上之山城主松平山城守信將主封地界。熊嶽。田代山。阿彌陀原。草倉山。下踏倉山。仙人山。各因柴田郡。羽州邑山郡山形城主秋元但馬守涼朝主封地界。外加布頁山。因柴田郡。泉峠。二本不那龍嶽。小吾妻山。側角山。南面白山。各因名取郡。宮下吏宮村孫左衛門指揮處。迄山界。乾隅迎羽州及南部界。駒嶽。因栗原郡。劍山。白洲。前黃蘗森。各因磐井郡。薊兀山。桑原嶽。戸合山。旗鉾山。岩目澤。横嶽。各因膽澤郡。佐竹義敦朝臣。封地界。大森。天竺山。經塚。駒形嶽。大平山。浦峠。赤石。鼻。各因本吉郡。南部利雄主封地界。艮隅隣南部。半限海。界道祖神峠。有住峠。栗峠。愛染山。五葉嶽。七倉山。大角山。杉本山。鷲巢峠。從是以東限海。各因氣仙郡。南部利雄主封地界。東西。百九十七里強。以六町為一里。南北。三百四里強。絶長補短。方百八十八里強。

封侯

上古王道之隆。自崇神帝始令豊城命治東。以來世置鎮守府將軍。國司。按察使等之官。治奧羽兩州。帝威既衰。武家執權。始爲封建。侯伯爲留守探題管領等之職。豐臣家執柄之後罷此職。後鳥羽帝。文治中。賴朝卿。封伊澤左近將監家景。於宮城郡。爲奧州留守職。其子孫。以留守爲稱號。封葛西壹岐守清重初稱三郎於氣仙。膽澤。磐井。牡鹿。江刺。五郡。管領平泉撿非違使之事。此後武成強大。而併領本吉登米兩郡。土人呼之曰葛西七郡。封武石左兵衛尉胤盛。於伊具。宇多。亘理。三郡。武石千葉之分流。其子孫作亘理城。以亘理爲稱號。封泉田。澁谷。上形。狩野。四人。各名諱不傳。於志田。遠田。玉造。加美。栗原。五郡。光嚴帝建武中。不從鎌倉管領之指揮。終其地。封長江太郎義景。鎌倉權五郎景政曾孫。於桃生郡深谷莊。封熊谷平三直宗。小次郎直家子。於桃生。本吉。兩郡數邑。其他封功臣於處處。其詳不傳。其後大崎左京大夫直持。爲本州管領。封於志田。遠田。加美。玉造。栗原。五郡。大崎足利家分流。土人呼之曰大崎五郡。其餘。千葉五郎胤道。領宮城郡國分莊。其子孫。今絶祀。黑川某。名諱不傳。

（或云。最上右京大夫直家三男氏直。始稱黑川。或云。鎌倉管領基氏末裔。不知二說孰是。貞山君時。右京大夫孫左馬頭晴氏入道月舟齋者。其子正三郎某。仕君。今其宗絕祀。）領黑川郡。柴田某。（名諱不傳。）領柴田郡。（其他。領處處者頗多。今雖有其子孫。共不詳何時所封。）後陽成帝。天正十八年庚寅。太閤秀吉公。沒收大崎左衛門督義隆。葛西左京大夫晴信。領地十二郡。封木村伊勢守吉淸。然吉淸政事不正。大崎葛西諸浪士。起兵攻吉淸而殆危。貞山君援之。吉淸無恙歸京。同十九年辛卯。秀吉公封貞山君於葛西。大崎舊領之地。併賜宮城。名取。黑川。亘理。宇多。伊具。桃生。等之地。（宮城以下之地。第九世儀山君以來漸屬麾下。）收當家舊領羽州置賜。本州伊達。信夫。等。五郡之地。同帝慶長五年。上杉景勝謀叛。使家臣甘糟備後虎氏。守刈田郡白石城。貞山君受東照君之命。攻而取之。刈田郡屬麾下。凡領二十一郡。

風俗

風氣强勁。俗尙狡悍。習字御馬。好弓銃。善游泳者。頗多。氣仙郡雖偏僻之地。其人敦厚其俗淳朴。無各郡比之者。

土產

金銀。（往昔。牡鹿郡金華山。氣仙。刈田兩郡。多出。近年出者甚希。）鐵。（所在出。）銅。（同上。）錫。鉛。（同上。）硫黃。（同上。）明礬。（同上。）焰硝。（同上。）蠟。（同上。採漆實蒸之。笮之器而為蠟。）漆。（同上。）紙。（同上。名取郡柳生邑。刈田郡諸邑。所出。為佳。磐井郡門崎邑。刈田郡白石邑。出檀紙。與越前州所出精好不讓。所謂奧紙是也。芳草之詞。有五綵之色。）絹。（精粗有品。府內及西磐井郡山目邑出。）紬。（伊具郡金山邑出。以五綵之絲。或縱或橫織之。俗曰之島紬。）綾羅錦繡綸子縐紗。以下諸織物。（東山帝延寶中。京師織工。來住于府下。兩國屋[illegible]右衛門。教機織。學之者不少。稱米澤之舊。近年最佳。）紅花。（所在出。）藍靛。（同上。）綿。（同上。）紙衣。（刈田郡白石邑出。）紙布。（同上。）氷餅。（同上。）葛粉。（同上。）溫麪。（同上。以葛製之。府下出。他邦所出無及之者。）禽。（所在出。氣仙。牡鹿兩郡所出鷄最多。玉造郡及栗原郡。磐井郡東山所出雉。味尤美。）獸。（所在出。陸馬尤多。栗原郡所出為佳。）魚鼈。（所在出。氣仙。亘理。兩濱所出王餘魚。大而味美。牡鹿郡渡波。宮城郡[illegible]。所出牡蠣尤佳。牡鹿郡海中出金海鼠。他邦無此物。最名產也。本吉郡海中所出海栗。為佳。刈田郡小原川所出年魚。尤佳。）鮭子籠。鹽曳。（所在出。）熊膽。（所在出。）硯石。（桃生郡雄勝濱。江刺郡黑岩邑出。）革。（所在出。）筵席。（名取郡所出。為上品。栗原郡三迫所出。為中品。磐井郡東山所出。為下品。牡鹿郡眞野邑所出。為最下品。）三階。（馬具鞦鞧。俗謂之三階。磐井郡東山千廐邑所出。以麻製之。）下緒。（繫刀絲。以麻製之。千廐邑出。）柄絲。（卷刀柄絲。同上。）

府城

仙臺城。傳云。古昔千葉上總介平常胤。第五男五郎胤道。領宮

城郡國分莊。居住于此城。因以國分為稱號。子孫相續。至能登守盛氏無嗣而卒。家臣等相議。以當家十五世晴宗君之第五男彦九郎盛重為嗣。後盛重有故。奔于羽州秋田。後陽成帝慶長五年十二月。十七世貞山君。經營此城。以城邊古來有千體佛。（今其遺址。在茂庭主）號千體城。（水希元宅地。希元祖父筑後元明。製千體佛。安置之。）其後改字千代。貞山君以仙臺字易之。同七年。經營落成。同八月。歸國有移徙（和俗訓此二字曰和多滿志。）之賀式。明正帝寛永十五年八月。十八世義山君。經始二丸。同十六年六月。經營落成。有移徙之賀式。府內之地。宮城郡國分莊荒牧。小田原。小泉。南目。名取郡根岸五邑相接。而城地乃荒牧邑內也。東限少林。木下。原町倉廩。西限葛岡山。文珠堂。南限長町橋。茂崎。北限神明。北山。杉山。（自茂日堂前宮町。至清水小路。荒町橋頭。田町。鹿子泉。龍口澤。本丸西林。沼底道。葛岡石山。龍寶寺山。北山。杉山。北鍛冶町。東堤邊。同心町。東三番丁。新傳馬町北。東五番丁邊。米袋。川內。昔荒牧邑內也。自茂日堂東宮町西。至旅宮傍路。東原町西。材木藏。小田原邑內也。自原町西。材木藏前。至旅宮南傍。清水小路南。連坊小路。藥師堂南。目邑內也。自藥師堂。限清水小路。至荒町頭。南限長町橋。東至少林。小泉邑內也。自龍口澤。仙臺川南。至茂崎。根岸邑內也。）或說

曰仙臺城。人皇二十七代繼體帝。瑞政中。始築此城。號千代。三十二代用明帝御宇。安置千體佛于此府。改千代號千體。其後島津陸奥守某居之。島津移住于西國之後。結城七郎政光居之。正親町帝永祿中。國分能登守宗政居之。（希文按）瑞政之號。無所見。且吾朝年號。肇于孝德帝大化。繼體帝時無年號。妄說不足信用。島津結城之事。亦無所考。

神社凡七十八。八幡宮六。

其一龜岡八幡宮。當家大祖念西君。勸請於高子城邊。而號龜岡八幡宮。其後後奈良帝。天文元年壬辰。第十四世直山君。遷社于西山城。在伊達郡梁川。當家世所崇敬也。後陽成帝。天正中。貞山君。自伊達移于玉造郡岩手山。為上杉景勝領地。社司山田宮太夫清重憂之。與弟彌兵衛重之相謀。同帝慶長六年。竊護持神體到伊具郡丸森。而告之於君。同七年。有命造假社。（北地。今同心町邊澤明神社地也。）

賜宮太夫給米三口。後水尾帝寛永十七年義山君。造營宮社。同年七月。遷宮稱梁川今八幡。同二十年四月。始行神事。寄附祭奠廩米五石。靈元帝。天和元年七月。肯山君。繼始移社於城坤河內之地。大起土木。造營宮社。同三年八月。落成。十五日遷宮稱龜岡八幡宮。增祭奠米爲八石。寄附百石之地。使宮太夫。改稱山田土佐守爲神主職。賜三十石之地。公收先世所賜給米。附屬社士十人。巫一人。酒掃人。一人。有寺。號龜岡山積寶寺千手院。

其二大崎八幡宮。　舊在遠田郡八幡邑。土人傳云。後柏原帝。大永七年。自膽澤郡八幡邑遷座本邑。今仙臺府下。大崎八幡宮是也。社僧龍寶寺傳曰。當家十七世黃門君。在羽州米澤城時。一日信夫郡瀨上驛亭長。携一笣直來曰。昨夜有行客。次我舍云。我是奥州遠田郡八幡邑。八幡宮社司也。奉神體赴洛陽。然平明倉皇上道。遺此笣直。知是八幡神體也。君乃命侍臣披其緘則果然。君拊掌曰。我今不圖得此神體。豈非嘉瑞之先應者乎。何幸加之。縱其社司還來求之。必勿敢還焉。崇敬保護。有年于茲。其後君領大崎之地。居玉造郡岩手山城。造小社於郭內。安置彼神體。後陽成帝。慶長七年。遷宮城郡仙臺城北。同九年秋。使木幡旨清眞山繼重。爲縮拂之幹事。至同十二年八月竣工。以其月十二日。令龍寶寺實濟。藏神龕於殿內。振古米澤成島龍寶寺。有八幡宮。君遷岩手山之日。龍寶寺實範法印。奉持之到岩手山。當社造營之時。不設別社。同藏之殿內。稱之曰成島八幡。有社士十二人。流鏑馬射手四人。寄附祭田三十石餘之地。觀迹聞老志名跡志共曰。在城外河北山頭。慶長中。黃門君。自玉造郡岩手城遷之。令富塚內藏允信綱。木幡木工介旨清眞山式部繼重等。經營之。同七年八月十一日落成。社東建寺曰惠澤山龍寶寺。寺中藏龍珠。仍爲寺號焉。此宮社也。綉閣雕甍。極富麗結構之盛。山節藻梲。盡丹靑光彩之

美。其所莊嚴者。天下之妙工。甚五郎者雕刻。而妙術在左手。時人稱左手甚五郎。是以今所存之人物。禽獸。花草。蔬果之象。自然生意飛動之勢。如今現愛存焉。後世之庸工凡手非所及。實一國之奇觀也。爾後寬文中。後太守綱村君。下命以致修造加莊飾也。此時建石華表。令儒臣內藤閑齋作銘。虎岩道說書之。系文按。兩志記八幡造營。慶長七年八月十一日落成者誤也。龍寶寺所傳。與實錄所記相合矣。寬文之號。靈元帝之御宇也。虎岩道說致仕之後。號寒馬善書。宮社背山君修造之後。忠山君亦修補加莊飾。

其三。 在佛眼寺中。不詳何時勸請。 其四。 在日淨寺中。同上。

其五。 在木下。同上。 其六。 在天神社地。同上。傳云。古來之社。而躑躅岡之地主也。

神明宮六。 其一。 在荒牧邑。屬府內。傳云。後水尾帝。元和七年。貞山君勸請造營。別當有寺。號祓山神宮寺。妙海法印開山。寺。山。

號共君所命也。中御門帝。正德六年。獅山君寄附祭田二十石之地。 其二。 在躑躅岡。不詳何時勸請。此社。舊在府內大町之末巷。東山帝。元祿初。神主菊田讚岐守有罪放逐。讚岐守門人等。移社于名取郡秋保邑祭之。社地爲市店。其後讚岐守遇赦。有神職如舊之命。於是。中御門帝正德初。請社地于躑躅岡。而遷祭于今地。 其三。 在根岸邑越路塵落坂上。屬府內。不詳何時勸請。

其四。 在佛眼寺中。不詳何時勸請。 其五。 在日淨寺中。同上。

其六。 在木下。同上。今無社。勸神名于石碑。

愛宕神社七。 其一。 在根岸邑。屬府內。傳云。舊在羽州米澤。不詳何時勸請。有寺。號愛宕山愛願寺。正親町帝。永祿中。當家十五世保山君。命瑜願寺尊勝法印。始安置本地佛。故以尊勝爲中興開祖。尊勝嘗到紀州那智瀑布。千日修行。世人稱千日上人。後陽成帝。天正中。貞山君。自米澤移于玉造郡岩手山。是以社亦移之。

同帝。慶長中。君遷于仙臺城。遷社于國分荒牧邑。（今天台宗滿願寺之地也。）其後。
又遷于今地。中御門帝。正德五年。獅山君。寄附祭田三十石之地。
及勝軍地藏像。同壽像。自書額。　其二。　在大聖寺中。不詳何時
勸請。　其三。　在彌勒院中。同上。　其四。　在大德寺中。同上。
其五。　在寂光寺中。同上。　其六。　在城中。同上。　其七。　在愚
鈍院中。後陽成帝。慶長七年。希荼和尚勸請。
熊野神社十。　其一。　在宗禪寺中。不詳何時勸請。　其二。　在
誓願寺中。同上。　其三。　在定禪寺中。同上。　其四。　在願行寺
中。同上。　其五。　在阿彌陀寺中。同上。　其六。　在藥本寺中。同
上。　其七。　在生因寺中。同上。　其八。　在木下。同上。　其九。
在玄光菴中。同上。傳云。此社舊在北七番丁。井上九郎兵衛宅地。
而同處成田萬之丞宅中。有御手濯。往古有祝部巫女等。自何比。
荒廢移社于今地乎。其不傳。　其十。　在千手院中。二十世肯山

君。嘗勸請於城中。不詳其年月。東山帝。元祿十五年正月。移社于
今地。
稻荷神社十三。　其一。　在大橋邊。不詳何時勸請。　其二。　在
中瀨橋畔。稱武隈明神。同上。　其三。　在瑞鳳寺靈廟下。同上。
其四。　在仙岳院巽方。稱福澤稻荷。同上。　其五。　在光禪寺中。
同上。　其六。　在林松院中。同上。　其七。　在愚鈍院中。稱武隈
明神。同上。　其八。　在修驗常樂院宅中。同上。　其九。　在木下。
今無社。勸神名於石碑。　其十。　在千手院中。同上。二十世肯山
君。嘗勸請城中。東山帝元祿十五年正月。遷之于今地。　其十一。
在圓德寺中。同上。傳云。舊在躑躅岡。創建釋迦堂時。移于孝勝
寺內。其後。移于今地。　其十二。　在成覺寺中。後陽成帝。慶長初。
勸請。　其十三。　在中島丁高橋秀花宅中。中御門帝。享保二年
勸請。

鹽竈神社三。　其一。　在大年寺中。東山帝元祿八年。大年寺草創時。勸請。　其二。　在萬壽寺中。東山帝。元祿十年。勸請。　其三。
在成覺寺中。後陽成帝。慶長初。勸請。

土倉明神社。　在定禪寺中。不詳何時祭何神。

野中明神社。　在北七番丁。小野總之助成房宅中。不詳何時祭何神。傳云。古來之社也。

瀧澤明神社。　在舊寺小路光明院中。不詳何時祭何神。傳云。貞山君。自伊達移之。舊在龜岡社邊號瀧澤地。靈元帝天和中。造營龜岡宮社時。移于今地。寄附廩米三口。

白鳥明神社。　在河內號深澤地。傳云。舊在木丸老婆杉下。而國城之地主古來河內之鎭守也。後陽成帝。慶長中。貞山君。城地經營時。移于今地。從來稱深澤白鳥神社。丹野故善右衛門。(諱不傳。)嘗崇信之。請君。使修驗光明院。爲別當。寄附祭田。君亦寄附三十三

石之地。每歲九月九日。于今丹野家與祭事。社內藏地藏像。是乃古昔千體佛之其一也。

高良神社。　在龜岡社地。末社而所祭。武內宿禰。靈元帝。天和元年。八幡宮造營之時。勸請。

山王權現社二。　其一。　在仙岳院中。後光明帝。承應中。勸請一山之鎭守也。　其二。　在木下。今無社。勸神名于石碑。

紀山神社。　在仙岳院後北山。所祭。紀明神。資船明神也。不詳何時勸請。舊在高松萬壽寺興創時移于今地。

秋葉權現社。　在河內修驗大寶院宅中。不詳何時勸請。

羽黑權現社二。　其一。　在城北寂光寺中。不詳何時勸請。名跡志曰。淸和帝貞觀中。勸請。所祭倉稻魂神。伊達。米澤。三春。之鎭守也。黃門君。勸請于此地。　其二。　在北六番丁西性院中。不詳何時祭之。

山神社。在城北國見山下。不詳何時祭何神。近年世人以此社爲痘瘡神。或說曰。葬博徒最上源藏之地。而建堂稱最上堂。以痘神最上其訓相同。誤之爲痘瘡神。

闢明神社。在滿願寺中。後陽成帝。慶長之初。貞山君勸請。

痘瘡神社二。其一。在中島丁北後澤中。不詳何時祭何神。其二。在躑躅岡天神下。慈恩寺中。同上。

天神宮。在城東躑躅岡。別當修驗光善院。傳云。神體延喜帝皇子。空也上人所造。而往古鎭座于城州竹內沼崎山。圓融帝天延二年。平將春。勸請于本州宇多郡八幡崎。其後。遷座于柴田郡川內邑。當藤原基衡守護本州時。刈田郡白石城主。刈田太郎淸光。謀叛。基衡令佐藤左衛門尉治信。嫡子同小太郎。伐之。治信父子。整兵於柴田郡川內邑。天滿宮神前。來幣祈之。不日白石城陷。基衡賞之。與治信以本郡國分莊。授小太郎以基字。乃稱莊司基春。

其後。基春感瑞夢。遷社于本郡國分莊小田原邑。號玉手崎地。(今東照宮地是也。)別當有寺。天台宗而號威德山大松寺。後改號天照寺。爾來龜山帝。文永元年。島津陸奧守。(諱不傳。)再造。國司吉家。及黑川家臣山田大膳。(諱不傳。)國分能登守宗政。相繼造營。(不詳年月。)後奈良帝。天文二十年。白石參河守宗明。再興。當家十七世貞山君。經營仙臺城時。令伐杉槻大樹百餘株於天神林中。爲其報賽。後陽成帝。慶長十六年。造營宮社。每歲祭日。寄附廩米三石。及祭田六石之地。明正帝。寬永十七年。十八世義山君再造。後光明帝。慶安三年。移社於東林。(今日之天神林。)而造營東照宮於其社地。後西帝寬文七年丁未七月。二十世肯山君。卜社地於躑躅岡。新經營本社。及樓門。拜殿。御供所。華表。寄附神器等。天照寺荒廢已久。往古社司。祝部。有十二人。今悉斷滅。稱其末葉者僅二人。於今執神務。今別當修驗光善院永應。九世祖高橋筑前守吉定者。此社之神主也。國分家亡

滅之後。其曾孫吉門爲修驗者。再興天照寺慶院。號光善院。爲別當。其子南光坊永心。始稱兵部。學小笠原家弓法。而門弟頗多。與其所傳之弦。世稱南光弦是也。其子光善院永順。其子能應。其子忽應。其子永應。世稱光善院。自吉定。凡九世連綿爲別當職。樓門西。有號夜泣垂絲古櫻。自玉手崎舊地。移栽之。覩迹問老志。名跡志。其曰。往時。在宇多郡八幡崎。相傳圓融帝天延二年甲戌。平持村者勸請。龜山帝文永元年甲子。島津某者。移之于宮城郡國分莊。小俵邑玉崎山中。（玉崎。或作玉田崎。古玉手崎。又玉田也。）後奈良帝。天文十三年癸卯。白石參河守宗明者。再興之。爾後。後陽成帝。慶長十六年辛亥。貴門君。新致修造本院。寬永十七年庚辰。忠宗君。以四十二厄歲。復新建立。後光明帝。慶安三年庚寅。偶會東照宮經營之事。仍移其東林。至寬文七年丁未七月。少將綱宗君。遷之于榴岡。而新造。希

文按。其所記。與別當所傳不合。且記人名亦異。而以青山君。爲雄

山君。姑記之。以備參考。白石參河者國分根白石邑壘主。而桃生郡主首藤氏之苗裔也。

極尾大明神社。 在天神社地。無社。八幡宮內相殿祭之。

子之權現社。 川濯明神社。 以上兩社。在定禪寺內。土倉明神社地。不詳何時祭何神。

鹿島香取神社。 在城北光明寺中。不詳何時勸請。

道祖神社。 在土倉明神社地。不詳何時勸請。

諏訪神社三。 其一。 在城東毘沙門堂邊。不詳何時勸請。傳云。此社。舊在米袋鷹房邊東山帝元祿六。七年之比。移于今地。 其二。 在大崎八幡社地。不詳何時勸請。 其三。 在木下。今無社。勒神名于石碑。傳云。往古。國分寺十八伽藍之其一也。

伊板大明神社。 在木下。石宮也。不詳何時祭何神。或稱馬場前大明神。傳云古社也。三月三日白山神事。流鏑馬奔騰馳驅。雖不

可停。至此社前則莫不止焉。爲奇異之事。　雷神社。　在木下。不詳何時勸請。　三十三番神社。　在法運寺中。同上。　春日神社。　在北材木町。傳云。古來之社也。不詳何時勸請。

白山權現社。　在城東木下。不詳何時勸請。傳云。往古大社。而國分寺十八伽藍之其一也。後鳥羽帝。文治五年八月十二日。賴朝卿東征時。罹兵燹。爲灰燼。其後。國分能登守造營之。每歲三月三日。有神事。使家臣射流鏑馬。明正帝。寛永十七年。義山君再造之。爾來歷世加修補。祭日令國分家舊臣如古例。行流鏑馬之式。寄附祭田十八石之地。名跡志。蹈老志。共曰。在善逝堂東。啓蒙云。白山姬神社。在加賀國石川郡。一宮記云。伊弉並尊也。上社菊理姬。改曆云。靈龜二年丙辰。顯形曰。我當山地主伊弉並垂跡也。又左峯老翁現曰。吾白山輔佐也。稱小白山。又右峯老翁現曰。吾白山彌也。卽大巳貴垂跡也。按不詳自何代祭木下也。或曰。斯地往古。

祭志波彥。是乃當郡大社。雖有指岩切河北者。其地狹隘不足設大社。且鄕人白山乃有爲志波彥說者矣。考之古書。源重之。奧州刺史。須在多賀城。見其集。偶有三月依祭。而冒雪過小鶴之詠。想夫刺史。當必預一國之大祭。然祭時遇雪于途中者乎。況言三月之祭禮。則自多賀城取路于小鶴者。蓋彷彿赴于木下之祭禮者矣。識者宜以此併考。此地每歲三月三日。行祭禮。浮屠率之神人從焉。先是二月廿五日。騎射興會的司堀江氏宅。烹魚鳥饌曰之潔齋會。自是列騎之東濱濱。曰之水齋。各浴潮水。還直入馬場本坊舍。曰之齋舍。豫齋戒。三日午時。國分寺伶學頭。院主。別當。率二十四坊。而讀經于白山拜殿。神人舞蹈于社前。然後有流鏑馬五番。此祭禮也。自古領主國分氏之舊例。故家遺族臣勤之。國俗曰之國分士。射騎儀勢襯女衣。而表素袍。戴組檜笠。佩鹿皮行縢。携藤弓而乘駿馬。古所謂羽獵之舊制。曰符裝束者是也。設的（以物檜片挾之。以竹插之。）於拜

殿以南。的司堀江氏立于此。射徒並馬于社東。擊大鼓而待其招。的司相親。揮揚金扇而麾之。於是急鼓聲而進馬。馬奔馳如飛。射徒放矢去。（二騎亦如先徒。）乃舉其的而投衆群稠人之中。名取宮城兩郡農夫。豫結黨分隊。而期輸贏焉。此時也。一直逞膂力。一味出心肝。而爭之南北矣。所以因勝負而驗其年租之豐歉者。自古之例也。此儀式畢。僧徒神人至于舍逝長床。有太平樂。（僧徒著戎衣。取白刃而舞。）龍陵（一作陵）。王納蘇里（神人被假面而起舞。）等舞踏。自是其徒巡行堂上而闋之。此日也。州人爲群尤夥。堂下社邊商賈爲市。男女如堵。時暖霧融融。彩霞簇簇。樹間之白櫻林中之辛夷。時可愛。野外拾翠。原上踏青者。殆踵相望。晚來家家扶得醉人歸。

牛頭天王社。　法領權現社。　貴船神社。　以上三社。共在城東木下。傳云。往古。國分寺十八伽藍之其一也。罹文治之兵燹。其後天王社再造之。貴船。法領。兩社荒廢。惟存神名於碑而已。

東照權現社。　後光明帝。慶安三年庚寅。十八世義山君。請建神君宮社於府内。大樹許之。是以擇其地於城北艮隅。而起土木事。至同帝承應三年甲午落成。令族臣石川大和宗弘。迎神輿於江府。最教院權僧正晃海法印。自江府供奉神輿。到于本州。同年四月十六日夜遷宮。本社唐門。瑞籬。拜殿。本地堂。御供所。樓門。（左右有隨身。）神橋。神廐。石華表。（石自備前州運送之。）輪奐悉極莊麗。別建精舍。號眺海山康國寺仙岳院。附屬社士六人。以九月十七日爲祭日。三分府内十八處之市鄽。閒歲各造屋臺人物花菓等。亘府内街衢。市人相競。共盡華美。此日也。通國群集。滿街奔走。簞食壺漿。觀者如堵。實一時之偉觀也。寄附神領三百六十石之地。　旅宮。　在宮町南東照神輿。自江府始著。與于此宮。後遷宮于本社。故曰之旅宮。

佛宇凡六十。

異淨殿。　在東照宮傍。安置將軍家歷世靈牌。

釋迦堂二。其一。在蹈鞴岡營廟東。東山帝。元祿八年乙亥。二十世肯山君。始開此地。建堂以安置尊燈淨眼院殿。護持佛釋迦像。建碑記其事。且其南設調馬銃射之地。兩邊植之。以單。重。垂絲櫻各數百株。及青松。紅楓。千餘株。未聞他邦列樹開花如此之多。實風流之設也。聞老志名跡志共曰。是乃所以尊燈追孝之示遺愛也。硒古。所謂鞭栖城址是也。自岡上望。則木下之古林傚于春色。宮城野之曠野。富于秋爽。其木末則本荒鄉也。錦栽繡織于芳原。其極目則松浦島也。布帆ノ乁于遙瀛。千賀之綢繆。多賀之縹渺。皆入吟眸。玉田橫野。亘于北野。和泉東與峻于西岳。實郊外之絕境也。其二。在法運寺中。不詳何時創建。

觀音堂三十。其一。在北目町。本尊得大勢至菩薩。毘首羯摩所造也。世人呼之。曰三十三夜堂。別當天台宗。號北目山滿福賢聖院。傳云。往古在名取郡郡山邑北目。後三條帝延久元年己酉。

三月廿日。慈覺大師。弟子良性法師創建。其後荒廢。北目城主。藤原宗房。因祈願再造。後圓融帝。康曆二年庚申。四月廿三日。性圓法師中興。後陽成帝慶長中。移于今地。其二。在龜岡艮隅。傳云。本尊聖觀音。運慶作。國分能登守盛氏護持佛。而舊在青葉崎。今城中之山也。慶長初城地經營之時。移于今地。仙臺順禮三十三處。第一番札處也。其三。在大崎八幡社下觀瀧菴中。傳云。本尊千手觀音。弘法大師作。不詳何時創建。仙臺順禮三十三處。第二番札處也。其四。在北山定光寺中。傳云。本尊正觀音。慈覺大師作一說惠心。所造。而和泉三郎忠衡護持佛也。不詳何時創建。仙臺順禮三十三處。第三番札處也。其五。在北山永昌寺中。本尊千手觀音。定朝作。不詳何時創建。仙臺順禮三十三處。第四番札處也。其六。在北山昌繁寺中。本尊聖觀音。聖德太子所作。而後陽成帝。慶長六年。開山袋炭和尙創建。仙臺順禮三十三處。第五番札

處也。　其七。　在北山莊嚴寺中。本尊十一面觀音。慈覺大師作。不詳何時創建。仙巖順禮三十三處。第六番札處也。　其八。　在北六番丁藥本寺中。本尊千手觀音。弘法大師作。仙巖順禮三十三處。第七番札處也。（一說。北山大願寺中。正觀音行基作。）　其九。　在定禪寺內善性院中。本尊正觀音。聖德太子作。不詳何時創建。仙巖順禮三十三處。第八番札處也。（一說。舊寺小路寶光院中。正觀音。行基作。）　其十。　在舊寺小路滿願寺中。本尊正觀音。不詳佛工。及何時創建。仙巖順禮三十三處。第九番札處也。（第十番札處。在府外府口邑原町。故不載于此。）　其十一。　在躑躅岡天神林。本尊十一面觀音。行基作。靈元帝寬文七年。創建爲天神本地佛。傳云。和泉三郎忠衡女之護持佛。而其侍女小萩爲尼。建堂於國分玉手崎。（今福澤明神社地是也。）安置之。故世人呼之。曰小萩觀音。（詳于加美郡清水邑清水寺條下。）仙巖順禮三十三處。第十一番札處也。　其十二。　在天神下慈恩寺中。本尊正觀音。慈覺作。後陽成帝。慶長中創建。仙巖順禮三十三

處。第十二番札處也。　其十三。　在天神下金勝寺中。本尊正觀音。安彌陀作。不詳何時創建。仙巖順禮三十三處。第十三番札處也。　其十四。　在八塚大林寺中。本尊千手觀音。慈覺作。不詳何時創建。仙巖順禮三十三處。第十四番札處也。　其十五。　在八塚阿彌陀寺中。本尊正觀音。春日作。不詳何時創建。傳云。昔時此邊地卑。東海瀰漫如湖。觀音浮影於波上。故今稱之。曰影沼觀音。仙巖順禮三十三處。第十五番札處也。（一說。爲第十七番。）　其十六。　在八塚成覺寺中。本尊正觀音。行基作。不詳何時創建。傳云。此像舊在豆州川津邑南禪寺。仙巖府下大㟢市人。高屋彌七先祖。居武州江戶時。以商買之事。遣弟六郎左衛門。及家隷七右衛門者于豆州。數日逗留于川津邑。其間與南禪寺之僧相議。齎來于本州安置之。仙巖順禮三十三處。第十六番札處也。　其十七。　在八塚恩鍾院中。本尊正觀音。惠心作。不詳何時創建。仙巖順禮三十三

處。第十七番札處也。（一說爲第十五番。）其十八。在八塚光雲院中。本尊
正觀音。運慶作。不詳何時創建。仙臺順禮三十三處。第十八番札
處也。其十九。在連坊小路保壽寺中。本尊正觀音。不詳佛工
及何時創建。仙臺順禮三十三處。第十九番札處也。（一說爲第二十二番。）其
二十。在石名坂圓福寺中。本尊正觀音。聖德太子作。不詳何時
創建。傳云。田村將軍利仁朝臣。侍妾靈玉護持佛也。仙臺順禮三
十三處。第二十番札處也。其廿一。在荒町後皎林寺門前。本
尊千手觀音。聖德太子作。（世人稱飛觀音。）不詳何時創建。仙臺順禮三十
三處。第廿一番札處也。（一說爲第十九番。）其廿二。在連坊小路瑞雲寺
中。本尊如意輪觀音。慈覺作。不詳何時創建。仙臺順禮三十三處。
第廿二番札處也。（一說爲第二十一番。）其廿三。在連坊小路遍照寺中。本
尊如意輪觀音。不詳佛工及何時創建。仙臺順禮三十三處。第二
十三番札處也。其廿四。在木下國分尼寺中。本尊正觀音。惠

心作。不詳何時創建。仙臺順禮三十三處。第二十四番札處也。
其廿五。在木下國分尼寺中。本尊正觀音。不詳佛工及何時創
建。仙臺順禮三十三處。第二十五番札處也。（以下。至三十二番。在府外名取郡中。故不載于此。）
其廿六。在名取郡根岸邑。越路大藏寺中。屬府內。本尊勢至
觀音。慈覺作。不詳何時創建。仙臺順禮三十三處。第三十三番札
處也。其廿七。在北山輪王寺中。不詳何時創建。其廿八。
在北八番丁金玖院中。本尊魚籃觀音。泰澄作。同上。其廿九。
在舊寺小路寶光院中。本尊聖觀音。行基作。同上。或爲仙臺順禮
第八番札處。其三十。在北山充國寺中。櫻町帝元文三年。前
住良相上人創建。
龐空藏堂。在名取郡根岸邑愛宕山。屬府內。傳云。往古在城中。
後陽成帝慶長初。貞山君經營城地時。移于經峯。後西帝萬治二
年。造營義山君靈廟時。再遷于今地。

聖天堂二。其一。在同心町大聖寺中。不詳何時創建。其二。
在土樋西光院中。同上。
地藏堂二。其一。在北二番丁。光禪寺中。本尊慈覺作。傳云。青
葉崎千體佛之其一也。其二。在城北龍寶寺門前。貞山君。實
錄云。後水尾帝。元和冬。創建草堂一宇於龍寶寺門前。安置勝軍
地藏。繇州大坂陣中。龍寶寺上京。修勝軍地藏之法。凱旋之後。秦
其本尊。歸國安置之云。有別當。號龍華菴。
辨財天堂五。其一。在八塚成覺寺中。後陽成帝。慶長初創建。
其二。在北二番丁光禪寺中。不詳何時創建。其三。在荒
町後法圓寺中。同上。其四。在木下。傳云。往古國分寺十八伽
藍之其一也。今荒廢。惟存佛名于石碑。其五。在瀧岡千手院
中。青山君嘗創建于城中。年月不詳。其東山帝元祿十五年正月。移于
今地。

鬼子母神堂。在連坊小路法運寺中。不詳何時創建。七面堂。
同上。准胝大士堂。在木下。櫻町帝。延享二年三月。忠山君
以母君之命。再興。
藥師堂。在木下。後陽成帝。慶長十二年。貞山君再興。八月廿四
日。入佛。爲永代資用。寄附四萬錢。闔老志。名跡志共曰。在白山社
西。金光明四天王護國山國分寺。緣起畧曰。聖武帝。天平九載。詔
每州。置國分寺。當院居其一焉。中罹清衡之兵燹。希文按。國分寺所傳。爲文治五年八月燹。則非清衡之時。泰衡之時也。爲烏有。近世國分彥九郎盛重。制刷舊跡。內殿置藥
師脇持菩薩。及十二神將。運慶作。本尊乃閻浮檀金。故藏帳秘而
不發。有二王門。其像亦前作。形質凜凜。生意如神。慶長九年甲辰。
黃門君。造替宮社。堂宇。十二年。丁未秋八月。落成。希文按。貞山君
實錄。記慶長十年有再造國分寺藥師之命。緣起爲九年者誤也。
阿彌陀堂。在木下。傳云。往古。國分寺十八伽藍之其一也。今荒

殿。惟存佛名于石碑。

大元明王堂。　在大崎八幡社地。中御門帝。正德四年。獅山君創建。

文殊堂。　在躑躅岡天神社地。傳云。本尊天台座主。惠心院源信僧都作。舊在本郡小田原玉手崎。後西帝寬文七年。移天神社于今地。時此堂亦遷之。

萬日堂。　在北六番丁東照宮近邊。靈元帝寬文十一年。仙岳院第二世。天勇僧都。始開融通念佛於院內。同帝貞享三年。第三世良榮僧都。請地以創建堂宇。

變異金剛堂。　在定禪寺內土倉社地。不詳何時創建。

三寶荒神堂。　同上。

大日堂。　在田町隆興院中。不詳何時創建。

不動堂。　在江岩寺中。傳云。本尊脇立共陽德院殿所寄附。而後

水尾帝。元和四年之比創建。

毘沙門堂。　在荒町市店後。傳云。本尊運慶作。往古。藤原秀衡建堂于磐井郡平泉。其後移于同郡大原邑。宮城郡松森館。名取郡北目。處處。後水尾帝。寬永四年。貞山君移于今地。欲造營堂宇。而世事紛冗遂不果。君之卒後。義山君繼其志。同二十年。造營之。名跡志曰。有寺。曰金光山滿福寺。名取郡北目館主。粟野大膳大夫。護持之像也。天正四年。藤原宗國者。安置之。希文按。滿福寺所傳。與名跡志所記。不合。姑記之備參考。

十王堂三。　其一。　在同心町大聖寺中。不詳何時創建。　其二。　在同心町。同上。　其三。　在舊寺小路滿願寺中。同上。

大佛堂。　在同心町。同上

封內風土記卷之一　畢

封内風土記卷之二

田邊希文奉　君命撰

府城

寺凡百三十二。佛院塔頭凡百二十一。

金光明四天王護國山醫王院國分寺。眞言宗。城州醍醐報恩院末寺。寺僧傳云。舊天台宗也。而聖武帝天平九年丁丑之春。勅願創建。行基大僧正開山。國分寺總名。而有學頭(後花園帝寬正中。宥日法印中興。)別當院主(仁明帝嘉祥中。慈覺大師中興。)三寺交執事務。往古有十八伽藍。白山宮。八幡宮。天滿宮。(小田原。)二王。伽藍神。准胝。大士。牛頭天王。奧院。正觀音(國分尼寺。以上六處。各有堂社。)山王權現。貴船明神。神明宮。諏訪大明神。熊野權現。稻荷大明神。辨財天。阿彌陀如來。法領權現。(小泉邑。以上九處。今廢。其名存于不。)是曰十八伽藍。其天平中創建也。(希文按。以天滿宮爲天平中創建者誤也。)有衆徒二十二坊。東大門坊。西大門坊。極樂坊。杉本坊。櫻岡坊。富岡坊。西中坊。泉岡坊。

梅木坊。井上坊。池上坊。東中坊。橋本坊。吉羅坊。大實坊。泉崎坊。常樂坊。羅之坊。竹内坊。水上坊。華林坊。馬場本坊。各受學頭之指揮。也。後鳥羽帝。文治五年之役。八月十二日。罹兵燹。一山堂塔伽藍。諸寺院。悉爲烏有。正親町帝。天正中。國分彥九郎盛重再造。後陽成帝。慶長十二年。貞山君造營藥師本堂。一山鎭守白山神社等。其餘學頭。別當。院主三院。及二十二之子院。中御門帝。享保中。獅山君命。龍寶寺泰音實政作緣起。自書跋文。以納之。鬪老志。名跡志共曰。國分寺建學頭。別當院主三宇。以備之號。金光明四天王護國山國分寺。三宇僧交勤寺務。其屬坊有二十四區。逐年巡行祭祀事。聖武帝。天平中。詔每州所建之一寺也。其後鎭守將軍藤原秀衡。甚好佛。建寺院僧房。頗極壯麗。設長堂廻廊。而及尼寺。後傾側荒廢。烱又其間及兵燹等之災。平如今往昔古瓦遺礎猶有焉。好事者雖而爲硯。和漢合運曰。天平九年。每州建國分寺。又十

一年日。始建毎州國分尼寺。續日本紀云。天平三年辛未。詔曰。毎國造釋迦像一軀。挾持菩薩像二軀。兼寫大般若經一部。又天平寶字五年六月。令天下諸國各於國分尼寺。奉造阿彌陀丈六像一軀。脇持菩薩像二軀。疏文按。天平寶字五年。廢帝御宇也。寄附學頭。院主各二十四石。衆徒各十二石之地。

護國山國分尼寺。　曹洞宗。八塚龍川院末寺。傳云。舊天台宗。而聖武帝。天平中。毎州創建國分尼寺。令僧尼住焉。僧寺撰明德二十人。掌祈禱。尼寺擇淨尼十人。掌滅罪。乃名法華滅罪之寺。此尼寺亦其一也。帝之勅願處。而天平十一年。創建觀音大士之靈場。國分寺奧院也。本尊觀音。亦天平所造。而歷年之久既朽損。今所安者。惠心僧都所刻也。近古國分莊主。國分能州刺史世修營國分寺。藥師堂。白山神社。尼寺。觀音堂等。正親町帝。元龜元年。遂以尼寺。爲禪院。使明峯派下龍川院第二世明屋和尚開祖。擴內往

古方三百間。後水尾帝。寛永以來。有縱六十二間餘。橫五十間餘。故往古觀音堂遺址在境外。而圃中築長八間。橫六間二尺之塚。寺內有南部和賀郡舊主。右大將賴朝卿支子多田式部大輔忠賴十七世孫。和賀主馬源忠親之墓。中御門帝。享保七年。獅山君來肯山君遺命。爲雄山君祈冥福。使寺僧諷誦普門品三十三萬卷。三年而終功。雖曹洞宗以從事于此。

惠澤山寶珠院龍寶寺。　在城北。眞言宗。城州醍醐三寶院末寺。舊在羽州米澤成島。不詳何時何人開山。傳云後花園帝。康正中。澄海法印中興。本尊釋迦如來。竺工毘首羯磨所造也。寄附二百七十石餘之地。傍院六區如左。　別當坊。賜十五石餘之地。　東光院。賜十七石餘之地。　泉照院。賜十五石餘之地。　玉燈院。同上。　遍乘院。同上。　龍城院。同上。以上六院開基年月。僧名。共不傳。

南滑山定禪寺。在舊寺小路。眞言宗。城州醍醐三寶院末寺。傳云後柏原帝。永正中。融濟法印開山。寄附六十六石之地。傍院三區如左。　善性院。不詳何時何人開基。　甘露院。同上。　大悲院。同上。以上三院。東山帝。元祿十年。各寄附十石之地。

龜岡山千手院。　在河内。眞言宗。京都仁和寺末寺。傳云後花園帝永享中。宥日法印開山。中古罹災。舊記燒失。其詳不傳。寄附七十石之地。傍院六區如左。　遍明院。　福藏院。　秀明院。　無量院。　慈眼院。　龍性院。以上六院開基。僧名。年月共不傳。各賜廩米五石四口。

惠日山遍照寺。　在連坊小路。眞言宗。城州醍醐報恩院末寺。不詳何時何人開山。傳云當家古來祈願處。而先君居常州中邑。則寺在下野州芳賀郡山尾。居羽州米澤城。則寺在下長井莊號宮地。有六供門前市店。及末寺門徒許多。在米澤。則宥日法印開山也。什物有高麗畫金胎兩部曼陀羅二幅。(貞山君。自高麗歸陣。所寄附也。)　弘法大師奉桓武帝勅。延暦二十三年入唐。青龍寺惠果和尚密法傳授。所附屬諸具之鈴五鈷。(後花園帝。永享八年。高野山宥通法印。附屬宥日法印。)　高雄文覺上人護持佛。智證所造不動像。文覺上人所持錫杖等。舊高野山末寺也。靈元帝貞享元年。前住照長法印。相續報恩院前大僧正有雅之法流。爾來爲報恩院末寺。寄附二十四石之地。

湯國山月山寺寶光院。　在舊寺小路。眞言宗。京都仁和寺御室御所末寺。傳云長海上人開山。不詳其年月。長海初住于羽州長井莊龜岡文珠堂側。性山君夫人保春院殿召之。有可祈生文武忠孝兼備之子。於湯殿山之命。四月二日。(不知其年。)長海登山祈之。無幾夫人有孕。正親町帝永祿十年丁卯八月三日。生貞山君。長海乃爲假子。號梵天丸。爾來崇信湯殿山。每歲四月二日。使長海登山代拜。其後建寺。使之至今連綿登山代拜。寄附五十石之地。

摩尼山大聖寺。　同上。京都智積院末寺。傳云初號歡喜院。後陽成帝。慶長中。定禪寺五世融譽法印退休。貞山君賜地建寺。經營時。鑿地。獲聖天像。是以別造堂安置之。號寺曰歡喜院。貞山君有聖天供修行之命。寄附三十六石餘之地。故以融譽法印爲開祖。爲定禪寺末寺。東山帝。元祿七年。慶餘法印上京。相續法流。爲智積院末寺。改號摩尼山大聖寺。

慈眼山普門寺西光院。　在土樋。眞言宗。京都智積院末寺。傳云名取郡富澤邑主山岸三河宗成。後陽成帝慶長七年二月二十九日歿。其子修理定康祈亡父之冥福。同十年。建寺。開山僧名不傳。西光院乃宗成法諡也。東山帝元祿二年。前住照義法印。續智積院信盛僧正法流。爾來爲智積院末寺。

寶珠山彌勒院。　在中島町。北眞言宗。龍寶寺末寺。傳云古來之寺。而其先不詳何時何人開山。勝慶法印中興。爲龍寶寺末寺。其

年月不傳。後西帝。萬治元年八月。勝慶遷化。

瀧澤山光明院。　在舊寺小路。眞言宗。龍寶寺末寺。不詳何時何人開山。瀧澤明神別當。而寄附廩米三口。中御門帝。享保中。祐春法印中興。

金光山滿福寺。　在荒町市店後。眞言宗。京都智積院末寺。不詳何時何人開山。

靑葉山寂光寺。　在城北。眞言宗。京都仁和寺末寺。傳云信夫郡福島一里東北。羽黑權現別當。而慈覺大師開基也。後陽成帝。慶長五年十月。同郡宮代之役。現住（僧名不傳）。及中興開祖慶印上人。與上杉諸將戰而有功。是以慶長七年。護持權現神體。到仙臺。賜地移住焉。有中興開祖慶印上人之墓。今曰之行人塚。

湯殿山藥本寺。　在北六番町。眞言宗。龍寶寺末寺。傳云古來之寺也。不詳何時何人開山。尊雄法印中興。其年月不傳。後光明帝。

慶安元年七月。尊雄示寂。本尊湯殿山本地佛。弘法大師所造也。貞山君再興造營初。寄附廩米五口。其後公收廩米。寄附五十石之地。

兩部山大日寺覺性院。 同上。京都醍醐報恩院末寺。傳云國分彥九郎盛重之嫡男。玄性房實永法印中興開山。不詳其年月。寛永法印童名仁德丸。十三歲爲僧。其後住職于定禪寺。明正帝。寛永十九年。義山君時請之曰。古昔國分莊內有號覺性院寺。今荒廢。寞再興之。是以賜地于小田原邑。建寺。其後以造營東照宮時爲旅處。移于今地。寺內有明人王翼者之墓。又有號瀨互橋石橋。相傳上古往還之路也。

羽黑山西性院。 同上。眞言宗。龍寶寺末寺。傳云權大僧都弘賢開山。不詳年月。後光明帝。承應三年八月。弘賢示寂。今所在寂光寺中。羽黑權現社。貞山君自伊達郡移于此寺。其後遷于寂光寺。

故寺中今猶有其社。

寶龜山密乘院。 在舊寺小路。眞言宗。龍寶寺末寺。傳云本尊辨財天。春日作。本州三春城主田村大膳大夫清顯朝臣之夫人護持佛也。田村家喪地之後。夫人寄食當家。招號後快。俗建寺。不詳其年月。後水尾帝。元和九年正月廿一日。夫人掩化。號密乘院殿玉室性金大姉。寄附廩米二口。

普門山蓮花院觀音寺。 在西心町。眞言宗。千手院末寺。舊號自證庵。千手院之陳跡也。今上帝。明和中改號。

高福院。無山號。 在東六番町。眞言宗。龍寶寺門徒。不詳何時何人開基。

常光寺。無山號。 在少林。眞言宗。龍寶寺門徒。傳云往時羅回祿。舊記燒失。不詳何時何人開基。

觀瀧庵。無山號。 在大崎八幡市巷。眞言宗。龍寶寺門徒。不詳何時

何人開基。本尊千手觀音。弘法大師作。仙臺順禮三十三處。第二番之札處也。

龍華菴。無山號。　同上。龍寶寺門徒。不詳何時何人開基。本尊地藏菩薩。傳云千躰佛之其一也。舊文　按。貞山君實錄。記龍寶寺前住攝州大坂之役。修勝軍地藏之法。歸國之後。安置其本尊。與其所傳不合。以實錄爲正說。

無爲山東昌寺。　在北山。臨濟宗。城州東福寺末寺。當家第四世政依君之牌寺也。舊在伊達郡。乃君所建。而後伏見帝。正安中。城州東福寺正覺禪佛智禪師惠雲和尚開山。寄附三百石之地。塔頭六舍如左。　一風軒。　十四世直山君十三男。爲僧。諱康甫。號大有和尚。住持東昌寺。建一風軒。以爲退隱之處。寄附三十六石之地。　雲門庵。　東昌寺中興開祖韶陽和尚塔處。而後小松帝。明德四年十一月。韶陽示寂。寄附十二石餘之地。　護國院。

十三世香山君牌寺也。大有和尚開基。不詳年月。寄附十二石餘之地。　智松院。　直山君之牌寺。而大有和尚所建也。不詳年月。寄附三十石餘之地。　乾德院。　十五世保山君牌寺。而大有和尚所建也。不詳年月。寄附十八石餘之地。　正眼院。　義山君第一男虎千代君牌寺也。靈廟在東昌寺內。後水尾帝。寬永七年。好雪和尚開基。寄附廩米及金。

當午山滿勝寺。　同上。臨濟宗。城州東福寺末寺。當家大祖念西君之牌寺也。舊在伊達郡桑折驛邊。第四世政依君所建。而城州東福寺佛智禪師惠雲和尚開山。不詳其年月。後伏見帝。正安三年七月。佛智禪師示寂。今無寺。其地號滿勝寺邑。有靈廟。貞山君遷城之後。建寺于城北。寄附廩米五十俵及二十五石餘之地。寺庫藏賴朝卿靈牌。相傳大覺禪師筆蹟。而念西君平常所拜也。塔頭一舍如左。　持國院。　第二世道西君牌寺也。寄附廩米五石。

松蔭山光明寺。 同上。臨濟宗。城州東福寺末寺。當家大祖念西君夫人牌寺也。舊在伊達郡。而第四世政依君所建也。今無寺。其地號光明寺邑。靈廟亦當有。而今失其處。貞山公遷城之後。建寺于城北。寄附百二十七石之地。初在伊達郡時。有塔頭五舍。一曰少林院。二曰壽福院。三曰大悲院。四曰龍雲院。五曰紹妙院。今存二舍。如左。 妙法軒。 中御門帝。享保中。德雲和尙中興。 龍雲庵。 中御門帝。享保中。天養和尙中興。

遠山覺範寺。 同上。臨濟宗。城州妙心寺末寺。舊在羽州置賜郡長井莊夏刈邑。號慈雲山資福寺。宋永嘉郡人佛源禪師開山。十六世性山君所再造。而正親町帝。元龜三年壬申。自濃州請待虎哉和尙。爲中興開山。同年七月七日入院。後陽成帝。天正十九年辛卯。貞山君移玉造郡岩出山城。寺亦隨從。假改與國山天王寺。（在玉造郡上宮邑。臨濟宗松島瑞巖寺末寺也。）號遠山覺範寺。安置性山君靈牌。同帝。慶長五年庚子。君移仙臺城。賜今之愛宕山瑞願寺之地。而遷寺。其後移今地。是以以虎哉和尙爲覺範寺開山始祖。羽州資福寺舊址。有性山君靈廟。及殉死遠藤山城基信墳墓。寺內有性山君夫人保春院殿靈廟。其傍有高一丈三尺餘五輪塔。黒川郡吉岡天皇寺開基。貞山君第三男伊達河內宗淸石碑。及殉死七人之五輪塔。（大和田佐渡成清。沛川宇兵衛。中山右兵衛。佐伯左門。今野釆女。森右馬助。青木彦右衛門以上六人。諱不傳。）是皆仕宗淸者。爲僧住塔頭醫國院。祈宗淸冥福私建之云。寄附二百四十五石之地。有塔頭三舍。如左。 醫國院。 性山君殉死遠藤山城基信牌寺也。 保福菴。 同上。須田伯耆。（諱不傳。）牌寺也。今荒廢。 揮月菴。 同上。內馬場右衛門。（諱不傳。）牌寺也。今荒廢。

慈雲山資福寺。 同上。臨濟宗。城州妙心寺末寺。舊在羽州置賜郡長井莊夏刈邑。而宋永嘉郡人佛源禪師開山。不詳其年月。入日本名藍之中也。正親町帝。元龜三年壬申。性山君安置第三世

本明君所建之觀音三十三軀。並觀音寺殿光福寺殿本明君夫人靈牌。
請待濃州虎哉和尚。爲中興開祖。觀音像。其後罹火災。僅存中尊一軀。今在米澤城下福泉寺云。後陽成
帝。慶長五年。賜地於仙臺府下谷地小路。遷寺。其後移住于今地。
安置觀音寺殿光福寺殿靈牌。寄附八十七石之地。
正宗山瑞鳳寺。　在名取郡根岸邑。屬府內。臨濟宗。城州妙心寺
末寺。傳云此山舊盧空藏堂之地。而絶頂有遺址也。往古有滿海
上人者。一世之行人。而住此山。行法頗有靈驗。一世轉讀大般若。
及末期。埋其經於瑞鳳殿下之地。故呼此山曰般若經塚。今在瑞
鳳殿後石。所謂經之蓋石也。後水尾帝。寬永十三年。葬貞山君遺
骸于此山。移盧空藏堂于愛宕山。建寺以保春院佛慈道光禪師
清岳和尚爲開祖。有瑞鳳殿貞山君。感仙殿義山君。善應殿雄山君。三靈
廟。寄附百二十石之地。及靈廟供廩米四十五石。傍院一區。塔頭
六舍如左。　思敬菴。　中御門帝。正德二年。雄山君侍臣熊谷齋

直清。爲僧號蓀叟。祈君之冥福。是以獅山君建菴於瑞鳳寺內。賜
之。其子喜六郎直道請君。分五十石之地。寄附之。傍院而非塔頭
之列。　雄心院。　舊號妙音庵。開基僧名。年月共不傳。中御門帝。
享保七年。百川和尚安置獅山君第一男雄心院殿下五郎村匡。靈牌。改
號雄心院。以百川和尚爲中興開祖。寄附六石之地。　天桂院。
舊號慈眼菴。開基僧名。年月共不傳。櫻町帝。延享五年。瑞鳳寺第
九世大林和尚中興其荒敗。而安置忠山君第一男天桂院殿久米
之丞。幼稚米諱。靈牌。改號天桂院。故以大林和尚爲中興開祖。古來寄附
十六石之地。且寄附首天桂院殿。介弟介妹供養料金三百兩。
龍興院。　海岸和尚開基。不詳其年月。寄附十六石之地。　般若
院。　百川和尚開基。寄附十六石之地。　定光院。　開基僧名。年
月共不傳。寄附同上。　酬恩院。　開基僧名。年月共不傳。寄附同
上。

少林山保泰院。在二少林一。臨濟宗。城州妙心寺末寺。眞山君母公保泰院殿（羽州山形城主。最上修理大夫源義守朝臣之女。）牌寺也。後水尾帝。元和九年癸亥七月十七日逝。葬二遺骸于覺範寺一。別建レ寺。濟岳和尙開山。寄二附百八十石餘之地一。塔頭一區如レ左。

寶傳菴。　濟岳和尙開基。不レ詳二年月一。

惠照山定光寺。　在二北山一。臨濟宗。城州妙心寺末寺。靈元帝。寛文中。資福寺前住白堂和尙。請下行二義山君葬禮一之地上以建レ寺。號二惠日山東光寺一。此寺山號舊在二濃州一。而覺範寺開祖佛海慈雲禪師虎哉和尙。剃髮所住之地也。以二白堂乃虎哉法孫一故。虎哉和尙爲二開山始祖一。東山帝。元祿中。肯山君枉二駕于覺範寺一。時問二東光寺創建之事實一。覺範寺休巖和尙詳答レ之。君曰。濃州東光寺。雖二虎哉剃髮所住之地一。至レ今既及二荒廢一。是故准二虎哉塔所一。而可也。況於二東光寺之號一。第九世先君之法諡二乎。臨濟宗則用二寂光中之文字一。當レ改二號

惠照山定光寺。

金剛寶山輪王寺。　在二城北一。曹洞宗。越後州磐船郡小泉莊杜澤村耕雲寺末寺。傳云。當家十一世天海君。依二其祖母蘭庭明玉禪尼所願一。後花園帝。嘉吉元年辛酉。建二寺于伊達郡鍛川一。請二大菴和尙一爲二開山一。號二金剛寶山輪王寺一。將軍普廣院義教公。以二其外親一。奏二請之一。賜二宸筆額一。（其額往古燒亡）其後從二當家移居一。而移二轉于同郡西山一。及羽州米澤。本州會津等處々之地。至二後陽成帝一。天正之季。移二于玉造郡岩出山一。同帝。慶長七年。遷二于今地一。邦君寄二附百四十七石之地一。各存二其遺址一。米澤今有下號二輪王寺一精舍上。而與二當山一同二其祖牌一。東山帝。元祿四年辛未七月廿日。値二開基明玉禪尼二百五十年之遠忌一。肯山君新造二營佛殿。禪堂。客殿等一。附二益僧糧三十六石一。以贍二香積一。且襲二將軍家之台許一。乘受二永平寺並關東三寺之公帖一。肇レ自レ此。冬。每歲兩期結制。金剛寶山與二法幢一。

固約未來際。

微笑山江岩寺。　同上。曹洞宗。輪王寺末寺。後水尾帝。元和元年三月十八日。貞山君第八男竹松丸七歲。而夭於武州江府邸。葬于輪王寺。法謚江岩惠春。其後建寺。號微笑山江岩寺。輪王寺十世麟祥光全和尚開山。有靈牌及殉死二人姓名不傳惟存法號。牌。寄附九石餘之地。

通寶山永昌寺。　同上。曹洞宗。輪王寺末寺。傳云古來之寺也。不詳何時何人開山。後光明帝。承應中。輪王寺十三世角外麟恕和尚中興。寺內有保春院殿葬禮之時燒棺灰塚。故安置靈牌。

龍澤山雲和寺。　同上。曹洞宗。輪王寺末寺。承應中。角外麟恕和尚開山。

壺傳山秀林寺。　同上。曹洞宗。輪王寺末寺。承應三年甲午。角外麟恕和尚開山。

寶珠山齡德寺。　同上。曹洞宗。松音寺末寺。正親町帝。天正中。松音寺八世喜州全應和尚開山。舊在信夫郡佐原邑。行性山君葬禮於此寺。故建靈牌。貞山君遷封之後。住僧護靈牌。來于仙臺。建寺。性山君葬禮之灰塚。于今在佐原邑齡德寺云。

金鑿山龍雲院。　在北八番丁。曹洞宗。輪王寺末寺。後陽成帝。慶長十一年。輪王寺九世久山光天和尚開山。

流川山全玖院。　同上。曹洞宗。輪王寺末寺。後水尾帝。元和中。輪王寺十一世龜院膺鶴和尚開山。

松峯山高福寺。　在北九番丁。曹洞宗。輪王寺末寺。承應三年。角外麟恕和尚開山。

喜福山玄光菴。　在新日形町。八塚龍川院末寺。傳云正親町帝元龜三年。龍川院二世明屋和尚開山。同帝永祿八年。大檀越小林伊豆道春。寄進作佛釋迦本尊。[illegible]文按。小林伊豆不知何人。蓋

國分家臣平。

五峯山松音寺。　在連坊小路。曹洞宗。桃生郡深谷莊梅木邑統禪寺末寺。傳云舊在伊達郡松倉。後花園帝。寬正中。越後州村上耕雲寺四世瑚海忠珊和尚開山。後土御門帝。長享元年丁未九月。葬十二世瓊岩君。其後遷寺于伊具郡丸森。後柏原帝。永正十年。統禪寺四世全的闘乍和尚中興。寄附七十八石之地。後陽成帝。慶長中。遷于今地。有貞山君第五男伊達攝津宗綱靈廟。及殉死橋本三吉。諱不詳。墓塔頭一區如左。成就院。公族茂庭石見延元。嘗爲宗綱之傅。宗綱歿後不堪悲哀之情。登紀州高野山。爲僧號了誉。祈宗綱之冥福所建也。

福現山保壽寺。　同上。曹洞宗。國分莊七北田邑洞雲寺末寺。傳云國分家十一世修理亮平盛行開基。而實底和尚開山。不詳其年月。後土御門帝。應仁元年八月。實底示寂。同帝。明應二年十二

月。盛行卒。號保壽寺殿。其餘有能登守宗政及夫人。參河守盛重及夫人之靈牌。

金秀山瑞雲寺。　同上。曹洞宗。羽州置賜郡屋代鄉朝川邑瑞雲院末寺。傳云後花園帝。文安元年。闘應良玖和尚開山。舊在羽州朝川邑。號瑞巖寺。貞山君移玉造郡岩手山城時。第八世虎山守龍和尚扈從。其後賜地建寺。以與松島瑞巖寺同號。改號瑞雲寺。

角島山龍興院。　同上。曹洞宗。松音寺末寺。正親町帝。天正元年。天岩正膳和尚開山。

天苗山皎林寺。　在荒町市店後。曹洞宗。名取郡吉田邑秀麓齋末寺。傳云後水尾帝。慶長十八年。密州祖芳和尚開山。寺內有井。古來呼之。曰弘法水。井中有長一尺許。濶五寸許石。號弘法石。雖大旱。水不涸。揚其石。則水不滿。故常入井中不揚之。

奕葉山昌傳菴。　同上。曹洞宗。初越前州蓮浦大藝寺末寺也。大

藝寺荒廢。故爲大藝寺本山。羽州米澤瑞龍院末寺。傳云。舊在米澤。而十三世香山君第三男久松丸牌寺也。後柏原帝。永正二年乙丑三月十六日。久松丸六歲而夭。翌年建寺。號昌傳菴。喜山高悅和尙開山。寄附二十七石之地。後陽成帝。天正季。移于玉造郡岩出山。同帝。慶長初。移于今地。其舊址今在米澤。而號昌傳菴。

三陽山泰心院。在南鍛冶町市店後。曹洞宗。輪王寺末寺。當家十四世直山君夫人台心院殿（淡名遠江守平盛高女。）之牌寺也。正親町帝永祿十年二月十一日。夫人逝。其後建寺。輪王寺五世佛頂直光禪師源菴和尙開山。不詳其年月。舊在米澤。後陽成帝。天正季。遷于玉造郡岩出山。罹回祿。荒蕪殆十餘年。同帝慶長七年。貞山君遷于仙臺城之後。同十二年。再造于今地。翌年之夏枉駕。命曰台心字若誤連書。則爲怠字。甚不可也。嘗以泰字換之。爾來作泰心院。寄附八十四石之地。靈元帝天和中。准加州大乘寺之法式。爲與

州最初叢林。

耕德山栽松院。在八塚。曹洞宗。松音寺末寺。十五世保山君夫人栽松院殿（盤城左京大夫平重隆女。）牌寺也。保山君卒後夫人移住于信夫郡杉目城。後陽成帝。天正季。貞山君移于玉造郡岩出山城。時移住于宮城郡國分莊根白石邑。同帝。文祿三年甲午六月九日逝。葬于根白石邑。建寺。號琥珀山寶積寺。其後別建寺於今地。因夫人葬送之導師。以松音寺五世台屋怒三和尙。爲開山祖。安靈牌。寄附六十石之地。

圓通山龍川院。同上。曹洞宗。根岸邑宮澤宗禪寺末寺。傳云宗禪寺五世融室闕祝和尙開山。不詳其年月。後柏原帝。大永三年九月十八日。融室示寂。此寺舊在河內二九大門下。後陽成帝。慶長初。遷于今地。松木番處之松樹乃丘木也。中御門帝。享保初。古來之松枯。今存者所新植也。

喜雲山光壽院。同上。曹洞宗。輪王寺末寺。舊在信夫郡杉目。而號慶正院。靈巖和尚開山。不詳其年月。保山君夫人栽松院殿所創建也。後陽成帝。天正季。貞山君移于玉造郡岩出山城時。第四世文綴和尚。移住于名取郡増田邑。貞山君放鷹時枉駕。問寺院由來。寄附三石之地。其後遷寺于今地。改號光壽院。

昌巖山林松院。同上。曹洞宗。松音寺末寺。傳云松音寺七世靈堂文徹和尚開山。不詳其年月。後水尾帝。元和五年五月朔日。文徹示寂。

森城山大林寺。同上。曹洞宗。輪王寺末寺。傳云舊在羽州米澤舘貝邑。後奈良帝。弘治中。輪王寺五世源茬守眞和尚開山。貞山君移于玉造郡岩出山城時。恩從移寺。開祖源茬和尚。爲直山君夫人泰心院殿之導師。故安置其靈牌。寺內有古塚。所謂八塚之其一也。寄附十九石餘之地。

稻荷山妙心院。同上。曹洞宗。松音寺末寺。正親町帝。天正中。松音寺七世靈堂文徹和尚開山。貞山君爲乳母妙心院建寺。寺內有古塚。所謂八塚之其一也。

浮柳山洞林寺。同上。曹洞宗。妙心院末寺。後光明帝。承應二年四月。生室長寅和尚開山。

清涼山西福寺。同上。曹洞宗。輪王寺末寺。輪王寺九世久山光天和尚開山。不詳其年月。後陽成帝。慶長十二年四月。久山示寂。

永福山東秀院。同上。曹洞宗。刈田郡平澤邑保昌寺末寺。傳云後水尾帝。寛永中。喜山悅和尚開山。舊在谷地小路東。號車地藏。地門前有車地藏。移寺于今地時。車地藏亦共移之。至今舊地稱車地藏。

繁盛山長泉寺。同上。曹洞宗。松音寺末寺。傳云松音寺第五世台屋怒三和尚開山。不詳其年月。後陽成帝。慶長五年正月。怒三

示寂。寺內有古塚。所謂八塚之其一也。

天總山林香院。　同上。曹洞宗。岩城宮岡龍泰寺末寺。傳云後陽成帝。天正中。龍泰寺五世即翁長磬和尚開山。

五燈山松山寺。　在天神下。曹洞宗。須賀川長錄寺末寺。後水尾帝。慶長十八年。文洲和尚開山。舊在越路鹿落坂上。櫻町帝。元文元年。公收舊地。換賜今地。

松風山金勝寺。　同上。曹洞宗。瑞雲寺末寺。傳云後柏原帝。永正元年五月。中岳泉波和尚開山。舊在南町。後遷于今地。寺內有北條氏直子北條善右衛門氏次入道安清墓。記曰。寬文十二壬子歲閏六月四日。八十八歲卒。

龍泰山大安寺。　在石名坂。曹洞宗。名取郡根岸邑瀧澤寺末寺。後水尾帝。寬永元年三月。瀧澤寺第六世融山實祝和尚開山。今上帝。明和四年。現住牧山和尚。納金公府。賜廩米三口。

滿谷山圓福寺。　同上。曹洞宗。名取郡根岸邑瀧澤寺末寺。其先不詳何時何人開山。正親町帝。天正中。瀧澤寺五世彝發和尚中興。本尊聖觀音。傳云聖德太子所造。而田村將軍利仁朝臣侍妾還玉護持之佛也。寺內有沼。相傳往古沈蹴釜之神釜于茲。名跡志曰。石名坂有寺。曰滿谷山圓滿寺。是田村麻呂東征之間。以宮城廳還玉子備側室。平日愛護觀音。後人建閣而藏之。今文按。寺僧所傳。爲利仁朝臣。名跡志爲田村麻呂。二說不同。稱說曰。田村麻呂。乃利仁朝臣之子。而還玉之所生也。不知孰是。姑記異說備參考。寄附三石餘之地。

青龍山宗禪寺。　在名取郡根岸邑宮澤。屬府內。曹洞宗。本郡七北田邑洞雲寺末寺。傳云後花園帝。文安四年。粟野遠江守闕諱。不開基。而梅國祥三和尚開山。

法輪山長德寺。　在名取郡根岸邑越路。屬府內。曹洞宗。松山寺。

末寺。後水尾帝。寛永元年。文廓和尚開山。舊在瑞鳳寺下馬之地。造營貞山君靈廟時。換賜今地。後西帝。万治元年八月五日。爲義山君花見圓阿彌殉死於此寺。爾來以圓阿彌爲開基。有塚稱圓阿彌塚。其地崩壞。今無其塚。

經部山大藏寺。　同上。曹洞宗。昌傳菴末寺。傳云此地古來稱梅森。寺內有老梅樹。後陽成帝。慶長二年。昌傳菴十世嶽翁宗悅和尚開山。有觀音堂。本尊正觀音。慈覺所造。而稱滿海上人護持佛。仙臺順禮三十三處。第三十三番之札處也。舊在城林中號黑沼地。慶長五年。貞山君築城。是以移于瑞鳳殿之地。後水尾帝。寛永十三年。造營瑞鳳殿。故又移于感仙殿之地。後西帝。万治元年。造營感仙殿。是以又移于今地。中御門帝。正德中。肯山君祈雄山君之冥福。遺命讀誦普門品三十三萬卷。三年而終功。

臨空藏山大滿寺。　同上。曹洞宗。龍川院末寺。傳云往古臨空藏

堂千躰佛共在城地。中古荒廢無住。而千躰佛亦散失。正親町帝。天正元年。龍川院三世量山和尚。再造臨空藏堂。而中興大滿寺。後陽成帝。慶長初。貞山君經營城地。時遷堂及寺於經ヶ峯。瑞鳳寺地。造營本堂。拜殿。鐘樓。及寺。寄附三十六石餘之地。後西帝。万治二年。感仙殿義山君靈廟。造營時。再遷于愛宕山西。造營如舊。

大藏山松源寺。　在米ヶ袋。曹洞宗。輪王寺末寺。傳云舊在本州白河郡。而白河家牌寺也。後柏原帝。永正十八年辛巳三月此年改元大永。輪王寺四世大光元可和尚開山。後陽成帝。天正季。大閤秀吉公。沒收白河家領地。是以白河七郞義親後號說齋。不寄食當家。而在仙臺。松源寺亦從來。賜地遷寺。有義親子宮內大輔義綱之墓。

光明山孝勝寺。　在城東。日蓮宗。甲州身延山久遠寺末寺。伏見帝。正應中。日進上人法嗣一乘阿闍梨日門上人開山。有義山君夫人孝勝寺殿大樹秀忠公養女。池田輝政朝臣女。肯山君母公淨眼院殿三澤清長女。佐肯山

君介妹秘密院殿(立花彈正貞晟室。號絶。)貞常全院殿(公族中村日向成義室。)靈廟。寄附二百三十石之地。靈廟供廩米二十石。子院五區如左。　妙音院。　孝勝寺三世日正上人開基。不詳其年月。　法輪院。　孝勝寺中興日達上人開基。同上。　遊香院。　孝勝寺十六世日春上人開基。同上。　華香院。　孝勝寺十七世日玄上人開基。同上。　經王院。

孝勝寺十八世日逕上人開基。同上。

法龍山佛眼寺。　在荒町市店後。日蓮宗。京都佛眼寺末寺。傳云日爲上人開山。不詳其年月。至常住二十六世也。舊在伊達郡。貞山君移于玉造郡岩出山城時。屈從住于號蛭川地。其後遷于今地。寄附二十五石餘之地。

廣潤山法逕寺(逕寺作運。以義山君之命作逕。)　在通坊小路。日蓮宗。甲州天野本遠寺末寺。傳云日遠上人開山。不詳其年月。其後日悟上人中興。日悟者。青木仲五郎友重弟也。貞山君卒時。友重殉死。無嗣。義山君

命日悟繼其家。日悟固辭曰。當此時也俗亦當爲僧之秋也。還俗繼其家者。非臣之志也。是以使他親族繼其家。賜日悟以百五十石地。日悟乃以其賦稅再興精舍。其後請以三十石之地永爲寺之寄附。公收其餘百二十石之地。如請寄附三十石之地。其餘公收之。日悟生涯別賜五十石之地。

上方山日淨寺。　在城北。日蓮宗。京都要法寺末寺。日行上人開山。不詳其年月。瀬上丹後〇郎。(〇不)創建。舊佛眼寺末寺也。靈元帝。延寶中。爲要法寺末寺。

眺海山康國寺仙岳院。　在小田原。天台宗。日光御門主末寺。東照宮別當。後光明帝。承應三年。晃海僧正開山。寄附百八十石之地。八靈牌供廩米百二十石。傍院四區如左。　寶藏院。　承應三年。亮存法印開基。寄附三十五石之地。　成就院。　同年。文啓法印開基。寄附同上。　延壽院。　同年。眞達法印開基。寄附同上。

青祥院。 旅宮寺護。同年創建。開基僧名不傳。寄附廩米七石。
成就山滿願寺。 在舊寺小路。天台宗。東叡山末寺。傳云舊在本州白河關。聖武帝。天平中。爲東夷靜謐祈願建寺。安置光明皇后護持佛閻浮檀金聖觀音。行基菩薩開山也。當家先君世崇敬之。寄附神馬黄金等。白河家喪地之後。後陽成帝。天正季。前往慶重法印。護持本尊。到玉造郡岩出山。貞山君假設堂安置之。同帝。慶長初。移于仙臺城時。擇其地於州城之艮隅。創建閣。明神社及觀音堂。而移寺爲祈願處。寄附三十六石餘之地。傍院一區如左。
慈音院。 號惠往僧開基。與滿願寺同時建之。
地耀山延命院光圓寺。 同上。天台宗。東叡山末寺。寶永法印開山。不詳其年月。貞山君寄附智證大師所造不動。二童子及短刀。有平日祈禱。且當每歲登湯殿山代拜之命。至今每歲登山代拜。然貧寺而不能登山。桃園帝。寬延三年。愁訴請之。忠山君寄附廩

米五口。
慶永山安樂寺。 同上。天台宗。東叡山末寺。東山帝。寶永中。仙臺府内兩度大火。實記燒失。不詳何時何人開山。
日想山等覺院。 同上。天台宗。仙岳院末寺。東山帝。寶永之大火。實記燒失。不詳何時何人開山。
愛岩山普願寺。 在名取郡根岸邑。屬府内。天台宗。東叡山末寺。舊在羽州米澤。不詳何時何人開山。正親町帝。永祿中。尊勝法印中興。貞山君移于玉造郡岩出山城時從來。詳于愛宕社條下。寄附二十七石餘之地。
鏡池山本明院光禪寺。 在北二番町。天台宗。仙岳院末寺。傳云齊衡帝。天安中。慈覺大師留錫于宮城郡國分莊青葉山鏡池邊。自造千躰地藏尊。建一宇。號鏡池山本明院光禪寺。後讓弟子覺山。歷年之久。荒廢惟存其址。後陽成帝。慶長中。貞山君經營城地。

時。賜今地移住焉。東山帝。元祿中。前住悠眞。榮大明院一品法親王嚴命。爲仙岳院末寺。

地慶山不動院圓德寺。　在中島町南五十人町。天台宗。光圓寺末寺。傳云。舊在伊達郡。後小松帝。明德元年。惠親法師開山。當家旗下歩卒祈願處也。貞山君遷于玉造郡岩出山及仙臺城時。各扈從云。

眞護山宗海寺除與院。　在田町市店。天台宗。光圓寺末寺。不詳何時何人開山。

照寶山圓妙院證安寺。　在北六番町。天台宗。誓願寺末寺。誓願寺三世日嚴法印開山。不詳其年月。

秡山神宮寺。　荒牧邑神明宮別當。屬府内。天台宗。誓願寺末寺。貞山君之世。妙海法印開山。不詳其年月。

兩足山大年寺。　在名取郡根岸邑茂ケ崎。屬府内。臨濟黄檗宗。城

州宇治万福寺末寺。東山帝。元祿八年十一月二十四日。肯山君手自把鍬（其始穿地處。今栽松爲記。）開地於城南茂崎山。而移本州宮城郡少林廢寺小遂山仙英寺遺址。建寺。改號兩足山大年寺。同十年孟春。請下總州牛島弘福寺普應禪師鐵牛和尙。以爲開山始祖。呼北日般若峯。號南日禪那嶺。有肯山君。獅山君。同夫人長松院殿（久我内府通誠公女。久我中納言通名卿女。）忠山君。同夫人雲松院殿（公方有徳院殿養女。紀伊大納言宗直卿女。）五靈廟。寄附二百石之地及禪堂僧糧廩米百斛。五靈廟供廩米七十五石。祠堂金若干。塔頭靈廟守護開山堂凡十七區。　大幻菴。　肯山君靈廟守護。中御門帝。享保四年己亥創建。寺内塔頭巡察僧輪番。寄附廩米五十石。　壽仙院。　忠山君。雲松院殿靈廟守護。櫻町帝。延享四年丁卯創建。大年寺前住德巖和尙開基。寄附十五石之地。　少林院。　開山堂。　東山帝。元祿十六年癸未創建。有藥師佛。此本尊。舊少林小遂山仙英寺本尊。而安置于此。寄

附五十石之地一。 心定院。 櫻町帝。延享四年丁卯創建。大年寺前住仙岩和尙開基。安二置獅山君第二女心定院殿靈牌一。寄二附二十石之地及祠堂金若干一。 松濤院。 中御門帝。享保三年戊戌九月創建。香國和尙開基。寄二附祠堂金若干一。 大千院。 享保四年己亥五月創建。泰嶺和尙開基。寄二附三十石之地一。 活龍院。 享保三年戊戌三月創建。慧林和尙開基。寄二附十五石之地一。 四天王院。 享保九年甲辰三月創建。高泉和尙開基。寄附同レ上。 勝福院。 東山帝。寶永四年七月創建。千呆和尙開基。寄附同レ上。 玉笛院。 東山帝。元祿十七年甲申 此年改元寶永 正月創建。鳳山和尙開基。寄附同レ上。 頂王院。 東山帝。寶永元年甲申二月創建。月耕和尙開基。寄附同レ上。 探月院。 寶永元年甲申十二月創建。鳳山和尙開基。寄附同レ上。 西來院。 中御門帝。正德元年庚寅五月創建。泰宗和尙開基。寄附同レ上。 曇華院。 不レ詳二何時創

建一。石門和尙開基。寄附同レ上。 德本院。 東山帝。元祿十五年創建。斷崖和尙開基。寄附同レ上。 普門院。 元祿十年創建。海音和尙開基。寄附同レ上。 天遊院。 中御門帝。享保中創建。璞宗和尙開基。寄附同レ上。

開元山万壽寺。 在二本郡小田原邑高松一。屬二府內一。臨濟黃蘗宗。城州宇治万福寺末寺。東山帝。元祿十年丁丑九月。移二加美郡黑澤邑慶寺黑澤山安養寺遺址一。建レ寺。安二置安養寺本尊虛空藏像一。以二月畔和尙一爲二開山一。有二背山君夫人万壽寺殿 稻葉丹後守侍從越智正則朝臣女。 靈廟及桂山君 背山君第一男 靈牌一。門前有二老松一。土人呼レ之。曰二高松一。和傳婦人之墓松也。寄二附百石之地及靈廟供膳米十石一。塔頭凡十區如レ左。

三昧院。 開山月畔和尙塔處。國主和尙開基。不レ詳二年月一。櫻町帝。延享二年。寄二附貢田 使二人佃一レ之。收二其貢一於二公府一。以二其所一レ餘爲二院資一。下同。 二十石之地一。 靈松院。 泰嶺和尙開基。不レ詳二年月一。延享二年。寄二附貢田十石之地一。 大

珠院。附主和尚開基。不詳年月。寄附同上。　吟松院。　吟松和尚開基。不詳年月。寄附同上。　韶陽院。　無底和尚開基。不詳年月。寄附同上。　甘露院。　梅仙和尚開基。不詳年月。寄附同上。

慈照院。　泰觀和尚開基。不詳年月。寄附同上。　棲雲院。　璞宗和尚開基。不詳年月。寄附同上。今荒廢。　大通院。　開基僧名。年月共不詳。寄附同上。　三毬院。　鷲店和尚開基。不詳年月。

得生山西道院善導寺。　在城東。淨土宗。磐城專稱寺末寺。傳云。正親町帝。天正五年。當家十五世保山君卒後。侍臣横塚綱殿助脩○。不者。爲僧號西蓮。回國修行。結菴于羽州米澤道池傍。號西蓮院。以祈保山君之冥福。後陽成帝。天正季。遷于玉造郡岩出山。慶長中。移于仙臺大町末。其後遷于今地。二世分波和尚。請寺號於本山。號善導寺。明正帝。寛永十九年二月。菲義山君側室。雄山君因母得生院殿。梅領贈左大臣陸致公季女。　其後號得生山。本尊阿彌陀。保山君護持佛。而貞山君所賜西道也。故以西道爲開山祖。有得生院殿靈廟。寄附七十石之地。靈元帝。寛文六年。有命剏建塔頭三舍。如左。　歡喜院。　寛文六年。故信和尚開基。今無住。　信安院。同上。　芳樹軒。　同上。今荒廢。

十劫山大乘院成覺寺。　在八塚。淨土宗。磐城成德寺末寺。傳云。舊在伊達郡。而成阿和尚開山。不詳其年月。後柏原帝。大永中。住阿和尚移住于羽州米澤。正親町帝。天正中。良能正發和尚。後改名呑茶。奥州岩城檜葉之底猪狩氏子。智道兼備。一宗無雙之名僧。而中興之。從貞山君。移于玉造郡岩出山。後陽成帝。慶長五年。賜今地而建寺以移住焉。仙臺府下大町市人。只野利右衛門先祖。施主而造營之。利右衛門者。羽州米澤當家累世之市人也。古來寺內有曼陀羅堂。東山帝。寶永中。仙臺府下大火延燒。今存其遺址。此曼陀羅。天下無二之靈寶。而淨土宗三曼陀羅之中第三聖圖也。一條帝。正

居中。和州南都超勝寺住僧滿海法師。欲レ書二寫同州當麻寺之曼陀羅一。志願已久。貧僧無レ資不レ果。欲レ乞二其資一赴二于城州一到二木幡山一。逢二一婦人一。彼婦問曰。沙門何之。滿海答以二其志願一。婦曰。我幸善工也。今夜之間。書二寫其曼陀羅一。以使二和尚遂一其志願一。當レ待二此松樹下一。乃去。其夜過二五更一。彼婦書二寫曼陀羅一來。授二滿海一曰。我實清水觀音也。忽失二其所在一。故世稱二清水觀音正筆之曼陀羅一。爾來五百七十餘年。爲二超勝寺本尊一。正親町帝。天正中。井上若州亂二行于大和國一。罹二兵燹一。超勝寺堂宇。悉爲二灰燼一。曼陀羅自二火中一飛去。入二南都一乘院門徒高天法眼靜貞之室一。其後流二傳于京都二條高倉爾祐善西家一。後水尾帝。寬永七年三月十五日夜。鹽釜大明神。化二老翁一來二于善西家一。請レ納二彼曼陀羅於奥州仙臺八塚成覺寺一。不レ能レ背二神命一。適齋來納レ之云。桑文按。怪異妄誕之說。淨居之徒所レ盲。往々如レ此。不レ足レ信用。姑記二寺僧之所一レ傳也。

五劫山悟眞寺恩鈍院。 同レ上。淨土宗。岩城檜葉邑成德寺末寺。傳云。後陽成帝。慶長七年八月。良能上人吞茶和尚開山。吞茶和尚者。成覺寺中興開祖。詳二于成覺寺條下一。而慶長六年。移二住于本山成德寺一。貞山君召レ之。同七年。歸二于仙臺一。賜二方百間之地于八塚一建レ寺。貞山君爲二信之一。恩遇尤深。寺內有二古塚一。所謂八塚之其一也。塔頭二舍如レ左。

常照院。 後水尾帝元和五年。吞茶和尚開基。

良經院。 靈元帝。延寶五年。恩鈍院三世寶殘和尚開基。今荒廢。

弘誓山龍宅院正雲寺。 同レ上。淨土宗。岩城專稱寺末寺。後陽成帝。慶長十五年。淨蓮社良與上人傳佐和尚開山。而青山出雲勝定開基也。

眞成山報恩寺。 同レ上。淨土宗。下野州大澤邑圓通寺末寺。號二良進一。僧開山。不レ詳二其年月一。後西帝。万治二年。良進示寂。

光明山遍照寺。 同レ上。淨土宗。岩城專稱寺末寺。後水尾帝。寬永

中。真心和尚開山。

本願山生因寺。　同ㇾ上。淨土宗。愚鈍院末寺。後水尾帝。寛永十三年。厭蓮社真欣發雲和尚開山。

成就山莊嚴院大德寺。　同ㇾ上。淨土宗。岩城成德寺末寺。後陽成帝。慶長中。真果上人開山。

無量山壽經院圓德寺。　同ㇾ上。淨土宗。成覺寺末寺。後陽成帝。慶長中。真法上人開山。

慈光山觀照院慈恩寺。　在二天神下一。淨土宗。愚鈍院末寺。後陽成帝。慶長中。真嚴上人開山。

正定山具足院願行寺。　同ㇾ上。淨土宗。正雲寺末寺。後陽成帝。慶長中。真故圓問和尚開山。初號二淨光寺一。避二青山君夫人之法諱一。改ㇾ號。第十世真乘和尚開二設常念佛一。

正定山隨願院久近寺。　同ㇾ上。淨土宗。岩城專稱寺末寺。後陽成

帝。慶長中。真滿上人開山。

一向山常念寺。　在二荒町市店後一。淨土宗。關東大澤圓通寺末寺。後水尾帝。寛永二年。久也和尚開山。靈元帝。延寶三年。真讃上人中興。開二設常念佛一。

無緣山法圓寺。　同ㇾ上。淨土宗。成覺寺末寺。後水尾帝。寛永中。三蓮社真緣和尚開山。

功德山仰信院。　在二石名坂一。淨土宗。善導寺末寺。不ㇾ詳二何時何人開山一。後水尾帝寛永初。善導寺第七世真譽上人中興。爲二退隱之寺一。初號二崇源院一。避二將軍家法諱一。改ㇾ號。

若蓮山常林寺。　在二少林一。淨土宗。莊嚴寺末寺。本譽上人開山。不ㇾ詳二其年月一。

寶嶺山充國寺。　在二北山一。淨土宗。成覺寺末寺。後水尾帝。寛永元年。到蓮社真濟上人開山。

增上山大願寺。同上。淨土宗。岩城山崎専稱寺末寺。後陽成帝。
慶長八年。實蓮社良盛上人格外和尚開山。此地行貞山君葬禮
式之地。而有焚瘞柩灰塚。
深妙山入玄院。同上。淨土宗。大願寺末寺。後水尾帝。寛永十五
年。觀蓮社良經上人鈍山和尚開山。
井光山來迎院寶泉寺。同上。淨土宗。岩城山崎専稱寺末寺。後
陽成帝。慶長八年。南蓮社良哲上人開山。
大鶴山昌繁寺。同上。淨土宗。岩城専稱寺末寺。後陽成帝。慶長
●六年。專蓮社良傳上人發炎和尚開山。
遍照山専光寺。同上。淨土宗。充國寺末寺。後光明帝。承應中。心
蓮社愚登上人發山和尚開山。
功德山成就院莊嚴寺。同上。淨土宗。岩城楢葉成德寺末寺。存
蓮社良把上人開山。不詳其年月。後水尾帝。寛永十七年。良把示

寂。
一念山稱安寺。同上。淨土宗。岩城山崎専稱寺末寺。後水尾帝。
元和二年。定蓮社良惠上人歷含和尚開山。
波佛山安樂寺。同上。淨土宗。岩城山崎専稱寺末寺。後水尾帝。
●寛永十六年。定蓮社良惠上人歷含和尚開山。
光明山實相院。同上。淨土宗。莊嚴寺末寺。櫻町帝。元文五年二
月十五日。罹回祿。舊記實錄悉爲烏有。不詳何時何人開山。
龜鏡山正圓寺。同上。淨土宗。岩城山崎専稱寺末寺。後水尾帝。
寛永九年。專蓮社良傳上人發炎和尚開山。
無量山智經院。同上。淨土宗。大願寺末寺。後水尾帝。寛永十五
年。三蓮社良緣上人開山。
莊嚴山寶林寺。同上。淨土宗。大願寺末寺。後水尾帝。寛永十五
年。寶蓮社林譽上人圓的和尚開山。

圓光山大法寺。同上。淨土宗。下野州大澤圓通寺末寺。後陽成帝。慶長十三年。圓通社良通上人開山。初在大町市店之末巷。罹回祿而荒廢。今其址爲市店。後西帝。万治三年。請行義山君非禮式之地。再興之云。

紫雲山來迎寺。在城北五十人町。淨土宗。昌繁寺末寺。後水尾帝。寛永十七年。相蓮社頓譽圓臨和尙開山。

北原山正樂寺。在八塚。淨土眞宗。京都東本願寺末寺。傳云佐藤眞玄者。爲僧號眞源房。結庵于名取郡笠島邑而居之。故以眞源房爲開山祖。第二世福壽坊。住于玉造郡岩出山。第三世明慶法印。移住于名取郡日邊邑北原。此時貞山君爲封內一宗之宗寺。號正樂寺。寄附所在磐井郡平泉之鐘銘。削舊銘而記新銘。其後移寺于今地。塔頭四區如左。　寂靜寺。　靈元帝。延寶七年。號林加僧開基。　西照寺。　號教存僧開基。不詳其年月。　應瑞寺。

靈元帝。天和二年。號宗玄僧開基。　常玄坊。　同帝。貞享元年。號惠應僧開基。

眞照山榮明寺。　同上。淨土眞宗。京都東本願寺末寺。後水尾帝寛永二年。淨穩和尙開山。

佛光山見瑞寺。　同上。淨土眞宗。京都東本願寺末寺。正親町帝。天正中。乘西和尙開山。舊在本郡松森邑。第三世念西移于今地。

勝光山德泉寺。　同上。淨土眞宗。京都東本願寺末寺。後水尾帝。寛永中。號宗圓僧開山。

唱名山道仁寺。　同上。淨土眞宗。京都東本願寺末寺。後陽成帝。慶長中。號淨稱僧開山。

佛法山東漸寺。　在南鍛冶町。淨土眞宗。京都東本願寺末寺。後陽成帝。慶長季。本西法師開山。本西者。最上出羽守義光世臣。藤原秀鄉之後裔。那波將監氏揔子。而稱三郎四郎。直廣。慶長五年

九月。上杉景勝使二其臣直江山城守兼續攻一最上一。此時氏經戰二死于上山城一。氏經死後。直廣爲レ僧。號二本西一。來二居于宮城郡利府北方森ノ鄉一。後移二住于同郡霞ノ目邑一。慶長季。貞山君賜二地於同郡少ガ林少森一。（今爲二市店一。所謂鍛冶町是也。）建レ寺。塔頭三區如レ左。

欽正寺。　靈元帝。貞享三年。號二敬念一。僧開基。

本壽坊。　貞享四年。號二淨林一。僧開基。

圓乘坊。　同年。號二宗玄一。僧開基。

若林山淨澤寺。　在二染師町一。淨土眞宗。東漸寺末寺。號二玄清一。僧開山。不レ詳二其年月一。

法水山冷源寺。　在二少林成田町一。淨土眞宗。京都東本願寺末寺。傳云阿部左京（諱不レ傳。）者。爲レ僧號二圓意一。後水尾帝。寛永八年開山。

橘昌山稱念寺。　在二城北一。淨土眞宗。京都西本願寺末寺。傳云順德帝。建保二年。法祖親鸞上人第十一法嗣無爲子開山。無爲子者。本州會津之產。橘姓。杉岡氏。始見二親鸞上人於常州一。而爲レ僧。其後建二寺于會津一而居焉。後陽成帝。天正季。貞山君移二于玉造郡岩出山一。時從レ之。同帝。慶長中。亦從レ君到二仙臺一。賜レ地建レ寺。塔頭一區如レ左。

超光寺。　後奈良帝。天文八年。號二道珍一。僧開山。道珍者。能州之產。爲二稱念寺八世無爲明法嗣一。開基。

稱揚山稱擧寺。　同レ上。淨土眞宗。京都西本願寺末寺。傳云舊在二米澤一。正親町帝。天正八年。號二圓知一。僧開山。其後從二貞山君一。移二住于處々一。後陽成帝。慶長中。到二仙臺一。同居二于稱念寺一。義山君賜レ地建レ寺。

宿緣山思慶寺。　同レ上。淨土眞宗。京都西本願寺末寺。後陽成帝。慶長十二年。號二教順一。僧開山。爾來處々移住。後西帝。寛文元年。移二于今地一。

遠慶山宿緣寺。　同レ上。淨土眞宗。東漸寺末寺。正親町帝。天正中開山。僧名不レ傳。後西帝。万治三年。賜下行二義山君葬禮式一之地上。教西法師中興建レ寺。

清凉山林宅寺。在北六番町。淨土眞宗。京都東本願寺末寺。後奈良帝。天文中。號妙圓。僧開基。而初卷地也。靈元帝。天和二年。六世圓超受本山之許命。號清凉山林宅寺。

法王山正覺院阿彌陀寺。在八塚。時宗。相州藤澤清淨光寺末寺。傳云後宇多帝。建治三年。遊行元祖一遍上人。到奥州時。當家第四世願西君。歸依上人。建寺。以上人為開山祖。十七世貞山君。移住于玉造郡岩出山及仙臺時扈從。寄附二十四石餘之地。本尊阿彌陀。跌下鐫承久三年二月日僧宗實十字。安阿彌所造。而十四世直山君第六男四郎。為公族桑折播磨守貞長嗣。而夭。君新其冥福。納此像云。寺内有觀音堂。詳于佛宇條下。

廣澤山無量院眞福寺。在土樋。時宗。相州藤澤清淨光寺末寺。傳云後醍醐帝。嘉曆元年。清淨光寺五世安國上人。建寺於登米郡為西家城下。號廣澤山無量院眞福寺。以安國上人為開祖。為

西家亡滅之後。寺亦荒廢。廿八世覺惠到玉造郡岩出山。愁訴之。是以貞山君賜地建寺。君遷于仙臺城時。賜今地以建寺。寄附百二十石之地。

慈雲山新泉坊眞覺院。修驗。京都聖護院門主末寺。當家累世新願處。而每歲登和州吉野山而修法。賜二百石之地。號其所居。曰眞覺。卷傍院六區如左。寶道院。賜十石之地。正輪院。同上。善行院。同上。圓教院。同上。福壽院。同上。月藏院。同上。

市鄽凡二十五。

大町。宅地凡百四十九（横各六間。長二十五間。下皆同。）市人凡二千四百四十一口。（男千五百八十五口。女八百五十六口。）肴町。宅地凡八十二。市人凡千二百八十五口。（男七百十一口。女五百七十四口。）南町。附東地藏街。・宅地凡八十一。市人凡九百三十五口。（男五百五十九口。女三百七十六口。）立町。附中瀬橋東中坂。宅地凡九十

八。市人凡千二百十九口。男六百八十四口。女五百三十五口。　柳町。　宅地凡四十六。市人凡六百八十七口。男四百八口。女二百七十九口。　荒町。　宅地凡九十二。市人凡千百三十三口。男六百十五口。女五百十八口。　國分町。　宅地凡百十三。市人凡千六百七十二口。男九百七十五口。女六百九十七口。馬三十九疋。驛也。北目町。北材木町。新傳馬町。分一月四。出驛馬。　舊材木町。　宅地凡四十八。市人凡六百七十五口。男三百九十四口。女二百八十一口。　北材木町。　宅地凡八十二。市人凡千七口。男六百十六口。女三百九十一口。馬十三疋。驛也。　北目町。　宅地凡六十二。市人凡七百九十三口。男四百七十口。女三百二十三口。馬十四疋。驛也。　二日町。　宅地凡六十八。市人凡九百二十六口。男五百四十七口。女三百七十九口。　兩染師町。　宅地凡八十六。南染師町五十三。北染師町三十三。市人凡七百四口。男四百口。女三百四口。　田町。　宅地凡四十八。市人凡四百八十三口。男二百六十一口。女二百二十二口。　新傳馬町。或曰日形町。　宅地凡五十三。市人凡七百九十六口。男四百六十二口。女三百三十四口。馬十疋。驛也。　穀町。　宅地凡三十二。市人凡二百八十七口。男百五十六口。女百三十一口。

南材木町。　宅地凡六十四。市人凡五百七十八口。男三百十三口。女二百六十五口。馬三疋。　河原町。　宅地凡四十六。市人凡七百七口。男三百九十六口。女三百十一口。　南鍛冶町。　宅地凡六十五。市人凡六百十六口。男三百五十二口。女二百六十四口。　北鍛冶町。　宅地凡五十二。市人凡四百四十口。男二百四十五口。女百九十五口。　宮町。　宅地凡百十七。市人凡七百七十九口。男四百四十三口。女三百三十六口。　龜岡町。　宅地凡三十。市人凡百六十四口。男九十三口。女七十一口。　大崎八幡町。　宅地凡九十。市人凡千三百四十一口。男八百六口。女五百三十五口。　支倉澱橋町。　宅地凡二十六。市人凡三百七十口。男百九十六口。女百七十四口。馬七疋。　處々士宅。廢地。市店。　宅地凡八十九。市人凡四百四十一口。男二百五十四口。女百八十七口。　處々寺院門前市店。　宅地凡六百六十六。市人凡二千六百十九口。男千五百五十七口。女千六十二口。　倉廩凡三處。

其一。在城中。收近邑之租米。　其二。在小泉邑少林。同上。

其三。在原町。舟送遠郡之租米於蒲生濱。又舟送之于苦竹

倉廩。而以牛車運送。收於此倉廩。　孝子孝婦。凡十二人。　其一。
南町市人。富屋孫兵衛。事父母致孝。至歿後亦猶事生。東山帝。
寶永五年春二月。仙臺府内大火。孫兵衛四隣市店比屋猛火之
中。獨免其災。人皆以爲孝感之所致。是以御山君命有司。探問其
事。一町之衆。稱告其平日致孝之狀。同年六月七日。擧爲番士。賜
廩米百俵。稱屋孫兵衛元起。　其二。　荒町市人。渡邊屋長十郎
借居。三之助家貧。而能事養父。奉養盡心。櫻町帝。延享四年二月。
賜金賞之。　其三。　數橋町市人。及川屋久助。事大老之父致孝。
歿後猶不怠。供爲子之職。延享五年二月。賜物賞之。　其四。　穀
町市人。高田屋六之丞。父母存時。孝養盡心。且惡敎町内貧窮者。
桃園帝。寛延元年五月。賜金賞之。　其五。　旗本步卒與長加藤
源十郎妻。能事舅姑。孝養盡心。寛延三年十二月。賜物賞之。　其
六。　新傳馬町市人。村上屋三右衛門借居善之丞。能事父母致

孝。櫻町帝。寛保三年三月。賜金賞之。　其七。　坂本左大夫業隆
部下不斷與士。小野一郎太母。事舅姑。執婦道。延享五年五月。生
涯賜廩米二口。　其八。　大番士岡崎虎之丞宿守。衞三郎女。事
老父母致孝。夫歿後家貧。而奉養盡心。雖其父母議再嫁。不肯。不
顧艱難辛苦。事孝養。桃園帝。寶曆五年六月。賜金賞之。　其九。
龍寶寺門前市店。柳屋勘右衛門。事父致孝。寶曆十一年七月。賜
金賞之。　其十。　步卒三之丞。事養父。母致孝。寶曆十二年六月。
賜金賞之。　其十一。　大番士菊地嘉太夫定矩宿守。利助事老
母致孝。　今上帝。明和元年三月。賜金賞之。　其十二。　北材木
町市人。十三郎。事母致孝。明和四年十二月。賜金賞之。　忠僕凡
五人。　其一。　國分町市人。杉野屋伊三郎奴僕。勘助。長八。仕舊
主人伊三郎。竭力。多年不怠。助其貧窶。以致忠勤。中御門帝。享保
十一年八月。賜金賞之。伊三郎亦以善遇兩人賜物。　其二。　北

鍛冶町市人。小松屋吉左衛門屋守。新兵衛奴隷市助。能仕主人。十五年間竭力致忠勤。且仕舊主人吉田屋正左衛門父子。十九年間。忠勤不怠。父子大病。療養盡心。親切扶病。父子共死。其家終滅。忌日齋食。夜中參拜不怠。桃園帝寶曆五年十月。賜金賞之。

其三。　國分町市人。星屋久之助借屋甚之助奴隷。長作數年事主人。親切勵忠勤。今上帝明和五年四月。賜金賞之。

其四。　柳町市人。黑田屋八郎兵衛奴隷。松兵衛自主人八郎兵衛祖父以來三世。四十餘年綿々。親切奉事。忠勤如一日。桃園帝寛延元年八月。賜金賞之。

良民一人。　宮町市醫笠原元倫。事其師吾妻元水。盡心不厭其勞。愛元水之子四郎右衛門貧窮。爲報師恩。爲奴僕之態。竭心助之。且勵醫術。有招者。則雖遠方徒行。渾不貪病家之謝儀。治療用心。自病家贈謝儀。則不爲私用。爲四郎右衛門生業之資。事師之志最深。櫻町帝延享元年四月。賜金賞之。

復讐

一人。　松枝久左衛門時元。嘗以申樂之事爲業。父曰半兵衛時重。其伯父碧井六左衛門重勝仲子。久次郎重元。從將軍家典樂埼宗悦門人野田宗伴學醫。冒外祖姓稱井村宗順。爲宗伴門客木谷甚兵衛春光。山崎新六郎年數遭讒。宗伴怒之。令兩士殺宗順於隅田川三叉舟中。時元憤之。與宗順兄岩井利兵衛重成(左六衛門重勝之孫子。亦以申樂之事爲業。)共欲復其讎。告其事於君。赴于江府。聞宗伴在相州鎌倉。到于鎌倉而闕之。宗伴改名稱自休。嚴備戒之。是以不能容易復讎。或爲商賈。或爲旅僧。來往于江府。徒送數月。扇谷遂有精舍。號分陽山興禪寺。本州松島瑞巖寺雲居不味禪師之開山也。住持乃禪師之法嗣。而號居山和尚。衛嘗家士武澤九郎(傍註不詳)者也。故時元重成依賴居山和尚。潜身於彼寺。旦暮聞仇家之狀。一日聞宗伴到龜井坂邊號愚門院草菴。不堪忻躍。待諸歸路夜巳參半。覘宗伴歸。與之相闘。時元雖被創。遂捕宗伴刺殺之。時蠻

元帝。延寶五年五月二十九日也。乃使重成告其事江府之君邸。君令步卒將今村準人重成。步監伊藤惣內重定率步卒等七十餘人。迎時元。追仙臺。處有其仇。附託時元於古內造酒祐重直。禁其出行。三年于茲。同八年五月。時元除中樂之事業。舉爲番士。

學館。 在勾當臺。令儒醫教授諸士衆醫。

折獄所。 在城東河畔。俗呼之曰評定所。

閱圖。 在城東偏方町。

調馬塲兩處。

其一。 在河內。俗呼之曰追廻。此處有廐及御者之宅。

其二。 在躑躅岡。兩邊栽櫻花若干樹。祢來之偉觀也。

射塲兩處。

其一。 在舊花壇。擬城州大佛堂後之長庇。造三十三間之偏庇。習學遠矢。俗呼之曰折懸堂形。昔山君時。以平塚物右衛門重次善射徵之。賜廩米七十口。教射於諸士。重次無嗣。歿時請之以所賜之廩米。永充射術教授之資用。至今常撰番士及旗本步卒各十人。習學射術。

其二。 在躑躅岡。

廏屋。 在米屋敷。

名處

一。

躑躅岡。 或作山榴岡。又作榴岡。今從風土記殘編所記。風土記殘編曰。躑躅岡在府之西。（希文按。府乃古府也。）出紅躑躅。官以之摺衣。號都都摺。觀迹聞老志曰。東鑑稱國分瓶楯古壘。蓋此地也。鄉人不詳其舊址。往古岡上多躑躅。且以其花而摺衣帛。雖物之一故事也。其制不傳。今不能視之。寶可惜焉。矧躑躅花亦絕而亡。

舊跡一。

芭蕉辻。 土人呼大町。國分町街。曰芭蕉街。傳云古昔有芭蕉故云爾。今問之于其處無知之者。

八塚。 在城東寺院處々之地。不詳其爲何塚。土人呼之爲地名。今僅存其三。而失其五所在。

七崎。古來傳之曰府內七崎。

鴉崎。 在荒牧邑文珠堂下。

茂崎。 在根岸邑。古壘也。名跡志曰。後小松帝應永中。粟野大膳（諱不傳）者。領名取郡北方三十三鄉。居此城。今去國府仙臺。已可五里。沮廣谿河流。而蒼翠萬株。蓊鬱溪澗頗多。岑巒蒙密。仍稱之茂崎。先君建寺。號兩足山大年寺。

藤崎。 在茂庭主水希元宅地前。

鹿

島崎。在城北光明寺中。有鹿島香取神社。駒ヶ崎。在中島町長沼五郎助宅地。有古松兩株。故或號松崎。田歌崎。在小田原邑東照宮万壽寺近邊。青葉崎。在城後。六道。在城東泉街。東六番丁界有六巷。土人呼之曰六道。五橋。在泉街。往運坊町街衢。四方中央一處架五橋。石而小橋也。土人呼之曰五橋。川一。廣瀬川。源出自本郡大倉邑巨舟山。詳于愛子川條下。泉凡二。鹿子泉。在城南米屋敷。不詳其所以名也。柳泉。在立町市店後櫓町。河田一郎安良宅地。以上兩泉。古來稱名水。渡口凡三。宮澤渡口。在名取郡根岸邑宮澤。以舟渡廣瀬川。屬府内。角五郎渡口。在城北。古昔號角五郎者居于此。因爲地名。以舟渡廣瀬川。隆冬盛寒之時。設假橋長二十間餘。或曰之牛越。後陽成帝慶長初。築仙臺城時。以牛車運送石。渡此處。故云爾。米屋敷渡口。在瑞鳳殿下。今上帝。寶曆中之

新渡也。以舟渡廣瀬川。橋凡十一。傳云貞山君時。自追廻馬場末。架百間餘之橋于花壇。義山君時。洪水漂流之後。其橋亡。其一。大橋。板橋長六十四間。濶二丈五尺。其二。三。中瀬橋。板。土。橋長三十五間。濶二間。土橋長十五間。濶二間。其四。澱橋。土橋長四十五間。濶二間。今設假橋長三十七間。濶一間半。其五。同上。土橋長六間五尺。濶二間。其六。評定所下。板。土。橋各長三十九間半。濶二間。其七。瑞鳳殿下。土橋長五間半。濶一間半。其八。同處。土橋長六間半。濶一間半。其九。花壇。土橋長五間。濶一間半。其十。南材木町。板橋長五間。濶二間半。其十一。少林村木倉傍。土橋長五間。濶二間。道凡八。其一。往名取郡釣取驛長町驛道。其二。歷河原町。往長町驛道。其三。歷河原町傍廣瀬川。往名取郡道。其四。歷原町驛。往黑川。桃生兩郡道。其五。歷東照社前。往黑川。桃生兩郡道。其六。歷城北號堤地。往奥郡及南部道。其

七。歷小種當上谷刈邑。往黑川郡道。共八。歷大崎八幡社前市店。往羽州最上道。街衢凡百。自東一番丁至十番町。自南達北。八番町以下。今爲屋宅。自北一番町至十番町。自東達西。七番町以下。今爲屋宅。偏方町。自支倉至田町。鹽藏町。東一番町北。往時有鹽藏。故云。百騎町。東二番町。清水小路。東六番町南。立町通。自國分町至百騎町。舊櫓町。立町北後。自舊柳町至百騎町。中櫓町。自木町至國分町。定禪寺通。西曰材木町。自木町達同心町。革坊町。自國分町至勾當臺。勾當臺通。北一番町。二日町東後。曰勾當臺。往時號花山勾當者居于此。今有親大梗處之地。有其墓。故云。附。自定禪寺通至北四番町。堤町。自北一番町至北山光明寺前。杉山通。自北一番町至北一方杉山。外記町通。自花京院通角至北四番町。往時齋藤外記永門居于此處。故云。同心町通。自同心町至北四番町。中杉山通。或曰二本杉通。自花京院通至杉山。光禪寺通。自花京院通至北四番町。下杉山通。自花京院通至杉山。宮町西後町。自花京院通至北五番町。木町通。自北一番町至北山覺範寺前。支倉通。自支倉至北八番町。新坂通。自新坂至北山輪王寺前。土橋通。自切通土橋至北八番町。半甲町通。舊云義山君時。半甲劍發步卒居于此。故云。附。自北八番町至山神堂下。舊柳町。北自偏方町。南至大町頭。舊荒町。自北大町南至柳町。或曰之本荒鄉治町。非也。良覺町。修驗良覺院居于此。故云。附。自大町頭後東至南町。狐小路。自偏方町南後北至柳町通。自良

柳町通。北自偏方町。南至孝勝寺前。故或曰孝勝寺通。南町通。自東達十一番町。北目町通。其西曰八軒町。自偏方町至八幡宗。染師町通。其西曰七軒町。自偏方町至國分寺。十四坊。故或曰之連坊町。又曰五橋通。六軒町。偏方町末。入間町邊。土樋通。自偏方町末南後。至石名坂通。猿曳町。南町南。石名坂通。自荒町至六郷堤。小泉倉庫前通。自荒町至河原町頭。舊寺小路。自東三番町至地藏通東七番町。掃部町。自舊寺小路至花京院通。尖刀町。北一番町南後。自外記町達宮町。中島町。城北。自切通至八幡町。十二軒町。中島町北後。坊主町。八幡町北後。剃髮爲城中座上之使令者。呼之曰坊主。袋町。兩處。其一偏方町東後柳町通首。其二大崎八幡町東北後。琵琶首町。北自大橋東岸偏方町。茂庭主水番元宅前坂下。南至舊花壇。其地形廣淵川邊三方。似琵琶首。故云。附。花京院通。自外記町至東七番町。永町。花京院通北後。乾堀町。北一番町末南後。蜂宅。北一番町通末。小田原。舊云義山君時。養蜂取蜜處。今爲士宅數區。八塚寺町。谷地小路。東七番町。北一番丁南後町。自木町至國分町。俗呼曰後着町。細町。南自大町。北至五番町。壘町。北鍛冶町末。六番町堀際。北大工町。六番町堀北。至新口形町。新日形町。北八番町九番町間。米屋袋鍛冶屋通。以有鍛冶屋。故云。附。同鷹屋通。以有鷹屋。云附。同廣町。同廣町西後町。同中坂通。同鹿子泉通。小田原車地藏通。南曰東七番町。又曰谷地小路。同廣町。同金剛院町。修驗金剛院居于此。

故云ㇾ殿。　同山本町。山本三郎兵衛居ㇾ于ㇾ此。故云ㇾ爾。　同北一番町通。　同永町通。　同宮町七町東。　同宮町八町東。　得茶島。　同心町。東三番町北。定禪寺通東。　大佛通。自定禪寺小路外記丁。　鉄砲町。自市中地藏通介前。　三百人町。少林。　六十人町。少林。　五十人町兩處。其一少林。其二城北。　成田町。得茶島近處。　柴田町。同上。　大河原町。同上。　三十人町。河内。　根子町。同上。　二十人町。釋迦堂近處。　大筒町。中島町南。　山宅（ヤシキ）。龜岡近處。　霊廟下。　路次町。越路長徳寺前。　中町。　大工町。河内。　澱河原南後（ウシロ）町。同上。　此條一町、或二町許。而無ㇾ其名ㇾ者多。略ㇾ之。　河内大橋通。　中下馬澤上通。　中瀬通。　龜岡通。　澱橋通。　筋違（スヂカヒ）橋通。　千貫橋通。　得支倉橋通。　三十人町通。　千手院通。

封内風土記卷之二畢

封內風土記卷之三

田邊希文奉　君命撰

郡邑（神社。佛宇。寺院。山川等附）

宮城郡。東限海。西隣羽州。界小新川山。大峠。風倉山。塞加瀨山。奥川子山。南連名取郡。北跨黑川。志田。桃生三郡。東西百二十里餘。南北二十七里餘。其田上中。五千三百十町五反六畝餘。其畠上中。三千四百二十一町五反七畝餘。其貢下下。其邑七十七。（宮城三十二邑。國分莊三十二邑。高城郷十三邑。分爲三莊。）其戸四千百八十四。其口三萬千百四十一。（以明和元年甲申之數記之。下皆倣之。）其一萬七千三百九十六男。其一萬三千七百四十五女。馬三千六百三十四。牛十。今市步卒百二口。男女凡九百三。馬六十五。福田步卒六十八口。男女凡五百四十六。公族天童備後顯根家僕居其邑者。男女凡（下皆同）二百九十七口。馬二十七。同畠中雅樂安亮家僕三十口。馬四。和田左太郎爲利家僕二百

七十七口。馬十九。大町平治賴泰家僕七十四口。木村藤馬信堅家僕六十二口。馬一。山本三郎兵衛資盛家僕百三口。馬十一。森田司馬清元家僕百八十九口。馬二十一。古內鐵右衛門員永家僕三百六十八口。馬四十七。成田丹宮友房家僕五十六口。馬二。矢野善三郎定救家僕四十五口。總計二千九百五十口。馬百九十七。（邑民之外也。）神社凡二百六。佛宇凡七十八。寺凡百四十七。（此中。僧院十二。總十八。）神釜四。孝子凡九人。忠僕一人。別莊凡二。苑一。野始標觸塲凡十一。倉廩凡五處。山凡六。嶽凡二。川凡十四。橋凡八十。島凡八十三。浦凡十五。崎凡二十一。淵凡三。古壘凡四十三。道凡三十三。池凡三。泉凡四。沼凡十四。堰凡十四。堤凡十二。堀凡二。瀑布凡四。湊一。穴一。石凡六。坂凡三。名所凡十四。古碑凡二。古塚凡三。舊跡凡十八。森凡二。斥鹵一。鮎簗塲一。

松凡二。
國分ノ莊。以下皆同。作並邑。戸口凡二十六。有市居而驛也。山上有奧
羽之界。封人守之。神社凡四。稻荷神社。不詳何時勸請。
薬山權現社。同上。日月社。同上。山神社。同上。佛宇
一。岩谷堂藥師。不詳何時創建。寺一。檜倉山與源寺。曹洞
宗。仙臺府下八塚龍川院末寺。傳云正親町帝。天正三年。武山和
尙開山。道凡二。其一。往羽州最上道。其二。往名取郡
道。山一。鎌倉山。古來之名也。不詳其所以然也。橋凡八。各
土橋。其一。長十五間。濶一間半。驛頭。其二。長十三間。濶一間
半。小坂。其三。長十二間。濶一間半。長原。其四。五。共長十一間。
濶一間半。湯渡戸。日向坂。其六。長十間。濶一間半。湯川。其七。長八間。
濶一間半。鍋毀。其八。長六間。濶一間半。大瀬澤。瀑布一。樺目
木瀑布。高七丈。濶五間。源出自本邑及名取郡新川村。而仙臺川

之源也。
熊根邑。戸口凡二十九。有市居而驛也。神社凡三。鹽流山
明神社。不詳何時勸請。傳云此神鹽釜明神之姉君也。故祭日每
歲七月十日。而與鹽釜之祭同日。且本邑民作之助者。每歲獻鹽
釜祭日流鏑馬之的板。　關所明神社。在號關地。不詳何時祭
何神。　熊野神社。不詳何時勸請。傳云往古市居。諸邑人群集
爲市。故稱之市神。今無其市。　寺凡二。　秀岩山興禪寺。曹洞宗。
仙臺府下松音寺末寺。傳云後水尾帝。元和二年六月。松音寺八
世喜州全應和尙開山。　中澤山光西寺。曹洞宗。松音寺末寺。傳
云元和二年喜州全應和尙開山。　古壘一。傳云古昔國分家族
臣。號六町目不詳名諱。者所居。與禪寺中有六町目氏之古五輪塔。
道一。往羽州最上道。　籠石。　本邑南後。名取郡長袋邑野川
有洞窟。土人呼之。曰籠石。

上下愛子邑。　戶口凡九十九。有市店而驛也。有森田司馬清元系地。　神社凡九。　諏訪神社。　不詳何時勸請。傳云住吉神。黑鳩神。彌渡神一社。而祭四神。每歲正月十五日。爨筒粥於神前。卜其歲之豐凶。截竹四五寸許若干。各雕風雨旱霖五穀之名。入粥中而爨之。以筒中所入米粒多少。而知之。曰之筒粥。有古來造營梁上古牒十枚。　其一。後花園帝。康正三年。國分下野守宗治造營。　其二。正親町帝。永祿三年。國分能登守諱不傳。造營。　其三。同帝。元龜二年。國分能登守同丹後守。共諱不傳。　其四。後陽成帝。慶長三年。山岸修理助諱不傳。造營。　其五。後水尾帝。元和九年。貞山君造營。　其六。明正帝。寬永十二年。貞山君造營。　其七。八。九。十。共文字不分明。靈元帝。貞享二年。肯山君令造鳥居。其鳥居朽敗今亡。別當相傳。寬永十一年十二月晦日。翌年正月元日。兩處相續別當宮之坊。夢中得和歌曰。世遠長久保津心者敢宗乃世界靜

仁住吉之松。告貞山君。乃命夢想拔賜金。會于茂庭石見綱元入道了莊宅。有其式。且命揭夢想大明神額。稱諏訪夢想大明神。新造營宮社。拜殿。坂階。及別當所禱處。居宅。希文按。康正三年改元長祿。　稻荷神社。　田神社。　共諏訪末社也。不詳何時勸請。　愛宕神社。　不詳何時勸請。　熊野神社二。　共同上。　其一。鄉六綿左衛門敢友勸請。　第六天神社。同上。　神明社。同上。鄉六敢友勸請。　雲南神社。在下愛子邑。同上。　青木明神社。同上。不詳何時祭何神。　佛宇凡五。　毘沙門堂。在下愛子邑。傳云本尊運慶作。正親町帝。元龜二年創建。　子愛觀音堂。同上。不詳何時創建。傳云本尊定澄作。前佛正觀音。不詳何人所作。記曰。文治三年九月吉祥日後光之後。記子愛觀音。希文按。文治之號。後鳥羽帝御宇也。　彌勒堂。同上。傳云本尊運慶作。堂宇飛驒工匠造之。堂邊有古木之柱。周圍三丈二尺許。又有古碑。高五尺餘。橫三尺。

記曰。元亨四年甲子二月二十五日時正。者文按。元亨之號。後醍醐帝御宇。而四年改元正中。　鬼子母神堂。同上。不詳何時創建。土人稱之。曰盜人神。不知其所以然。　若松觀音堂。同上。不詳何時創建。　寺凡八。　重如山慈修院瑞應寺。眞言宗。城州智積院末寺。往古開山僧名。及年月不傳。後西帝。寬文五年。宥辨法印中興開山。　地福山觀照院。在下愛子邑。眞言宗。仙臺府下國分寺學頭末寺。往古開山僧名。及年月共不傳。正親町帝。元龜二年。權律師宥識法印中興開山。　萬代山藥師寺。同上。眞言宗。國分寺學頭末寺。開山僧名。及年月共不傳。　青雲山龍角寺。曹洞宗。仙臺府下江岩寺末寺。傳云江岩寺三世心國光傳和尚開山。不詳其年月。　南森山同慶寺。曹洞宗。仙臺府下輪王寺末寺。傳云輪王寺七世靈花宗蕊和尚開山。不詳其年月。初在鄉六邑。號長福寺。鄉六總左衛門改友創建。天正中。遷于本邑。中御門帝。享保初。

改號。　岩松山補陀寺。在下愛子邑。曹洞宗。輪王寺末寺。傳云後水尾帝。元和九年二月。輪王寺十一世鶴陰和尚開山。　泰盛山安養寺。同上。曹洞宗。仙臺府下松音寺末寺。傳云寬文之比。靈堂文徹和尚開山。　正覺山彌勒寺。同上。仙臺府下保壽寺末寺。傳云保壽寺三世傳宅和尚開山。不詳其年月。　古壘凡三。　其一。土人呼之。曰御殿山。不詳何人所居。　其二。在下愛子邑。號西館。傳云初茂庭石見綱元入道了菴居之。明正帝。寬永十三年。移于栗原郡文字邑。此館新造宮。貞山君第一女。越後少將兼上總介忠輝朝臣室也。忠輝朝臣有故。謫于飛州。是以歸于仙臺。忠輝朝臣歿後。落飾號天麟院。移居于此館。稱之曰西館。　其二。同上。號南館。國分家臣萱場丹後〔諱不傳〕所居。土人呼之。稱萱場館。　古塚一。　在下愛子邑。上方二間。下方九間。松四株栽于四方隅。不詳何時所築。傳云行人號想海者之塚也。　烏銃遣町森。同上。傳云

青山君時。令致鳥銃遠町處也。　山凡三。同上。　其一。號西盤山。傳云旱時造龍登山。雩則雨降。若爲霖露則引下彼龍方山中號太郎坊瀑布則雨晴。　其二。號中盤山。高山也。或曰上鳥屋。　其三。　號東盤山。頂上。本郡與名取郡之界。而有雲居和尚影堂。以上三山。総有九十九谷云。　道凡六。　其一。二。共往羽州最上道。其三。四。五。六。共往名取郡道。　川一。　愛子川。源出自本郡大倉邑巨舟山。而歷名取郡新川邑。本郡作並邑。與名取郡長袋邑野川會。末流乃仙臺川也。　橋凡二。各土橋。　其一。長三十三間。澗二間半。中央九間板橋。若落合。　其二。長八間。澗一間半。栗生。

郷六邑。　戸口凡十七。　神社凡三。　松尾權現社。在葛岡林中。不詳何時勸請何神。土人呼此山稱權現森。　道祖神社。不詳何時勸請。　宇那禰明神社。不詳何時勸請何神。　古壘凡二。　其一。號郷六古館。傳云國分家臣郷六大膳。諱不傳所居。今爲圃。　其

二。號葛岡古館。不詳何人所居。今爲邑民宅地。　郷六別莊。青山君。經始此地。爲遊衍之處。忠山君。繼其志。再興之。借地造閣。　堰一。　號四谷堰。宮城國分八邑用水。　道一。　往羽州最上道。川一。　郷六川。乃愛子川末流也。有堰。曰砂子堰或四谷堰。　橋凡二。各土橋。　其一。長五十間。澗一間半。　其二。長六間。澗一間。

芋澤邑。　戸口凡七十五。有號吉成地。　神社一。　宇那禰大明神社。不詳何時勸請。有社造營梁上古牒三枚。其一云。藤原朝臣長沼伊勢守政繼。福德元年丙戌年建立。其二云。藤原朝臣長沼式部少輔宗治。天文五年丙申建立。其三云。藤原朝臣長沼郷六大膳宗家。永祿五年壬戌建立。希文按。福德之號。歷朝無所見。誤字決矣。天文之號。後奈良帝御宇。永祿之號。正親町帝御宇也。長沼者。郷六氏之本稱乎。郷六氏國分家臣也。　佛宇一。　辨財天堂。在臨濟院內。東濱和尚建立。不詳其年月。　寺凡五。　木蔵山

正法寺。曹洞宗。仙臺府下松音寺末寺。傳云靈元帝。天和中。喜州全應和尙開山。　繁王山長泉寺。曹洞宗。仙臺府下江岩寺末寺。傳云後水尾帝。寛永八年。旦庵光眕和尙開山。　太子山常念寺。曹洞宗。本邑長泉寺末寺。傳云寛永十八年。鑒岩髙雪和尙開山。　念澤山德源寺。淨土眞宗。京都西本願寺末寺。不レ詳二何時何人開山一。　河北山臨濟院。臨濟黄蘗宗。城州宇治萬福寺末寺。傳云東山帝。元祿中。鳳山和尙開山。寄二附百石之地一。塔頭十一舍如レ左。慈雲院。冷堂和尙開基。不レ詳二其年月一。以下皆然。　興化院。蓋天和尙開基。　福源院。惠明和尙開基。　拈華潤松院。錶淡和尙開基。　福壽院。東溟和尙開基。　朧雲院。雷翁和尙開基。　瑞雲院。覺麟和尙開基。　三聖院。活雲和尙開基。　金剛院。東源和尙開基。　興雲院。祥天和尙開基。　瑞麟院。覺麟和尙開基。　古壘凡二。　其一。號二鄕六館一。傳云至二正親町帝。天正中一。國分家臣鄕六左

衛門傳不レ詳。居レ之。今爲二邑民宅地一。　其二。號二馬場館一。傳云至二天正中一。國分家臣馬場治部傳不レ詳。居レ之。今爲二邑民宅地一。　道一。　往二黒川郡一道。　橋凡三。各土橋。　其一長十二間。濶二間。大竹。　其二。三共長五間。濶一間半。白坂。鹽澤。

大倉邑。　戸口凡五十。　神社凡六。　神明宮。不レ詳二何時勸請一。　熊野神社。同レ上。　愛宕神社。同レ上。　小倉明神社。不レ詳二何時勸二請何神一。　秋葉明神社。同レ上。　鹽明神社。同レ上。　佛宇凡三。　藥師堂。不レ詳二何時創建一。　地藏堂。同レ上。　阿彌陀堂。同レ上。傳云小松内府重盛卿家臣筑後守貞吉者之護持佛也。　寺凡三。　大倉山青松寺。曹洞宗。仙臺府下名取郡根岸邑宗禪寺末寺。正親町帝。天正十九年十一月。宗禪寺八世嶽翁和尙開山。　奇妙山無量寺。淨土宗。仙臺府下安樂寺末寺。傳云後水尾帝。寛永二十年。炎選社良縁上人開山。　極樂山西方寺。淨土宗。安樂寺末寺。傳云

觀蓮社良念上人開山。不レ詳二其年月一。　古塁凡二。　其一。號二下大倉館一。傳云國分家臣大倉藏人（諱不レ傳）。所レ居。今爲レ畠。　其二。號二大倉古館一。傳云國分家臣作並宮内（諱不レ傳）。所レ居。今爲レ畠。　橋凡四。各土橋。　其一。號二天狗橋一。陸（カケハシ）也。長八間半。廣一間二尺。陸之左右。鑿レ岩爲レ阪。掛レ縄縋（スカリテ）レ之往來。　其二。所レ掛二瀧泓（サホ）一之橋也。古來呼レ之。曰二簾（スダレ）橋一。陸也。長六間。濶一間。　其三。長三十二間。濶一間半。土人呼レ之。曰二舘下大橋一。　其四。長八間半。濶一間。　瀧一。　在二大倉川上一。屈曲三級之瀧也。　川一。　大倉川。末流乃仙臺川也。　村木岩。長一丈五六尺。方六七寸。或八九寸。故土人又呼レ之。曰二角岩一。　鏃石。其形如レ鏃。在下號二矢込宅（ヤコミヤシキ）一地上。

福岡邑。　戸口凡六十五。　神社一。　熊倉權現社。在二屏風嶽一。傳云推古帝御宇所二勸請一也。不レ詳レ祭二何神一。　佛宇凡二。　川崎阿彌陀堂。傳云本尊安阿彌作。不レ詳二何時創建一。　和泉藥師堂。不レ詳二何時創建一。　寺凡四。　獻德山永安寺。臨濟宗。城州花園妙心寺末寺。傳云後西帝。明曆中。圓滿國師雲居和尚開山。　松森山東泉寺。曹洞宗。仙臺府下保壽寺末寺。傳云後光明帝。正保中。興山忠林和尚開山。　竹林山寶藏寺。曹洞宗。本郡根白石邑滿興寺末寺。傳云後柏原帝。文龜三年。能菴和尚開山。　梅林山慶得庵。曹洞宗。本郡根白石邑滿興寺末寺。傳云後水尾帝。慶長十八年。嶽南和尚開山。　嶽凡二。　泉ガ嶽。邑内高山也。名跡志云。山岳形勢跨二府城西北一。峻極與二刈田高岳一相低昂。巖巖甲二國府一。群山圍繞。曰二之萱原（カヤノタヒラ）嶽一。又曰二泉岳一。相傳往昔頼朝卿東征時。過二山下河邊一。有二白石一。倚レ此休焉。以賞二戰功一。土人呼二其地一。稱二判在家一。所三以與二感状印璽于此一也。自レ是後人呼二根白石一。往時之巨石今已亡。　屏風ガ嶽。名跡志曰。山勢如二屏風一。壁立万仞。傍有二權現祠及別當一。曰二熊倉山松林寺一。相傳推古帝。養老二年。經二營之一云。（希文）按。權現別當修驗。而號二

松岩寺。名跡志曰。松林寺者。蓋誤也。　壇一。　本邑及根白石。田中。小角四邑用水。　道一。　往黒川郡道。　橋凡二。各土橋。其一。長十二間。濶一間半。　其二。長五間。濶一間。

朴澤村。　戸口凡五十。　神社一。　八幡宮。傳云推古帝御宇。一王子所勸請也。　寺一。　朴澤山興禪院。曹洞宗。本郡根白石邑滿興寺末寺。傳云後土御門帝。大永七年正月。眞傳和尚開山。古壘凡二。　其一。號古城。傳云國分家臣朴澤藏人（諱不傳）居之。大番士朴澤九左衛門行廉先祖也。　其二。號新城。傳云朴澤藏人。自古城移居于此城。　瀑布凡二。　雄瀑布。高二丈五尺。濶二間許。　雌瀑布。高一丈五尺。濶三間許。

根白石邑。　戸口凡七十七。　神社凡八。　八幡宮。在古壘。傳云靈元帝。寬文中。古内造酒助重直所勸請也。　愛宕神社。傳云寬文中。古内造酒助勸請。　神明宮三。　其一。稱林崎神明宮。　其二。稱年川神明宮。　其三。稱花輪神明宮。其不詳何時勸請。　熊野神社二。　其不詳何時勸請。　第六天神社。同上。　寺凡五。大桂山滿興寺。曹洞宗。羽州莊内總光寺末寺。傳云後小松帝。嘉慶二年。梅雪和尚開山。寄附十二石餘之地。　年川山養興菴。曹洞宗。本邑滿興寺末寺。傳云後花園帝。寶德四年。禪廣和尚開山。希文按。寶德四年改元亨德。　能化山大藏菴。曹洞寺。本邑滿興寺末寺。傳云正親町帝。永祿八年。桃存和尚開山。　補陀山松覺院。曹洞宗。本邑滿興寺末寺。傳云永祿八年。桃存和尚開山。　琥珀山寶積寺。曹洞宗。黒川郡寺池邑養雲寺末寺。傳云後陽成帝。文祿三年。能山和尚開山。寄附八石九斗餘之地。　古壘凡二。其一。號白石城。傳云白石參河（諱不傳）所居也。今爲八幡社地。及寶積寺地。名跡志曰。天正十九年。栽松院殿（當家十五世晴宗君夫人。岩城左京大夫平重隆朝臣女。）磐自信夫郡杉目移住于此。文祿三年甲午六月九日卒。遺言令居館

爲寺。號琥珀山寶積寺。以信夫郡杉目琥珀山寶積寺前住能山和尙爲開山。葬遺骸于此。墳墓今猶在焉。土人曰之淸水澤。其二。號福澤館。傳云古內主膳亟處所居也。　堰一。　國分七邑用水。　堤凡二。　本邑及小角。寶澤三邑用水。　道凡二。　共往黒川郡道。　川一。　白石川。源出自本郡福澤。朴澤之山。壑末流乃今市川也。　橋凡二。各土橋。　其一。長十八間。濶二間。　其二。長十五間。濶二間。

田中邑。　戶口凡三十二。有號萱場地。　神社凡十三。　住吉神社。不詳何時勸請。　八幡宮。同上。社內建石。不詳其所以然也。傳云自雲州鎭座。　神明宮。不詳何時勸請。　愛宕神社。同上。　稻荷社三。共同上。　山神社。同上。　荒神社。同上。　寶最權現社。同上。　明神社三。共在住吉社北。不詳何時祭何神。　佛宇一。　觀音堂。在邑民次助者之宅地。傳云往古火化黒川三郞重康之遺

體地。建堂安置觀音。次助乃其家隷之末孫也。　寺凡二。　頭陀山見松寺。曹洞寺。本郡根白石邑滿興寺末寺。傳云後奈良帝。天文七年。桃存和尙開山。　地藏山長全寺。曹洞宗。本郡小角邑大滿寺末寺。傳云正親町帝。永祿二年。大滿寺二世湯山和尙開山。

古壘一。　號杭城。傳云古昔山內須藤刑部少輔（諱不傳。）居于本郡寶澤邑山巳城。結城七郞（諱不傳。）攻之。城遂陷。是以刑部少輔急建杭爲柵。而據于此地。故呼之。曰杭城。今其地爲公林。　堰凡二。　其一。本邑及小角。寶澤三邑用水。　其二。本邑及小角二邑用水。　森一。　小森也。在住吉社北。傳云此森地震不動搖。　橋一。　土橋。長五間半。濶一間。

小角邑。　戶口凡二十六。　神社凡八。　貴船神社。不詳何時勸請。　伊豆權現社。同上。　白山權現社。同上。　稻荷神社。同上。　春日神社。同上。　若宮八幡宮。同上。　明神社。不詳何時祭何神。

飯石明神社。在古内鐵右衛門眞永別莊。傳云古來稱之石神。
有號父母石二塊。子石追年生。今所有父母石共百二十八塊。
佛宇凡二。 觀音堂二。共不詳何時創建。 其一。稱白藤觀音。
寺凡二。 虛空藏山大滿寺。曹洞宗。本郡七北田邑洞雲寺末寺。
傳云後花園帝。寛正元年。寶底禪秀和尚開山。寄附二十四石餘
之地。 千光山觀音寺。眞言宗。京都醍醐報恩院末寺。傳云後水
尾帝。元和中。隆喜法印開山。 堰一。 國分七邑用水。 古壘一。
傳云古內近江。傳不詳所居。 橋一。 土橋。長十二間。濶二間。
寶澤邑。 戶口凡五十五。 神社凡十一。 新山權現社。不詳何
時勸請。 根渡權現社。同上。 熊野權現社。同上。 藥山權現社
同上。 牛頭天王社。同上。 春日神社。同上。 諏訪神社。同上。
山神社。同上。 幸神社。同上。 荒神社。同上。 明神社。不詳何時
祭何神。 佛宇凡四。 地藏堂。不詳何時創建。 阿彌陀堂。同上。

太子堂。同上。 十王堂。同上。 寺凡三。 補陀山林泉寺。曹洞
宗。本郡七北田邑洞雲寺末寺。傳云後土御門帝。文明中。祥印和
尚開山。 地藏山常心院。曹洞宗。本邑林泉寺末寺。傳云後水尾
帝。寛永中。寶悦和尚開山。 延命山泉秀院。曹洞宗。本邑林泉寺
末寺。傳云後陽成帝。慶長中。秀甫和尚開山。 古壘凡二。 其一。
號山村古館。 其二。號山村西館。共不詳何人所居。 希文按。田中
邑古壘條下云。須藤刑部少輔居之。與本邑所言不合。未審。 堰
一。 國分七邑用水。 川一。 根白石川。 橋凡二。各土橋。 共
長十二間。濶二間。
野邑。 戶口凡三十。 神社凡二。 牛頭天王社。不詳何時勸請。
神明宮。同上。 堰一。 本邑及根白石。小角。寶澤。上谷刈。七北
田。市名坂七邑用水。 道一。 往黒川郡道。 川一。 根白石川。
上谷刈邑。 戶口凡二十五。 神社凡四。 貴船神社。不詳何時

勸請。山神社。同上。熊野神社。同上。柳澤大明神社。不詳
何時祭何神。佛宇一。阿彌陀堂。不詳何時創建。寺凡三。
小鹽山柳澤寺。曹洞宗。仙臺城北輪王寺末寺。傳云良觀和尙開
山。不詳其年月。羽黑山高福院。眞言宗。仙臺城東國分寺。學頭
末寺。開山僧名。年月共不傳。傳流山法昌寺。曹洞宗。仙臺城北
輪王寺末寺。傳云松巖和尙開山。不詳其年月。古壘一。號長
命舘。傳云錦戶太郞國秀砦也。古塚凡二。傳云往古往七北
田驛道在此處。其里程之塚也。堰凡二。號丸田澤堤。國分十
八邑用水。道一。往黑川郡道。川一。根白石川。橋一。
土橋。長六間。濶二間。丸田澤。
古內邑。戶口凡六。古內內藏助眞常。古來之采地也。神社凡
三。加茂神社。傳云東山帝元祿九年。肯山君。造營此社。舊在鹽
釜社地。鹽釜造營時。移于本邑。土人稱之曰亂神社。寄附社領二

十石。禰宜領二十四石之地。雲水明神社。不詳何時勸請何神。
稻荷明神社。在古內內藏助眞常別莊。傳云先祖主殿重吉世
明正帝寬永十六年秋。行器一個自天降中滿赤飯。蒸氣未絕。奇
異之。乃築壇封之。土人呼之曰行器壇。壇上建社。勸請稻荷明神。
寺一。成德山慈眼寺。臨濟宗。京都妙心寺末寺。傳云後光明
帝。承應中。古內伊賀義重。經始之。大機圓應禪師。洞水和尙開山。
寄附二十石之地。初號護國寺。東山帝。元祿十六年五月改號。
孝子二人。本邑及上谷刈邑々長久兵衞及妹與稱。其家歷世事
父母致孝。且久兵衞兄弟共盡心力。最供爲子之職。一鄕稱之。中
御門帝。享保十二年。賜金賞之。川一。根白石川。橋一。土
橋。長六間。濶二間。
荒卷邑。戶口凡十三。神社凡二。神明宮二。其一。在城北。
屬府內。傳云後水尾帝。元和七年。貞山君勸請造營。別當衒山神

宮寺妙海法印開山。寺號。山號共貞山君命之。中御門帝。正德六年。獅山君寄附社領二十石之地。　其二。在號小谷萓地。不詳何時勸請。　佛宇一。　文殊堂。傳云本尊。嶺八兵衛(諱不傳)。護持佛。而後水尾帝。寬永三年三月。八兵衛所創建也。中御門帝。享保元年七月。獅山君造營堂宇。寄附修補料二十石之地。　堰一。　宮城國分用水。　道凡三。　其一。往諸郡道。　其二。往羽州最上道。　其三。往黑川郡道。　崎凡二。　其一。在文殊堂下。號鴉崎。所謂仙臺七崎之一也。　其二。田邸崎。在東照宮與万壽寺之間。是亦七崎之一也。　橋凡四。各土橋。　其一。長六間。濶三間。　其二。長五間半。濶二間半。　其三。四。共長五間。濶二間。或一間半。　年魚簗場。　在號鵆長瀨地。嶺家采地別莊內也。

北根邑。　無邑民。仙臺府下者稽稼之。

七北田邑。　戶口凡八十五。有市店而驛也。有號大澤端邑。　神

社凡七。　熊野神社二。其一不詳何時勸請。其一在大澤。　愛宕神社。同上。　雷神社。同上。　牛頭天王社。在大澤。同上。　仁和多利權現社。同上。　春日神社。在大澤。傳云後白河帝。保元中。邑民又兵衛者。先祖所勸請也。　佛宇凡五。　藥師堂。不詳何時創建。　阿彌陀堂二。其同上。其一在大澤。　念佛堂二。在斬刑場左右路傍。北堂風七北田邑。上上谷刈邑。櫻町帝。延享元年。獅山君夫人長松院殿。爲刑人造之。　寺凡二。　歸命山淨滿寺。淨土眞宗。京都東本願寺末寺。傳云後陽成帝。慶長十一年。長營和尙開山。　龍門山洞雲寺。曹洞宗。加州金澤大乘寺末寺。傳云此地上古有夫婦之異人。男號大菅谷。婦號佐賀野。其紅顏美麗而不老。不知其經幾年。常語五六百年以前之事。其容貌如少年。文武帝。慶雲中。號定惠。僧。來止宿大菅谷家。熟視其所居境內。山高而谿深。泉甘而水潔。土地饒肥。草木繁茂。九十九峯圍地。九十九谿落南而爲川。其形恰如蓮葉。

知其靈地。欲請此地而建寺。一日語以其事。菅谷夫婦不可曰。吾住此山久矣。不知飢寒之憂。今應其請。則恐至失其所。定惡以爲其所答亦宜也。然如此靈塲。徒爲恐夫恐婦之住處。亦非本懷焉。再請曰。然則以予所携錫杖圍其地。借其所及之地。則結菴居之。夫婦許諾曰。錫杖所及之地些少也。當如其請。定惡容之。與夫婦相揖。以錫杖圍其地。奇哉其所居之境內。悉爲錫杖所及之地。夫婦無辭。平變其約。與其所居之地。去此地西二十里餘。乃去往本郡根白石邑。居于山間之巖窟。後人呼其地。曰堂所。于今有偶見異人矣。定惡乃建立堂塔。號遮莱山圓通寺。安置觀音像。時人因夫婦之名。稱地曰大菅谷保。呼寺曰佐賀野寺。坂上刈田麻呂東征時。宿陣本郡利府鄉。愛號阿久玉女。有孕。刈田麻呂歸京之後。生男兒。號千熊麻呂。稱說曰。光仁帝。寶龜中。學於佐賀野寺者。乃此寺也。千熊常祈歸京於此寺之觀音。上京之後。官歷將軍。討諸

國之賊。耀武威於天下。稱坂上田村麻呂者是也。其祈願成就造堂。以安置觀音像於諸國。（田村麻呂遺跡數處。在本郡利府鄉。）嵯峨帝。弘仁之比。慈覺大師來中興此寺。自此而後稱山寺。慈覺所開凡稱山寺。南部圓通寺。名取郡秋保釋迦堂。此寺。羽州最上立石寺。皆呼之曰山寺。淳和帝。天長中。寺邊有富民。其名曰當新太。土人稱之長者。其妻曰菅美子。容色踰人。寺有美童。曰竹阿。一日相見寄之。互通書寄其情歎。遂不果。菅美子恨之。投身瀧原淵。（在寺北。）忽化爲大蛇。瞋恚之怨念爲火焰。長者第宅悉爲灰燼。竹阿亦投身於寺中之池。化爲毒蛇。（此池今曰見池。）當此時。迅風甚雨。山中震動。三日三夜。寺門之傍。山崩路塞。遂爲大湖。彼雌雄大蛇。潜藏水中。食往來之人。是以人跡絕而爲廢地。自天長中至光明帝曆應元年。殆五百年。曆應元年正月。加州金澤楫樹林大乘寺三世明峯素哲禪師到東國。二月三日。宿本州名取郡岩沼驛。翌四日初午。而竹駒明神祭日也。

國人名詣二此社一守レ夜祈レ之。禪師亦共詣レ社守レ夜。稠人中白髮老人。近在二禪師之坐傍一。夜既參半。老人問二禪師一曰。奚（イヅクヨリ）自。僕近邑之賤民。每歲初午。詣二拜此社一。今夜幸見二禪師一。願垂二教示一。禪師曰。殊勝哉此翁。摘二裁華嚴經要文一。終夜開二示其經之功德廣大一。老人不レ堪二歡喜之淚一。請曰。願留二禪師於近邑一。教二化東部無智之愚民等一。此邑北四十里餘有二勝地一。幸其處邑人。今夜來二居此社一。明旦使三彼者見二禪師一。適レ心則建二寺於彼勝地一而居留焉。禪師曰。予固行脚之僧。留二止於彼地一。而說レ法所二予欲一也。答話之際。漸及二昧爽一。社僧來修二祈禱於神前一。詣拜之男女群集。忽失二夫老人所一レ在。問レ人無二知レ之者一。禪師無レ所レ尋レ之。欲レ赴二奥郡一。名取川雪水漲來。不レ能レ渡レ之。躊二躇河邊一。時有二一夫一來曰。禪師不レ知二此川之淺深一。則不レ能レ濟。我扶レ之。乃負二禪師一濟レ之。禪師悅問曰。卿何處人。彼夫答曰。自レ是以西宮城郡國分莊市名坂邑佐藤藤左衛門者（今其子孫在二七北田驛一）也。昨夜詣二竹駒明神社一。今日歸レ邑。

禪師以爲昨夜老人所レ謂使三我見二之者。必此人乎。同行共話二世事一。日既傾。藤左衛門請二禪師于其家一。夫妻盡レ心饗レ之。禪師以爲昨夜老人所レ言者。無レ所レ疑二此人一也。老人亦固非レ人。是乃竹駒明神之示現也。掛二錫於藤左衛門家一而逗留焉。一日藤左衛門曰。自レ是以北有二大蛇所レ蟄之大湖一。語以二竹阿曾美子之實事一。禪師曰。吾欲レ見二其湖一。子其嚮導。藤左衛門曰。自レ古往二其湖邊一者。無二生而歸者一。不レ能二嚮導一。禪師曰。然則指二示其方一。是以藤左衛門伴二禪師一。向レ西往可二三町一。指二艮方澤中之松一曰。彼松下乃大蛇所レ潛之湖也。禪師唯諾共歸。謂二藤左衛門一曰。我欲下乾二彼湖一而建上レ寺。數百年來。大蛇所レ蟄。則不レ能二容易乾一レ之。有下其開結レ庵可レ居之地上乎。藤左衛門曰。邑南有二清泉及文殊堂一。此地乃可。禪師往相二其地一。前有二清泉一。上有二梅松古樹一。前田。後高林。左川。右道。而四神相應之地也。乃結レ庵。號二妙首山寶相寺一。安二禪于此一。禪師一日。欲レ見二湖水一。自二藤左衛門宅地後山一。獨行到二湖

邊。時昔日所遭於竹駒明神社之老人。忽然來日。禪師相此湖。則我先導之。乃進先遶湖邊。山高巖峙。大樹覆天。枯木倒地湖水湛然如藍。無風而波。禪師掛手於湖邊之松。臨而窺之。稱此松曰手掛松。又以藤左衛門指此松示湖所在於禪師曰標松。又以此松三葉五葉相交。稱三五松。雌雄兩蛇。怖禪師之法威。潜藏不出。禪師乃一七日。坐禪于松下。滿七日早旦。臨湖一喝。投柱杖於水中。疾風忽起。大波奔騰。山中大震動。雌雄大蛇頭出。曳尾逃去。彼老人來日。我是白狐。而住于此山。千有餘年。然爲兩蛇所妨。順歷艱苦。幸見禪師解脱畜生界。乾此湖。而建寺。別當爲守護神。乃化白狐去。邑民等首藤左衛門。會集相語。不見禪師已七日。到湖邊。則必爲毒蛇之食。其語未畢。禪師追蛇出山而歸。衆皆相悦。迎之問其狀。禪師答以其事實。各爲奇異之懷。崇仰禪師。歸依其法者多矣。其後禪師見領主國分刑部大輔盛胤。請曰。愚僧加州金澤大乘寺住僧明鑒也。今春偶到本州。留止于本郡市名坂邑實相

寺。頃日以法力追大菅谷保大湖之毒蛇。冀賜彼大湖之地。則乾水建寺。盛胤大悦許諾之。乃曆應元年十月。令邑民就通其所。塞三日之間。湖水盡涸。古昔之寺址顯然。禪師乃建寺。號山龍門。稱寺洞雲寺。老人又來。三拜禪師曰。我幸見禪師。解脱畜生界。其渥恩不堪報謝。嚮百年前。號定惠僧。始開此山。號道築山。安置觀音像。日寺圓通。其後兩蛇出。而爲湖水。故藏彼觀音像於岩窟。既經五百餘年。今幸禪師再興之。是以授其像。禪師乃造堂於岩窟。以安置之。傍造白狐祠祭之。禪師其功已成。歸加州。其後無住僧。人跡絶。復爲廢寺。梅國祥三和尚。無雙道人。而得天下之名望。後小松帝。應永七年。東行到本州。寓此寺無住僧而荒廢。尋來視之。草木繁茂。荊棘塞路。堂塔朽頽。狐狼交跡。聊無可居之處。傍有巖窟。乃入坐禪累日。其齢可二十歳男女各有容色。來拜和尚。供菓花。朝來暮歸。夕來晨歸。雖歷數日。終不言。一日兩人不歸。須催悲涙。

和尙見ㇾ之問曰。汝等何人。男女答曰。男此寺初號二圓通寺一時之兒童。而女號二勸新太一者之妻也。互和思通ㇾ書寄ㇾ懷。遂不ㇾ果。其情欲ㇾ不ㇾ能ㇾ已。共投二身于水中一。瞋恚之惡念。化爲二大蛇一。以二寺所ㇾ在爲ㇾ湖。而蟄ㇾ之既五百年。爲二明巖禪師一所二放逐一。不ㇾ能ㇾ居ㇾ之。欲下禪師久在二此地一則兒ㇾ之蒙中教化上。然禪師無ㇾ幾歸ㇾ國。徒送二歲月一。今幸見二和尙一。蒙ㇾ賜二垂示一。梅國曰。可ㇾ憐可ㇾ憐。我與二慈航一。乃示二身假合心無性蛇生有何處之一句一。授二佛祖正傳菩薩戒之血脈一。號二雄蛇天心道高禪男。雌蛇海眼妙淸禪女一。開二示菩薩戒經要文一。兩蛇再二拜和尙一曰。自ㇾ今身心得二安樂一。乃去。他日又來曰。以二和尙之垂示一。永得ㇾ解二脫蛇生之苦一。不ㇾ遑ㇾ謝ㇾ恩。獻二雌雄肉牙各一枚一。再二拜和尙一。乃升ㇾ天去。梅國出ㇾ山歸ㇾ里。語以二其狀一。衆皆尊崇。遠方他邦聞ㇾ之者。各來如ㇾ市。悉歸二依其法一。和尙法子安樂。寶底兩僧。各到二本州一陪侍焉。一日和尙見二領主國分修理亮盛行一。獻二雌雄蛇牙一枚一。請二中興之事一。盛行許ㇾ之。大興二土木一。造二營七

堂及二十四院一。寄二附百餘町之地一。龍月。泉龍兩院。在二本堂之左右一。而安樂。寶底兩和尙居ㇾ之。梅國德光日新月隆。四方僧俗如ㇾ雲和集。安樂。寶底兩流。分爲二三十餘寺一。三十餘寺之末流。不ㇾ遑二枚擧一。爲二末流諸寺院轉衣出世之大道場一也。後花園帝。文安四年丁卯四月二十一日。梅國告ㇾ衆曰。我化緣將ㇾ盡。古人爲ㇾ法忘ㇾ身。莫ㇾ以ㇾ身嘗ㇾ法。乃書二一喝一曰。七十五年。辨二西東一。如今不ㇾ要白頭翁。無來無去衆無住。放下從來自性空。行年七十五歲。法臘六十一年而示寂。其後堂塔復漸荒廢。二十四院僅存二龍月。泉龍。江北。江西。景雲。當陽六院一。中御門帝。享保中。輪王寺前住發濟和尙。請爲二退隱之地一。造二營堂宇一。輪奐復新。寄二附百十九石餘之地一。寺內神社熊野權現。飯盛五社明神。秋葉權現。荒神。山神凡五社。其不ㇾ詳二何時勸請一。有ㇾ稱二龍門十五境一。寺僧曰二十四境一。今算ㇾ之十五境也。一日。不寐峯本寺之主山。當二于大方丈之後一。靑松蓊鬱。白雲出ㇾ岫。奇秀峻拔。爲二九十九峯之最一。二日。三

五松。在不露峯之東南。明峯和尚。初入此山時所標也。三葉五葉。枝枝相交。或云珊瑚松。枝枝如珊瑚珠枝之奇。今用其三五葉之寶也。三日。天狗樅。在三五松之西南。一株之大樅。天狗所居也。俗云天狗相撲場。四曰。不動瀑布。在不露峯之西。天狗樅之下。源深流長。引筧便用。梅國和尚。初入此山時。一老人來指要路。忽爾不見。只見一尊之不動明王而已。仍時人稱不動瀑布。五曰飛猿嶺。云飛猿嶺者。擬玄沙禪師蕭洒之所居而慕其德也。六曰。坐禪窟。在大方丈之乾隅。傳言有老猿托枯木。若有吉事。則出告之。蓋今在大方丈之南西。梅國和尚在此窟中。只管打坐時有兩蛇。化童男女。日夜來參。授戒安名。竟轉蛇身。七日。二嫩桂。在山門之左。鎮守之前。一根二株。悠久昌昌。春初生葉。秋初落葉。葉粗黃時。其香如梅檀。古云。爽嶺桂分千古韻。信不誣也。此大桂樹。梅國和尚親手植云。八日。金龍池。在坐禪窟之南。兩蛇曾化男女。親參梅國和

尚。問法受戒。女蛇忽現蛇身。獻肉牙二枚。報恩謝德。直投池中而脫去。至今池水不增不減。其牙齒猶在。横四寸五分。竪四寸八分。法名海眼妙清禪女。九曰。龍門巖。在金龍池之西。男蛇得戒之後。踏斷巖角。攪雲引雨而升天去。法名大心道高禪男。十日。鷄頭坂。在龍門巖之左。兩蛇每夜盤旋于茲。聞鷄鳴共去。十一日。觀音洞。在龍門巖之北。昔有白狐。含寸餘觀音像來。故時人曰白狐觀音。白狐今尚鎭山門。十二日。龍牙谿。其水自不露峯之深壑來。自古至今。間或蛇牙從流而出。十三日。山寺茶。在總門北之外園。古來傳云山之寺茶者。與陽之節一珍味也。猶謂今之宇治茶。十四日。三蘇木。在總門之外。曾將三枯而復三蘇。此大杉樹。梅國和尚親手植云。周圍一丈五尺。十五日。龍伏橋。在三蘇木之西。此橋元架一株之大樹。其形如龍伏。從此餘有號華嚴松普賢松文殊松普財松。象鼻巖。北斗杉。彌勒杉。天狗杉。老姥杉。　堰一。　七邑用水。

道凡三。 其往二黒川郡一道。 川一。 根ノ白石川。 橋凡二。各土橋。 其一。長三十八間。濶二間半。 其二。長五間。濶二間。

市名坂邑。 戸口凡六十一。 神社凡二。 仁和多利權現社。不レ詳二何時勸請一。 御靈神社。傳云後水尾帝。元和五年。邑民備前者勸請。或稱二石留明神一。不レ詳二何神一。 佛宇一。 文珠堂。在二寶相寺中一。不レ詳二何時創建一。 寺二。 拈華山寶相寺。曹洞宗。本郡七北田邑洞雲寺塔頭泉龍院末寺。傳云寺内有二文珠堂一。本尊慈覺大師所レ造。而光明帝。暦應中。明峯和尚結レ菴。暫居二于此一。號二妙首山寶相寺一。不レ知二何時改一レ號拈華山。後柏原帝。永正十七年。南庭和尚中興。 無量山善正寺。淨土眞宗。京都西本願寺末寺。傳云後水尾帝。寛永三年。釆光上人開山。 倉廩。 儲二蓄雜穀一。 泉一。 號二萩ノ清シミヅ水一。 道一。 往二黒川郡一道。 川一。 根白石川。 橋凡三。各土橋。 其一。長十一間。濶二間。 其二。長六間。濶二間。 其三。長五間。濶

一間半。

松森邑。 戸口凡三十八。號二安彥川原一。地產二菜菔一。名產也。矢野善三郎定教采邑。 神社凡二。 熊野神社。在二清水寺中一。不レ詳二何時勸請一。 鹿島神社。不レ詳二何時勸請一。 佛宇凡二。 阿彌陀堂。不レ詳二何時創建一。 藥師堂。同上。 寺一。 松森山淸水寺。曹洞宗。仙臺府下保壽寺末寺。傳云往古天台宗也。後光明帝。承應中。保壽寺七世林中和尚中興開山。改二宗曹洞一。有レ後。陽成帝。文祿三年二月十七日。貞山君賜下寄附之地上。書二而今無一寄附之地一。不レ詳下何時以二何故一公收耶否上。 古壘一。傳云國分彥九郎盛重所レ居。標幟塲凡五。（正月三日。野娥始有二野鷄追鳥一。建二標幟一。列卒覘レ之追二野鷄一。方言呼レ之曰二鳥追一。） 陳ヵ森。每歲正月三日。邦君使下諸隊將率二諸部之列卒一。入二山林一逐レ雉。曰二之野始逐鳥獵一。頗用二戰陣之式一。獲レ雉者。曰二之扳ヌキ鳥一。獲自二一番一至二三番一。賜二銀錢三文一。其餘賜二一文一。擬下軍中獲二首級一者上。其式畢。晨。邦君到二本郡燕澤邑一。號二案内一地上。而建二標幟一

踞床机。諸士各騎馬。過君前畢。旗本步卒百人前列。發迹砲二回。吹七五三之螺三通。而邦君登本郡岩切邑諏訪森。而建標幟。臨視諸隊逐雉。曰之一番標幟場。諸隊總司。曰之山奉行。進幟吹螺。諸隊從之。各守其所。驅馳入山林逐鳥。總司使使番兩騎指揮之。以紅白旗為標。凡如此十有一處。其次標幟場。同邑鳥居岫。曰之二番。其次三番同邑花立。其次四番同邑高森。其次五番同邑入生田森。其次六番同邑相馬坂。此處乃七番標幟場也。逐鳥既畢。邦君入假營。垂帷幕。凡用陣營之式。炙所獲之雉。賜餉於諸隊將。吹凱陣之螺三通歸城。松木澤八番標幟場。蠶森九番標幟場。古館十番標幟場。勝澤十一番標幟場。假營場。堀一。岩切小鶴燕澤三邑用水。堤凡八。本邑及市名坂兩邑用水。道凡二。其往黒川郡道。川一。根白石川。橋一。土橋。長六間半。濶一間半。

鶴谷邑。戸口凡二十七。神社一。志賀神社。不詳何時勧請。

堀一。本郡岩切燕澤兩邑用水。橋一。土橋。長八間。濶一間半。

小田原邑。戸口凡二十七。神社凡二。神明宮。不詳何時勧請。青柳明神社。不詳何時祭何神。寺一。閑元山万壽寺。詳仙臺府條下。名所凡二。玉田横野。万壽寺以東至躑躅岡。曰之横野。玉田今不詳何處。疑玉田泉其地乎。玉田清水。名跡志曰。万壽寺中有幽泉。曰之玉田清水。今為塔頭三昧院地是也。其下流與小田原溝水會。曰之玉田川。川一。梅田川。源出自玉田清泉及本邑處々之澤。末流號藤川。會本郡苦竹邑平渡戸川。橋一。土橋。長六間。濶一間半。

苦竹邑。戸口凡八十五。佛宇一。大日堂。本尊石碑。有大日之梵字。記曰。元弘二年建之。堂宇不詳何時何人所造也。希文按。元弘之號。花園帝御宇。而二年乃光嚴帝。正慶元年也。孝子一

人。邑民十右衛門。車繫舟致孝。今上帝。寶暦十一年三月。賜金賞之。　倉廩。自本郡涌生濱。舟送諸郡之米。滿于此倉廩。以牛車運送國府。　川凡二。　平渡戸川。自國府六番町流來。會福田町川。　藤川。源出自本郡小田原邑。號梅田川。　橋凡二。各土橋。　其一。長十四間。濶二間半。　其二。長十間。濶二間。

南目邑。　戸口凡八十三。有號原町驛。　佛宇凡二。　觀音堂。本尊千手觀音。正觀音。勢至。毘首羯摩所造也。傳云後光明帝。慶安二年三月十七日夜。仙臺府下北八番町先驅步卒將。白根澤喜兵衛（諱不傳）。與次郎七者。（靈元帝。延寶八年。爲與 且稱加藤作左衛門。）夢中有此三尊在本郡七北田邑大澤山中之佛。託翌日入彼山中。探索而獲之以歸。安置于其家。終禪安置靈佛於俗家。附託其弟修驗清光院永證。後西帝。明暦元年。永證請之公廳。賜地。造營堂宇。安置之。永證爲別當。號慈眼山清光院。　釋迦堂。在榴岡。詳仙臺府條下。　寺一。

江國山陽雲寺。曹洞宗。仙臺府下尼寺末寺。傳云後陽成帝。慶長二年。尼寺第二世達永正信和尚開山。　忠僕一人。邑民和吉。奴隸吉傳治。仕主人。盡心力致忠。今上帝。寶暦十一年十一月。賜金賞之。　古壘一。　號北目館。傳曰。古昔北目氏（名諱不傳）。所居。　倉廩。儲蓄雜穀。　名所凡二。　宮城野。或曰本荒郷。萩花。金鐘蟲名產也。名跡志曰。木下林北廣野。天下古今所稱者是也。平原渺々。嵩野芊々。原上錦萩。古今專其佳名。女郎花。我亦香。藤袴。刈萱。桔梗。及無名野草無數秋花。以百數焉。又雲雀。鷙鵜。殊多。或巢或育。東則海水淼々。有千家鹽釜。松浦島。末松山。浮島。壺碑。興井等之名區。而襟帶于其中。南則有茂山。千貫松。笠島。武隈等之舊蹤。而縈回于其際。西則寺院精舍森々鬱々。其木末則不忘山。東奧嶽。白石大嶽羅列峭立。北則七疑峯巒。多賀古城。利府邑落。盡入吟眸。此地乃古稱國分荘。東史所謂國分原是也。國分寺號亦皆所

以出于此莊號也。鄕人曰之生巢原。本荒鄕以宗久紀行考之。則
蓋尼寺以北其地也。或以仙臺府下本荒町爲本荒鄕者非也。
榴岡。詳仙臺府條下。 舊跡一。 宮千代塚。名跡志曰。去宮城野
東二十五六間野田中有小塚。鄕人曰之兒墓。是亦其遺蹤也。往
昔松島寺有少年。曰宮千代。容色豔冶。有才而貴重。後客死于此
野。里人哀之。爲一堆塚。芻子牧童。每過墓畔。聞塚底有人語。吟聲
最哀。怪怖告之。人往窺之。則果誦和歌前聯。曰。月者露々者草之
耳宿假里天。吟畢而太息。復有嗟嘆之聲。聞者或恐怖。或墮淚。後
松島寺僧徹翁者。往足下聯吊幽魂曰。其古曾夫與宮城野乃原。
自是鬼吟熄。行路無恙云。希文按。予嘗聞之。宮千代得和歌前聯
於宮城野。而後聯未成。熟思之不已。終發病而死。遺言葬屍于宮
城野。名跡志所記。與予所聞異。故併記于此。 植樹苑。此邑土肥。
故播諸樹之實。而培養之。忠山君世。求肥前州所產之栗。曰于布勢栗。

植之。 道凡二。 其一。往桃生郡及諸郡道。 其二。往名取郡道。
小泉邑。 戶口凡百六十。 佛宇凡二。 地藏堂。傳云肯山君世
年月不傳。有命勸化封內。造本尊及堂宇。自每歲五月朔日。晴天七日。
仙臺府下鎭岡千手院護摩供修行。 正觀音堂。傳云舊在本郡
七北田邑將監堤上。後水尾帝寬永中。別當修驗小泉山正善院
先祖移之于本邑。仙臺順禮三十三處。三十番之札處也。 寺凡
二。 護國山國分寺。詳仙臺府條下。 護國山尼寺。同上。 古壘
凡二。 其一。稱古城。詳仙臺府條下。 其二。號結城館。今悉爲畑。
惟存其遺址。名跡志曰。結城七郎館。後奈良帝。天文中。國分能登
守居之。 別莊一。義山君世經始。置火藥于此。回祿之後爲廢地。
忠山君世再興之。鑿湟補地。造營第宅。爲遊衍之地。 塚凡二。
其一。號遠候塚。傳云貞山君經始古城之地時。以遠眼鏡候眺四
方處。土人稱之曰遠候塚。希文按。名跡志言蓋古戰場乎。往時置

斥候一而望レ敵者。聽說也。　其二。號二豊隆塚一。鹹鹽之地也。　古寺跡
一。安養寺遺跡。在二本郡燕澤。國分莊小田原兩邑之界一。而屬二本邑一。
古昔有レ寺。號二安養寺一。其山號今失レ之。不レ詳二何時荒廢一。今悉爲レ畑。今
此山稱二安養寺山一。往時號二大願一者。請レ之建レ堂。安二置五智如來一。寶暦
十一年。請二本郡小田原邑之地一移レ之。其後其遺跡爲レ畑。何時此地
他邑之地。而屬二本邑一乎。不レ知三其所二以然一也。　堰凡二。　其一。號二六
郷堰一。本邑及名取郡八邑用水。　其二。號二七郷堰一。宮城郡十二邑
用水。　道凡二。　其往二名取郡一道。　堤一。　號二與兵衛堤一。小泉。燕
澤。小鶴三邑用水。
霞目邑。　戸口凡十六。　神社一。　稻荷神社。不レ詳二何時勸請一。
古壘一。　不レ詳二何人所レ居。
長喜城邑。　戸口凡十。　神社一。　神明宮。不レ詳二何時勸請一。
蒲町邑。　戸口凡十二。　神社一。　明神社。不レ詳三何時祭二何神一。

伊在邑。　戸口凡十三。
六町目邑。　戸口凡二十九。　神社一。　稻荷明神社。不レ詳二何時
勸請一。　佛宇一。　聖德太子堂。不レ詳二何時創建一。　寺一。　虎溪山
龍香院。曹洞宗。仙臺府下保壽寺末寺。傳云後陽成帝。慶長三年。
勝山和尙開山。　古碑一。　左字記二六字名號一。傳云弘法大師筆
痕也。土人呼レ之。曰二六字銘一。
荒井邑。　戸口凡七十七。山本三郎兵衛資盛采地。　神社凡三。
稻荷神社。不レ詳二何時勸請一。　熊野神社二。共同レ上。　孝子一人。
邑長幸右衛門。事二父母一致レ孝。一郷稱レ之。今上帝。明和三年三月。賜レ
金賞レ之。　沼凡六。　其一。赤沼。中分屬二本邑及岡田兩邑一。東西百
間許。南北五十間許。　其二。大沼。東西二百間許。南北六百間許。
荒濱。新濱。岡田三邑用水。　其三。丸沼。　其四。蘆沼。　其五。川戸
沼。　其六。五齋沼。共小沼也。

荒濱。戸口凡七十二。神社凡二。神明宮。不詳何時勸請。湊明神社。不詳何時勸請。寺一。海緑山淨土寺。淨土宗岩城矢目如來寺末寺。傳云後陽成帝。慶長中。專蓮社良求善的和尚開山。沼凡二。其一。境沼。東西五十間許。南北二百間許。中分閖本邑及名取郡井土兩濱。其二。長沼。東西百五十間許。南北八百間許。道凡三。其一。往名取郡道。

封內風土記卷之三畢

封内風土記卷之四

田邊希文 奉 君命撰

郡邑

宮城郡鹽釜邑。戸口凡四百三十一。此地燒藻鹽。有市店。而驛也。有號吉津地邑。民等感服背山君恩惠之渥。毎歲正月二十日。六月二十日。獻造花於鹽廟。　神社凡十一。　鹽釜社。在多賀城址十八町餘。所祭左宮武甕槌命。右宮經津主命共南面。別宮岐神西面。併三座。而號奧州一宮。正一位鹽竈大明神。不詳何時祭之。其神號出處古來所傳之說。紛々而難一定。先君背山君。請之神祇管領卜部兼連卿。草緣起。關白基凞公書之。其說始定矣。後陽成帝。慶長十二年丁未。先君貞山君。命紀州匠鶴右衛門。修造宮社。同年六月二十日。落成遷宮。背山君之世。靈元帝。貞享二年乙丑十二月。有鹽竈邑中之年租。及金二百五十兩。可毎歲計

邑中戸口。而頒賜之。且免許鹽竈市店之諸役。他邦自國之商船。材木運送之諸船。自今以來可著于此浦之命。東山帝。元祿八年乙亥八月。經始宮社造營之事。至同帝寶永元年甲申九月落成。同月十日。遷宮。寄附祭田百七十石之地。社家二十九人。賜五百五十二石餘之地。毎歲七月十日。祭禮有流鏑馬。正月二十八日。臨時祭禮。法蓮寺記云。末社有十四。東宮濱東宮明神。吉田濱吉田明神。花淵濱鼻節明神。笠神邑柏木明神。同邑浮島明神。市川邑奏社明神。南宮邑南宮明神。岩切邑冠川明神。澤乙邑小刀明神。春日邑北宮明神。赤沼邑赤沼明神。吉津邑梅宮明神。桂島松崎明神。松島明神。其處不分明。是。延寶六年。因背山君之命。尋問諸邑之古老。以記之。一說。除奏社。赤沼。松島。松崎之四社。加花淵濱大根明神。市川邑阿良波波岐明神。春日邑春日明神。鹽竈邑籬島明神之四社。　神明宮二。　其一。在一宮社地。　其二。在號小

松崎地。傳云。往古在下號二上野一地上。中古移二于今地一。其不レ詳二何時勸請一。　八幡宮。在二一宮社地一。不レ詳二何時勸請一。　住吉神社。同レ上。　稻荷社三。　其一。同レ上。　其二。稱二青木明神一。　其三。舊在下號二稻荷山一地上。中御門帝。享保中。移二于今地一。其不レ詳二何時勸請一。　籬島明神社。在二籬島一。不レ詳三何時祭二何神一。　愛宕神社。不レ詳二何時勸請一。　梅宮明神社。同レ上。　御釜社。祭二一宮三神一。同レ上。　佛宇凡九。　觀音堂三。其一。傳云。本尊行基所レ造。源賴光創建。　其二。三十三觀音。在二法蓮寺中一。不レ詳二何時創建一。　其三。在二願成寺中一。傳云。後西帝。萬治中創建。　辨財天堂。在二尾島一。不レ詳二何時創建一。　地藏堂二。　其一。在二法蓮寺傍院地藏院中一。　其二。在二慈雲寺中一。其同レ上。　大日堂。在二法蓮寺傍院相應院中一。同レ上。　藥師堂。在二東園寺中一。本尊行基作。不レ詳二何時創建一。　五智如來堂。在二雲上寺中一。同レ上。　寺凡六。　傍院凡十二。　金光明山法蓮寺。眞言宗。京都仁和寺末寺。一宮別

當。不レ詳二何時何人開山一。傳云。後奈良帝。天文中。富銘僧正中興。寄二附百五十石之地一。傍院社僧十二院。賜二百六十三石餘之地一。　相應院　法蓮寺傍院。眞言宗。以下至二和光院一。稱二故六供一。其不レ詳二何時開基一。　建立院。同レ上。　護運院。同レ上。　上壽院。同レ上。　和光院。同レ上。　文珠院。同レ上。以下至二普門院一。稱二新六供一。東山帝。寶永中開基。　豐持院。同レ上。　彌勒院。同レ上。　地藏院。同レ上。能滿院。同レ上。　普門院。同レ上。　蓮性院。眞言宗。法蓮寺末寺。不レ詳二何時何人開山一。　無量山願成寺。臨濟宗。本郡松島瑞巖寺末寺。傳云。瑞巖寺七世靈岩和尙開山。不レ詳二何時一。　松巖山東園寺。臨濟宗。瑞巖寺末寺。傳云。大林和尙開山。不レ詳二其年月一。　甘露山慈雲寺。臨濟宗。東園寺末寺。傳云。瑞巖寺五世牧叟和尙開山。不レ詳二何時一。　興壙山雲上寺。淨土宗。仙臺府下。成覺寺末寺。傳云。天道社良泰上人開山。不レ詳二其年月一。　孝子。孝婦二人。市民與次兵衞。

事繼母致孝。其妻亦尽心事姑。今上帝。明和五年九月。各賜金賞之。

神釜四。　有神釜社。傳云。神器也。　石凡三。　影向石。在七曲坂下。　腰掛石。　牛石。　川一。　祓川。　坂一。　七曲坂。　淵凡二。　其一。釜淵。在海上三十町許。傳云。往古沈神釜一口處。其二。千尋淵。傳云。御釜之傍小堀往古淵。而號千尋淵。　名所凡三。　野田玉川。自母子澤堤流來。末流入八幡川。　拋絶橋。土橋。坪浦。或曰温泉坪。傳云。往古有温泉。　舊跡凡三。　釜田。在野田玉川邊。傳云。往古埋神釜一口處。　鳥居原。岩華表柱二本在圃中。傳云。往古有岩華表。而往來之街道也。　權現山。傳云。古昔勸請熊野神地。礎石今猶存。　古壘一。　在下號寺崎上地。號駒犬古城。或曰。佐藤館。不詳何人所居。　浦凡七。　鷹巢浦。　二派浦。　笹入江浦。　末那板浦。　大木戸浦。　藤倉浦。　本吉浦。　崎凡八。寺崎。　祓崎。　大黒崎。　小黒崎。　鷲崎。　尾島崎。　琵琶崎。

女郎崎。　島凡八。　籬島。　三小島。　裸島。　引島。　在城島。内裏島。　后島。　蛇島。　倉廩。　儲蓄雜穀及材木。　橋凡七。各土橋。　其一。長十間半。濶二間。　其二。長六間半。濶二間。　其三。四。共長六間。濶二間。或一間一尺。其一曰絹絶橋。　其五。六。七。共長五間。濶二間。或一間半。

湊濱。　戸口凡二十四。　神社一。　熊野神社。不詳何時勸請。

佛宇凡二。　藥師堂。傳云。本尊慈覺大師所造。而文德帝。仁壽二年。大師草創也。　辨財天堂。不詳何時創建。　寺一。　福壽山延命寺。自在院。眞言宗。本郡鹽竈邑。法蓮寺末寺。不詳何時何人開山。　沼凡三。　古川。　前川。　細川。　傳云。以上三川。往古本郡市川邑市川之末流。而自多賀城下至本邑。商舶往來。其後。自本郡蒲生湊口至本郡國分荘苦竹邑。新開穀船通行之路。自是以來。其地爲野田或沼。

松濱。　戸口凡八十五。傳云八九十年前。邑民仁兵衛者常取海底之鰒爲產。一日爲鰐嚙脚而死。其子權右衛門。哀之欲復其讐。多年盡心。探索其鰐。遂釣之而殺焉。其頭骨及所釣之針。傳于其家。其子市之丞。七十六歲。存于今云。　神社凡二。　神明宮。傳云。後水尾帝。元和中。邑民等所勸請也。　稻荷社。傳云。靈元帝。延寶中。邑民等所勸請也。　寺一。　松東山養松院。曹洞宗。仙臺府下八塚。大林寺末寺。傳云。後西帝。明曆元年。雪橋大積和尚開山。孝子一人。邑民六右衛門。事父竭心力而致孝。靈元帝。延寶六年三月二十三日。肯山君。召之於城上。伏謁賜黃金二枚。　島凡二。

松浦島。觀迹聞老志。名跡志共云。在青松濱。佳境絕景。不減松島。往古島上。有紫藤而得佳名。今更無知之者。此濱民多以魚蝦爲業。以箸爲役。濱南斷岸千尺。長灣數仞。白浪濯石磯。碧波染沙汀。山頭有觀江臺。登此則北隅。南方。西鬮。東濱。尽入吟眸。其地。

七疑峯。和泉嶽。仙臺城。大白山。盤仞山。篠谷嶼山。不忘大築。名取。亘理。伊具。宇多。相馬諸山等也。水濱以東阮沙塢。遠漁家。曉岩相峙。長松相連。岩下有一島。上戴蒼鼠。是所謂松浦島也。東北有小島。號鷗鷺。分前後而爲兩島。其西曰舞路島。其東曰英雄島。在其北海中者。曰石巖明神。鹽竈末社也。青松濱西。曰菖蒲田。南西曰水門濱。有善逝堂。市川遠其南汀。傍有亘巖。曰之臥石。其南岩壁相連。其巖下有空洞。通行漁舟。鄉人曰之通船穴。　胄島。　崎凡四。　御殿崎。　黑崎。　鷲崎。　鴻崎。

菖蒲田濱。　戸口凡百二。　神社一。　諏訪神社。不詳何時勸請。　寺一。　三島山長養寺。臨濟宗。本郡松島瑞巖寺末寺。傳云。瑞巖寺海晏和尚開山。不詳其年月。　沼一。　阿川沼。　島凡三。　辨天島。　大黑島。　毘沙門島。

花淵濱。　戸口凡七十七。文字舊作鼻節。土人憚神名作花淵。產

見布。傳云。昔年洋中。有漂流之大木。邑民等見之。出舟數艘引之。以揚于陸。邑長次左衛門。數世之祖。請之分割。以造長八間九尺四寸。横四間四尺五寸之家。至梁。棟。柱。桁之類。悉用彼樹。而不用他木。先君嘗觀之。命其不朽敗。是以。東山帝。正德三年。賜茅以修補之。從是以爲例。每補葺。賜茅。是希世之一事也。故記之。觀迹聞老志曰。色雛島以東。阻海上二里餘。嶺上有神祠。郷俗曰花淵神社。其山下曰花淵濱。當本社東南。樹木森々。祠西則有吉田。東宮兩社。共鹽竈末社也。其下斷岩臨海地。曰明神崎。東則有三島。其一曰順風島。其二曰雀島。其三曰權現島。北濱曰代崎。皆以魚蝦爲業。南山曰新羅峯。山外海濱曰金色汀。其西南曰白沙洲。其西山中有湖水。曰阿河沼。傍有巨岩。曰立石。　神社凡四。　鼻節神社。傳云。所祭猿田彦神。鹽竈一宮末社也。不詳何時勸請。聞老志。名跡志共曰。鹽竈社家舊說云。岐神先天降于鼻節濱。延喜式所

謂。鼻節神社是也。猿田彦大神御形以鼻有節曰鼻節神社。而後遷座于鹽竈浦云。希文按。風土記殘編云。鼻節神社。圭田四十三束。所祭多力雄神也。舒明帝二年。始奉圭田行祭事。與邑人所傳不合。未審。後君子質之。　大根明神。傳云。不詳祭何神。隔百八十町許洋中有大石。稱之曰東宮。西宮。有兩社之宮形。潮汐乾時見之。　稻荷社。在同性寺中。不詳何時勸請。　白山神社。同上。　寺一。　花淵山同性寺。臨濟宗。本郡松島瑞巖寺末寺。傳云。圓滿國師雲居和尙開山。不詳其年月。本尊正觀音。地藏。共慈覺大師所造也。正觀音堂。舊在下號富岡山地。荒廢之後。安置於此寺。本郡三十三處。巡禮二十二番之札處也。　島凡十一。　高島。　雀島。　寢島。　權現島。　鍋島。　二島。　東風島。　西風島。　間風島。　小黑島。　大黑島。

吉田濱。　戶口凡五十四。　神社一。　吉田明神社。傳云。所祭猿

田彥神。鹽竈一宮末社也。不詳何時勸請。 寺一。 竹林山金剛寺。臨濟宗。本郡松島瑞巖寺末寺。傳云。海山和尚開山。不詳其年月。本尊正觀音春日作。而觀音堂。舊在號君岡地。荒廢之後。安置於此寺。本郡三十三處。巡禮二十三番之札處也。 島凡八。 惠比遜島。 竹柄島。 舞島。 白當島。 水島。 百合島。 古志島。

無毛島。

代崎。 戶口凡四十一。屬鹽竈邑。 佛宇一。 毘沙門堂。傳云。後西帝。萬治中。邑民等創建。 寺一。 海水山華航寺。臨濟宗。本郡松島瑞巖寺末寺。傳云。萬治中圓滿國師雲居和尚開山。 島凡九。 放馬島。名跡志。曰千尺之丹崕相峙。峽間之翠洞豁然。奇絕可驚。靈機可恐。相傳太古以神明所駕之良驥。而放于此地。故曰之放馬島。 葛籠島。 鞍島。 兎島。 大放火島。 小放火島。 帆立島。 惠比遜島。 遠摩島。 泉一。 雖無其名。大旱未嘗涸

乾。

東宮濱。 戶口凡六十二。自湊濱至此濱。曰七濱。 神社凡二。 東宮明神社。傳云。所祭猿田彥神。鹽竈一宮末社也。不詳何時勸請。 神明宮。不詳何時勸請。 寺一。 東宮山鳳凰庵。曹洞宗。仙臺府下八塚。大林寺末寺。傳云。後西帝萬治二年。雪橋大積和尚開山。

桂島。 戶口凡二十二。觀迹聞老志。曰在納蓑島南。青嶺翠松連。白沙素波急。其東濱曰石濱。細石錯落。疊波來去。島上有神祠。曰桂島明神。或曰。是乃松島明神也。希文按。邑民所傳有松崎明神社。而無松島明神社。崎島疑誤文字乎。未審。 神社一。 松崎明神社。傳云。鹽竈一宮末社也。不詳何時祭何神。 島凡九。 駒島。 手代島。 大言島。 小言島。 沖細島。 汀細島。 佐久島。 鍔島。 前ノ子島。

石濱。戸口凡二十。神社一。山ノ神社。傳云。後花園帝。文安中。邑民等所勸請。島一。三島。

小鶴邑。戸口凡二十五。神社二。羽黒權現社。不詳何時勸請。後水尾帝。寛永二十一年。義山君。寄附祭田二石之地。希文拔。寛永二十一年改元正保。稻荷社。不詳何時勸請。古壘一。傳云。古昔邊見丹波傳詳者所居。池一。小鶴池。傳云。往古大湖也。今水涸爲小池。號小鶴。女投身而死之處也。觀迹聞老志。曰往年有大湖。相傳多賀城下有富家。極貪婪。有一妾婦。謂小鶴子。有容色。主家待之甚刻迫。更無慈愛之意。一日使小鶴立苗。田畝頗大。負子織種焉。不追乳之。遂令背後幼兒飢死。其田畝。今在利府中以北。春日社邊田中有小丘。乃埋其死兒之地也。曰之千刈田。爾後。不堪其訶責。母亦投身于湖水死。鄉人曰之小鶴湖。近年水涸而爲野田。寔可惜哉。惟遺名于邑落耳。橋一。土橋。長六間。濶一間半。

燕澤邑。戸口凡三十。神社三。稻荷社二。其一。在善應寺中。其不詳何時勸請。熊野神社。在善應寺中。同上。佛宇一。牧島觀音堂。不詳何時創建。寺一。大雄山善應寺。臨濟宗。城州花園妙心寺末寺。傳云。東山帝。元祿中。移廢寺本州江刺郡黒石邑。天台宗長谷寺之遺號。通玄和尚開山。初號甘棠山聖德寺。中御門帝。正德中。爲雄山君牌寺。改號。天嶺和尚中興。橋一。土橋。長五間。濶一間半。松一株。周圍一丈九尺。一根生五條。偃蓋方七間餘。傳云。號般若坊。修驗者之丘木也。

岩切邑。戸口凡百十六。有號今市。餘目。地。今市步卒百二人。男女凡九百三人。馬六十五疋。神社凡九。羽黒權現社。傳云。往古伊澤左近將監家景所勸請。而不詳其年月。邦君寄附祭田二石之地。富士權現社。不詳何時勸請。若宮八幡社。同上。諏訪神社。同上。天神宮。同上。青麻權現社。本邑山中在。號青苧。

地。往古此地林麻芋。故以爲地名。有岩窟。高一丈餘。古來相傳。祭大日不動虛空藏。邑民久作者。後改稱所兵衛。其性淳朴正直。久患眼疾。遂爲瞽。不能爲稼穡之業。貧窮日逼。殆將飢渴。寬元帝。天和二年壬戌四月朔日。老人來告曰。今夜丑刻。當齋戒拜天。吾感汝性之淳朴。且憐其盲。而來。從吾所教。目疾不日而愈。言畢忽去。不知其所往。所兵衛信心徹骨。拜老人之所去。其夜齋戒沐浴。及丑刻拜天。少焉星光滿目。四邊卯木亦分明。彌凝信心。每夜拜天三十餘日。而眼疾全愈。其後彼老人復來。其相不凡。白髮朱顏。眼光衛人。問曰。汝目疾愈乎。所兵衛恐懼畏服。不能仰見之。稽顙俯伏答曰。幸蒙慈恩。眼疾得愈。不知其所謝。願聞尊翁姓名及居處。老人曰。吾昔源廷尉之臣。常陸防海存也。今改名淸悅。周流四方。姑隱于下野州山中大日窟。自今欲移住于此窟。此窟祭何神乎。所兵衛答曰。嘗祭大日不動虛空藏。老人曰。幸哉吾所念日月星

也。自今當稱三光窟。乃入窟。其窟高峻不易登。繫鐵鏁而上下。地僻去邑民之居五六里。人跡常稀。而來拜者少矣。近歲崇信之者多。設階梯於岩窟。造營宮社及拜殿。邑民設店供酒食。來拜者亦若干。奇怪之說雖不可信。姑記其所傳說者也。

餘目。傳云。後鳥羽帝。文治中。所勸請也。邦君。寄附祭田二石之地。牛頭天王社。在

志波彥神社。傳云。或稱冠川神社。鹽竈一宮末社。而同躰神也。不詳何時勸請。　祇園社。　不詳何時勸請。　佛宇一。　馬頭觀音堂。不詳何時勸請。　寺凡三。　醫王山東光寺。曹洞宗。本州岩瀨郡須賀川長錄寺末寺。傳云。古昔天台宗。而不詳何時何人開山也。長錄寺。普嶽文統和尙中興。改宗曹洞。古昔有千躰佛。後水尾帝。寬永中。羅回祿。灰燼之餘。埋在土中。邑人偶有鑿土得之者。

延壽山寶性院東福寺。在今市。天台宗。仙臺府下。光圓寺末寺。傳云。不詳往古開山僧名及年月。後西帝。明曆四年。滿海法印中

與。名文按。明曆四年。改元萬治。 福地山耕田寺。曹洞宗。仙臺府下北山。輪王寺末寺。傳云。後光明帝。承應三年。外巒和尚開山。而後水尾帝。寬永元年。本邑步卒伍長。兵藤大隅(諱不傳。)開基也。 古壘一。 高森。傳云。伊澤左近將監家景所居。名跡志曰。此地乃文治六年三月。賴朝令伊澤左近將監家景。補奧州留守。居宮城郡高森。乃以留守爲氏。通國稱之高森殿。以爲奧州留守所。人皆稱高森。曰高國府。 古跡凡六。 霧谷淵。 途絕橋。邑民往來土橋。而僅六七尺許。觀迹聞老志。名跡志共云。過今市川橋。入岩切農家處有小圯。鄉俗曰之蹈行圯。是古之所謂途絕橋也。土橋之短狹者也。誤呼其名。 十府池。名跡志曰。岩切農家高森館下有小池。池中有垂柳。柳下菅草頗多。鄉人謂之十府菅。觀迹聞老志曰。或曰今稱利府者乃古之十府地也。利與十訓相通。以上州利根川訓之登禰川者其證也。後人誤其訓而讀爲便利之利。不知利

其器之利利府。十府爲兩區。按此說聊有據。而甚得其考索。今舉古書論之。據郡名之說。(袖中抄。有以十府爲郡名之說。)則非郡名者固然。利府近邑有菅生邑。想夫往古以此地生好菅。而得地名乎。蓋鄉俗以此製莚席爲產業。自是人稱之利府菅席。亦無妨其事實也。鎌倉右大臣和歌云。(出夫木集)文席緖仁成滿天耳戀佗奴。下朽奴良之十府乃菅席。讀此和歌。始知十府菅席或染或織紋。往時有名產之稱。而多與古人之吟詠焉。據十編之說。(八雲御抄。有或爲說。名或以十編之說。)則採生于此池中者。而土人編席。以備貢者乎。故存兩說以待識者。 假妝坂。 鏡池。名跡志曰。岩切邑坂下有小池。相傳前件所謂小鶴子。將投身于湖水。觀妝于此坂上。移貌于此水面。而整其容色之處也。鄉俗曰之化粧坂。鏡池。 奧細道。觀迹聞老志曰。自古封內有東奧通行者。於名取。則在笠島邊。於宮城。則在木下西。其道路有與今相合者。有與昔異者。此地亦其地。而不分明焉。或說曰。岩切

橋北東光寺前道路是也。其下碧潭曰霧谷淵。考宗久記。則與今所通行者相同。　野始追鳥猟標幟塲凡六。(延標幟邪君嶋 之曰之多津埒)　諏訪森。　鳥屋ヶ岫。　花立。　高森。　入生田森。　相馬坂。　以上六處。其事實詳于國分莊松森邑條下。　川一。　冠川。　源出自本郡國分莊福澤。朴澤之山。經而河上日之根白石川。至本郡蒲生邑入海。土人日之今市川。引此河水以爲諸邑用水六處。號曰澤堰。田子堰。青津目堰。山王堰。中野堰。蒲生堰。　橋凡三。各土橋。　其一。長三十七間。濶二間。　其二。三。共長六間。濶二間。或一間半。

神谷澤邑。　戸口凡十七。　神社一。　熊野神社。不詳何時勸請。　寺一。　神谷山東雲院。曹洞宗。本郡岩切邑。東光寺末寺。傳云正親町帝。天正四年。雪庵思積和尚開山。　橋凡二。各土橋。　其一。長六間。濶二間。　其二。長五間。濶二間。

菅谷邑。　戸口凡四十七。　寺一。　菅谷山道安寺。曹洞宗。仙臺府下八塚。大林寺末寺。傳云。雪橋大積和尚開山。不詳其年月。　孝子二人。　其一。邑民總吉。事父母致孝。靈元帝。延寶六年三月二十三日。青山君。召之於城上。伏諾賜黄金二枚。　其二。邑民半三郎母。事姑致婦道。今上帝。明和二年十月。賜金賞之。　古壘一。傳云古昔菅谷左近(詳傳)。不居之。

澤乙邑。　戸口凡三十七。　神社一。　小刀明神社。傳云。鹽竈一宮末社也。不詳何時祭何神。　寺一。　圓明山心月寺。曹洞宗。本州膽澤郡水澤。大林寺末寺。傳云。後陽成帝。慶長四年。雲留和尚開山。　橋一。　土橋長八間。濶一間半。

飯土井邑。　戸口凡三。　神社一。　伊津薩姫神社。傳云。不詳何時勸請。古昔大社也。希文按。風土記殘編曰。伊豆佐賣神社。圭田二十八束三毛田。所祭潜咋比咩也。天武帝二年。桼圭田行神禮。有神家。巫戸等。文德實錄云。仁壽二年七月辛未。陸奥國伊豆佐

陞神授二從五位下一乃是此社乎。

利府鄉加瀨邑。　戶口凡八十八。　佛宇一。　觀音堂。在二天祥寺中一。傳云。丹溪作。不レ詳二何時創建一。　寺凡二。　八幡山楊岐寺。臨濟宗。本郡松島瑞巖寺末寺。傳云。後西帝。明曆中。圓滿國師雲居和尙開山。　雄島山天祥寺。臨濟宗。松島瑞巖寺末寺。傳云。往古號二加瀨寺一。不レ詳二何時何人開山而何宗一也。後水尾帝。寬永中。雲居和尙中興。

利府本鄉。　戶口凡五十三。有二市店一而驛也。木村藤馬信堅采邑。　神社凡三。　八幡宮。傳云。源義家朝臣東征之時自二本郡加瀨邑一射二遠箭一。其箭之到處建レ社祭レ之。稱二箭著八幡一。　白金神社。傳云。古昔多賀城主有二祈願之事一而勸二請芳野藏王權現一。不レ詳二其年月一。　雷神社。不レ詳二何時祭レ之。　寺二。　金剛山圓城寺。淨土宗。磐城專稱寺末寺。傳云。正親町帝。元龜二年。岩辨和尙開山。順陀和尙

中興。不レ詳二其年月一。邦君寄二附三十六石餘之地一。　光明山長龍寺。淨土宗。本邑圓城寺末寺。傳云。後水尾帝。元和中。順蓮社夏本上人利白和尙開山。　古壘一。　傳云。元龜之頃。留守家所レ居。　橋一。　土橋長十二間。濶二間。

利府鄉森邑。　戶口凡六十一。有二市店一而驛也。　寺凡七。　靈岳山龍藏寺。黃檗臨濟宗。城州宇治萬福寺末寺。傳云。東山帝。元祿九年。鳳山和尙開山。以二其師潮音和尙一爲二開祖一。邦君寄二附三十石之地及廩米十口一。　龍華院。無山號。　龍藏寺塔頭鳳山和尙開基。　梅岩院。同レ上。第五世北宗和尙開基。　孝德庵。同レ上。鳳山和尙開基。　三玄庵。同レ上。鶴林師開基。　大林庵。同レ上。第三世珠宗和尙開基。　久唱庵。同レ上。第四世鷲店和尙開基。　橋一。　土橋長十間。濶二間。

春日邑。　戶口凡三十一。　神社凡三。　春日神社。傳云。此社。舊

在本郡鹽竈邑。本邑之界。號一本松地。而聖武帝。神龜之頃。多賀
城主勸請倭州春日大明神。其後藤原秀衡。伊澤左近將監家景
以來高森城主。至留守相模守顯宗入道雪齋。累世造營之。爾來
漸就荒敗。靈元帝。寬文十一年。遷宮于本邑。後西帝。萬治三年五
月。邦君寄附祭田二石餘之地。　北宮明神社。傳云。所祭大巳貴
命。鹽竈一宮末社也。不詳何時勸請。　荒神社。傳云。龜山帝。文應
元年。鍛冶國豊者所勸請。　寺一。　大明山春照寺。淨土宗。本郡
利府本鄉。圓城寺末寺。傳云。後奈良帝。天文二年。良求上人門的
和尙開山。　泉一。　寒風澤泉。傳云。春日明神之御手濯。而本邑
及近邑用水也

新田邑。　戸口凡十七。　神社一。　稻荷社。不詳何時勸請。　古
寺址。傳云。往古有寺。號安樂寺。今荒廢。惟存遺址。

高橋邑。　戸口凡二十一。　佛宇一。　大日堂。傳云。後水尾帝。寬

永中。邑民等所創建也。

田中邑。　戸口凡十五。　神社一。　三所明神社。不詳何時勸請
何神。　佛宇一。　千引觀音堂。不詳何時創建。

福室邑。　戸口凡四十七。　神社凡四。　住吉神社。不詳何時勸
請。　稻荷社。同上。　新山權現社。同上。　熊野神社。同上。　佛宇
一。　觀音堂。傳云。本尊安阿彌作。不詳何時創建。　寺一。　風赤
山西光寺。臨濟宗。本郡松島瑞巖寺末寺。傳云。南朝後村上帝。正
平二年。北朝光明帝。貞和三年。四月。靈光和尙開山。　倉廩。　諸郡租米以船
運送。始納于此。而運送于蒲生邑倉廩。　古碑一。　在西光寺中。
傳云。正平親王之碑也。記曰。正平七年三月十八日立之。希文按。
正平親王未考。傳云。吉野帝皇子也。正平七年。北朝崇光帝。文和
元年也。

岡田邑。　戸口凡四十八。　神社一。　川島明神社。傳云。所祭稻

荷大明神。不レ詳二何時勸請一。　寺一。　龍田山福壽院。曹洞宗。仙臺
府下。松音寺末寺。傳云。後西帝明曆元年民國峰和尚開山。
沼凡二。　赤沼。東西百間。南北五十間。接二國分荘荒井邑一。分レ半屬二
本邑一。　前沼。方百間。　橋凡二。各土橋。　長五間。濶二間。
中野邑。　戶口凡八十。公族畠中雅樂大町平治賴泰采地。　神
社凡五。　熊野神社二。　其一。在二誓渡寺中一。今已荒敗。　其二。在下
號二神妻宅一地上。傳云。此地往古有レ寺。號二中源寺一。其不レ詳二何時勸請一。
雷神社。本邑鎮守也。不レ詳二何時祭一レ之。　甚光明神社。不レ詳二何時祭二
何神一。　神明宮。不レ詳二何時勸請一。　佛宇凡二。　阿彌陀堂。不レ詳二何
時創建一。　觀音堂。同レ上。　寺一。　中野山誓渡寺。臨濟宗。本郡松
島。瑞巖寺末寺。傳云。海翁和尚開山。不レ詳二其年月一。
八幡邑。　戶口凡四十五。公族天童備後賴根采邑。　神社凡四。
稻荷社。不レ詳二何時勸請一。　八幡宮二。　其一。公族天童備後賴

甲先祖所二勸請一。而不レ詳二其年月一。有二靈元帝。寬文中。造替梁上之古
牒一。　其二。傳云。不レ詳二何時何人之勸請一。往古此社在二末松山邊一。而
稱二末松山八幡宮一。祭日有二流鏑馬一。今邑民宅地。傍有下號二馬場一地上。及
末松山邊古昔社地。方四十間許之地。老杉一株。有二古鐘一。記曰。逵
奉レ鑄二鐘奧州末松山八幡宮一。大檀那陸奧介平景綱。大工藤原弘
光。大工加賀安吉。永仁七年二月日。又有二梁上之古牒一。記曰。大旦
那日本國主大將軍大行事陸奧介藤原景宗同藤原宗景八幡
太郎。長祿三年云云。以下略レ之。邑民傳云。宗景者留守殿也。宗景
及鐘銘所レ謂景綱者。八幡兵庫（諱不レ傳。）者之先祖也。希文按。永仁七
年。後伏見帝。正安元年也。長祿之號。後花園帝御宇也。景宗者。伊
澤左近將監家景十六世之孫。而稱二留守相模守。實當家第十三
世尙宗君之第二男也。考二留守家譜一。景宗繼二家景十五世之孫藤
王丸之家。藤王丸。後小松帝。明德中。十歲而歿。景宗。天文二十年

五月十六日卒。自天文二十年至長祿三年九十三年。而至明德改元應永之年遡考之。則百六十年也。其年數之悠久。家譜所記。固可疑。梁上古牒。記陸奥介者。亦可疑。邑民所傳。以景綱爲八幡家之先祖。梁上之文。記八幡太郎藤原宗景。則八幡家亦藤氏。而非平氏。恐別人乎。　亡太郎明神社。不詳何時祭何神。傳云。天童家先祖舊居羽州天童城時所勸請。而後陽成帝。慶長中。貞山君。賜本邑移之以祭之。　佛宇一。　櫻木觀音堂。不詳何時創建。
寺凡四。　松光山光德院。天台宗。仙臺府下光圓寺末寺。傳云。後水尾帝。寛永十三年。傳重僧都開山。　小松山不疇寺。臨濟宗。本郡松島。瑞巖寺末寺。傳云。一鑒和尚開山。不詳其年月。　末松山寶國寺。臨濟宗。松島瑞巖寺末寺。傳云。鉄牛和尚開山。不詳其年月。　末松山般若寺。八幡宮別當。眞言宗。本郡鹽竈邑法蓮寺末寺。不詳何時何人開山。　古壘一。　傳云。八幡兵庫跡傳。不者所居。

觀迹聞老志曰。伊澤四郎家景家臣。八幡兵庫居館也。　名跡凡四。　與井。觀迹聞老志。名跡志共曰。據小町和歌。則當作燒井字。八幡農家有小池。池中奇石磊磊。佳狀可愛。州人古來稱曰與石。奇絕如盆池。池中乾隅有水脈而出。是乃與井也。俗子以爲二條院讚岐沖石詠。則指此石者也。不知以潮水濕海石難乾。而比之愁人淚袖之謬也。　與井郷。一作起井觀迹聞老志。名跡志共曰。八雲御抄。有與井郷。此邑落乃其地也。文字或作起居郷。其義則愁人不眠之意。然夫木集。以起居之和歌。而混爲與井里之作。九月十三夜和歌下註曰。與之井之里。乃陸奥也。文字亦相通。和訓亦相通。意者同處。而異其字。同其訓者乎。惟撰松葉集者。分爲別處。未詳其是非焉。以同訓而姑擧之。與井里下。但於呼其名也。與井則上下之間加之字。起居則去之字。其相別也如此。不可不辨焉。以夫木集所載和歌之意考之。則其是起居字。當其義。而曾無與字

義矣。然則爲別處分明也。決當取起居之義也。與字亦據小町和歌而當作爔井矣。於與字曾無干渉也。十三夜下註。加之字者非。

都島。名跡志曰。以小町和歌考之。則爔井。都島元同處。豈異其地哉。爔井以八幡地爲是。池爲爔井。石爲都島。觀迹聞老志曰。未詳其地。或曰。桃生郡宮戸島是也。島上景致絶勝。比之京師之華麗。且宮戸。都音相近。故誤其稱呼。戸音許。俗人合訓音而呼宮戸。直爲皇都。後人不察誤。所以訓美也登者也。或曰。其說非也。其島畔有稱皇都者。郷人誇言。往古此住島奉勅蒙美名者也。仍有皇都島名。是亦不足取焉。以小町和歌考之則爔井。都島元一處。而豈異其地哉。爔井以八幡地爲是。則此島奚隔數十程耶。且夫爔井則宮城也。都島則桃生。而間海岸不合古歌非實。豈夫然耶。然則八幡名跡。池爲爔井。石爲都島。而似無障礙矣。識者辨之。〇末松山。在寶國寺中。有名木松大小九株。名跡志。觀迹聞老志。共曰。

八幡邑中有寺曰末松山寶國寺。寺後有高岡。岡上有青松數十株。是往昔舊地。去海濱二十余里。遠望入波濤。其江濱乃笠神。花淵。大六天。杳島諸山。蒿蒲田等。悉來于目前。古人所謂遠波江上之佳境。得名于茲者。堪壯觀矣。能因法師歌枕。有本。中。末三松之說。或曰。以岩切爲本松。以八幡爲末松。未詳中松之地。風土記曰。末松山在八幡之南。其山三峯。而嶺上三松秀出。自島之地市川之道見之。則嶺上之三峽。白波浩浩以爲奇觀。島之地不可曉。按今據三松秀出之說。則本。中。末名非別處。乃就此地。而當分三株之名。市川之於地名。亦考于此。則知由來之久也。　川一。　八幡川。市川之末流。傳云。往古自湊濱相連。而大河也。今爲小川。　橋凡三。各土橋。　其一。長十間。濶一間半。　其二。三。共長七間。濶一間半。

新濱。　戸口凡三十二。　神社一。　稻荷社。不詳何時勸請。　寺

一。　海見山照徳寺。浄土宗。仙臺府下八塚。成覺寺末寺。傳曰。敎
蓮社欣譽浄念和尚開山。不レ詳二其年月一。後西帝。萬治四年十一月
二十五日。浄念示レ寂。希文　按。萬治四年改二元寛文一。　橋一。　土橋
長五間。濶一間半。
蒲生邑。　戸口凡六十。有二市店一而驛也。和田左太郎爲利采邑。
神社一。　高砂神社。不レ詳三何時祭二何神一。　寺凡二。　眞光山専能
寺。浄土眞宗。京都。西本願寺末寺。傳云。正親町帝。天正九年。浄香
坊桀覺開山。　耳取山冷徳寺。天台宗。仙臺府下。光圓寺末寺。不レ
詳二何時何人開山一。　倉廩。　諸郡租米以レ船運二送之一。姑納二于此一。而
運二送于國分莊苦竹邑倉廩一。　湊一。　蒲生湊。冠川末流。至二此地一
入レ海。　橋一。　土橋長六間。濶一間半。
田子邑。　戸口凡五十三。産レ芋。其味甘美。而異二他所レ産一也。有下號二福
田一地上。有二市店一。步卒六十八人。男女凡五百四十六人。　神社凡三。

二本木明神社。不レ詳下何時勸二請何神一。社地有二白藤一。古來稱レ之。
二渡明神社。同レ上。　鳥井明神社。同レ上。今荒廢。惟存二遺址一。　佛宇
一。　四谷原觀音堂。傳云。本尊十一面觀音。弘法大師所レ造。不レ詳二
何時創建一。　寺一。　見龍山雲洞院。曹洞宗。仙臺府下。昌傳菴末
寺。傳云。後奈良帝。天文二十三年。梅菴東春和尚開山。　浦一。
多湖浦。鳥。觀迹聞老志。名跡志。共曰。鄕俗作二田子一。今據二藻鹽草一同
名多。𨼆河爲二田兒一。越中爲二多祜一。共出二萬葉集一。福田以北俗曰二田子
邑。以レ産二好芋一。而一國稱レ之。蓋以二地名一而考レ之。則江浦島嶼之地乎。
今惟見二野田邑落一而已。相濶頗朝東征之日。次二軍于玆一。東鑑。逐日
記二宿次一。而不レ及二其地一。尤可レ疑。　川一。　田子川。冠川之末流也。
橋凡四。各土橋。　其一。長二十五間。濶二間。　其二。長十間。濶二
間。　其三。長九間。濶二間。　其四。長八間。濶二間。
南宮邑。　戸口凡四十七。成田多宮友房采地。　神社凡二。　南

宮明神社。傳云。鹽竈一宮末社也。不詳何時祭何神。　諏訪神社。不詳何時勧請。　佛宇一。　觀音堂。傳云。本尊江州三井寺之觀音也。不詳何時創建。　寺一。　祝陽山慈雲寺。曹洞宗。仙臺府下八塚。龍川院末寺。傳云。武山和尚開山。不詳其年月。

山王邑。　戸口凡二十三。　神社一。　山王權現社。不詳何時勧請。

市川邑。　戸口凡三十七。　神社凡三。　麥社明神社。傳云。鹽竈一宮末社也。不詳何時祭何神。　阿良波波岐明神社。不詳何時勧請。傳云。一宮末社也。今上帝。明和七年。寄附神領二十石之地。祈之報賽者獻胜巾。未知其所以然也。　白山權現社。不詳何時勧請。　寺一。　松巖山玉泉寺。曹洞宗。仙臺府下。松音寺末寺。傳云。後陽成帝。慶長五年。傳室闇達和尚開山。　古跡凡三。　多賀城址。　名跡志曰。在市川邑南。壺碑曰。多賀城。此城神龜元年。歲

次甲子。按察使兼鎭守將軍從四位上勳四等大野朝臣東人之所置也。天平寶字六年。歲次壬寅。參議東海東山節度使從四位上仁部省卿兼按察使鎭守將軍藤原惠美朝臣朝獦修造也。有城壘古址遺礎。古瓦往往有之。好事者。採以爲之硯。足用文房具也。始稱多賀柵。（見天平九年）後記多賀城。（見寶龜十一年）至東鑑。呼多賀國府。（見文治五年）按。號多賀古城者。乃市川古碑在處。呼多賀國府者。乃岩切河北也。觀迹聞老志曰。或曰。高森。多賀國府相同。且高。多賀訓同。國府謂其總名。森指其地。實同地也。稱多賀國府地。今市以北。岩切山陰古館是也。本號高森。後遷市川多賀城于此。爾來呼高森曰多賀城。呼利府曰多賀國府。一説曰。文治六年三月十五日。賴朝令伊澤左近將監家景主當國。來居宮城郡高森。仍家景以高森爲氏。時俗又謂之留守殿者。居舘雖在高森。其任以主多賀城也。據此說。則文治中假呼高森也。賴朝次軍之地。今市川多賀城

也。是乃往昔治府仍稱國府者。不可疑焉。碑文　按。風土記殘編載
有多賀莊。今不詳何處之地。想夫謂多賀國府乎。　壺碑。在多賀
城址。自碑首至石根。六尺五分。石圍九尺六寸八分。石基九尺三
寸七分。碑後石形三稜石面平。而上題西字。濶二尺六寸四分。自
上至下四尺五分。四方爲斷。其中記曰。多賀城。去京一千五百里。
去蝦夷國界一百廿里。去常陸國界四百十二里。去下野國界二百
七十四里。去靺鞨國界三千里。此城神龜元年。歲次甲子。按察使
兼鎭守將軍從四位上勳四等大野朝臣東人之所置也。天平寶
字六年。歲次壬寅。參議東海東山節度使從四位上仁部省卿兼
按察使鎭守將軍藤原惠美朝臣朝獦修造也。天平寶字六年十
二月一日。觀迹聞老志曰。按神龜元年甲子。迺丁聖武帝元年。天
平寶字六年壬寅。丁廢帝四年。續日本記。大野東人。聖武帝。神龜
元年。爲按察使陸奥守鎭守將軍。授從四位上勳四等。天平十一

年四月壬午。爲民部卿。兼恭宮大夫。藤原惠美朝臣朝獦。孝德帝。
天平寶字四年正月癸未。爲陸奥國按察使兼鎭守將軍。授正五
位下。同月丙寅。授從四位下。同五年十月癸酉。爲仁部卿。陸奥。出
羽按察使如故。同六年十一月丁酉。爲東海東山節度使。十二月
已己。爲參議。又曰。歌枕作壺石文。或作碑。風土記殘編作坪碑。壺
苦本切音悃。爾雅宮中衖。郭璞曰。衖閤間道。詩大雅其類維何。室
家之壺。又居也。俗作壺碑非也。壺洪孤切音胡。酒器。坪蒲明切音
平。地平處。按斯碑也。以往時在城中館底而名壺碑者也。想夫或
達境内反命于京師。告逆賊蜂起于隣國。或寡兵集徒之切。急遽
倉卒之忙。預致其備。所以量遠近考多寡。定日子計來往。而標綴
急遽速之設也。風土記殘編曰。坪碑在鴻之池。爲故鎭守門碑。惠
美朝獦立之。見雲眞人清書也。記異域東邦之行程。令旅人不爲
迷途。觀迹聞老志曰。壺碑在于我東奥也久。然累世無人識其神

妙者空藏沒于古城草莽之中者幾千年。水戶黃門君。請其文字
于吾大守綱村君。令儒臣田邊氏雙鉤以還焉。未及石刻。尤可惜
矣。元祿十二年。與江定守及亡子義方。經此地。以義方術而打之
去。閱其文字。筆勢高古。字體寬閑。殆非尋常書。考之中華則蘇長
公。趙松雪之上。而陶弘景。顏魯公之亞也。未嘗見日本之字態。於
是切怪我朝有此古跡。而未嘗以此傳其妙。遺其名于後世矣。仍
告之平信如。是亦驚其妙手。時編本朝書史。乃收之篇中。予亦屢
示好事之徒說之。談本朝希有之書。爾後州人略知其奇跡也。正
德甲午春。當大守君命僕雙鉤以進之。質筆者姓名。而得其左證
于風土記殘編中。始知見雲眞人筆蹟。可謂得其時而顯者也。希
文按。水戶黃門君。乃水戶侯光圀卿也。田邊氏。乃僕父希賢也。江
定守。成田市十郞大江定守而善書。義方。佐久間洞巖子也。平信
如。本鄉與兵衛平信如而善書。頗有文才。正德甲午。中御門帝。正

德四年也。　鴻池。今崩壞無其形。淸泉僅存。有偏葉蘆。　川一。
土人呼之。曰市川。源出自利府鄉想關。而末流會八幡川。　堤一。
土人曰之市川大堤。長十一町餘。橫二町餘。　橋一。　土橋長十
二間半。濶二間。

浮島邑。　戶口凡廿七。　神社凡二。　多賀神社。傳云。古昔多賀
城主。勸請江州多賀神社。希文按。風土記殘編曰。多賀神社所祭
伊弉諾尊也。雄略帝五年。率圭田加神禮。乃謂此社乎。觀迹聞老
志。名跡志。共載浮島神社。曰。多賀城東。鹽竈西南。往昔海潮來其
下者。考古人之所詠而可知焉。今變爲野田。田上有一丘。丘上有
神祠。是乃浮島明神也。不詳祭何神。指此社乎。　大臣社。傳云鹽
竈一宮末社。而所祭源融大臣也。　佛宇一。　觀音堂。不詳何時
創建。　寺一。　浮島山法性院。曹洞宗。仙臺府下八塚。龍川院末
寺。傳曰。武山和尚開山。不詳其年月。　古壘一。　傳云。古昔浮島

大夫者所居。
高崎邑。　戶口凡二十一。　神社凡三。　神明宮。不詳何時勸請。
二渡權現社。同上。　熊野三所權現社。傳云。古昔多賀城主。所
國家安全而所勸請也。　寺一。　高崎山化度寺。曹洞宗。仙臺府
下八塚。大林寺末寺。不詳何時何人開山。大林寺雪橋和尙中興。
不傳何時。　舊跡凡二。　七堂伽藍遺址。傳云。古昔多賀城主。所
國家安榮。勸請熊野神社。造營七堂伽藍。一切經寶堂。太子堂。其
遺礎今猶存。　義經馬蹄石。在多賀城址。大石而有馬蹄痕。不詳
其所以然也。
留谷邑。　戶口凡廿七。　神社凡二。　神明宮。不詳何時勸請。
天神宮。同上。　佛宇一。　聖德太子堂。不詳何時創建。今荒廢。惟
存遺址。　寺一。　留谷山向泉院。臨濟宗。本郡松島。瑞巖寺末寺。
傳云。本尊正觀音行基作。而此寺亦其初行基開基也。中興爲臨

濟宗中興僧名。年月共不傳。　古壘一。　號櫻井館。不詳何人所
居。　名跡一。　而和久橋。見西行法師和歌。古昔有紅楓。而其後
紅楓已絕。且土人誤曰阿部松橋。背山君世有命。植楓樹五株於
橋畔。橋東小山亦多植之。名跡志曰。邑中有一圯橋。是也。靈元帝。
天和四年甲子春。背山君命植楓樹。是以西行和歌也。仍鄉人橋
曰紅葉橋。山曰紅葉山。觀迹聞老志曰。或云。面和久字本俗字。於
義理亦不通焉。鄉老曾曰。是實吹面橋也。往昔橋畔有紅楓林。邑
落秋晩。人行稍稀。唯所經過者。農夫野人。西風飄飄吹衣。紅葉紛
紛飛面。蓋風吹來。則物已分。分者紛也。仍呼之曰吹面橋。
笠神邑。　戶口凡廿六。　神社凡四。　神明宮。傳云。東山帝。元祿
中勸請。　祇園社。不傳何時勸請。　二渡權現社。同上。　柏木明
神社。不傳何時勸請何神。　佛宇一。　舟塚山觀音堂。不詳何時
創建。　寺一。　黃龍山西圖寺。臨濟宗。本郡松島。瑞巖寺末寺。傳

云。大林和尙開山。不レ詳二其年月一。　橋一。　土橋長六間。濶一間半。
大代（オホシロ）邑。　戶口凡二十八。
下馬邑。　戶口凡二。　希文按。風土記殘編。宮城郡中載レ有二磐城
莊。大村莊。多賀莊。赤瀨鄉。坪浦（在二松山之右一。出二溫泉一。）及淨光寺（鑑眞掛レ錫之地也。）妙德院（道源法師開基之地。）又源順和名抄曰。宮城郡邑有二赤瀨。磐城。大邑。多賀等數
邑一。今共不レ詳二其地一。惟有下號二多賀國府一地上。
高城本鄉。　戶口凡百五十八。有二市店一而驛也。　神社凡三。　紫
明神社。傳云。往古稱レ之。曰二松島明神一。不レ詳三何時勸二請何神一。觀迹聞
老志云。在二高城驛西樹林中一。鄉黨曰二之紫明神一。未レ詳レ祭二何神一也。或
曰二松島明神一。以レ在二桂島一爲レ是。然以二方隅一取レ之。則豈阻二遙海一離二平陸一
者。爲二鎭護地主一哉。當下以二此神祠一爲中松島地主上也。　諏訪神社。不レ詳二
何時勸請一。　愛宕神社。同レ上。　佛守一。　聖德太子堂。不レ詳二何時
創建一。　寺凡三。　松林山龍澤寺。曹洞宗。仙臺府下八塚。大林寺

末寺。傳云。後奈良帝。天文二十一年。家屋洞山和尙開山。　仁由
山長慶寺。臨濟宗。本郡松島。瑞巖寺末寺。傳云。明極和尙開山。不レ
詳二其年月一。　弘寶山歸命院。淨土宗。本郡利府。圓城寺末寺。傳云。
後陽成帝。慶長中。良鏡上人開山。　倉廩。　儲二蓄雜穀一。　古壘一。
傳云。高城豐後直晴先祖所レ居。　古寺址一。　傳云。古昔有レ寺。
號二延命寺一。高城家牌寺。而高城家移二于桃生郡小舟越邑一時。延命
寺亦從移。今存二其遺址一。　斥鹵（シホヤキバ）。　傳云。舊在二本郡鹽竈邑一。靈元帝。
貞享元年。移二于本邑一。　川一。　浦川。源出レ自二志田郡品井沼一。而至二
本邑一入レ海。傳云。東山帝。元祿七年。鑿レ之引二品井沼惡水一。　橋凡二。
各土橋。　共一。長四十五間。濶二間。蛇ガ崎。　共二。長十五間。濶二
間。愛宕下。
高城鄉磯崎邑。　戶口凡四十二。　神社凡二。　神明宮。不レ詳二何
時勸請一。　稻荷社。同レ上。　寺凡二。　東海山寶船寺。曹洞宗。本郡

高城。瀧澤寺末寺。傳云。正親町帝。永祿五年。桂菴和尚開山。　弘
誓山願立寺。淨土眞宗。仙臺府下。正樂寺末寺。傳云。後陽成帝。慶
長十五年。了桑法師開山。　倉廩。　租米及羅穀。鹽。　島一。　鷲
島。
同郷松島邑。　戸口凡七十七。丹後州天橋立。藝州嚴島。本州松
島。是稱天下三絕景之地。生石斛。垣衣。石長生。雨漏茸。名產也。
神社凡二。　八幡宮。不詳何時勸請。類聚國史。儀外奉勅宮社部
曰。舒明天皇三年七月。陸奥宮城郡松島八幡。奉勅使早艮運惟
保時疫。希文按。以是考之。則千二百年來之古社也。時疫二字不
可曉。疑有脫字。　山王權現社。在瑞巖寺中。明正帝寬永十九年
希雲居和尚造營。　佛宇凡十。　五大尊堂。在島。架二短橋。傳云。
本尊慈覺大師作佛。而堂宇亦大師創建也。後陽成帝。慶長九年。
貴門君。新造營本堂。寄附三十石之地。島中有八幡社。　明正帝。

寬永十七年。義山君建之。名跡志。觀迹聞老志共曰。大同二年。坂
上田村麻呂造營之。置五大尊。貴門君。慶長五年。攻刈田白石城。
得夢徵。仍九年十二月。使紀州艮匠鶴右衛門等修造之。有兩短
橋。其東面。則福浦。梅浦。戸倉。經島。般若。旭日。仙冠。翠柳。絵島。笘島。
白翁。九島。諸島。涵陰。其北。則實珠崎。通嗣崎。蛇崎。磯崎。曲隈。映波。
其間沙塢羨鹽之地也。群鷺浴鵜二島。並翠灣。其北則高城驛也。
希文按。貞山君實錄曰。慶長九年六月十日。有宮城郡松島五大
尊像再造。新始之式。同年十二月十五日。再造落成。有入佛之式。
千佛堂。　觀音堂。　經堂。　以上三宇。在瑞巖寺中。圓滿國師
雲居和尚建之。不詳其年月。　藥師堂。　地藏堂。　以上二宇。亦
在瑞巖寺中。中御門帝。正德中。前住夢菴和尚建之。　坐禪堂。
骨堂。　以上二宇。在御島。圓滿國師所建也。不詳其年月。　藥師
堂。　念佛堂。　以上二宇亦在御島。瑞巖寺前住天嶺和尚建之。

不詳其年月。寺凡六。　巷凡十八。　青龍山瑞巖圓福寺。臨濟宗。城州花園妙心寺末寺。傳云。淳和帝。天長五年。慈覺大師之草創。而號青龍山延福寺。其後鎌倉北條時頼入道最明寺。來于本州。宿于法身窟。與禪師約開宗。改天台爲禪林。以法身禪師爲開祖。改號圓福寺。爾來大覺。覺雄。智覺。覺滿。明極等唐僧諸禪師。相繼而住持。至第九十一世義山和尚。爲鎌倉建長寺派。自第九十二世寶堂宗中和尚。爲城州妙心寺派。後陽成帝。慶長九年。黄門君。命造營之事。同十四年三月二十六日。有上梁之賀式。方丈庭前栽朝鮮紅白梅二株。五葉松一株。詠松島乃松之齡仁此寺乃。末榮邊南牟年波經留土毛之和歌。永爲伊達家之宗廟。同年六月八日。第九十五世海晏和尚新寺開堂。後水尾帝。寬永十三年。義山君。以黄門君之遺命。招待雲居和尚。八月二十一日入院。改號瑞巖圓福寺。以雲居和尚爲中興開祖。同十五年二月。寄附二

百五十石餘之地。及佛供米百石。方丈給米五十石。山林。海上諸島等。名跡志。觀迹聞老志共曰。松島寺。乃今瑞巖寺是也。相傳。仁明帝。承和五年戊午。始開台宗。而建此寺。或曰。其始祖乃法身也。法身其氏眞壁。其名平四郎者。爲浮屠。而入于宋。受法于徑山無準。而歸朝所開地也。北條相模守時頼。修造之。號松島山圓福寺。（先是稱松島寺。）爾後稍荒廢。慶長十年乙巳。我黄門君造替寺院。新起土木。上梁乃梅邑彦左衛門家次。紀州良匠刑部左衛門國次者掌之。是歲六月癸未落成。輪奐壯麗極其美焉。請僧海晏以住。改曰瑞巖圓福禪寺。僧房十餘宇。排之左右。左房龍月。護國。寶珠。圓同。大光。聯芳。法雲。其右萬松。江月。青松。傳曲。紹隆。得住。合十三區。青山環其後。蒼瀛湛其前。寺畔有岩洞。曰法身窟。始祖坐禪于此。左方曰陽德院。右方有天麟。圓通二院。寺門左右皆市店也。比屋俱設旅舍。搆高樓。望微茫于欄外。挹幽趣于坐上。水灣艤舟地。曰之

繫舟汀。右有觀瀾亭。大守遊觀之地也。左有五大尊堂。其東濱蓋
浮群島。遊眺壯觀之美。豈夫靈隱而已哉。此亦樓觀滄海日門聽
浙江潮。未待駱賓王興焉。來遊之徒。歷覽之翟。子細可見也。希文
按。二書共曰。承和五年。始開台宗。且爲慶長十年新起土木。與寺
僧所傳不合。貞山君寶錄曰。慶長九年八月十五日。君到圓福寺。
有方丈再造之經營。而手張繩。同十年六月三日有新始材木自
紀州熊野山運送之云云。　陽德院。無山號下同。臨濟宗。有當家十七
世貞山君夫人陽德院殿靈廟。後光明帝。承應二年創建。以陽德
院殿嘗歸依雲居和尚爲開山祖。寄附百五十石之地。　天麟院。
臨濟宗。有貞山君第一女。川中島宰相兼上總介忠輝卿夫人天
麟院殿靈廟。後西帝。寬文三年創建。三住妙心大機圓應禪師洞
水和尚開山。寄附百三十石之地。　圓通院。臨濟宗。有當家十八
世義山君第二男待從兼越前守光宗君靈廟。後光明帝。正保四

年創建洞水和尚開山。寄附七十石之地。　福聚山海無量寺。在
號大澤地。臨濟宗。初號大澤山慈光院。雲居和尚開基。而寄附給
米五口。其後鵬雲和尚經營之。爲退隱之設。當家二十世肯山君
嘗來于此。命鵬雲和尚曰。雲居和尚所開之地所所多。此地當爲
和尚開山。乃改號福聚山海無量寺。寄附五十石之地。是以移慈
光院于梅浦。改號一華菴。　天童菴。臨濟宗。五大尊堂別當。傳云。
慈覺大師開基。初本郡鹽竈邑。法連寺末寺也。瑞巖寺前住洞水
和尚請法連寺。告之公府。以改宗臨濟。後西帝。寬文元年。瑞巖寺
前住鵬雲和尚再造之。以爲中興開祖。　法性院。在竹浦。臨濟宗。
後光明帝。正保四年春。號藤菴壽璋禪尼草創。而雲居和尚開山。
壽璋尼者。當家一家臣藤田但馬宗和女。而右兵衛宗嘉賀伊達相模宗直第二男。而宗和以女爲嗣。妻也。宗嘉歿後爲尼。到于松島。義山君憐之。賜壽璋生
涯二百石之地及寺地於竹浦。壽璋歿。公收二百石之地。靈元帝。

延寶七年。寄二附二十石之地一。　一華菴。在二梅浦一。臨濟宗。初在二大澤一。號二大澤山慈光院一。田中勘左衞門頁長入道會通所レ住。而雲居和尙開山。不レ詳二其年月一。會通殉死後爲二牌寺一。後西帝。萬治元年。寄二附給米五口一。東山帝。元祿十年。移二于梅浦一。改號二一華菴一。　松吟菴。在二御島一。臨濟宗。瑞巖圓福寺第九十九世圓應禪師開山。不レ詳二其年月一。有二丈六藥師木尊一。古昔有二精舍一。號二妙覺菴一。見佛上人之舊跡也。後鳥羽帝。賜二佛具法器於上人一。賴朝卿夫人二位尼歸二依上人一。寄二贈佛舍利及自書公帖一。佛舍利。公帖今藏在二瑞巖寺寶庫一。　毒龍菴。在二福浦島一。圓應禪師開山。不レ詳二年月一。本尊不動。智證大師所レ造也。傳云。辨慶護持佛。　法輪菴。同レ上。瑞巖圓福寺前住智光禪師開山。不レ詳二其年月一。　法雲菴。瑞巖寺塔頭。下皆同。瑞巖圓福寺第五世唐僧覺滿禪師開山。不レ詳二其年月一。菴前有レ石。傳云。古昔異域從山寺有二火災一。覺滿禪師以二酒水之術一滅レ之。義山君寄二附給米三口一。

青松菴。瑞巖圓福寺第六世雲岩和尙開山。不レ詳二其年月一。舊在二桃生郡深谷莊上下堤邑一。不レ詳二何時移一レ之。今彼地有レ址。土人呼レ之曰二青松宅一。義山君寄二附給米三口一。　傳曲菴。瑞巖圓福寺第五十六世古調鑑和尙開山。年月不レ傳。舊在二本郡赤沼邑一。不レ詳二何時移一レ之。義山君寄二附給米三口一。　紹隆菴。瑞巖圓福寺第九十四世陽巖和尙開山。不レ詳二其年月一。義山君寄二附給米三口一。　得住菴。瑞巖圓福寺第十一世海山和尙開山。年月不レ傳。舊在二月見崎觀瀾亭之地一。不レ詳二何時移一レ之。義山君寄二附給米三口一。　寶珠菴。覺滿禪師開山。不レ詳二其年月一。義山君寄二附給米三口一。　圓同菴。雲巖和尙開山。不レ詳二其年月一。義山君寄二附給米三口一。　護國菴。瑞巖圓福寺第四十八世天翁和尙開山。不レ詳二其年月一。義山君寄二附給米三口一。　龍月菴。覺滿禪師開山。不レ詳二其年月一。義山君寄二附給米三口一。　聯芳菴。祥月和尙開山。不レ詳二其年月一。義山君寄二附給米三口一。　萬松

菴。靈岩和尙開山。不詳其年月。義山君寄附給米三口。　江月菴。
瑞巖圓福寺第三十一世海翁和尙開山。年月不傳。舊在號天神
坊崎地。不詳何時移之。今彼地有址。土人呼之曰江月濱。義山君
寄附給米三口。　大光菴。瑞巖圓福寺第九世唐僧明極和尙開
山。年月不傳。後醍醐帝。元亨中。明極和尙來于本朝。此菴舊在寺
後林中。不詳何時移之。今彼地有址。土人呼之曰大光山。義山君
寄附給米三口。　島凡八。　御島。觀迹聞老志。名跡志共曰。名所
集作雄。歌枕作小。今從見佛傳。在竹浦東南。經水汀踏白沙而行
七八町。右旁嶺上松千樹。左邊屏風島落陰涵翠。過長橋而入幽
經。苔蘚露深。岩嵯路滑。上有坐禪堂。傍有一亭。號把不住軒。希膺
所經。往昔棲遲之處。此地乃見佛上人之故蹤也。塔婆浮圖纍纍
而植。古墳荒塚累累而列。其北岸有宮千代遺跡。宮千代事。詳于郡南日邑條下。本自
是過細逕而有骨堂。向西南壙底徹泉。收死者之遺骨散髮等之

地也。其堂後有賴賢古碑。其地也老松五六株。海風吹淅瀝。斷岸
數千仞。江波來奔騰。其北渚也幽沈寂寞。沙汀來客稀。松杉寒鴉
集。殆非凡俗塵囂之地焉。登島上者。必發悽愴悲哀之情矣。觀迹
聞老志曰。師錬依一山說。而述地名來由曰。千松島。鳥羽帝感見
佛苦錬。有敕賜來。改號御島。今以重之歌始並稱松島御島者考。
則重之乃。村上帝朝人。先見佛已百五十餘年。豈始于見佛哉。且
據和歌本記。則其名始于日本武尊而稱之者久矣。然則先是有
地名。而或書雄島。或。書小島者。至見佛之時。蒙天子之賜。而以御
字易之耶。　古碑二。　高一丈。廣三尺六寸五分。厚七寸。僧賴賢
碑。而相州鎌倉建長寺寧一山碑文及銘併書。觀迹聞老志。名跡
志共曰。賴賢乃御島住僧。其碑在御島西南。是乃其門人匡心孤
逕者。請寧一山而記老師行實之碑也。碑首有奧州妙覺菴賴賢
菴主碑銘併序十三字。用楷法而書二行。其銘乃草書。一山者。以

書名于世。今碧蘿鎖石面。文字半消滅。尤可惜。 福浦島。有菴曰海龍。圓應禪師開基。菴前有石。乃禪師坐禪石也。有熊野神社。古昔最明寺時頼廢天台宗。法身開禪之時。天台衆徒集于茲而闘。伏時頼。爾來土人呼之曰調伏塚。 屏風島。 二子島。 德浦島。 旭日島。 翁島。 經島。 崎凡八。 蛇崎。 津崎。 法師崎。 月見崎。 有邦君之假館。號觀瀾亭。 洲崎。 衆崎。 象鼻崎。 小松崎。 浦凡七。 霞浦。 梅浦。 有菴曰一華。田中勘左衛門長入道會通牌處也。寄附給米五口。詳于海無量寺條下。 竹浦。 有寺曰法性院。詳于前條。觀迹聞老志。名跡志共曰。北畔水汀。曰破浪瀉。荒笘汀。是所謂雄島笘屋不可荒河浪者。乃此地也。皆相違而近乎雄島。經象鼻岩。青春磯之苔徑而入御島。 胡桃浦。 閑浦。 德浦。 潟浦。 雜島凡十九。 九島。 長掛島。 腕崎。 江島。 青浮島。 毘沙門島。 布袋島。 大黒島。 惡比須

島。 千貫島。 般若島。 伊勢島。 雁島。 內裡島。 笑翁島。 鐙島。 鑒島。 小町島。 阿島。 山凡二。 落雁峯。觀迹聞老志。名跡志共曰。御島以西高峯秀于他山。兩峯相並而嶙峋嶄嶸。山形嶺勢望之江間。則似飛鴻展其首而張兩翼。故曰之落雁峯。其山勢之屈蟠于水汀處曰之鴻首磯。土人以其訓音之相近。誤曰之腕崎。以爲其狀如人之曲肱。而伸之其前也。誤其名于所取之義者也。 朱鳥嶺。聞老志。名跡志共曰。相並落雁峯。相傳。往古有神仙。逍遙于山中。有朱鳥常相從。故曰之朱鳥山。是亦土人誤其稱呼。曰姉取山。 坂一。 眺浪坂。聞老志。名跡志共曰。入松島地長坂也。其道路之間。江上之佳境。曲洲環浦。奇峯怪巖。隨行而盡入于眺望。就中其壯觀者。複羅之蟠根。樹林森森。落重陰幽篁猗猗藹翠色。長洲之縹緲。白沙曳素練。遠汀界碧浪。其他波間之布帆。水末之漁艇。奇絶種種。如畫。風雅之徒稱眺浪坂。是亦誤呼長

老坂。取下勞二長坂之艱難一而壯年殆至二疲老一之義上。　松一株。　退僧松。聞老志。名跡志共曰。在二眺浪坂右旁一。土人相傳。往年釋西行。爲二鳥羽帝北面一時。私通二宮女一。屢謀二密契一。宮女恐二其人言一。戒レ之以二阿漕語一。西行不レ解。退問レ人。未レ遇二識者一。自レ是雲雨相隔煩悶。而入二浮屠一周流。足跡幾遍二于諸州一。蓋欲下得二識者一而解中彼語上。意東行臻レ茲。有二一翁一牧二牛於松下一。牛齕レ草而不レ飽。翁叱レ牛曰。我牛奚阿漕也。西行勃然而驚。蕩然而喜。問二之翁一。翁曰。子爲レ誰。曰西行者也。翁曰。西行乃歌林之秀。何不レ解レ之。仍引二古歌一而答曰。伊勢海阿漕浦耳引網毛。數度波發顯乎爲。翁罵以下不レ解二此語一之拙上。西行無二以對一。自レ是乃耻退。稱二其松一而呼二西行退一。其翁乃松島明神也。聞老志又曰。此事極淺近。殊西行禁園之侍臣。歌林之翹楚。何唔二此一句一乎。西行事跡載二歌書舊記一。是亦一世之名衲也。其中紀下經二過東奧一。而相見見佛于松島一之事上。爲二荒嫗一汲二汲乎多方一者。常人不レ爲。况達人乎。以レ翁爲二松

島神一者。羨二阿古耶松故事一而牽合爲二之說一者也。今姑從二鄉說一而舉二于茲一。　橋一。　松島橋。頁玉集。載二民部卿忠教倭歌一曰。踏分不能波紫。藤開掛松島橋。今不レ詳二其處一。聞老志曰。五大堂御島外。無レ架レ橋處一。五大堂有二二短橋一。兩岸嶮仞。其横梁一斷一續。空二其間一。橋下水碧深千尺。臨者眩レ目。渡者傷レ神。人或比二之銷魂橋一。岩畔多二長松一。蓋往昔有二藤蔓一。而花陰臥二橋上一歟。御島亦有二長短橋一。而前後有二松林一。但考二之紀行一。則宗久來過之時。繩二扁舟一而通二于雄島地一焉。蔭二幽徑一之象。乃雄島尤近矣。松島之於二藤花一。忠教和歌外。雲葉集上東門院兵衛和歌。可二併考一。且夫和歌者流。詠二藤花一者。必繫レ之以二青松一。矧於二萬松鬱鬱之地一。豈無下繫二藤蔓一者上乎。故末松山。松浦島之作。多下帶二藤花一詠上レ之。

同鄉赤沼邑。　戶口凡二十九。產二鹽草一。　神社一。　鹽草明神社。不レ詳二何時祭二何神一。土人傳云。往古神生時敷二鹽草一而生。故稱レ之曰二

蕊草明神。此地多産蕊草。比他所産則甚佳。　橋一。　土橋長五間。濶一間半。

同鄕櫻渡戶邑。　戶口凡十七。

同鄕根廻邑。　戶口凡十八。　神社凡二。　羽黑權現社。不詳何時勸請。　山王權現社。同上。　佛宇一。　阿彌陀堂。不詳何時創建。　穴一。　長千四百十八間。濶二間。高八尺。是乃引品井湖水之穴。而自本郡畠谷邑號明神崎地至本邑山王權現社前。不詳何時鑿之。

同鄕初原邑。　戶口凡十七。　神社凡二。　天神宮。不詳何時勸請。　熊野權現社。同上。　泉一。　號岩泉。　川一。　櫻川。小川也。源出自本郡赤沼邑。而至高城蛇崎入海。　橋凡二。各土橋。　其一。長七間。濶二間。　其二。長六間。濶一間半。

同鄕畠谷邑。　戶口凡三十六。　神社凡二。　八幡宮。不詳何時勸請。　加茂神社。同上。　佛宇一。　觀音堂。不詳何時創建。　寺凡二。　幡谷山德藏寺。曹洞宗。仙臺府下。妙心院第二世生室長寅和尙開山。不詳其年月。　小谷山西光院。曹洞宗。黑川郡大松澤邑。長福寺末寺。傳云。心岩祖岸和尙開山。不詳其年月。

同鄕小泉邑。　戶口凡十九。　神社凡三。　和光殿。傳云。一社。而勸請首日神。熊釜大明神。八百萬神。不詳其年月。　愛宕神社。不詳何時勸請。　瀧明神社。不詳何時祭何神。　佛宇一。　藥師堂。不詳何時創建。　寺一。　翔鳳山瑞竹菴。臨濟宗。本郡富山。大仰寺末寺。傳云。往古有寺。號安養寺。不詳何時何人開山。荒廢惟存其名。洞水和尙中興。號瑞竹菴。征町家牌寺也。

同鄕竹谷邑。　戶口凡四十六。有號新町地。　佛宇凡二。　彌勒堂。在號繁見山地。不詳何時創建。　虛空藏堂。不詳何時創建。

同鄕手樽邑。　戶口凡三十四。　佛宇一。　觀音堂。傳云。本尊坂

上田村麻呂護持佛。而桓武帝。延暦中。奉勅征伐東夷。誅賊首。凱旋時所創建也。　寺一。　富山大仰寺。臨濟宗。本郡松島瑞巖寺末寺。靈元帝寛文中。圓應禪師洞水和尙開山。義山君寄附五十四石餘之地。名跡志曰。去松島東北十里餘。近境之高嶺也。上有大悲閣。平城帝大同年中。田村麻呂建三觀音堂。牧山。箟嶽。茲地是也。斯地也。特鍾東南之佳美于寺前。盡壯觀也。南極桂島。北大塚。宮戸浮于東瀛之微茫。松島聳于西巒之木末。此間俯洲之臥波間也。引素練而浩浩。群島之橫海上也。疊碧螺而點點。篆烟之縷縷者。燒藻鹽也。急雪之崩騰者。邀江風也。漁舟之分綠洋。忽生ノ乀之字勢。布帆之接碧天。更竭隱見之目力。加之洲渚之勁石。鷗之集也。林梢之點星。鷺之棲也。無邊之幽致。凝于吟眸。其富有佳美甲天下。故名曰富有嶺。　島凡三。　月星島。　松島。　卯鳥島。

同郷朴島。　東西六里。南北三里餘。戶口凡二十三。產牡蠣。名產

也。　神社一。　神明宮。不詳何時勸請。

同郷野之島。　東西七里。南北五里半。戶口凡三十八。　神社一。

熊野權現社。不詳何時勸請。　島一。土人呼之曰加波計多山。

同郷寒風澤濱。　東西十二里許。南北十五里餘。戶口凡百十七。

名跡志曰。其地雖狹小。亦商舶集會之地也。其前巨島曰朴島。產牡蠣。極巨大甘美。尤名產也。西方巨島曰野之島。巨屋富家多。東北一島曰鷹巢島。山形殊崔嵬峻嶸。屈曲壘石如一盆石。逆浪漲斷岩。潮聲鳴曲磯。皆絕勝也。　神社一。　神明宮。不詳何時勸請。

佛宇一。　觀音堂。不詳何時創建。　寺凡二。　松洞山寒澤寺。眞言宗。本郡瑞巖邑。法蓮寺末寺。傳云。寶圓法印開山。不詳其年月。　靈鷲山松林菴。臨濟宗。本郡松島。瑞巖寺末寺。傳云。寶源和尙開山。不詳其年月。

封内風土記卷之四　畢

封內風土記卷之五

田邊希文奉　君命撰

郡邑

名取郡。東限海。西隣羽州。界大峠。和津倉山。北面白山。南面白山。側角山。小東山。清水峠。外鏑山。諸山。北連宮城郡。南接柴田。亘理兩郡。東西七十七里餘。南北二十七里餘。（希文按。奥州風土記殘編云。名取郡東限青葉川。西限岩沼川。南限櫻錢渡。北限若狹山。與今之郡界不合。青葉川今之廣瀨川。岩沼川。若狹山。共今不詳其何處。）其田上下。四百十五町七畝餘。其邑上下。三千五百六十八町七段七畝餘。其貢中下。其邑六十一。（三十一邑曰南方。三十邑曰北方。）其戸三千七十八。其口三萬千三百二十四。其一萬七千四百三十男。其一萬三千八百九十四女。馬千六百三十九。郡山邑步卒五十六口。男女凡三百七十五。馬場邑步卒二十二口。男女凡百七十二。馬二十。公族秋保外記氏盛家僕居其邑者。（下倣之。）男女凡六十七口。馬二。古內賴母廣充。附屬給主士四十六口。男女凡三百三十六。家僕居其邑者男女凡千七十一口。馬廿五。茂庭璵之助秀將。家僕男女凡八十二口。總計二千百三口。馬二十二。（邑民之外也。）神社凡二百十三。佛宇凡七十九。寺凡百十八。菴一。孝子凡八人。忠僕一人。強弓手一人。倉廩三處。木倉一。社地一。古寺跡凡三。古壘凡二十。古塚凡六。古墳凡三。舊跡凡六。經塚一。塚凡十七。馬塚一。川凡二十。山一。溫泉一。瀑布凡二。嶽凡三。崎凡二。濱凡四。洞窟堂道跡一。島凡七。道凡十三。橋凡六十八。泉一。渡一。沼凡五。浦凡二。原凡二。堀凡三。堰一。石一。堰凡二。巖凡二。澤凡三。松凡九。

根岸邑。戸口凡七十四。北長町有市店而驛也。以下至新川邑。凡三十一邑曰之北方。神社凡三。神明宮。在越路鹿落阪上。以屬仙臺府內。詳府內之條下。愛宕神社。詳仙臺府內之條下。

鹽竈社。在大年寺裡。同上。佛宇凡二。觀音堂。在鹿落坂上。同上。庵空藏堂。同上。寺凡七。正宗山瑞鳳寺。臨濟宗。詳仙臺府內之條下。經部山大藏寺。曹洞宗。同上。法輪山長德寺。曹洞宗。同上。青龍山宗禪寺。曹洞宗。同上。兩足山大年寺。臨濟黃檗宗。同上。普門山瀧澤寺。曹洞宗。仙臺府下。宗禪寺末寺。傳云。正親町帝。永祿八年。大白和尚開山。菊水山蓮明院普門寺。天台宗。仙臺府下。光圓寺末寺。傳云。慈覺大師開基。不詳其年月。後西帝。明曆二年。賢譽法印中興。道凡二。其一。江府道。其二。羽州最上道。倉廩一。雜穀。木倉一。

平岡邑。戶口凡六十四。南長町有市店而驛也。神社一。新山權現社。不詳何時勸請。佛宇凡三。觀音堂。不詳何時創建。藥師堂二。共同上。寺一。南谷山福聚院。曹洞宗。仙臺府下宮澤。宗禪寺末寺。傳云。後柏原帝。永昌中。通屋和尚開山。孝

子一人。邑民半兵衛。事養父母。能供為子之職。鄉人稱之。今上帝。明和元年九月。賜金賞之。塚一。號胄塚。不詳其所以然也。或云。小人塚。相傳。仙臺城經營時。小人結黨。殺監吏。故悉擊殺之。埋其屍。舊文按。貞山君實錄曰。慶長七年壬寅三月十六日。小人。步卒等各雜役夫。鑿湟築堤。金森隱岐同勘平。不詳其諱。父子為監吏。指揮之。湟中有小人一人。晝寢者。隱岐視之。誤為役夫。戒其慢而縛之。其徒憤之。相集解其縛去。勘平怒欲執之。小人等以槍衛殺勘平。併殺被縛者。其黨六十餘人。相聚其屍。遂逐遠藤但馬。不詳諱。馳來叱之曰。汝等自以不虞之事。陷逆罪。速殺其黨之張本。而謝罪免其科。不聽。反吐惡言。退去。總司茂庭石見綱元。命諸士曰。逆徒退去城下。則悉擊殺之。他日有君之譴責。則其罪在吾一人。是以諸士追之。櫻田玄蕃元親。率從者二十餘人。追之。相戰於途中。擊殺八九人。從者六七人戰死。元親亦被創數處。逆徒等漸聚其黨

百餘人。終入二覺範寺庫裡一。（今碧岩寺地。）而據レ之。諸士圍レ之。急攻鏖二殺之一。其首百三十一級。（或七十四級。或百七十級。）岩崎太郎。丹野總內（共不レ傳。）戰死。其餘首二小田邊大學勝成。秋保攝津定重。六七人被レ創云云。（系文）少年時問二之土人一曰。小人塚爾來已五十餘年。今土人失二其傳一。曰二之加布登塚一。蓋以二胡比登。加布登。其訓音相近一誤レ之乎。　川一。廣瀨川。中流根岸。平岡兩邑界。　橋凡七。各土橋。　其一。長三十八間。横二間三尺。假橋也。　其二。長二十間。横二間。同レ上。（舊橋長八十六間。濶三間半。洪水之後爲二假橋一。）　其三。在二流木一。堀。長六間。横一間。　其四。同レ上。長五間。横一間半。　其五。同レ上。長五間。横一間。　其六。同レ上。長六間半。横二間。　其七。在二諏訪堀一。長六間。横一間。

沖野邑。　戶口凡五十三。　神社一。　八幡宮。不レ詳二何時勸請一。　寺一。　揚陸山清涼寺。曹洞宗。仙臺府下八塚。龍川院末寺。傳云。後陽成帝。慶長三年。龍川院第二世明屋和尙開山。本尊勢至觀音。慈覺大師作。仙臺順禮三十三處。第二十七番之札處也。　古寺遺址一。　傳云。古昔有レ寺。號二淸水山當圓寺一。今荒廢。惟有二其遺址一。悉爲レ圃。　古壘遺址一。　號二西館一。不レ詳二何人所一レ居。今悉爲二田圃一。

飯田邑。　戶口三十。外伊達駿河村儀。步卒四十口。凡戶口七十。　神社一。　八幡宮。不レ詳二何時勸請一。　佛宇凡二。　千體佛堂。不レ詳二何時創建一。　藥師堂。同レ上。　寺凡二。　千手山滿藏寺。眞言宗。武州江戶。彌勒寺末寺。傳云。靈元帝。延寶六年。寶鏡院圓鏡坊開山。　瑠璃山藥王寺。眞言宗。京都醍醐。報恩院末寺。傳云。明正帝。寬永十九年。觀正院開山。

日邊邑。　戶口凡四十二。　神社凡二。　八幡宮二。　其一。稱二高田八幡一。　其二稱二日宮八幡一。傳云。邑名本レ之。共不レ詳二何時勸請一。　佛宇一。　根木觀音堂。不レ詳二何時創建一。傳云。本尊慈覺大師所レ造。與二落合觀音一同木。而此像以下造二落合觀音一遺材上製レ之。故稱二根木觀

音。仙臺順禮三十三處。第二十六番之札處也。古昔有寺號本木山觀音寺。修驗者兩全院祥範中興。以來其子孫爲別當。大番士茂木家傳云。此本尊茂木家先祖所安置。而稱之茂木觀音。後人誤其訓音。附會而曰根木。今無其證。不知孰是。　寺一。　光明山德照寺。淨土眞宗。仙臺府下八塚正樂寺末寺。傳云。後水尾帝寬永中。圓壽上人開山。仙臺八塚正樂寺舊跡也。　松一。　土人曰之門松。傳云。往古歲首立門松。其後爲稻苗之鳥除。以生其根。邑民彌右衛門者之先祖。栽之而稱門松。爾來彌右衛門家。歲首直以此松爲門松。別不立松云。　川凡二。　廣瀨川。其源出自宮城郡國分莊大倉邑。仙臺川之末流也。　名取川。其源出自羽州界清水畔。經秋保。赤石。人來田。中田。至本邑。與廣瀨川會。入閖上海。

今泉邑。　戶口凡四十九。　神社凡二。　熊野神社。不詳何時勸請。　牛頭天王社。同上。　佛宇凡二。　觀音堂二。　其不詳何時

創建。　寺凡五。　如意山寶泉寺。曹洞宗。本郡宮澤宗禪寺末寺。傳云。後柏原帝。大永三年。宗禪寺第四世海印舜亘和尙開山。今泉山祐善寺。淨土眞宗。京都西本願寺末寺。傳云。後水尾帝御宇。順西上人開山。不詳其年月。　觀音山地藏院圓乘寺。天台宗。仙臺府下。光圓寺末寺。傳云。正親町帝。元龜二年三知法印開山。慈眼山地福寺。曹洞宗。本郡根岸邑。瀧澤寺末寺。傳云。瀧澤寺第五世章岳京文和尙開山。不詳其年月。　光澤山寂眞坊。淨土眞宗。本邑祐善寺末寺。傳云。靈元帝。天和中。祐念上人開山。　古壘一。　號玄蕃館。不詳何人所居。　川一。　號古川。長百二十間。橫十九間。末流細而至淘上濱。會廣瀨川。

種次邑。　戶口凡三十三。　神社一。　蛇體明神社。不詳何時祭何神。　寺一。　藥王山東禪院。曹洞宗。本郡根岸邑瀧澤寺末寺。傳云。章岳京文和尙開山。不詳其年月。

二木邑。戸口凡六十八。有下號二三本塚一地上。神社凡二。山王權現社。不レ詳二何時勸請一。稻荷社。同レ上。寺凡二。水白山長稱寺。淨土眞宗。仙臺府下八塚。正樂寺末寺。傳云。玄長上人開山。不レ詳二其年月一。茂葉山昌林寺。曹洞宗。仙臺府下。昌傳菴末寺。傳云。雲室和尙開山。不レ詳二其年月一。菴一。明恩菴。號二無山一。天台宗。本郡今泉邑。圓乘寺末寺。不レ詳二何時何人開山一。古塚一。號二龜塚一。古來之塚也。不レ詳二其所一以然一。橋凡二。各土橋。在二三本塚一。其一。長八間。其二。長六間。橫各一間。

井土濱。戸口凡三十七。沼一。號二小牛沼一。長三町。徑二十五間。川一。號二浦川一。長九町餘。橫十間餘。橋一。長十一間。橫一丈。土橋也。

藤塚濱。戸口凡卅五。神社一。五社明神社。天照太神。賀茂。祇園。稻荷。春日。五神一社祭レ之。傳云。後冷泉帝。康平三年。源賴義

朝臣父子。奥州征伐之時。勸二請五神於常州邑松一。一社祀レ之。其後後花園帝。永享七年。宍戸。佐竹。野口。永倉合戰之時。罹二兵燹一。社家等離散。是以新開二本邑之地一遷座云。寺一。金龍山高福寺。眞言宗。仙臺府下。瀧寶寺末寺。不レ詳二何時何人開山一。

淘上濱。淘俗作二閖上一。戸口凡百五十四。有二市店一。而驛也。湊明神社。所レ祭春日大明神。不レ詳二何時勸請一。佛宇一。辨財天堂。不レ詳二何時創建一。寺凡三。淘上山觀音寺。眞言宗。仙臺府下。龍寶寺末寺。不レ詳二何時何人開山一。寺中有二後醍醐帝重祚。延元中所レ建之古碑一。然則延元以前古寺也。龍石山持法院。眞言宗。仙臺府下。龍寶寺末寺。傳云。後水尾帝。寬永中。權大僧都弥空法印開山。龍雲山東禪寺。曹洞宗。常州額田郡小場邑。常秀寺末寺。正親町帝。元龜中。全應和尙開山。橋凡三。各土橋。其一。長八間。橫七尺。與二小塚原邑一相接。其二。長九間。橫一間。同レ上。其三。

長十一間。橫七尺。同上。
小塚原邑。　戶口凡四十六。　神社凡二。　熊野神社。不詳何時勸請。　愛宕神社。同上。　佛宇一。　觀音堂。不詳何時創建。　橋凡三。各土橋。　其一。號足洗橋。長五間。橫一間。　其二。在新堀。長五間。橫八尺。　其三。在天王堀。長十間。橫七尺。與牛野邑相接。
牛野邑。　戶口凡三十三。　神社凡三。　八幡宮。不詳何時勸請。　牛頭天王社。同上。　章德[illegible]現社。不詳何時祭何神。　寺一。　牛野山法性寺。曹洞宗。仙臺府下。石名坂大安寺末寺。傳云。後西帝。明曆元年。遍岩浦天和尙開山。
大曲邑。　戶口凡二十八。　神社凡二。　八幡宮。不詳何時勸請。傳云。古昔小野兵庫頭（諱不詳）居處之鎭守也。兵庫頭不詳何人。　天神宮。同上。　寺凡二。　如來山法德寺。曹洞宗。仙臺府下。泰心院末寺。傳云。圭存和尙開山。不詳其年月。土人呼之。曰南法德寺。

如來山法德寺。眞言宗。本郡植松邑。弘誓寺末寺。不詳何時人開山。土人呼之。曰北法德寺。　孝子一人。　邑長甚三郎。雙親年老。事之致孝。奉養竭力。且與鄕民親睦。能得衆心。一鄕嘆美之。櫻町帝。延享五年（此年改元寛延）四月。賜金賞之。　川一。　號廣浦川。源出自本郡川上笠島兩邑。而入涸上湊。
高柳邑。　戶口凡二十九。　神社凡二。　多賀神社。社家傳云。景行帝二十八年戊戌春二月。日本武尊。東夷征伐之時所勸請也。雄略帝。始奉圭田行神禮式祭。社之艮方。今猶有稱神明田五段八畝之地。名跡志曰。鄕人曰之少宮。古風土記殘編云。多賀神社。圭田五十八束二字田。所祭伊弉諾尊也。雄略帝二年。始奉圭田。行神禮式祭。神名秘書曰。多賀宮伊弉諾尊洗右眼。目以出神號日豊受忌魂。亦名伊吹多主神是也。神代卷曰。伊弉諾尊。旣擇幽宮于淡路州。寂然長隱。亦曰。伊弉諾尊。登天報命。仍留宅於日之少

宮。鄕說呼若宮八幡非也。常人却泥鎌倉鶴岡。若宮。八幡神號。而日之若宮。不辨與八幡之若宮。本來且文字亦異。妄傳稱之者也。希文按。是乃延喜式神名帳。所謂多賀神社。而本郡二座之其一也。　白鳥神社。不詳何時勸請。　佛宇凡二。　藥師堂。在大聖寺中。傳云。本尊慈覺大師作。不詳何時創建。　丈六堂。其所在土人呼之。曰丈六堂原。不詳何時創建。　寺一。　高柳山大聖寺。臨濟宗。京都妙心寺末寺。傳云。徹宗和尙開山。不詳其年月。　孝子一人。　邑民六右衛門弟久之丞。事其父母能孝。一鄕稱之。櫻町帝。延享三年十月。賜金賞之。　王壇原。傳云。日本武尊。東夷征伐之時休憩之處。　地藏原。有古來之石佛地藏。

四郎丸邑。　戶口凡六十。　神社凡二。　神明宮二。　共不詳何時勸請。　佛宇一。　落合觀音堂。本尊慈覺大師所造也。傳云。後水尾帝。寬永四年。貞山君所創建。而賜廩米三口於別當修驗大

善院。號無長山落合寺。仙臺順禮三十三處之中。三十一番之札處也。名取廣瀨兩川會于玆。故曰落合。　希文按。觀迹聞老志名跡志。共爲本尊雲慶作者誤也。聞老志。爲此堂在發原邑者。亦未深考焉。　寺凡三。　法明山成就院光西寺。眞言宗。本郡植松邑。弘誓寺末寺。傳云。後水尾帝。元和二年。宥海法印開山。　曼陀羅山安養院蓮迎寺。淨土宗。仙臺府下八塚。成覺寺末寺。傳云。元和三年。經蓮社良譽上人開山。　妙體山善德寺。曹洞宗。本郡宮澤。宗禪寺末寺。傳云。此寺舊天台宗。而慈覺大師開山。乃以大師之名爲寺號。曰善應寺。中御門帝。享保四年。有命避雄山公法諱。改號善德寺。有大師所造觀音。文殊。普賢像。且古碑記天台之梵字。其後。後柏原帝。永正之比。宗禪寺第四世海印和尙中興開山。改宗曹洞。有古櫻樹二株。號雲南櫻。一株在門前二町許坤方。一株在門前南。　古塚凡二。　其一。號大宮塚。傳云。廣塚權現社地也。

其二。號庚申塚。　社地一。　傳云。蘆塚權現社地也。每歲六月十日。擔本郡吉田邑高舘。那智山權現神輿。到海上濱。採此社地蘆葉。注潮水於神輿云。　橋一。　長五間半。橫一間四尺。與發原邑相接。

發原邑。　戶口凡六十一。　寺凡二。　發室山德發寺。眞言宗。本郡植松邑。弘誓寺末寺。不詳何時何人開山。東山帝。元祿中。有譽法印中興開山。　妙音山寶林寺。淨土眞宗。京都東本願寺末寺。傳云。後水尾帝。寬永中。道願上人開山。　古塚一。　古來之塚也。不詳其所以然也。

前田邑。　戶口凡百六十一。中田町有市店而驛也。本邑古來稱名取鄉。或作名虎鄉者。訓音誤也。　神社凡三。　伊豆權現社。傳云。花山帝御宇。中津川源義氏所祭之神也。有棟梁古牒。記云天文七年三月二十一日。柿沼七郎建立。希文按。天文之號。後奈良

帝御宇也。柿沼七郎者。乃忠義之孫也。名跡志曰。前田橋西有舘址。土人曰之前田舘。門前設調馬埓。北西有湟址。佐々木勘解由者舊舘也。郭西祀伊豆權現。古昔中津川義氏。遇讒配東國。置之石獄。其獄址今猶在。配流已三歲。遇赦歸。主人竭力好遇。感厚意。臨別。與氏號。劇實名。改柿沼忠義。後孫降民間。往昔之刺史。牧伯。等。世所與之印璽花押。傳在家。今藏故文書五篇。按義氏事實出稗說。與鄉人所傳不同。其舘主文田四郎高綱者也。以實名考之。是亦佐々木餘流乎。其地今曰前田橋西宅（ニシヤシキ）。後裔雖降民間。保故舘址而不失舊墟。可謂厚矣。希文按。今邑民九兵衛。武次右衛門者。乃其後裔也。　熊野神社。在明川寺。不詳何時勸請。　愛宕神社。在寶泉寺中。後西帝。寬文七年八月。勸請。　佛宇凡三。　釋迦觀音堂。安置兩佛於一堂。後水尾帝。慶長三年創建。觀音十一面觀音。而本郡順禮三十三處。第一番之札處也。　觀音堂。在寶泉

寺中。後西帝。寬文七年八月創建。本郡順禮三十三番之札處也。　十王堂。在二寶泉寺中一。不レ詳二何時創建一。　寺凡二。熊野山明川寺。曹洞宗。仙臺府下。大安寺末寺。傳云。初號二熊林寺一。後光明帝。正保中。玉祝和尚開山。靈元帝。天和三年。大安寺二世通岩和尚中興。改號二明川寺一。　圓福山寶泉寺。眞言宗。本郡熊野堂邑。新宮寺末寺。不レ詳二何時何人開山一。正親町帝。天正十九年。正識法印中興。　孝子兄弟二人。　中田驛。邑民傳三郎及弟六之助。兄弟相共自レ幼事二父母一致レ孝。父歿後奉二養老母一竭レ力。六之助爲二人之奴隷一。其暇日必來助レ兄。共愛二養之一。兄弟共與二親族一睦。與二鄕民一和。且勵二農業一。未レ輸二賦稅一則不レ嘗二聊私用一之。鄕黨稱レ之。今上帝。寶曆四年閏二月。各賜レ金賞レ之。　名取老女舊跡。　在二路東三町一。傳云。古昔老女夫婦所レ居也。　古塚。　小石塚也。傳云。老女祭レ鳥處也。有下號二鳥鵲宮宅(カサヽギ ミヤヤシキ)一地上。邑民源右衛門者居レ之。是乃老女之裔孫也。名

跡志曰。老女叢祠在二新宮東一里餘一。今猶存。去レ此一町餘。往時建二神鳥祠一祭レ之。曰二鳥宮宅一。乃古之棲遲處。鳥乃以二熊野之使令一也。爺
文按。熊野堂邑三社緣起。龍寶寺前住寶畯法印撰レ之曰。規二同郡前田邑老巫遺蹤一。新造二老巫祠一。土人呼爲二鳥宮一。與二邑民所レ傳不レ合。姑記レ之備二參考一。　川凡二。　上古川。本邑及大野田。柳生三邑相接。往古洪水。名取川所レ流塞爲レ渚。曰二之古川一。下同。　下古川。屬二本邑一。　前田堀。本邑。內泉所二涌出一。大小十有六處。本邑及四郎丸。高柳。大曲。牛野。小塚原。溜上。下餘田八邑之用水也。　橋凡三。各土橋。　其一。長九十六間。橫三間。號二中田橋一。　其二。在二淸水堀一。長五間。橫三間。　其三。在二大曲堀一。長五間。橫一間。

柳生邑。　戶口凡六十九。產レ紙。　神社凡七。　天神宮。傳云。後水尾帝。寬永中勸請。　八幡宮。同レ上。　新山權現社。同レ上。　熊野神社。不レ詳二何時勸請一。　稻荷社。同レ上。　雷神社。同レ上。　伊豆權現社。

同レ上。社中併安二置藥師佛一。佛宇一。藥師堂。不レ詳二何時創建一。
寺一。藥茂山柳生寺。曹洞宗。本郡吉田邑。秀麓齋末寺。傳云。後
陽成帝。天正十五年。秀麓齋第三世實山和尚開山。古寺跡。傳
云。古昔有レ寺。號二延命寺一。失二其山號一。有二古碑一。凡記二後宇多帝。弘安以
前之年號一。四百餘年來之古寺也。今荒廢。惟存二遺址一。川一。名
取川。偏岸屬二本邑一。名跡志曰。水源有レ二。一乃出レ自二同郡二道清泉（フタツノシミツ）
嶺（ダウケ）一經二邑落一而東流。至二洶上濱一而入二于海一。一乃出レ自二吾妻岳ノ下行澤（ナメサハ）一。
而合二于野尻地一。其河流過二中田驛北一。仍曰二中田川一。夏秋之交設二魚
簗一。入二數罟一以捕二細鱗一。漁レ鮭。又世稱二埋木灰一者。蓋二河流沈木一。用レ之。其
色紫赤。於二歌林一亦自レ古特賞二吟之一者多。風土記殘編曰。名取川貢二
鱒。鮭。鯉等一。又出二怪石。水材一。奉二宮家一。（今不レ出レ鯉。水材者。乃沈木也。）
郡山邑。戸口凡六十七。歩卒五十六口。男女凡三百七十五。土
人呼レ之。曰二諏訪歩卒一。神社凡三。諏訪神社。不レ詳二何時勸請一。嘗

社往古之門前。有下記二花園帝。延慶三年所レ建古碑上。以レ是考レ之。則延
慶以前之古社也。牛頭天王社。不レ詳二何時勸請一。春日神社。同レ
上。傳云。古昔在二粟野大膳（諱不レ傳。）所レ居之壘內一。後花園帝。寬正二年
三月十九日。宥便法印中興造建。有二神木老杉一一樹。周匝二丈餘。
土人稱二之北目大杉一。古壘一。號二北目城一。名跡志曰。是亦粟野
大膳故館也。慶長中。黃門君在二此城一。川一。笊川。源出レ自二本郡
富澤邑海老澤一而至二本邑一。會二名取川一。
大野田邑。戸口凡四十五。神社凡二。春日神社。不レ詳二何時
勸請一。寶量權現社。同レ上。佛宇一。觀音堂。本尊正觀音定朝
作。傳云。古昔有レ寺。天台宗。號二大龍山名取寺一。清和帝。貞觀中。圓仁
慈覺大師開基。其後荒廢已久。正親町帝。天正中。舜雅僧正中興。
後陽成帝。慶長中。本山派修驗善性院爲二別當一。至二現住威德院元
快一。凡五世也。東山帝。元祿十二年。以二其古跡一。背山君有下可レ稱二舊

號大龍山名取寺之命有什物弘法大師作地藏尊。自將軍家所賜武州淺草觀榮之千手觀音。覺發法印之于當院。納行基菩薩眞蹟不動尊。惠心僧都眞跡三尊來迎彌陀如來。東叡山一品公辨法親王眞翰六字名號。唐僧柏岸和尙筆痕正觀音。隱元。高泉。兩和尙讃。古墳一。土人稱之曰王墳。不詳其所以然也。

富澤邑。戸口凡五十三。神社凡五。大鷹神社。不詳何時勸請。伊豆權現社。同上。熊野權現社二。共同上。稚兒社。不詳何時祭何神。佛宇凡二。藥師堂。不詳何時創建。觀音堂。同上。寺一。石立山西光寺。眞言宗。本郡熊野堂邑。新宮寺學頭末寺。不詳何時何人開山。傳云。東山帝。元祿中。宥雅法印中興。橋凡六。各土橋。在流木堀。長或六間。或五間。横各一間。

富田邑。戸口凡二十。神社凡五。天神宮。不詳何時勸請。愛宕神社。同上。牛頭天王社。同上。雲南權現社。同上。山神

社。同上。寺凡二。富藏山金昌寺。曹洞宗。宇多郡駒峯邑。金龍寺末寺。傳云。通山閣達和尙開山。不詳其年月。希文按。寺僧云。通山後陽成帝。慶長八年八月二十五日示寂。以是考之則同帝天正。文祿之比乎。柏葉山成就院。曹洞宗。仙臺府下宮澤。宗禪寺末寺。傳云。嶽翁和尙開山。不詳其年月。希文按。寺僧云。嶽翁後陽成帝。天正十五年三月十五日示寂。以是考之則正親町帝元龜。天正之初乎。

山田邑。戸口凡二十四。神社一。羽黑權現社。不詳何時勸請。

釣取邑。戸口凡三十七。有市店而驛也。神社一。八幡宮。不詳何時勸請。佛宇一。聖德太子堂。不詳何時創建。寺凡二。寶相山耕田寺。曹洞宗。仙臺府下北山。輪王寺末寺。傳云。靈元帝。天和元年三月。松岩和尙開山。醫王山釣取寺。曹洞宗。仙臺

府下北山。輪王寺末寺。傳云。仁明帝承和二年。西翁和尙開山。

橋一。　在往最上路。長六間半。橫二間。土橋也。

茂庭邑。　戶口凡百二十六。有號赤石。人來田。梨野。綱木。折立地。

茂庭。赤石。各有市店而驛也。茂庭數之助秀將采地。古來之采地

也。　神社凡八。　八幡宮。在生出森。古昔有寺。號大木山雲道寺。

茂庭數之助秀將家傳云。後鳥羽帝。文治中。源賴朝卿東征之時

所勸請也。秀將元祖河村四郎秀清。（千藤姓初丸）阿津加志山先登之

賞。賴朝卿賜本州耶麻名取兩郡內數邑。住于本邑。以爲稱號。此

社乃城中鎭守也。後陽成帝文祿三年。秀將八世祖茂庭駿河定

置（初稱秀理兵部）。弟尾張義秀再興。同帝天正十七年。定置戰死于田村

門澤城。其子上總定元（初稱兵部秀理）。幼稚。義秀爲之陣代。定元成長之後。

分與采地於義秀。爲別家。本邑茂庭家世所住。而寄附祭田。義山

君之世。易賜采地。定元遷于栗原郡一迫八樟邑。公收茂庭家所

寄附之祭田。於堤別當光明院。請之。青山君之世。寄附祭田二石

二斗之地。同世易賜舊領之地。秀將祖父數馬秀興移于本邑。

白旗神社。在生出森籠號白旗地。茂庭家傳云。元祖河村四郎秀

清及母。（二位局女京極）爲報恩祭賴朝卿神靈。　武內權現社。所祭武內

宿禰。生出八幡宮末社。而初與白旗社兩社也。何時荒廢乎。今同

社祭之。稱白旗武內大明神。　雲南權現社。不詳何時勸請。　十

二社權現社。同上。　道祖神社。同上。　貴船神社。在生出森。不詳

何時勸請。傳云。地主神也。　熊野權現社。同上。　新山權現社。同

上。　佛宇一。　觀音堂。稱峯岸觀音。傳云。古昔有寺。號峯岸寺。正

親町帝。永祿八年三月十八日。茂庭數之助秀將九世祖河村駿

河政秀。弟峯岸上野秀信所造立。而本郡三十三處。順禮第六番

之札處也。　寺凡五。　寶重山金剛寺。曹洞宗。本郡根岸邑。瀧澤

寺末寺。傳云。章岳京文和尙開山。不詳其年月。（番文）按。寺僧日。後

奈良帝。慶長十一年十一月二十一日。章岳示寂。以是考之則同帝。天正。文祿之比乎。　藥師山東陽寺。曹洞宗。本邑。金剛寺末寺。傳云。佛州長尋和尚開山。不詳其年月。　道開山東岳寺。曹洞宗。本郡根岸邑。瀧澤寺末寺。傳云。明實智鑑和尚開山。不詳其年月。希文按。寺僧云。正親町帝。天正元年三月十二日。智鑑示寂。以是考之則同帝。永祿之初乎。　阿彌陀山西福寺。眞言宗。本郡植松邑。弘誓寺末寺。傳云。靈元帝。天和中。權大僧都盛濟法印開山。瑞雲靈龜山祥岩大梅寺。臨濟宗。京都妙心寺末寺。在號綱木地。傳云。後光明帝。慶安四年。大悲圓滿國師雲居希膺和尚開山。雲居和尚嘗隱於播州勝尾山中。貞山君嘗聞其名。明正帝。寬永十三年丙子春。招之。雲居固辭不來。其夏五月。君捐館。遺命招之。義山君襲中驅价請待之。是以雲居來住于宮城郡松島瑞巖寺。十有三年。慶安三年。告老。退院來于本邑綱木山白鹿堂之舊址。白鹿

堂。貞山君嘗聞此山中有白鹿。欲捉之獻將軍家。發列卒以追之。列卒誤傷白鹿。白鹿逃斃。君大怒欲罪其傷鹿者。左右謝之。使其者延堂以贖其罪。號之曰白鹿堂。雲居來于此處。丁延堂以來三十三年也。此說本邑老民宗元者。嘗語雲居。雲居法子大總長老所記也。而結小菴居之。號瑞鹿堂。或名繫船亭。同四年。義山君爲營搆小院。改號瑞雲山祥岩寺。尋欲寄附寺領。雲居固辭不受。後西帝。明曆中。雲居口察其地。開墾新田五十石之地於宮城郡國分荒濱。請之以爲寺領。土人曰之雲居新田。東山帝。元祿中。肯山君登盤山。時增賜五十石之地。別寄附廩米五石于雲居塔所。加號稱瑞雲靈龜山祥岩大梅寺。此地有號中分水。兩郡橋。甘泉筧。甘泉筧者。山中出清泉。以筧引之。冬溫夏冷。其味甘美。故名之。兩郡橋中分水者。寺門前有小川。名取宮城兩郡界。而以川之中央爲其界。故曰其橋號兩郡橋。呼其川名中分水。　古壘凡四。　其一。號茂庭館。傳云。自茂庭家元祖河村四郎秀清至秀將八世祖駿河定置所居也。　其二。號大館。傳云。河村四郎所居。　其三。號鑿岩館。傳云。駿河定置父河村駿河叺。

秀所レ築。而其弟上野秀信所レ居也。其四。傳云。秀清之支城也。
山一。號二盤山一。或作二番山一。舊作二萬三一。大梅寺後之山。而名取宮城
兩郡之堺。舊曰二綱木山一。崎嶇羊腸陟レ之十有八町。頂上有二雲居生
前坐禪堂一。而爲二沒後塔所一。號二常寂光塔一。傳云。古昔有下號二萬二郎。萬
三郎一兄弟獵人上。萬二郎者。居二于羽州界號二二口一嶽上。萬三郎者居二于
本邑綱木山一。常獵二禽獸一爲レ業。以二萬三郎所一レ居。故稱二萬三嶽一。自二雲居
坐二禪于此頂上一以來。祭二兄弟一爲二本山之鎭守一。稱二仁王護國大權現一。
故題二塔面一有二仁王護國鑒之額一。堂中中央安二置雲居像一。左右安二置
兄弟像一。著二襄袍一持二弓矢一。其文字作二盤山一者。取下於韓愈送二李愿歸二盤谷一序。所レ
謂盤谷之間泉甘而土肥之句上。川一。御所川。在二茂庭市店近
邊一。其源出レ自二本郡涌澤一。以二鑒岸館下之堀一會二此川一。故往古邑人呼レ
之。曰二御所川一。橋一。長七間。橫二間。土橋也。
秋保鄕湯本邑。戶口凡三十三。神社一。權現社。在二大倉山一。

不レ詳二何時勸請一。佛宇一。藥師堂。在二泉明寺中一。不レ詳二何時創建一。
傳云。本尊惠心僧都作。寺一。藥湯山泉明寺。眞言宗。本郡植
松邑。弘誓寺末寺。傳云。後水尾帝。寛永二年。祐實法印開山。溫
泉一。自レ古稱二名取御湯一是也。治二諸瘡一。名跡志曰。在二名取川之上流
秋保地一。鄕黨呼二秋保溫泉一。古昔勅封。故加二御字一。以尊レ之。古詩亦有二
御湯搖蕩雙龍影句一。洞窟堂遺址。名跡志曰。在二名取溫泉北一。
洞中記二文字一曰。平治二年。鄕說曰。往時釋慈覺開二精舍于此一。時刺
史不レ好レ佛。一日出漁二獵河畔一。得二魚多一。令下寺僧荷二魚一運中細鱗上寺主
大不レ樂。捨レ寺去之二羽州一。別開レ地。今曰二寒居山立石寺一是也。此地乃
其舊址。曰二洞窟堂一。古壘一。號二小屋館一。傳云。秋保播津(諱不レ傳)所レ
居。川一。秋保川。源出レ自二羽州最上界淸水畔一而末流曰二名取
川一。橋一。臨レ淵橋。架二于秋保川一。長十五間。橫一間。土橋也。名跡
志曰。入二御湯一板橋也。過客臨レ岸下。則下流潺潺水色如レ藍。殆駭レ矚

必倚レ欄。高與尤多。曰二臨潭橋一。橋下有二大石一。高六間。長八間。廣四間。
土人曰二之八間石一。
同郷境野邑。　戸口凡三十八。　神社凡七。　月山權現社。在二大
倉山頂上一。不レ詳二何時勸請一。　奏神社。在二大倉山中央一。不レ詳二何時祭一
何神一。、羽山權現社。在二大倉山一。名取川斷崖七八丈上之岩上一。
名跡志曰。其下爲二碧潭一。祭二八幡。熊野。稻荷一。有レ寺曰二醫王山藥師寺一。
小松內大臣重盛公所レ建。不レ見二其寺跡一。今役徒居レ之。藏二古笈一。高設二
三架一。表裡朱レ之。希文按。邑民傳云。藥師寺天台宗也。後宇多帝。建
治二年六月二十九日。爲二修驗者一號二醫王山藥師寺光善院一。小松
內大臣重盛公。四世之孫廣綱。假設二役徒之姿一下向。光善院始祖
爲二先達一而同行。住二職于藥師寺一。名跡志。所レ謂古笈。乃其所レ負也。
八幡宮。在二同處一。不レ詳二何時勸請一。　稻荷社。同レ上。　熊野社。同レ上。
山王權現社。今無二其社一。遺址在二岩間一。　寺一。　溪谷山保壽寺。曹

洞宗。相州小田原。海藏寺末寺。傳云。海藏寺第五世。照山永松和
尙開山。不レ詳二其年月一。希文按。寺僧曰。開山以來歷二二百十餘年一。以レ
是考レ之。則正親町帝。永祿之初乎。　道凡二。　其一。往二柴田郡荏
谷一間道。　其二。往二宮城郡國分一道。　橋凡二。各土橋。　其一。在二往
最上一路上。長六間半。橫一間。　其二。在二關澤一。長五間半。橫一間。
同郷長袋邑。　戸口凡百三十七。有二市店一而驛也。公族秋保外記
氏盛采邑。　神社凡八。　諏訪神社。傳云。後柏原帝。永正十年。平
次太郞讚岐守彈正少弼盛房所二勸請一也。每歲七月二十七日。行二
祭禮一。有二流鏑馬之式一。　熊野神社。地主神。而諏訪神社之末社也。
傳云。伏見帝。正應三年庚寅勸請。　稻荷明神社。　雷神社。　奏
神社。　以上三神一社祭レ之。不レ詳二何時勸請一。　神明宮。本郷總鎭
守也。不レ詳二何時勸請一。傳云。此社往古在下號二並木一地上。　館明神社。本
邑鎭守也。未レ詳二何時勸請何神一。　石神。本邑鎭守。而以二大石一爲二神

體無社。石高二丈八尺。周圍六丈許。傳云。往古稱之曰名取石。近世祭之爲疱神。　寺凡二。　飯富山向泉寺。曹洞宗。本郡吉田邑。秀麓齋末寺。傳云。正親町帝。天正元年正月。安邦詮心和尙開山。　偕澤山大雲寺。曹洞宗。相州小田原。海藏寺末寺。傳云。天正十二年六月。大州梵守和尙開山。　古壘凡二。　其一。號長館。傳云。公族秋保外記氏盛。先祖平次太郎盛房所居。　其二。號楯山。傳云。古昔大曲某名諱共不傳。者所居。　古墳一。　靜子墳。傳云。源義經愛妾靜子之墓。呼其地曰淸永窪。　川凡三。　秋保川。　野川。　源出自本郡新川邑。宮城郡國分莊作並邑。兩邑深山。而至國分莊愛子村。會大倉川。名取。宮城。兩郡之界。而偏岸屬本邑。　砂金川。源出自柴田郡本砂金邑。號三方倉地。而至本郡境野邑。會秋保川。河上名取。柴田兩郡之界。而下流屬本邑。　橋凡四。各土橋。其一。架野川。長二十二間。橫二間。　其二。在前澤。長十一間半。橫

二間。　其三。在向泉寺前。長五間。橫一間半。　其四。在白澤。長五間半。橫二間。與宮城郡國分莊愛子邑相接。

同鄕馬場邑。　戶口凡七十一。有市店而驛也。號野尻地亦驛也。此處有步卒二十二口。男女凡百七十二。　馬二十。　邑民之外也。有奧羽界番所。號二口。　神社一。　愛宕神社。在上館。不詳何時勸請。　寺一。　瀧本山西光寺。眞言宗。仙臺府下龍寶寺末寺。不詳何時何人開山。　古壘凡二。　其一。號上館。傳云。平次太郎盛房。仲子賀澤左衛門諱不傳。所居。　其二。號豐後館。傳云。秋保攝津諱不傳。所居。名跡志曰。左衛門後孫曰秋保攝津。永祿中。居此館。秋保氏其先出平淸盛。歷資元長基。至基盛。始來于奧州。住名取郡秋保邑。以爲氏。其十四世有彈正直盛者。乃攝津氏始也。天正十九年。深谷月鑑。欲之最上而留義光麾下。攝津丞知留之此館。依貞山君命。令其子長門。善太夫兄弟刺之座上。殺從者數人于

浴室。君賜親翰以賞其功。　瀑布一。　秋保大瀑布。秋保川之流。而直下十二丈五尺餘。廣一丈五尺。名取川之源也。名跡志曰。在林中岑巒之地。直下十餘丈。勢如曳練如索絲。白玉碎石上。明珠跳水底。山上鋪青松。澗中交紅樹。斷岩絕壁殆非凡境。千尋錦涙轟蒼壁。萬丈銀河舞翠巒者。彷彿于茲。山中之奇觀也。　川一。號深野川。乃秋保川流也。　嶽凡三。　吾妻嶽。名跡志曰。在新川邑境。與龍駒嶽相接。秀群山甲一國。長天凝黛色。百里透青冥。西疆之大嶽。州人盡仰屏顏。故名曰東奧嶽。　龍駒嶽。名跡志曰。與吾妻嶽相並。山上無樹。唯生茆草。鄉人曰。山中有龍駒。時出而食草。往往有見之者。仍名之。　盤神山。是前文茂庭邑盤山條下。所謂古昔獵人万二郎者。所居之山也。名跡志曰。在新川西南龍駒山南。蒼崖相峙。翠屏相並。上有青松紅樹。下有屈曲瀑溪。層々峨々。數峯列亘。凡二十餘町。濕雲常生於足下。寘霧長鎖於面前。空

洞幽邃。擁斷岸峭壁。帶峯巒迸長流。渾與人境大異也。蓋時有山人。不詳產何地焉。兄曰盤次郎。弟曰盤三郎。容貌魁岸。性好田獵。常在山澤。疾走輕捷。跋涉峯巒谿澗。恰若飛仙羽客。鄉俗以為地仙之儔焉。未詳其所終也。後人祀之為山神。仍稱棲遲山岳。曰盤神山。其山西曰陽盤神。其山東曰陰盤神。山頂曰觚形嶺。後來以其遺像置于最上立石寺洞中以祭之。鄉談曰。天陰雨晦。四顧寥々。或有坎坎伐木者。其聲已數百人談笑。震林木而止。明旦求之其地。則聊無見之者矣。或偶然遇異客于幽邃之間。忽然失所在。而不知其之處。如此奇怪往々有之。蓋魑魅罔兩之類。感寂寥而臻茲乎。　橋凡三。各土橋。　其一。在往最上路越中澤。長六間。横二間。　其二。在同上深野川。長二十一間。横二間半。　其三。在同上彌五澤。長八間半。横一間半。

新川邑。　戸口凡三十二。　橋凡四。各土橋。　其一。在山田前渡

戸。長十間。横八尺。　其二。在₂鹿下渡₁。戸。長七間。横一間。　其三。在₂鍋口澤渡₁。戸。長五間。横一間。　其四。在₂野尻₁。長六間。横一間。

增田邑。　戸口凡二百八。有₂市店₁而驛也。以下至₂寺島邑₁。凡三十邑。曰₂之南方₁。　神社凡十二。　大宮明神社。所レ祭大巳貴命。不レ詳₂何時勸請₁。　諏訪明神社。不レ詳₂何時勸請₁。　荒神社。同レ上。　蛇塚妙見八幡宮。同レ上。傳云。所レ祭天御中主尊。而本邑七處祭₂七代之天神₁。其第一神也。配₂祀應神帝₁。　大塚明神社。同レ上。所レ祭天國狹槌尊。而七處天神第二神也。傳云。往古大塚也。後光明帝。慶安三年。增田市店經營之時。穿レ之而取レ土之。後爲レ圃。社亦小。而聊存₂其址₁已矣。　神明塚明神社。同レ上。所レ祭豐斟渟尊。而七處天神第三神也。往古有レ塚。是亦慶安之經營。爲₂市店₁。而惟存₂其名₁也已。　狐塚明神社。同レ上。所レ祭泥土煮尊。沙土煮尊。而七處天神第四神也。往古有レ塚。今亡。其事同レ上。　天神塚明神社。同レ上。所レ祭大戸道尊。

大戸邊尊。而七處天神第五神也。　第六天神社。同レ上。所レ祭面足尊。惶根尊。而七處天神第六神也。傳云。當社南圃有レ塚。號₂馬塚₁。往古本郡小豆島邑。牛頭天王之神事。天王神輿經₂過當社前₁時。晴天忽晦冥雷電。而神馬斃。埋レ之築レ塚。號₂馬塚₁。祈₂牛馬之疾₁有₂驗應₁云。　守宮塚神明社。同レ上。所レ祭伊弉諾尊。伊弉冊尊。而七處天神第七神也。其社今荒廢。惟有₂小塚₁而存₂其名₁而已。　雷神社。　愛宕神社。共同レ上。　佛宇一。　觀音堂。不レ詳₂何時創建₁。本郡三十三處。順禮第五番之札處也。　寺凡三。　谷田山耕龍寺。曹洞宗。越後州村上。耕雲寺末寺。傳云。後土御門帝。應仁元年。天初藥源和尚開山。柔文按。天初和尚者。當家第十一世大膳大夫持宗君第五男。而嘗爲₂輪王寺住持₁。此寺開山。持宗君卒前也。有₂持宗君考妣之靈廟及靈牌₁。　後島山東嚴寺。曹洞宗。仙臺府下。輪王寺末寺。傳云。輪王寺第八世秀山禪益和尚開山。不レ詳₂其年月₁。　月輪

山日輪寺。眞言宗。仙臺府下。龍寶寺末寺。未詳何時何人開山。 修驗一人。 妙見山大本寺廣積院。修驗者流。伊具郡金津東光院末寺。傳云。後柏原帝。大永中。智光先達之法流。豐州彦山靈山寺南谷華藏院。客僧權小僧都阿吸房法印則傳先達之徒。慈心坊祐慶開基。初號金剛院。賜十石之地。有什物春日作觀音。慈覺作勢至。弘法作地藏。定朝作彌陀。自湯殿山所出之不動。弘法所揩大威德明王。祐慶自書大般若經一卷。祐慶所持五鈷。金剛兵衛盛高作陣太刀。二尺八寸 大般若經六百卷。上 忠僕一人。 邑民平兵衛奴總勘七。奉仕竭力。能致忠勤。鄉民稱之。賜金賞之。不詳年月。 其榎一。 土人曰之一本木。周圍二丈五尺許。傳云。三百年來之老樹也。 川一。 增田川。本郡熊野堂邑六鄉大堰之分流。而入本郡潟上濱海。 橋凡三。各土橋。 其一。架增田川。長十間半。橫二間半。 其二。號舟橋。長七間。橫八尺。 其三。號水口橋。長十間。橫一間半。 道凡二。 其一。江府道。 其二。往柴田郡道。

下增田邑。 戶口凡百六十四。有號高野地。 神社凡五。 神明宮。不詳何時勸請。 稻荷社。同上。 熊野神社。同上。 雷神社。傳云。後水尾帝寬永三年勸請。 明神社。不詳何時祭何神。 佛宇凡五。 藥師堂。本尊慈覺大師作。不詳何時創建。 觀音堂。本尊德一大師作。不詳何時創建。本郡三十三處順禮第二十一番之札處也。 地藏堂。不詳何時創建。 十王堂。同上。 聖德太子堂。同上。 寺凡五。 藥師山東光寺。眞言宗。本郡植松邑。弘誓寺末寺。不詳何時何人開山。 阿彌陀山延命寺。眞言宗。弘誓寺末寺。不詳何時何人開山。 阿彌陀山高福寺。眞言宗。同上。 福聚山慈眼寺。曹洞宗。仙臺府下。泰心院末寺。不詳何時何人開山。 光明山觀音寺。眞言宗。本郡熊野堂邑。新宮寺末寺。不詳何時何人開山。 孝婦一人。 邑民長兵衛養子正兵衛妻。能事舅姑致婦

道。一鄉賞之。櫻町帝。寬保二年十二月。其生涯賜廩米十五俵賞之。川凡二。廣浦川。偏岸屬本邑。前川。古川也。周匝三百二十間餘。國俗沓川流。而今爲湖者。凡曰古川。沼一。鶖沼。周匝二百間餘。塚一。經塚。橋凡三。各土橋。其一。號城內橋。長七間半。橫一間半。其二。號柚木橋。長橫同上。其三。號飯塚橋。長橫同上。

杉袋邑。戸口凡六十三。神社一。八幡宮。傳云。靈元帝。寬文四年勸請。佛宇一。毘沙門堂。在塚上。塚高三丈五尺。周匝七十五間。不詳何時創建。寺凡二。霞景山法雲寺。曹洞宗。仙臺府下八塚。松音寺末寺。傳云。後水尾帝。寬永六年。民國麟泰和尚開山。揖袋山觀福寺。眞言宗。本郡植松邑。弘誓寺末寺。不詳何時何人開山。橋一。號懸之橋。長十一間。橫一丈。

下餘田邑。戸口凡七十三。產莞席花席等。神社凡十二。鹿

島神社。傳云。正親町帝。天正中。大內因幡[諱不傳]。者所勸請。而本邑之鎭守也。熊野三社。傳云。昔名取老女所勸請也。不詳其年月。老女事實詳于條下。白山權現社。不詳何時勸請。社地有古碑。記曰。貞和三年丁亥二月日。[希文]按。貞和之號。光明帝御宇也。神明宮二。共同上。富士權現社。同上。荒神社四。共同上。佛宇凡二。觀音堂。不詳何時創建。地藏堂。同上。寺凡二。歡喜山圓滿寺。曹洞宗。相州小田原。海藏寺末寺。傳云。後花園帝。寬正元年。海藏寺第三世太州梵守和尚開山。明正山眞福寺。曹洞宗。本邑圓滿寺末寺。傳云。後西帝。萬治元年。圓滿寺第七世一翁吞藝和尚開山。古墳一。名取老女墓。邑人傳云。七十四代鳥羽帝御宇。本邑有老女。常信崇熊野神。屢到于紀州。老衰羸憊。不能到于紀州。居宅傍建小社以拜之。偶有修驗者。尋老女所在。來宿。謂老女曰。我欲到本州。覩松島之勝景。以會崇熊野神。

先到紀州。假寢社前。夢中有二老翁。整衣冠持梛葉。告我曰。奧州名取郡有老女。汝到奧州。則當與此一葉於老女。夢覺而見之。則枕頭有一葉。採而見之。則梛葉上如蠹而有一首和歌。曰。美知登遠之歲茂以津志加老仁計利。思比乎古世與我毛忘禮志。是以感其神感之所致。尋來授彼一葉於老女。傳夢中之神託。老女拜讀。不堪感涙。曰。我自少崇熊野神。到紀州有年。今老憊不能到彼地。故建小祠。日日拜之。乃伴彼修驗到小社。共拜神命之辱。修驗者亦甚驚嘆其奇異之神感。爾來老女令名無人不稱之者。烏羽帝。保安中。別造營三社於近邑。今熊野堂邑三社是也。本邑三社。乃老女所建之叢祠也。吾文按。此鄉說與熊野堂邑三社緣起所記。大同而小異也。姑記之以備參考。緣起載于熊野堂邑三社條下。

上餘田邑。 戶口凡四十七。 神社凡二。 天神宮。不詳何時勸請。 八王子權現社。同上。 寺一。 圓通山普門寺。曹洞宗。本郡根岸邑宮澤。宗禪寺末寺。傳云。後西帝。明曆二年。宗禪寺第十三世關翁和尙開山。 孝婦一人。 邑民二兵衛妻。櫻町帝。寬保三年八月四日。其舅遇狂猪而殆危。其婦乃與之相角。舅亦助之。以鎌殺之。救其急難。其翌月賜金賞之。 鳥凡七。 土人曰之七鳥。古來有之。長或五六間或七八間。橫各可一間半。其形如舟。其間各可七間。在田中。未詳其所以然也。 經塚一。 塚上有古碑。石面記經文且應永十三年十月二十日。吾文按。應永之號。後小松帝御宇也。

田高邑。 戶口凡二十八。 神社凡二。 神明宮。不詳何時勸請。山神社。同上。 佛宇凡二。 十王堂。不詳何時創建。 阿彌陀堂。同上。 古寺址。 古昔有寺號唯道寺。失山號。 不知其宗及本寺。何時荒廢乎。惟存其遺址。爲邑民之地。 强弓手一。 御山君之世。

本邑有長之助者。膂力過人。嘗師淺州處士。曾根六左衞門入道默岑。能射一寸二分强弓。君舉之賜祿。令教射强弓者。爾來國中多射强弓者。

吉田邑。　戸口凡百十九。有號三日町地。　神社凡六。　那智山權現社。熊野堂三社之其一也。傳云。元正帝。養老三年六月。自本那閑上濱。鎭坐于本邑。稱羽黑權現。名取老女勸請。後鳥羽帝。保安中。造營那智山權現社于當山。鳥居在三處。祭料每歲寄附。廩米三石五斗。　山王權現社。那智之末社也。不詳何時勸請。　春日神社。同上。　神明宮。同上。　愛岩神社。同上。　一宮八幡宮。在修驗大光院宅中。傳云。養老以前所勸請也。　佛宇凡三。　觀音堂。傳云。三十二代用明帝御宇草創。有寺。號那智山物響寺。初號羽黑山。那智權現勸請之後。改號那智山。往古有二十四坊。及三百石寄附之地。亂世之後衆坊荒廢。其地亦失之。往古七間四面

之堂也。後光明帝。慶安二年。罹回祿。今僅方二間之假堂也。　阿彌陀堂。傳云。本尊慈覺大師作也。今三間四面之假堂也。往古有寺。攝州天王寺末寺。而號淸水山阿彌陀寺。慈覺大師之開基也。東山帝。元祿十三年以來無住。而羽黑派修驗明覺院。爲監司。改換寺號。爲修驗之院號。遂失寺號。中御門帝。享保十四年。明覺院死後。眞言宗僧定元。請本寺江府靈雲寺。稱光照菴。後柏原帝。永正三年丙寅三月。當家第十三世。大膳大夫尙宗君寄附阿彌陀寺造營之材木。其書今傳藏于光照菴云。　不動堂。不詳何時創建。　寺凡五。　天苗山秀麓寺。曹洞宗。越後州耕雲寺末寺。傳云。安祁佺心和尙開山。不詳其年月。　峻石山紹樂寺。曹洞宗。羽州山形。安養寺末寺。傳云。月岑宗碩和尙開山。不詳其年月。　永慈山長性寺。眞言宗。本郡植松邑。弘誓寺末寺。不詳何時何人開山。

那智山物響寺。眞言宗。武州江戸。彌勒寺末寺。傳云。川明帝之

御宇草創。開山僧名不傳。撥前州守佐宮慈現法印中興。不詳其年月。那智權現之別當也。永正中。當家十三世尚宗君。造營殿堂。是以安置十二世成宗君。尚宗君靈牌。二十世肯山君新奉考雄山君冥福。命誦普門品三十三萬卷。歷三年而終功。故雄山君靈牌亦安置焉。往古有二十四坊。今悉荒廢。惟存其名。有尚宗君所賜之書。及造營舊記等。無住時附託禰宜治兵衛者。肯山君世公收之。　清水山光照菴眞言宗。江府靈雲寺末寺。阿彌陀堂之別當也。傳云。其初號阿彌陀寺。慈覺大師開山也。其事實詳載于阿彌陀堂條下。　秀衡跡。　古來有此名。不詳其所以然也。今爲邑民之地。鑿之。則偶有古瓦之類。

熊野堂邑。　戸口凡百十四。有號餘方地。　神社凡二十三。　熊野新宮證誠殿。本宮十二社權現。傳云。以上二社。及本郡吉田邑那智權現社。日之三社。爲羽帝保安四年癸卯勸請。有賴朝卿以

來諸家之古文書數通。賴朝卿奉納馬具流鏑馬被闕笠。及三條小鍛治宗近作雁股鏃。社領三十石。祭料廩米三石五斗。每歲九月九日祭禮有流鏑馬。神主二人。社家七人。流鏑馬射手二人。名跡志曰。新宮。本宮。那智曰之三山。如今考之地理。則新宮本宮兩社在此邑。那智則在吉田邑。此地新宮地。別證誠殿爲新宮。西宮爲本宮。若宮殿爲那智。造三社而祭之。側有老女宮。以學頭別當司新宮外。社司六人。巫女一人。騎射二人。附之。以九月九日爲社日。本宮日之總陣堂。五郎右衛門者司之。以四月八日爲社日。祭之。那智日之高館權現。有觀音堂別當。曰物響寺。禰宜日次右衛門。以六月十日爲社日。祭之。緣起說曰。昔年名取郡有巫女。信紀州熊野三山。參詣有年。老後不堪長途。爲羽帝保安四年。勸請三山神祠於名取河南。東稱若宮殿。中號證誠殿。西宮傍建宮。日之老女祠。山頭祭高館權現。又建書逝堂及寺院十六區。頗繁昌。時。禮典無

怠。爾後。崇德帝。保延中。有役徒。欲赴奥州而遊松島。平泉。辭東行而臥于證誠殿。有少童告言。東奥有名取老女者。尊當社。多年老病不相見久矣。須憑汝傳語。且付此一品也。役徒醒來。枕上有椰葉。上有文字。乃和歌也。曰。美知登乎志土之茂伊豆支加於伊尼計里。於毛比乎古世與和連茂和須禮志。役徒東行。傳之老女。悲歎感動不覺涕涙之墮。乃引役徒示其地曰。斯地幸有三山之形勢。於是擬證誠殿。左右皆末社也。西北有原野。移飛鳥郷。西南有瀑布。象那智飛龍。名取河流。爲音無川。合其地理方角者。自然之奇遇也。役徒聞老女語對地理狀。驚曰。是乃神感之所致也。按。新古今神祇部。載熊野神詠。小同大異。上句不同。姑存以備參考。遠遼之程茂遼仁隔里奴。思比於古世與我毛忘連之。　護法善神宮。不詳何時勸請。　老女社。同上。今荒廢。惟存遺址。　八社宮。同上。　愛宕神社。在社外。不詳何時勸請。　閼伽井明神社。同

上。　稻荷社。在衆從西光坊地。同上。　石尊權現社。在學頭坊寺中。同上。　神明宮。同上。　日月社。在邑民之地。同上。　飛鳥明神社。同上。　第六天神社。同上。　音無天神社。同上。傳云。神體菅丞相所自作也。　春日神社。同上。　住吉神社。同上。　佛宇凡六。辨財天堂。不詳何時創建。　文珠堂。傳云。聖武帝。天正中。行基菩薩之開基。而本尊同作之秘佛。勅願處也。往古自諸國。奉納書寫之一切經三千餘卷。歷年之久。蠹喰損失許多。今所有者二千卷許。稱德帝。天平神護以來。至光明帝貞和之間。奉納施主姓名歳月簡書今猶存。一切經中有記寶龜三年天台山主覺道律師上人經。希文按。寶龜之號。光仁帝。踐祚元年也。　金剛童子堂。在別當坊寺中。不詳何時創建。　太子堂。在邑民之地。同上。　地藏堂。在衆徒往生院地。同上。傳云。本尊行基菩薩作。　鐘樓。傳云。飛彈工匠所造也。鐘銘曰。大日本國奥州名取郡。於熊野新宮寺。奉鑄

鐙長四尺一寸。口二尺六寸。重二百貫目。自冠到來之聖蒙十方
檀亦助成。天長地久。御願圓滿。爲只木殿大檀那源臣大膳大夫
持宗。並總代官三河守朝時。同福田殿。櫻田殿。馬場殿。文安三年
丙寅十月八日。此人工杜永。希文按。文安三年。後花園帝。十八年
也。只木。櫻田等。各當家舊臣。其書大檀那亦當家十一世之君也。
然書源臣。未必無疑。蓋誤書歟。其文卑拙有不可解者。姑記之備
參考。　寺凡二。　熊野山新宮寺。眞言宗。京都醍醐。報恩院末寺。
不詳何時何人開山。新宮寺總名。而有學頭坊一院。別當坊一院。
而掌社務。往古有衆徒十七坊。辻之坊。東光坊。極樂坊。竹岡坊。馬
場坊。往生院。福智坊。來迎坊以上八坊今猶存。西光坊。柳泉坊。梅
澤坊。橋本坊。中之坊。北林坊。井上坊。寶光坊。山本坊以上九坊。今
荒廢。惟有坊址而已。學頭坊。後水尾帝。寛永中。國分彦九郎盛重。
息男玄性房舜濟法印中興。別當坊。後陽成帝。慶長中。宗雄法印

中興。　今成山圓生院。曹洞宗。仙臺府下。松音寺末寺。傳云。松音
寺十一世大然存覺和尚開山。　川一。　名取川。　橋一。　香城
橋。在社前。長二閒餘。横二閒餘。古來之橋也。　堰凡二。　共一。號
六郷堰。本郡南方二十四邑。北方八邑用水。　堀凡二。　號上堀。
下堀。六郷堰之分流。而本郡南方二十四邑用水。　共二。號十二
郷堰。本郡南方二邑。北方十邑用水。

坪沼邑。　戸口凡九十五。有號赤石。板橋。地赤石有市店而驛也。
神社凡二。　八幡宮。傳云。元明帝。和銅四年勸請。　愛宕神社。
不詳何時勸請。　佛宇一。　觀音堂。不詳何時創建。　寺凡二。
金玉山寶善寺。淨土宗。仙臺府下八塚。善導寺末寺。傳云。深蓮社
信譽源察和尚開山。不詳其年月。　佛光山善敬寺。淨土眞宗。京
都西本願寺末寺。傳云。正親町帝。天正七年四月。了開和尚開山。
古壘一。　不詳何人所居。　川一。　赤石川。偏岸屬本邑。其源

自北本郡秋保川西柴田郡碁石川東流入本郡閖上湊名取川之上流也。　沼凡二。　可方九尺。傳云。本邑名本此沼。　道一。
往柴田郡道。
川上邑。　戶口凡八十。有號箕輪足水地。　神社凡三。　熊野神社。在赤坂山。傳云。後陽成帝。慶長五年庚子勸請。貞山君命造營其社。同年四月十七日辰初刻。熊野神依本郡前田邑民。藤兵衛者家女而有神託。且彼女登本邑赤坂山。爲奇異之事。邑長民藤左衛門到玉造郡岩出山。以其事告貞山君。乃令茂庭石見綱元到本邑。貿其事實。造立其社云。　同末社。六座子守宮。禪師宮。飛行夜叉宮。若王子宮。兒宮。勸請土所宮。聖宮。一萬金剛童子宮。凡八宮。爲六社。按文。此末社多佛名。習合兩部者也。　愛宕神社。不詳何時勸請。傳云。舊在東山之頂。後水尾帝。寬永十七年六月二十四日。移祭于今之地。　佛宇凡二。　觀音堂。傳云。本尊慈覺

大師所作。不詳何時創建。　地藏堂。傳云。本尊惠心僧都所作。同上。　寺凡二。　地愛山慶藏院。曹洞宗。仙臺府下。松音寺末寺。傳云。靈元帝。延寶元年。大然存覺和尙開山。　龍東山金剛寺。　眞言宗。本郡熊野堂邑。新宮寺末寺。不詳何時何人開山。　岩凡二。
在番士遠藤義三郎者之宅地。　其一。呼之曰隱里。岩高三丈餘。周匝三十間餘。　其二。呼之曰錢神岩。高五丈餘。　古壘凡二。
其一。號大館。傳云。阿部貞任砦也。　其二。號大形山館。或稱桑島館。不詳何人所居。　橋一。　號小左治橋。小橋也。傳云。往古自京師盧無僧。號小佐治者。到此地。臥病而死。葬之植松。有石碑。記曰。永和二年五月晦日。名跡志曰。鄉人曰之小左治橋。雄小元有於訓後人誤爲古之訓。永和中。有桑島宮內者。甚張威福而稱善人。有一女。號幾世。有容色。鄉有山上雄幸者。男色動鄉黨。俱同門巷。幾世他時見雄幸。思念日夜不息。私通贈書。而終有雲雨之會。

爾後屢欲變會而不能焉。幾世不稱吞戀思慕之切。詠一首之悲歌。投身而死。死時年十有六。雄幸亦遂死于情。年二十有一也。鄉人哀而立石。題曰幾世墓。永和三年三月十日歿。雄幸墳亦隔川爲參商。有小橋。往時雄幸微行之地。土人曰之雄幸橋。希文按。幾世不碑記永和二年丙辰三月十日。名跡志爲三年者誤也。永和之號。後圓融帝御宇也。　川一。　菅熊川。小川也。其源出自柴田郡界。入廣浦川。　澤一。　號足水澤。本邑及大野田兩邑用水。

鹽手邑。　戶口凡五十一。　神社凡五。　佐具叡神社。是乃延喜式神名帳。所謂本郡二座之其一也。今其社荒廢。社地爲邑民之地。名跡志曰。其社廢。今其地曰北野宅而無社。風土記殘編曰。佐具叡神社。圭田五十束三字田。又假眾獻半毛。所祭高皇產靈尊也。孝德帝二年丙午三月。始來圭田行神體。有神家巫戶等。　住吉神社。傳云。源義家朝臣東征之時祭之。　宇南權現社。不詳何

時勸請。　稻荷社。同上。古來稱之曰山崎神社。　燒神權現社。不詳何時祭何神。　佛宇凡二。　地藏堂。傳云。本尊惠心僧都作。不詳何時創建。　藥師堂。不詳何時創建。土人曰之鹽之藥師。傳云。往古有老僧。汲鹽山山下所湧之潮水。煑鹽令童子十二人與之衆人治病。於是祭之稱鹽之藥師。號其鹽所出山曰鹽出山。鹽釜所在曰竈之前。名其邑號鹽出邑。又有號鹽河原地。今書鹽手者誤矣。名跡志云。鄉人曰之鹽手邑。笠島北邑埋實方馬具之緤環。緤者固結也。所以繫鞦鞅于鞍下之環。而固結馬具者也。鄉俗不解文字。書鹽手者不當。皆誤也。仍改書緤環邑。希文按。此說與邑人之所傳大異。姑記之備參考。　寺凡二。　青苗山鹽手院。曹洞宗。本郡根岸邑。宗禪寺末寺。傳云。後土御門帝。明應六年。海印舜巨和尚開山。　鹽福山永禪寺。曹洞宗。本郡根岸邑。宗禪寺末寺。傳云。明巖邦譽和尚開山。不詳其年月。　古壘一。　傳云。源義家

東征之時所營陣也矣。　中將實方朝臣之墓。傳云。實方朝臣者。
大納言定時卿之子也。一條帝長德四年戊戌。有罪貶陸奥守。介
探今古倭歌之名地。過本郡笠島邑道祖神社前。不敬。乘馬驚斃
頓仆。實方忽落傷身。同年十一月十二日。遂卒于此地。葬之築塚。
毎歲十一月十二日。邑民祭之。稱國司祭。中御門帝。享保七年十
一月四日。獅山君詣道祖神之時。命之修補焉。名跡志曰。在邑中
山頭。鄉人曰之北野宅。一條院御宇際行成于殿上。仍貶奥州刺
史。註解今古和歌名地。因問阿古屋松。到羽州千歲山。歸路過笠
島社前。里人不知其神祭猿田彥。妄以道祖神淫女告之。實方不
敬。時乘馬龍鏣頓仆。實方忽落馬傷身去不幾歿。鄉黨以爲神之
所罰也。想自神明之至德言之。則夫然乎。偶馬斃而自取害而已。
里人不知其本源。不辨其實事。於是後人欺神明。誣鬼神。遂妄說
平末代。尤可痛恨矣。然無質之以復正之人。實方非罪之證。見花

山帝激作。及能宜。隆家。公任。與蛩之和歌。（和歌略之。）行成明誹實方于
帝前。故實方懷憤恨。亦宜哉。嗚呼一條帝一時之英君。不察其是
非。縱行成而惡實方。使千歲之下寥寥乎。無曉喩紀明之者。空實
方陷不恭之罪。神明負非義之崇。然其實方非罪之誠不可掩。至
今里人村老慕實方。辨不辜。愛其人若父子之親。敬其人若君臣
之義。不斥言。而直奉稱中將君之情。古今不變。（其墓見西行詠之詞。幷宗久紀行中。）其
實今猶古。其聲名不朽之證可視。是以一堆之古墳。千歲之下尚
貴之。樂天所謂龍門原上土。埋骨不埋名者。宜哉。是乃其遺址也。
馬塚。　在道祖神社。一町許北古道中。傳云。埋實方朝臣所乘
之馬處。　假屋處。　在社乾三町。傳云。實方朝臣落馬時。搆假屋
于此。而療養處有掛其笠松一株。土人曰之笠掛松。　臥書山。
在馬塚邊。傳云。實方朝臣落馬時。作家營處。　肆戶崎。　在社西
北五町許。傳云。實方朝臣臨終遺言曰。吾得社罰而死。宜肆屍以

懲祇後人。邑民如其言。二三日而葬之。故號肆戸崎。 馬立處。傳云。源義家朝臣東征之時。陣營于本邑。作廐于此處。今號馬立宅。名跡志曰。社西北七町餘。實方落馬停馬地也。鄉人曰馬立宅。 竈前。 傳云。往古設釜甕鹽處。名跡志曰。實方火葬之地也。火化處。俗曰竈地。死者之於火化也。猶烹煽魚鰯於竈中。故曰竈地。希文按。馬立處。竈前。名跡志所記。與邑人所傳大異。姑記之備參考。 野田崎。 傳云。古跡也。不詳其所以然也。 野田泉。 同上。

鏡橋。 同上。

手倉田邑。 戸口凡四十七。 神社凡三。 諏訪神社。 不詳何時勸請。 道祖神社。同上。本郡笠島邑。道祖神祭日神輿之旅宮也。 水神社。稱玉島明神。同上。希文按。風土記殘編載玉島神社。疑此社乎。 佛宇一。 太子堂。不詳何時創建。 寺凡二。 勇瑞山吉祥寺。曹洞宗。仙臺府下。松音寺末寺。傳云。舊號倉田寺。無本

寺。正親町帝。永祿元年。花翁和尚開山。後西帝。明曆元年。松音寺十世能岩文藝和尚中興開山。改號吉祥寺。 晋門山自性庵。曹洞宗。本郡吉田邑。秀麓齋末寺。傳云。正親町帝。天正元年。香庵貞磋和尚開山。 十三塚。 在箱崎山。傳云。古昔京師聖僧十三人。到本邑。而共死。其葬之處。 粟津松。 有二株。傳云。古昔號道孝者夫婦。自京師來。而共死于本邑。其葬之處。 橋一。 號高橋。土橋也。長九間半。橫一間五尺。

飯野坂邑。 戸口凡七十八。古道之西方山中。有羽黒權現大社。以其坂中出飯。邑名號飯野坂。 神社凡三。 羽黒權現社。不詳何時勸請。在路西。傳云。往古大社。而有末社坊舍許多。中古荒廢。悉爲烏有。僅存本社。七八十年前有其礎石等。今皆爲圃。社地亦爲邑民之地。稱宮下。居其處者不能食畜獸。若有食者。則必有咎祟。有方四間許之古井。殆非人力之所致。故邑民不用之。登其社

地之坂號飯野坂。往古坂上出飯故云爾。邑名亦本之。今所存細逕。而爲農夫耕作之路。　鹿島神社。在號淡路山地。不詳何時勸請。　雲南權現社。傳云。春日所勸請也。不詳其年月。　佛宇凡二。　觀音堂。不詳何時創建。本郡三十三處。順禮第十八番之札處也。　藥師堂。傳云。惠心僧都嘗製藥師佛於參州鳳來寺。負之巡行諸國。到本邑。建堂安置之。號羽黑山五色寺。歷年之久荒廢。正親町帝。天正中。號慶算修驗者中興。至今十一世相繼號光明院。什物有弘法大師作不動。及地藏。春日作地藏。天竺鑄佛。般若佛。聖德太子所書不動。牧溪和尚所畫瀧見觀音。　寺一。　無量山明觀寺。淨土眞宗。京都西本願寺末寺。傳云。後花園帝。文安二年。祐密和尚開山。　桃花巷。　自増田驛到岩沼驛之路也。傳云。此地嘗多桃樹。花時肯山君過此邑。甚賞花有命。家家門前列樹桃之。爾來樹枯。則復植之以遺愛。名跡志曰。飯野坂邑。園圃門巷多

植桃樹。大守綱村君。一春南行路過此邑。斯日也桃花盡開。紅白交枝。滿邑之豔陽甚可愛。君停輿顧從臣賞嘆曰。此弊邑居民雖少。風光殊富如疊錦。然稱之花區可矣。鄉人因大守語。家家栽培桃樹。認太守之遺愛於後世。以比之甘棠。且大守平日長詩歌。發雅情于此。是地亦可謂鄉隣之玄都觀矣。

植松邑。　戶口凡百三十九。　神社一。　石神。在號中之崎園中。土人稱之行石。靈石也。櫻町帝。寬保二年五月。獅山君歸國時。有尋問而覽其石。拂其雨庇。同年冬。放鷹時再覽之賜金。　佛宇一。　觀音堂。傳云。弘法大師所製。而嵯峨帝。弘仁中。弘法大師創建。寄附二十石之地。　寺一。　金剛遊山觀音院弘誓寺。眞言宗。城州御室御所仁和寺末寺。傳云。嵯峨帝。弘仁中。弘法大師開基。而後堀川帝。寬喜之比。大師法嗣實惠附法弟子。慈猛房良賢上人中興。什物有天竺眞言五祖善無畏三藏眞筆。蓮絲織兩界曼茶

羅。弘法大師眞筆法華經。佐藤次信眞筆紺紙金泥阿彌陀經。弘法大師眞筆辨財天畫像。土佐筆不動畫像。宅磨筆愛染明王畫像。唐畫般若十六善神。附法弘法大師弟子實惠大德附屬佛舍利。弘法大師作勢至。及木像。十三佛。十王塑像。大日如來。同地藏。行基菩薩作藥師。智證大師作帝釋天。荼陀天。正親町帝綸旨。等。
倉廩一。　備蓄雜穀。　孝子一人。　邑民喜吉。能事其父母。有孝。今上帝。寶曆九年六月。賜金賞之。　古壘一。　傳云。觀音堂所在。古來稱古館。　植松之松。　在觀音堂山下道西。傳云。往古曰之花輪松。是此處地名號植松之標也。　津久毛塚。　在道西。或日揀塚。古來有之。不詳其所以然也。

小豆島邑。　戶口凡六十四。　神社一。　牛頭天王社。所祭素戔嗚尊。少將井。稻田姬命。三神一社。傳云。淸和帝。貞觀十二年。自播州明石浦廣峯。奉遷本邑祭之。　寺凡二。　醫王山光圓寺。眞言

宗。本郷植松邑。弘誓寺末寺。不詳何時何人開山。　水月山慶雲院。曹洞宗。仙臺府下。松音寺末寺。傳云。松音寺第九世民國麟泰和尙開山。

笠島邑。　戶口凡百四十六。　神社凡三。　道祖神社。所祭猿田彥大神。奧玉命。天鈿女命。相殿祭之。傳云。垂仁帝。御宇。八津峯鎭座。雄略帝御宇造營宮社。後陽成帝。慶長中。罹野火。宮社及賴朝卿以來之古書舊記。悉燒亡。州人祈男女婚姻。造陰相掛之于社前。以爲報賽。至近年猶然。社家宍戶長門守。禁之。今無掛之者。社南一町餘。曰馬湟宅。有雙石礎。古昔鳥井之址也。今猶存。名跡志曰。道祖神。是乃神代猿田彥命。天孫降臨之時。始啓行。仍爲道祖神。祖始也。道乃路也。因又稱岐神。岐字謨路岐也。乃道路之義。是亦猿田彥神號也。原道之至極。則生生不息之名。於是推爲男女婚姻神。妙和合之祖。又稱幸神。人家可尊仰之天神也。古來鄉

里所傳之妄說曰。此神祭洛陽賀茂川西一條北。出雲路道祖神女。彼女生前私通商賈。故所謫流死于此地。州人立祠祀之。以上元夜為社日。又九月十九日。令神輿舁于北釜。修禊而還。一州所神而有應。則作陰相褻之。蟠龍子曰。道祖神乃猿田彥太神也。上古迎瓊瓊杵尊降臨于天八達之衢。天鈿女命問之。答曰。吾名猿田彥。今雍州川雲路道祖神也。鹽竈記。亦曰之道祖神是也。神名異記曰。伊勢度遇郡大土公神社猿田彥太神。新古今集淑望詠猿田彥和歌曰。久堅乃天能八重雲振別天降志君乎我曾迎遍之。其說如此。道祖神女通商人事。不見正史神籍。若俗說。則邪神而淫祠也。今川了俊紀行。播州四窪鄉有出雲路社。造陰相掛之云。按古實方經過問其神。邑人因循苟且。不知猿田彥之垂跡。以出雲路淫奔之女而妄答。實方賤之無意崇敬。故不及下馬。不意馬仆人傷。後人不解。以為神之祟而不疑。自是昭神誤理。夫神明

之於德。豈若愚婦怨女以祟報疾怒而急驚實方乎。不幸此時偶然遭逸馬之難。皆鄉里之小人不肖之妄說。世俗之雜話傳聞之謬誤耳。然實方之遺名因此地而聞。神名之社號因實方而傳。所其出之來由邪正。不可不兼載併記焉。此神非鄉說女神。猿田彥也。實方之死非神咎。不意之薄命也。　伊都岐島神社。土人曰之辨財天社。所祭市杵島姬命。不詳何時勸請。傳云。後陽成帝慶長七年催野火舊記緣起等悉為烏有。　下幸神社。名跡志曰。去社南三町餘手倉田飯野坂兩邑之間。有小社曰之下幸神。祭日本社之神輿憩于此地。　寺凡三。　長德山善福寺。眞言宗。本郡熊野堂邑新宮寺末寺。不詳何時何人開山。　瑠璃光山安養寺。眞言宗。同上。　笠島山智福院。曹洞宗。仙臺府下松音寺末寺。傳云。後花園帝寶德元年十一月。能州總持寺前住。松音寺第十一世大然存覺和尚開山。　大塚一。　高可十丈。周匝百間餘。不詳所

以其然。認鍬杉。　古木今亡。後來栽之以易之。名跡志曰。在道祖神社西川内澤。秀衡往昔上京經此地。射路傍老杉。而賀京師首途。從者各進鋒鏑。後西帝。明曆中。古杉猶存。根圍一丈二尺。他日鄉人欲伐之。爲商舶料。坎坎仆之。鳴動之聲滿鄉閭。割之遺鏃頗多。於是人皆知舊說傳話之不虛。然不堪貪利之情。造功已畢。泛諸滄溟。其前宵有妖聲。未幾而損壞。此時雖悔而無由。土人呼之矢立杉。　東奧道路。　名跡志曰。古杉下有一細路。是古昔東國通行之道。鄉人曰之吾妻行路。和俗呼道路。渾曰海道。白石先生質海邊之外可改之。然世俗不用。仍從方言。希文按。白石先生者。文照院殿近侍儒。新井筑後守君美也。　澤一。　號川内澤。本邑及植松。下野鄉。三邑用水。　橋凡二。各土橋。　其一。號舟橋。長五間半。横一丈。　其二。號袖橋。長五間。横一丈。

北目邑。　戸口凡八十六。有號原地。　神社凡三。　諏訪神社。不

詳何時勸請。　八幡宮。同上。　雷神社。同上。　寺凡二。　開川山福壽院。曹洞宗。本州須賀川。長祿寺末寺。傳云。後柏原帝。永正五年四月開山。僧名不傳。　益葉山松林寺。曹洞宗。本邑福壽院末寺。傳云。東山帝。元祿元年八月開山。僧名不傳。

志賀邑。　戸口凡八十三。名跡志曰。古昔所謂指賀郡。乃今之志賀邑也。按亦鄉俗誤文字于今之地。風土記殘缺曰。公穀六百七十二束三毛田。假粟五百六十五束三字田。貢駿馬。栗。梅。櫻。　神社凡二。　神明宮。不詳何時勸請。　八幡宮。同上。　佛宇凡三。　絲師堂。傳云。清和帝貞觀二年。慈覺大師所創建。而堂宇飛驒工匠造之。　觀音堂。不詳何時創建。傳云。本尊慈覺大師作。　不動堂。以石造之。在不動瀑布。　寺凡二。　岩松山洞林寺。曹洞宗。本郡北長谷邑。長谷寺末寺。傳云。安室領應和尚開山。不詳其年月。正親町帝。天正五年六月五日。安室遷化。　岩窟山巖藏寺總樹

慈院。天台宗。仙臺府下。仙岳院末寺。傳云。淸和帝。貞觀二年。慈覺大師開基。岩窟有石匣及號硯水。名跡志曰。有寺曰岩窟山岩藏寺。貞觀二年。慈覺所開。善逝堂亦自作。脇持日光。月光。運慶作。有丈六彌陀堂。後有經塚。傍有一山。稱山王森。下有不動瀑布。希文按。名跡志爲此寺在北長谷邑者誤也。不動瀑布。高可二丈。廣可三尺。　澤一。號志賀澤。本邑及小川兩邑用水。

小川邑。　戶口凡四十九。　神社一。　貴布禰神社。不詳何時勸請。　佛宇一。　觀音堂。不詳何時創建。今荒廢無堂。本尊安置于蓮花寺。惟存遺址。　寺一。　觀自山大悲院蓮花寺。眞言宗。本郡岩沼鄕竹駒寺末寺。不詳何時何人開山。

長岡邑。　戶口凡三十五。傳云。往古稱長岡鄕。　神社凡三。　牛頭天王社。傳云。地主邑民八郞太夫者。每歲六月十五日掌祭事。朱雀帝。承平中。八郞太夫發祖勸請尾州津島之神。八郞太夫所

耕之田。有號六月田。是古昔之祭田也。社地有櫟之大樹三株。各周圍二丈餘。　神明宮。不詳何時勸請。社地有大樹之櫟。周圍一丈七尺餘。　熊野神社。不詳何時勸請。邑人或傳。是亦爲老女所勸請。　寺一。　巖谷山長德寺。曹洞宗。黑川郡宮床邑。龍岩寺末寺。傳云。虎應和尙開山。不詳其年月。後西帝。万治元年七月朔日。虎應示寂。

三色吉邑。　戶口凡五十一。　神社凡三。　熊野神社。不詳何時勸請。　雷神社。同上。　水神社。同上。　寺凡二。　平等山東安寺。曹洞宗。越後州耕雲寺末寺。傳云。後土御門帝。延德二年。玉應慶陰和尙開山。　大羅山高雲菴。曹洞宗。本邑東安寺末寺。傳云。後陽成帝。慶長四年。了堂文紹和尙開山。

北長谷邑。　戶口凡四十七。　神社凡二。　明神社。傳云。和銅二年所勸請也。明神不詳祭何神。　雷神社。同上。　佛宇凡二。　大

日堂。不詳何時創建。　寺凡二。　嚴屋山長谷寺。曹洞宗。羽州山形法祥寺末寺。傳云。後柏原帝。大永二年。竹用和尚開山。　朝日山新東菴。曹洞宗。本邑長谷寺末寺。傳云。東山帝。元祿元年。宗屋全超和尚開山。

南長谷邑。　戸口凡百五十九。有號玉崎地。　神社凡三。　新山權現社。不詳何時勸請。　妙見社。不詳何時祭何神。　諏訪八幡社。不詳何時勸請。　寺凡三。　龍谷山鷹硯寺。曹洞宗。羽州山形法祥寺末寺。傳云。最初開山僧名年月共不傳。　後奈良帝。天文二年。白圓和尚中興。名跡志曰。在千貫松嶺北武隈西。相傳。往時爲由利若愛鷹綠丸所建也。有大悲像。曰長谷觀音。南北邑名出于此。鄉說曰。由利若夫人。想海曲欠文房具。縮小硯于鷹翼而放之。杳空不耐重。墜而死。後人葬山畔建寺是也。或說曰。邑名之出非此寺焉。康平中。賴義建寺。摸長谷佛像。曰岩屋山長谷寺。南北

邑落以據此寺號云。希文按。康平之號後冷泉帝御宇也。　深谷山眞珠院。眞言宗。本郡岩沼鄉。竹駒寺末寺。不詳何時何人開山。　深谷山延命寺。眞言宗。本邑眞珠院末寺。不詳何時何人開山。

古壘凡二。　傳云。古昔長谷紀伊守諱不傳者所居也。　千貫松。名跡志曰。上有新山叢祠。山下有寺。曰深谷山眞珠院。嶺上青松萬株。隨山勢之高低。而相連數十町。有屈曲。有平直。交翠排青。商舶瀛舟汎于滄溟者。或有泛泛而失西東。則杳望此嶺松。而得其方隅。詳其邑落。於是有大安其意者服劣之心以爲縱價以千貫而賞之。亦未爲過多焉。故棹郎舟子貴重嶺松。而所爲標準相稱。乃名以此鄙稱也。　東平王塚松。　名跡志曰。千貫松嶺以東山下有古塚。栽青松十二株。相傳。異邦人東平王客死于茲。塵戸於山下。以寄戀鄉里之情切也。塚上草木枝葉靡然盡向于西。觀者發追慕云。宗久紀行亦爲異邦人。按東平王者按察使之尊稱也。

續日本記大野東人。神亀元年東國節度使。同三年。東海東山節度使兼鎮守府將軍。國分式次第曰。東平王是也。或記曰。大野東人。惠美朝獦稱東平王。橘諸兄稱葛城王云云。因是考之。爲搜索使之人死于此之墓也。鄕俗不知之而謂異邦人。宗久亦不知古書。踏襲鄕俗之說矣。經國集十四。藤伴成益奉試得東平樹詩。經國集。淳和帝。天長四年丁巳。令滋野貞主選。自慶雲四年。（四十二代文武帝）一年丁未。至天長四年（五十三代淳和帝。四年丁未。）之詩文。（凡九十七年。）十新撰朗詠集懷舊部。載江以言松竹對策文之一句。然則此樹名入騷人墨客之吟也久矣。　綠丸石。　名跡志曰。千貫嶺深山祠西有一石。東面立。綠丸者。由利若所飼鷹名。戀其主而至詣居。傳昔于夫人。死後化石。因言此地。古之元海島也。　玉崎莊。　郡邑不詳。名跡志曰。武隈以南。古昔所謂玉前之地也。鄕俗誤文字稱之玉崎。風土記殘編曰。公穀三百五十二束。假粟二百八十六丸。貢紅花。栗。梨。楊梅等。

古内賴母采邑。鎮居其邑者。男女凡千七百二十一口。十五。

稻藥渡。　阿武隈川渡口也。　八鏖橋。　在號玉崎地之濱傳云。自仁明帝承和九年。小野篁東行之時稱之。　阿武隈川。　其源出自本州石川郡。歷數郡而至亘理郡荒濱浚。入海。　橋凡四。各土橋。　其一。號岩下前橋。長五間半。橫一間半。　其二。號新田前橋。長五間半。橫一間半。　其三。號三反田橋。長五間半。橫一間半。

其四。號三本杉橋。長五間半。橫一間半。

岩沼鄕。　戶口凡三百二十一。屬邑未詳。有市店而驛也。傳云。往古稱此地曰武隈。不詳自何時稱岩沼。來蓋以城邊有號岩沼沼也。有號鹿嶋地。古内賴母廣充采邑。附屬給主士四十六口。男女凡三百三十六。　神社凡五。　雲南權現社。在城中。不詳何時勸請。　雷神社。同上。　八幡宮。在竹駒寺中。同上。　命婦社。同上。

竹駒神社。緣起略曰。仁明帝御宇。承和九年小野篁爲陸奧守赴任時。詣城州紀伊郡伊奈利山。恭請稻荷明神爲國府鎮護神明

神藏其怨到之情。假現白狐形。篁乃函之。舁到鎮守府。豐途過名取郡南長谷邑橋。狐啼八聲。篁怪之開函。則白狐奔走入武隈茂林中。不知其所往。篁規其地。造營神社。附來稱其橋曰八聲橋。後世訛呼曰彌五郎橋。後冷泉帝御宇。能因法師。雖坐詠鬼門關之和歌。以不親遊其境為遺憾。永承年間。擔簦躡屩遊歷奧州。隨處尋篁所立明神社。漸到武隈。適遇童子乘竹馬。法師問明神鎮座地。童子指點西林。無所酬答。猶策竹馬。走入叢匿。法師因悟神教。不堪忻嘆。建寺社頭相羊於武隈二三年于茲。迺以騎竹馬號竹駒寺。其後漸就荒廢。無治之者。後奈良帝。天文六年。當家十四世植宗公傷之。周覽古跡。再興神祠及寺。且寄附本郡小豆島邑。此寄附之地。今無有焉。不詳何時之公收及其員數。後光明帝。寬永二十一年。此年改元正保。十八世忠宗君謀曰。此社開捌以來。甲乙相續。克底于今。不翅九百年之久。一旦使其墮墜。我門之耻也。何不起其廢乎。越寄附本郡押分。南長

谷。兩邑內四十八石之地。以備祭禮之費。中御門帝。享保七年。二十一世吉村公。寄附柴田郡關場邑內二十石之地。永充宮社修補料。每歲二月初午日。有祭奠式。當初奧州國司源重之。俊房等。皆獻神馬。伯樂為群。列市百日。其間貿易牧馬。是賑初午祭禮者也。名跡志曰。乃祀稻荷明神。其名相傳久矣。社邊有八幡雷神。愛宕叢祠。及大悲小堂。社後有稱寶窟地。而斷岸之半腹有狐窟。鄉俗以為此石窟乃稻荷之神室也。其異體乃封狐之精。如今現棲於窟中矣。大古變小童騎竹馬來。故武隈文字易之以竹駒。且訓音相通。而幸取能因所開之武隈之舊號。為今之寺號也。因岩沼隣鄉邑落廢舊號。而信新名。崇野狐頗如神。每歲仲春午日為祭時。行祭禮。具盛饌及生雉于窟前。則封狐出來食之而盡。人以登信之。按。稻荷者。考神書。則倉稻魂也。豈以封狐祭之耶。且以狐為說。蓋別有說。妄不可信。豈直指封狐妖獸而當其神哉。然諸州不

辨其本實。爲老狐之精。因循來而無革者。於大成經亦遺其惑。辭
茲浮屠役徒附會楊言。豈足取之耶。尤可痛恨之至也。如今原其
作俑。想夫斯地大古建社。祀倉稻魂。來以年代之久。或廢其祭。或
失社地。亦未可知焉。爾後有一般凡俗愚昧者。聞先時之舊說。而
將復興之。然其人文盲無智。故不擇古傳。不問舊墟。設用俗間之
說。眞信封狐之僞說。且幸有此狐窟。而以爲神迹之所垂焉。乃建
神祠。以訓音彷彿地名之舊號。而號竹駒明神。易本號失舊名者
臻茲。烏乎爲神道者。委浮屠雷同。無質其妄誕僞說。令神明遂蒙
此淫號矣。且昵之擧竹駒之說迷後人。以卑俗之字。而易大古神
號。鄉里之小人。豈信用竹馬而取長途哉。希文按、用竹馬而取長途之戲。與緣起所言異。想夫一說歟。
是乃市童之玩好。幼冲之嬉戲。而以此卑說。永慢其神誣其號。今
博考之載籍歌書等之中及此事實。擧此地名者。未嘗一言出于
古人舊說焉。然後人凡庸。妄附會。強立言者。可知爲耳。自是推其

義。則可謂莫大之重科也。切怪神明不加罪。神官不能咎。故俾鬼
神永歸淫號。妄陷于妖獸。汙辱褻瀆之甚可擧嘆哉。寺院相傳。釋
能因所開。稱武隈寺者。乃依其地名之美稱也。能因乃橘諸兄後
裔。橘忠望孫肥後守元愷子。實名永愷。少而入學。稱肥後進士。任
長門守。住古曾部。平日愛和歌。以藤長能思慕未會其人。一日駕
車而過長能宅前。値車仆轍損。令人召其車。幸其佇立彷徨謁長
能告志。執師弟之禮問其法。長能教示。以山間楓葉灑雨作。自是
益進其精微。一春之洛。宿大江公資五條洞院家。是爲愛南庭櫻
花也。後蓄髮。稱能因。於歌林亦鳴翹楚矣。從範因朝臣之伊豫國。
時州內有旱魃之憂。則史請能因奉禱雨和歌于一宮。忽有神感。
而靈雨沛然。苗浡然立。後詠白河秋風絕唱。世人膾炙。竹田大夫
國行者。取途于東奧。過此關山。於是新粧衣服。人怪問之。則言此
關門有能因一章名歌。如何以故衣褻服歷此地。其所貴重也。如

此。能因遊二于東奥一。或著二八十島記一。或賞二名蹟一而建二精舍一。今之武隈寺是也。有二加久夜長帶刀節信者一。以二好事一而鳴二于世一。他時逢二能因一互悦。能因出二一握于懐中錦嚢一示曰。是乃往昔長柄橋杮也。節信欣然。後亦袋中出二一奇物一看レ之。則井手乾蝦蟆也。共催二高興一歎二風雅一去。然後世凡僧野衲之徒。妄改二稱號一易二地名一。而曰二寶窟山竹駒寺一。佛宇凡七。辨財天堂二。其在二城中一。未レ詳二何時創建一。藥師堂。同レ上。傳云。舊在二城中一。正親町帝。天正十三年。泉田安藝重光爲二城主一時。移二于今之地一。弘法大師堂。在二竹駒寺中一。不レ詳二何時創建一。觀音堂二。其一。在下號二觀音崎一地上。稱二朝日觀音一。其二。在二竹駒寺中一。共不レ詳二何時創建一。寺凡六。寶窟山竹駒寺寶珠院。眞言宗。城州醍醐。報恩院末寺。傳云。後冷泉帝。永承中。能因法師開山。事實詳二載于竹駒神社條下一。有下什物法華經一部。傳云。先帝女院寄附。記曰。嘉元第三曆仲冬初八日。平氏女敬白。希文按。嘉元之號。後二條帝御宇也。大般若經一部。涅槃像一幅。記云。美濃州神淵山

龍門寺永充供養。貞和三年丁亥六月十五日書。僧宗久模二張思恭筆一。希文按。貞和之號。光明帝御宇也。唐畫十六善神。弘法大師筆不動。智證大師筆不動。筆者不レ知不動。及八大童子。惠心僧都筆愛染明王。唐畫虎。縉紳家墨痕阿武隈川武隈松古歌手鑑。錦山君眞筆和歌。同贊文花押之緣起。同神號旗。忠山君眞筆神號旗等上也。 寶珠院。號二無山一。眞言宗。竹駒寺傍院也。與二竹駒寺一同二其院號一。不レ詳下其所二以然一及何時何人開山上。 西光山岩沼院高福寺。眞言宗。本邑竹駒寺末寺。不レ詳二何時何人開山一。 鵜岩山天龍寺光明院。眞言宗。同レ上。 大乘山法常寺。曹洞宗。本州須賀川長祿寺末寺。傳云。正親町帝。天正中。長祿寺六世大華和尚開山。貞山君寄二附八石之地一。義山君。加二增五石之地一。 普門山慈眼院。曹洞宗。本邑法常寺末寺。傳云。理山和尚開山。不レ詳二其年月一。 古壘一。號二鵜崎城一。又稱二武隈館一。傳云。往古源重之朝臣所レ築也。正親町帝。天正以前。不レ詳二何人居一レ之。自二天正之初一。泉田安藝重光居レ之。其後

石田將監。大木不休。遠藤兵部。屋代勘解由。齋藤新藏人。安久津新右衛門。奥山出羽。同隼人。同大學。伊達兵部少輔。古内主膳。古内肥後。田村右京大夫。古内造酒助。相代居之。靈元帝。貞享四年以來。古内民部子孫相繼居之。　倉廩。　在號藤塲地。雙根古松。　或曰武隈松。名跡志曰。去社二町餘。阻岩沼驛西五町餘。今臨其地。一松交翠。馬鬣垂枝。怪其違舊時之傳說。土人曰之武隈二木松。希文按。清輔奥儀抄云。此松非舊有。宮内卿藤原元善爲大守時。館前始栽之。後羅野火。源滿仲爲任時栽之。其後又失之。橘道貞之任栽之。其後孝義爲任。伐之以造橋。遂爲烏有。世人以爲殺風景之人。袖中抄顯昭說亦然。今所存者。後人所繼栽。而自古其枯。則復栽以存其名勝。今見元善朝臣。再任時所詠和歌序詞曰。以所舊有者枯。故令栽以繼之。是乃與奥儀抄。袖中抄。所言異。書之以備參考。　鼻輪松。　名跡志曰。常館西五町餘。上小坂

入其地。雙松相並。枝葉繁茂。按奥儀抄。或稱二株松。或曰鼻輪松。混爲一所。同樹。皆傳聞想像之說也。唯源重之之歌意。爲別樹。且夫志趣亦暗兩株之意。據歌林良材說。則又混兩地而爲一處。如今點撿其樹。實別樹也。於是始信焉。重之之實見不可誣矣。以此人而可爲正說也。觀迹聞老志曰。自古稱來曰武隈雙株松。一曰臨其地。須有兩樹。而却存一株。與其名稱不相合也。以重之和歌考之。則稱鼻輪者一樹。而往昔名二木者。須兩株也。然則今所存松。實稱鼻輪者。而鄕俗失其舊地乎。此却稱二木松乎。又名寄秘書及歌人說曰。武隈二木松在館前也。於是歷世古松枯盡。則依舊繼新松者。亦見乎古書中。按。今所存松亦元有雙樹。而一株枯槁。唯餘一根歟。二木。鼻輪稱來久矣。然古書前人之說。異義紛紛。繁多錯雜。落著不分曉。故今擧諸說而辨之。藻鹽草引奥儀抄。而始謂武隈鼻輪松。而末篇混二木而說。色葉集亦相同。歌林良材始

謂二水。而後混鼻輪。又末合爲二水事。袖中抄專謂二水一事。而能因。季通。深覺。之歌亦同其旨。唯源重之特謂然爲別樹。且於歌意亦如詠一松樹。是乃身踏其地。而所親見之證尤可貴也。二水乃須取袖中抄之義。鼻輪乃須信重之之說也。　遠望浦。　名跡志曰。非地名。岩沼以東。大洋之渺茫。極目已遠。故以悠遠之狀而稱之。遠望浦自入橋爲仲之吟來。却似稱地名。其亦看歌意可知也。　亀塚。　不詳其所以然。　阿武隈川。　偏岸。鵰本邑。　橋凡四。各土橋。　其一。號九沼橋。長八間。横三間。　其二。號外除橋。長十間半。横三間餘。　其三。號古川橋。長十間。横一間。　其四。號三間橋。長六間。横二間。　道凡四。　其一。江府道。　其二。阿武隈川渡航往亘理郡道。　其三。四。共往柴田郡道。

本郷邑。　戸口凡九十八。有號六間地。　神社凡三。　熊野神社。不詳何時勸請。　八幡宮。同上。　雷神社。同上。　佛宇凡五。　觀

音堂。不詳何時創建。　阿彌陀堂。同上。　藥師堂。同上。　聖德太子堂。同上。　辨財天堂。同上。　寺凡三。　南宿山眞福寺。眞言宗。本郡植松邑。弘誓寺末寺。不詳何時何人開山。　熊野山八幡寺。眞言宗。本郡植松邑。弘誓寺末寺。不詳何時何人開山。　深淵山妙圓寺。天台宗。仙臺府下。仙岳院末寺。傳云。羽州羽黒派行人金剛院祐全上人。弟子亮永開山。不詳其年月。此寺舊在栗原郡宮澤邑。中御門帝。享保六年。移住于本邑。　橋一。　號二間橋。長七間。横二間半。

押分邑。　戸口凡百二十六。有號二倉濱。　神社凡六。　神明宮。傳云。廢帝。天平寶字六年。惠美朝臣朝獦所勸請也。有自古傳來日月旗。長七尺四寸。横幅三尺八寸。日紅色徑三尺五寸。月白色徑三尺五寸。古物而蠹喰且破裂。　川口明神社。在阿武隈川邊。石宮也。不詳何時祭何神。　稻荷社。不詳何時勸請。　神明宮。在

二倉濱。不レ詳二何時勸請一。　雷神社。同レ上。　明神社。同レ上。不レ詳レ祭二何神一。　佛宇凡二。　阿彌陀堂。不レ詳二何時創建一。　觀音堂。在二二倉濱一。傳云。平城帝。大同二年。田村麻呂所二創建一也。　寺凡二。　玉光山名取院圓立寺。淨土宗。本州相馬中邑。西光寺末寺。傳云。明正帝。寬永十九年開山。不レ詳二其僧名一。　江南山惠光寺。在二二倉濱一。臨濟宗。京都妙心寺末寺。傳云。周澤和尙開山。仙臺府下。覺範寺五世徹宗和尙中興。共不レ詳二其年月一。　川一。　阿武隈川。傴岸屬二本邑一。

濱一。　號二二倉濱一。

摑內邑。　戶口凡三十八。　神社凡六。　牛頭天王社。傳云。往古大織冠鎌足公之末裔。大友豐後守。諱不レ傳。貶二于本州一。住二于本邑一。勸二請本國鎭守牛頭天王。熅煩權現。兩社一。不レ詳二其年月一。　熅煩權現社。同レ上。所レ祭來日大明神。　熊野神社。不レ詳二何時勸請一。傳云。所レ祭天地十二神。而往古大社也。　八幡宮。不レ詳二何時勸請一。　神明宮。

同レ上。　藥山權現社。同レ上。　佛宇一。　藥師堂。不レ詳二何時創建一。　寺凡二。　龜谷山禪龍寺。曹洞宗。本郡三色吉邑。東安寺末寺。傳云。正親町帝。永祿二年開山。僧名不レ傳。　虛空山高照寺。　眞言宗。本郡植松邑。弘誓寺末寺。傳云。明正帝。寬永十七年。珪意法印開山。

下野鄕邑。　戶口凡二百。有下號二相之釜濱一矢目。藤曾根。地上矢目。有二步卒百八十口。男女凡六百五十二。　馬十二。　附二屬十番部將一。一部各十八人。　神社凡五。　雷神社。不レ詳二何時勸請一。　愛宕神社。同レ上。　稻荷社。在二相之釜濱一。同レ上。　鹿島神社。同レ上。　熊野神社。在二矢目神前寺中一。同レ上。　佛宇凡三。　弘法大師堂。傳云。桓武帝。延曆中。安部仲麻呂末裔。號二安部萬呂一人。來下住于本邑。號二藤埣一地上嵯峨帝。弘仁十三年。創二建大師堂一。至二當今大乘院三十四世一。子孫相繼。世爲二別當一。家系舊記藏二于其家一。至二二十七世一。住二于本邑藤

埣。二十八世大泉坊。移二居于本郡下増田邑一云。　藥師堂。在二矢目一。
不レ詳二何時創建一。　觀音堂。同レ上。　寺凡三。　愛岩山岩蟄寺。眞言
宗。本郡植松邑。弘誓寺末寺。傳云。後西帝。萬治二年開山。僧名不レ
傳。　海青山法圓寺。在二相之釜濱一。曹洞宗。仙臺府下。松音寺末寺。
傳云。後水尾帝。寛永三年。能嚴和尚開山。　月光山神前寺。在二矢
目一。眞言宗。本郡岩沼郷。竹駒寺末寺。不レ詳二何時何人開山一。　沼一。
號二長沼一。長六百間許。横百間許。　濱一。　號二相之釜濱一。　玉浦。
名跡志曰。岩沼以東曰二之藤曾根一。往時之玉浦也。併二蒲崎地一而渾
是玉浦之邑也。郷煕書二魂浦一。　橋凡三。各土橋。　其一。號二木下橋一。
長八間。横一間半。　其二。號二矢目橋一。長十六間。横二間。　其三。號二
藤曾根橋一。長八間。横九尺。

早股邑。　戸口凡百五十二。有下號二長谷釜濱一上。　神社凡四。　熊野
神社。傳云。鹽元帝。延寶七年勸請。　日月社。不レ詳二何時勸請一。　稻

荷明神社。在二長谷釜濱一。後西帝。寛文九年勸請。　神明宮。同レ上。鹽
元帝。貞享三年勸請。　佛宇一。　藥師堂。不レ詳二何時創建一。　寺一。
東國山高林寺。曹洞宗。本郡北長谷邑。長谷寺末寺。後西帝。萬
治中。俊鶴和尚開山。　川凡二。　阿武隈川。偏二岸邑一。本邑。　前川。
周匝千間餘。　濱一。　號二長谷釜濱一。

寺島邑。　戸口凡百二十二。有下號二蒲崎濱一上。　神社凡四。　日月社。
不レ詳二何時勸請一。　雷神社。同レ上。　神明宮。在二蒲崎濱一。同レ上。　明神
社。同レ上。不レ詳二何時祭何神一。　寺凡二。　日照山正福寺。眞言宗。本
郡岩沼郷。竹駒寺末寺。不レ詳二何時何人開山一。　照曜山專光寺。在二
蒲崎濱一。淨土宗。岩城山崎邑。專稱寺末寺。不レ詳二何時何人開山一。
川一。　阿武隈川。偏二岸邑一。本邑。　濱一。　號二蒲崎濱一。　道一。　阿
武隈渡航。往二亘理郡一道。風土記殘編所レ載。今失二其處一者如レ左。　玉
島川。風土記殘編曰。出二鱒鮭一等。自二阿武隈川一入二此水一。名跡志曰。或

說云。增田驛南河流日之玉川。去阿武隈西北六七里。水源出于笠島邑。鄉黨誤玉島川名。略之以呼玉河。號且今問之鄉黨。而無詳之者。王島神社。風土記殘編日。圭田五十九束三字田。所祭下照比咩也。天武帝三年甲戌三月。始奉圭田。行神禮文技。手倉田邑。有稱玉島明神社。疑此社乎。　井上鄉。　風土記殘編日。公穀二百六十七束。假粟二百二十五丸。貢杉。柏。栗。及鶴。鷂。鴎。鷺等。　九品寺。　風土記殘編日。寄田四十八束三毛田。道眼和尙結夏之丈室也。　乘圓寺。　寄田二十五束三毛田。行基信宿地也。以上五區。問邑人故老。不詳何處。

封內風土記卷之五　畢

日本漢文史籍叢刊

地理

漢文館

[General Information]
□ □=14664125
SS□=14664125